■こども・子育て支援計画策定のための基礎調査

和泉市こども・子育て支援に関する ニーズ調査報告書

平成26年３月

和　泉　市

目　次

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２　調査の種類・方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
３　配布・回収状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
４　回答世帯の子どもと和泉市子ども人口との年齢構成の比較　・・・・・・　2
５　調査結果の表記に関する留意点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅱ　調査結果［1］就学前子ども保護者調査

１　子どもと家族の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
２　母親と父親の就労状況と就労意向　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
３　母親の妊娠時の状況と希望の子ども数　・・・・・・・・・・・・・・・・　20
４　教育・保育事業の利用状況と利用意向　・・・・・・・・・・・・・・・・　25
５　幼稚園や保育所などの土・日等の利用希望　・・・・・・・・・・・・・・　54
６　病児・病後児保育について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60
７　一時預かりについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　67
８　宿泊を伴う一時預かりについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　76
９　地域の子育て支援事業の利用状況について　・・・・・・・・・・・・・・　80
10　放課後児童クラブの利用意向（５歳児のみ）　・・・・・・・・・・・・・　88
11　仕事と子育ての両立支援について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　94
12　子どもの育ちをめぐる環境について　・・・・・・・・・・・・・・・・・　102

調査結果［2］小学生保護者調査

１　子どもと家族の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　139
２　母親と父親の就労状況と就労意向　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　146
３　放課後児童クラブの利用状況と利用意向　・・・・・・・・・・・・・・・　156
４　病児・病後児保育について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　180
５　一時預かりについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　187
６　仕事と子育ての両立支援について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　194
７　子どもの育ちをめぐる環境について　・・・・・・・・・・・・・・・・・　198

Ⅲ　自由意見

１　就学前子ども保護者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　233
２　小学生保護者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　236

Ⅳ　調査票

１　就学前子ども保護者調査票　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　239
２　小学生保護者調査票　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　249

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

平成22年３月策定の「和泉市次世代育成支援対策行動計画（後期計画）」の計画期間が平成27年３月末で終了することから、新たに「和泉市こども・子育て支援計画」を策定するため、その基礎資料として活用することを目的としています。

２　調査の種類・方法

本市に居住する①０歳から小学校入学前の子どもをもつ保護者、②小学校１年生から６年生の子どもをもつ保護者、合わせて4,600人を対象に、アンケート調査を実施しました。なお、対象児童の年齢は、平成25年４月１日現在とし、住民基本台帳により就学前の子ども及び小学生の子どもについて、それぞれ無作為に抽出しました。

調査期間及び配布・回収方法については、次表のとおりです。

■調査期間及び配布・回収方法

調査対象	調査期間	配布･回収方法
就学前の子どもをもつ保護者	平成25年10月25日（金）～11月18日（月）	郵送による配布･回収
小学生の子どもをもつ保護者	平成25年10月25日（金）～11月18日（月）	郵送による配布･回収

３　配布・回収状況

調査対象者別の配布・回収状況は、次表のとおりです。有効回収率は全体で50%を超え、前回の「次世代育成支援に関するニーズ調査」より、高くなっています。

■配布・回収状況

調査対象	配布数（件）	有効回収数（件）	有効回収率（%）	参考/前回調査回収率(%)
就学前の子どもをもつ保護者	3,000	1,647	54.9	44.8
小学生の子どもをもつ保護者	1,600	858	53.6	45.8

４　回答世帯の子どもと和泉市子ども人口との年齢構成の比較

調査結果から、就学前の子ども数及び小学生数と、本市の子ども人口の年齢構成の比較は次表のとおりです。子ども人口は、平成25年４月１日現在の住民基本台帳（外国人含む）による年齢別人口です。

■就学前の子どもの調査結果と本市人口の年齢構成の比較

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
調査 （N＝1,642）	277 16.9	291 17.7	282 17.2	260 15.8	275 16.7	257 15.7
人口 （N＝10,874）	1,549 14.2	1,746 16.1	1,883 17.3	1,827 16.8	1,916 17.6	1,953 18.0

注）調査のN＝1,642は、無回答の5人を引いた人数

■小学生の調査結果と本市人口の年齢構成の比較

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
調査 （N＝858）	145 16.9	133 15.5	133 15.5	146 17.0	149 17.4	152 17.7
人口 （N＝12,152）	1,901 15.6	1,921 15.8	1,930 15.9	2,056 16.9	2,130 17.5	2,214 18.2

５　調査結果の表記に関する留意点

① 図表中のNとは、各質問に対する無回答を含む回答者数を表しており、各回答はこの数を基数とした百分率（％）で示しています。この比率（％）は、小数点以下第２位を四捨五入して算出していますので、必ずしも合計が100.0%にならない場合があります。

② 質問の終わりに（あてはまるものすべてに○）や（あてはまるもの3つまで○）などとある場合は、1人の回答者が2つ以上の選択肢を選んでよい質問です。その場合は、比率の合計が100.0%を超えることがあります。

③ ある質問の「特定の回答」を選んだ人のみが答える質問は、「限定質問」であり、その場合の回答者数は特定の回答数となります。

④ 分析本文中では、就学前の子どもの保護者調査の結果を「就学前」と表しています。同様に、小学生の保護者調査の結果を「小学生」としています。

⑤ 子どもの年齢別や地域別などのクロス集計の図表は、年齢や地域などの不明や無回答は省略しています。

⑥ 選択肢は基本的には「　」で示していますが、複数を合わせた場合、【　】で示しています。

⑦ 前回調査とあるのは、平成21年２月に実施した「次世代育成支援に関するニーズ調査」のことで、類似質問に関して比較しています。

⑧ ４地域（北西部、北部、中部、南部）は、21小学校区を以下のように分類したものです。

北西部：国府、和気、伯太、黒鳥、芦部
北　部：池上、幸、信太、鶴山台北、鶴山台南
中　部：北池田、いぶき野、南池田、光明台南、光明台北、緑ヶ丘、北松尾、南松尾、青葉はつが野
南　部：横山、南横山

Ⅱ　調 査 結 果

［１］就学前子ども保護者調査

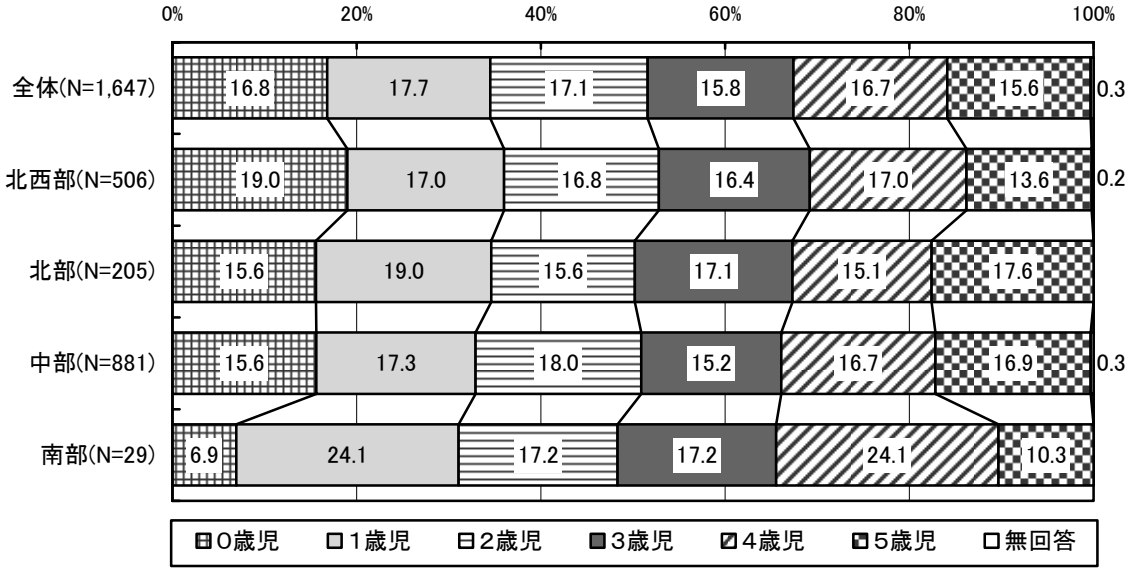
1　子どもと家族の状況

①　子どもの年齢構成

問１（１）　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

●全体では、「１歳児」が 17.7%で最も高く、「５歳児」が 15.6%で最も低いものの、各年齢児の割合は大きな違いはありません。
●地域別では、南部は「0 歳児」及び「５歳児」の割合が他地域より低く、一方、「１歳児」及び「４歳児」の割合が高くなっています。

■地域別　子どもの年齢構成



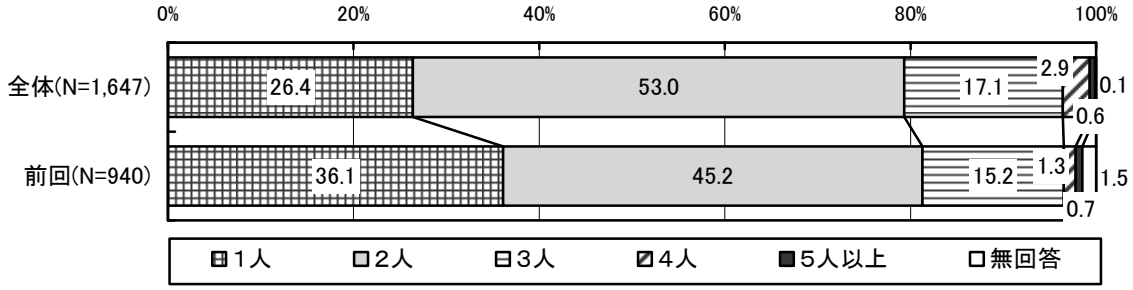
注）地域別では、小学校区が「わからない」や無回答は省略しています（以下、同様）。

②　子どもの人数

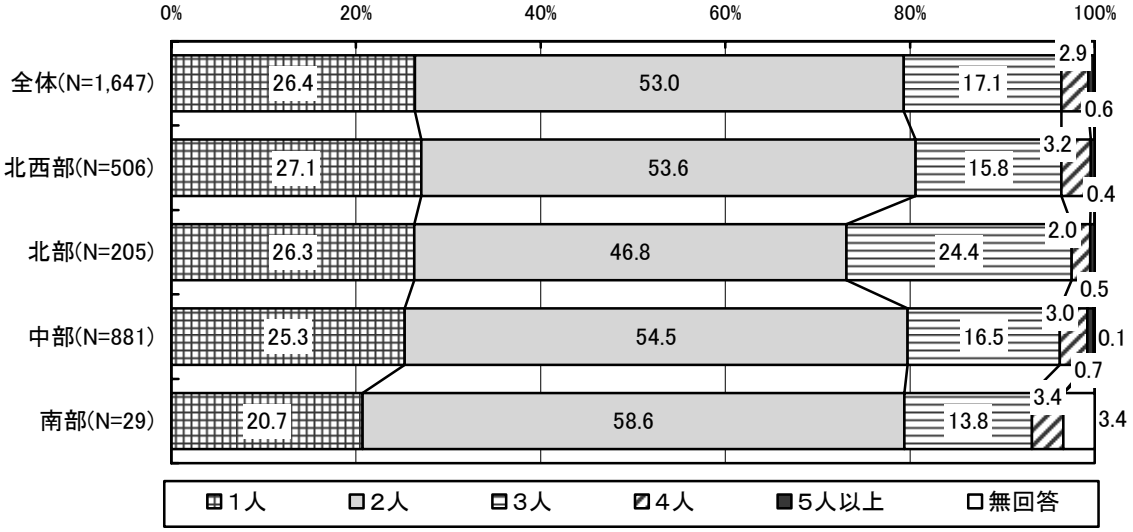
問１（２）　お子さんの人数は何人ですか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの生年月をご記入ください。

●全体では、「２人」が53.0%で最も高く、次いで「１人」が26.4%、「３人」が17.1%、【４人以上】が合わせて3.5%です。最大が７人、平均は1.98人となっています。
●前回調査に比べて「１人」が減少し、「２人」「３人」「４人」がそれぞれ増加しています。
●地域別では、北部で【３人以上】の割合が他地域より高く、26.9%となっています。
●２人以上いる場合の末子の年齢は、「0歳児」が16.1%で最も高く、次いで「１歳児」が13.7%、「２歳児」が13.4%などと続きます。

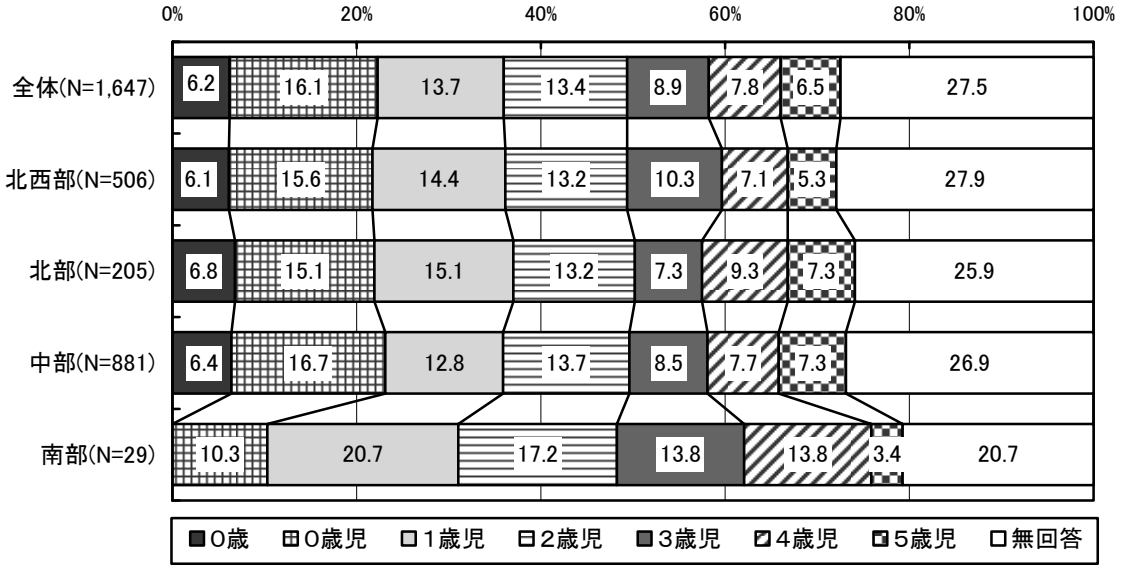
■子どもの人数／前回調査との比較



■地域別　子どもの人数



■地域別　末子の年齢構成



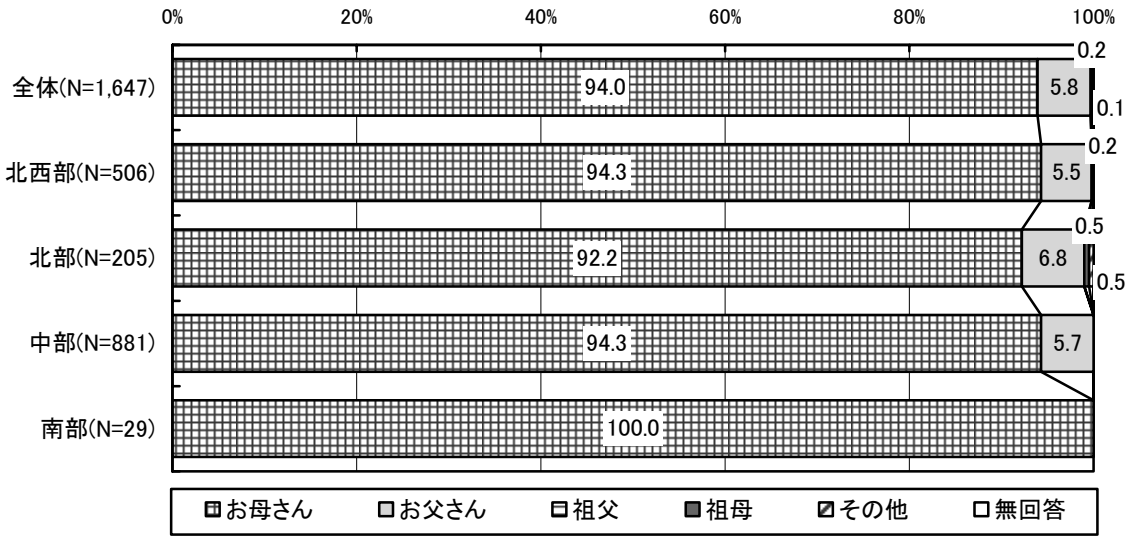
注）調査対象の子どもは、平成25年４月１日時点で抽出し、その時点で「0歳」の子どもと、兄弟で平成25年４月２日以降に生まれた子どもの「0歳」を区別するため、調査対象の前者を「0歳児」としています。

③　調査の回答者

問１（３）　あて名のお子さんからみて、この調査にご回答いただく方はどなたですか。
（１つだけ○）

●全体では、「お母さん」が94.0%、「お父さん」が5.8%、「祖母」が0.2%、「その他」が0.1%となっています。

■地域別　調査の回答者

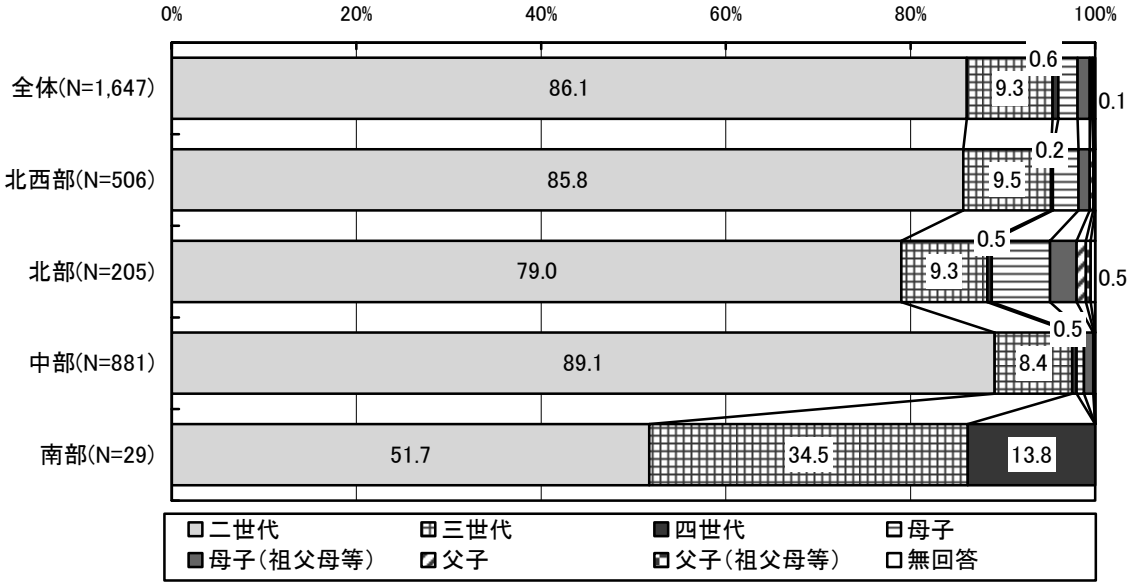


④　同居の世帯類型

問１（４）　あて名のお子さんからみて、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。
（あてはまるものすべてに○）

●同居の家族から世帯類型に分類すると、両親と子ども等の「二世代」が86.1%で最も高く、他は両親と子どもと祖父母（両方あるいはどちらか）等の「三世代」が9.3%、両親と子どもと祖父母（両方あるいはどちらか）及び曾祖父母（どちらか）等の「四世代」が0.6%です。また、【ひとり親】世帯は、母子のみが2.1%、祖父母等と同居の母子が1.3%、父子が0.3%、祖父母等と同居の父子が0.2%となっています。
●地域別では、「三世代」及び「四世代」の割合が高いのは南部で、48.3%となっています。また、【ひとり親】世帯は、北部が10.7%、北西部が4.6%、中部が2.0%で、南部は該当なしとなっています。
●同居世帯類型別に子どもの人数をみると、母子家庭は「１人」の割合が51.8%と高くなっています。一方で、【３人以上】が、母子家庭で16.1%、父子家庭で22.2%となっています。

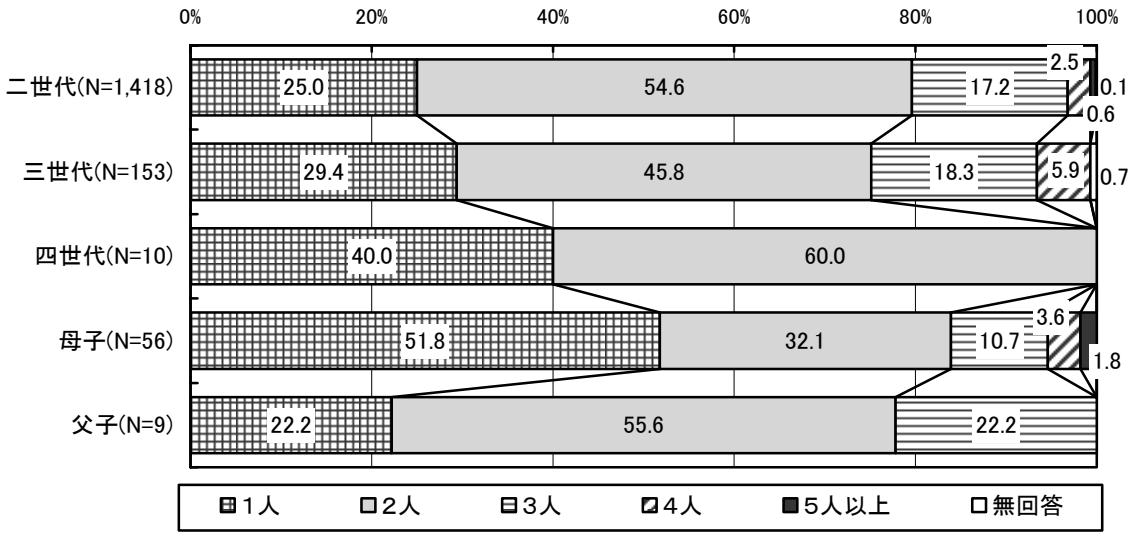
■地域別　同居の世帯類型



■ひとり親世帯の構成比（別掲）

項目／地域	母子	母子（祖父母等）	父子	父子（祖父母等）	計
全　体	2.1	1.3	0.3	0.2	3.9
北西部	2.8	1.2	0.4	0.2	4.6
北　部	6.3	2.9	1.0	0.5	10.7
中　部	0.8	1.0	0.1	0.1	2.0
南　部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■同居世帯類型別　子どもの人数

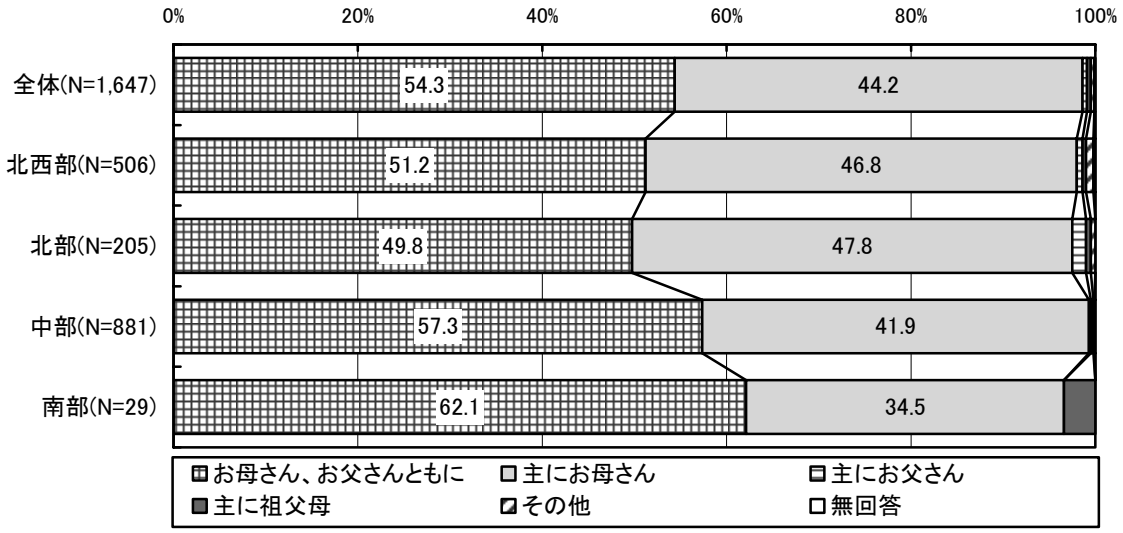


⑤　子育て（教育を含む）を主にしている方

問１（５）　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。（１つだけ○）

●全体では、「お母さん、お父さんともに」が 54.3%で、「主にお母さん」の 44.2%を上回っています。
●地域別では、「お母さん、お父さんともに」は南部が 62.1%で最も高くなっています。

■地域別　子育て（教育を含む）を主にしている方



■「お母さん、お父さんともに」及び「主にお母さん」以外の構成比（別掲）

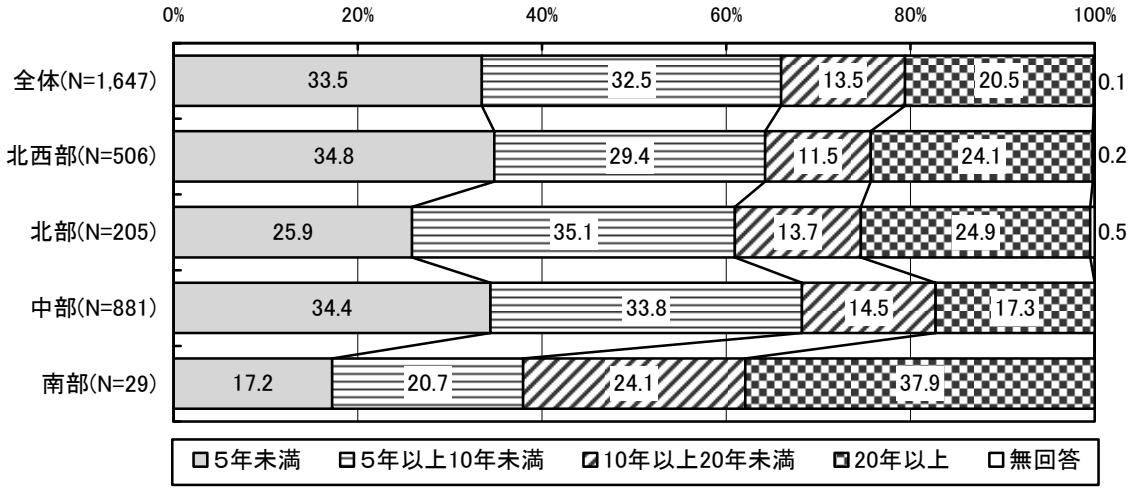
項目／地域	主にお父さん	主に祖父母	その他	無回答
全　体	0.5	0.4	0.4	0.1
北西部	0.6	0.4	0.8	0.2
北　部	1.5	0.5	0.5	0.0
中　部	0.2	0.3	0.1	0.1
南　部	0.0	3.4	0.0	0.0

⑥　居住年数

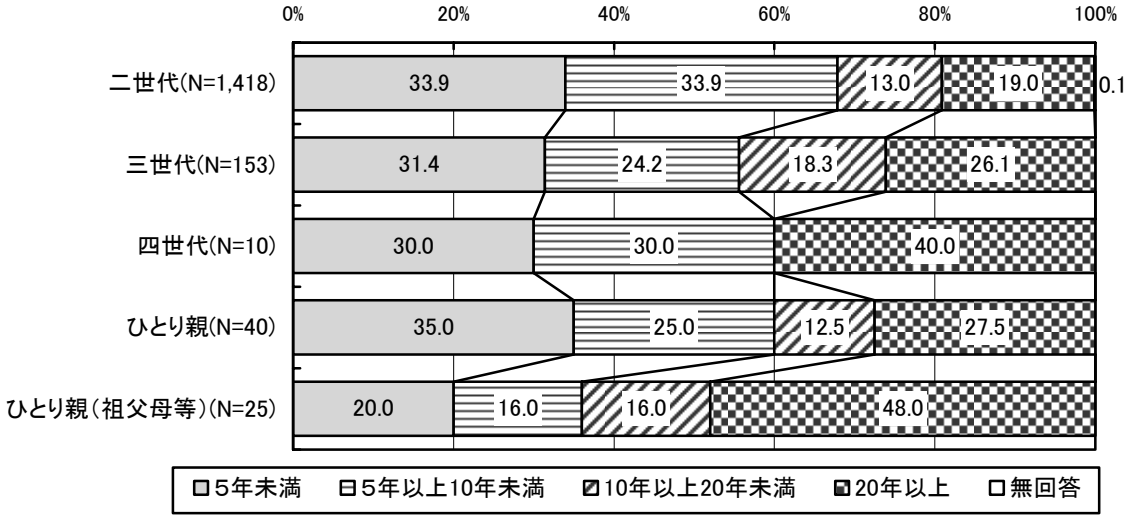
問１（６）　あなたは和泉市に住んでどのくらいになりますか。（１つだけ○）

- 全体では、「５年未満」が 33.5%、「５年以上 10 年未満」が 32.5%と同程度、「10 年以上 20 年未満」が 13.5%、「20 年以上」は 20.5%です。
- 地域別では、「５年未満」は北西部及び中部がそれぞれ 34.8%、34.4%と高くなっています。一方、「20 年以上」は、三世代や四世代率が高い南部で 37.9%と高くなっています。
- 同居世帯類型別では、四世代や祖父母等と同居のひとり親世帯では、「20 年以上」がそれぞれ 40.0%、48.0%と高くなっています。

■地域別　居住年数



■同居世帯類型別　居住年数



⑦　居住小学校区

問１（７）　お住まいの小学校区はどこですか。わからない場合は22に町名をご記入ください。（１つだけ○）

- 「青葉はつが野」が 10.9%、次いで「国府」が 9.4%、「北松尾」が 7.4%などと続き、「南横山」が 0.2%で最も低くなっています。
- 中学校区に集約すると、「和泉」が 18.3%、次いで「南池田」が 15.7%、「石尾」が 13.1%などと続き、「南松尾」が 0.5%で最も低くなっています。
- 地域別に集約すると、「中部」が 53.5%、「北西部」が 30.7%、「北部」が 12.4%、「南部」が 1.8%です。

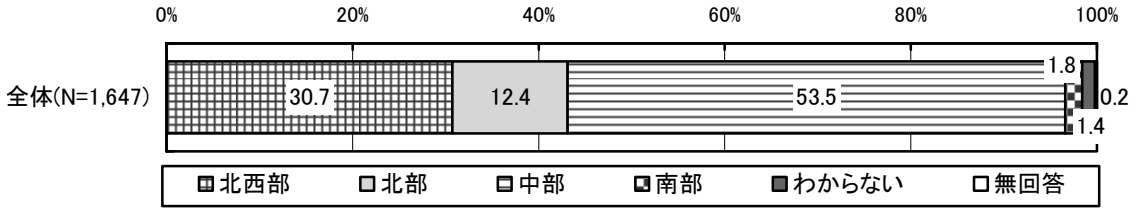
■居住小学校区

小学校区	%	小学校区	%	小学校区	%	小学校区	%	小学校区	%
国　府	9.4	芦　部	6.4	光明台北	5.6	南横山	0.2	青葉はつが野	10.9
和　気	6.0	北池田	7.1	緑ヶ丘	5.6	幸	0.8	わからない	1.4
伯　太	5.0	いぶき野	7.3	北松尾	7.4	信　太	5.5	無回答	0.2
池　上	2.1	南池田	4.8	南松尾	0.5	鶴山台北	2.3		
黒　鳥	3.9	光明台南	4.2	横　山	1.5	鶴山台南	1.8		

■居住中学校区

中学校区	%	中学校区	%	中学校区	%	中学校区	%	中学校区	%
和　泉	18.3	石　尾	13.1	南池田	15.7	光明台	9.8	富　秋	2.9
郷　荘	12.4	北池田	14.5	南松尾	0.5	槇　尾	1.8	信　太	9.5

■居住地域



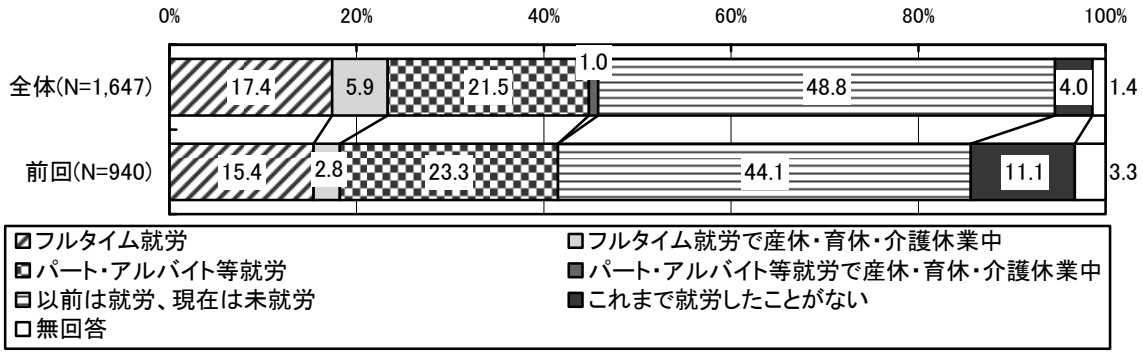
2　母親と父親の就労状況と就労意向

①　母親と父親の就労状況

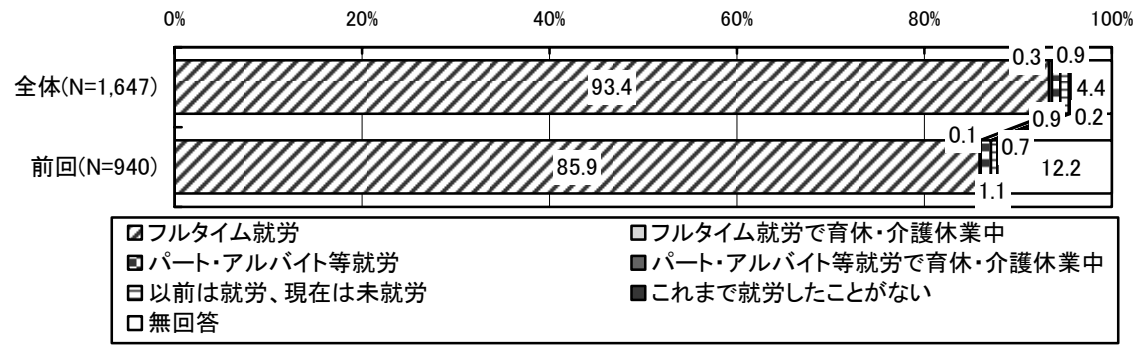
問２　お母さん、お父さんの現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。お母さん、お父さんそれぞれについて、お答えください。ひとり親家庭の場合は、お母さん、またはお父さんのみお答えください。（１つだけ○）

- 母親の就労状況では、「フルタイム就労で産休・育休・介護休業中ではない」が 17.4%、「フルタイム就労で産休・育休・介護休業中である」が 5.9%で、合わせて【フルタイム就労】が 23.3%で、前回調査の 18.2%より 5.1 ポイント増加しています。また、「パート・アルバイト等就労で産休・育休・介護休業中ではない」が 21.5%、「パート・アルバイト等就労で産休・育休・介護休業中である」が 1.0%で、合わせて【パート・アルバイト等就労】が 22.5%で、前回調査の 23.3%と同程度となっています。
- 一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 48.8%、「これまで就労したことがない」が 4.0%で、特に「これまで就労したことがない」は前回調査に比べて 7.1 ポイント減少しています。
- 父親の就労状況では、「フルタイム就労で育休・介護休業中ではない」が 93.4%で、前回調査に比べて 7.5 ポイント増加しています。

■母親の就労状況／前回調査との比較

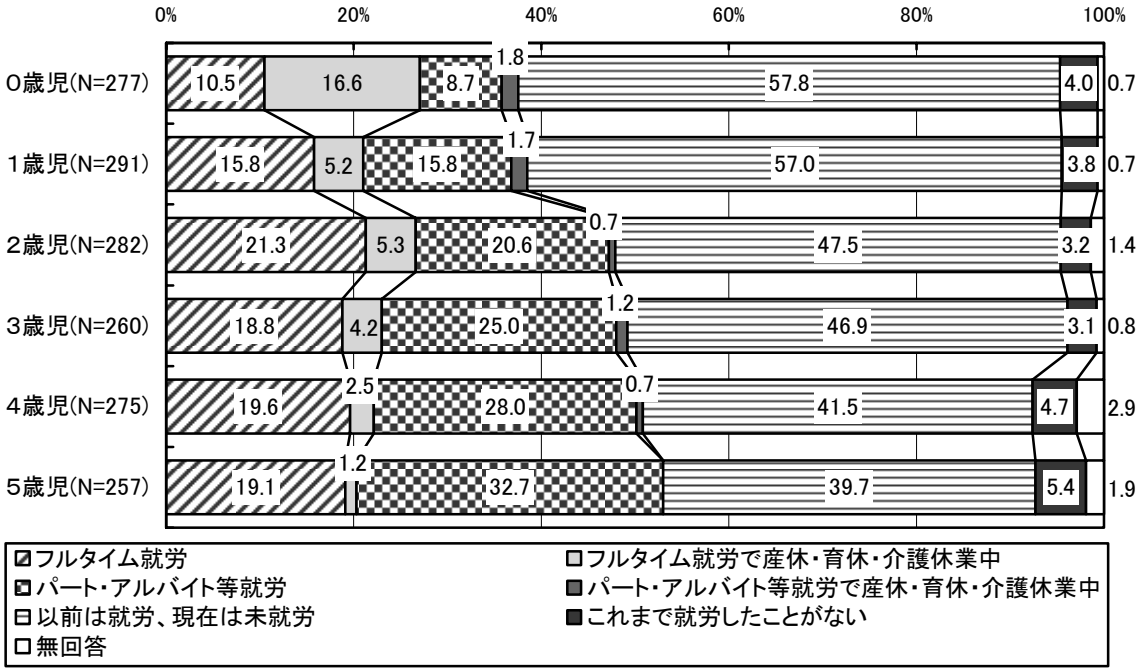


■父親の就労状況／前回調査との比較

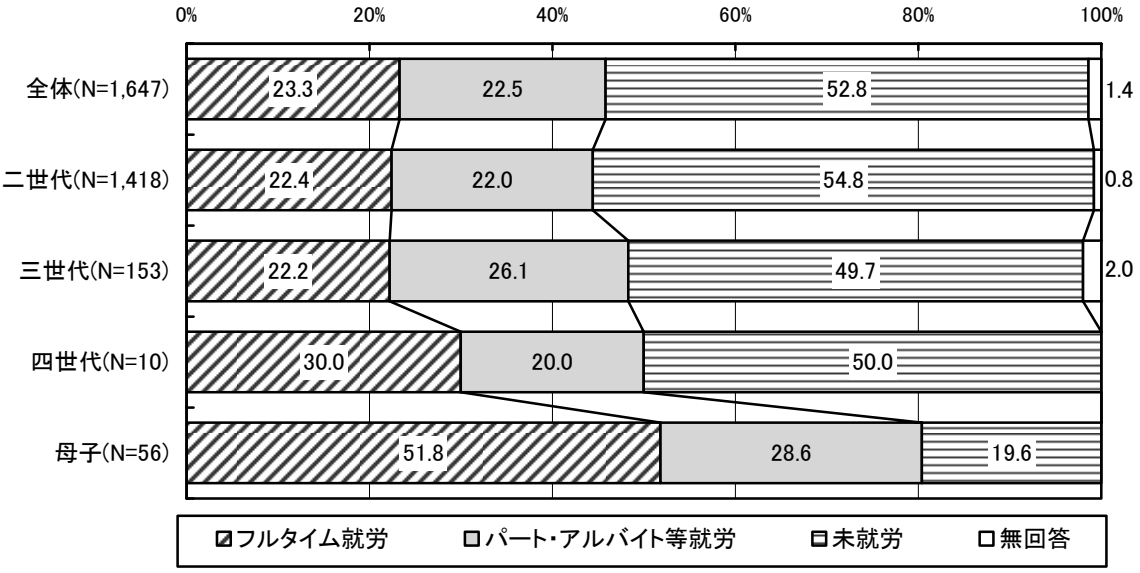


●子どもの年齢別に母親の就労状況をみると、おおむね年齢が上がるにしたがい就労率は高くなり、０歳児の37.6%が、５歳児では53.0%となっています。
●０歳児は、【産休・育休中】が18.4%で、就労者のおよそ半数を占めます。
●同居世帯類型別に、母親の就労状況を３区分に集約してみると、就労率は二世代に比べて三世代及び四世代が若干高く、また、母子家庭では80.4%となっています。父親の就労状況では、就労率は二世代が最も高く、また、父子家庭ではフルタイム就労率が66.7%と低くなっています。

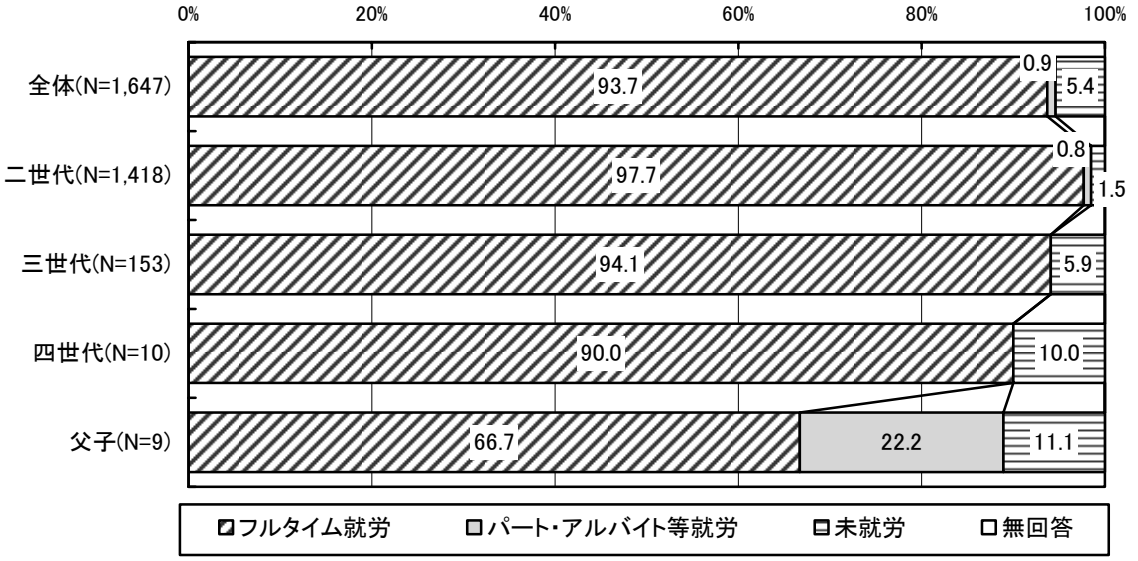
■子どもの年齢別　母親の就労状況



■同居世帯類型別　母親の就労状況

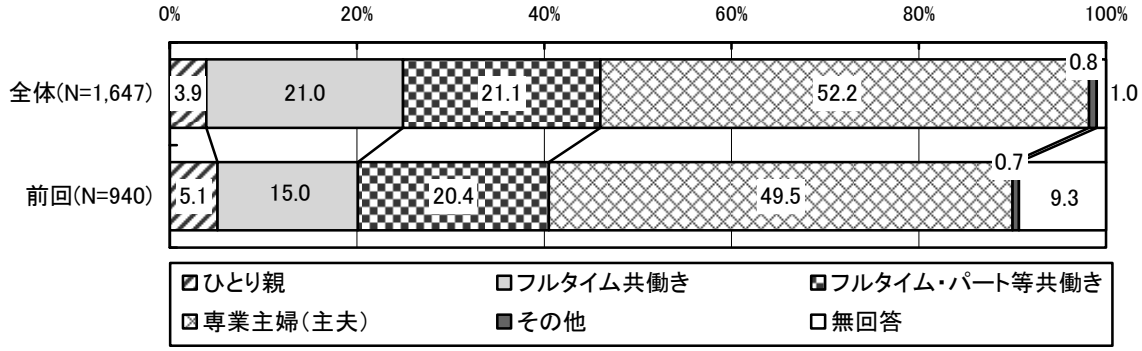


■同居世帯類型別　父親の就労状況



●母親と父親の就労状況から、それぞれの世帯を類型化すると、「専業主婦（主夫）」世帯が52.2%で最も高く、前回調査より2.7ポイント増加しています。「フルタイム共働き」世帯と「フルタイム・パート等共働き」世帯を合わせた【共働き】世帯は42.1%で、前回調査の35.4%より6.7ポイント増加しています。

■母親と父親の就労状況等による世帯類型／前回調査との比較



注）今回調査の「その他」の内容は、「パート・アルバイト等共働き」が0.3%、「ともに未就労」が0.5%。

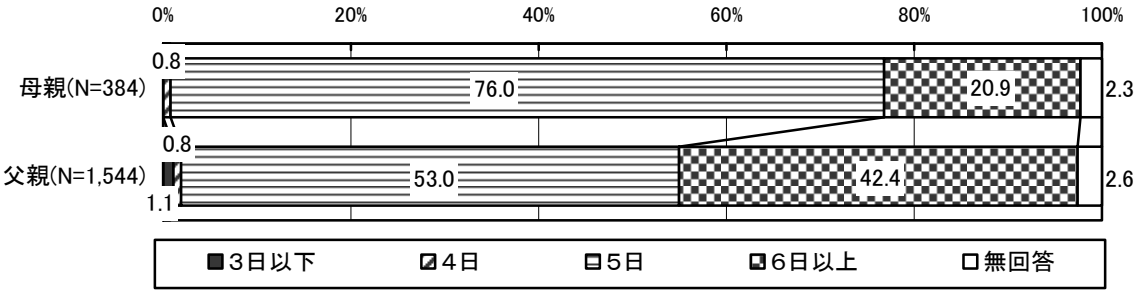
②　フルタイム就労者の就労状況

問２でお母さん、お父さんのどちらか、または両方が「１～４」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。両方が「５、６」に○をつけた方は、問４へお進みください。

（１）１週当たりの就労日数や１日当たりの就労時間（残業時間を含む）を数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

●母親のフルタイム就労者の１週当たりの就労日数は、「５日」が76.0%で最も高く、「６日以上」も20.9%となっています。
●父親のフルタイム就労者の１週当たりの就労日数は、「５日」が53.0%、「６日以上」が42.4%で、母親に比べて「６日以上」が高くなっています。

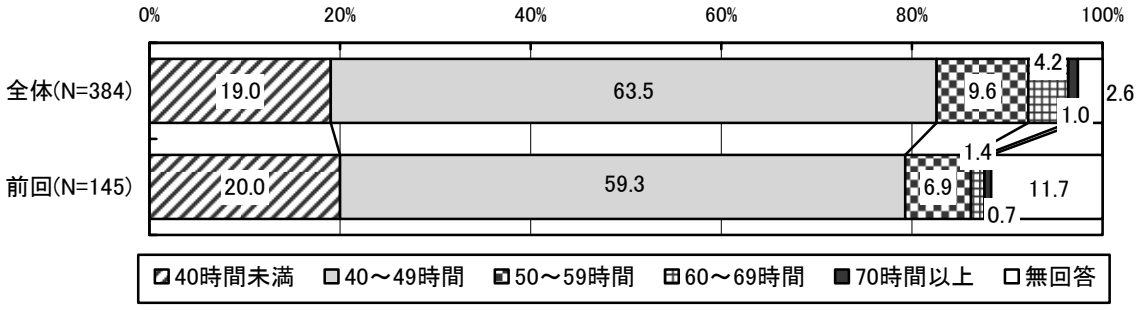
■フルタイム就労者の１週当たりの就労日数



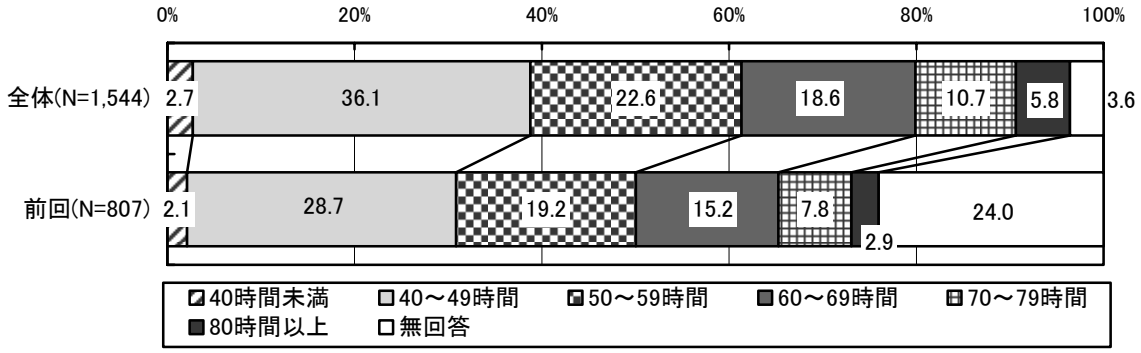
注）就労日数について、前回調査は土日の勤務に関する質問のため、比較していません。

●母親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間は、「40～49時間」が63.5%で最も高く、前回調査に比べて「40～49時間」及び【50時間以上】が増加しています。
●父親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間は、母親と同様に「40～49時間」が36.1%で最も高いものの、【60時間以上】の長時間勤務は35.1%となります。

■母親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



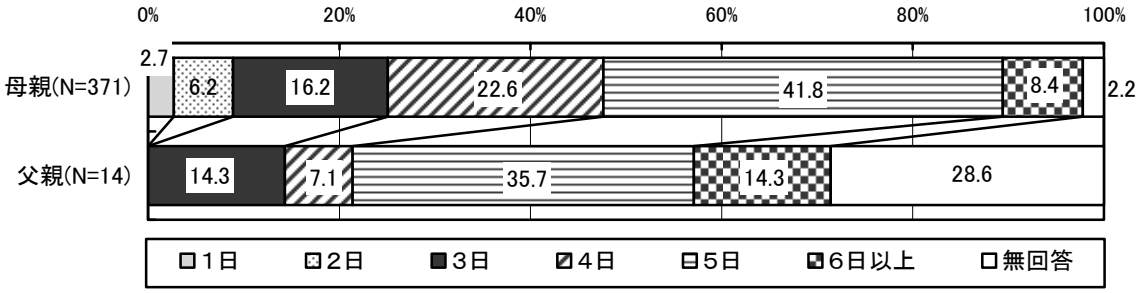
■父親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



③　パート・アルバイト等就労者の就労状況

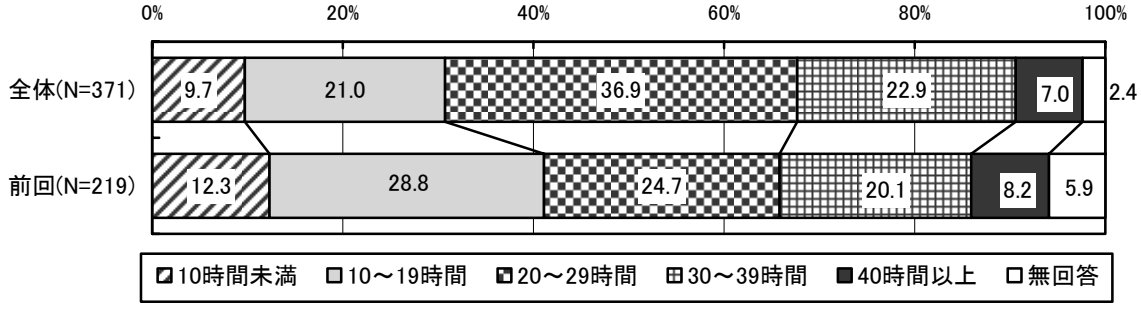
●母親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労日数は、「５日」が41.8%で最も高く、「６日以上」を合わせるとおよそ半数を占めます。一方、【３日以下】は25.1%となっています。
●父親は、「５日」が35.7%で、「６日以上」を合わせると半数を占めます。

■パート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労日数

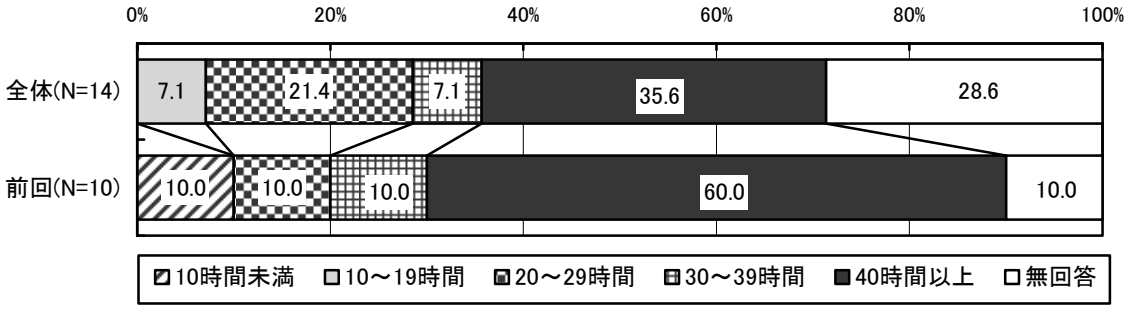


●母親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労時間は、「20～29時間」が36.9%で最も高く、前回調査に比べて増加しています。
●父親の場合、「40時間以上」が35.6%で最も高くなっています。

■母親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



■父親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較

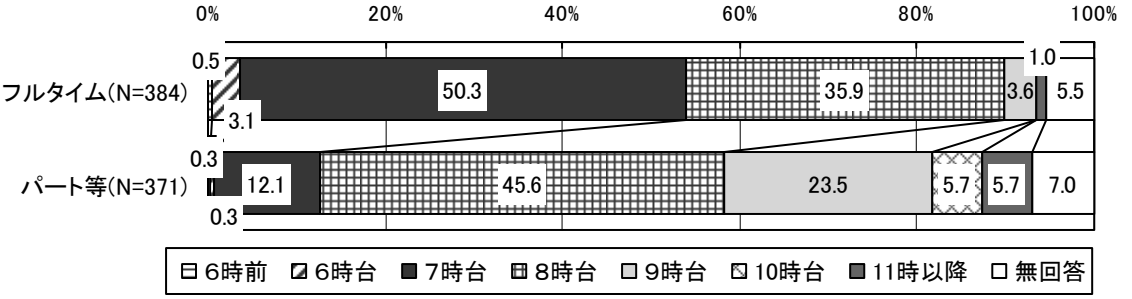


④　就労者の出発時間と帰宅時間

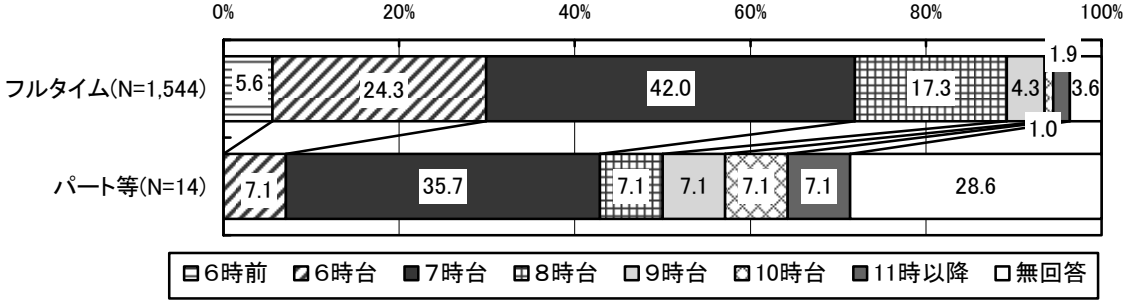
（２）家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間は午後の場合２０時のように、２４時間制（３０分単位）でお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

●母親のフルタイム就労者の出発時間は、「７時台」が50.3%で最も高く、「８時台」が35.9%などとなっています。パート・アルバイト等就労者の出発時間は、「８時台」が45.6%で最も高く、「９時台」が23.5%などで、フルタイム就労者に比べて遅い出発の人が多くなっています。
●父親のフルタイム就労者の出発時間は、「７時台」が42.0%で最も高く、「６時台」が24.3%などです。パート・アルバイト等就労者の出発時間も「７時台」が35.7%で最も高くなっています。

■母親の就労者の出発時間



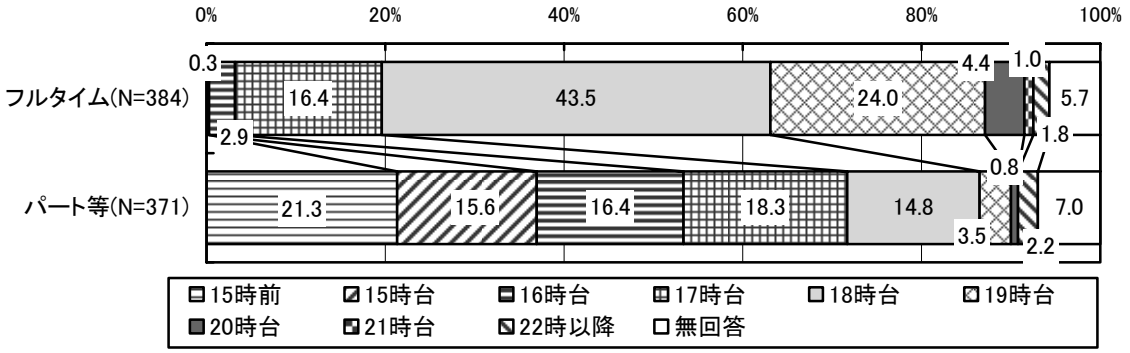
■父親の就労者の出発時間



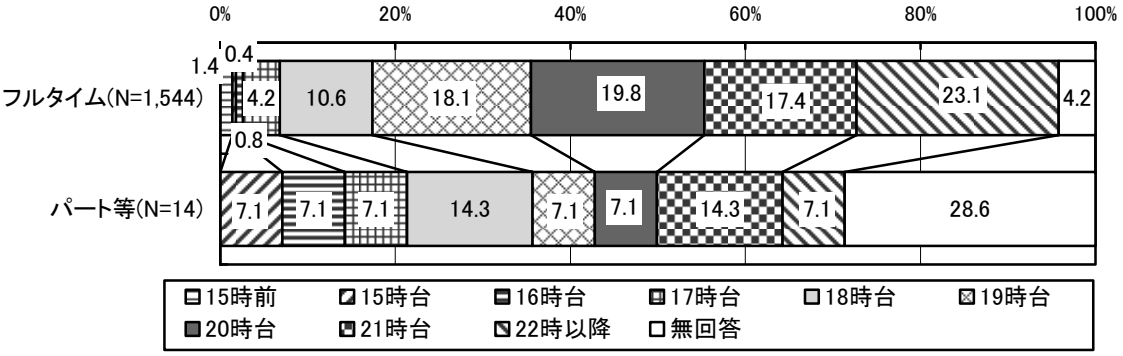
●母親のフルタイム就労者の帰宅時間は、「18時台」が43.5%で最も高く、「19時台」が24.0%、「17時台」が16.4%などで、この３時間台で83.9%を占めます。パート・アルバイト等就労者の帰宅時間は、「15時前」が21.3%で最も高いものの、他の時間帯は分散しています。

●父親のフルタイム就労者の帰宅時間は、「22時以降」が23.1%で最も高く、【19時以降】は合わせて78.4%を占めます。パート・アルバイト等就労者の帰宅時間は、「18時台」及び「21時台」がそれぞれ14.3%で、他は回答数が少ないため分散しています。

■母親の就労者の帰宅時間



■父親の就労者の帰宅時間

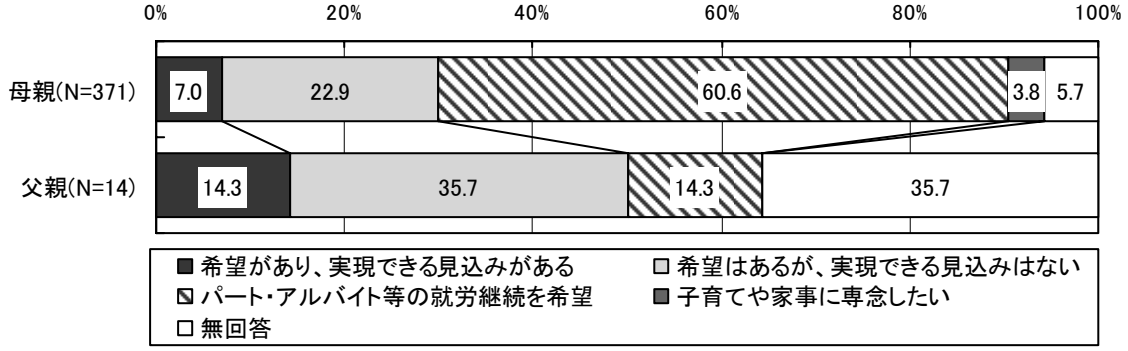


⑤　パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望

問３　問２の就労状況で、お母さん、お父さんのどちらか、または両方が「３、４」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問４へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。（１つだけ○）

●母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.6%で最も高く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.0%などとなっています。
●父親は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が35.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」及び「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がそれぞれ14.3%となっています。

■パートタイム・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望

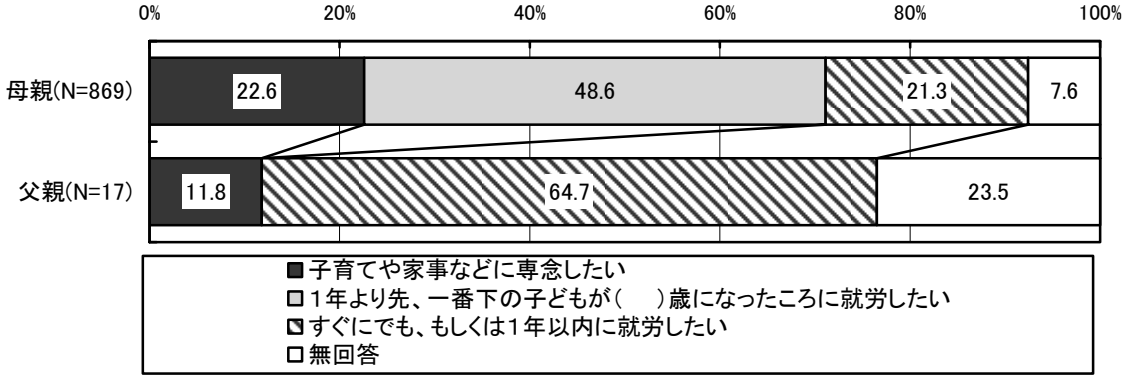


⑥　未就労者の就労意向

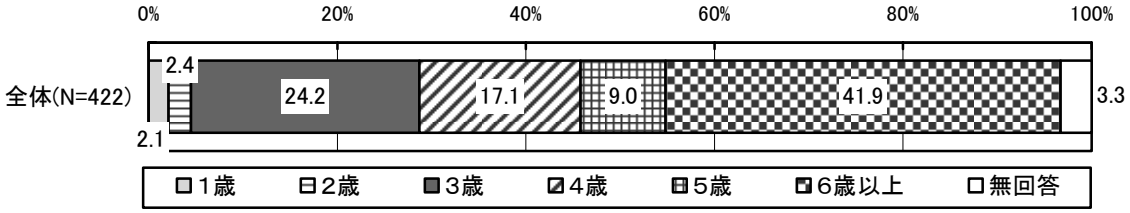
問４　問２のお母さんの就労状況、またはお父さんの就労状況で、「５　以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問５へお進みください。
　就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つだけ○をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

●母親の未就労者は、「１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい」が48.6%、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が21.3%、「子育てや家事などに専念したい」が22.6%で、就労希望が合わせて70.0%になります。
●「１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい」を選択した母親の場合、一番下の子どもの年齢は、「６歳以上」が41.9%で最も高くなっています。
●父親の未就労者は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が64.7%、「子育てや家事などに専念したい」が11.8%となっています。

■未就労者の就労意向

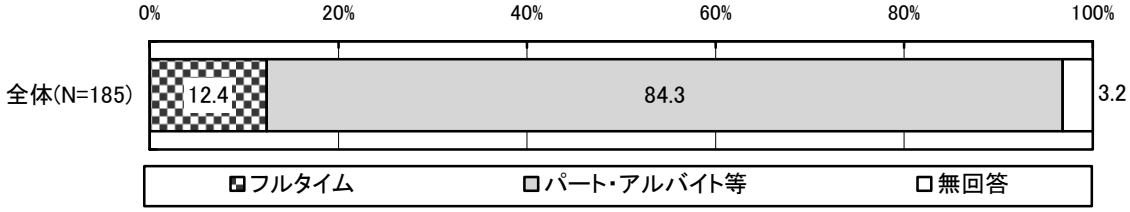


■母親で１年より先に就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢

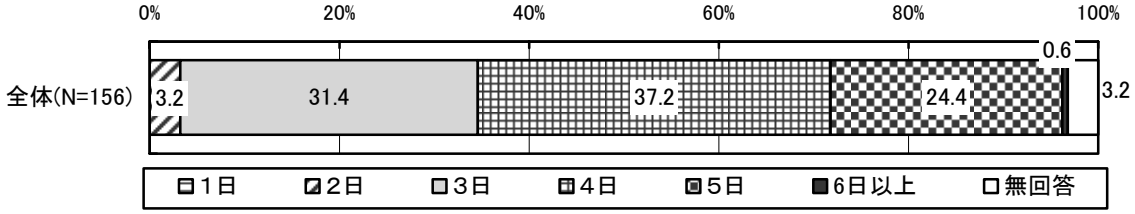


- 「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した母親の希望する就労形態は、「フルタイム」が12.4%、「パート・アルバイト等」が84.3%となっています。
- 「パート・アルバイト等」を希望する場合、１週当たりの就労日数は「４日」が37.2%、「３日」が31.4%、「５日」が24.4%などとなっています。
- １日当たりの時間は、「５時間台」が39.1%、「４時間台」が37.2%などで、短時間希望が多くなっています。

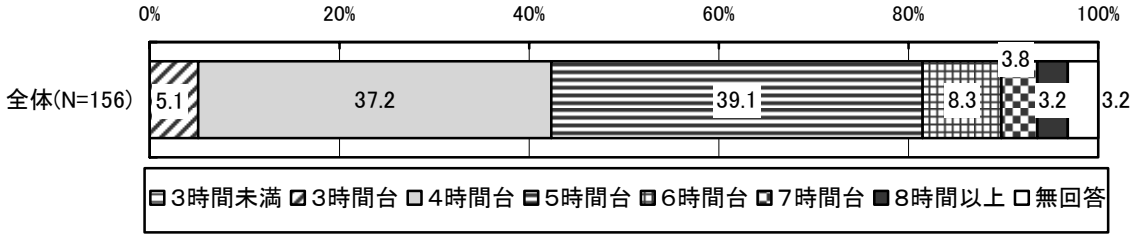
■母親ですぐにでも就労を希望する場合の就労形態



■パート・アルバイト等希望者の１週当たりの就労日数

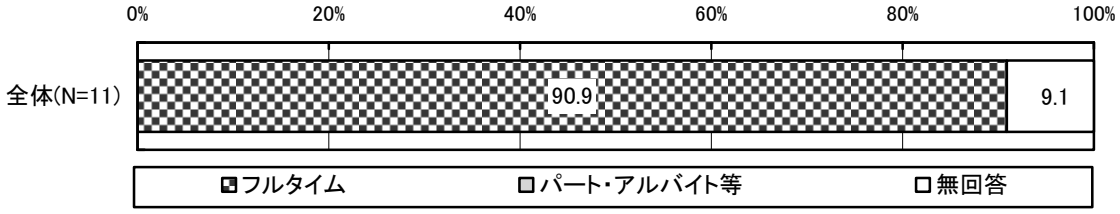


■パート・アルバイト等希望者の１日当たりの就労時間



● 「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した父親の希望する就労形態は、「フルタイム」が90.9%で、「パート・アルバイト等」は該当がありません。

■父親ですぐにでも就労を希望する場合の就労形態



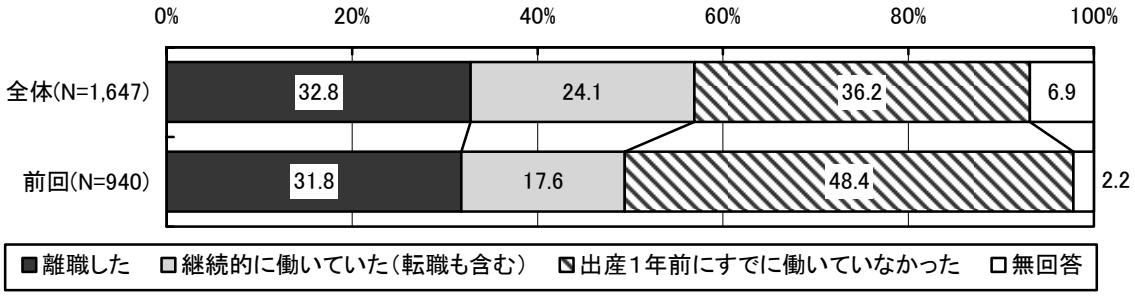
３　母親の妊娠時の状況と希望の子ども数

①　出産前後の就労状況

問５　あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ１年以内）に離職をしましたか。
（１つだけ○）

●子どもの出産前後に「離職した」母親は32.8%で、前回調査の31.8%とあまり変化していません。一方、「継続的に働いていた（転職も含む）」は24.1%で、前回調査の17.6%より6.5ポイント増加しています。また、「出産１年前にすでに働いていなかった」は36.2%で、前回調査の48.4%より12.2ポイント減少しています。

■子どもの出産前後に離職をしたかどうか／前回調査との比較



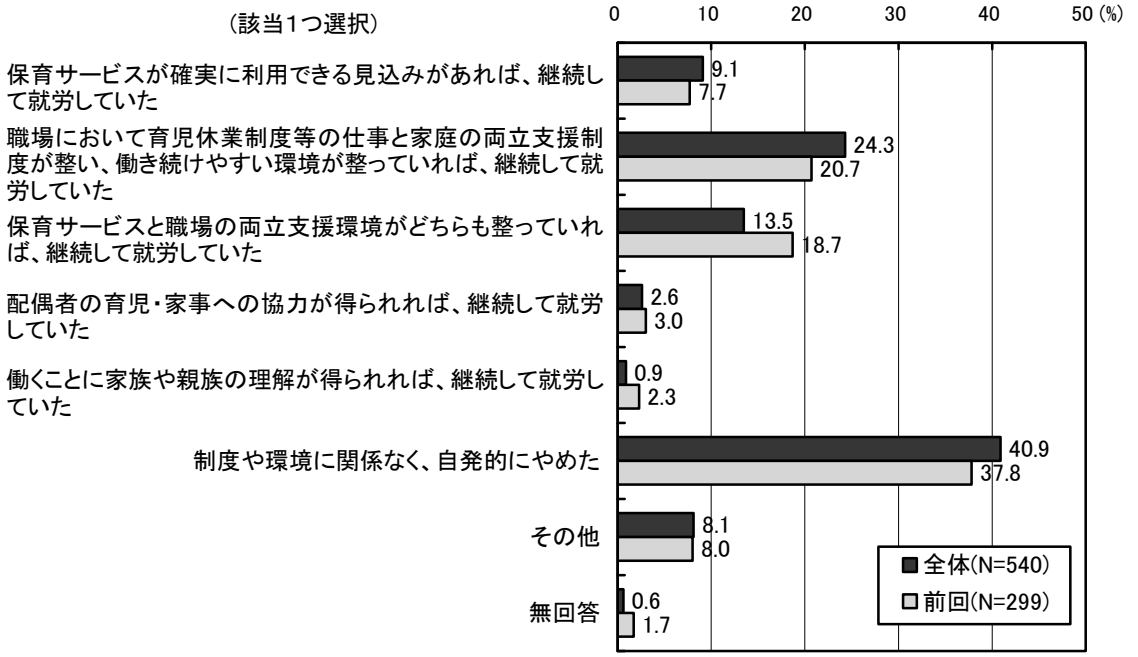
②　離職した人の就労継続の条件

問５－１　問５で「１.離職した」に○をつけた方におうかがいします。
仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（もっとも近いもの１つだけ○）

●子どもの出産前後に離職した母親が、保育サービスなどの働く環境が整っていたら、就労を継続したかどうかでは、「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」が40.9%で、残りの60%程度は何らかの両立支援環境が整っていたら就労していたと回答しています。

●両立支援環境としては、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」の24.3%が最も高く、前回調査より3.6ポイント増加しています。次いで「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が13.5%で、前回調査より5.2ポイント減少しています。

■保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したかどうか／前回調査との比較

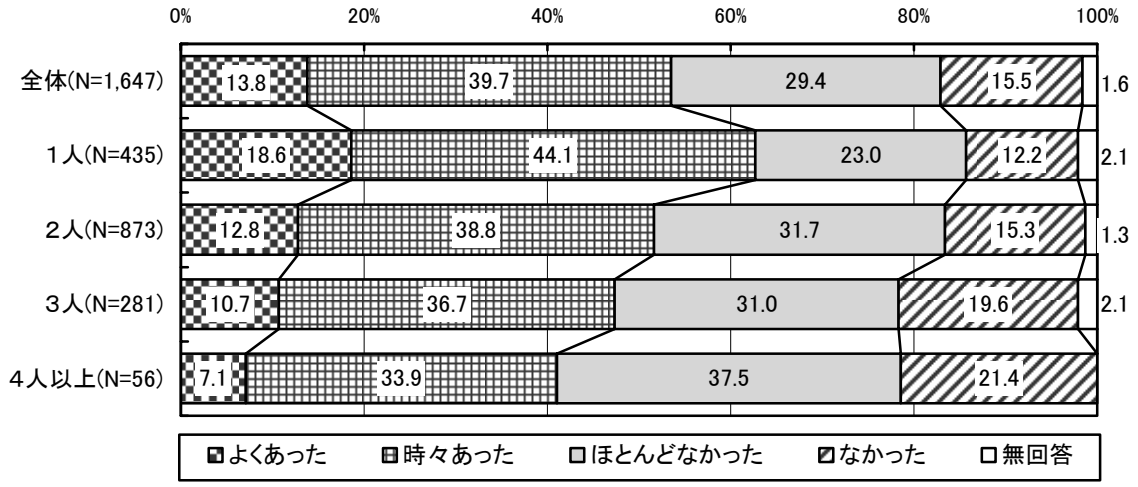


③　妊娠中、あるいは出産後、精神的に不安定になったこと

問６　すべての方におうかがいします。あて名のお子さんを妊娠中、あるいは出産後、精神的に不安定になったことはありますか。（１つだけ○）

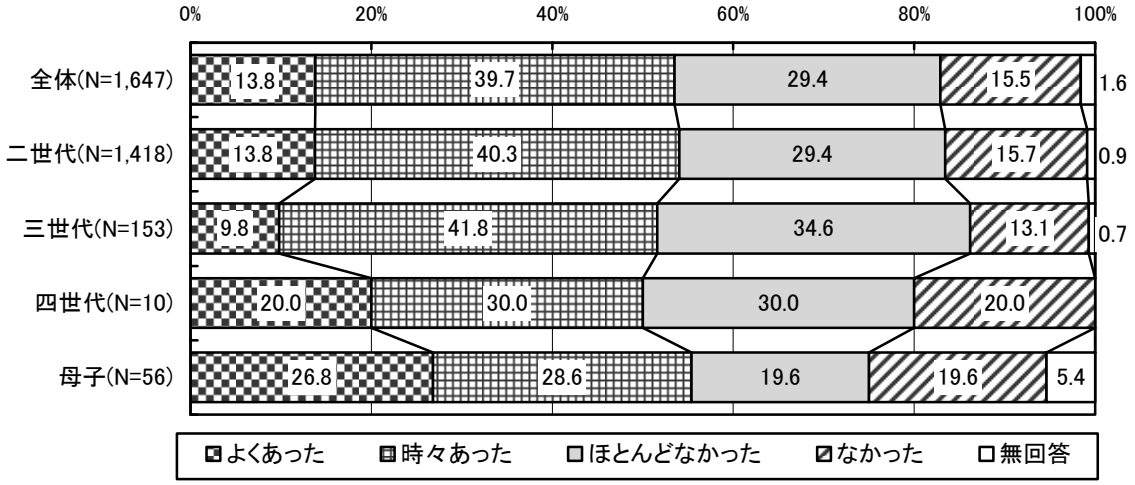
- 「よくあった」が13.8%、「時々あった」が39.7%で、合わせて53.5%と半数を超える人が【あった】としています。
- 子どもの人数との関係では、【あった】は、子どもが１人の場合が62.7%で最も高く、子どもの人数が多くなるにしたがい低下していきます。

■子どもの人数別　妊娠中、あるいは出産後、精神的に不安定になったこと



●同居世帯類型別では、【あった】はどの世帯類型も大きな違いはみられませんが、「よくあった」は、四世代や母子世帯で他の世帯より高い傾向にあります。

■同居世帯類型別　妊娠中、あるいは出産後、精神的に不安定になったこと

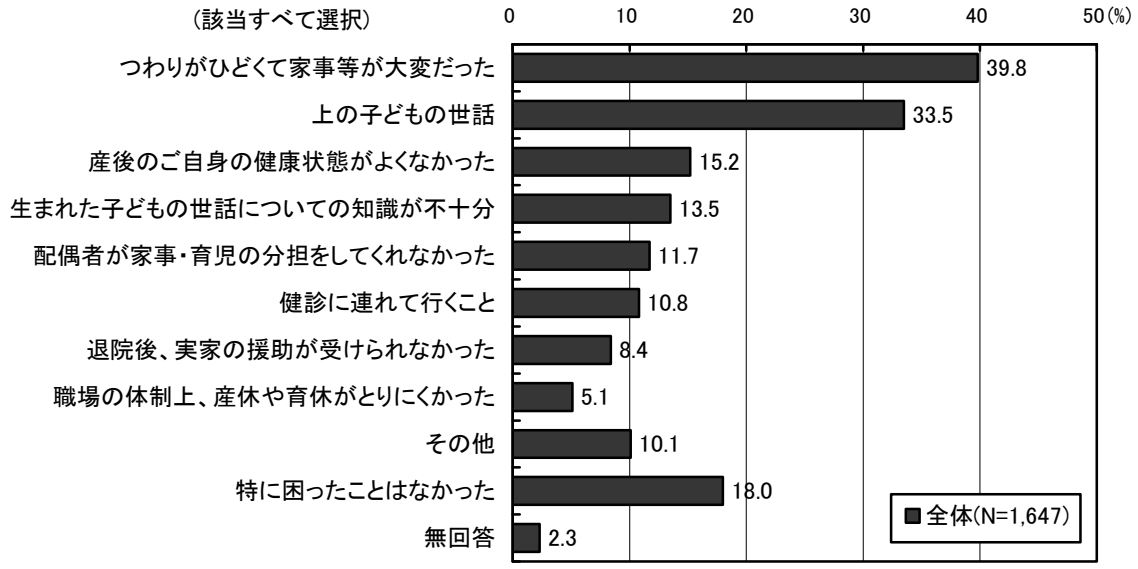


④　妊娠中や出産後に困ったこと

問７　妊娠中や出産後にどのようなことに困りましたか。（あてはまるものすべてに○）

●「特に困ったことはなかった」が18.0%となっており、全体のおよそ８０%が何らかの困ったことがあると回答しています。困ったことの中では、「つわりがひどくて家事等が大変だった」（39.8%）や「上の子どもの世話」（33.5%）が高くなっています。

■妊娠中や出産後に困ったこと

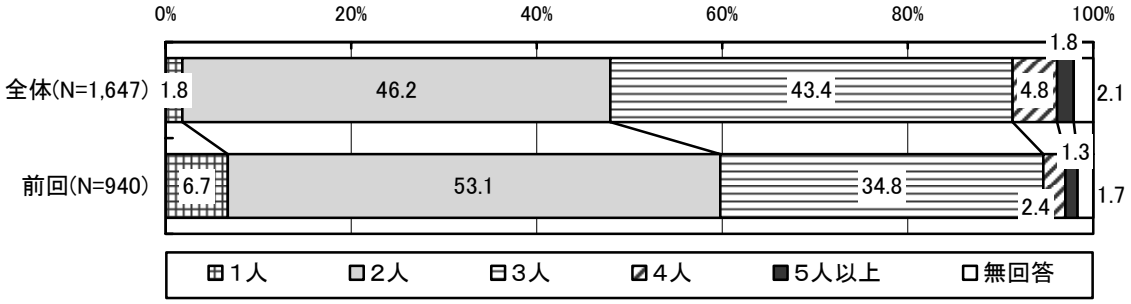


⑤　理想的な子どもの人数と今後予定している子どもの人数

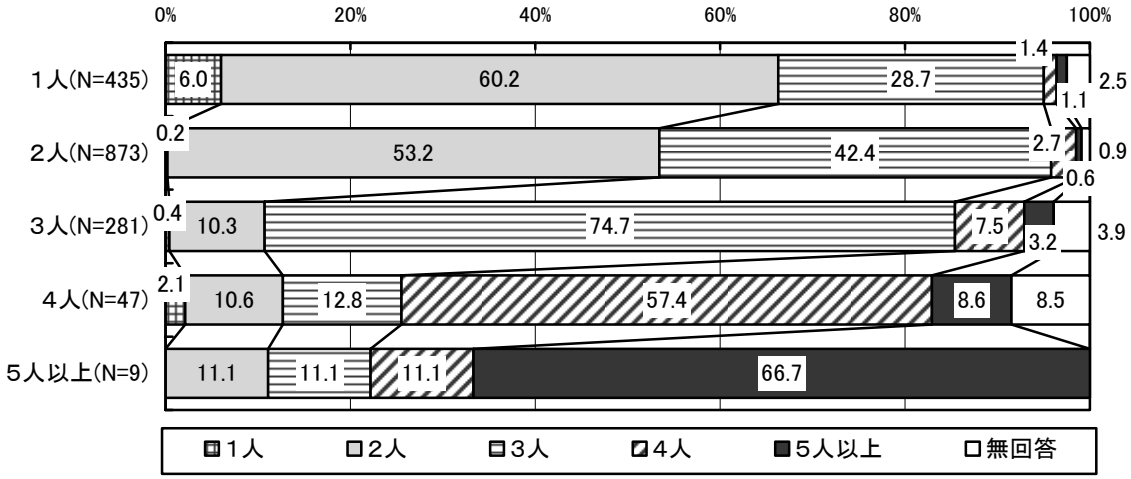
問８　あなたにとって理想的なお子さんの人数と、今後実際に予定しているお子さんの人数は何人ですか。

- 理想的な子どもの人数は、全体では「２人」が46.2%、「３人」が43.4%で、同程度となっています。最大が８人、平均は2.58人で、現状の1.98人よりも0.6人多くなっています。また、前回調査より「１人」「２人」が減少し、「３人」や「４人」が増加しています。
- 現在の子どもの人数別では、現在１人の世帯は「２人」が60.2%と高く、【３人以上】が31.2%、現在２人の世帯では【３人以上】が45.7%、３人の世帯では【４人以上】が10.7%などとなっています。
- 今後予定している子どもの人数は、全体では「０人」が47.0%、「２人」が18.4%、「１人」が17.8%などとなっています。
- 現在の子どもの人数別では、現在１人の世帯は「１人」が39.1%で最も高く、「２人」が29.2%などとなっています。

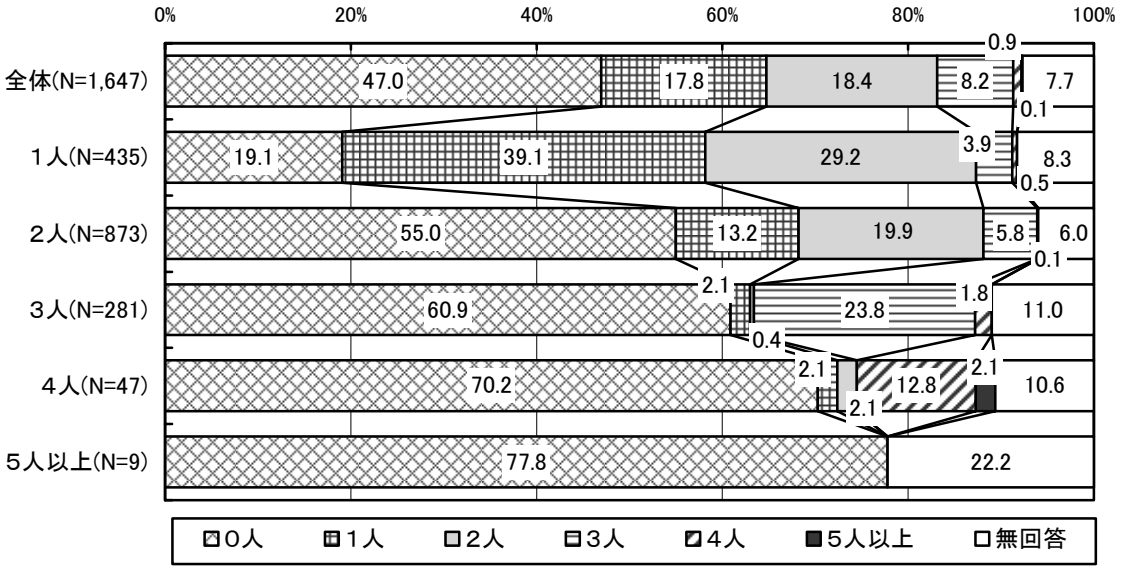
■理想的な子どもの人数／前回調査との比較



■現在の子どもの人数別　理想的な子どもの人数



■現在の子どもの人数別　今後予定している子どもの人数



注）回答は、今後予定している人数を記載した人と、現在の人数を予定人数として記載した人が混在しています。

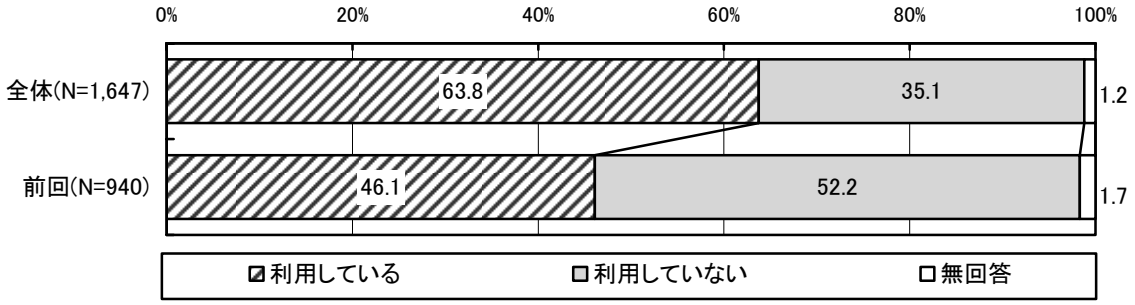
4　教育・保育事業の利用状況と利用意向

①　子どもを預かる施設やサービスの利用状況

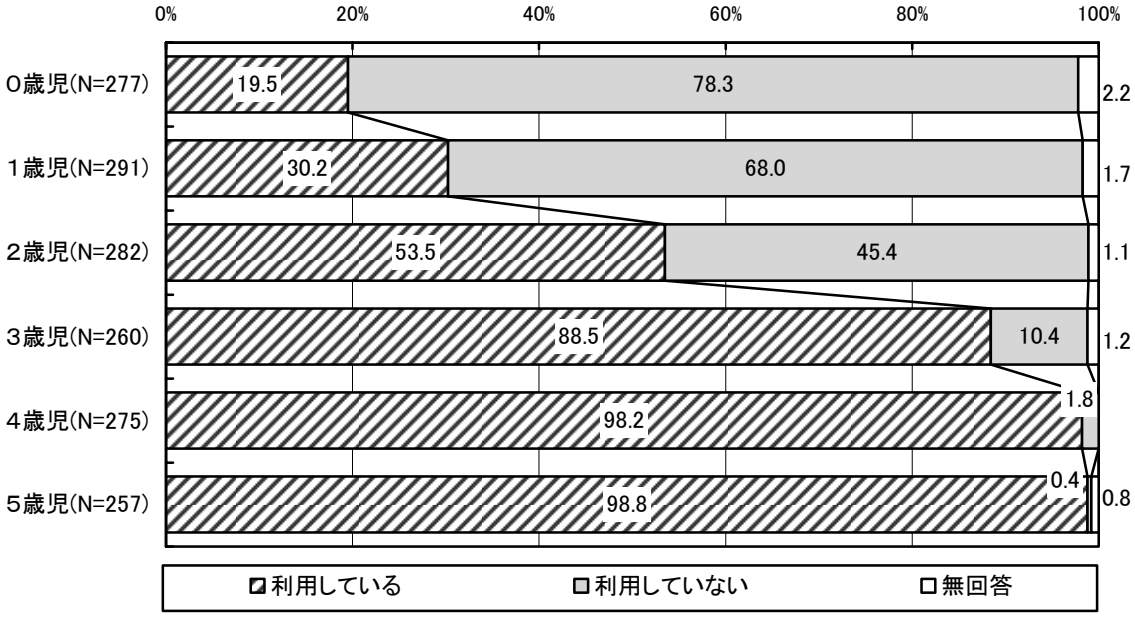
問９　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的」に利用されていますか。（どちらかに○）

- 全体では、「利用している」は63.8%で、前回調査より17.7ポイント増加しています。
- 子どもの年齢別では、「利用している」率は0歳児が19.5%で最も低く、年齢が上がるにしたがい上昇し、２歳児で53.5%と半数を超え、５歳児では98.8%とほぼ全員となっています。
- 地域別では、北西部が61.1%で若干低くなっています。

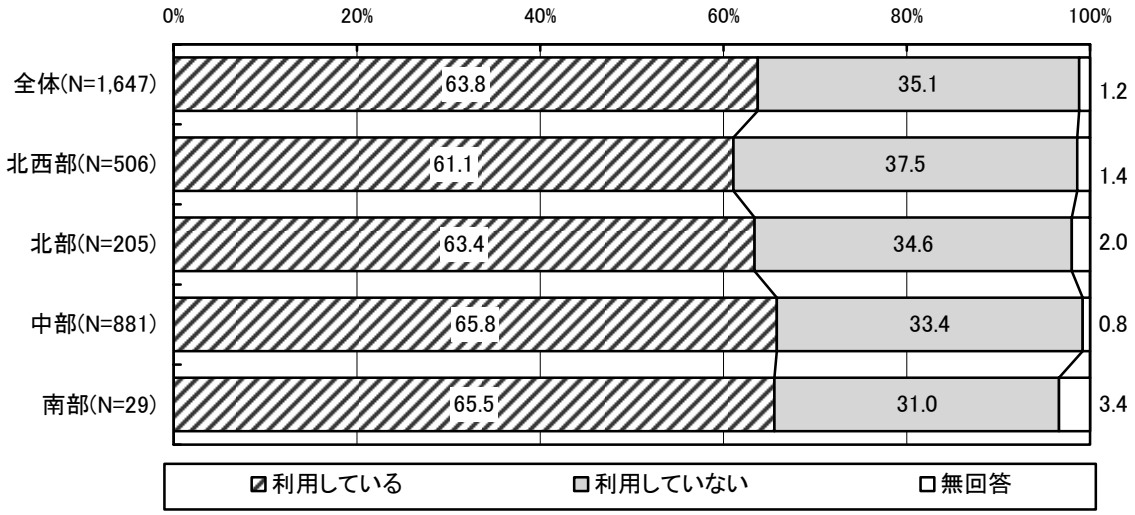
■子どもを預かる施設やサービスの利用状況／前回調査との比較



■子どもの年齢別　子どもを預かる施設やサービスの利用状況



■地域別　子どもを預かる施設やサービスの利用状況

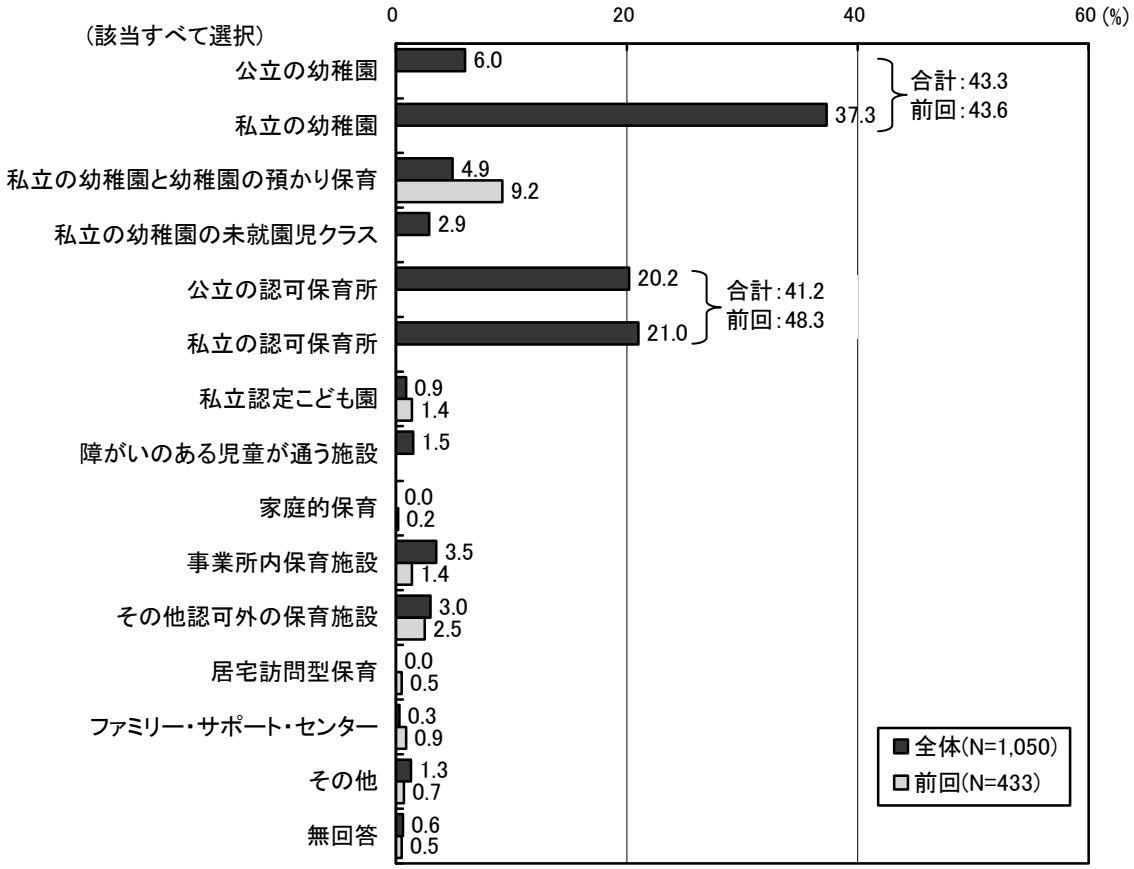


②　現在利用している子どもを預かる施設やサービス

問９－１　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。あて名のお子さんは、現在どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 利用施設やサービスの中では、「私立の幼稚園」が37.3%で最も高く、「公立の幼稚園」が6.0%で、公立と私立を合わせて【幼稚園】利用は43.3%で、前回調査と同程度でした。また、「私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」が4.9%、「私立の幼稚園の未就園児クラス」が2.9%となっています。
- 「私立の認可保育所」が21.0%、「公立の認可保育所」が20.2%で、公立と私立を合わせ【認可保育所】利用は41.2%で、前回調査の48.3%より減少しています。
- 幼稚園、認可保育所以外では、「事業所内保育施設」が3.5%、「その他認可外の保育施設」が3.0%、「障がいのある児童が通う施設」が1.5%、「私立認定こども園」が0.9%、「ファミリー・サポート・センター」が0.3%、「その他」が1.3%などです。

■現在利用している施設やサービス／前回調査との比較



注）前回調査では、公立・私立の区別がありません。
　また、「私立の幼稚園の未就園児クラス」「障がいのある児童が通う施設」は今回の新たな選択肢。

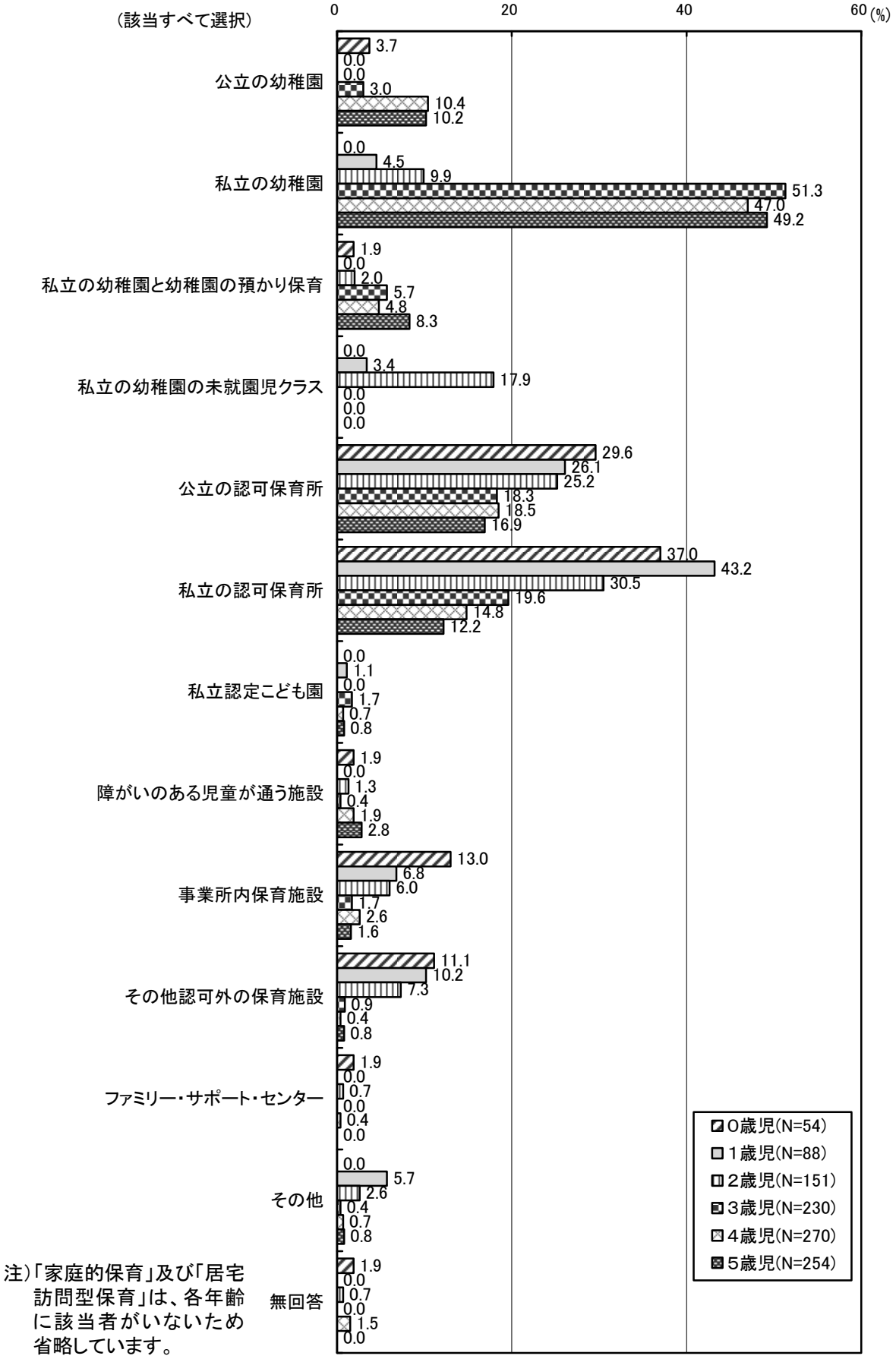
その他の内容は
　エンゼルハウス3件、インターナショナルスクール2件、ふたば幼児教室2件、託児所2件、統合保育、園庭開放、通園幼稚園（平日代休時、母就学のため、同地域私立保育園の一時保育）各1件

●子どもの年齢別では、0歳児から2歳児は、「私立の認可保育所」や「公立の認可保育所」の利用率が高く、「事業所内保育施設」や「その他認可外保育施設」も3歳以上児に比べて高くなっています。また、「私立の幼稚園の未就園児クラス」は2歳児が17.9%と高くなっています。3歳以上では、「私立の幼稚園」が50%程度と高く、「公立の幼稚園」は4歳児及び5歳児の利用が10%程度となっています。

●地域別では、「私立の幼稚園」はどの地域も30%を超えていますが、特に中部では39.7%と高くなっています。また、「公立の認可保育所」は北西部や北部が中部や南部よりも高く、私立の認可保育所は南部が36.8%と高くなっています。

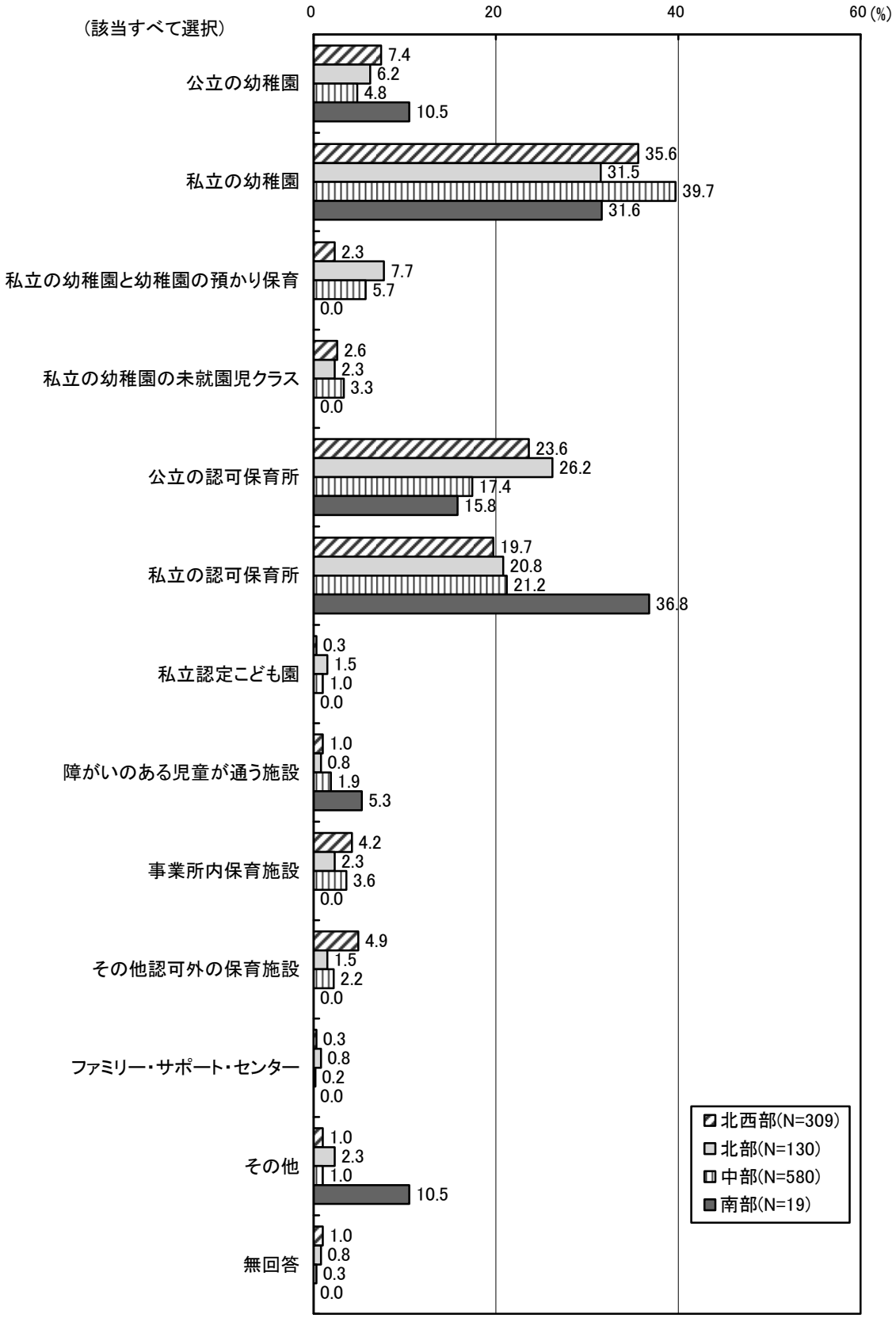
●親の就労状況等による世帯類型別では、ひとり親やフルタイム共働き、フルタイム・パート等共働き、その他の世帯では「公立の認可保育所」や「私立の認可保育所」の利用率が高く、専業主婦（主夫）は「私立の幼稚園」の利用率が高くなっています。また、フルタイム共働き、フルタイム・パート等共働きの【幼稚園及び幼稚園の預かり保育】利用率は、それぞれ11.3%、41.6%となっています。

■子どもの年齢別　現在利用している施設やサービス



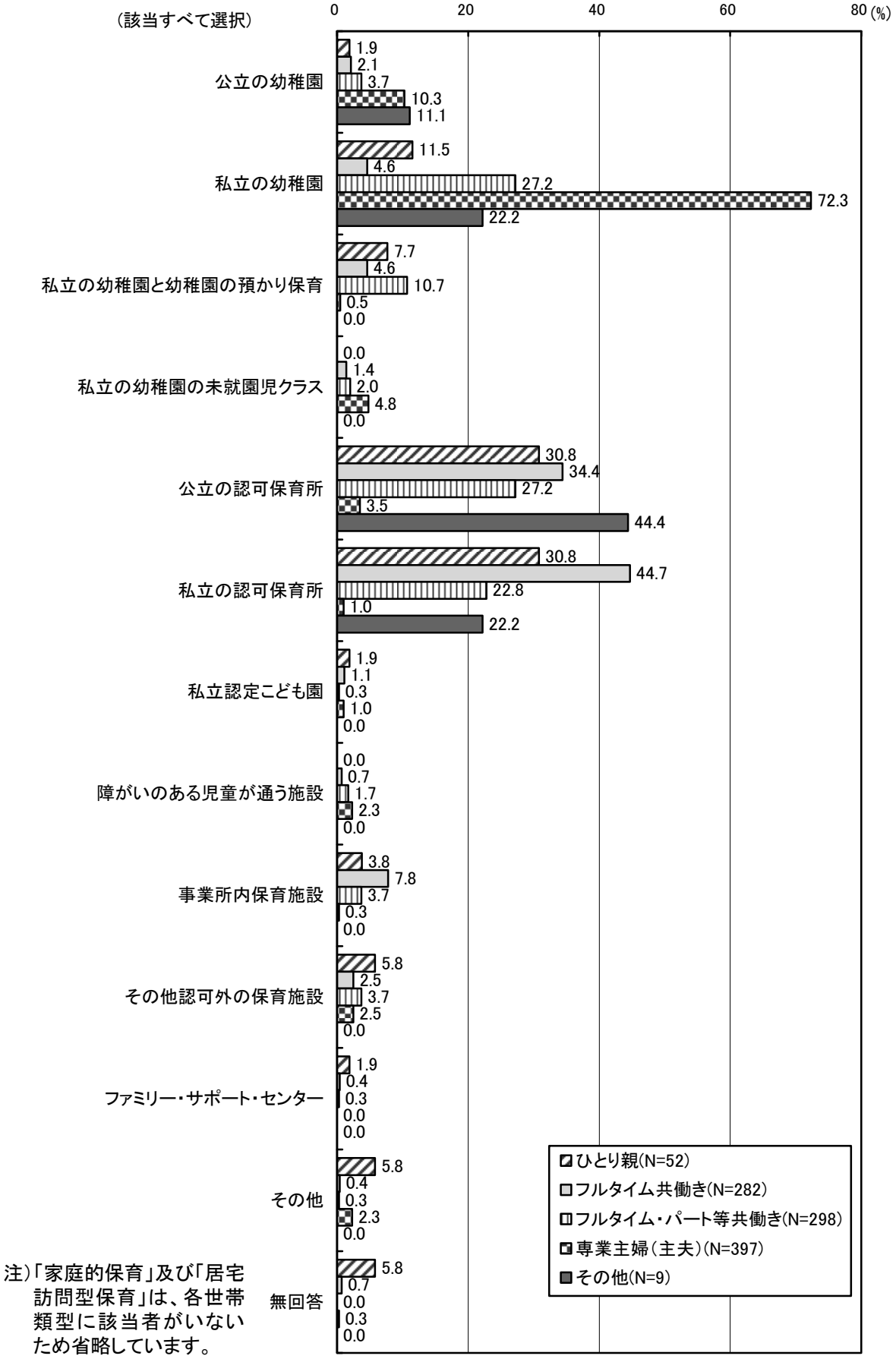
注)「家庭的保育」及び「居宅訪問型保育」は、各年齢に該当者がいないため省略しています。

■地域別　現在利用している施設やサービス



注)「家庭的保育」及び「居宅訪問型保育」は、各地域に該当者がいないため省略しています。

■親の就労状況等による世帯類型別　現在利用している施設やサービス



注）「家庭的保育」及び「居宅訪問型保育」は、各世帯類型に該当者がいないため省略しています。

●今回の調査では、利用している施設やサービスの複数回答を可としています。複数の施設やサービスをあげたのは34件で、その内訳は次表のとおりです。「私立の幼稚園」と「事業所内保育施設」が10件で最も多く、このほかにも「事業所内保育施設」との重複利用は5件となっています。

■教育・保育の施設やサービスの重複利用の状況

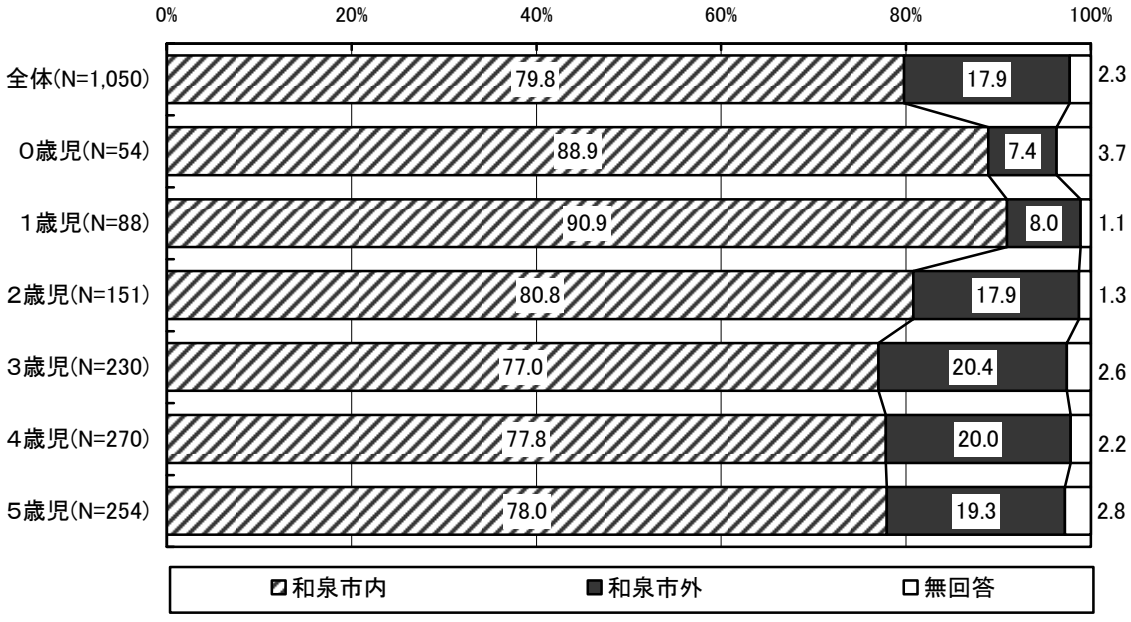
重複利用のパターン	件数
「私立の幼稚園」と「事業所内保育施設」	10
「公立の認可保育所」と「障がいのある児童が通う施設」	3
「私立の幼稚園」と「障がいのある児童が通う施設」	2
「私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」と「事業所内保育施設」	2
「私立の認可保育所」と「事業所内保育施設」	2
「私立の幼稚園」と「公立の認可保育所」	1
「私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」と「障がいのある児童が通う施設」	1
「私立の幼稚園の未就園児クラス」と「その他認可外の保育施設」	1
「私立の幼稚園」と「ファミリー・サポート・センター」	1
「私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」と「その他」	1
「私立の幼稚園」と「その他」	1
「公立の幼稚園」と「その他」	1
「公立の認可保育所」と「事業所内保育施設」	1
「公立の認可保育所」と「その他認可外の保育施設」	1
「公立の認可保育所」と「その他」	1
「私立の認可保育所」と「障がいのある児童が通う施設」	1
「私立の認可保育所」と「ファミリー・サポート・センター」	1
「私立の認可保育所」と「その他」	1
「私立認定こども園」と「その他」	1
「事業所内保育施設」と「ファミリー・サポート・センター」	1
計	34

③　現在利用している子どもを預かる施設の場所

問９－２　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。現在利用されている保育所や幼稚園等の施設はどこにありますか。どちらかに○をつけ、市外の場合は市町名もご記入ください。

- 子どもを預かる施設の場所は、「和泉市内」が79.8%、「和泉市外」が17.9%となっています。
- 私立認定こども園及び障がいのある児童が通う施設は、「和泉市外」が100.0%で、この他には、事業所内保育施設、私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育なども「和泉市外」が相対的に高くなっています。
- 子どもの年齢別では、０歳児及び１歳児は「和泉市内」がおよそ90%で、他の年齢児よりも高くなっています。
- 地域別では、「和泉市外」は中部が26.9%で最も高くなっています。
- 利用施設・サービス別では、「和泉市外」の割合が高いのは、「私立認定こども園」及び「障がいのある児童が通う施設」で、それぞれ100%となっています。他には「事業所内保育施設」が54.5%、「私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」が46.0%、「私立の幼稚園の未就園児クラス」が43.3%などとなっています。

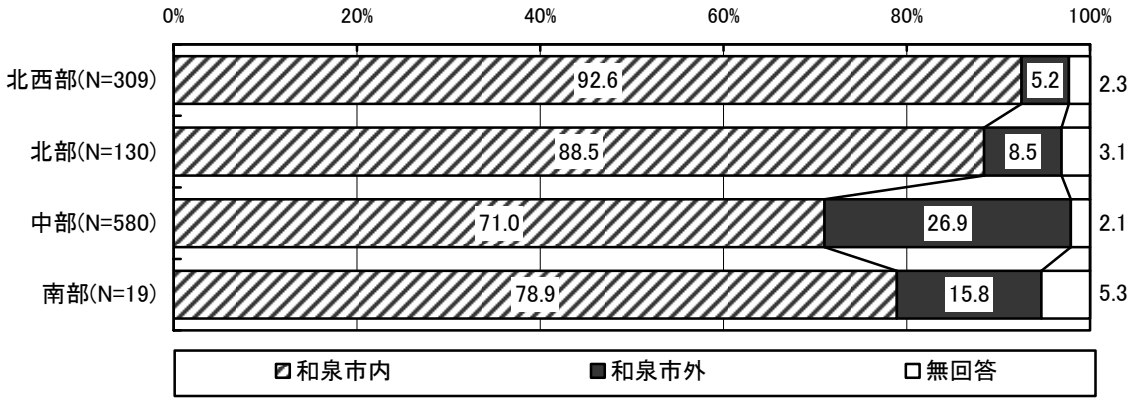
■子どもの年齢別　子どもを預かる施設の場所



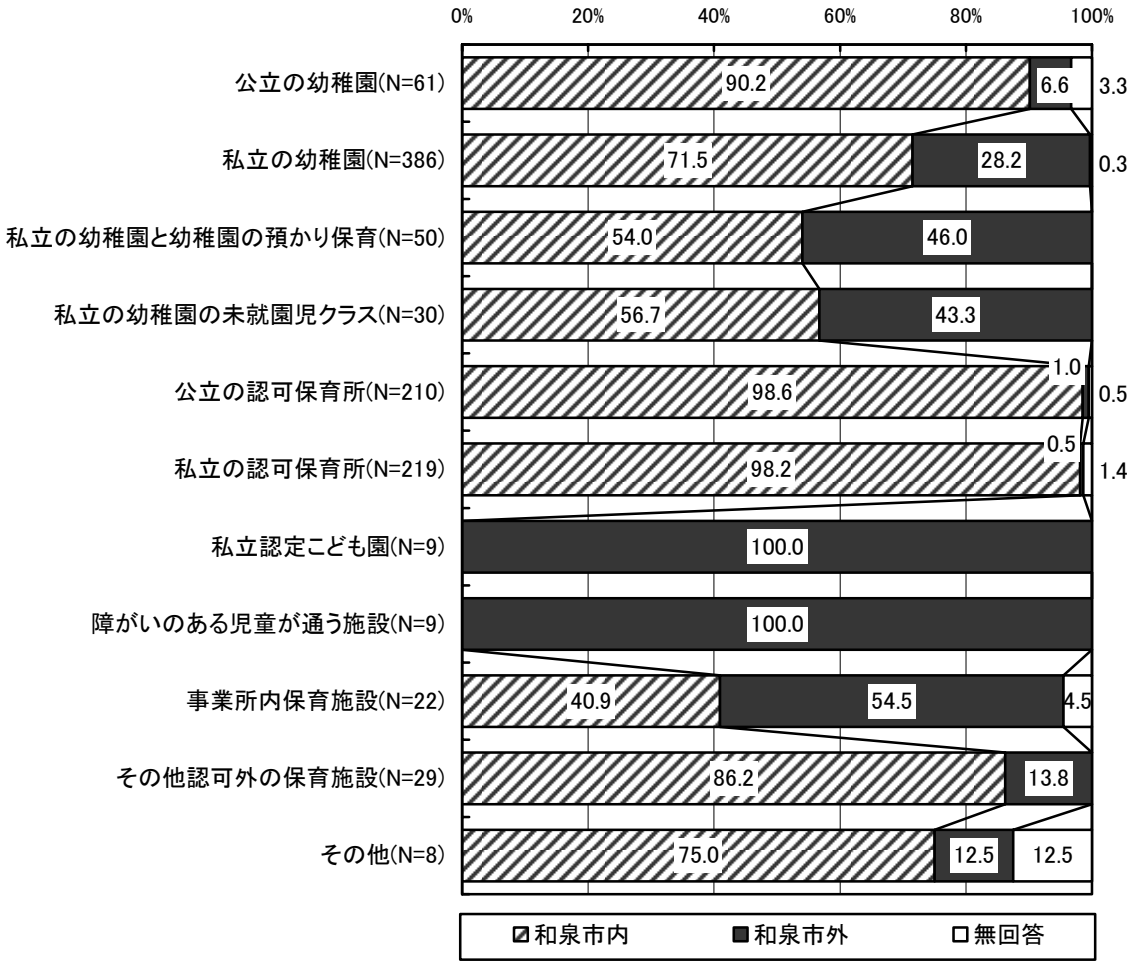
＜和泉市外の内訳＞

堺市（151件）、泉大津市（16件）、貝塚市（7件）、高石市（3件）、岸和田市（3件）、大阪市（2件）
泉佐野市・富田林市（各1件）

■地域別　子どもを預かる施設の場所



■利用施設・サービス別　子どもを預かる施設の場所（１つ目の選択）

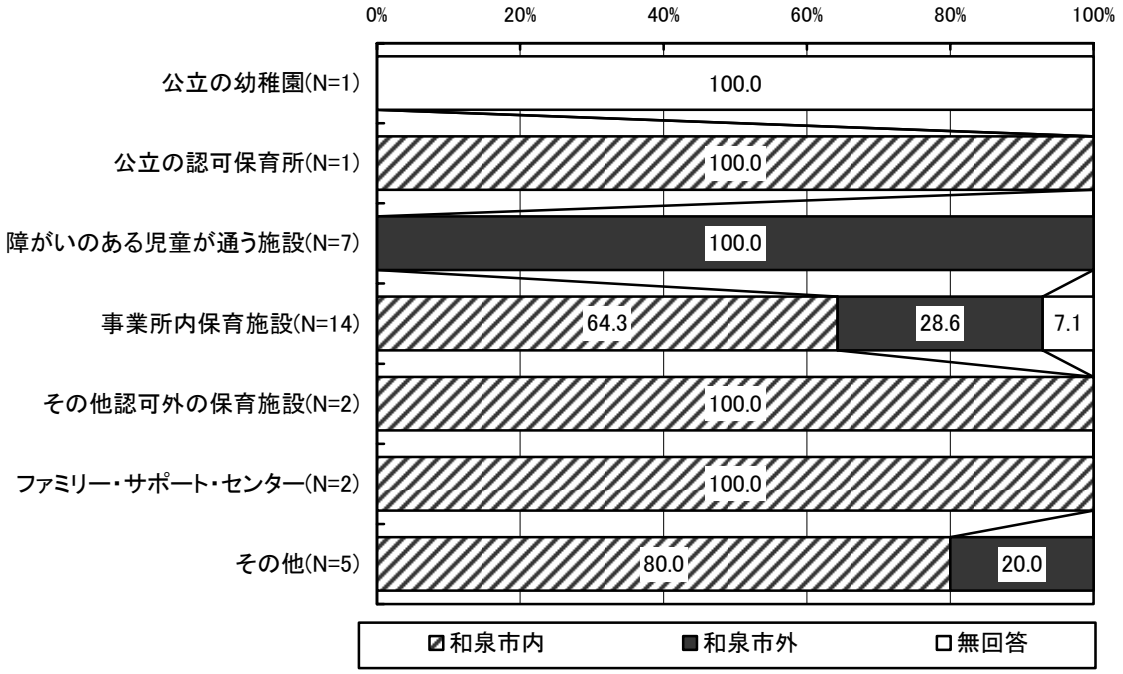


※「家庭的保育」「居宅訪問型保育」は利用がなく、また、「ファミリー・サポート・センター」については施設の場所の回答がないため省略しています。

■利用施設・サービス別　市外利用施設の具体的な場所（市町名）

施設・サービスの種類	具体的な市町名　（ ）内は件数
公立の幼稚園	泉大津市(3)、堺市(1)
私立の幼稚園	堺市(103)、高石市(2)、大阪市(1)
私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育	堺市(22)
私立幼稚園の未就園児クラス	堺市(12)、高石市(1)
公立の認可保育所	堺市(1)、泉佐野市(1)
私立の認可保育所	堺市(1)
私立認定こども園	堺市(6)、泉大津市(2)
障がいのある児童が通う施設	貝塚市(7)、堺市(2)、岸和田市(1)　※1件重複記載
事業所内保育施設	泉大津市(6)、堺市(2)、岸和田市(2)、富田林市(1)
その他の認可外保育施設	泉大津市(3)
その他	堺市(1)

■利用施設・サービス別　子どもを預かる施設の場所（２つ目選択）



■利用施設・サービス別　市外利用施設の具体的な場所（市町名）

施設・サービスの種類	具体的な市町名　（ ）内は件数
障がいのある児童が通う施設	貝塚市(6)、大阪市(1)
事業所内保育施設	堺市(2)、泉大津市(1)、貝塚(1)
その他	高石市(1)

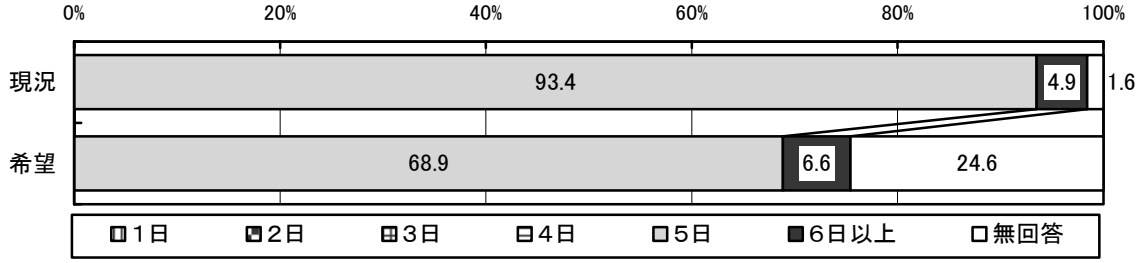
④　子どもを預かる施設やサービスの現在の利用時間等と利用希望

問９－３　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの施設やサービスを、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。問９－１で○をつけた事業ごとに１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（　　）内に具体的な数字でご記入ください。時間は必ず（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

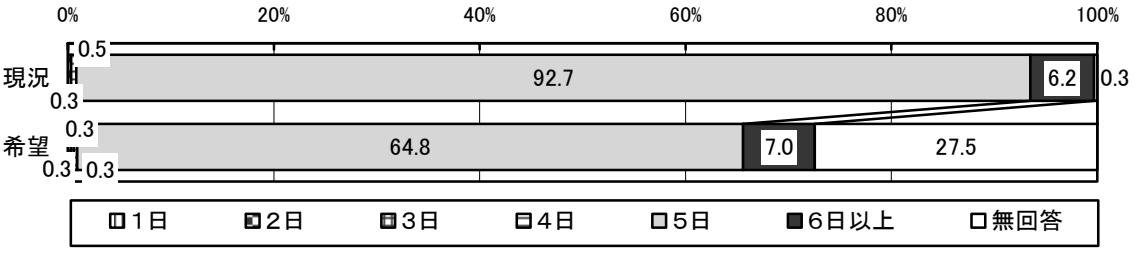
- 幼稚園や認可保育所、認定こども園は１週当たり「５日」及び「６日以上」の利用が多くなっていますが、その他の施設やサービスでは、「１日」から「４日」までの利用も少なからずあります。特に私立の幼稚園の未就園児クラスでは、【３日以内】が66.7%と高くなっています。
- 利用日数の希望は無回答が多く、一概には言えませんが、私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育では、「６日以上」が現況の4.0%から希望が14.0%と高くなっています。

■施設やサービス別　１週当たりの利用日数と希望日数（１つ目の選択のみグラフ化）

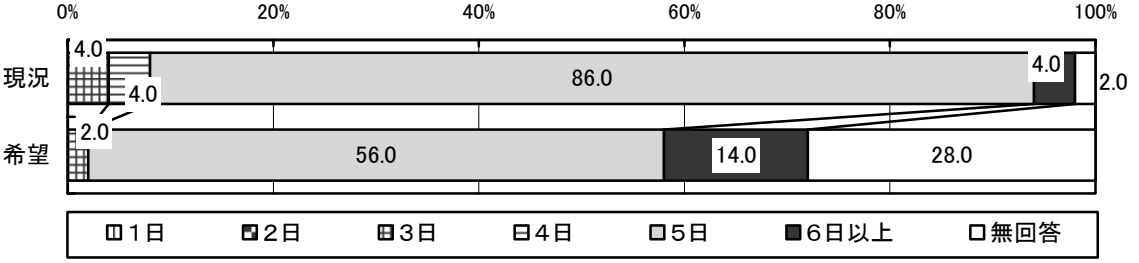
＜公立の幼稚園（N=61）＞



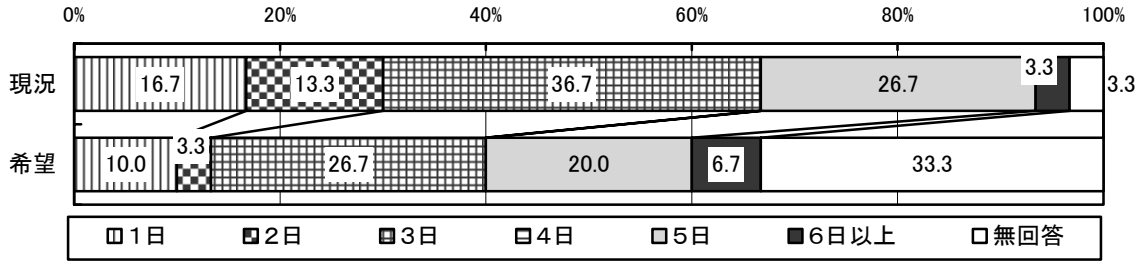
＜私立の幼稚園（N=386）＞



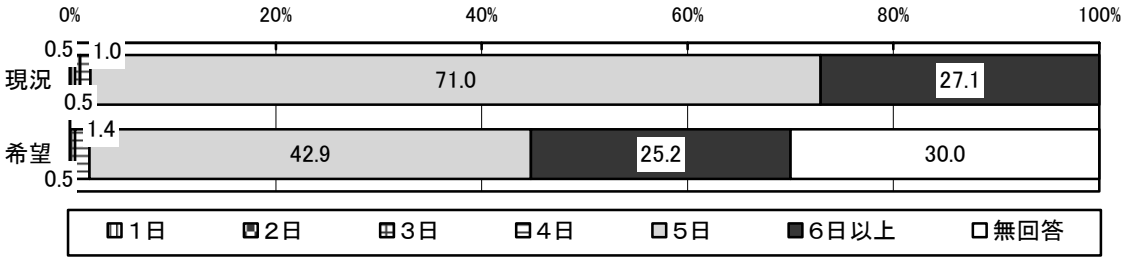
＜私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（N=50）＞



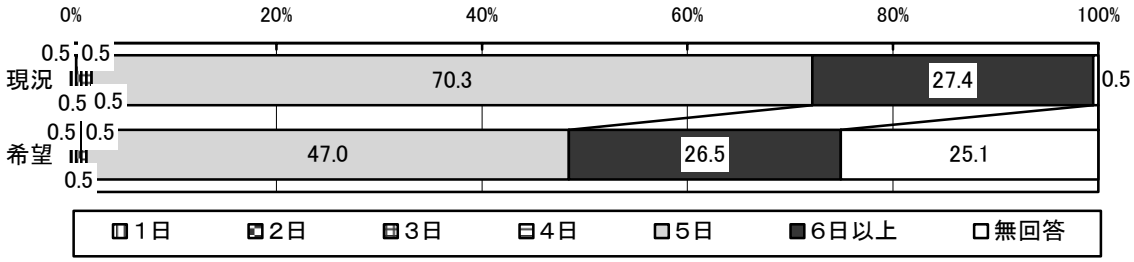
＜私立の幼稚園の未就園児クラス（N=30）＞



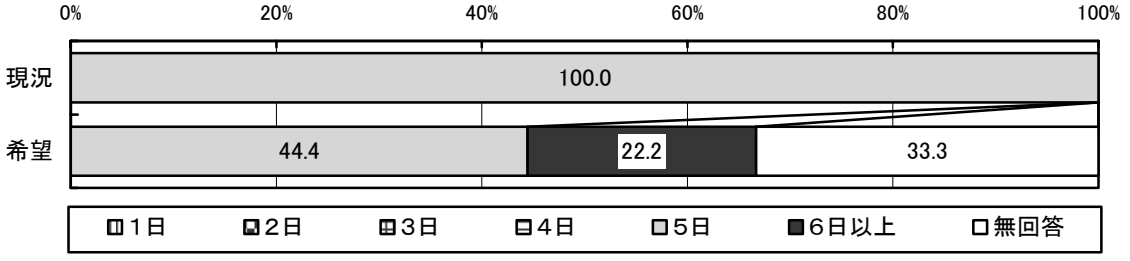
＜公立の認可保育所（N=210）＞



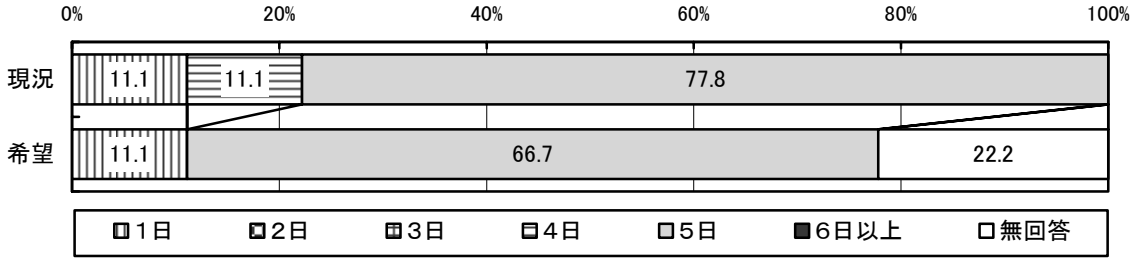
＜私立の認可保育所（N=219）＞



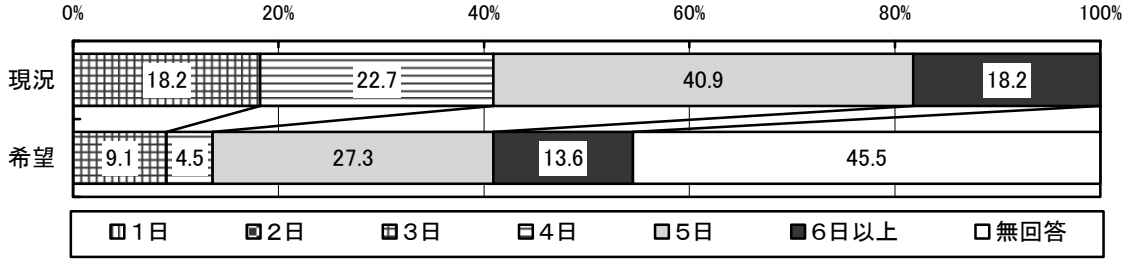
＜私立認定こども園（N=9）＞



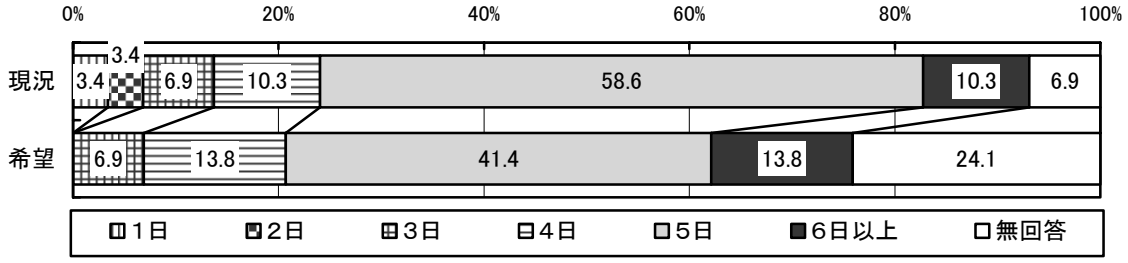
＜障がいのある児童が通う施設（N=9）＞



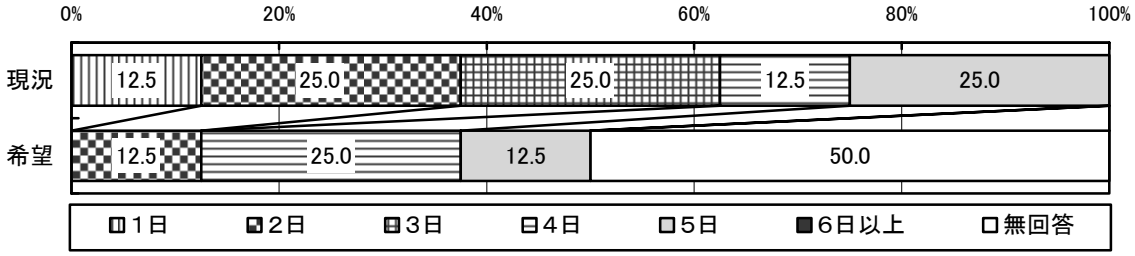
＜事業所内保育施設（N=22）＞



＜その他認可外の保育施設（N=29）＞



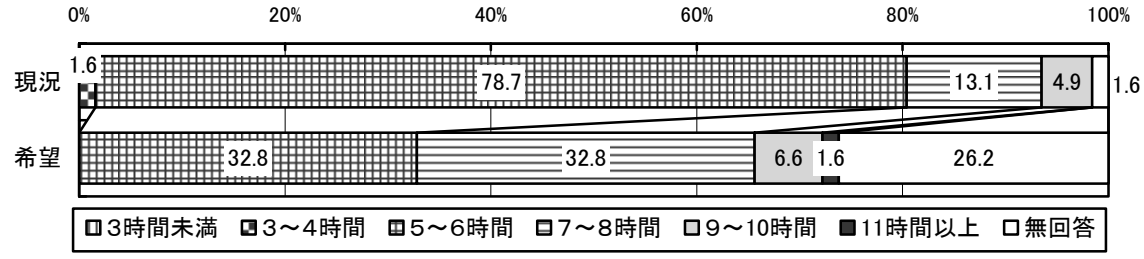
＜その他（N=8）＞



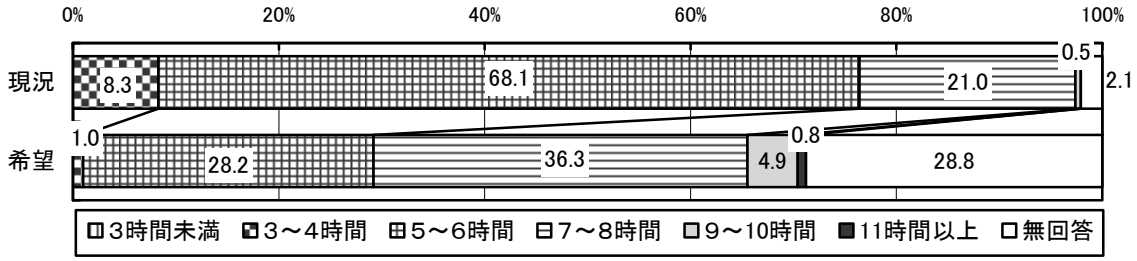
●１日当たりの利用時間では、幼稚園では「５～６時間」が最も高く、認可保育所では「９～10時間」が高くなっています。
●利用時間の希望は無回答が多く、一概には言えませんが、幼稚園では「７～８時間」及びそれ以上の割合が高くなり、幼稚園の預かり保育では、「９～10時間」及び「11時間以上」が、認可保育所では「11時間以上」が高くなっています。

■施設やサービス別　１日当たりの利用時間と希望時間（１つ目の選択のみグラフ化）

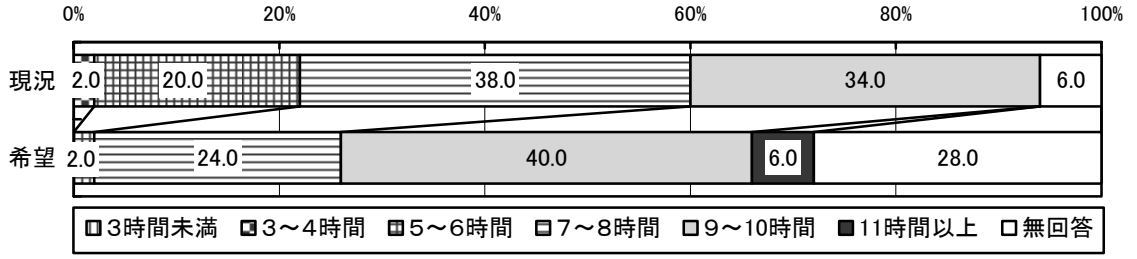
＜公立の幼稚園（N=61）＞



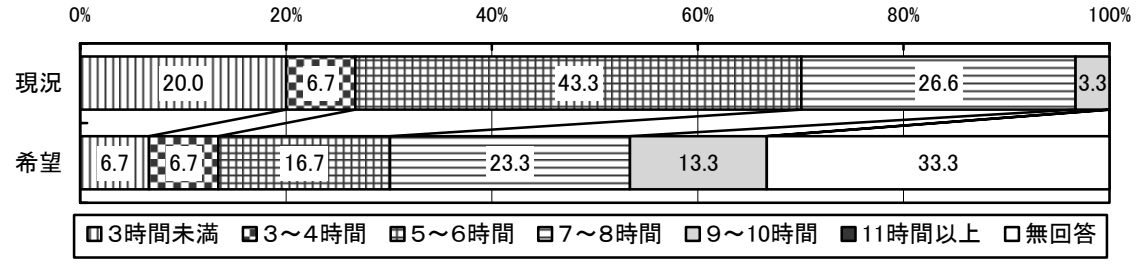
＜私立の幼稚園（N=386）＞



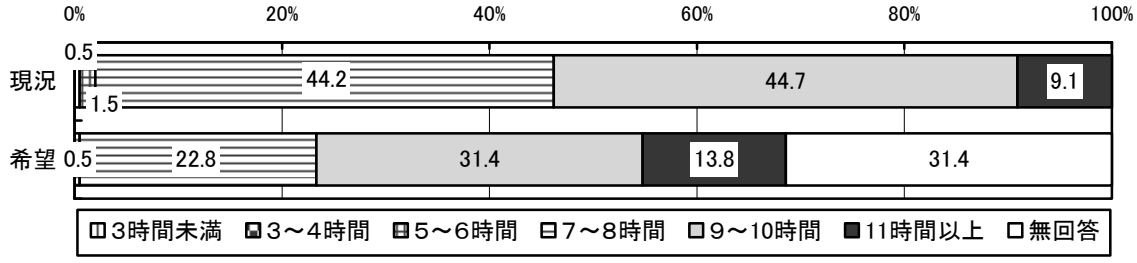
＜私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（N=50）＞



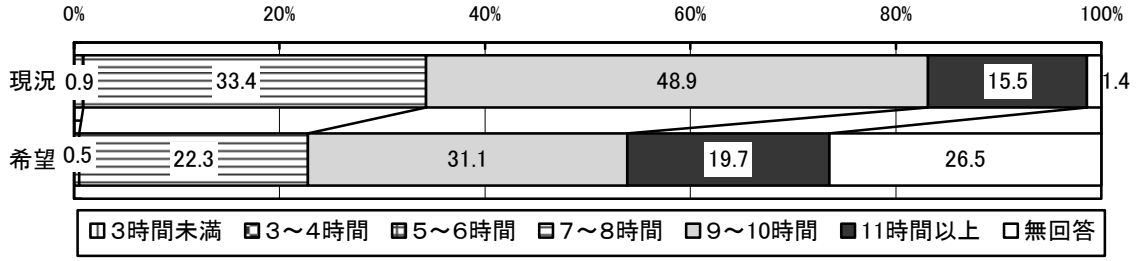
＜私立の幼稚園の未就園児クラス（N=30）＞



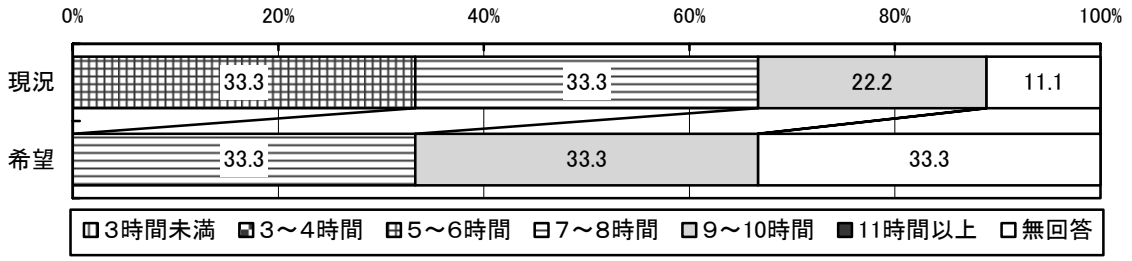
＜公立の認可保育所（N=210）＞



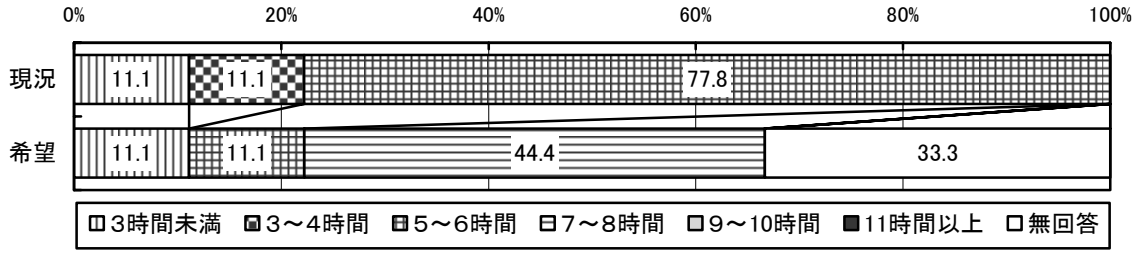
＜私立の認可保育所（N=219）＞



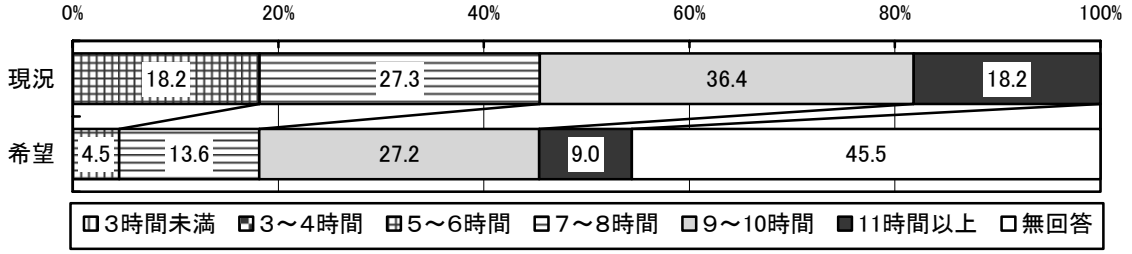
＜私立認定こども園（N=9）＞



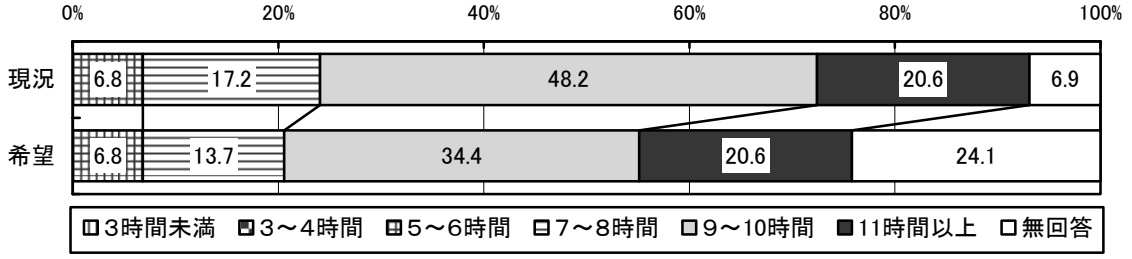
＜障がいのある児童が通う施設（N=9）＞



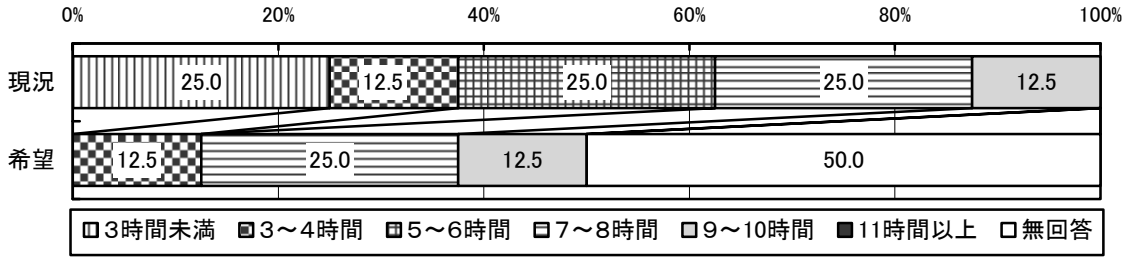
＜事業所内保育施設（N=22）＞



＜その他認可外の保育施設（N=29）＞



＜その他（N=8）＞

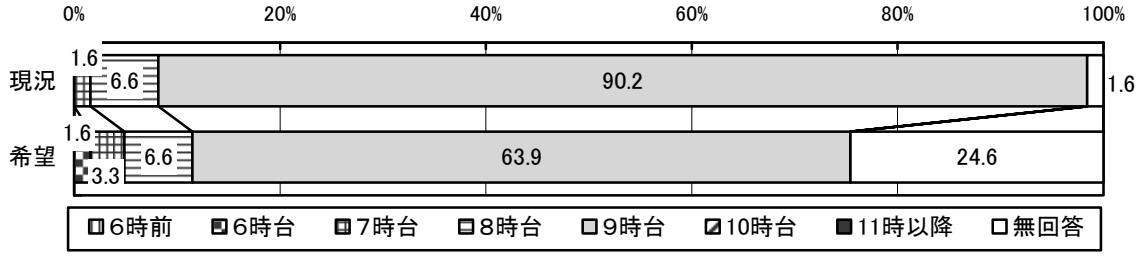


●利用開始時間では、幼稚園では「９時台」が最も高くなっていますが、私立の幼稚園の預かり保育利用者は「８時台」が56.0%と高くなっています。認可保育所も「８時台」が最も高くなっていますが、「７時台」が公立で16.2%、私立で19.6%となっています。

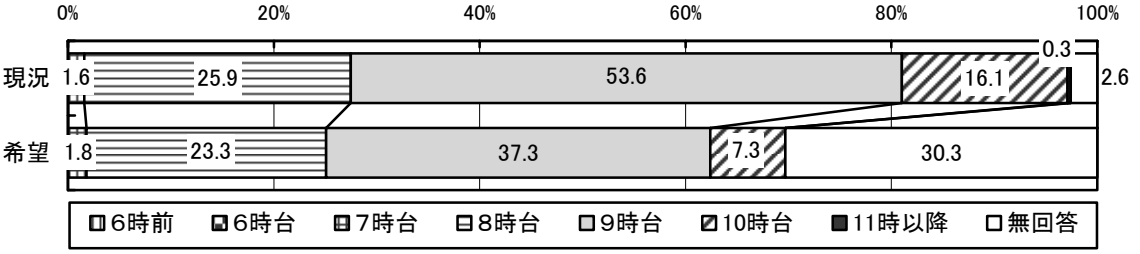
●利用開始時間は、幼稚園でも「６時台」や「７時台」の希望がみられます。

■施設やサービス別　利用開始時間と希望開始時間（１つ目の選択のみグラフ化）

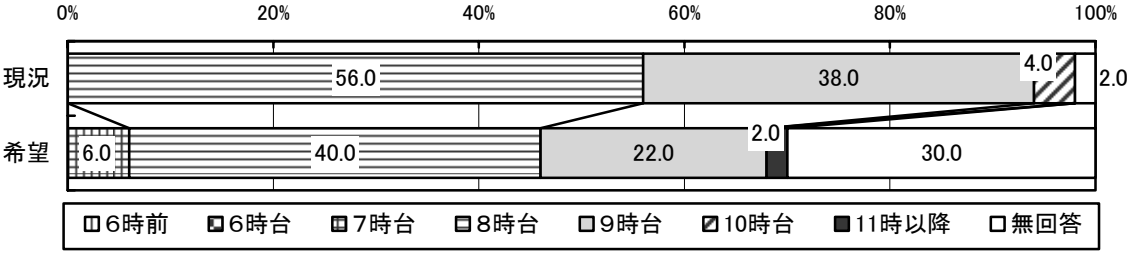
＜公立の幼稚園（N=61）＞



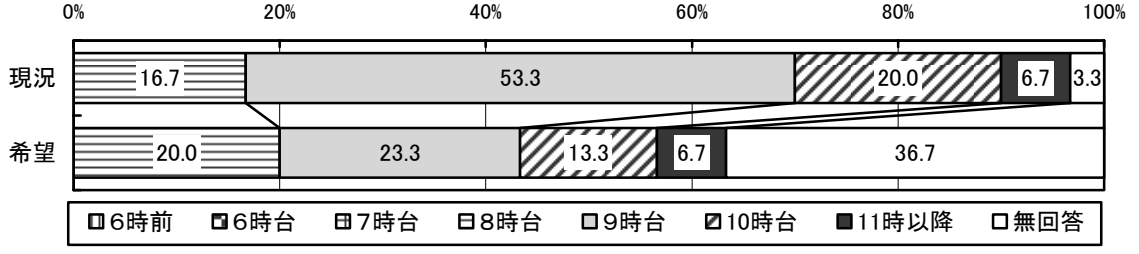
＜私立の幼稚園（N=386）＞



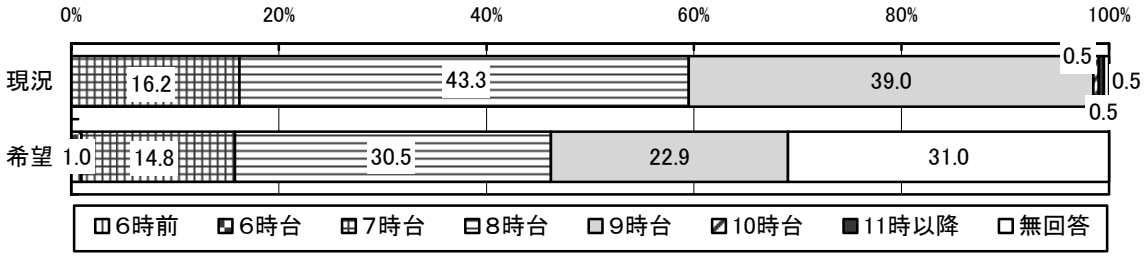
＜私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（N=50）＞



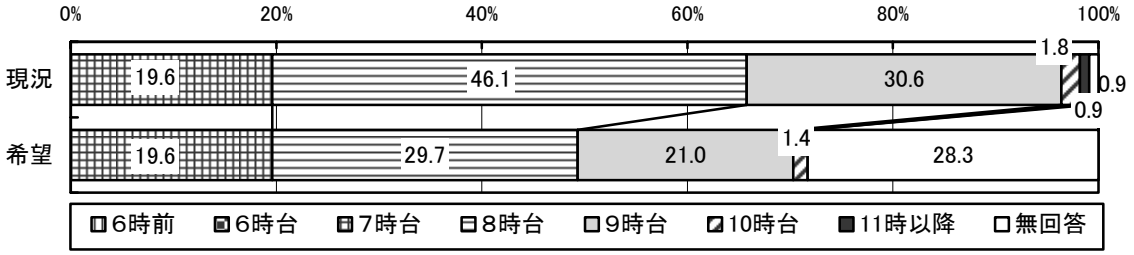
＜私立の幼稚園の未就園児クラス（N=30）＞



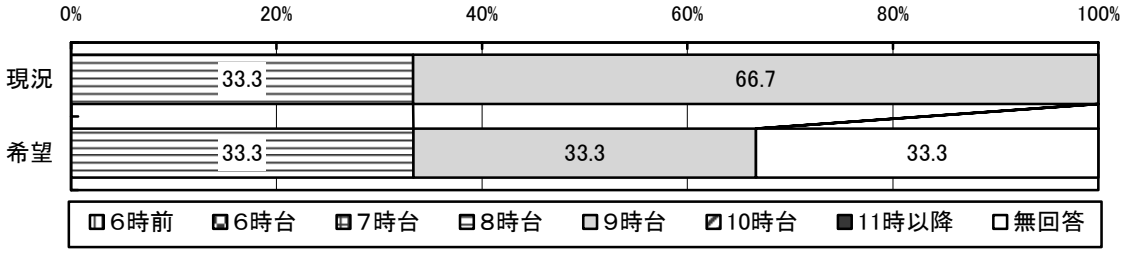
＜公立の認可保育所（N=210）＞



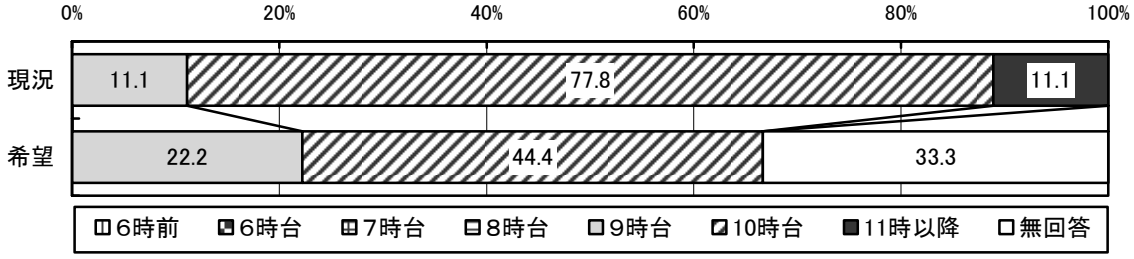
＜私立の認可保育所（N=219）＞



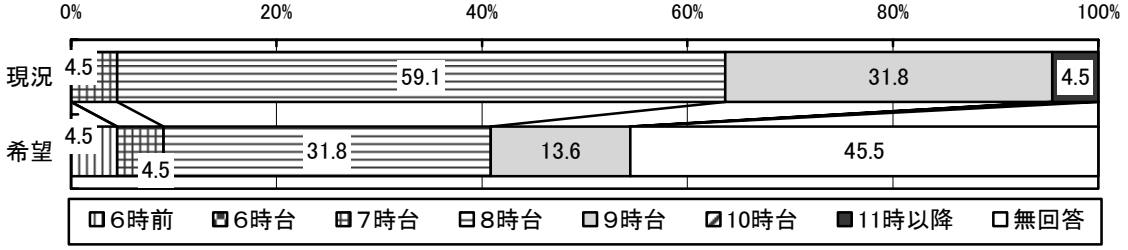
＜私立認定こども園（N=9）＞



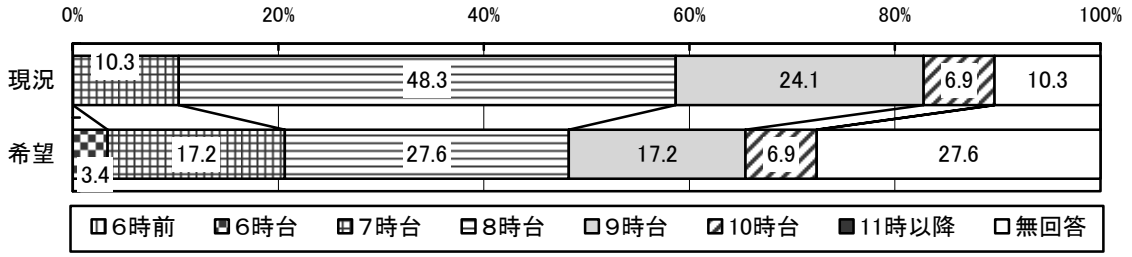
＜障がいのある児童が通う施設（N=9）＞



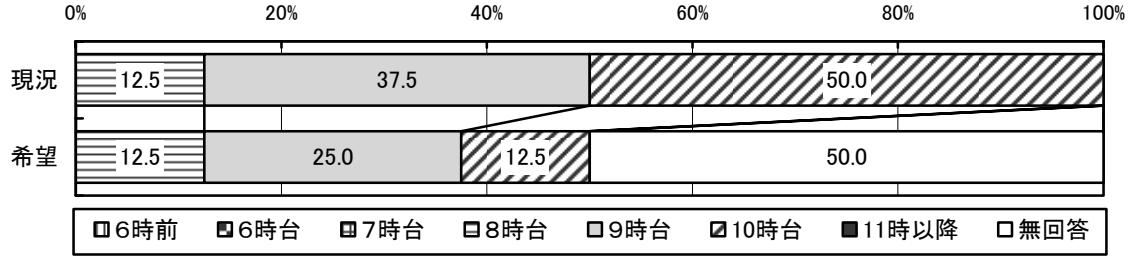
＜事業所内保育施設（N=22）＞



＜その他認可外の保育施設（N=29）＞



＜その他（N=8）＞

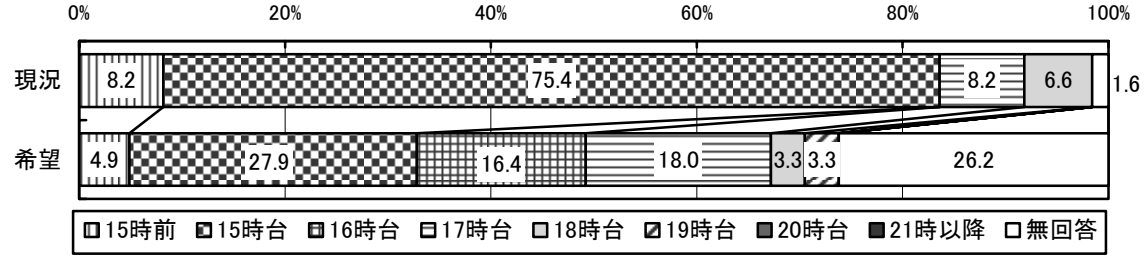


●利用終了時間では、公立の幼稚園では「15時台」が最も高く、私立の幼稚園は「15時前」と「15時台」が同程度、公立の認可保育所は「17時台」が最も高く、私立の保育所は「17時台」と「18時台」が同程度で高くなっています。

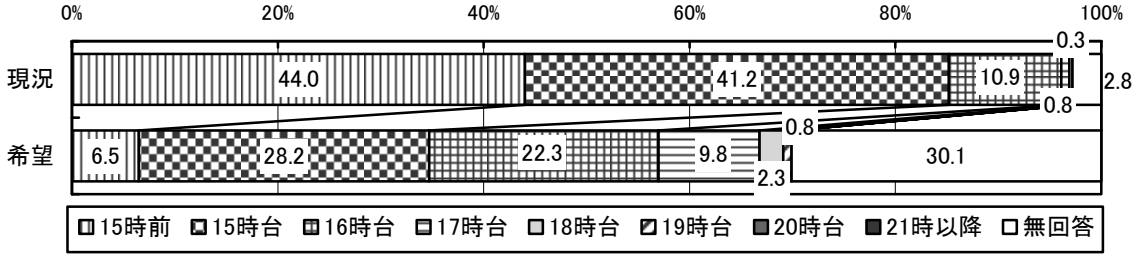
●利用終了時間の希望は、幼稚園では【16時以降】、認可保育所では【19時以降】が現在よりも高くなっています。また、私立幼稚園の預かり保育利用者は、「18時台」及び「19時台」が合わせて42.0%で、現在の「18時台」の22.0%のおよそ２倍となっています。

■施設やサービス別　利用終了時間と希望終了時間（１つ目の選択のみグラフ化）

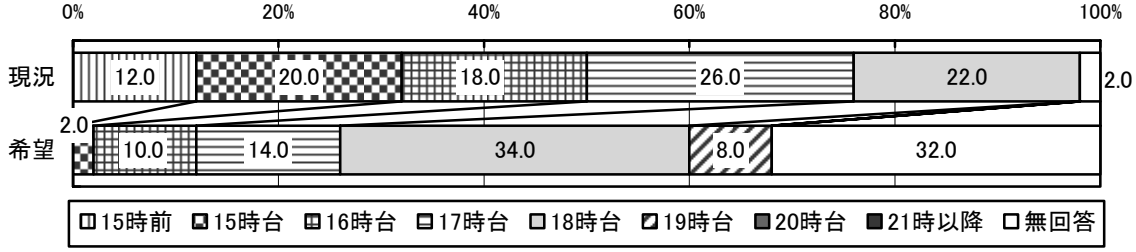
＜公立の幼稚園（N=61）＞



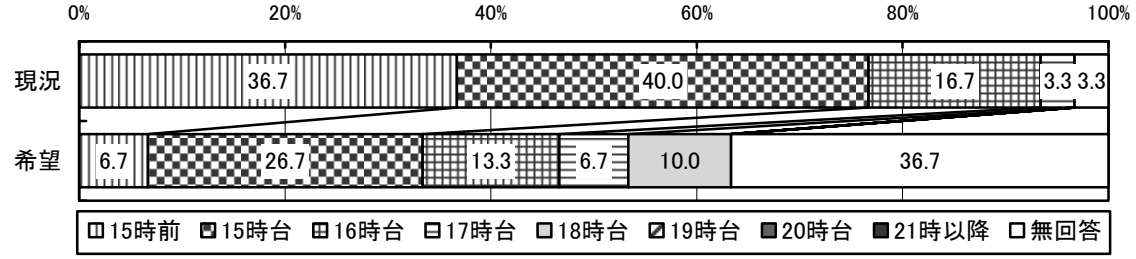
＜私立の幼稚園（N=386）＞



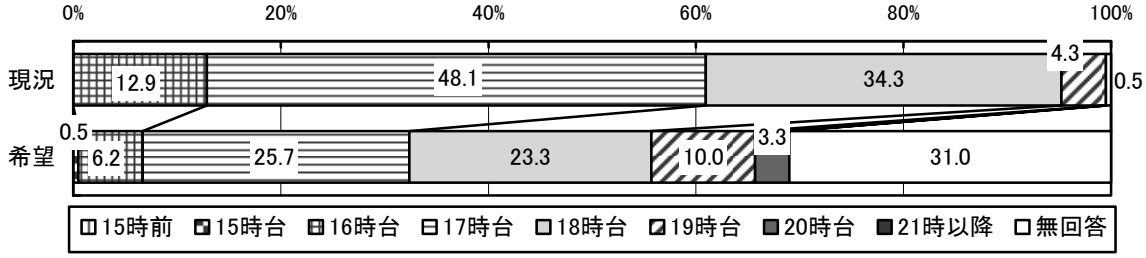
＜私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（N=50）＞



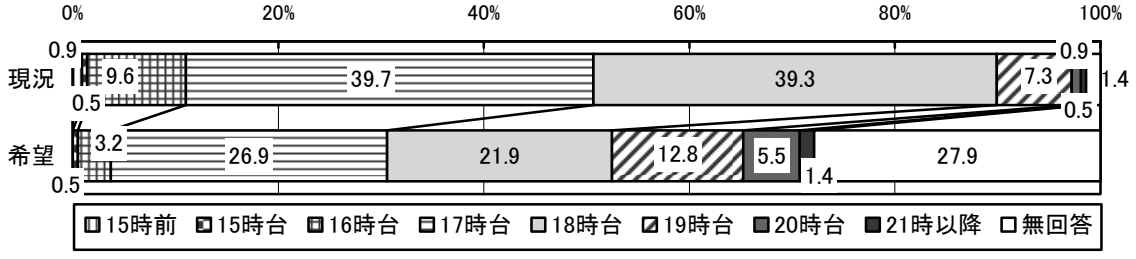
＜私立の幼稚園の未就園児クラス（N=30）＞



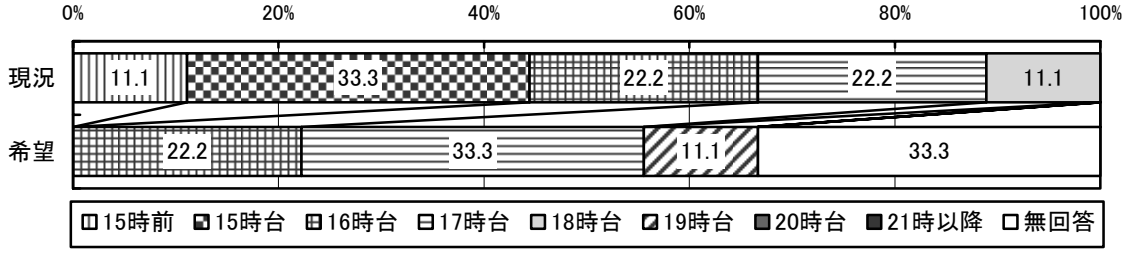
＜公立の認可保育所（N=210）＞



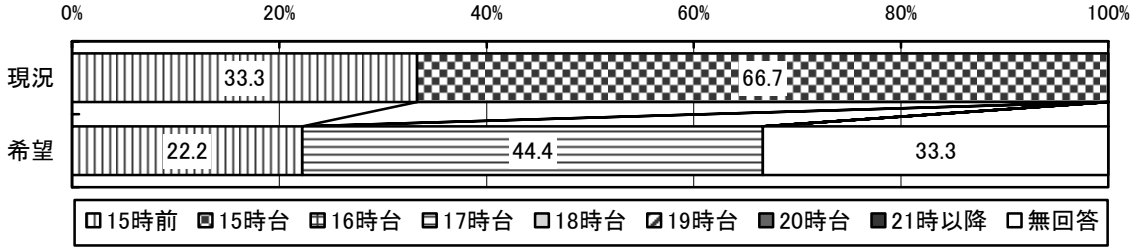
＜私立の認可保育所（N=219）＞



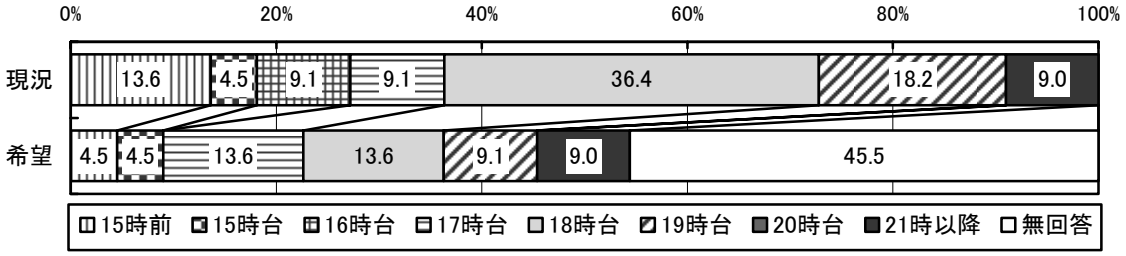
＜私立認定こども園（N=9）＞



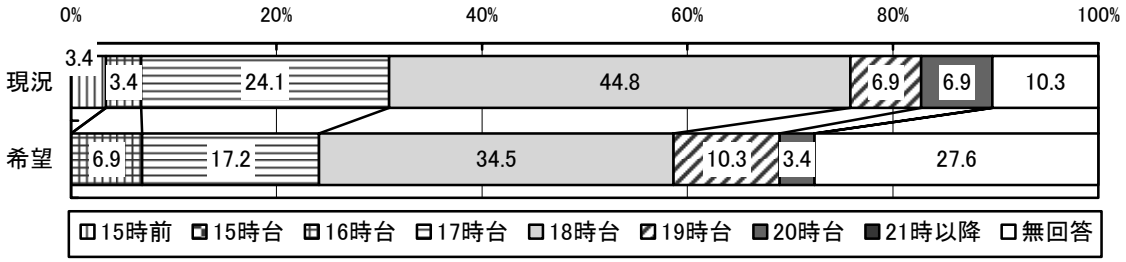
＜障がいのある児童が通う施設（N=9）＞



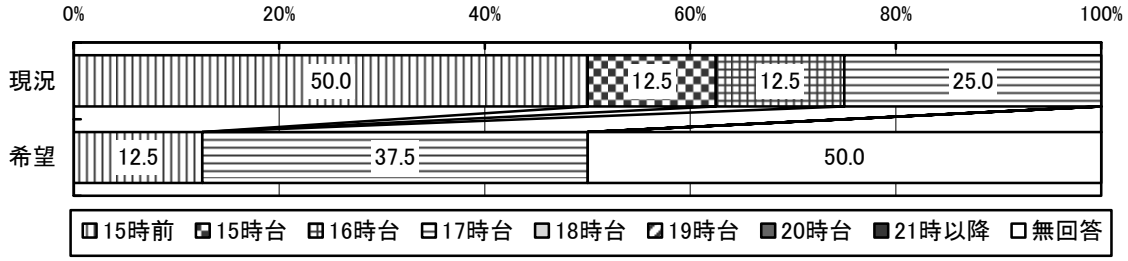
＜事業所内保育施設（N=22）＞



＜その他認可外の保育施設（N=29）＞



＜その他（N=8）＞

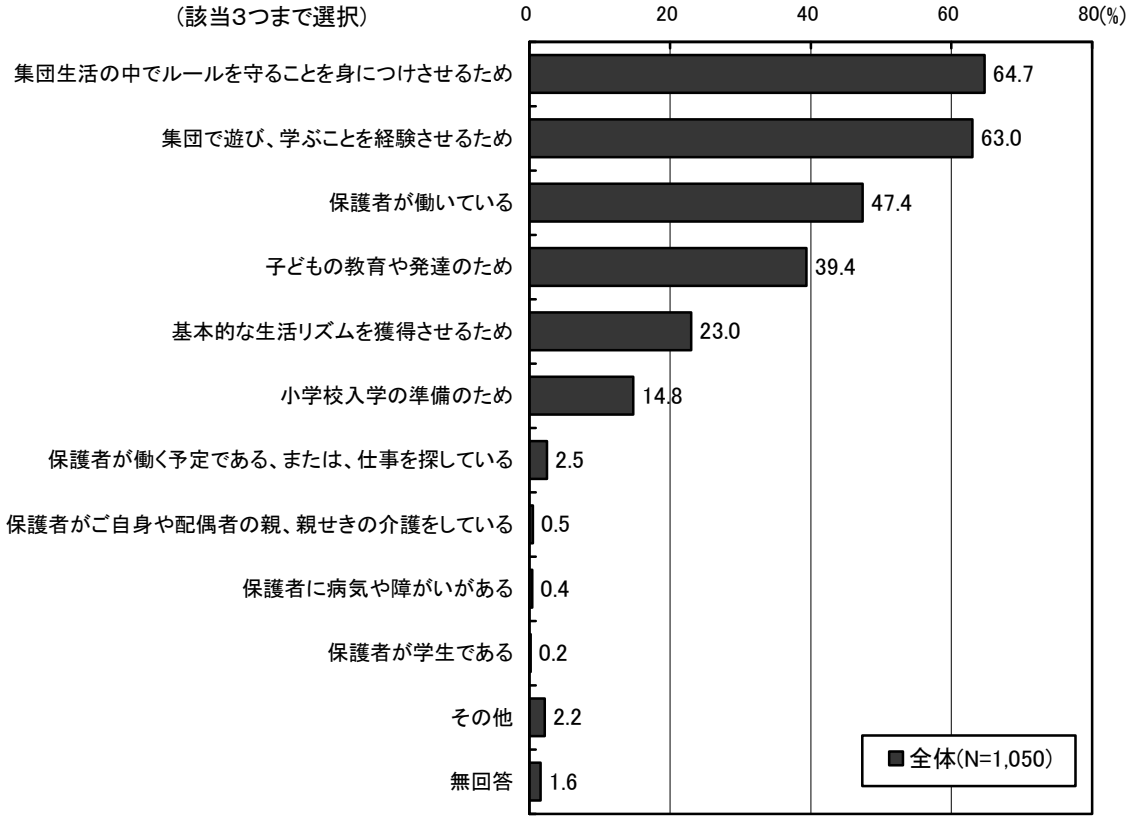


⑤　定期的に施設やサービスを利用している理由

問９－４　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用しているのは、どのような理由ですか。（あてはまるもの３つまで○）

●施設やサービスを利用している主な理由は、「集団生活の中でルールを守ることを身につけさせるため」が64.7%、「集団で遊び、学ぶことを経験させるため」が63.0%と並んで高く、次いで「保護者が働いている」が47.4%、「子どもの教育や発達のため」が39.4%などとなっています。

■定期的に施設やサービスを利用している理由



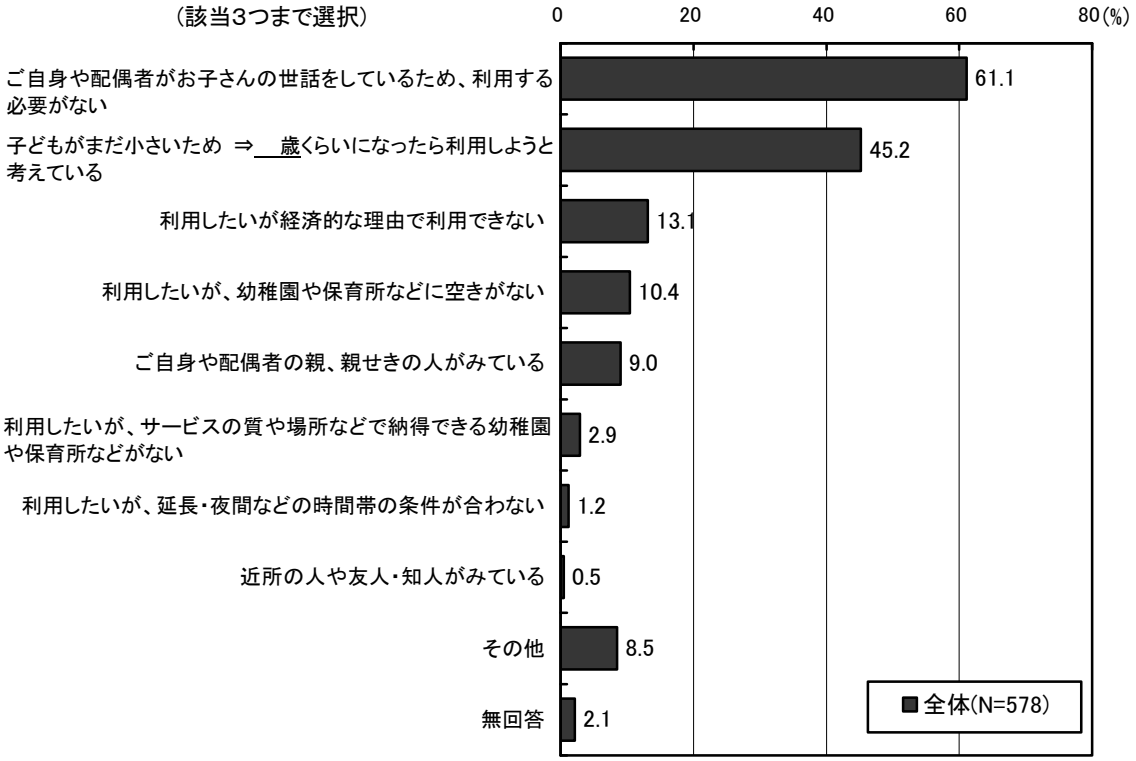
⑥　定期的に施設やサービスを利用していない理由

問９－５　問９で「２．利用していない」に○をつけた方におうかがいします。平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していないのは、どのような理由ですか。（あてはまるもの３つまで○）

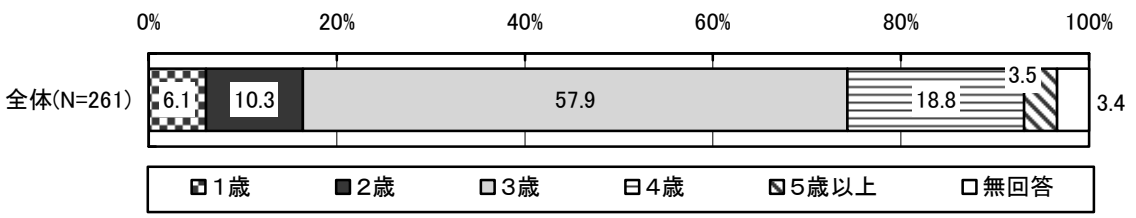
●施設やサービスを利用していない主な理由は、「ご自身や配偶者がお子さんの世話をしているため、利用する必要がない」が61.1％で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため⇒　　歳くらいになったら利用しようと考えている」（45.2％）、「利用したいが経済的な理由で利用できない」（13.1％）、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」（10.4％）、「ご自身や配偶者の親、親せきの人がみている」（9.0％）などとなっています。

●「子どもがまだ小さいため⇒　　歳くらいになったら利用しようと考えている」の年齢は、「3歳」が57.9％で最も高くなっています。

■定期的に施設やサービスを利用していない理由



■子どもが何歳くらいになったら預けようと考えているか

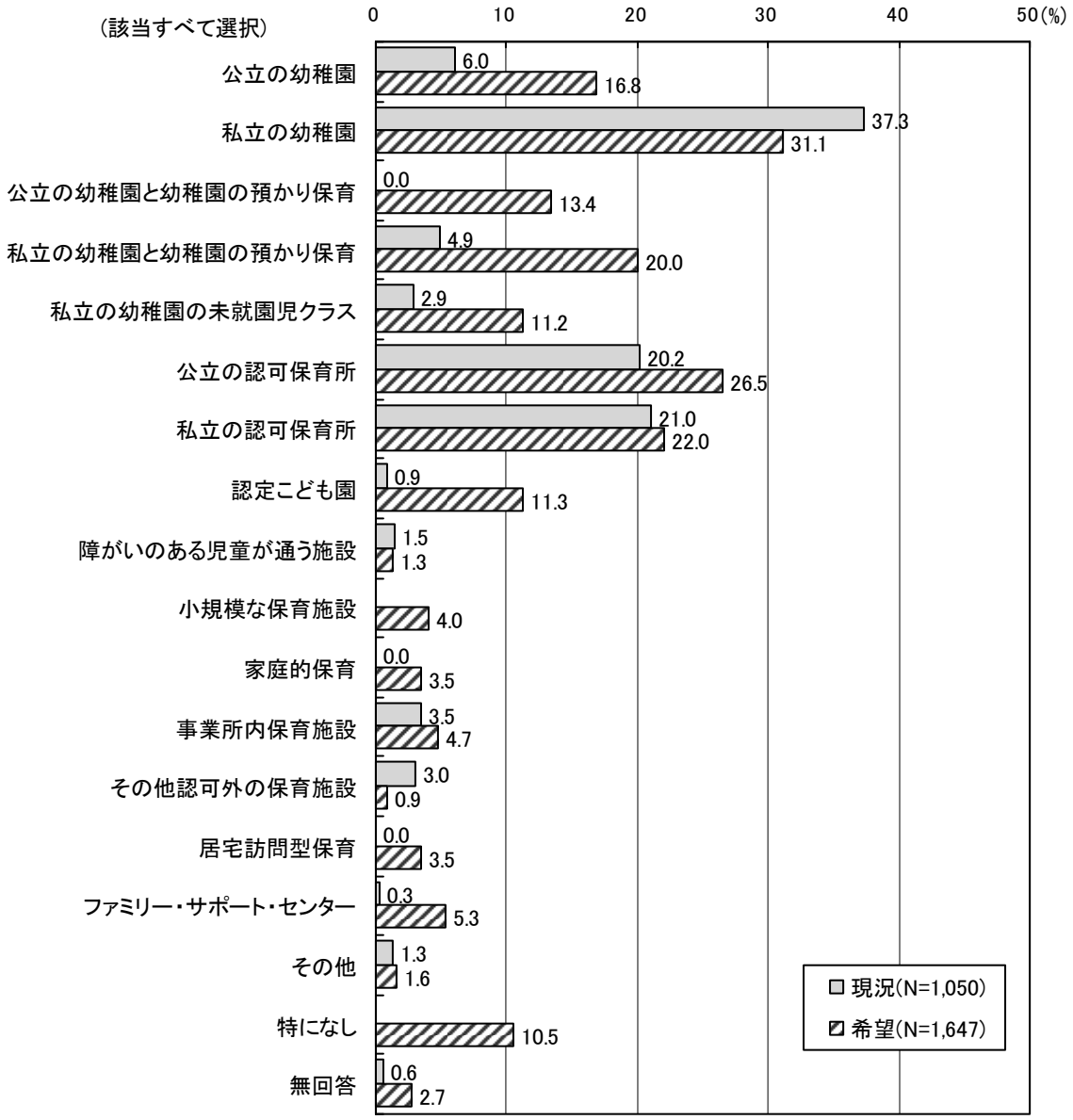


⑦　今後定期的に利用したい施設やサービス

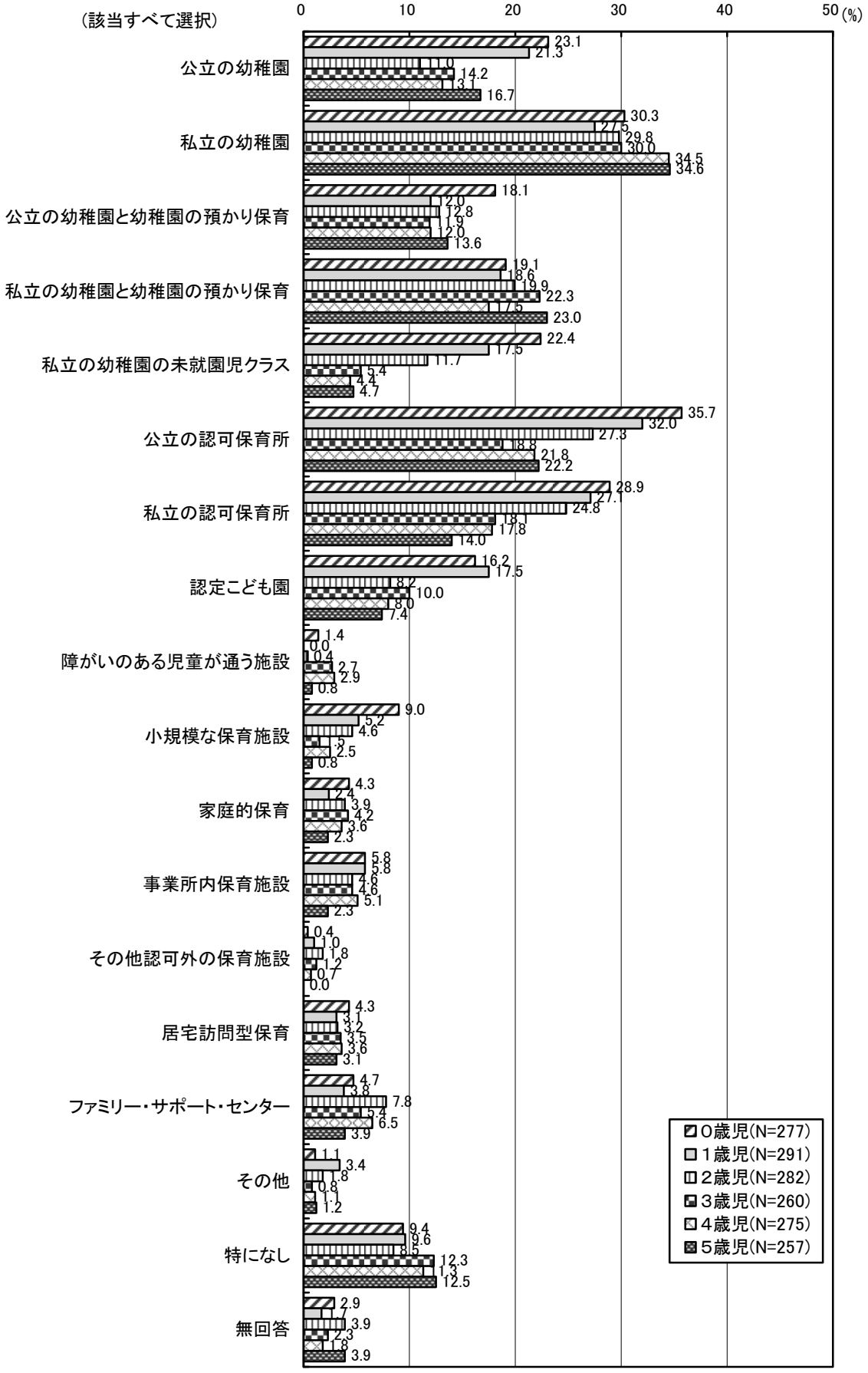
問10　すべての方におうかがいします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日「定期的」に利用させたい、あるいは保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。
（あてはまるものすべてに○）
　なお、これらの施設やサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- 今後定期的に利用したいと考える施設やサービスは、「私立の幼稚園」が31.1％で最も高く、次いで「公立の認可保育所」（26.5％）、「私立の認可保育所」（22.0％）、「私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」（20.0％）、「公立の幼稚園」（16.8％）、「公立の幼稚園と幼稚園の預かり保育」（13.4％）、「認定こども園」（11.3％）、「私立の幼稚園の未就園児クラス」（11.2％）などとなっています。
- 現在の利用に比べて、公立、私立を問わず「幼稚園の預かり保育」の希望が高くなり、また、「認定こども園」や「公立の幼稚園」「私立幼稚園の未就園児クラス」「認可保育所」などで、利用希望が高くなっています。
- 子どもの年齢別では、「公立の幼稚園」の０歳児及び１歳児の利用希望が高く、「私立の幼稚園」２歳児、３歳児と同程度の希望があります。また、「認可保育所」でも公立、私立を問わず０歳児及び１歳児の利用希望が高くなっています。さらに、「認定こども園」では、０歳児及び１歳児が、「小規模な保育施設」では０歳児の希望が高くなっています。
- 地域別では、南部で「公立の認可保育所」をはじめ、「私立の認可保育所」や「認定こども園」の希望が他の地域よりも高くなっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、ひとり親やフルタイム共働き、フルタイム・パート等共働き、その他の世帯では「公立の認可保育所」及び「私立の認可保育所」を合わせた【認可保育所】の希望率が高くなっています。また、フルタイム共働き、フルタイム・パート等共働き世帯では、【幼稚園と幼稚園の預かり保育】がそれぞれ合わせて30.7％、31.9％となっています。専業主婦（主夫）世帯では、【幼稚園】が公立、私立を合わせて69.1％となっていますが、【幼稚園と幼稚園の預かり保育】が36.0％と高くなっています。

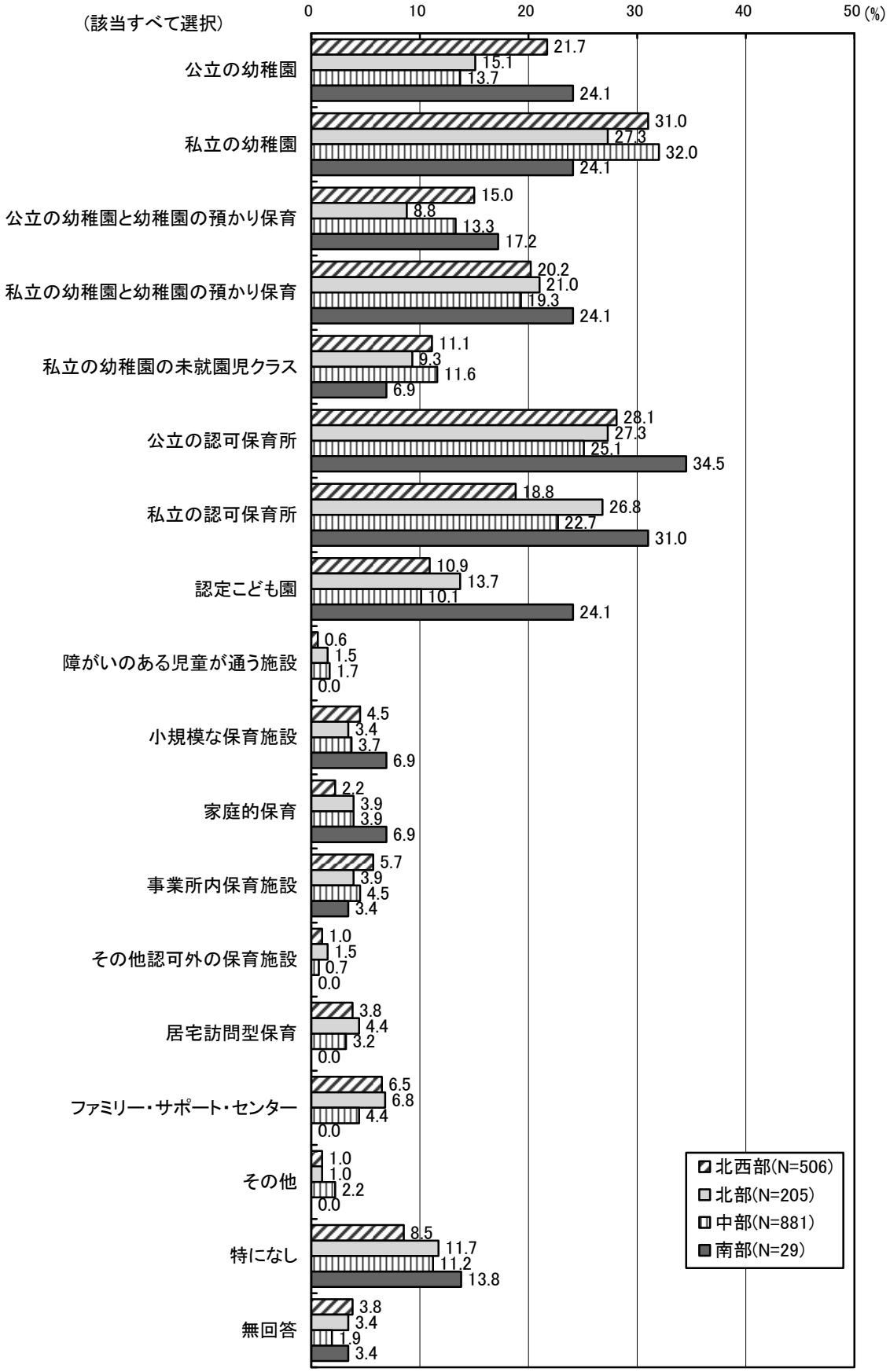
■今後定期的に利用したい施設やサービス／現在の利用状況との比較



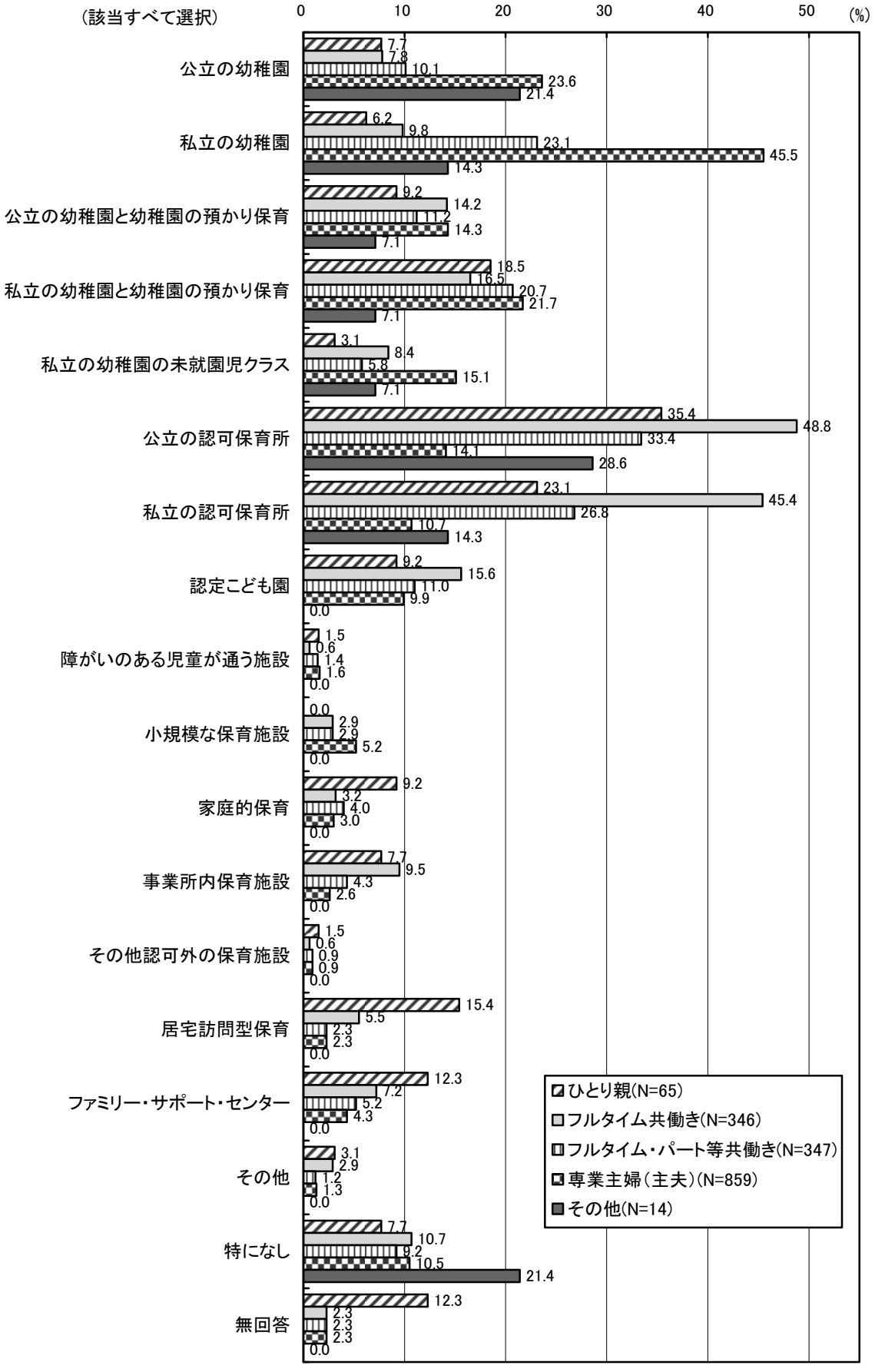
■子どもの年齢別　今後利用したい施設やサービス



■地域別　今後利用したい施設やサービス

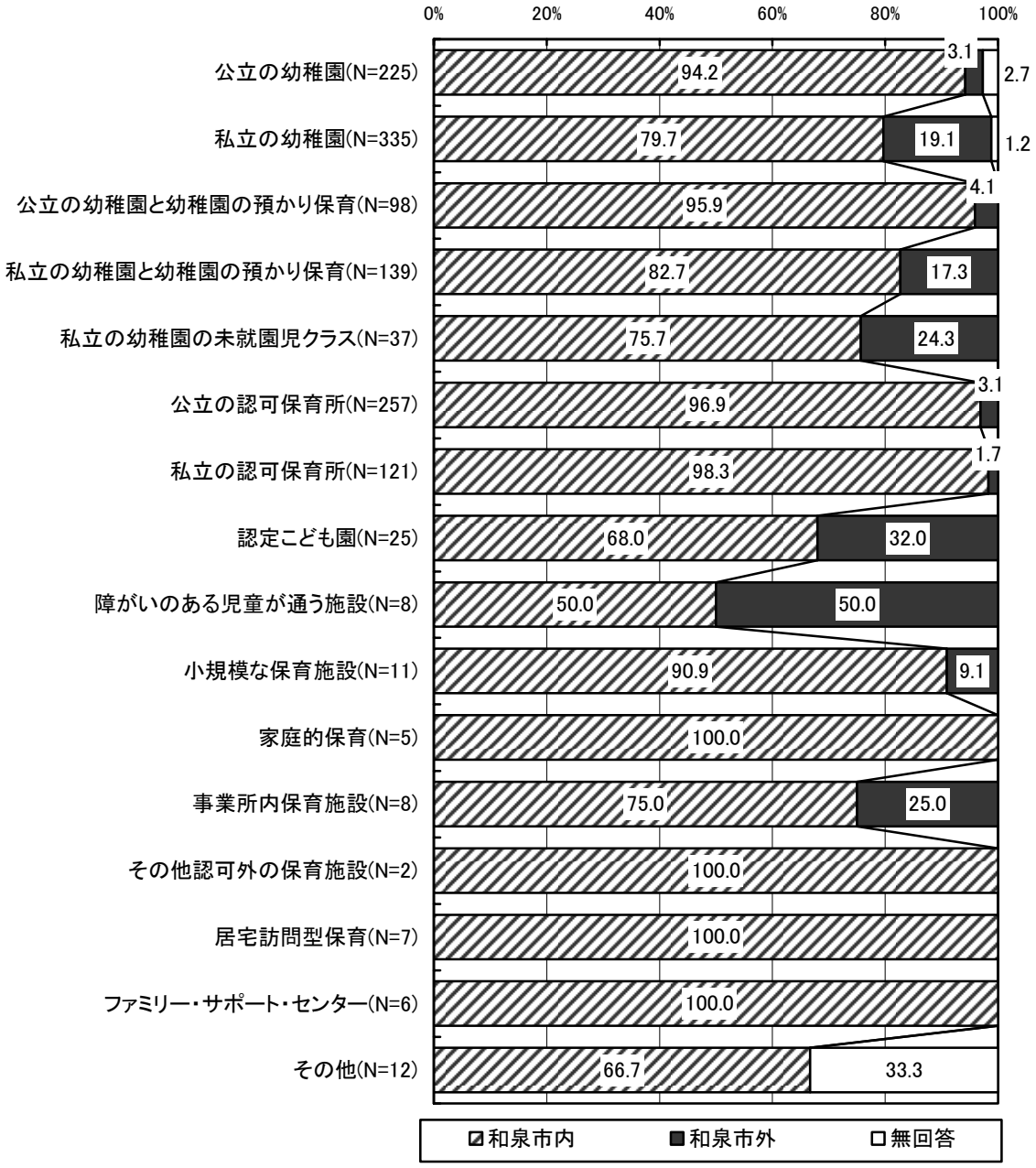


■親の就労状況等による世帯類型別　今後利用したい施設やサービス

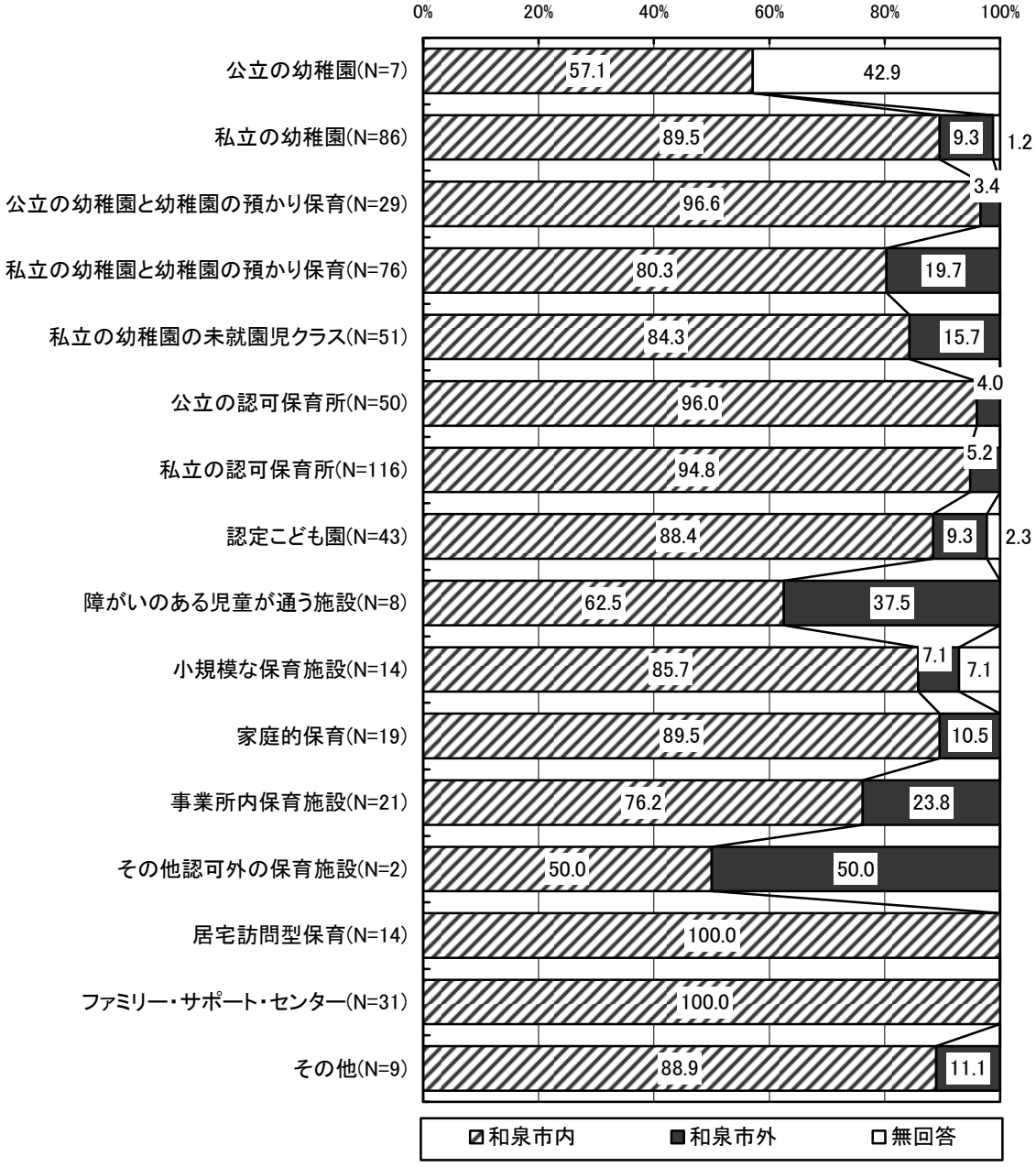


●今後定期的に利用したいと考える施設やサービスの場所は、現況の利用では100%市外だった「認定こども園」や「障がいのある児童が通う施設」では、「和泉市内」がそれぞれ68.0%、50.0%となっています。
●私立の幼稚園や私立の幼稚園と預かり保育、私立の幼稚園の未就園児クラス、事業所内保育施設などは、和泉市外の希望率が現況よりも低下しています。

■利用希望施設・サービス別　子どもを預かる施設の場所（１つ目の選択）



■利用希望施設・サービス別　子どもを預かる施設の場所（２つ目の選択）



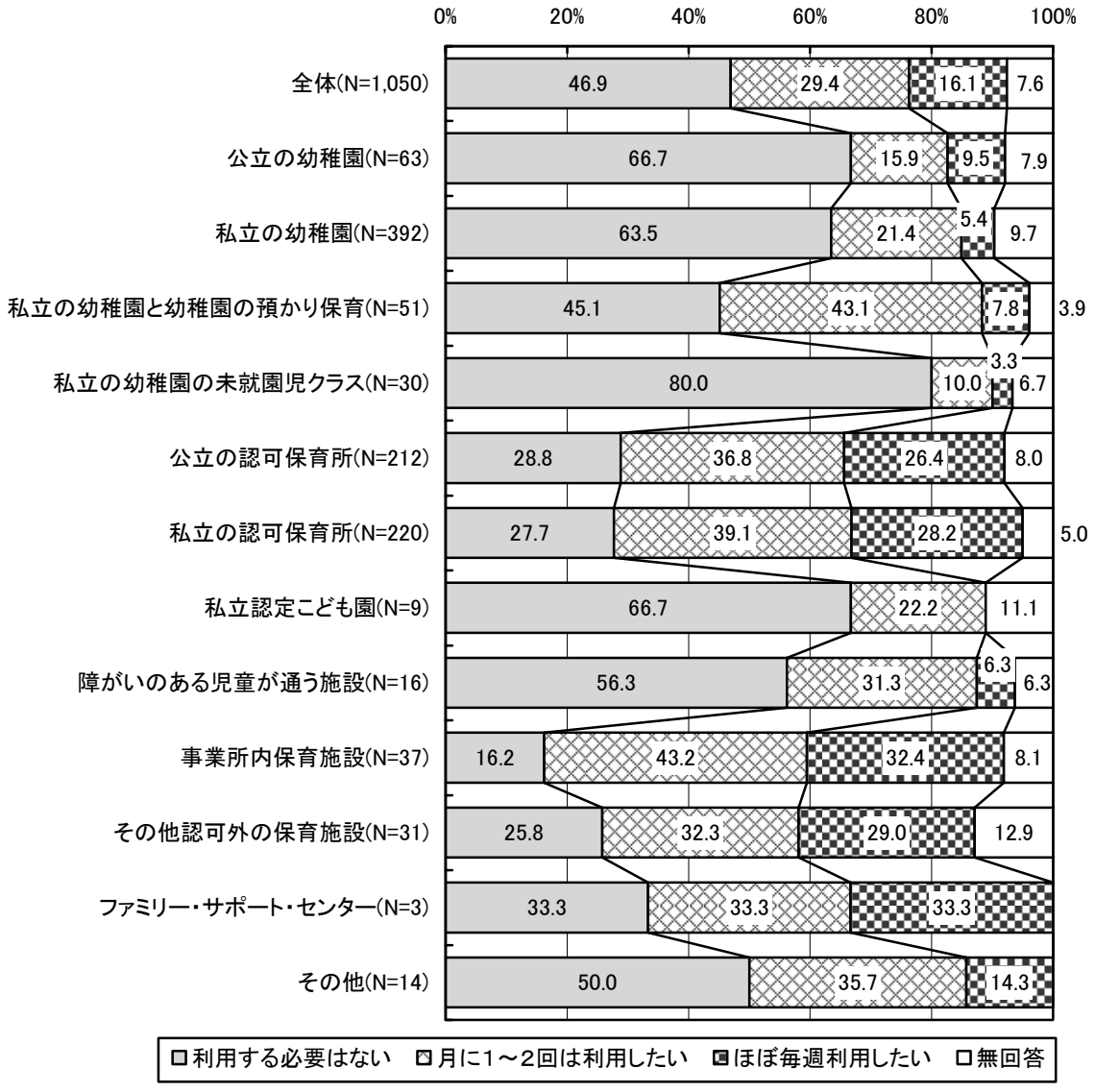
5　幼稚園や保育所などの土・日等の利用希望

①　土曜日と日曜日・祝日の利用希望

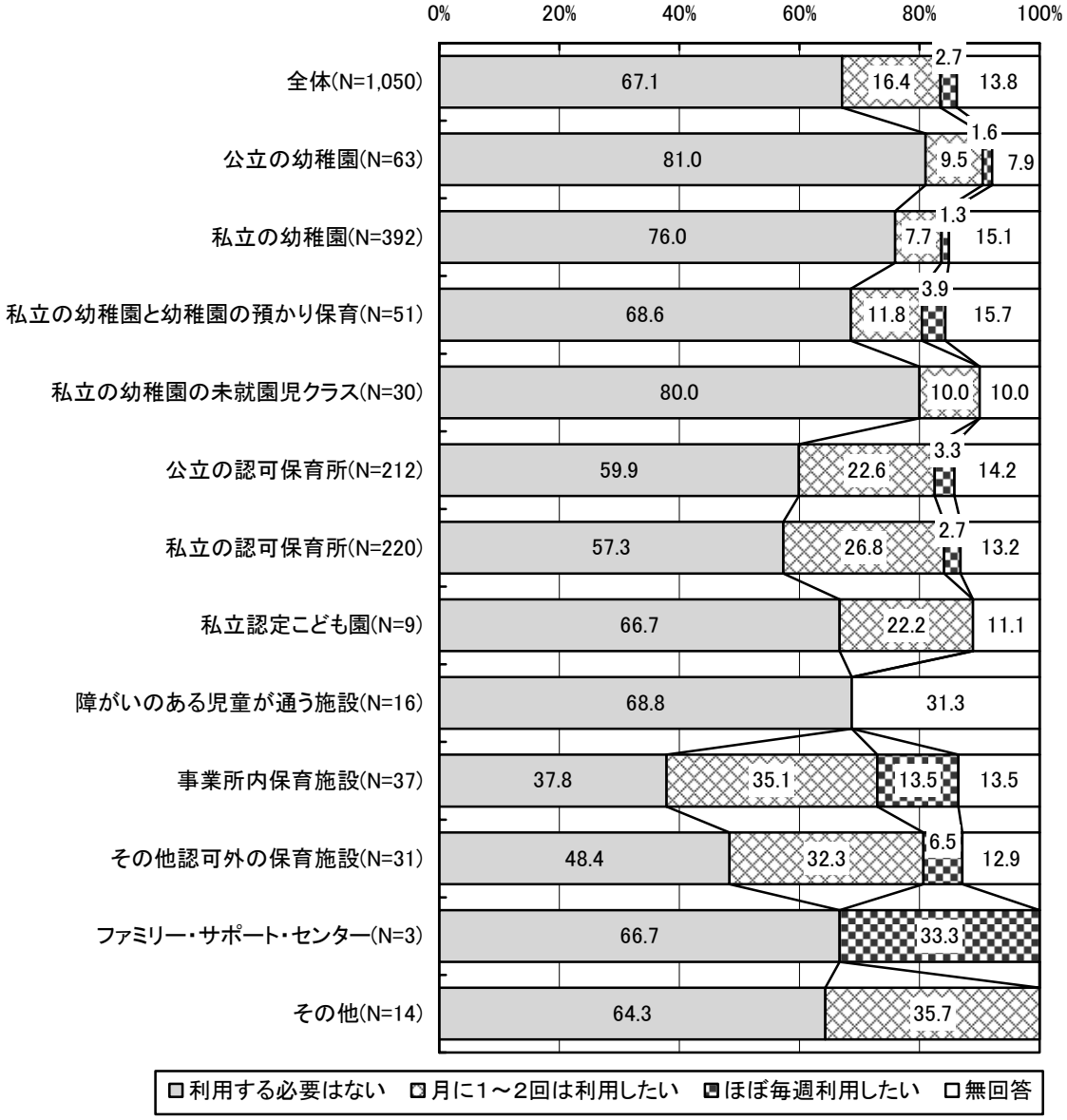
問11　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）９時～１８時のように２４時間制で（　）内にご記入ください。
　なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

●教育・保育施設やサービスの利用者全体では、土曜日に「ほぼ毎週利用したい」が16.1%、「月に１～２回は利用したい」が29.4%で、合わせて【利用したい】は45.5%です。
●日曜・祝日に「ほぼ毎週利用したい」が2.7%、「月に１～２回は利用したい」が16.4%で、合わせて【利用したい】は19.1%です。

■利用施設やサービス別　土曜日の利用意向



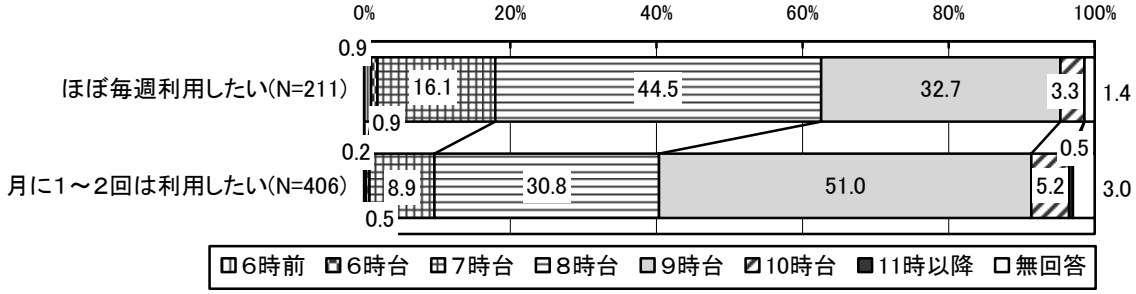
■利用施設やサービス別　日曜・祝日の利用意向



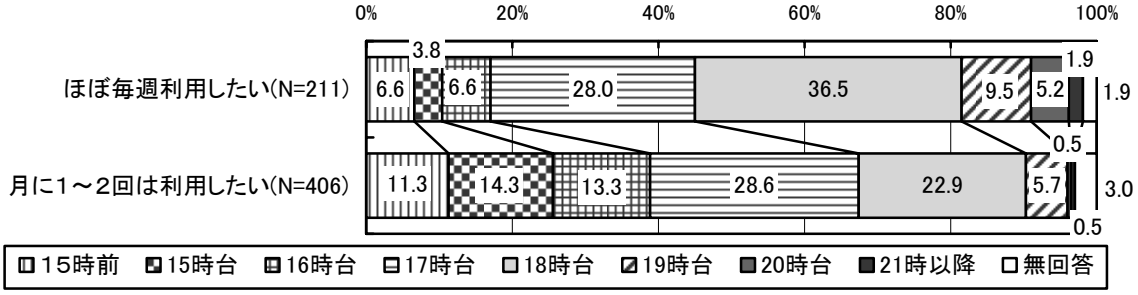
- 土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「８時台」が44.5%、「９時台」が32.7%、「７時台」が16.1%などです。「月に１～２回は利用したい」人の希望開始時間は、「９時台」が51.0%、「８時台」が30.8%などとなっています。
- 土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望終了時間は、「18時台」が36.5%、「17時台」が28.0%で、【19時以降】が合わせて16.6%となっています。「月に１～２回は利用したい」人の希望終了時間は、「17時台」が28.6%、「18時台」が22.9%などで、【19時以降】が合わせて6.7%で、「ほぼ毎週利用したい」人に比べて終了時間が早くなっています。
- 日曜・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「８時台」が47.2%、「９時台」が25.0%、「７時台」が16.7%などとなっています。「月に１～２回は利用したい」人の希望開始時間は、「９時台」が41.6%、「８時台」が32.5%、「７時台」が15.2%などとなっています。

●日曜・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望終了時間は、「18時台」が36.1%、「17時台」が27.8%で、【19時以降】が合わせて30.5%となっています。「月に1～2回は利用したい」人の希望終了時間は、「17時台」が33.3%、「18時台」が29.0%で、【19時以降】が合わせて14.8%で、「ほぼ毎週利用したい」人に比べて終了時間が早くなっています。

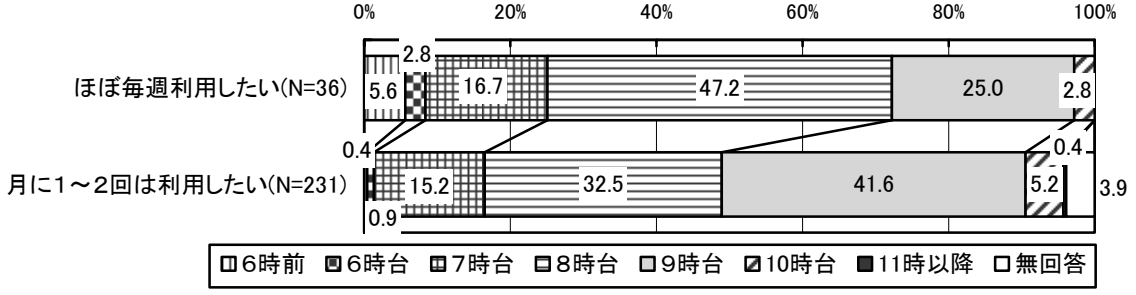
■土曜日の利用希望別　希望開始時間



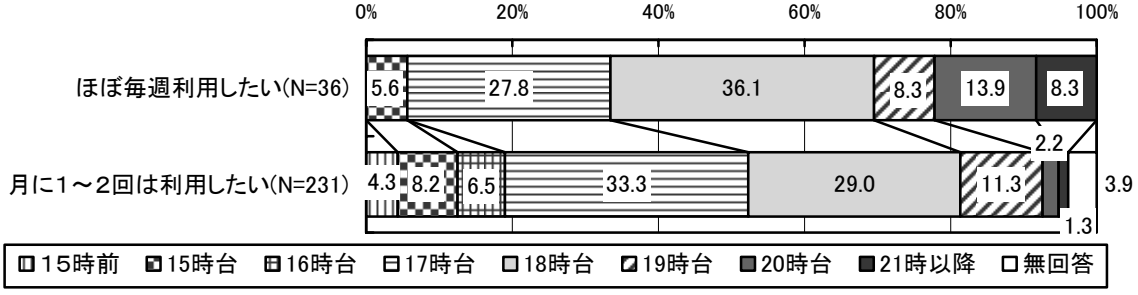
■土曜日の利用希望別　希望終了時間



■日曜・祝日の利用希望別　希望開始時間



■日曜・祝日の利用希望別　希望終了時間

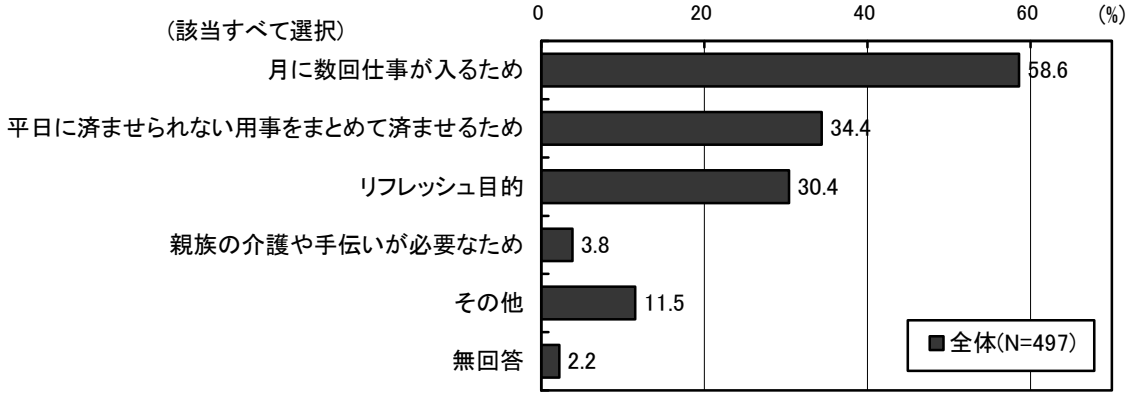


②　土曜日と日曜・祝日にたまに利用したい理由

問11-１　問11の（１）あるいは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問13へお進みください。 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○

●土曜日と日曜・祝日にたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が58.6%で最も高く、他には「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が34.4%、「リフレッシュ目的」が30.4%などとなっています。

■たまに利用したい理由

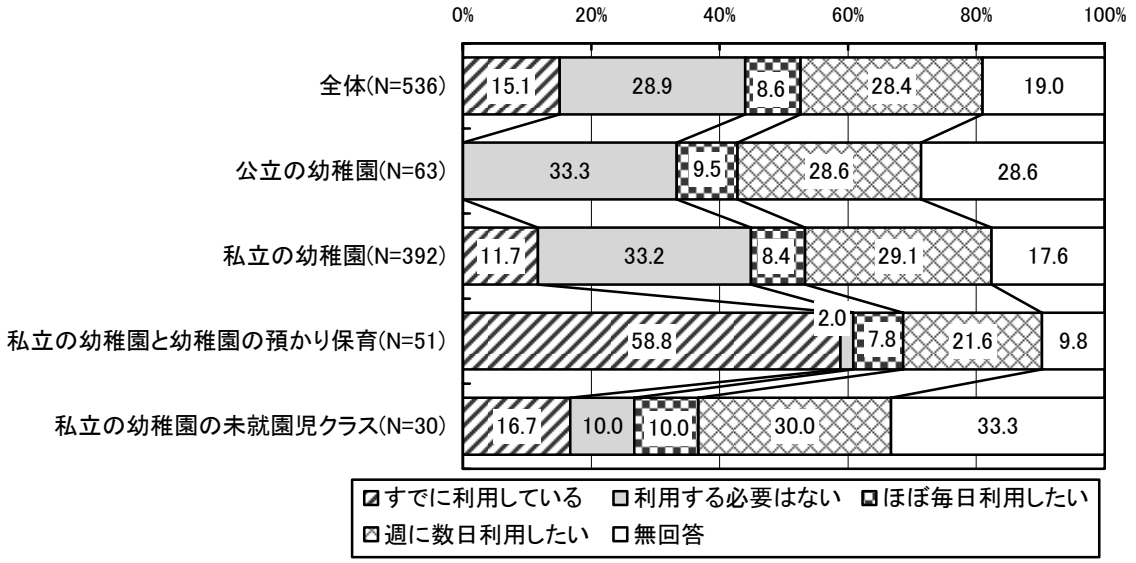


③　長期休暇中の幼稚園の利用希望

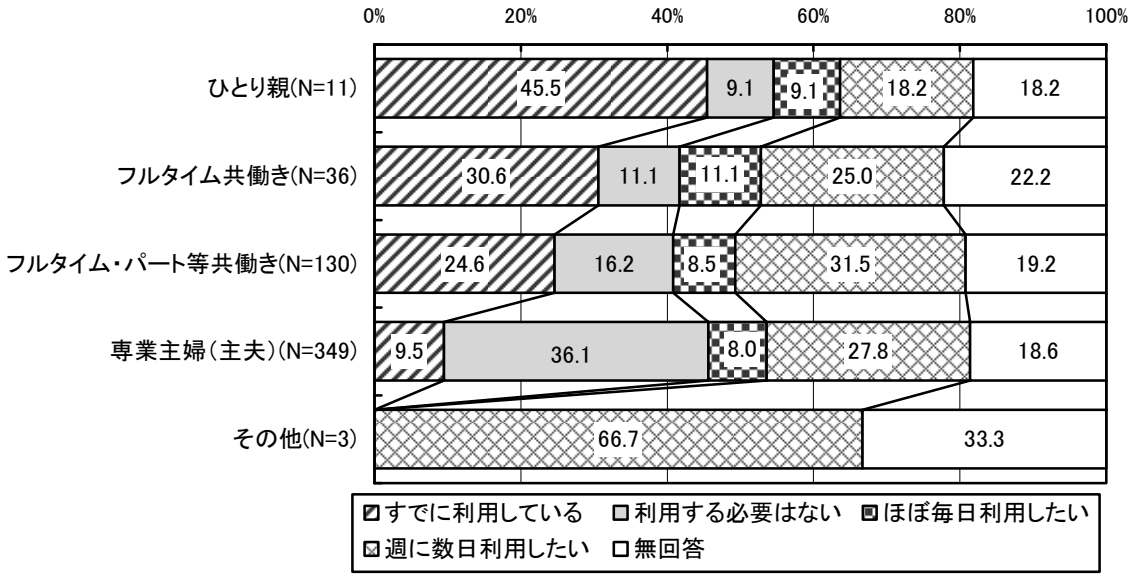
問12　あて名のお子さんが現在、「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。該当しない方は問13へお進みください。 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）９時～１８時のように２４時間制で（　　）内にご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

●長期休暇中に幼稚園を「ほぼ毎日利用したい」が8.6%、「週に数日利用したい」が28.4%で、合わせて【利用したい】率は37.0%となっています。
●利用幼稚園別の【利用したい】率は、私立の幼稚園の未就園児クラスが40.0%、公立の幼稚園が38.1%、私立の幼稚園が37.5%、私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育が29.4%となっています。
●親の就労状況等による世帯類型別では、「すでに利用している」率は、ひとり親が45.5%と高く、フルタイム共働きやフルタイム・パート等共働き世帯ではそれぞれ30.6%、24.6%となっています。また、【利用したい】率は、フルタイム・パート等共働き世帯が40.0%で最も高く、フルタイム共働き世帯が36.1%、専業主婦（主夫）世帯が35.8%、ひとり親世帯が27.3%となっています。

■利用幼稚園別　長期休暇中の利用意向

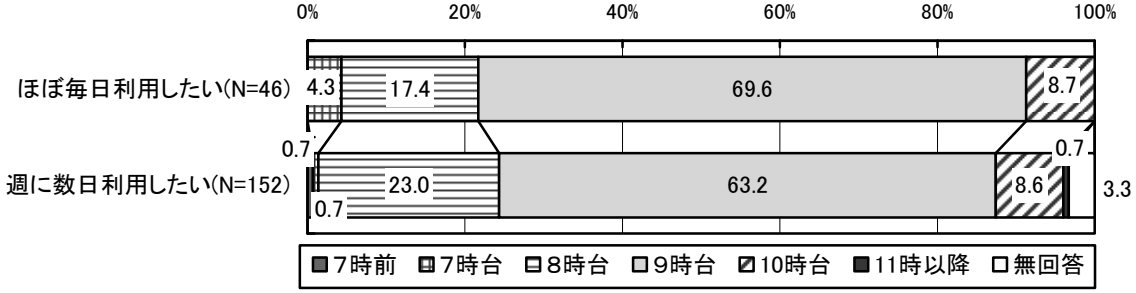


■親の就労状況等による世帯類型別　長期休暇中の利用意向

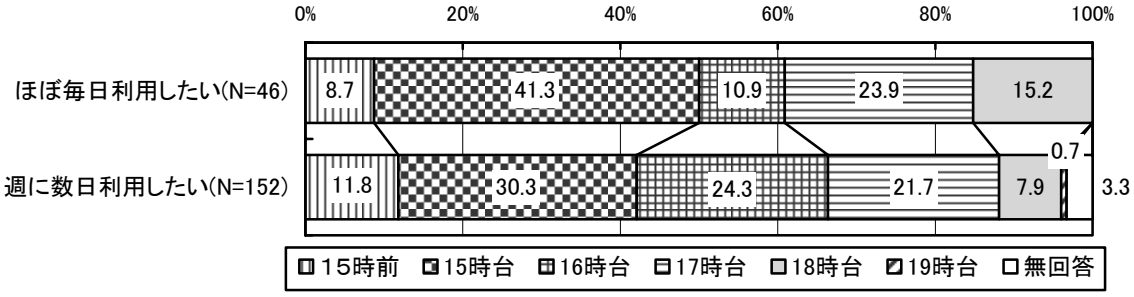


- 「ほぼ毎日利用したい」人も「週に数日利用したい」人も、希望開始時間は「９時台」が最も高く、それぞれ69.6%、63.2%となっています。
- 希望終了時間は、「ほぼ毎日利用したい」人も「週に数日利用したい」人も、「15時台」が最も高く、それぞれ41.3%、30.3%となっています。また、「週に数日利用したい」人で「19時台」が0.7%となっています。

■長期休暇中の利用希望別　希望開始時間



■長期休暇中の利用希望別　希望終了時間

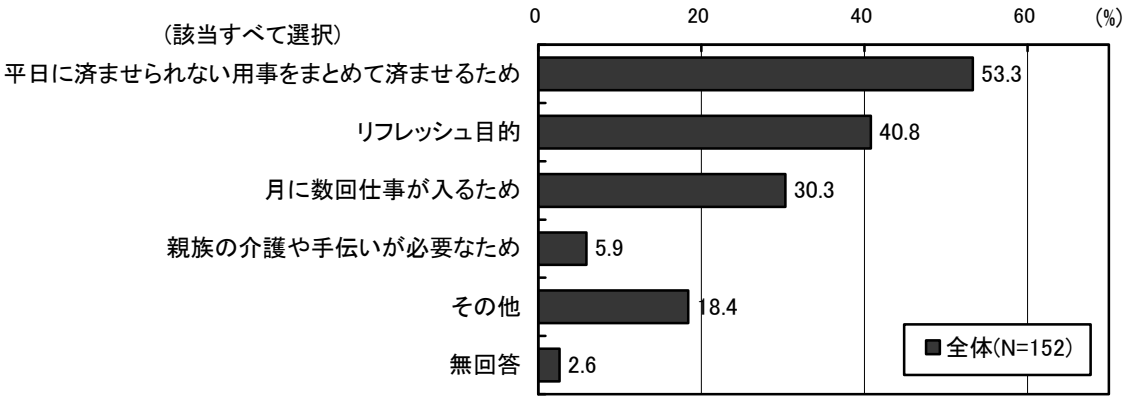


④　長期休暇中にたまに利用したい理由

問12-１　問12で、「４．週に数日利用したい」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問13へお進みください。 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○

●長期休暇中に幼稚園をたまに利用したい理由は、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が53.3%で最も高く、次いで「リフレッシュ目的」（40.8%）、「月に数回仕事が入るため」（30.3%）などとなっています。

■たまに利用したい理由



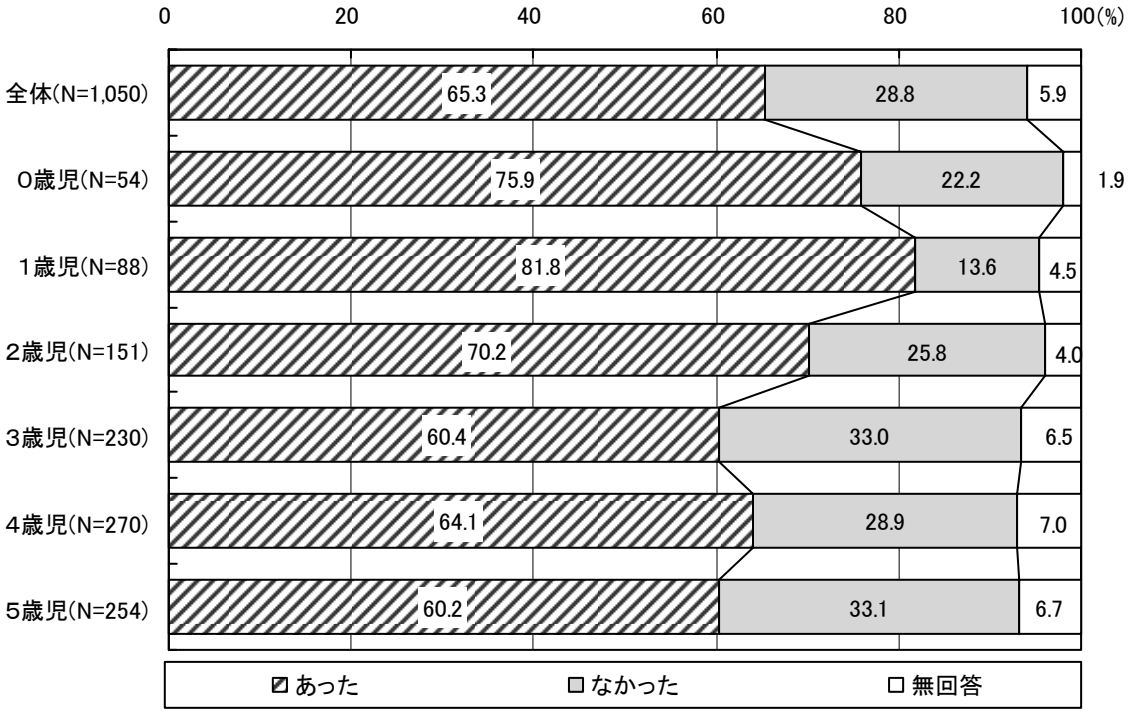
6　病児・病後児保育について

①　この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

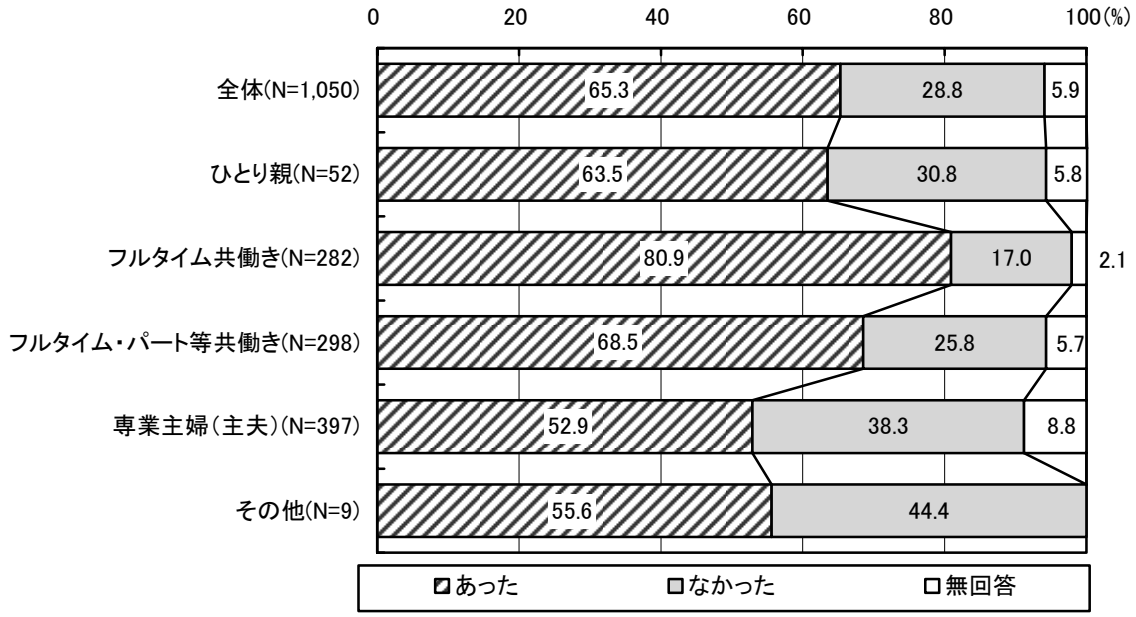
問13　問９で平日の定期的な教育・保育の事業を「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。利用していらっしゃらない方は、問14へお進みください。
　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（どちらかに○）

- 定期的な教育・サービスを利用している子どもの中で、この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが「あった」率は65.3%とおよそ３分の２になります。
- 子どもの年齢別では、０歳児や１歳児が高く、それぞれ75.9%、81.8%となっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、「あった」率はフルタイム共働き世帯が80.9%と高く、フルタイム・パート等共働き世帯が68.5%、ひとり親世帯が63.5%、その他世帯が55.6%、専業主婦（主夫）世帯が52.9%となっています。

■子どもの年齢別　この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業を利用できなかったこと



■親の就労状況等による世帯類型別　この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業を利用できなかったこと

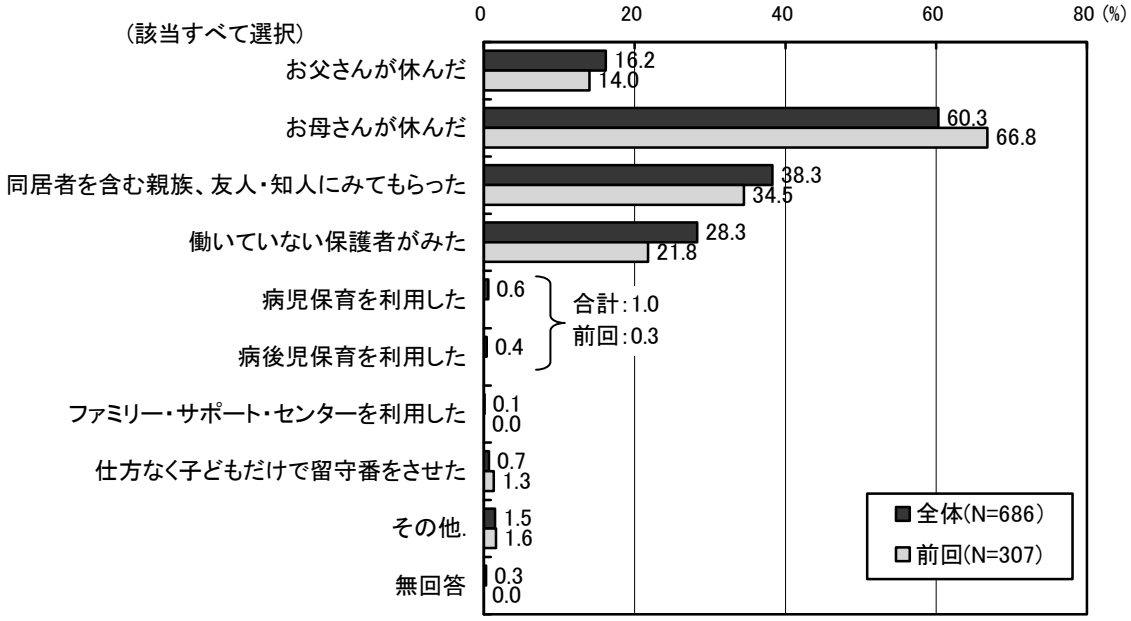


②　この１年間の対処方法

問13-１　問13で、「１．あった」に○をつけた方におうかがいします。
あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを休んだ場合、この１年間にどのような対処をされましたか。あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で（　　）にご記入ください。半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

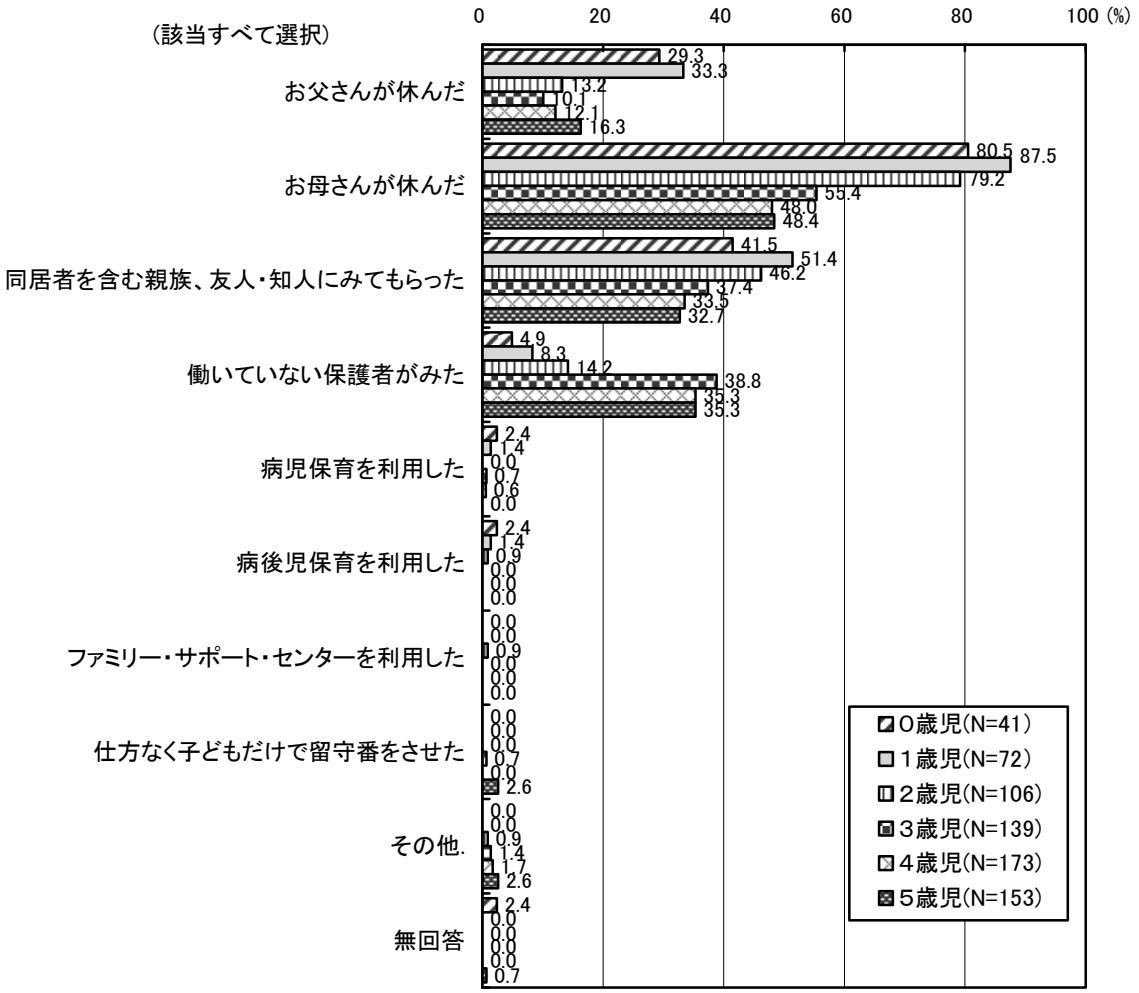
●対処方法として全体では、「お母さんが休んだ」が60.3%で最も高く、次いで「同居者を含む親族、友人・知人にみてもらった」（38.3%）、「働いていない保護者がみた」（28.3%）、「お父さんが休んだ」（16.2%）などと続き、「お母さんが休んだ」以外は、前回調査よりもそれぞれ高くなっています。
●子どもの年齢別では、０歳児や１歳児、２歳児では「お母さんが休んだ」が高く、それぞれ80.5%、87.5%、79.2%となっています。また、０歳児や１歳児では、「お父さんが休んだ」がそれぞれ29.3%、33.3%で、他の年齢児よりも高くなっています。「働いていない保護者がみた」は、３歳児以上で、３歳児未満児よりも高くなっています。
●親の就労状況等による世帯類型別では、専業主婦（主夫）やその他世帯以外は「お母さんが休んだ」率が最も高く、専業主婦（主夫）世帯は「働いていない保護者がみた」が、その他世帯は「同居者を含む親族、友人・知人にみてもらった」が最も高くなっています。また、フルタイム共働き世帯では、「お父さんが休んだ」率が34.2%と高くなっています。

■この１年間の対処方法／前回調査との比較



注)「ベビーシッター」は利用がないため省略しています。

■子どもの年齢別　この１年間の対処方法

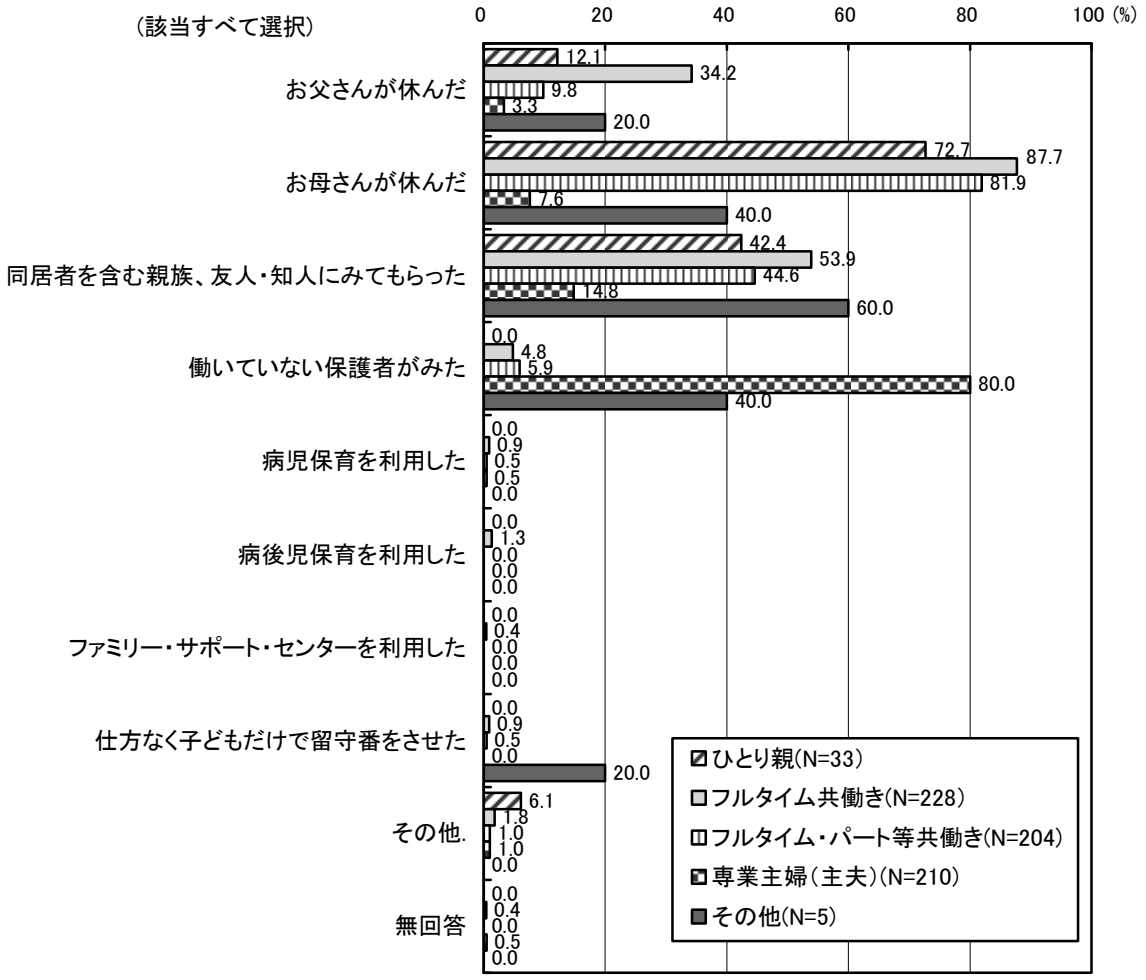


■対処方法別・子どもの年齢別　１年間に休んだ日数の平均

対処方法	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ア. お父さんが休んだ	11件	20件	13件	14件	21件	25件
	3.5日	4.3日	5.6日	3.4日	3.8日	4.0日
イ. お母さんが休んだ	31件	56件	78件	73件	79件	72件
	8.0日	11.3日	9.2日	6.0日	6.0日	6.7日
ウ. 同居者を含む親族・知人にみてもらった	15件	34件	45件	50件	52件	46件
	9.1日	9.2日	8.2日	5.5日	4.7日	6.4日
エ. 働いていない保護者がみた	2件	5件	15件	52件	56件	48件
	6.0日	10.2日	4.5日	7.0日	7.1日	8.1日
オ. 病児保育を利用した	1件	1件	0件	1件	1件	0件
	3.0日	2.0日	0日	1.0日	5.0日	0日
カ. 病後児保育を利用した	1件	1件	1件	0件	0件	0件
	2.0日	3.0日	1.0日	0日	0日	0日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	0件	0件	1件	0件	0件	0件
	0日	0日	2.0日	0日	0日	0日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0件	0件	0件	1件	0件	4件
	0日	0日	0日	5.0日	0日	9.0日
ケ. その他	0件	0件	1件	2件	2件	3件
	0日	0日	1.0日	6.0日	6.5日	12.3日

注）件数は、日数の無回答を除きます。

■保護者の就労状況等による世帯類型別　この１年間の対処方法



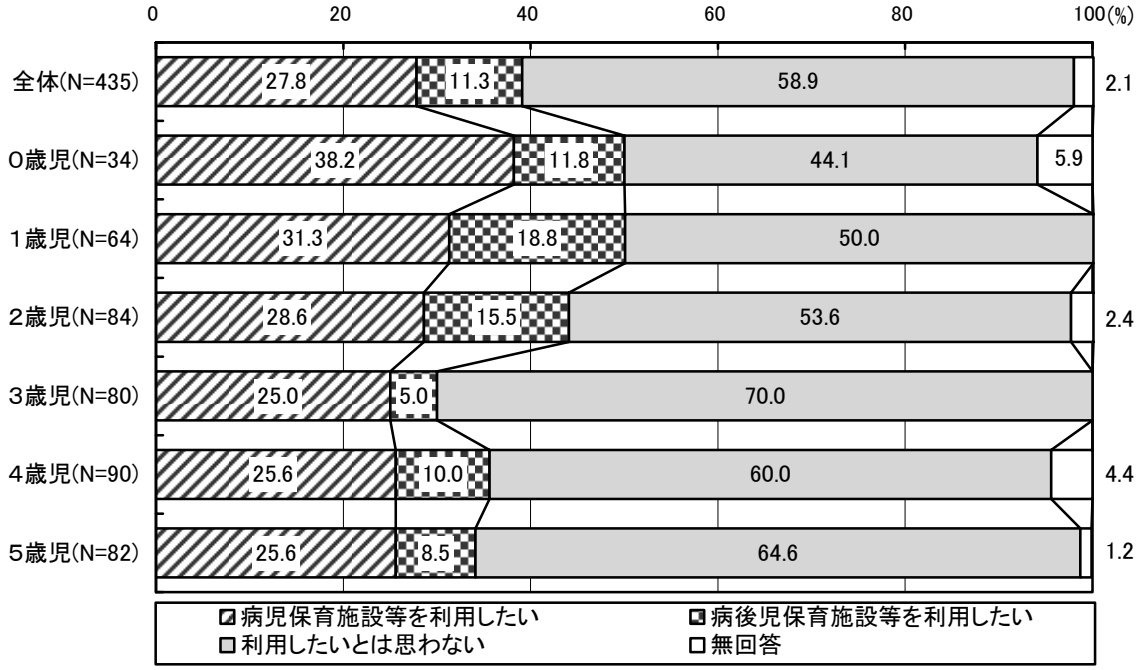
③　病児・病後児のための保育施設等を利用したいかどうか

問13-２　問13-１で「ア．お父さんが休んだ」、または「イ．お母さんが休んだ」に○をつけた方におうかがいします。

その時に、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 「お父さんが休んだ」「お母さんが休んだ」を選択した人で、「病児保育施設を利用したい」が27.8%、「病後児保育施設を利用したい」が11.3%で、合わせて【施設を利用したい】率は39.1%となっています。
- 子どもの年齢別では、【施設を利用したい】率は、０歳児及び１歳児が高く、それぞれ50.0%、50.1%とおよそ半数となっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、【施設を利用したい】率は、ひとり親世帯が46.1%、フルタイム共働き世帯が45.7%、フルタイム・パート等共働き世帯が31.4%、専業主婦（主夫）世帯が27.3%となっています。

■子どもの年齢別　病児・病後児のための保育施設等の利用意向

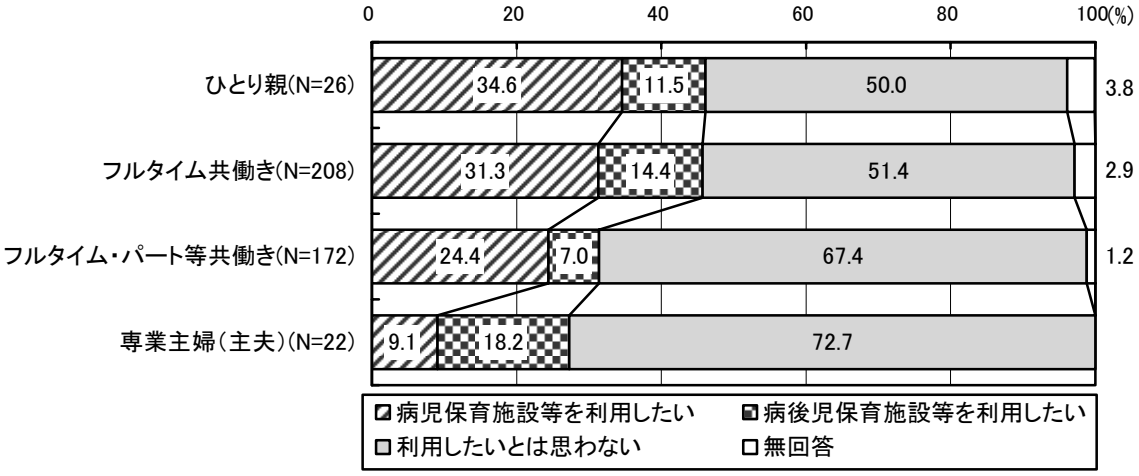


■病児・病後児保育サービスなどの利用意向別・子どもの年齢別　利用したい日数

対処方法		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
病児保育施設等を利用したい	件数	12件	17件	24件	20件	19件	21件
	平均	8.8日	7.2日	5.5日	6.0日	4.6日	5.8日
病後児保育施設等を利用したい	件数	3件	8件	12件	4件	7件	7件
	平均	5.3日	4.6日	6.0日	5.5日	7.9日	5.7日

注）件数は、日数の無回答を除きます。

■親の就労状況等による世帯類型別　病児・病後児のための保育施設等の利用意向



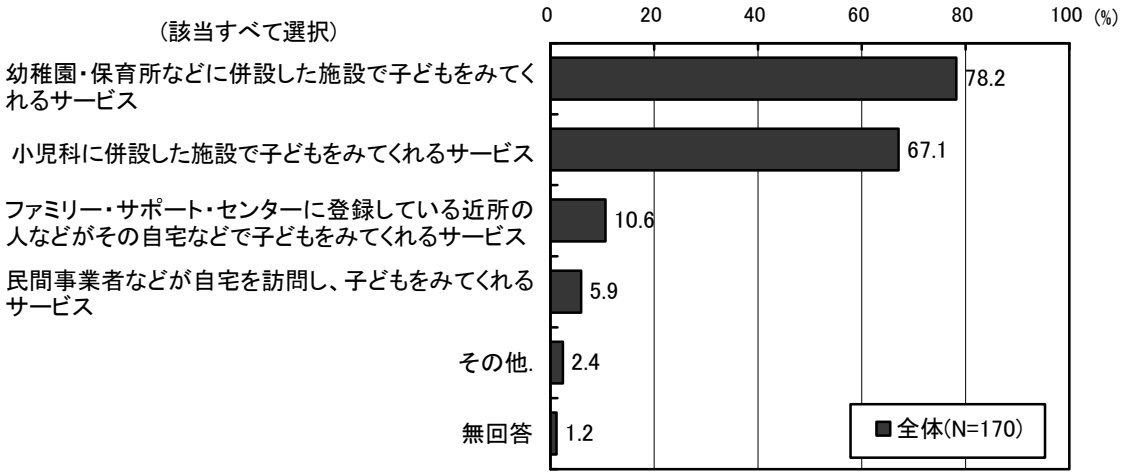
注）その他世帯は2件と少ないため省略しています。

④　利用する場合の望ましいサービス

問13-３　問13-２で「１」または「２」（利用したい）に○をつけた方におうかがいします。利用する場合、次のいずれのサービスが望ましいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

●「病児保育施設を利用したい」または「病後児保育施設を利用したい」を選択した人の利用する場合の望ましいサービスとしては、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が78.2%で最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が67.1%で、「ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス」や「民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス」はそれぞれ10.6%、5.9%と低くなっています。

■利用する場合の望ましいサービス

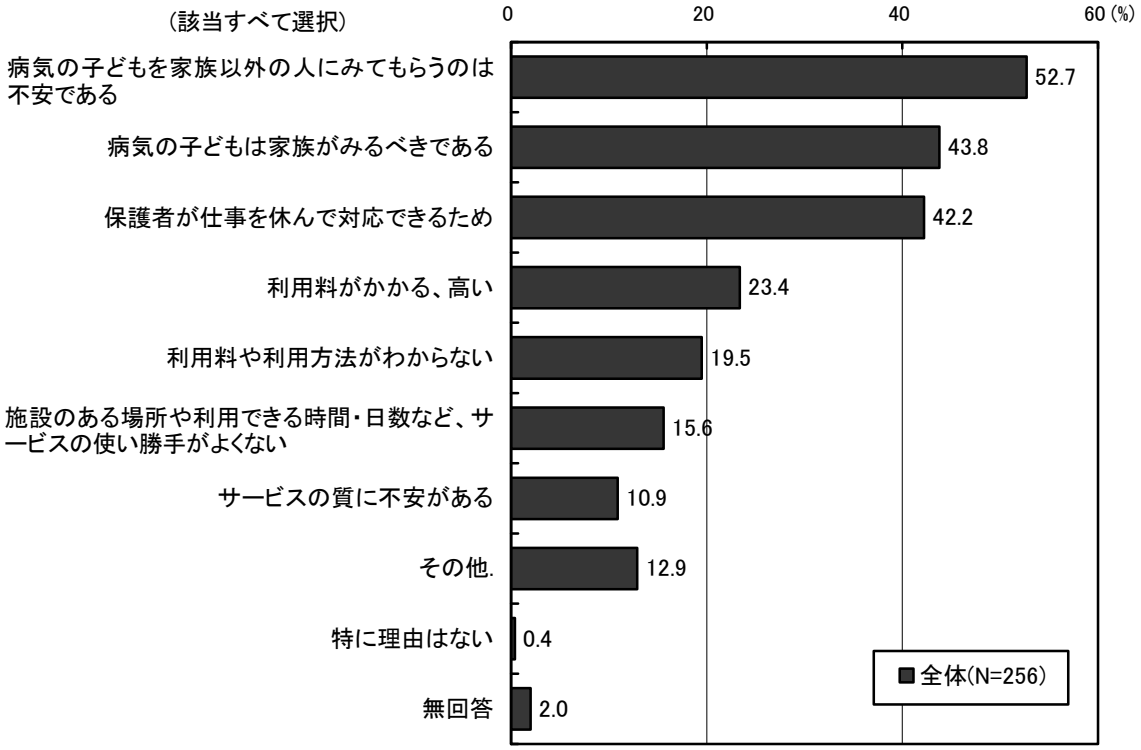


⑤　病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由

問13-４　問13-２で「３．利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。利用したいとは思わない理由はどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）

● 「お父さんが休んだ」または「お母さんが休んだ」を選択した人で、病児・病後児のための保育施設等を「利用したいとは思わない」と回答した人のその理由としては、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が52.7%で最も高く、次いで「病気の子どもは家族がみるべきである」（43.8%）、「保護者が仕事を休んで対応できるため」（42.2%）などとなっています。

■利用したいとは思わない理由



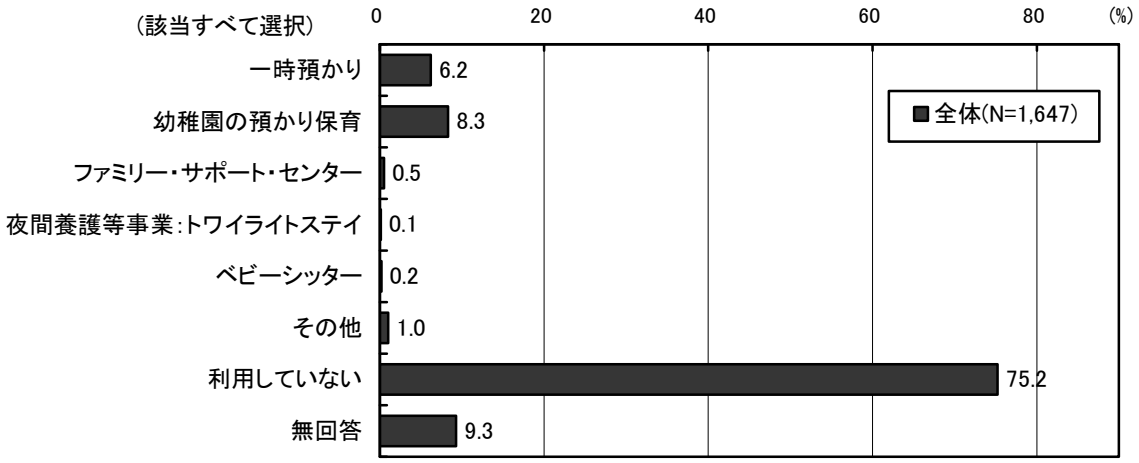
7　一時預かりについて

①　子どもを預かるサービスの不定期な利用状況

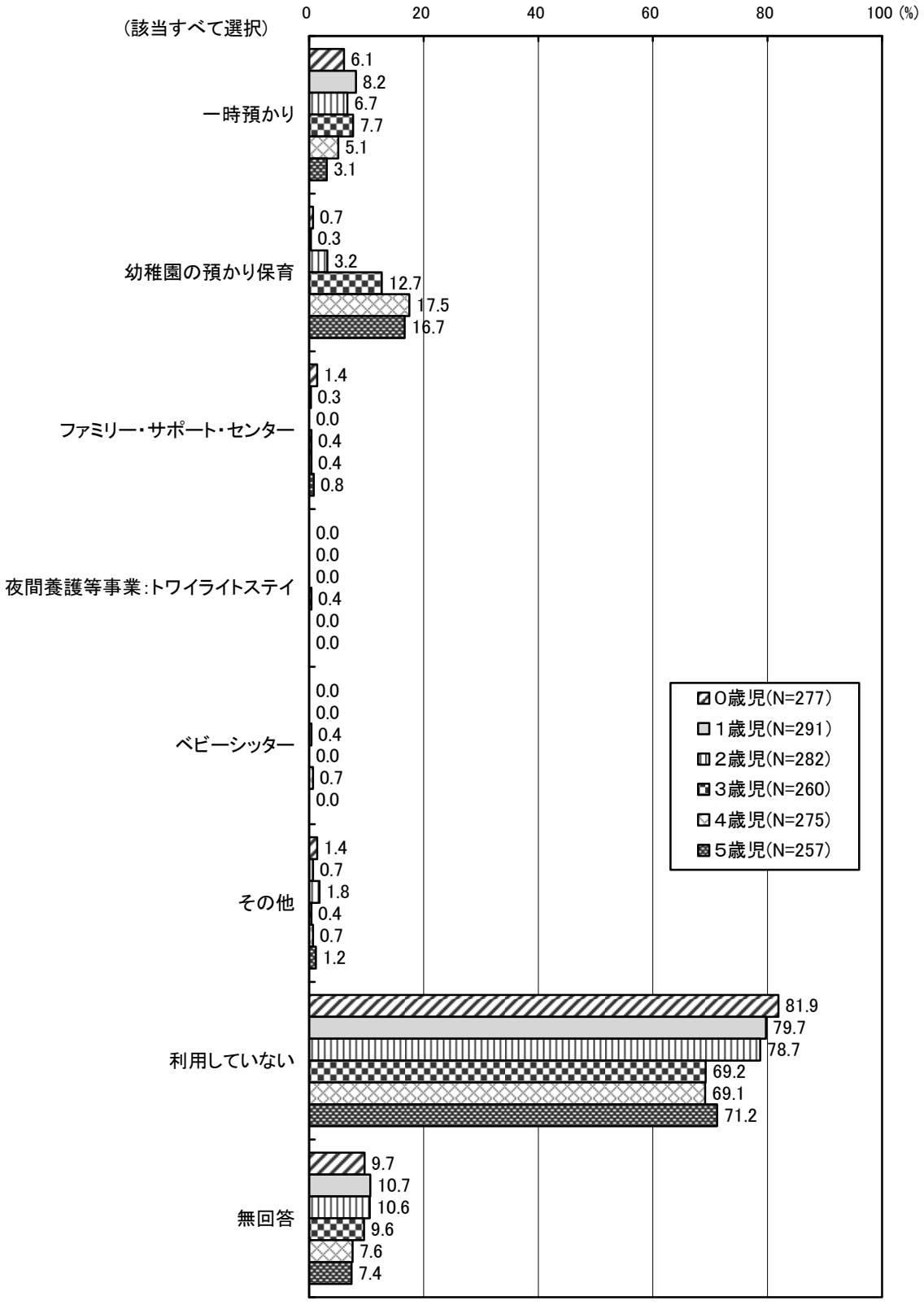
問14　あなたは、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期の仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。（幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気の時の保育施設などの利用は除きます。）利用したことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数も（　　）内に数字でご記入ください。

- この１年間に、私用や本人及び配偶者の親の通院、不定期の仕事などの理由で子どもを家族以外の人に一時的預けたことが「ある」率は、「利用していない」の75.2%及び無回答を除くと15.5%となっています。ある中では「幼稚園の預かり保育」が8.3%、「一時預かり」が6.2%などとなっています。
- 子どもの年齢別では、「幼稚園の預かり保育」は４歳児（17.5%）や５歳児（16.7%）が高く、「一時預かり」は１歳児（8.2%）や３歳児（7.7%）が高くなっています。
- 「一時預かり」の利用日数は、無回答を除くと３歳児の平均34.3日が最も多く、１歳児が14.9日となっています。「幼稚園の預かり保育」では、２歳児の平均11.9日が最も多く、５歳児が10.3日となっています。
- 保護者の就労状況等による世帯類型別では、「一時預かり」は各世帯で大差なく、フルタイム・パート等共働き世帯が7.2%、その他世帯が7.1%、フルタイム共働き世帯が6.4%、ひとり親世帯が6.2%、専業主婦（主夫）世帯が5.6%となっています。「幼稚園の預かり保育」は、フルタイム・パート等共働き世帯が11.2%、専業主婦（主夫）世帯が10.5%などとなっています。

■子どもを預かるサービスの不定期な利用状況



■子どもの年齢別　子どもを預かるサービスの不定期な利用状況

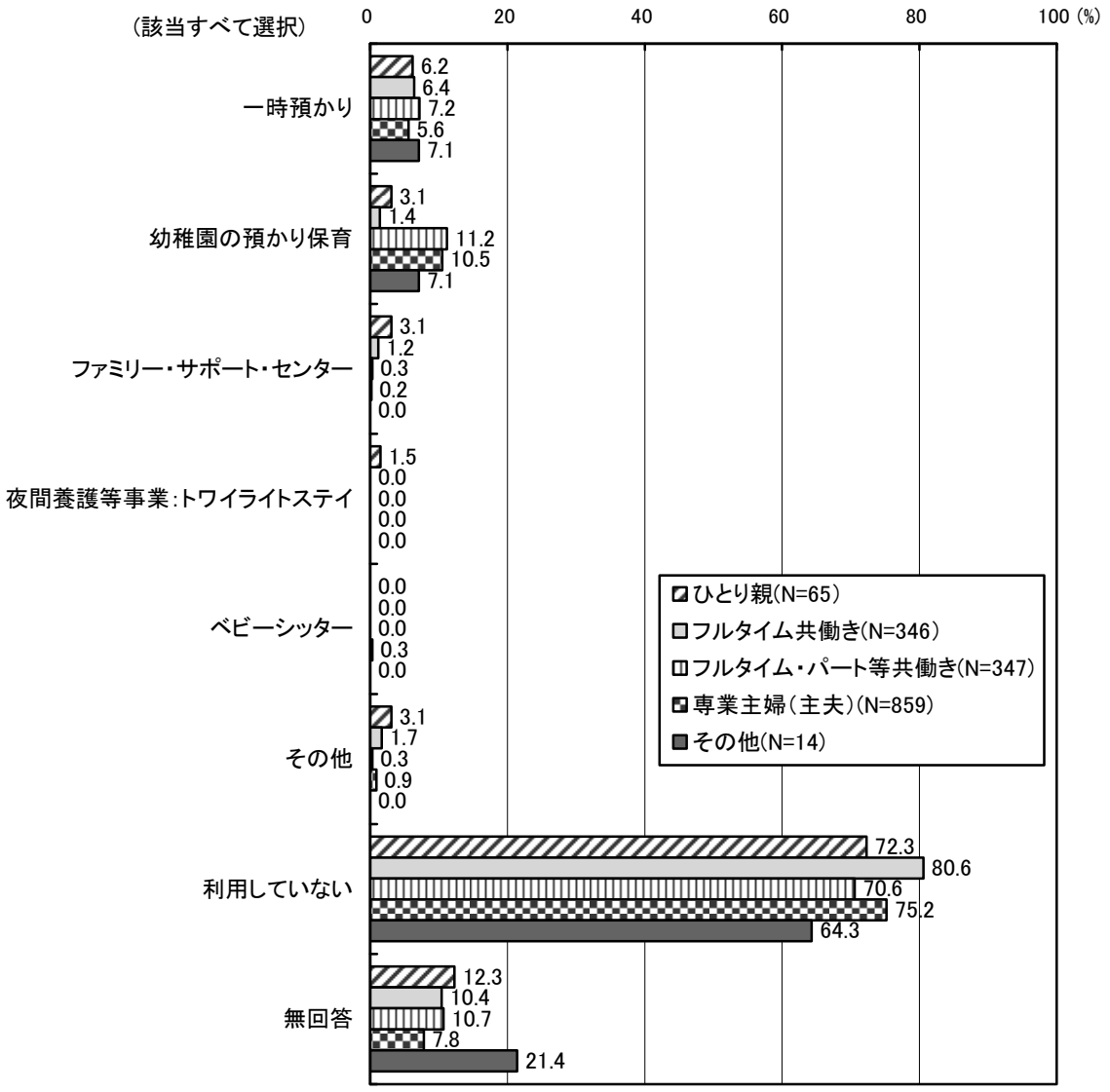


■利用事業別・子どもの年齢別　１年間に預けた日数等

利用事業		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1. 一時預かり	件数	16件	23件	17件	16件	13件	8件
	平均	7.9日	14.9日	5.2日	34.3日	4.6日	6.5日
2. 幼稚園の預かり保育	件数	2件	1件	9件	33件	44件	43件
	平均	8.5日	5.0日	11.9日	8.9日	8.6日	10.3日
3. ファミリー・サポート・センター	件数	4件	1件	0件	1件	1件	2件
	平均	13.0日	2.0日	0日	5日	2.0日	17.0日
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	件数	0件	0件	0件	1件	0件	0件
	平均	0日	0日	0日	7.0日	0日	0日
5. ベビーシッター	件数	0件	0件	1件	0件	0件	0件
	平均	0日	0日	2.0日	0日	0日	0日
6. その他	件数	4件	2件	5件	1件	2件	3件
	平均	9.3日	6.5日	9.6日	3.0日	42.5日	6.3日

注）件数は、日数の無回答を除きます。

■親の就労状況等による世帯類型別　子どもを預かるサービスの不定期な利用

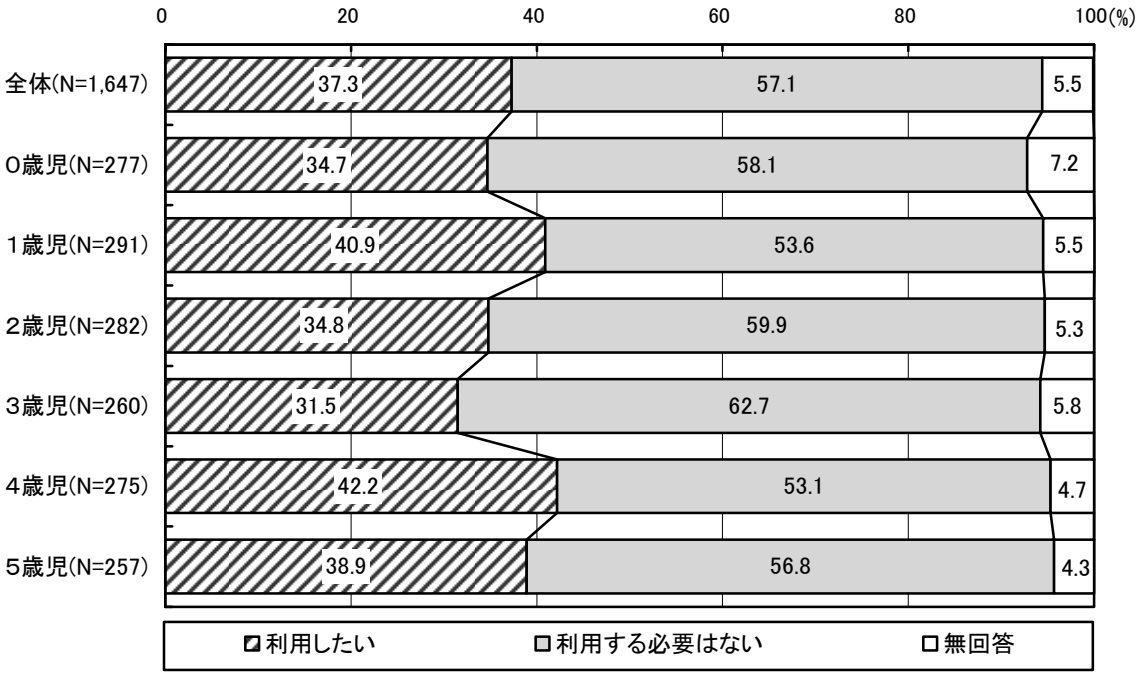


②　「一時預かり」の今後の利用意向

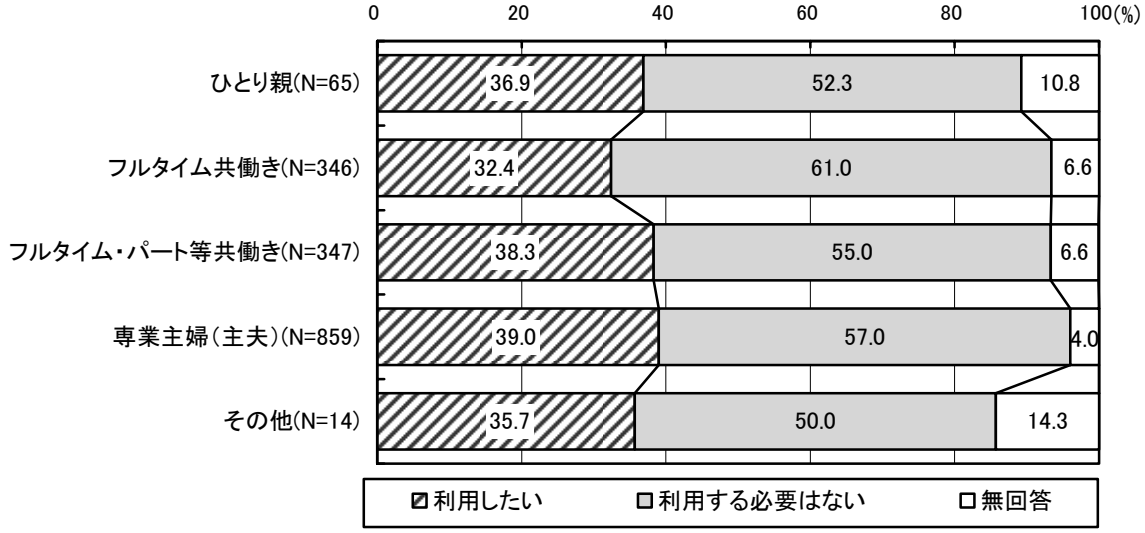
問15　あなたは、私用、ご自身や配偶者の通院、不定期などを理由として、１年間に何日くらい保育所などで実施している「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用希望の有無についてどちらかの番号に、利用理由については、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を（　　）内に数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

●全体では、今後、一時預かりを「利用したい」率は37.3%となっています。
●子どもの年齢別では、「利用したい」率は、４歳児が42.2%で最も高く、３歳児が31.5%で最も低くなっています。
●保護者の就労状況等による世帯類型別では、「利用したい」率は、専業主婦（主夫）世帯（39.0%）やフルタイム・パート等共働き世帯（38.3%）が高く、フルタイム共働き世帯が32.4%で最も低くなっていますが、各世帯で大差ありません。

■子どもの年齢別　「一時預かり」の利用意向

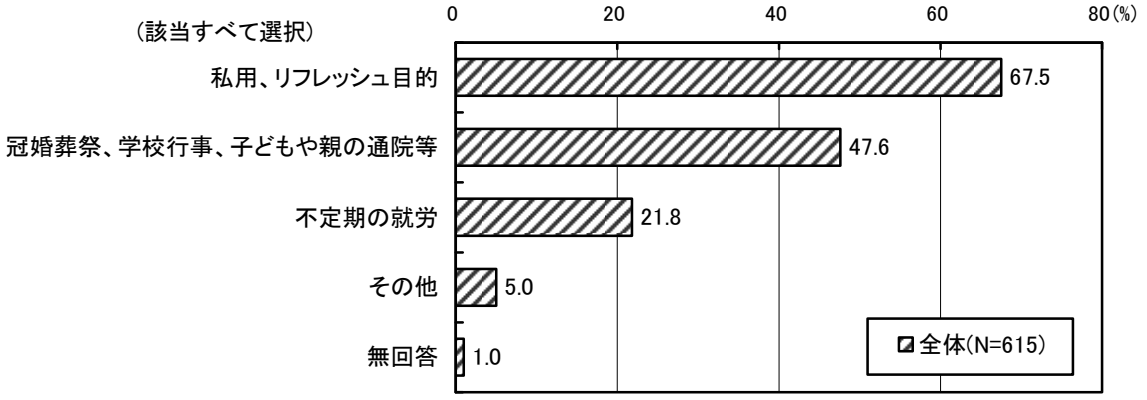


■親の就労状況等による世帯類型別　「一時預かり」の利用意向

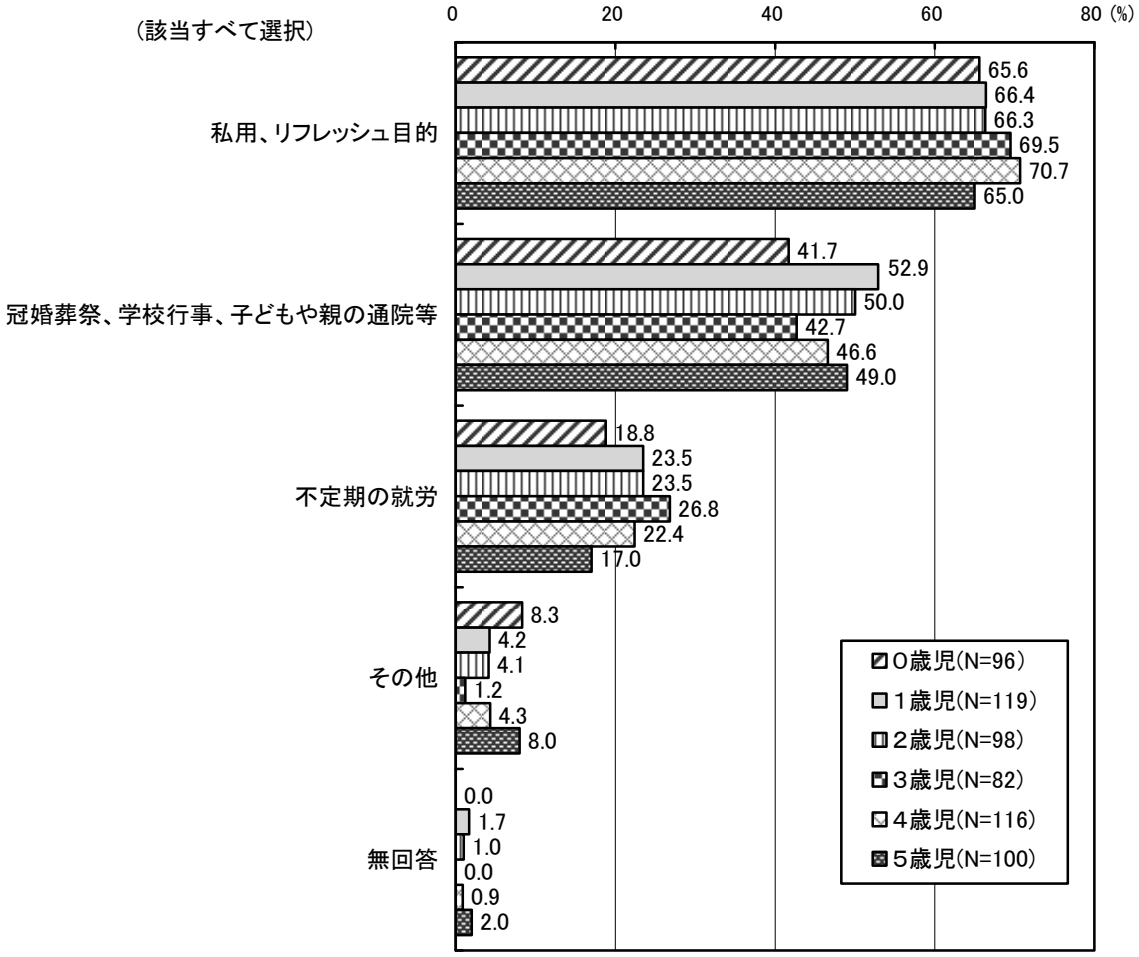


●全体では、利用したい理由は、「私用、リフレッシュ目的」が67.5%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が47.6%ですが、「不定期の就労」も21.8%となっています。
●子どもの年齢別では、「不定期の就労」は、３歳児が26.8%で最も高く、５歳児が17.0%で最も低くなっています。
●「私用、リフレッシュ目的」の年間希望日数は、０歳児から２歳児では平均17日程度で、３歳児以上より若干長くなっています。「不定期の就労」は、１歳児が52.3日で最も長く、０歳児が49.8日、３歳児が46.6日などとなっています。
●保護者の就労状況等による世帯類型別では、どの世帯も「私用、リフレッシュ目的」が最も高く、特に専業主婦（主夫）では71.9%となっています。

■一時預かりを利用したい理由



■子どもの年齢別　一時預かりを利用したい理由

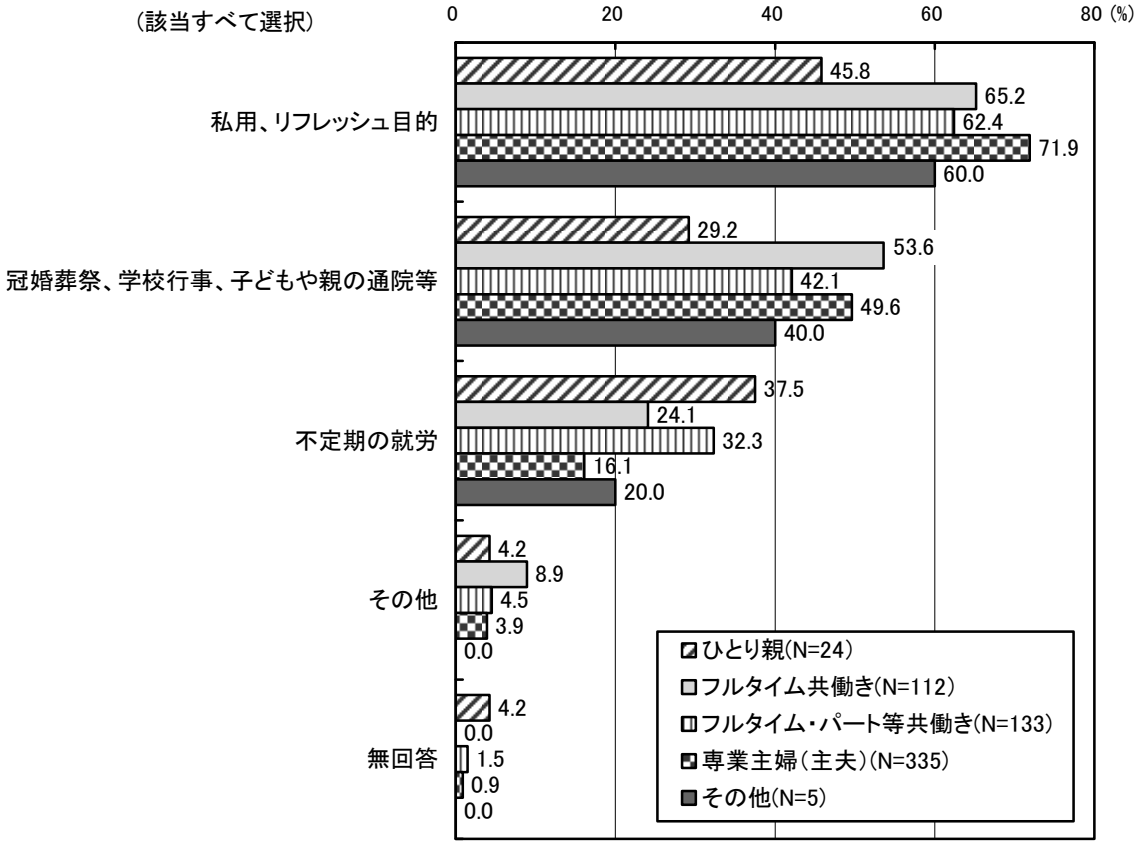


■利用理由別・子どもの年齢別　一時預かりの年間希望日数等

利用理由		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ア. 私用、リフレッシュ目的	件数	58	75	60	54	76	64
	平均	17.2	17.8	17.4	14.3	12.0	11.0
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	件数	36	58	46	34	47	47
	平均	9.6	7.6	16.0	6.9	7.1	4.9
ウ. 不定期の就労	件数	12	22	18	19	23	14
	平均	49.8	52.3	40.2	46.6	12.6	16.7
エ. その他	件数	5	3	2	1	5	7
	平均	12.2	7.7	6.0	10.0	46.4	23.9
合　　計	件数	83	107	89	79	103	92
	平均	24.5	25.7	29.0	24.3	17.1	14.5

注）件数は、日数の無回答を除きます。

■親の就労状況等による世帯類型別　一時預かりを利用したい理由



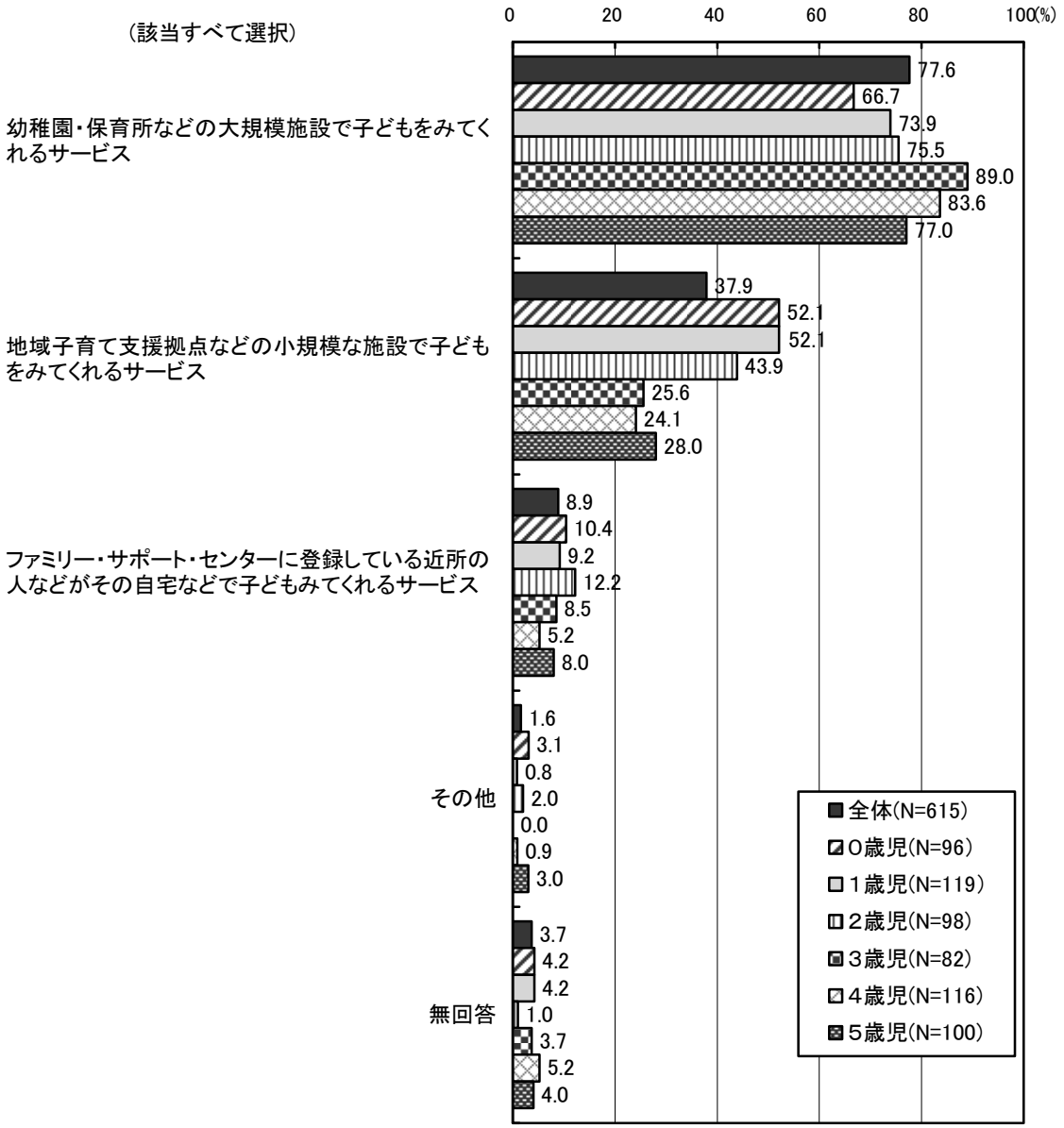
③　「一時預かり」の場合の望ましいサービス

問15-１　問15で「１．利用したい」に○をつけた方におうかがいします。問15の理由でお子さんを預ける場合、次のどの子育て支援サービスが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）なお、サービスの利用には、一定の利用料が発生します。

●利用したい人の一時預かりの望ましいサービスとして、全体では「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてくれるサービス」が77.6%で最も高く、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」が37.9%、「ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもみてくれるサービス」は8.9%となっています。

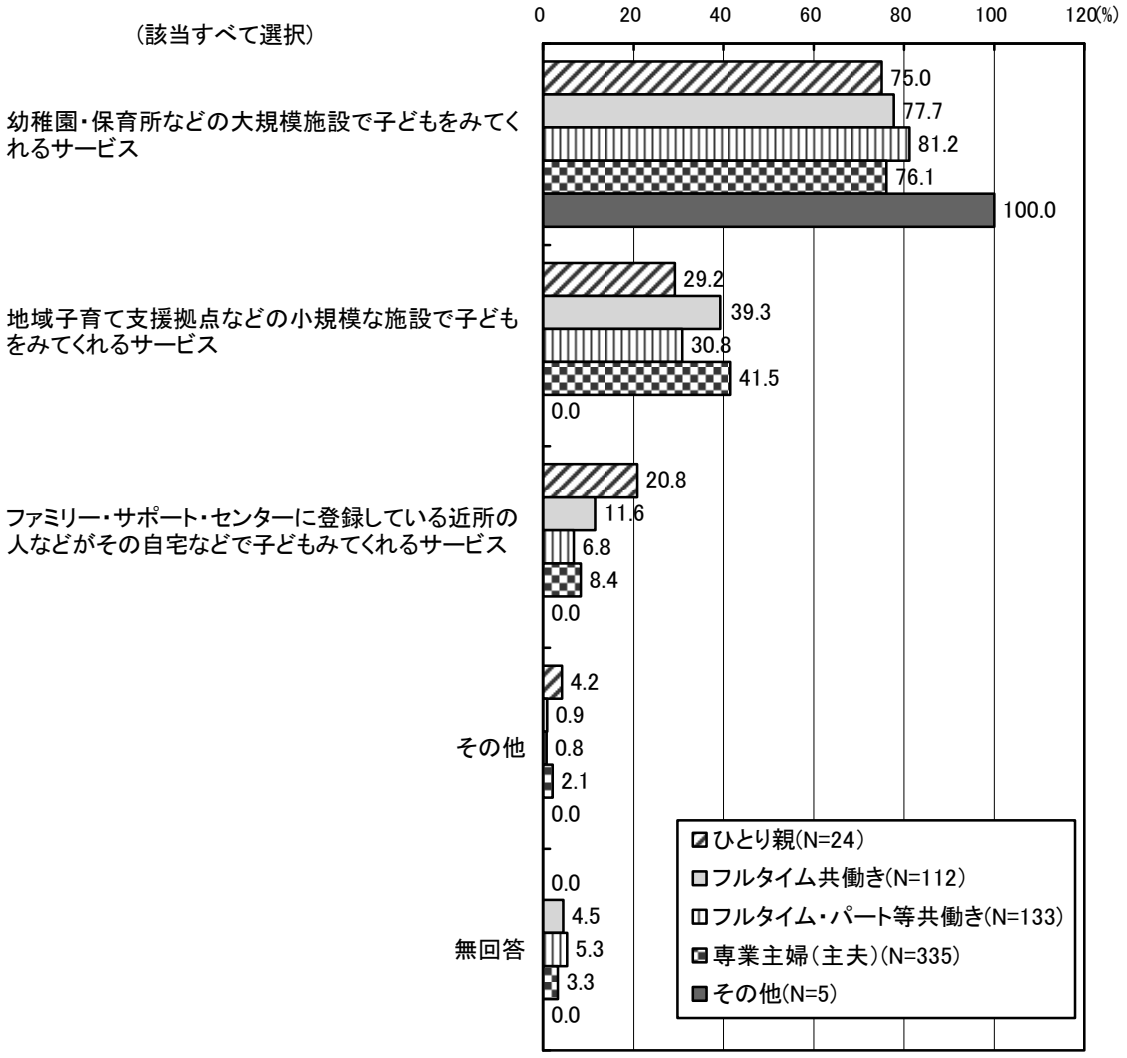
●子どもの年齢別では、どの年齢も「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてくれるサービス」が最も高くなっています。また、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」は、０歳児と１歳児がそれぞれ52.1%で最も高くなっています。

■子どもの年齢別　一時預かりの望ましいサービス



●親の就労状況等による世帯類型別では、どの世帯も「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてくれるサービス」が最も高くなっています。特にその他の世帯以外ではフルタイム・パート等共働き世帯が81.2%で80%を超えています。また、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」は、専業主婦（主夫）やフルタイム共働き世帯でおよそ40%程度となっています。「ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス」は、ひとり親世帯が20.8%と高くなっています。

■親の就労状況による世帯類型別　一時預かりの望ましいサービス



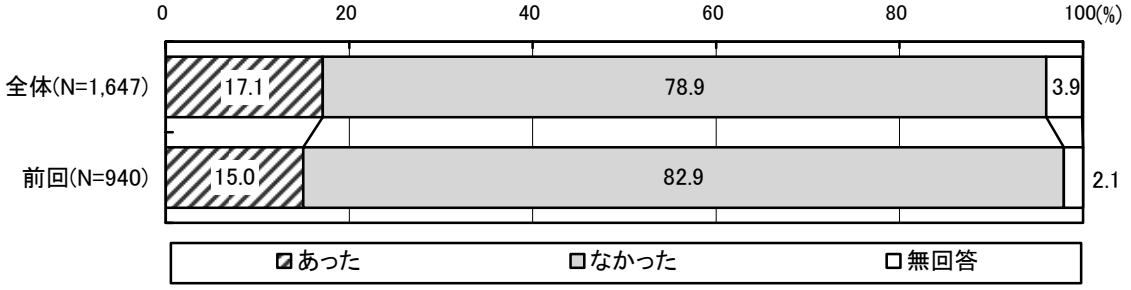
８　宿泊を伴う一時預かりについて

①　この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと

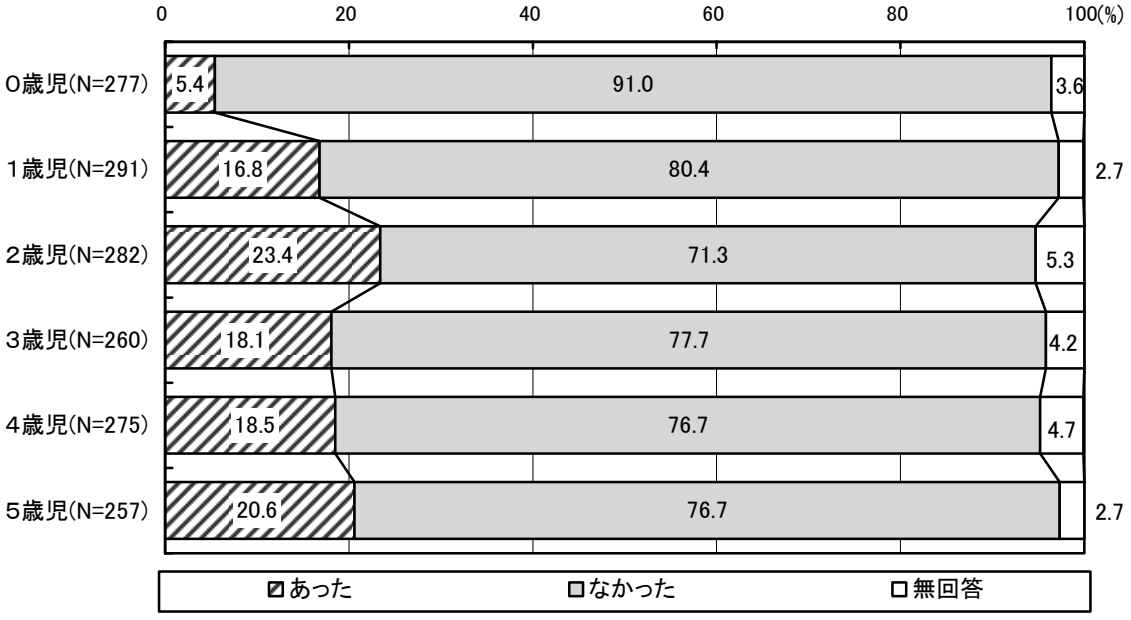
問16　この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として、あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（　　）内に数字でご記入ください。

- この１年間に、保護者の用事などにより子どもを泊りがけで預けなければならなかったことが「あった」は、全体では17.1％で、前回調査の15.0％より若干増加しています。
- 子どもの年齢別では、「あった」率は２歳児が23.4％で最も高く、０歳児が5.4％で最も低くなっています。

■この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと／前回調査との比較

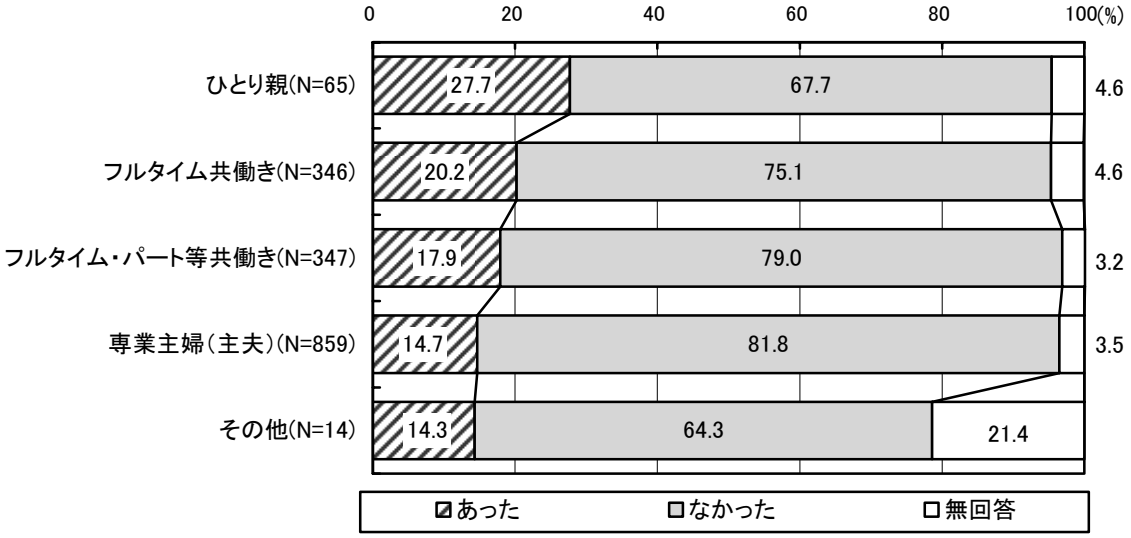


■子どもの年齢別　この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと



●親の就労状況等による世帯類型別では、「あった」率はひとり親が27.7%で最も高く、専業主婦（主夫）やその他の世帯でそれぞれ14.7%、14.3%と低くなっています。

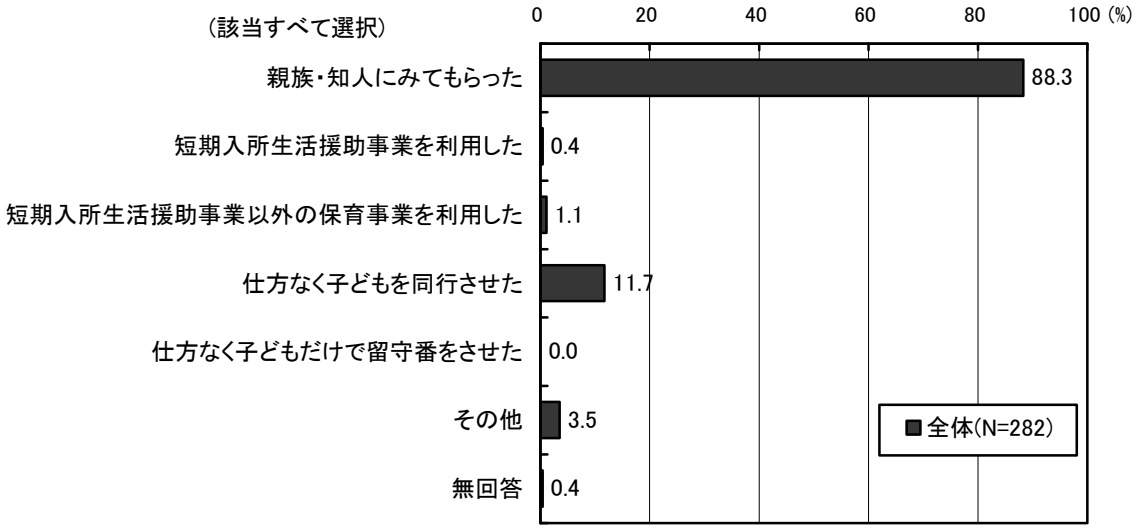
■親の就労状況等による世帯類型別　この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと



②　対処方法

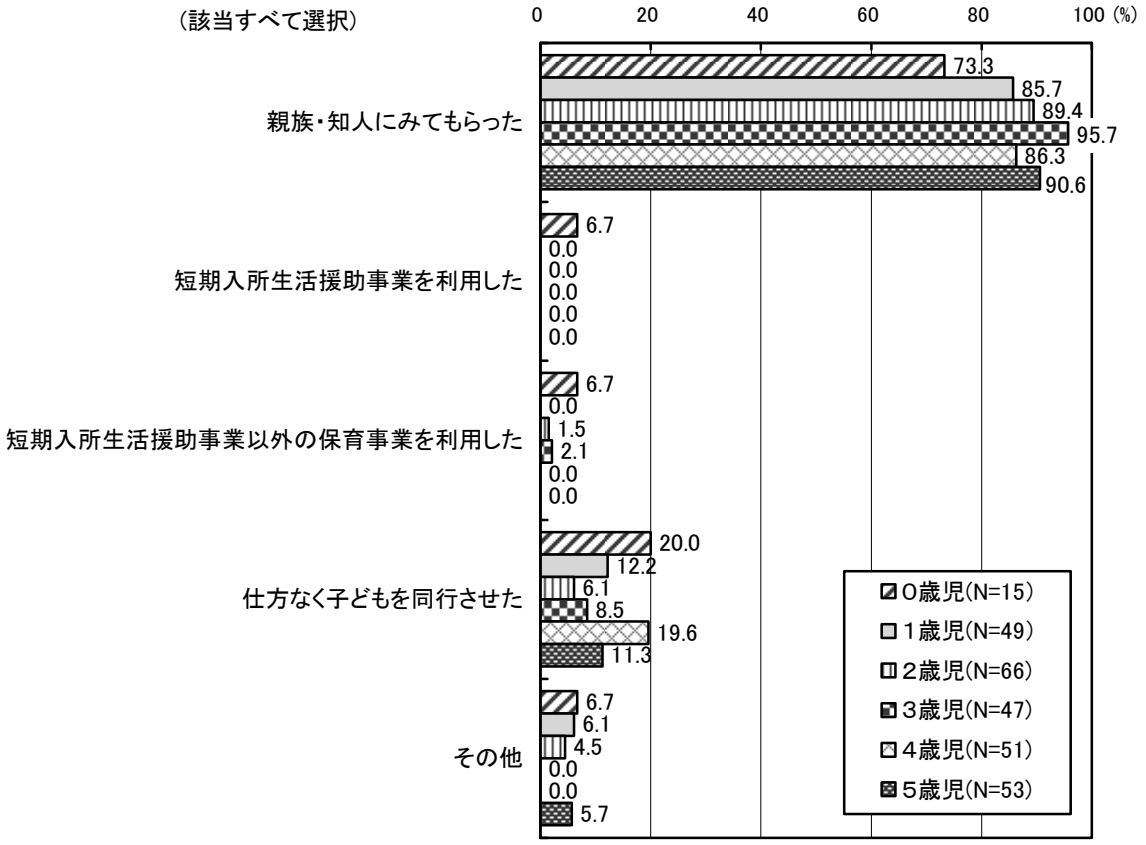
●預けたことが「あった」と回答した人は、全体では「同居者を含む親族・知人にみてもらった」が88.3%で最も高く、「仕方なく子どもを同行させた」が11.7%で、事業の利用は「短期入所生活援助事業を利用した」が0.4%、「短期入所生活援助事業以外保育事業を利用した」が1.1%と低い利用となっています。

■対処方法



●子どもの年齢別では、どの年齢も「同居者を含む親族・知人にみてもらった」率が最も高く、平均日数は４歳児が10.1日で最も多くなっています。「短期入所生活援助事業を利用した」は０歳児のみ１件、５日の利用となっています。「短期入所生活援助事業以外保育事業を利用した」は０歳児、２歳児、３歳児がそれぞれ１件の利用で、０歳児は特に30日と長くなっています。

■子どもの年齢別　対処方法



注)「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」及び無回答は該当がなく、グラフは省略しています。

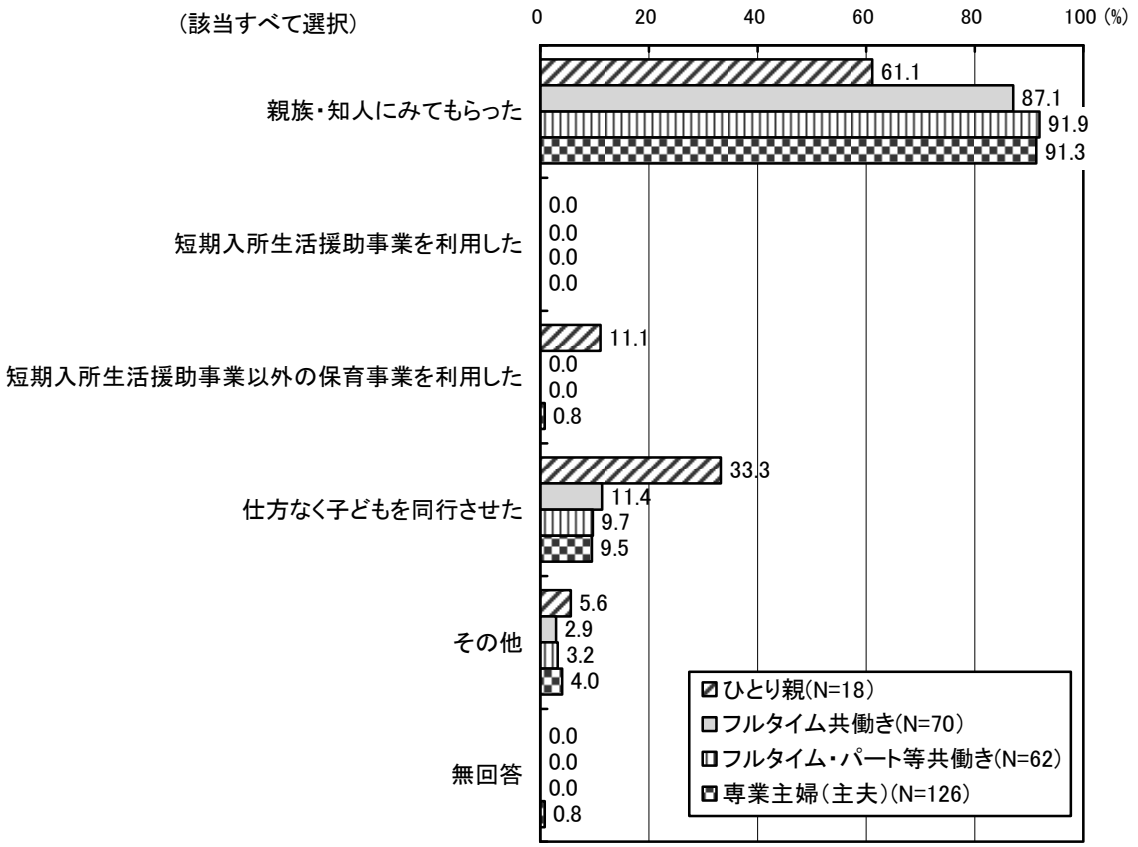
■対処方法別・子どもの年齢別　１年間に宿泊した日数の平均

対処方法	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった.	9件	38件	41件	40件	40件	47件
	5.2日	9.2日	6.3日	6.2日	10.1日	4.3日
イ. 短期入所生活援助事業を利用した	1件	0件	0件	0件	0件	0件
	5.0日	0日	0日	0日	0日	0日
ウ. イ以外の保育事業を利用した	1件	0件	1件	1件	0件	0件
	30.0日	0日	1.0日	1.0日	0日	0日
エ. 仕方なく子どもを同行させた	2件	6件	4件	3件	8件	6件
	1.5日	2.2日	3.0日	5.7日	2.0日	2.7日
カ. その他	1件	3件	3件	0件	0件	2件
	1.0日	2.7日	5.7日	0日	0日	10.5日

注)「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は、該当がないため省略しています。また、件数は、日数の無回答を除きます。

●親の就労状況等による世帯類型別では、どの世帯も「同居者を含む親族・知人にみてもらった」率が最も高く、特にフルタイム・パート等共働きや専業主婦（主夫）世帯では90%を超えています。また、ひとり親は「仕方なく子どもを同行させた」が33.3%と高くなっています。

■親の就労状況等による世帯類型別　対処方法



注）その他世帯は2件のため省略していますが、「親族・知人にみてもらった」及び「短期入所生活援助事業を利用した」がそれぞれ1件となっています。

９　地域の子育て支援事業の利用状況について

①　子育て支援センターや子育てサロンなどの利用状況

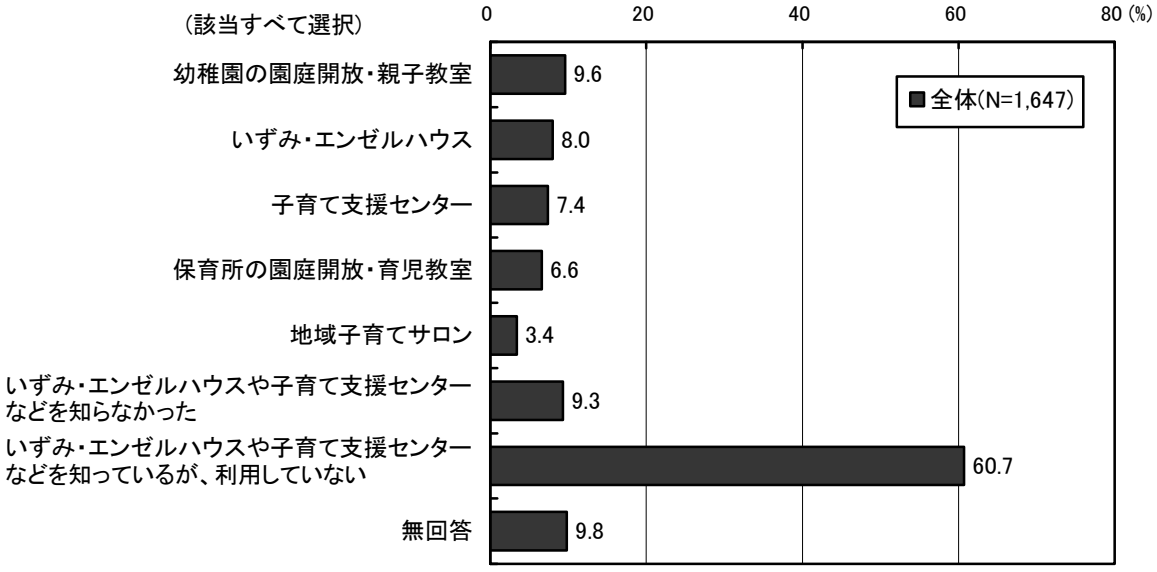
問17　あて名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりすることができる子育て支援センターや子育てサロンなどを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）また、おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

●全体では、「幼稚園の園庭開放・親子教室」が9.6%で最も高く、次いで「いずみ・エンゼルハウス」が8.0%、「子育て支援センター」が7.4%、「保育所の園庭開放・育児教室」が6.6%など僅差で続き、「地域子育てサロン」が3.4%で最も低くなっています。

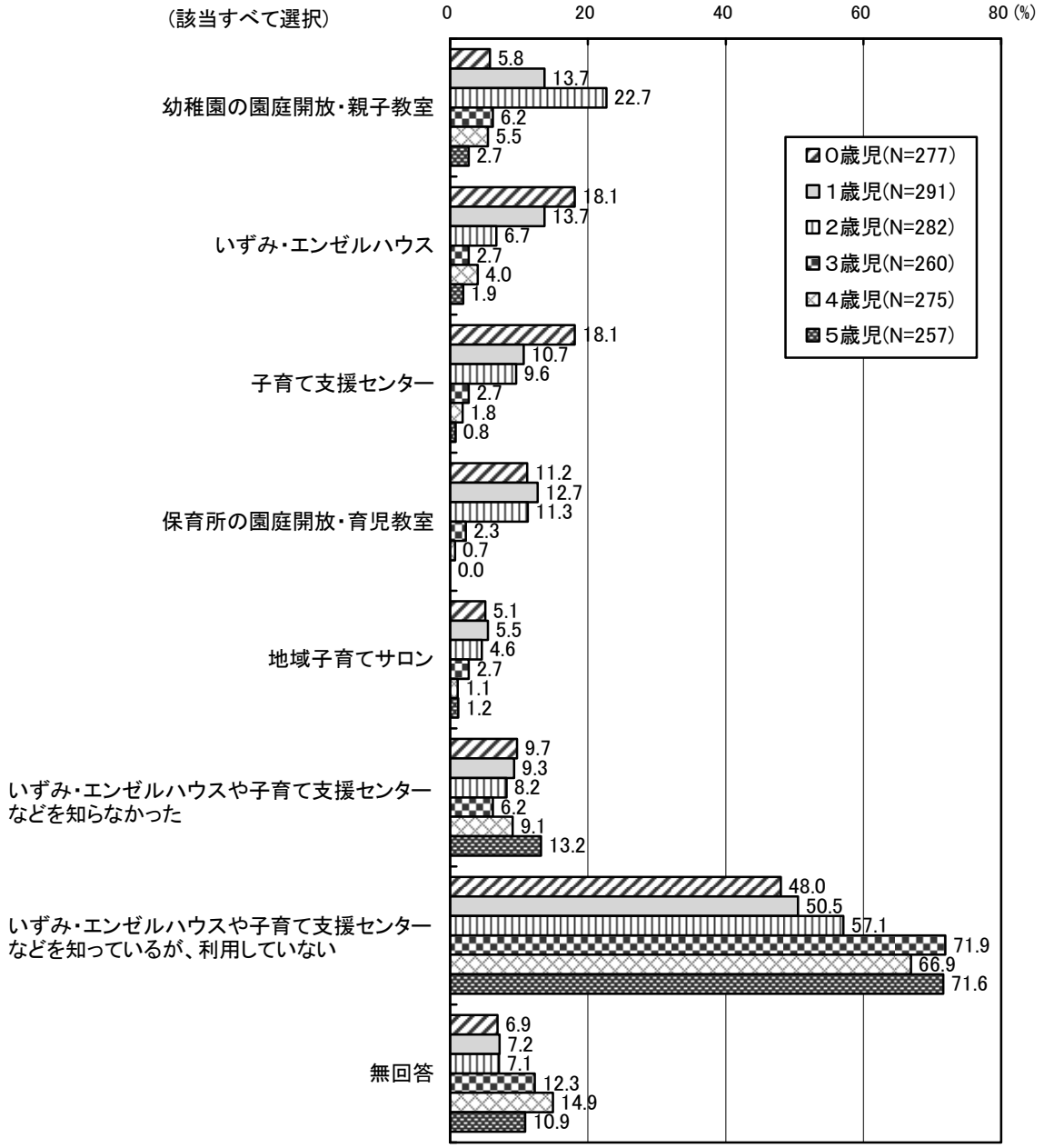
●子どもの年齢別では、事業の対象として基本的には０歳児～２歳児の利用率が高くなっていますが、３歳児から５歳児も低いながら利用があります。また、「いずみ・エンゼルハウスや子育て支援センターなどを知らなかった」は、５歳児が13.2%で他の年齢児よりも若干高くなっています。「いずみ・エンゼルハウスや子育て支援センターなどを知っているが、利用していない」は０歳児及び１歳児ではおよそ半数、２歳児以上は半数を超え、３歳児及び５歳児では70%を超えています。

●親の就労状況等による世帯類型別では、どの事業も専業主婦（主夫）世帯の利用率が高くなっています。また、フルタイム共働きやフルタイム・パート等共働き世帯の利用が「いずみ・エンゼルハウス」や「子育て支援センター」でありますが、主に育休中の利用者となっています。また、「いずみ・エンゼルハウスや子育て支援センターなどを知っているが、利用していない」は、フルタイム共働きやフルタイム・パート等共働き世帯ではおよそ70%と高くなっていますが、専業主婦（主夫）世帯でも54.9%と半数を超えています。

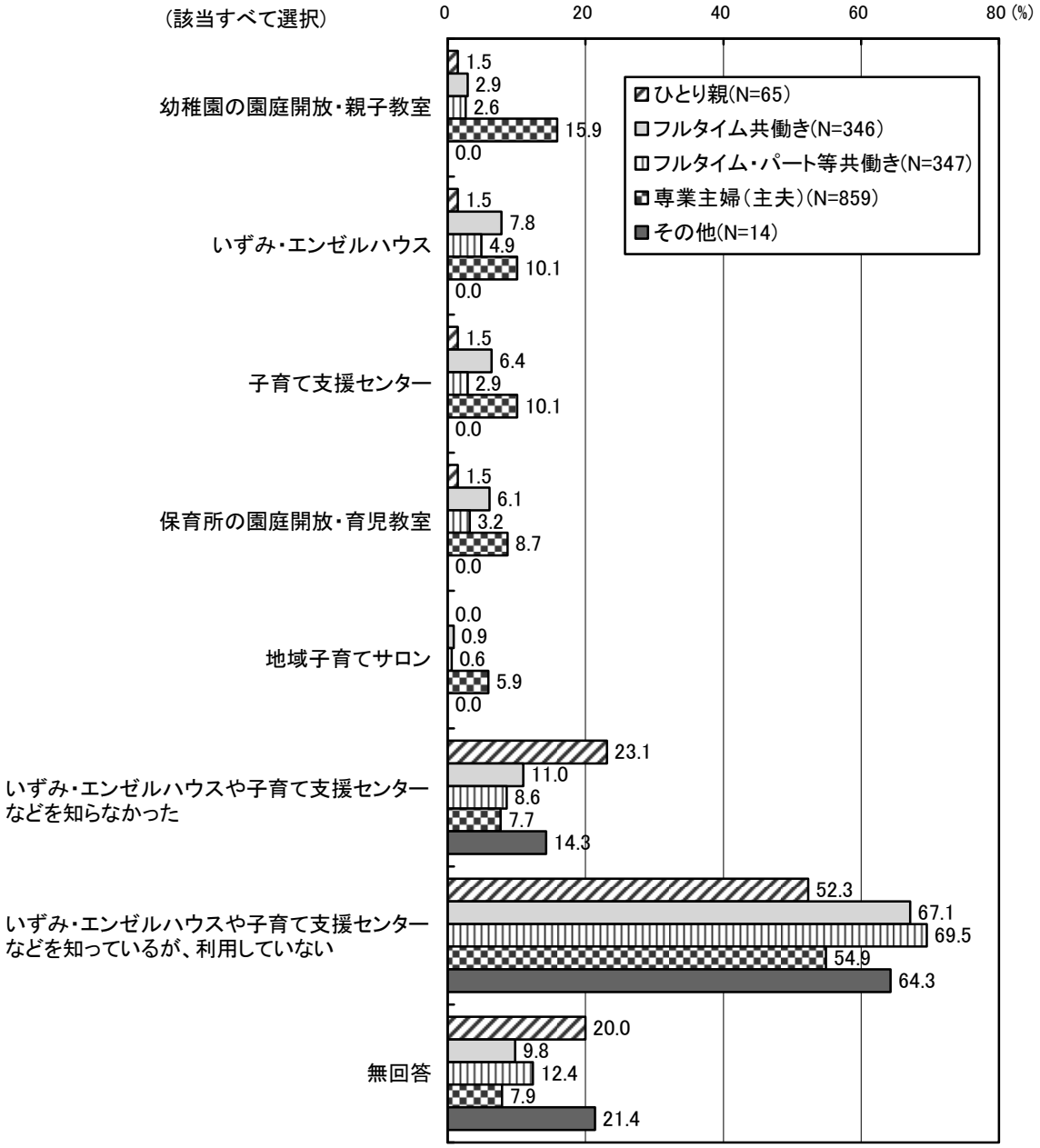
■子育て支援センターや子育てサロンなどの利用状況



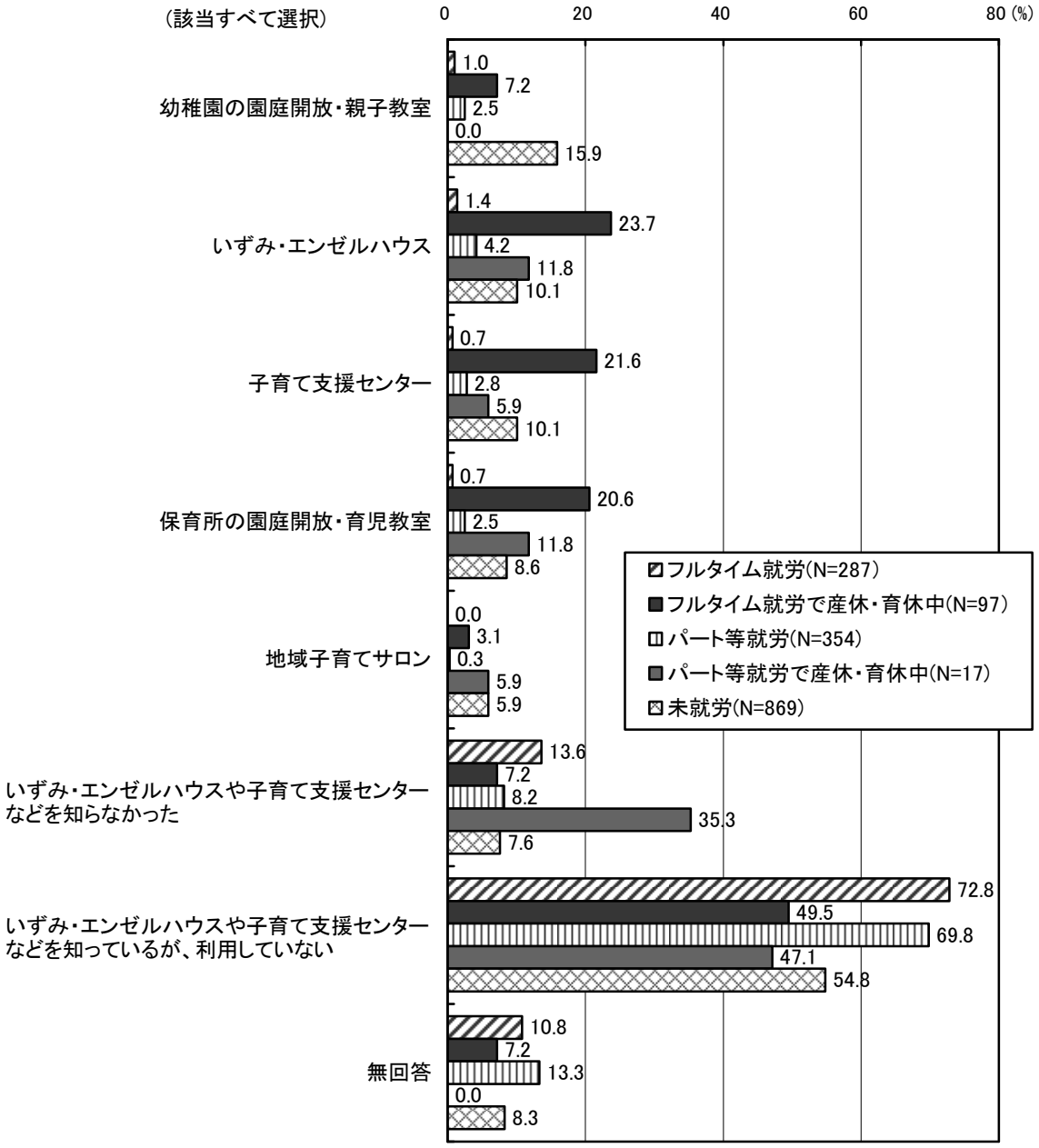
■子どもの年齢別　子育て支援センターや子育てサロンなどの利用状況



■親の就労状況による世帯類型別　子育て支援センターや子育てサロンなどの利用状況

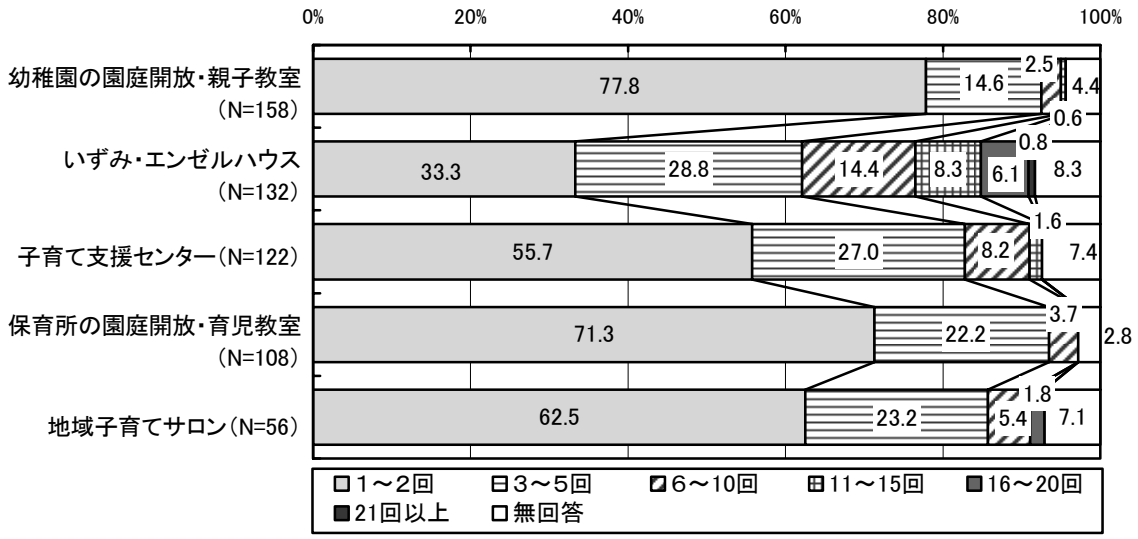


■母親の就労状況別　子育て支援センターや子育てサロンなどの利用状況



●事業別の1か月当たりの利用回数では、どの事業も月「1～2回」の率が高くなっています。その中で、いずみ・エンゼルハウスは33.3%で最も低く、「３～５回」が28.8%。「６～10回」が14.4%、「11～15回」が8.3%、「16～20回」が6.1%など、月の３分の１以上利用している人も15.2%となっています。

■事業別　１か月当たり利用回数



②　子育て支援センターや子育てサロンなどの今後の利用意向

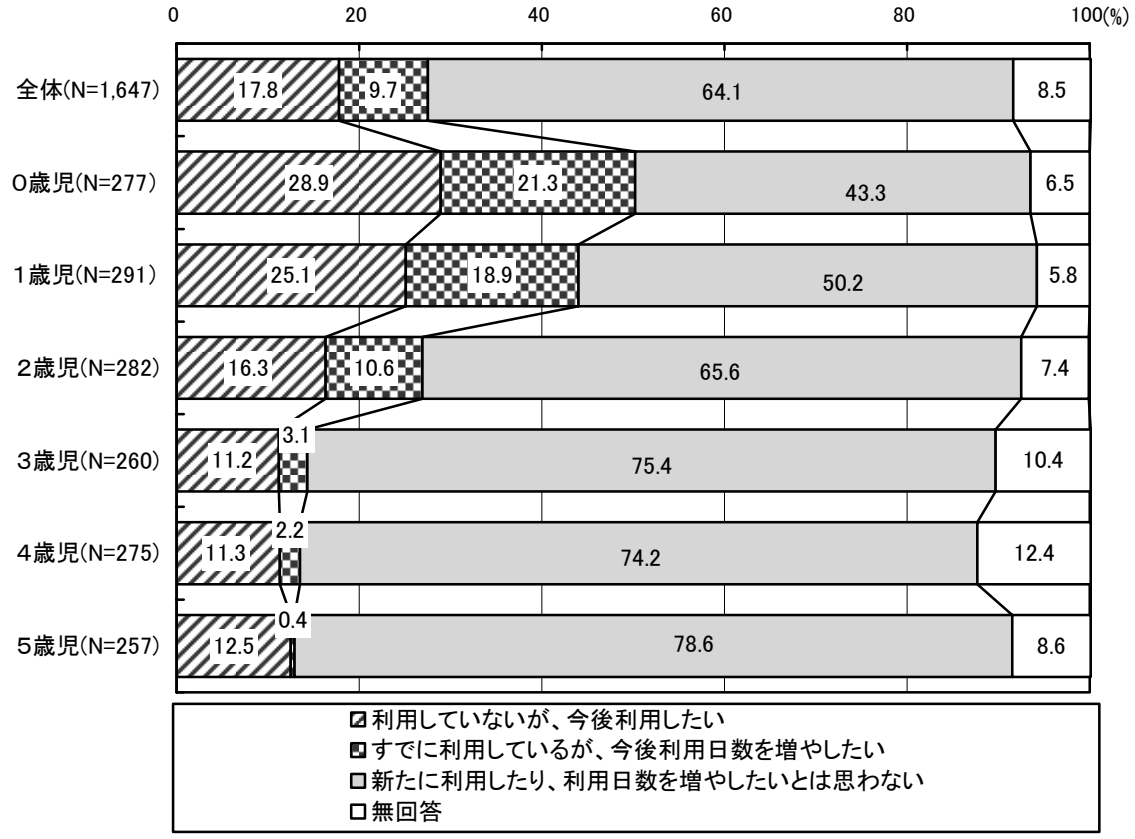
問18　問17のような子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後、利用したい、あるいはすでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいと思いますか。（１つだけ○）また、おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

●「利用していないが、今後利用したい」は17.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が9.7%で、合わせて【利用したい】は27.5%です。

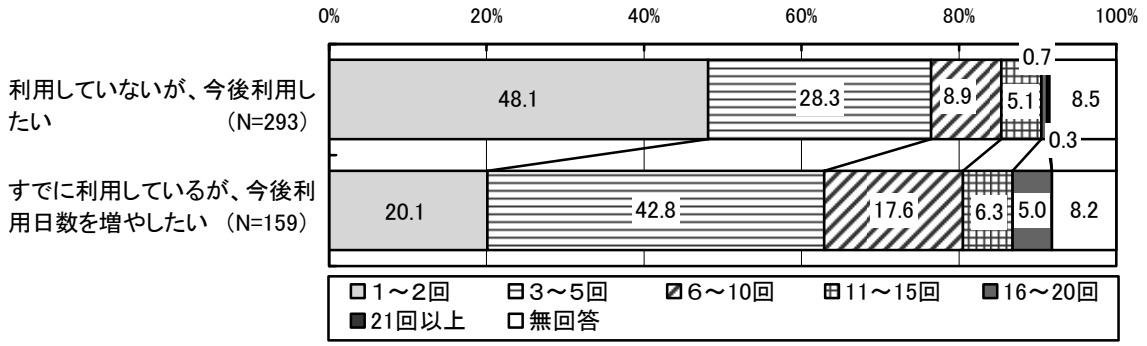
●子どもの年齢別では、「利用していないが、今後利用したい」は０歳児が28.9%、１歳児が25.1%、２歳児が16.3%で、３歳児以上より高くなっています。また、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」も０歳児（21.3%）や１歳児（18.9%）が高くなっています。

●今後の利用意向別に１か月当たりの利用希望回数をみると、「利用していないが、今後利用したい」人は、「１～２回」が48.1%とおよそ半数を占めます。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人は、「３～５回」が42.8%で最も高く、【11回以上】も11.3%となっています。

■子どもの年齢別　子育て支援センターや子育てサロンなどの今後の利用意向



■利用意向別　１か月当たり利用希望回数

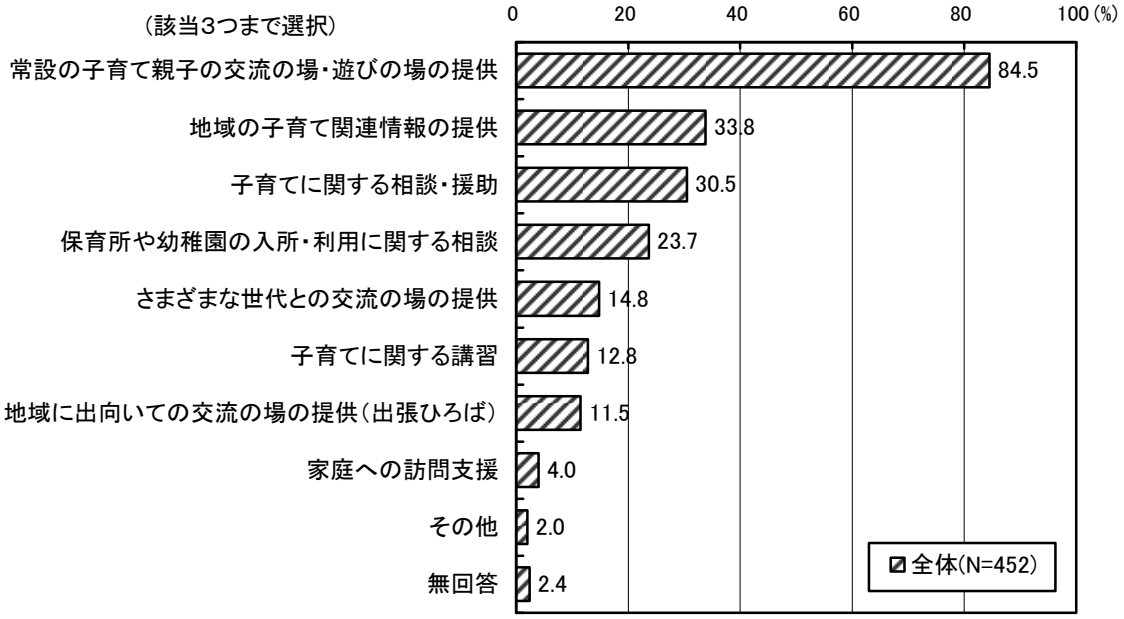


③　地域子育て支援拠点事業の利用したいサービス

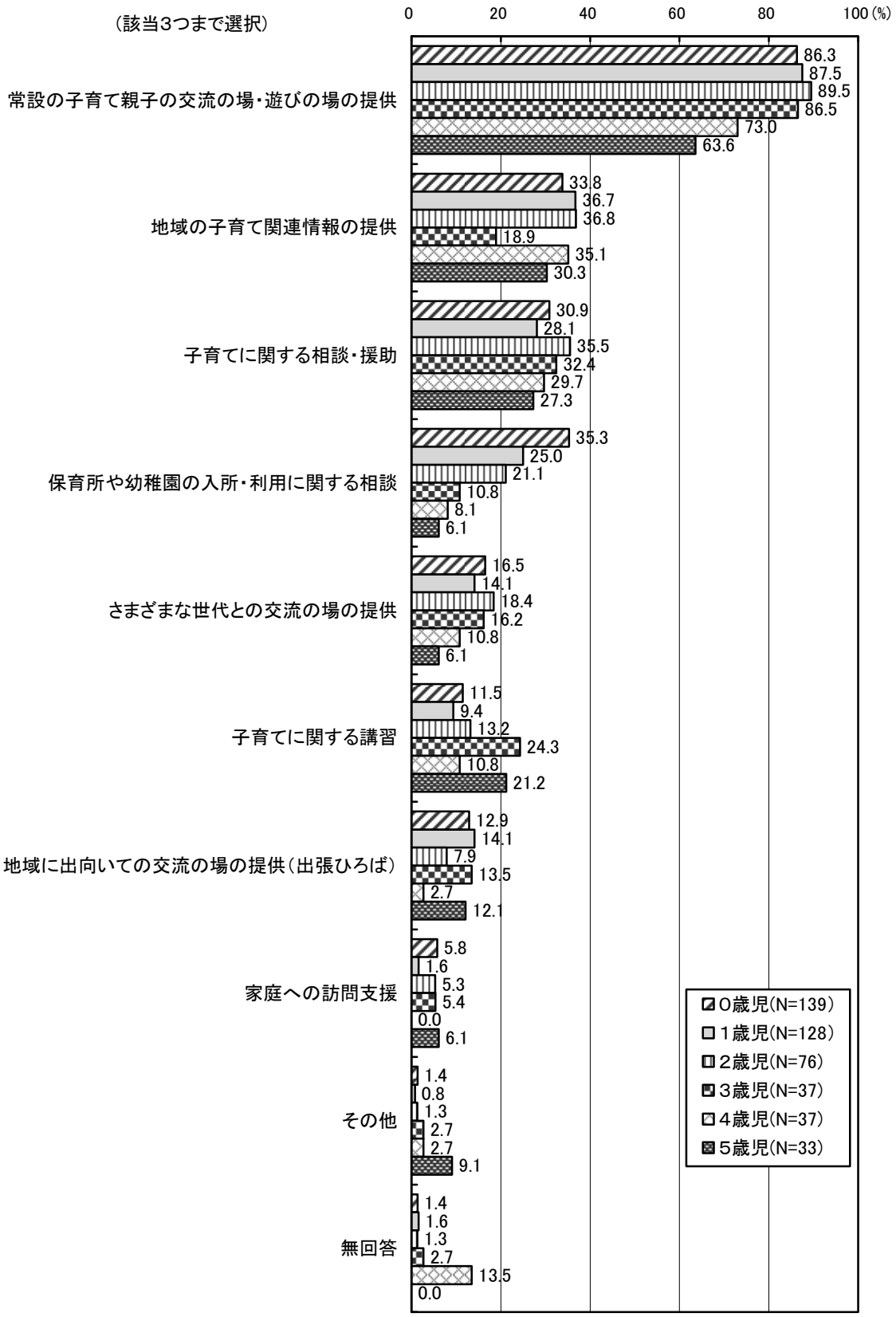
問18-１　問18で「１．利用したい」あるいは「２．今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問19へお進みください。
　地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。（３つまで○）なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

●全体では、地域子育て支援拠点事業の利用したいサービスの中で、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が84.5%で最も高く、他には「地域の子育て関連情報の提供」が33.8%、「子育てに関する相談・援助」が30.5%などと続きます。
●子どもの年齢別では、どの年齢も「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が最も高く、特に０歳児から３歳児はおよそ９割と高くなっています。また、「保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談」では、０歳児が35.3%で最も高く、年齢が上がるにしたがい低下しています。

■地域子育て支援拠点事業の利用したいサービス



■子どもの年齢別　地域子育て支援拠点事業の利用したいサービス



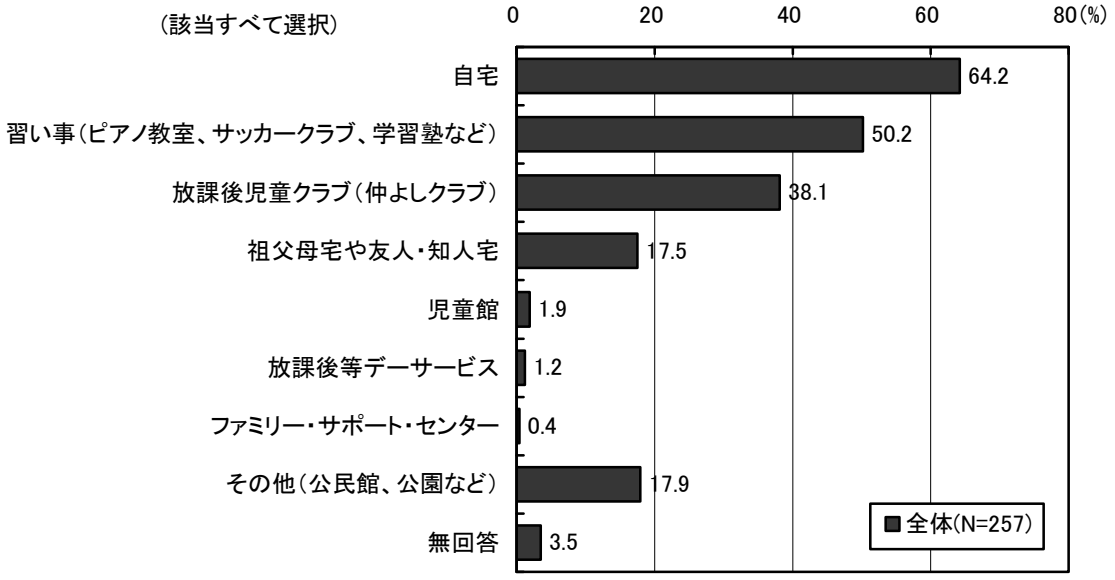
10　放課後児童クラブの利用意向（５歳児のみ）

①　小学校低学年の時の放課後に過ごさせたい場所

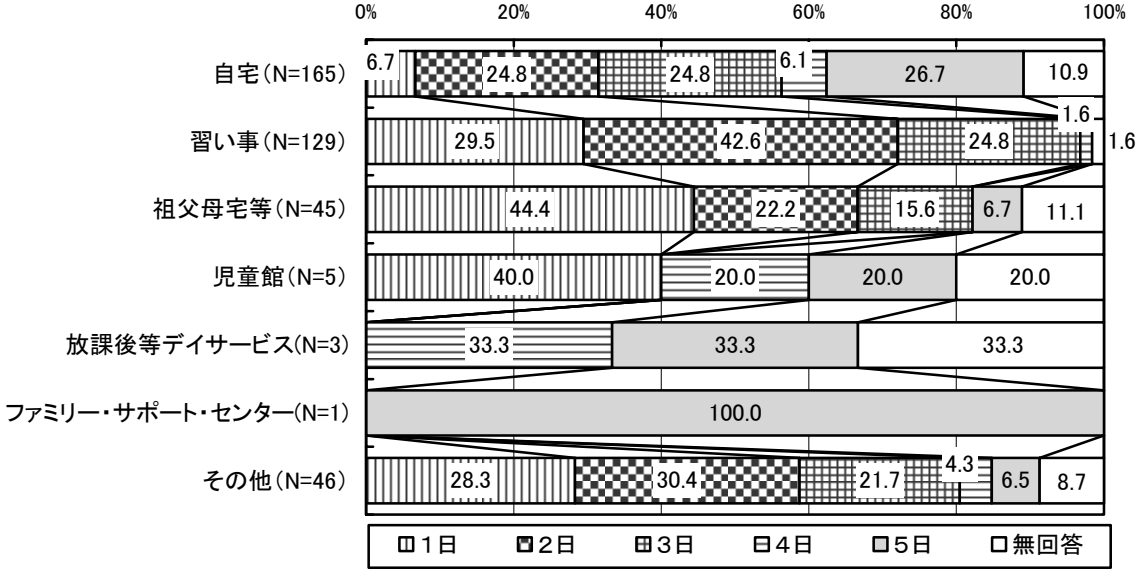
問19　あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。

- ５歳児全体では、「自宅」が64.2%で最も高く、次いで「習い事」が50.2%で半数があげ、週に「２日」の希望が42.6%で最も高くなっています。「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」は38.1%となっています。
- 地域別では、回答数が少ない地域もあり、一概には言えませんが、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」は北部が69.4%で最も高く、他の地域は30%前後となっています。

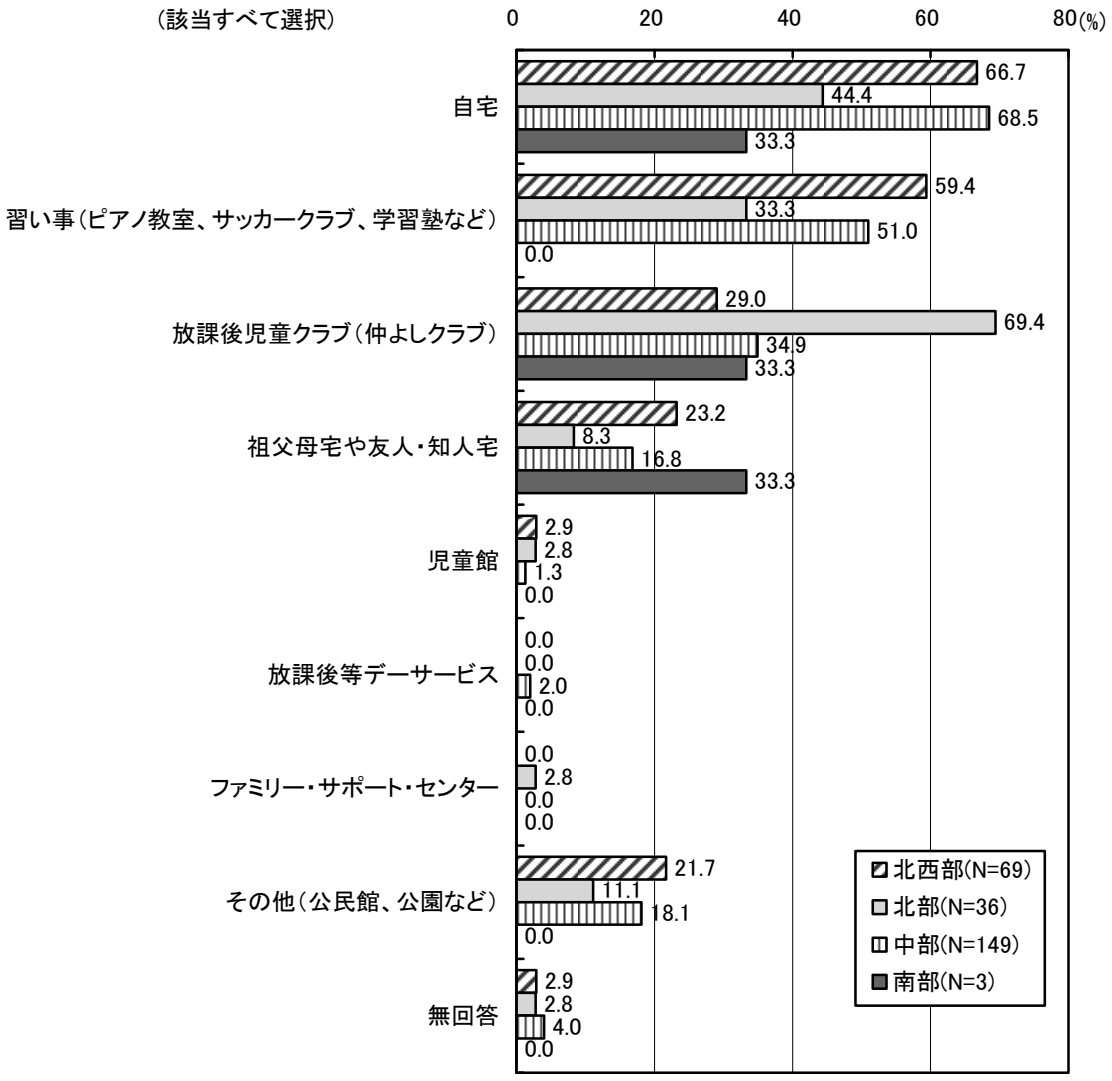
■小学校低学年の時の放課後に過ごさせたい場所



■過ごさせたい場所の１週当たりの利用希望日数（放課後児童クラブを除く）



■地域別　小学校低学年の時の放課後に過ごさせたい場所

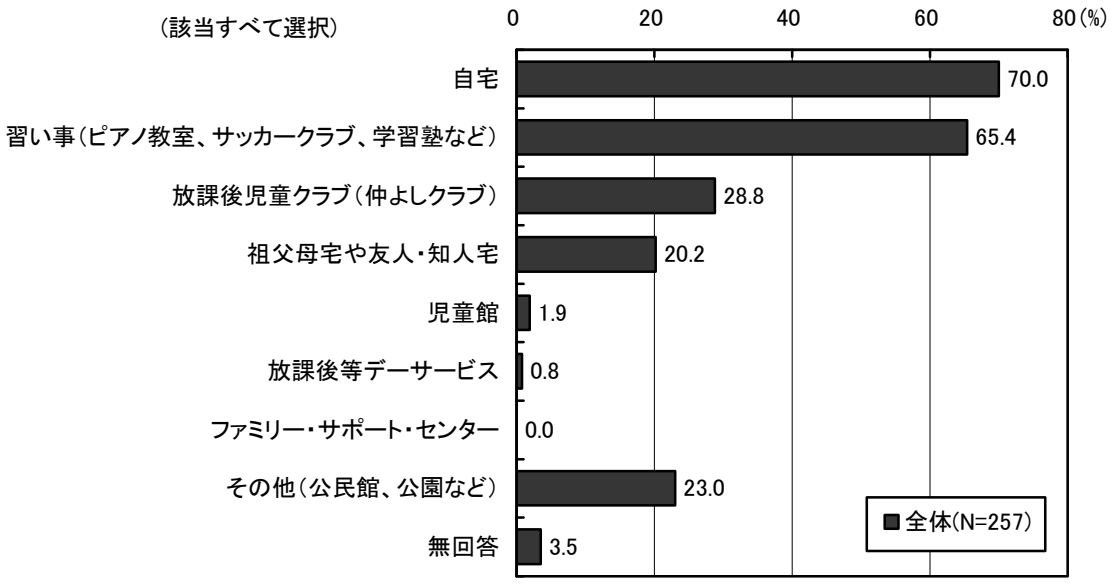


②　小学校高学年の時の放課後に過ごさせたい場所

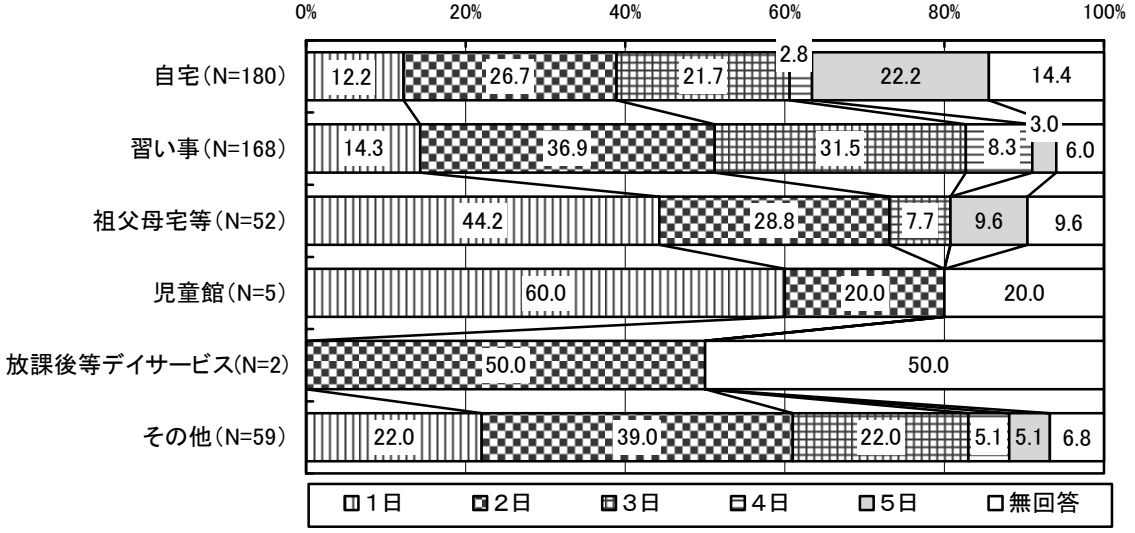
問20　あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。

- 「自宅」が70.0%で最も高く、次いで「習い事」が65.4%となっています。「習い事」は低学年時の希望より15.2ポイント高く、週に【3日以上】の希望も42.8%で、低学年時より16.4ポイント高くなっています。「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」は28.8%で、低学年時の希望より9.3ポイント低くなっています。
- 地域別では、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」は北部が47.2%で最も高くなっています。

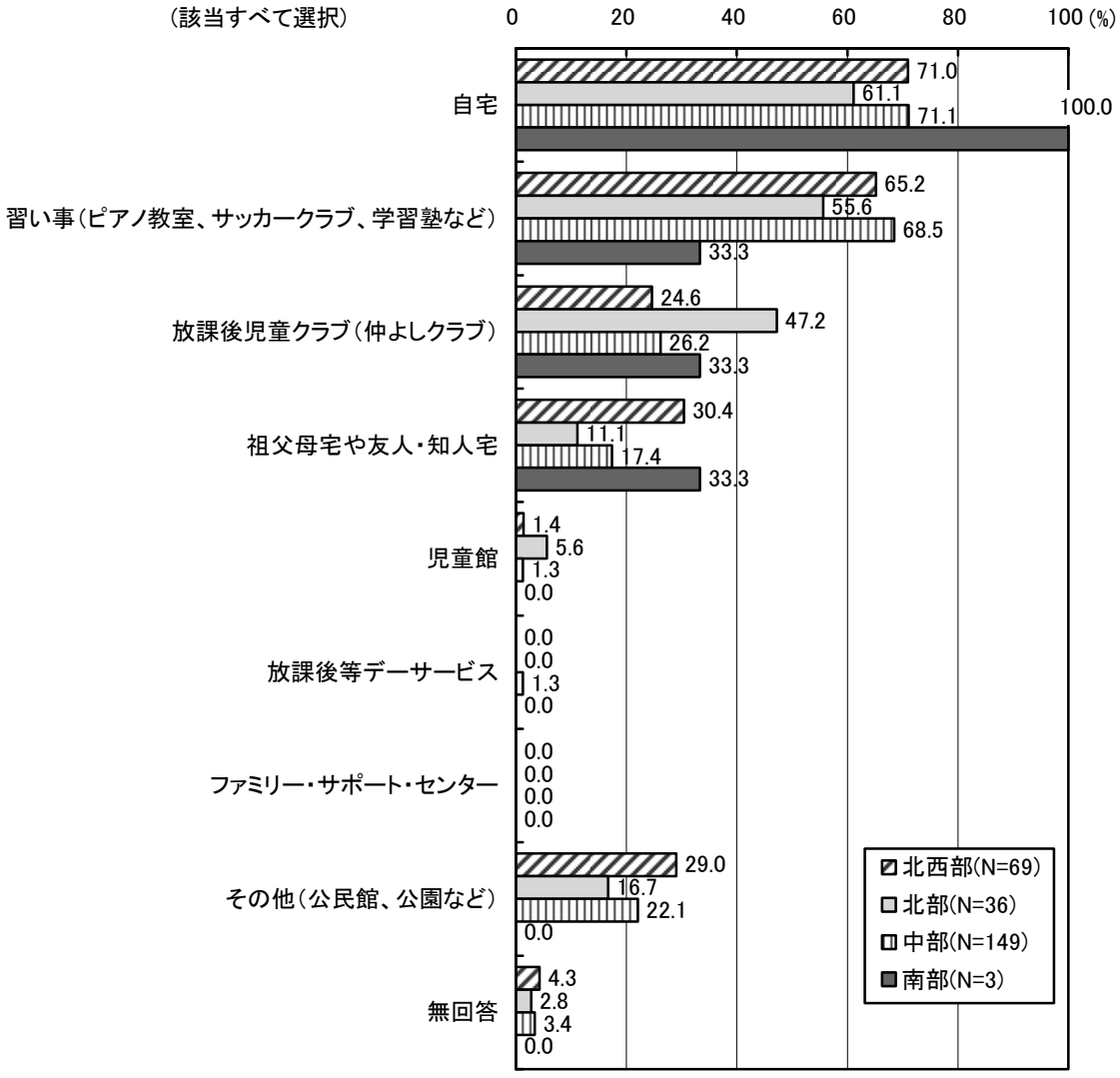
■小学校高学年の時の放課後に過ごさせたい場所



■過ごさせたい場所の１週当たりの利用希望日数（放課後児童クラブを除く）



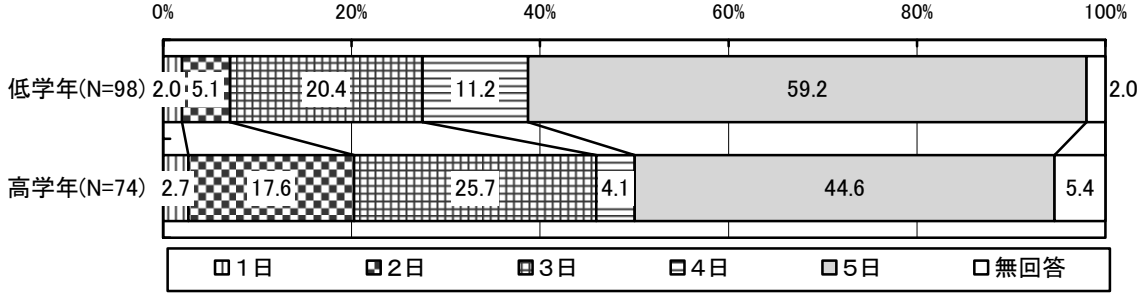
■地域別　小学校高学年の時の放課後に過ごさせたい場所



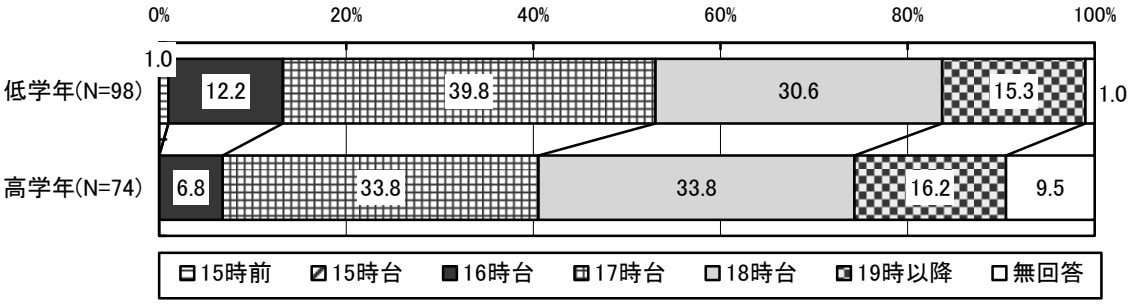
③　放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の利用希望日数等

- 低学年時は、１週当たり「５日」が59.2%と高いものの、週の半分までの【３日以下】が合わせて27.5%となっています。高学年時も１週当たり「５日」が44.6%で最も高いものの、低学年時より14.6ポイント減少し、代わって週の半分までの【３日以下】が合わせて46.0%と高くなっています。
- 下校時からの利用希望終了時間は、低学年時は「17時台」が39.8%で最も高く、高学年時は「17時台」及び「18時台」が、それぞれ33.8%と同率になっています。また、低学年時も高学年時も「19時以降」の希望が、それぞれ15.3%、16.2%となっています。

■放課後児童クラブの１週当たりの利用希望日数



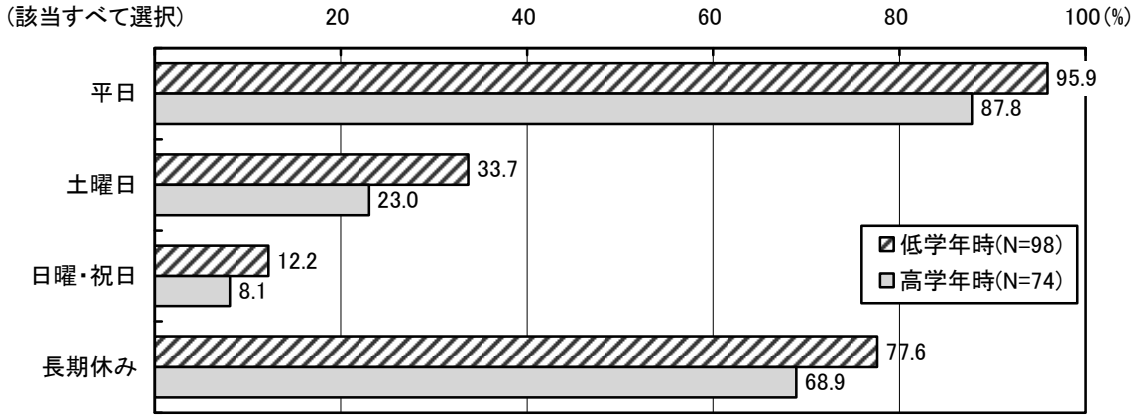
■下校時からの利用希望終了時間



問21　問19または問20で「５．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問22へお進みください。「仲よしクラブ」を利用したい曜日等をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

●利用したい曜日は、低学年時では「平日」が95.9%と高い割合となっていますが、高学年時でも87.8%となっています。
●「土曜日」は、低学年時では33.7%、高学年時では23.0%となっています。
●「日曜・祝日」は、低学年時では12.2%、高学年時では8.1%となっています。
●長期休みの場合、低学年時では77.6%、高学年時でも68.9%となっています。

■「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」を利用したい曜日等



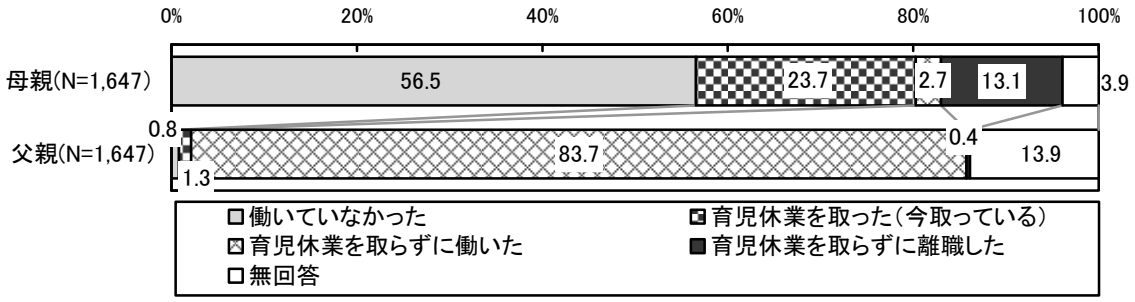
11　仕事と子育ての両立支援について

①　育児休業の取得状況

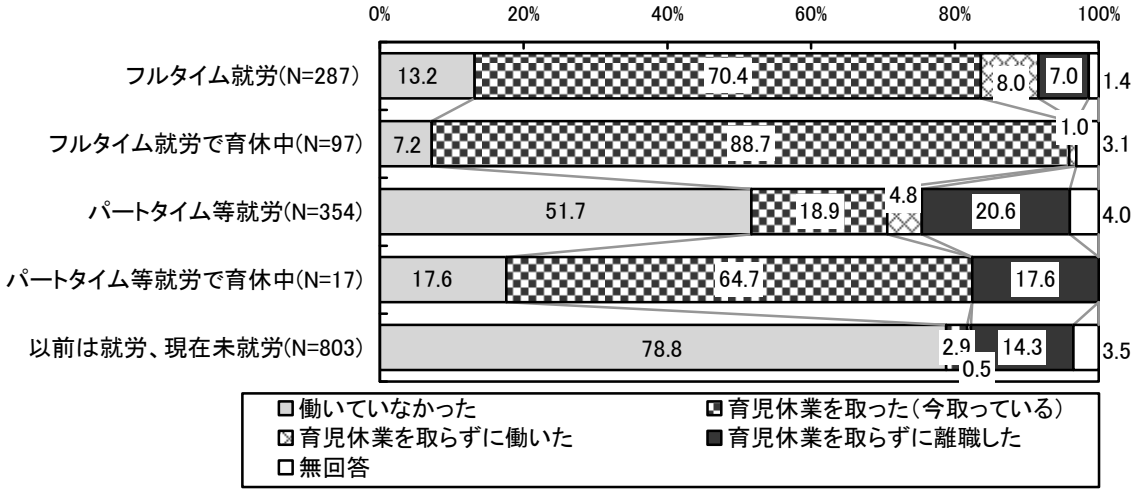
問22　あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんのいずれか、もしくは両方が育児休業を取りましたか。お母さん、お父さんそれぞれについて、あてはまる番号に１つだけ○をつけ、該当する（　）内には数字をご記入ください。複数回取得の場合は、最近の場合についてお答えください。また、取得していない場合は、理由もお答えください。

- 育児休業を母親が「取った（今取っている）」は23.7%（前回は13.8%）、父親が「取った（今取っている）」は1.3%（前回は0.1%）で、両方ともに取得率は前回調査より高くなっています。
- 母親の場合、フルタイム就労者のうち、過去に育児休業を取ったことがある率は70.4%となっていますが、「育児休業を取らずに働いた」が8.0%、「育児休業を取らずに離職した」が7.0%となっています。フルタイム就労者のうち、現在、育児休業を取っている率は88.7%となっています。
- パート・アルバイト等就労者のうち、過去に育児休業を取ったことがある率は18.9%で、現在育児休業を取っている率は64.7%となっています。

■育児休業制度の利用状況

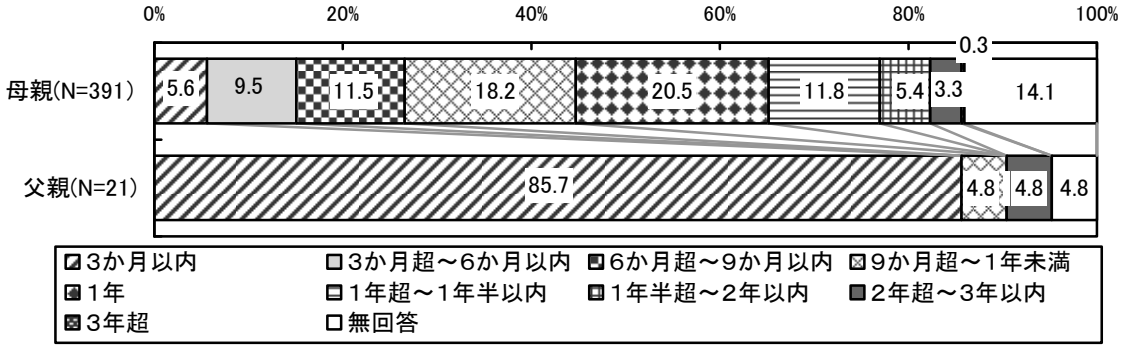


■母親の就労状況別　育児休業制度の利用状況



●育児休業を取った母親の取得期間は、「１年」が20.5%で最も高く、次いで「９か月超～１年未満」が18.2%、「１年超～１年半以内」が11.8%、「6か月超～9か月以内」が11.5%などで、【１年以内】が合わせて65.3%、【１年超】が合わせて20.8%となっています。
●父親の取得期間は、「3か月以内」が85.7%で最も高くなっています。

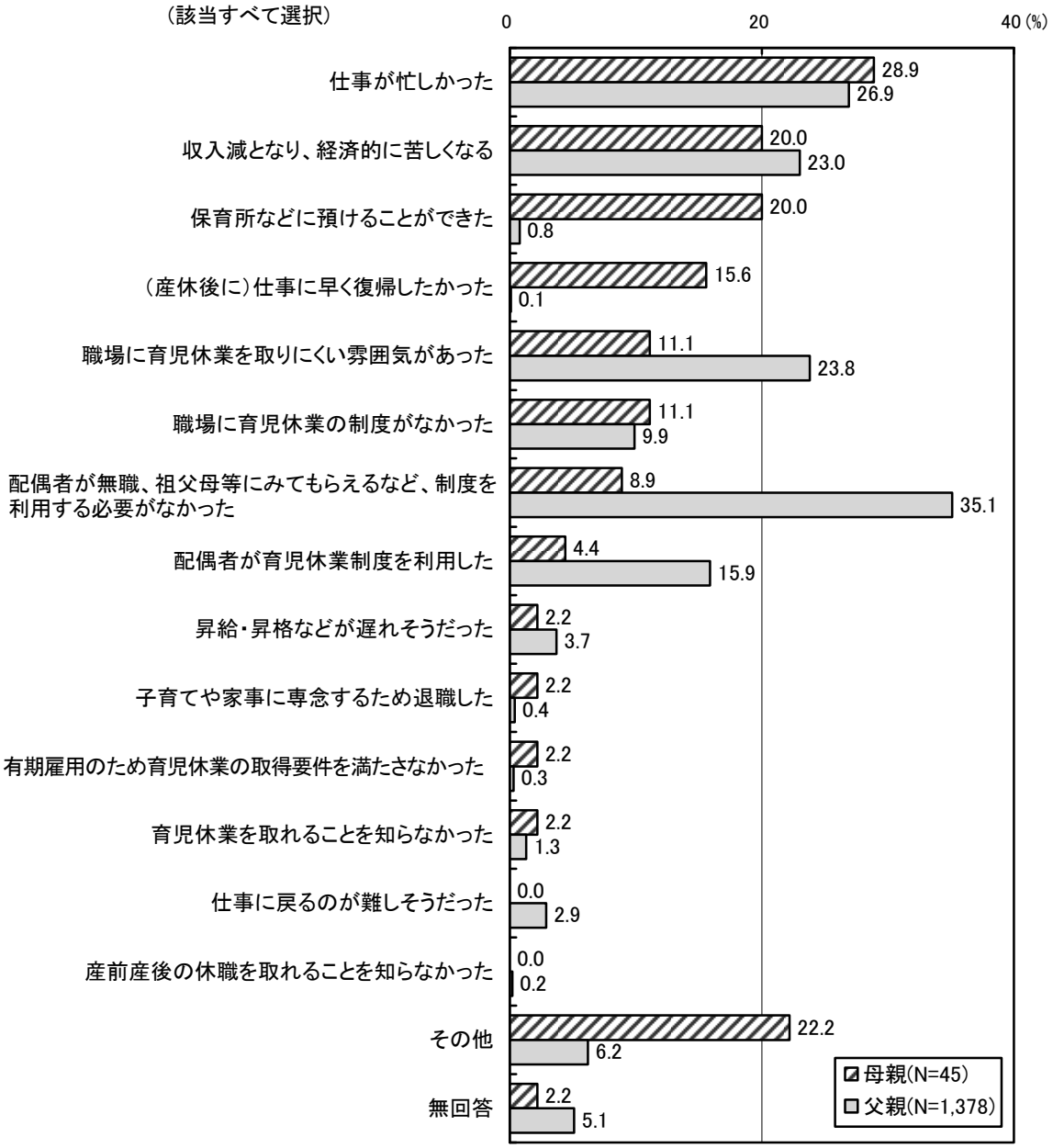
■育児休業の取得期間



②　育児休業を取らずに働いた理由

●育児休業を取らずに働いた理由としては、母親の場合、「仕事が忙しかった」が28.9%で最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」及び「保育所などに預けることができた」（各20.0%）、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」（15.6%）などとなっています。
●父親の場合、「配偶者が無職、祖父母等にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.1%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（26.9%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（23.8%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（23.0%）などとなっています。

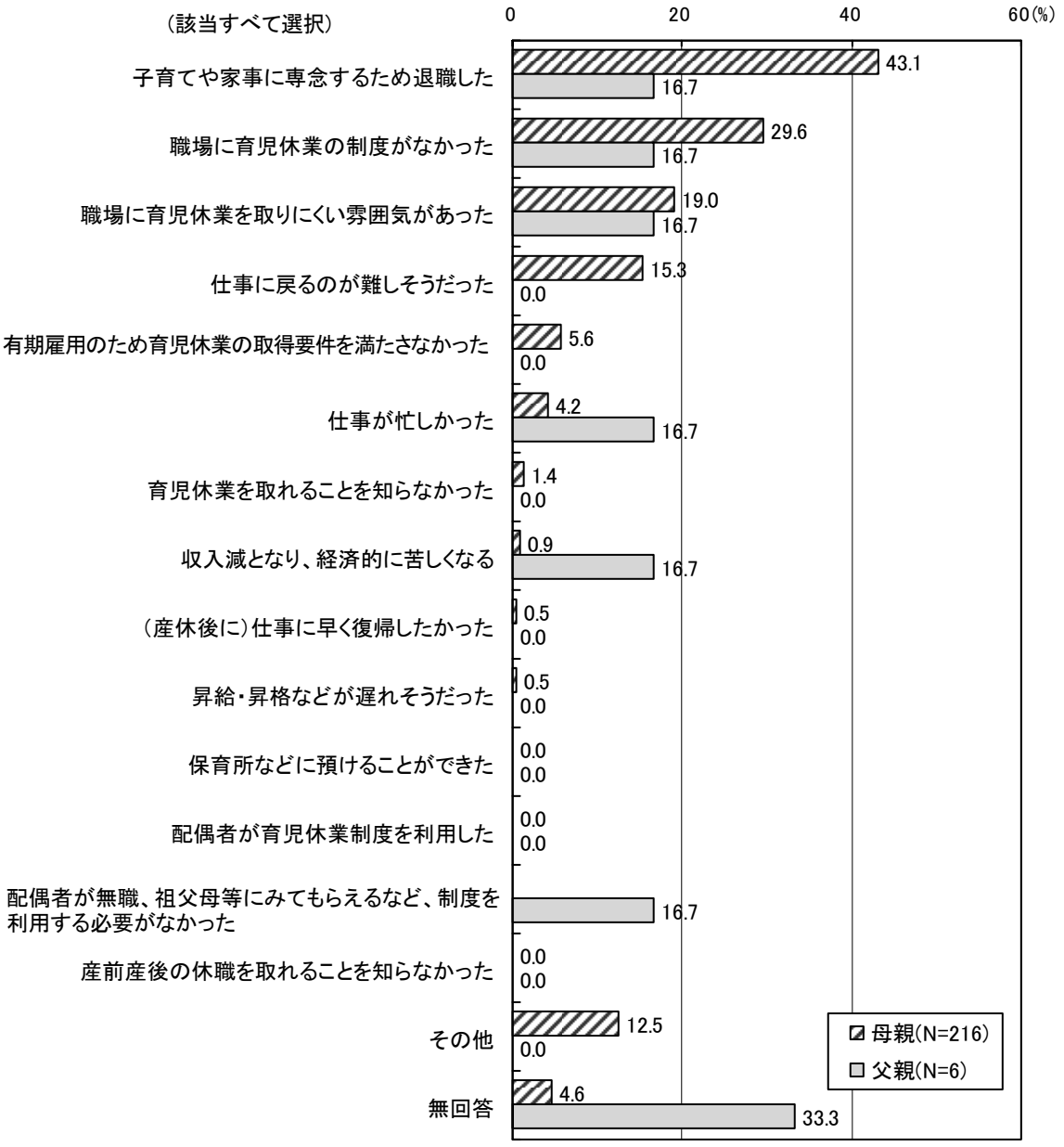
■育児休業を取らずに働いた理由



③　育児休業を取らずに離職した理由

●育児休業を取らずに離職した理由としては、母親の場合、「子育てや家事に専念するため退職した」が43.1％で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」（29.6%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（19.0%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」（15.3%）などとなっています。
●父親の場合、離職した人が少ないことと、無回答が３分の１あるため、回答が同率で分散しています。

■育児休業を取らずに離職した理由

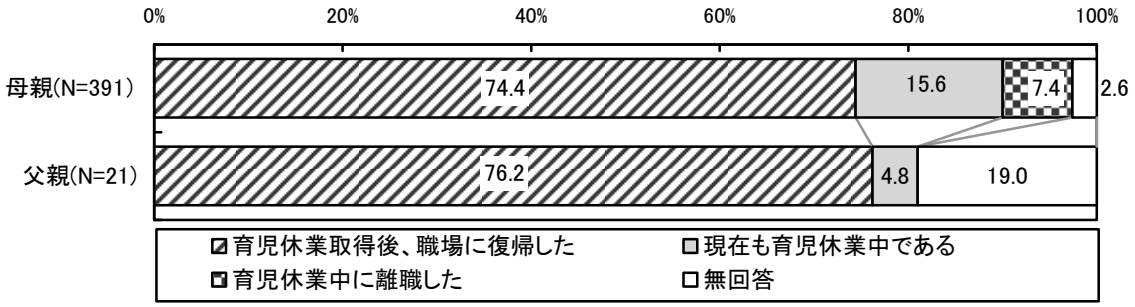


④　育児休業取得後の職場への復帰状況

問22-１　問22でお母さんまたはお父さんが「２．育児休業を取った（今取っている）」に○をつけた方におうかがいします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（１つだけ○）

●母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.4%、「現在も育児休業中である」が15.6%、一方、「育児休業中に離職した」が7.4%となっています。
●父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が76.2%となっています。

■育児休業取得後の職場への復帰状況

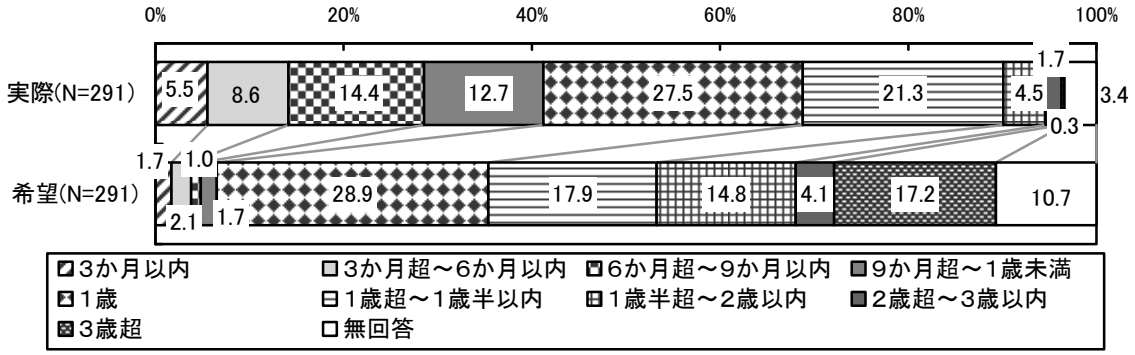


④　育児休業取得後の職場への復帰の時期

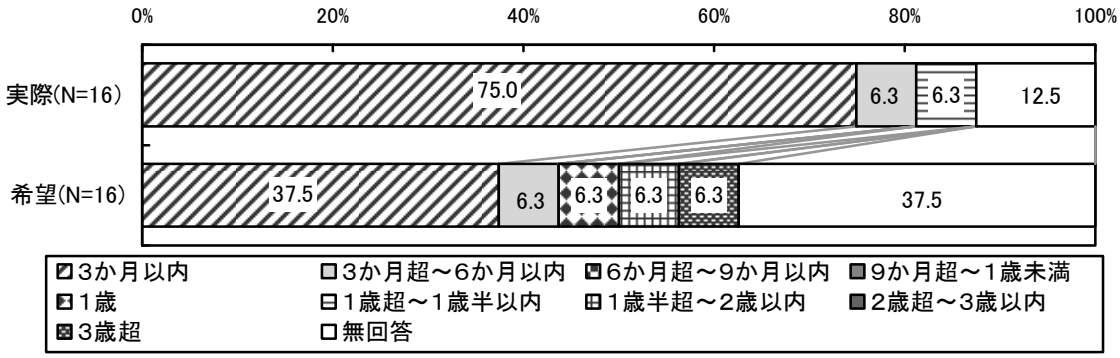
問22-２　問22-１でお母さんまたはお父さんが「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におうかがいします。
（１）育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間にかかわらず、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（　）内に数字でご記入ください。

●母親の場合、実際の取得は、子どもが「１歳」が27.5%で最も高く、「１歳超～１歳半以内」が21.3%、「6か月超～９か月以内」が14.4%などで、【１歳未満】が合わせて41.2%、【１歳超】が27.8%となっています。
●取得の希望としては、「１歳」が28.9%で最も高いものの、【１歳超】が合わせて54.0%と半数を超えます。
●父親の場合、実際の取得は、子どもが「３か月以内」が75.0%で最も高くなっています。
●取得の希望としては、「３か月以内」が37.5%で最も高いものの、【１歳超】が合わせて12.6%となっています。母親も父親も、育児休業は【１歳超】を希望するものの、現実には【１歳未満】が多くなっています。

■母親の育児休業取得後、職場へ復帰したときの子どもの年齢



■父親の育児休業取得後、職場へ復帰したときの子どもの年齢

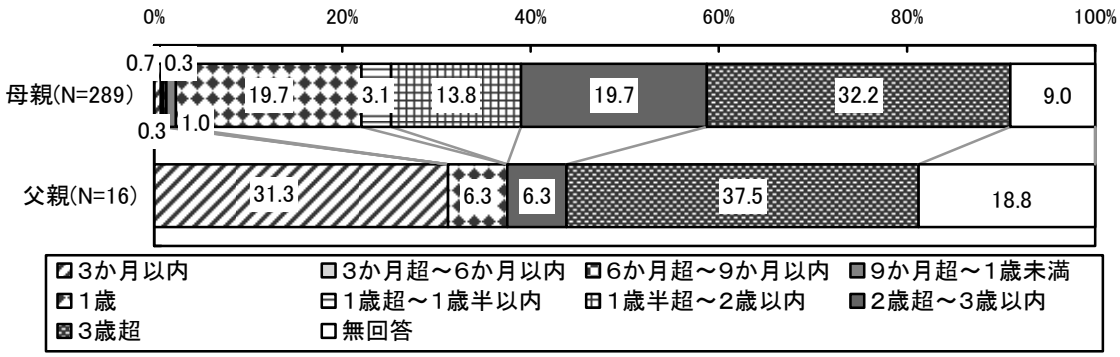


⑤　職場に３歳までの育児休業制度があった場合の取得希望の子どもの年齢

（２）　職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月の時まで取りたかったですか。（　）内に数字でご記入ください。

●母親は、「３歳超」が32.2%と高く、【１歳超】が合わせて68.8%となります。
●父親も「3歳超」が37.5%で最も高く、【１歳超】が合わせて50.1%となります。

■職場に３歳までの育児休業制度があった場合の取得希望の子どもの年齢



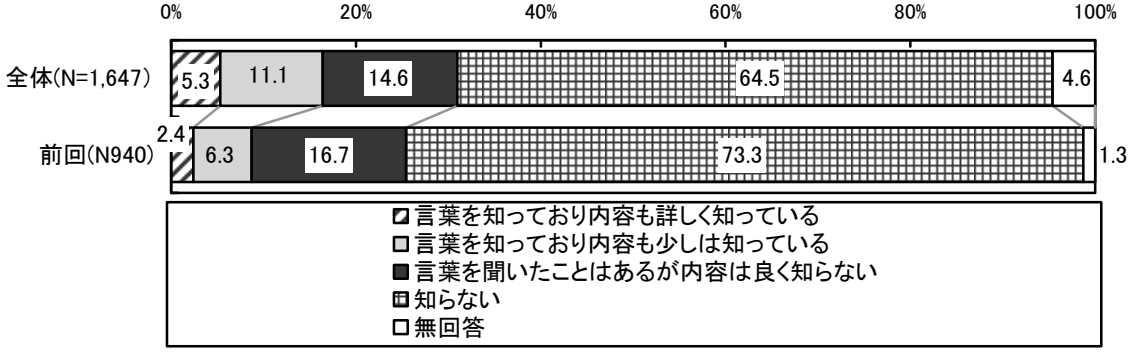
⑥　「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の認知状況

問23　あなたは、「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。（１つだけ○）

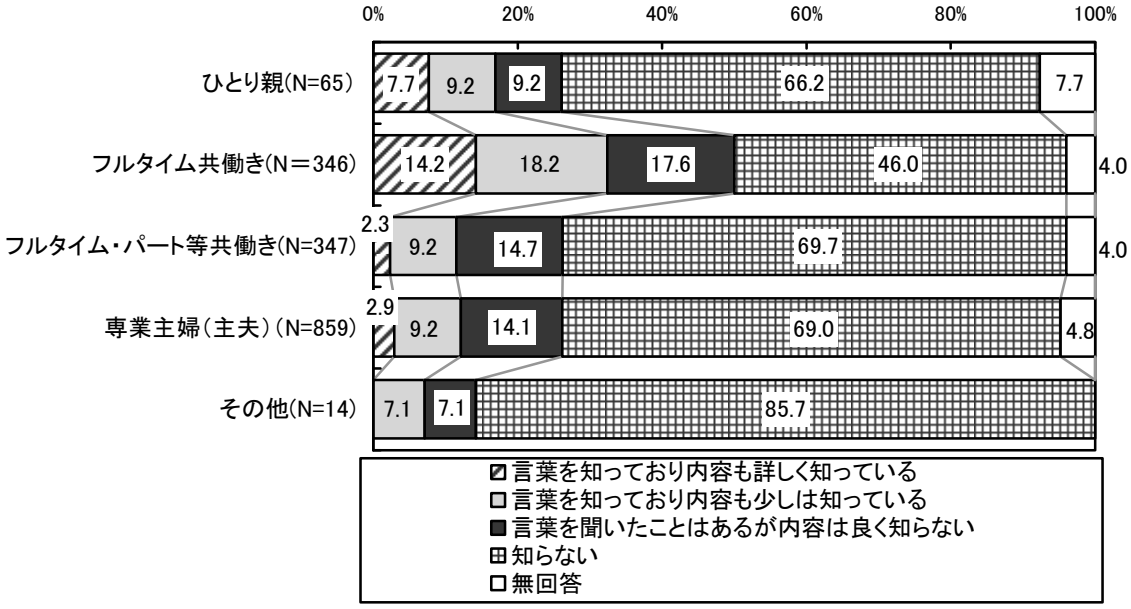
●全体では、「言葉を知っており内容も詳しく知っている」が5.3%、「言葉を知っており内容も少しは知っている」が11.1%で、前回調査のそれぞれ2.4%、6.3%より認知度が高くなっています。

●親の就労状況による世帯類型別では、「言葉を知っており内容も詳しく知っている」及び「言葉を知っており内容も少しは知っている」は、フルタイム共働き世帯がそれぞれ14.2%、18.2%で最も高くなっていますが、「知らない」が46.0%と半数近くとなっています。

■「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の認知状況



■親の就労状況等による世帯類型別　「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の認知状況

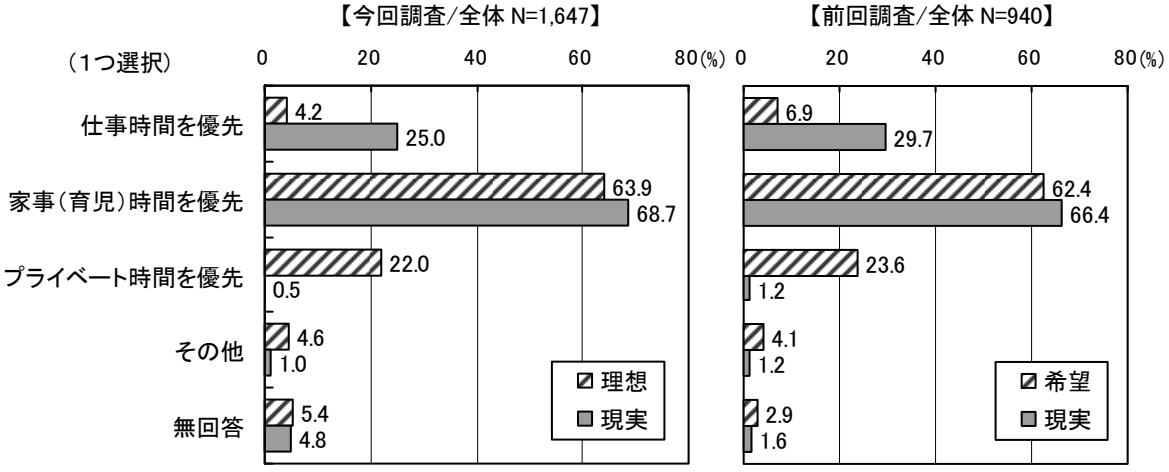


⑦　生活の中での優先度

問24　生活の中で、「仕事時間」と「家事（子育て）やプライベートの生活時間」の何を優先しますか。≪現実≫と≪理想≫のそれぞれについて、お答えください。
（もっとも優先するもの１つだけ○）

- 「家事（育児）時間を優先」は、現実の68.7%に対して理想は63.9%と理想が若干低下します。「仕事時間を優先」は、現実の25.0%に対して理想は4.2%と大きく低下します。一方、「プライベート時間を優先」は、現実の0.5%に対して理想が22.0%と高くなっています。
- 前回調査に比べて大きな違いはありません。

■生活の中での優先度／前回調査との比較



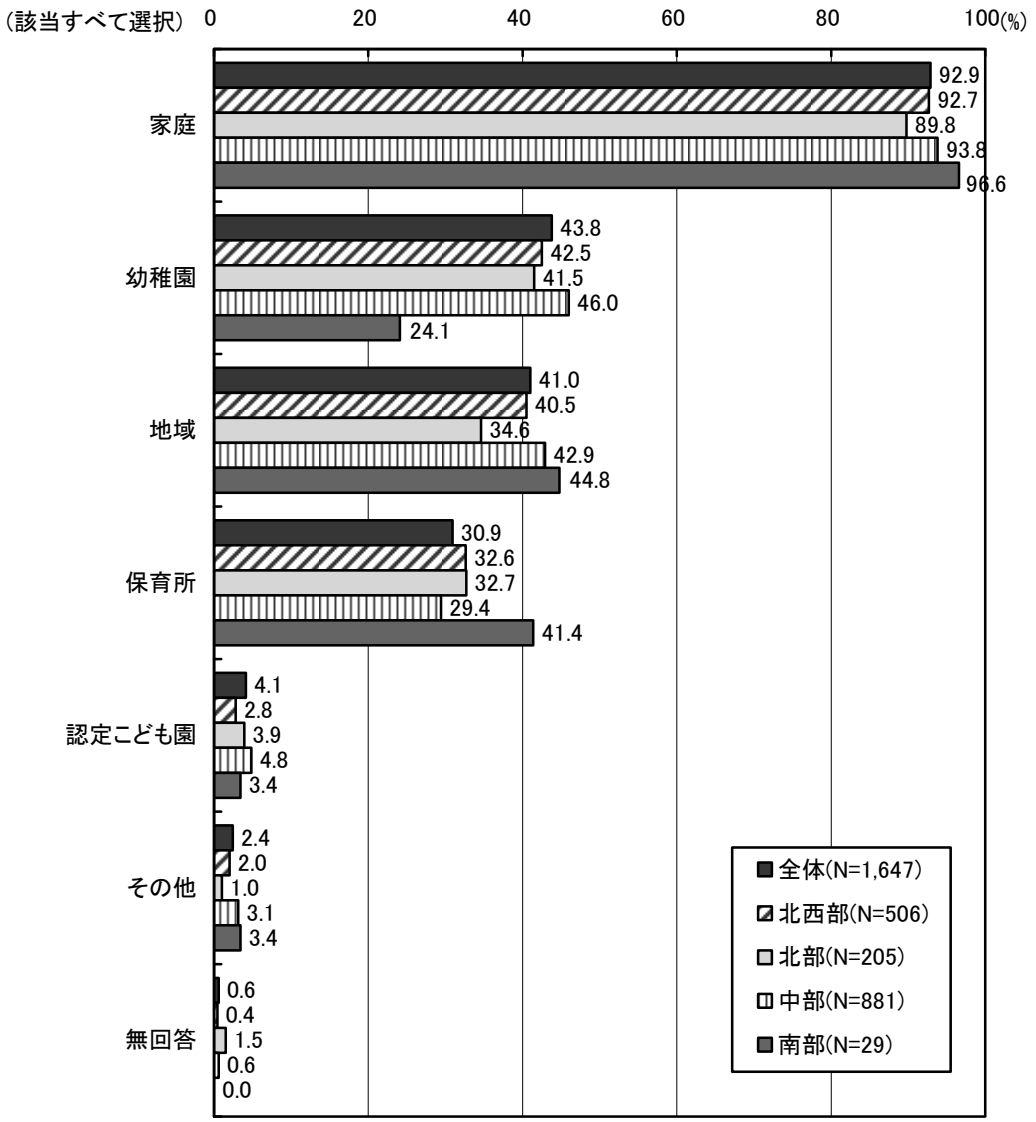
12　子どもの育ちをめぐる環境について

①　子育てに大きく影響すると思われる環境

問25　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

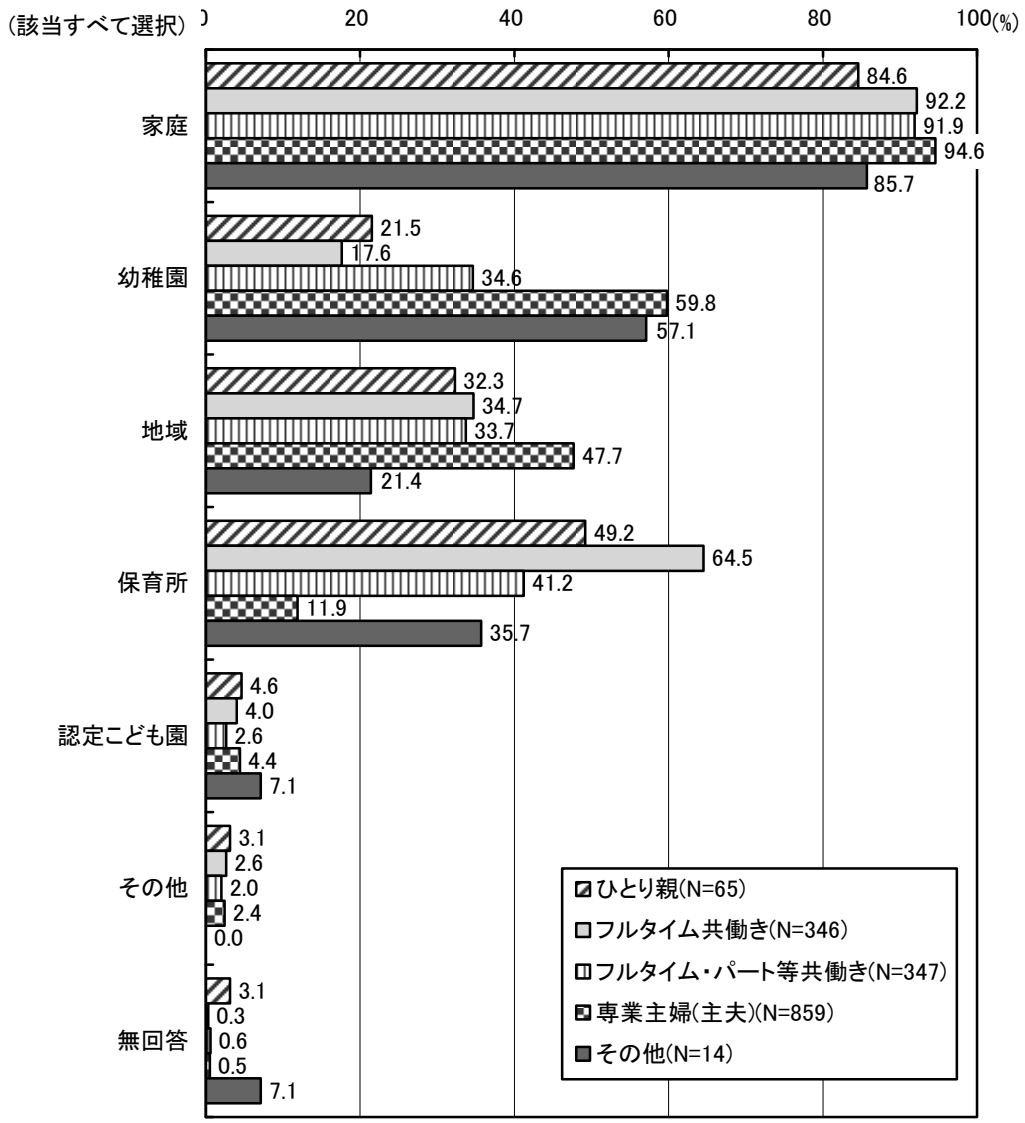
●子育てに大きく影響すると思われる環境は、「家庭」が92.9%とほとんどの人があげ、次いで「幼稚園」が43.8%、「地域」が41.0%などとなっています。
●地域別では、「地域」は北西部や中部、南部では40%を超えますが、北部は34.6%で他地域より若干低くなっています。また、「幼稚園」は南部が低く、「保育所」は南部が高くなっています。

■地域別　子育てに大きく影響すると思われる環境



●親の就労状況等による世帯類型別では、どの世帯も「家庭」が最も高くなっています。「地域」は専業主婦（主夫）世帯が高く、「幼稚園」は専業主婦（主夫）及びその他世帯が高く、「保育所」はフルタイム共働き世帯が高くなっています。

■親の就労状況による世帯類型別　子育てに大きく影響すると思われる環境

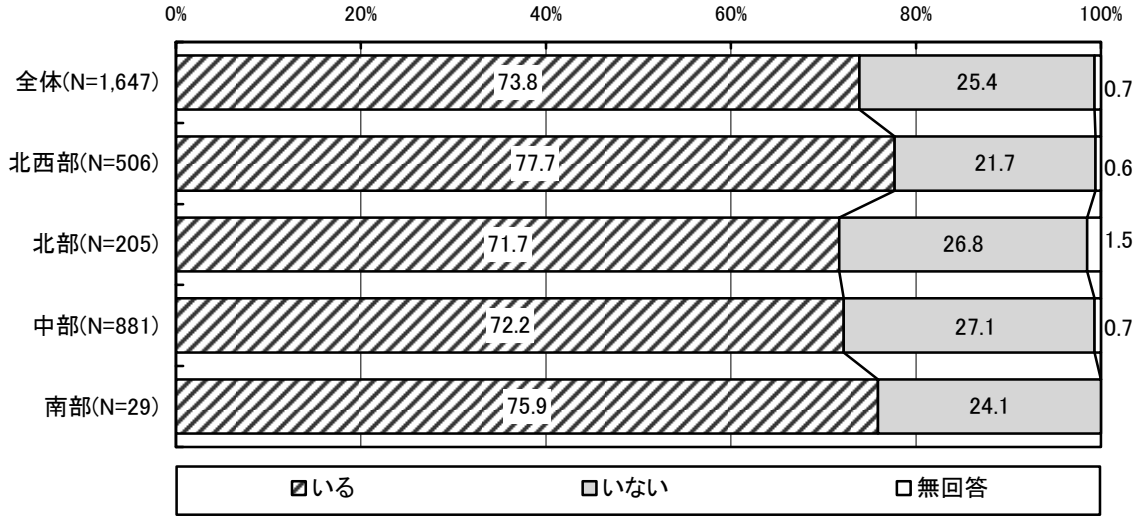


②　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無

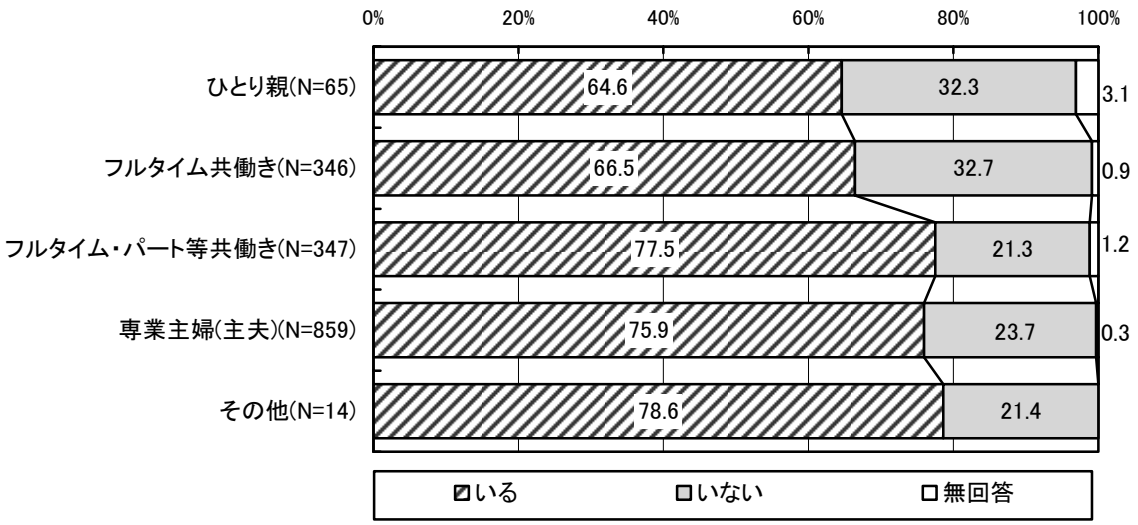
問26　お住まいの近くで日常的にちょっとした子どもの世話や世間話をする人はいますか。（どちらかに○）

●全体では、近所で日常的にちょっとした子どもの世話や世間話をする人の有無は、「いる」が73.8%で、およそ４分の３となっています。
●地域別では、「いない」率は、中部が27.1%、北部が26.8%、南部が24.1%、北西部が21.7%となっています。
●親の就労状況等による世帯類型別では、「いない」率は、フルタイム共働き、ひとり親世帯がそれぞれ32.7%、32.3%で、他の世帯より高くなっています。

■地域別　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無

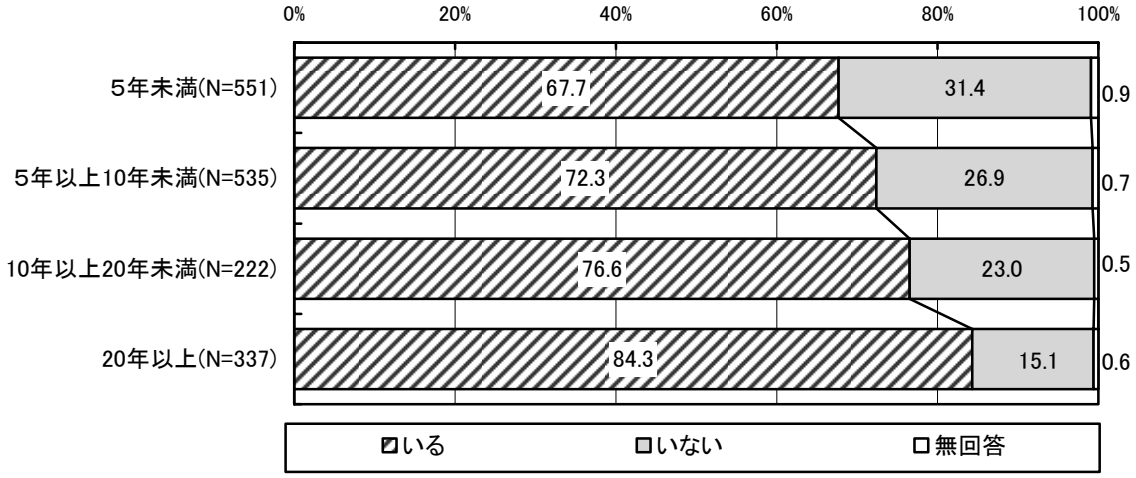


■親の就労状況等による世帯類型別　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無



●居住年数との関係では、「いない」率は、居住年数が５年未満の人が31.4％で最も高く、居住年数が長くなるほど率が低下しています。

■居住年数別　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無

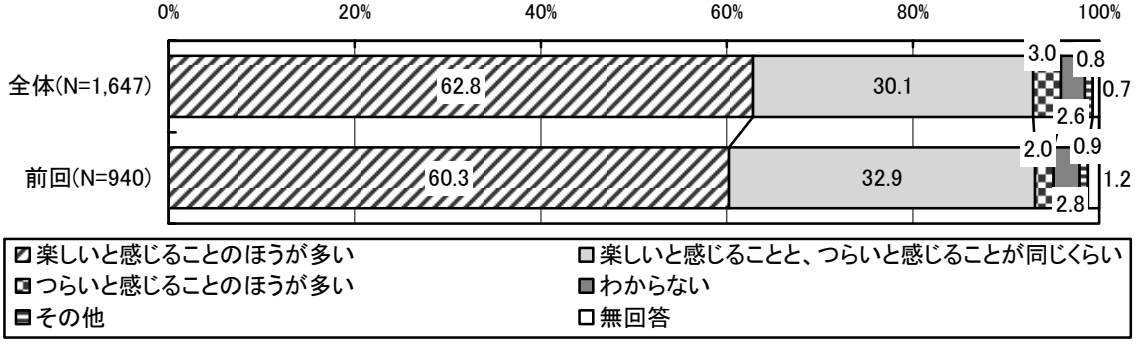


③　子育てが楽しいかどうか

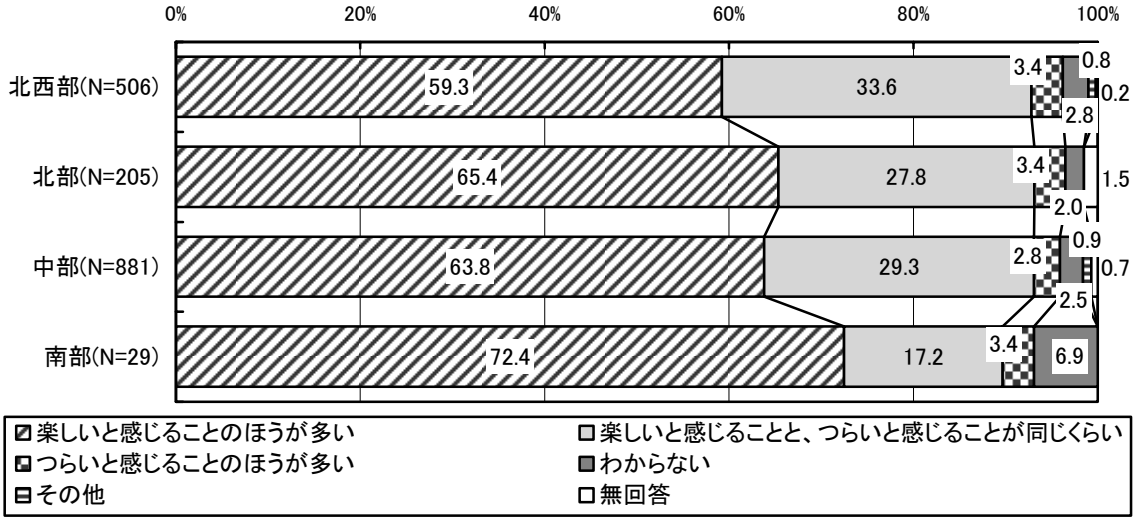
問27　子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。
（１つだけ○）

●全体では、子育てが「楽しいと感じることのほうが多い」は、62.8％と半数以上を占め、前回調査の60.3％をわずかに上回っています。「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が30.1％、「つらいと感じることのほうが多い」は3.0％となっています。
●地域別では、「つらいと感じることのほうが多い」率は大差ありませんが、「楽しいと感じることのほうが多い」率は、南部が72.4％で最も高く、北西部が59.3％で最も低く、違いがあります。

■子育てが楽しいかどうか／前回調査との比較

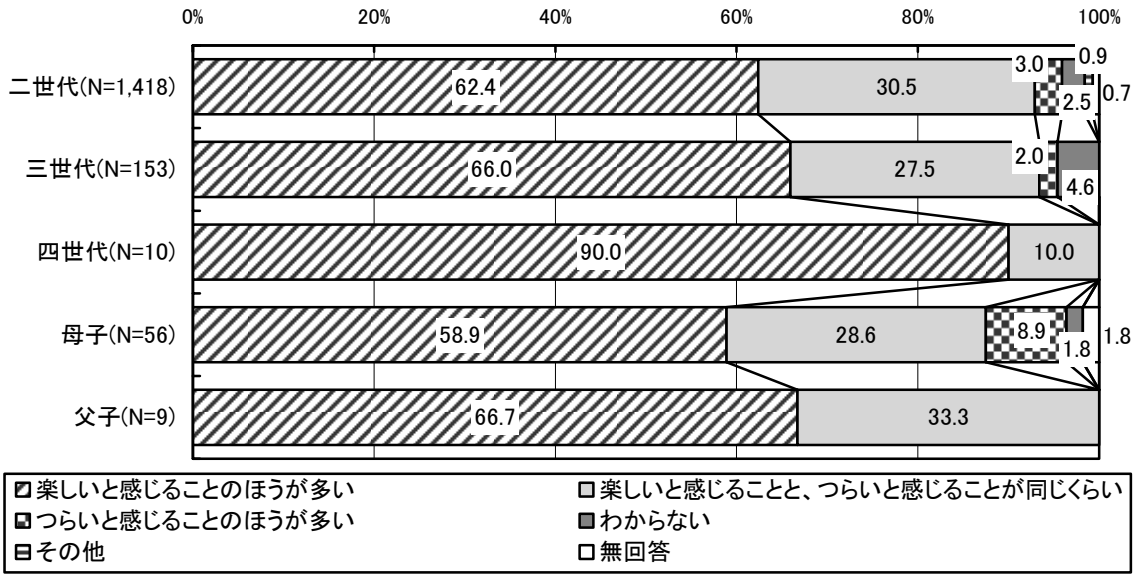


■地域別　子育てが楽しいかどうか

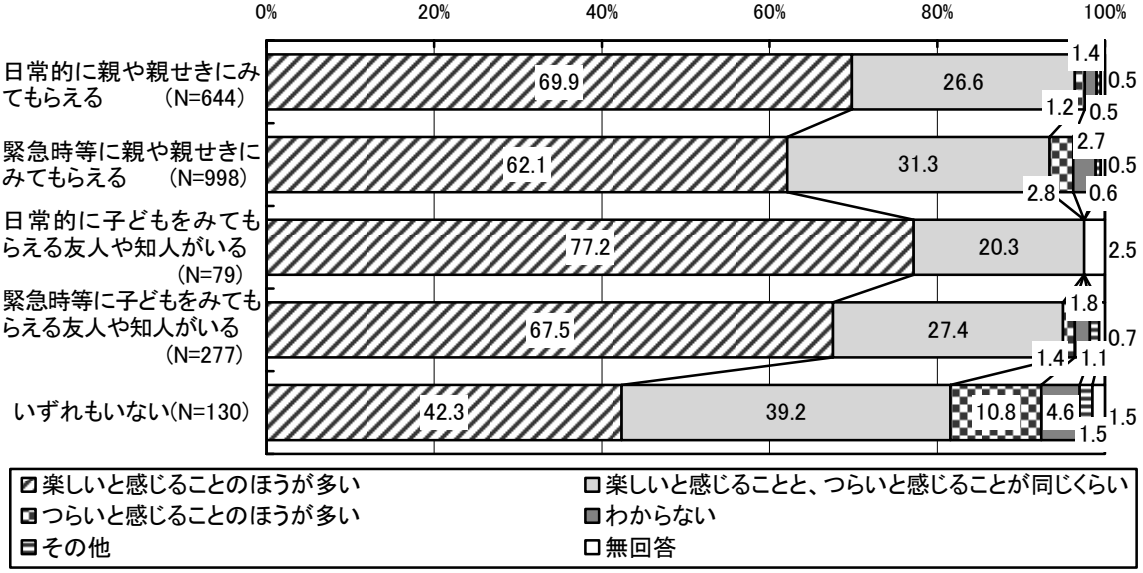


● 「つらいと感じることのほうが多い」率は、母子家庭では8.9%と高くなっています。また、日頃、子どもの面倒をみてもらえる親や友人、知人がいずれもいない人で10.8%と高く、子育てに関して気軽に相談できる人や場所がいない／ない人も13.7%と高くなっています。

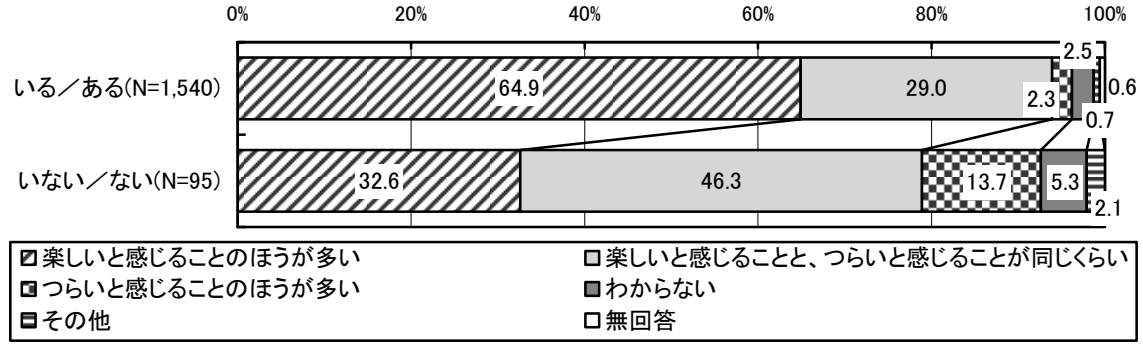
■同居世帯類型別　子育てが楽しいかどうか



■日頃子どもの面倒をみてもらえる人の有無別　子育てが楽しいかどうか



■子育てに関して気軽に相談できる人、場所の有無別　子育てが楽しいかどうか

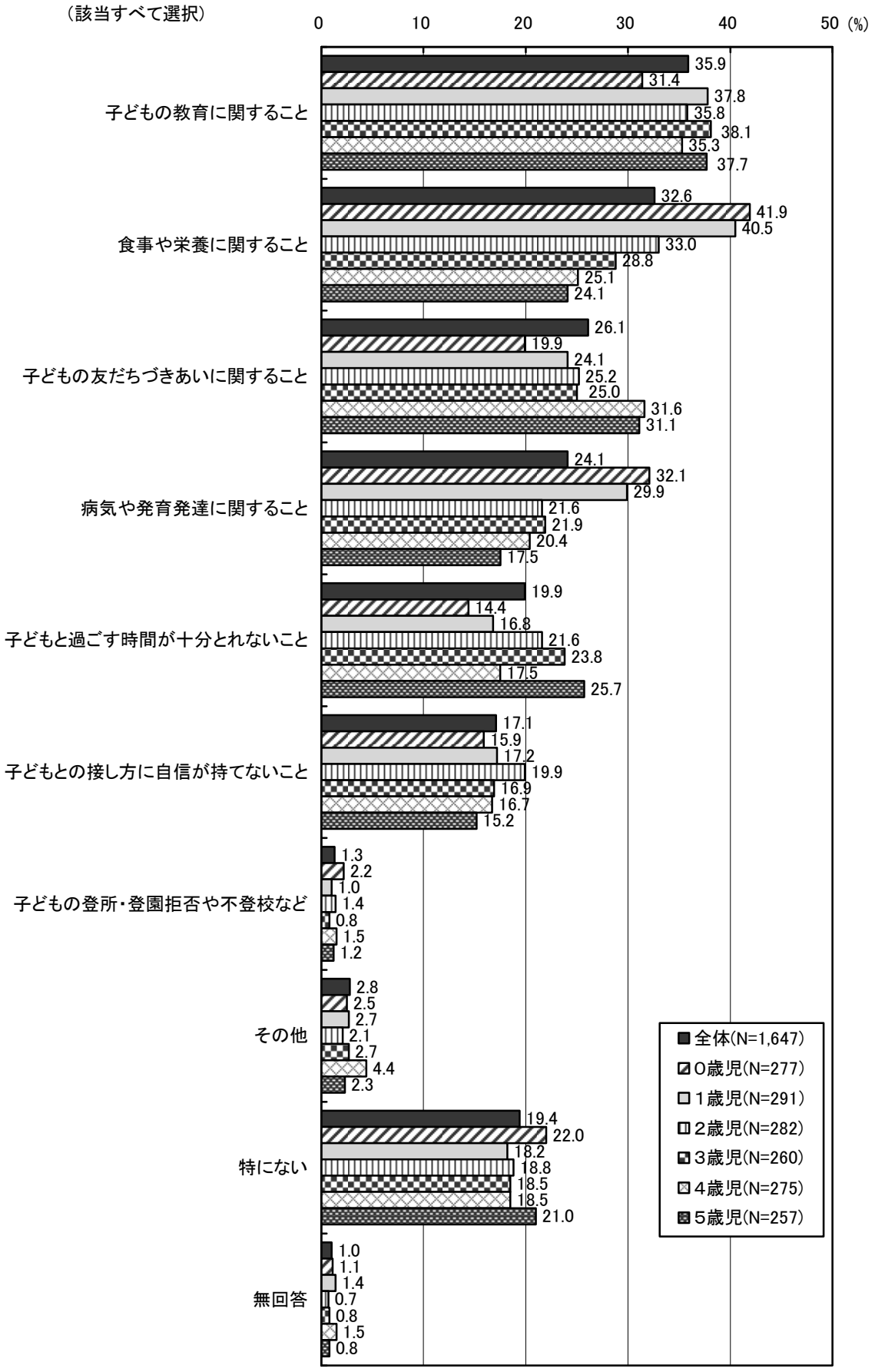


④　子育ての悩みや気になること

問28　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
（それぞれあてはまるものすべてに○）
（１）子どもに関すること　　（２）ご自身に関すること

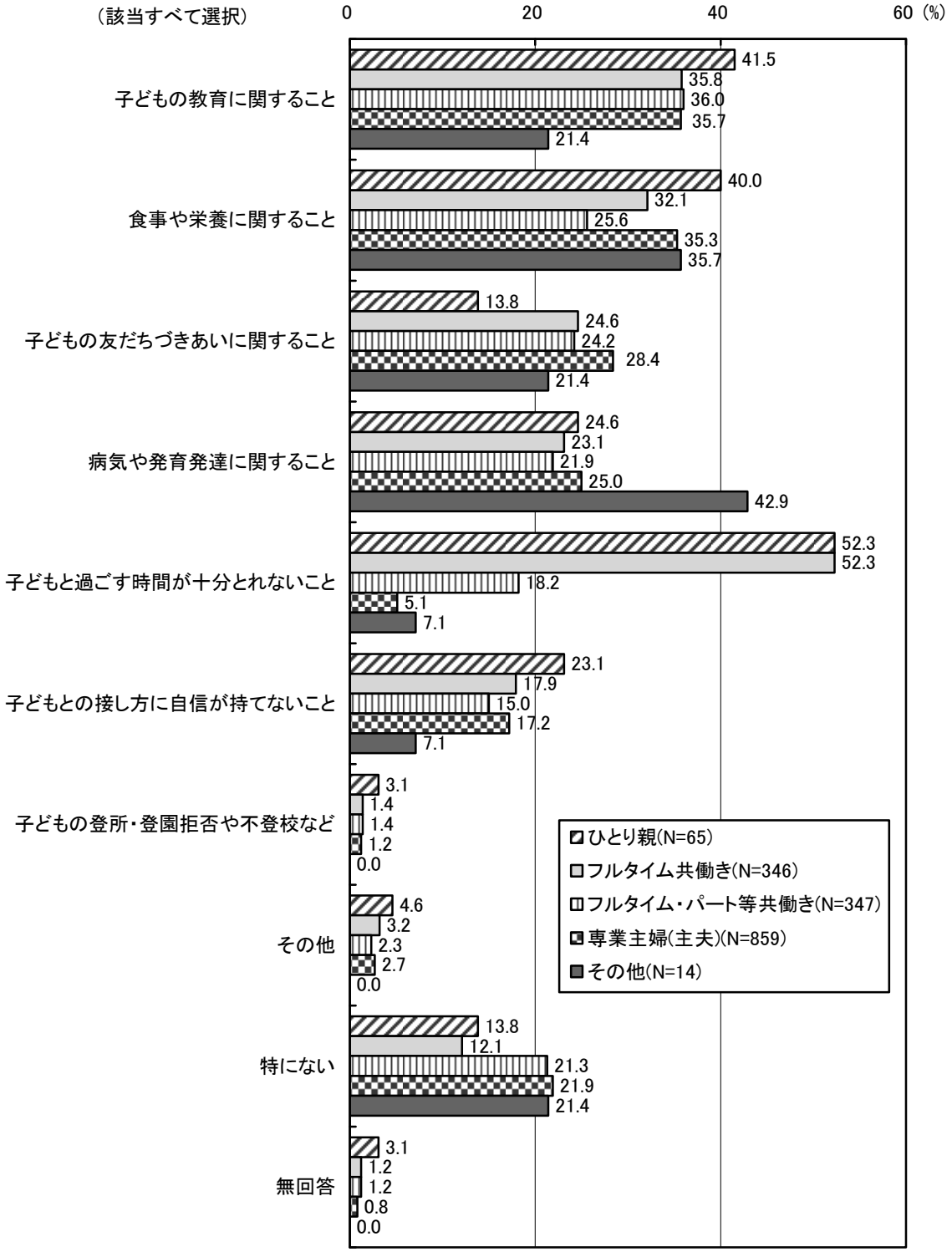
●子育てに関して日常悩んでいることや気になることは、「子どもの教育に関すること」が35.9%で最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」（32.6%）、「子どもの友だちづきあいに関すること」（26.1%）などとなっています。
●子どもの年齢別では、０歳児や１歳児は、「食事や栄養に関すること」が40%を超え、「病気や発育発達に関すること」がおよそ30%で、他の年齢児より高くなっています。２歳児以上では、「子どもの友だちづきあいに関すること」や「子どもと過ごす時間が十分とれないこと」などが高くなっています。

■子どもの年齢別　子どもに関することで悩んでいること、気になること



●親の就労状況等による世帯類型別では、「子どもと過ごす時間が十分とれない」はひとり親やフルタイム共働き世帯がそれぞれ52.3%と半数を超えて高くなっています。また、「子どもとの接し方に自信が持てない」は、ひとり親世帯が23.1%で他世帯より高くなっています。

■親の就労状況等による世帯類型別　子どもに関することで悩んでいること、気になること

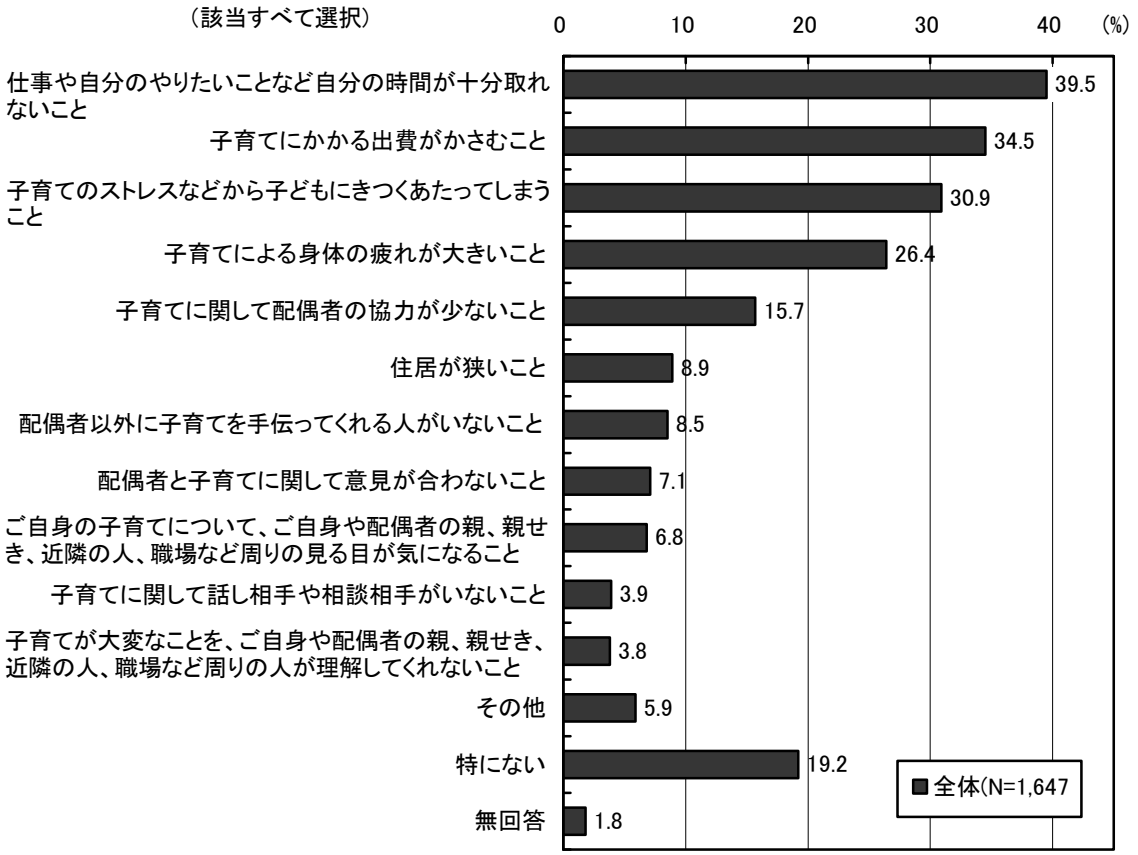


●自分自身に関することでは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が39.5%で最も高く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が34.5%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が30.9%などとなっています。

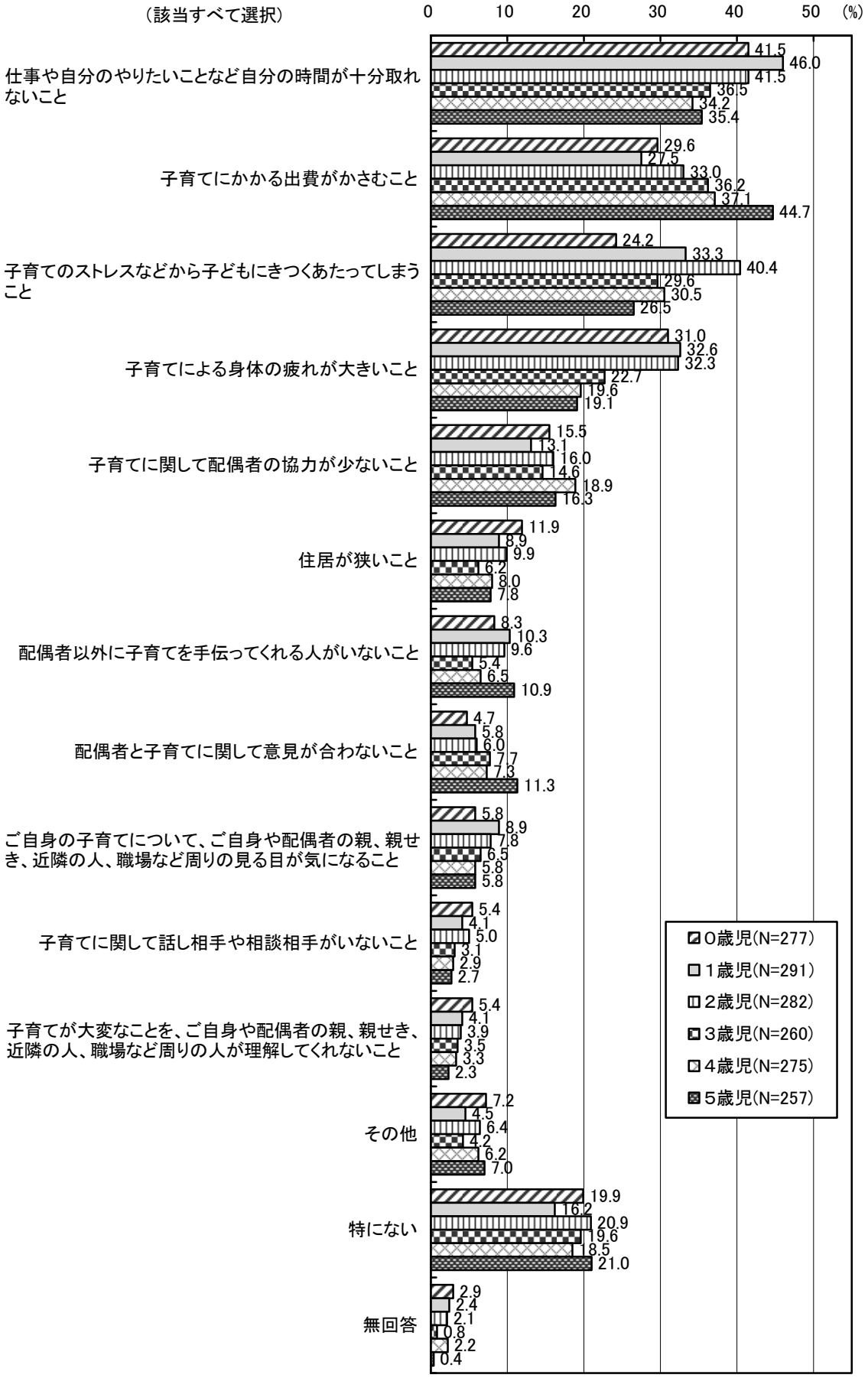
●子どもの年齢別では、０歳児から２歳児は、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が40%を超えて高く、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が30%を超え、他の年齢児より高くなっています。３歳児以上では、「子育てにかかる出費がかさむこと」などが高くなっています。また、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまう」は２歳児が40.4%で最も高くなっています。

●親の就労状況等による世帯類型別では、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」は、フルタイム共働き世帯が47.7%と高く、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」はフルタイム共働きや専業主婦（主夫）世帯が30%弱と高くなっています。「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまう」は、その他の世帯以外は30%前後で大きな違いはありません。

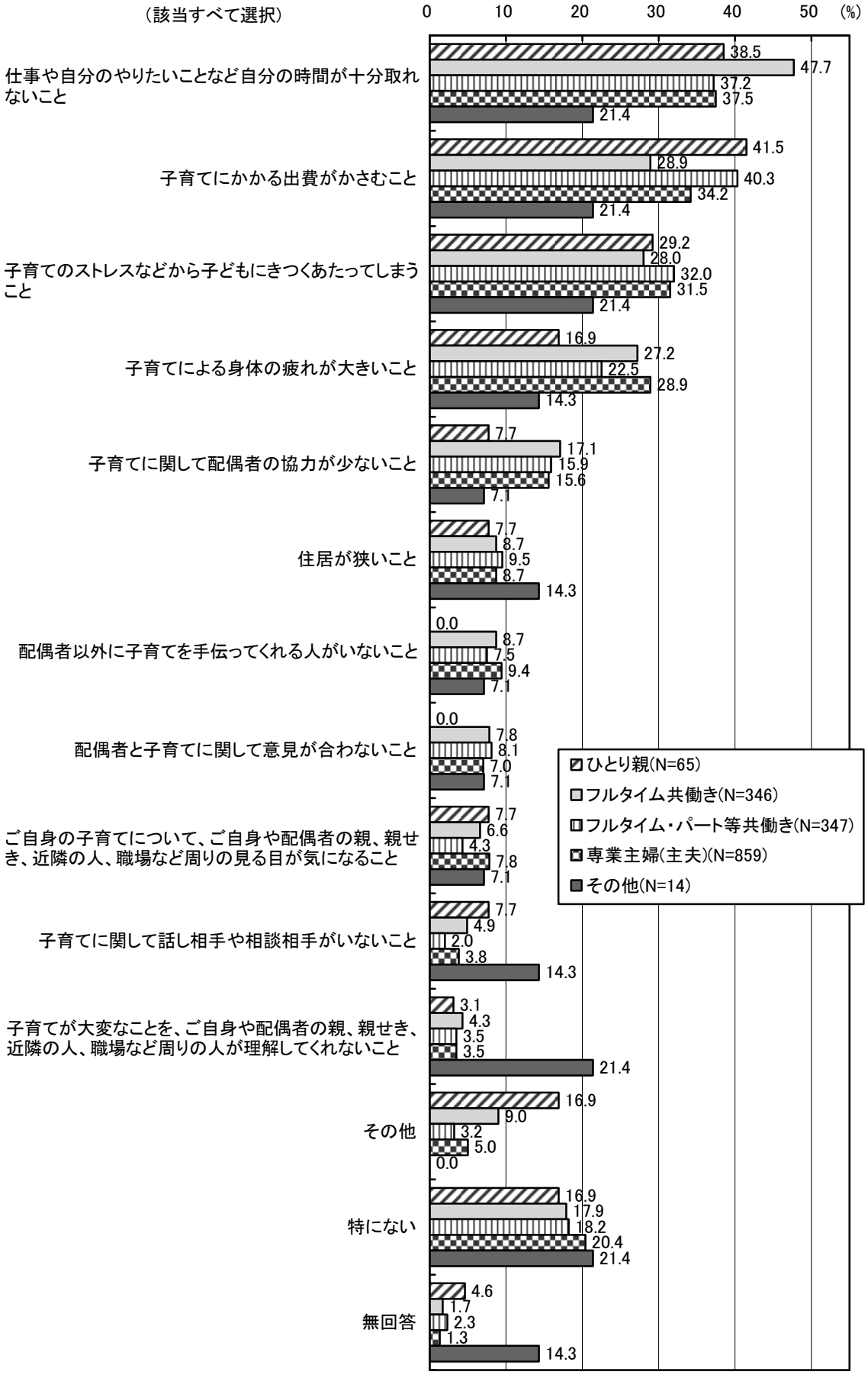
■自分自身に関することで悩んでいること、気になること



■子どもの年齢別　自分自身に関することで悩んでいること、気になること



■親の就労状況等による世帯類型別　自分自身に関することで悩んでいること、気になること

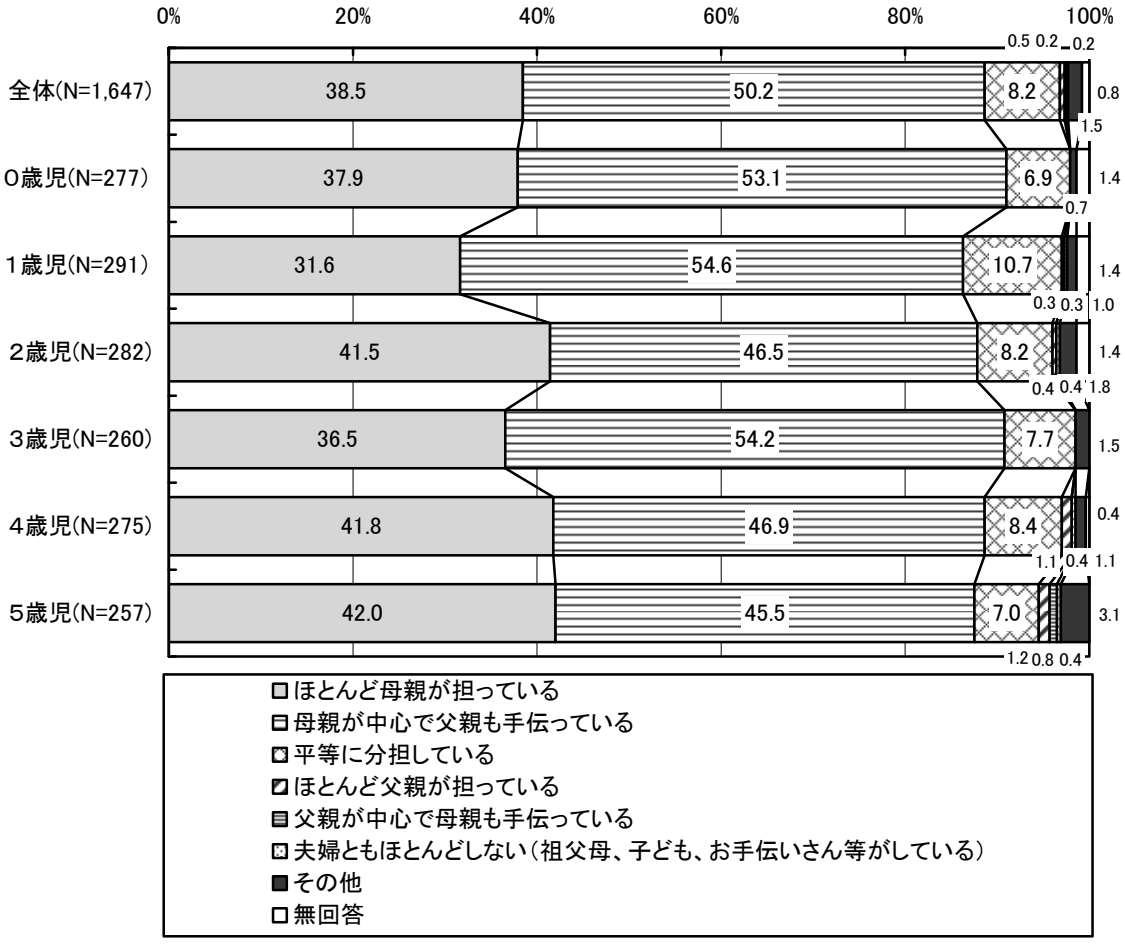


⑤　子育ての役割分担

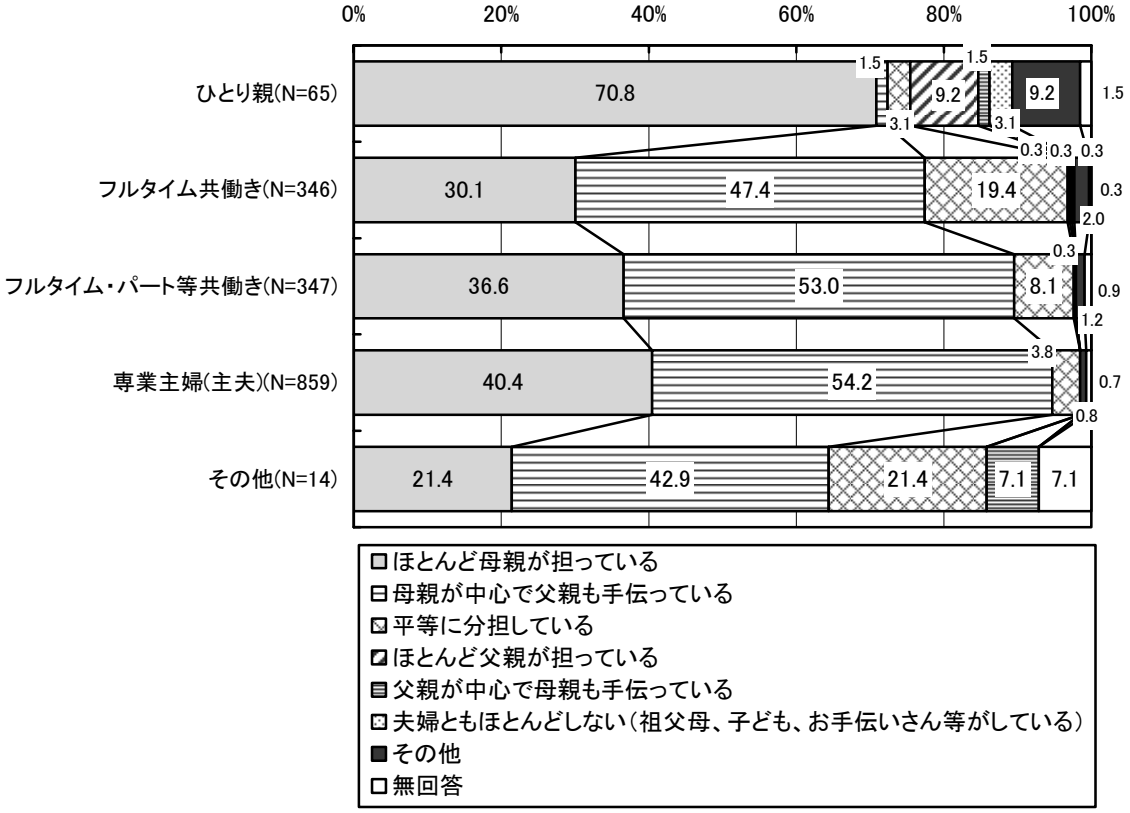
問29　あなたのご家庭では、子育ての役割をどのように担っていますか。（１つだけ○）

- 全体では、子育ての役割分担は、「母親が中心で父親も手伝っている」が50.2%で最も高く、次いで「ほとんど母親が担っている」が38.5%などとなっていて、母親中心が90%程度となっています。また、「平等に分担している」は8.2%となっています。
- 子どもの年齢別では、「平等に分担している」は、１歳児が10.7%で若干高くなっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、「平等に分担している」は、その他の世帯やフルタイム共働き世帯がそれぞれ21.4%、19.4%と高くなっています。

■子どもの年齢別　子育ての役割分担



■親の就労状況等による世帯類型別　子育ての役割分担



⑥　子どもの面倒をみてもらえる人の有無と状況

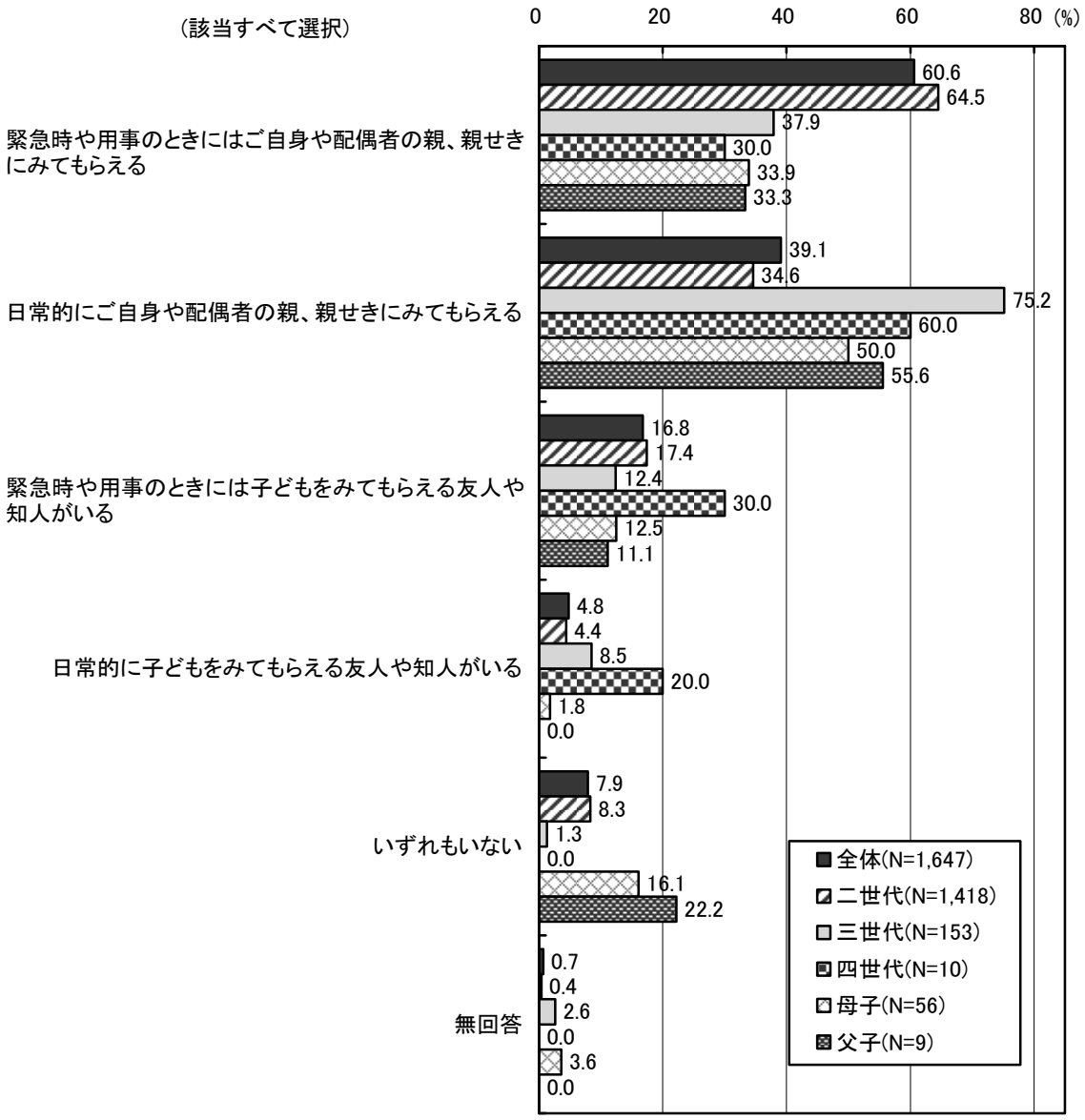
問30　日頃、あて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

●全体では、日頃、子どもの面倒をみてもらえる人がいる率は、「いずれもいない」及び無回答を除くと91.4%となっています。そのうち、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」は39.1%、「日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」は4.8%となっています。

●また、「緊急時や用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」は60.6%、「緊急時や用事のときには子どもをみてもらえる友人や知人がいる」は16.8%となっています。

●同居世帯類型別では、「いずれもいない」率は、父子家庭が22.2%、母子家庭が16.1%と高く、四世代では該当なし、三世代では1.3%と低くなっています。

■同居世帯類型別　子どもの面倒をみてもらえる人の有無

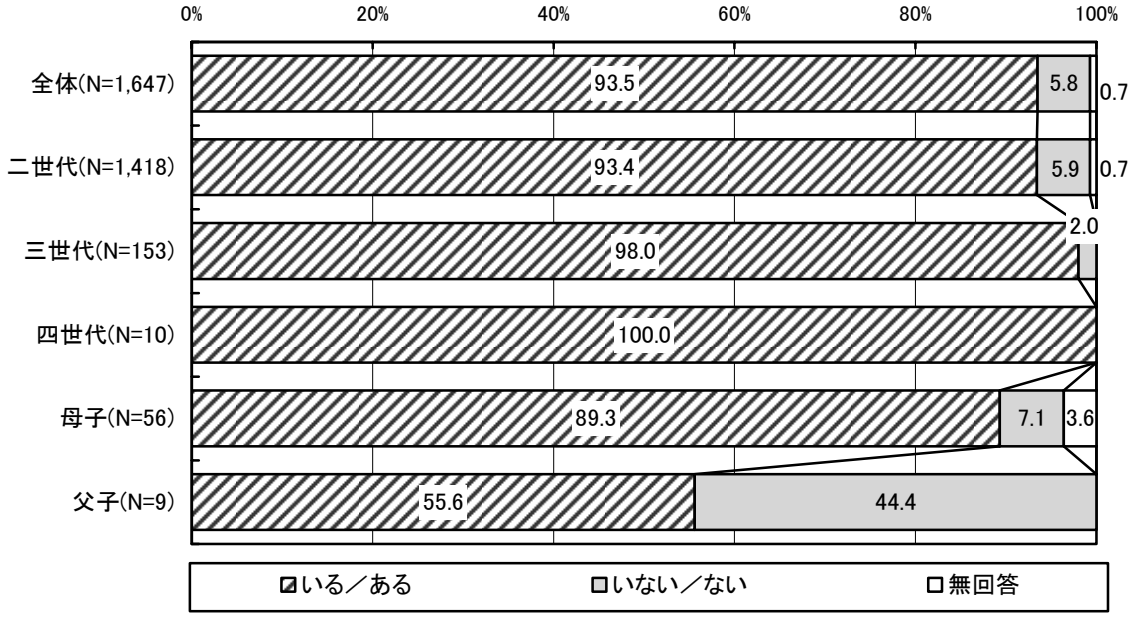


⑦　子育てに関しての相談相手・場所の有無

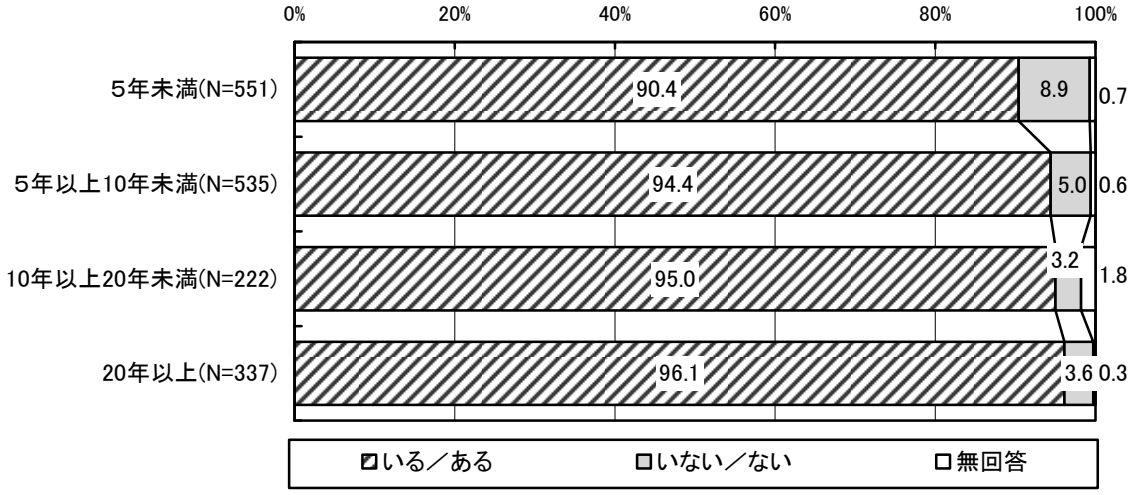
問31　子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（どちらかに○）

●全体では、子育てに関しての相談相手・場所の有無は、「いる／ある」が93.5%となっています。一方、「いない／ない」が5.8%となっています。
●「いない」率は、父子世帯が44.4%と高くなっています。また、居住年数が５年未満と短い人も8.9%で、居住年数の長い人に比べて高くなっています。地域別では、南部が3.4%と他の地域と比べて若干低いものの、大きな違いはありません。

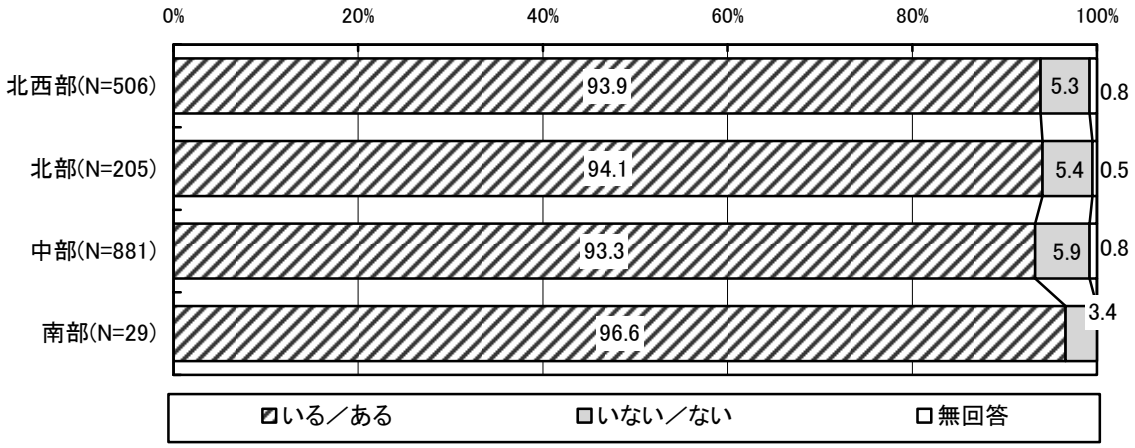
■同居の世帯類型別　子育てに関しての相談相手・場所の有無



■居住年数別　子育てに関しての相談相手・場所の有無



■地域別　子育てに関しての相談相手・場所の有無

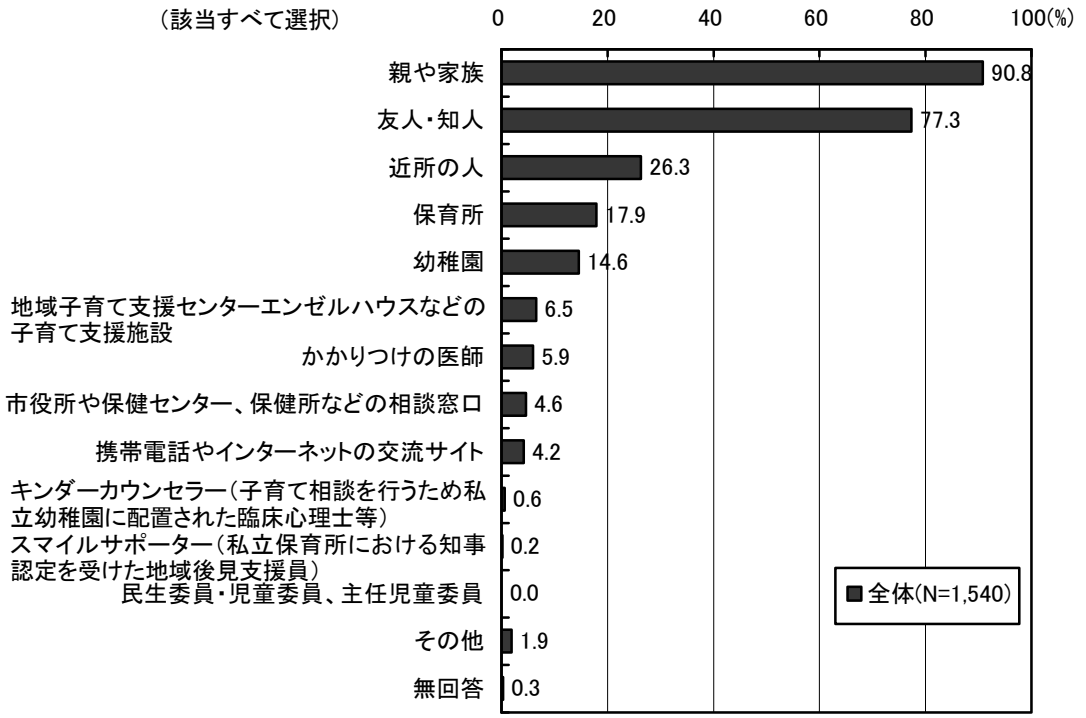


⑧　子育てに関しての相談相手・場所

問31-１　問31で「いる／ある」に○をつけた方におうかがいします。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

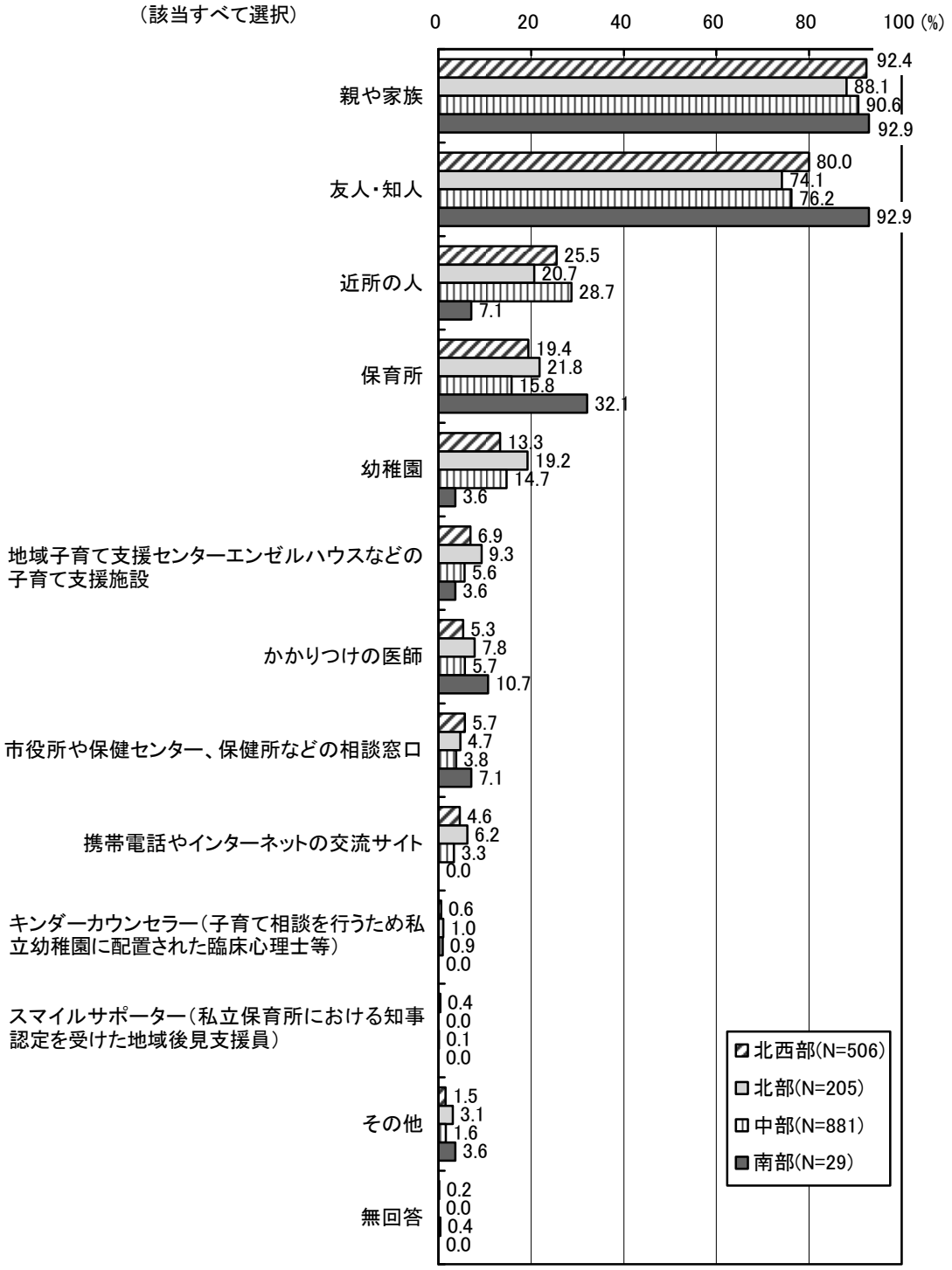
●全体では、子育てについての相談相手・場所は、「親や家族」が90.8%で最も高く、次いで「友人・知人」（77.3%）、「近所の人」（26.3%）、「保育所」（17.9%）、「幼稚園」（14.6%）などとなっています。

■子育てに関しての相談相手・場所



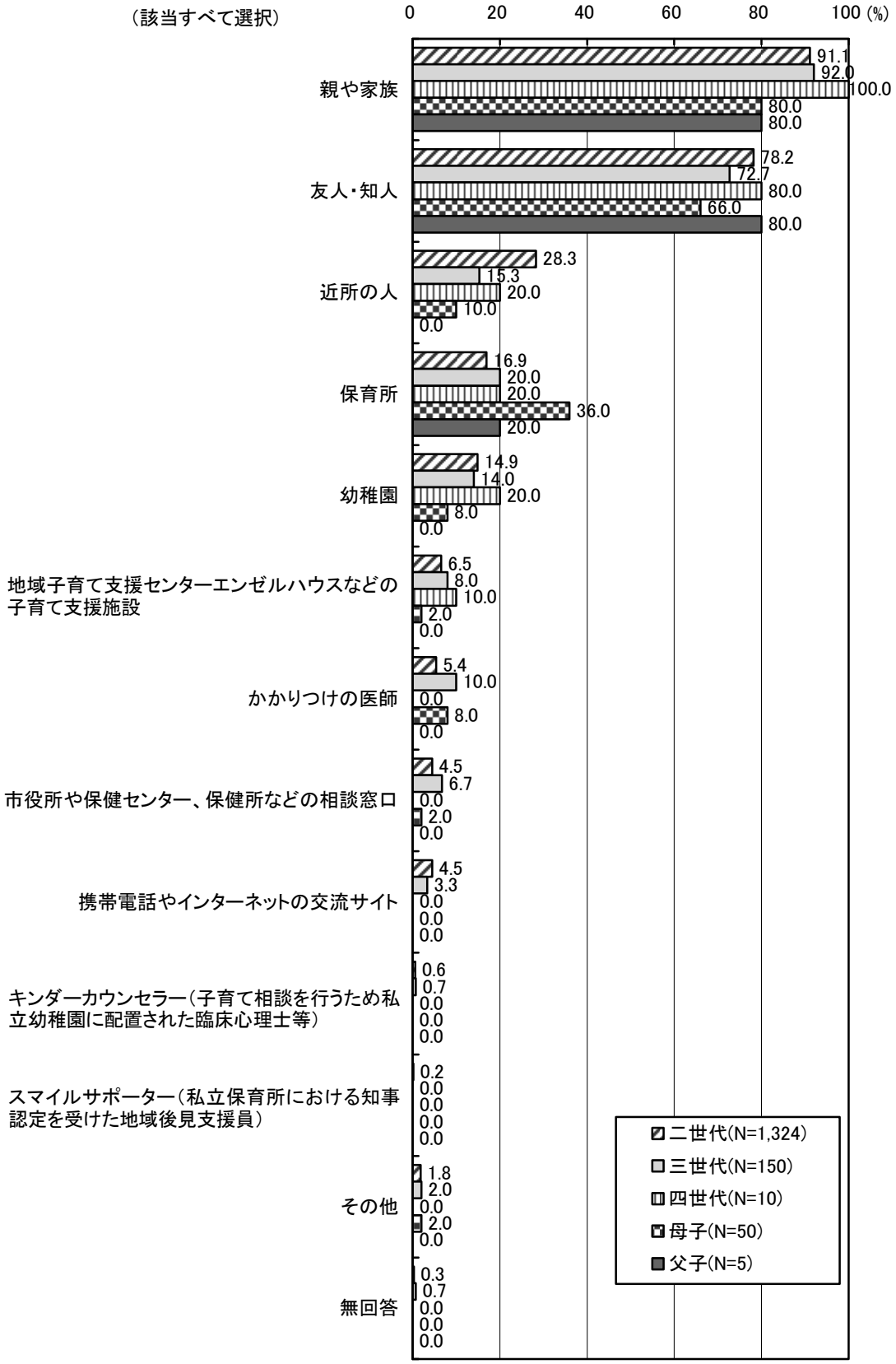
●地域別では、「近所の人」は、南部が7.1％と他地域に比べて低くなっています。
●同居世帯類型別では、「近所の人」は二世代世帯が28.3％と高く、母子世帯は「保育所」が36.0％と高くなっています。

■地域別　子育てに関しての相談相手・場所



注)「民生委員・児童委員、主任児童委員」は回答がないため省略しています。

■同居世帯類型別　子育てに関しての相談相手・場所



注）「民生委員・児童委員、主任児童委員」は回答がないため省略しています。

⑨　子育てする上であればよい支援

問32　すべての方におうかがいします。
　　子育てをする上で、どのような支援があればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

●回答者数は932人で、回答率は56.6%となっています。また、内容は、18の分野で合わせて988件となっていますが、その中では「経済的支援」が246件で最も多くなっています。

■分野別　件数

分　野	件数
①経済的支援	246
②一時預かり・保育	122
③保育所・保育サービス	113
④遊び場・公園・児童館	82
⑤イベント・交流	67
⑥病児保育・病後児保育	63
⑦相談	56
⑧放課後児童クラブ	40
⑨地域子育て支援・エンゼルハウス	34
⑩就労支援・職場での支援	30

分　野	件数
⑪情報提供・広報	22
⑫教育・指導	15
⑬保健	15
⑭幼稚園	14
⑮生活支援	10
⑯医療	9
⑰安全・バリアフリー	7
⑱その他	43
計	988

■分野別　主な内容（抜粋）

分　野	内　　容
①経済的支援	
	●医療費の助成の年齢拡大。 ●予防接種の無料化。 ●児童手当の増額。 ●保育料の軽減。 ●保育園、幼稚園、小中高等の教育費無償化。
②一時預かり・保育	
	●未就学児の一時預かりを利用しやすく。 ●幼稚園の一時預かりの充実。 ●週末や夜間に安心して預けられる施設。 ●多年齢の一時預かりが気軽にできる施設が増えてほしい。 ●子育てをリフレッシュできるように、一時預かりの無料券などを健診時に配ってほしい。
③保育所・保育サービス	
	●保育園の延長をもっと長くしてほしい。仕事のため、土日に関係なく年中無休で預かってほしい。 ●保育所の増設。 ●育休中でも認可保育所を利用したい。 ●待機児童をなくして、校区内の保育所に入所できるようにしてほしい。

分　野	内　　容
④遊び場・公園・児童館	
	●気軽に遊びに行ける環境がほしい。公園にも遊具が少ない。 ●無料で遊べる室内の遊び場の提供。 ●児童館が地域ごとにあるといいと思う。屋内の遊び場がほしい。
⑤イベント・交流	
	●親子が楽しめる無料イベント。 ●公園か公共施設で身体を動かせるイベント（体操、リトミック等）の実施。 ●休日に行うイベント等。
⑥病児保育・病後児保育	
	●病児保育の充実（定員が少ない、利用料が高い）。通園している保育所で病児・病後児保育があれば便利。 ●病後児保育をしてくれる施設の充実。
⑦相談	
	●子育てについての相談に応えてくれるような支援機関。その人その人に合った育児を一緒に考えてくれるような支援があればよい。 ●子育て支援センターでの育児相談を周知させて気軽に行けるようにしてほしい。（０歳児の初めての育児は不安でいっぱい。） ●子育てについて気軽に相談できる場がほしい（土・日に相談できる場所）。
⑧放課後児童クラブ	
	●仲よしクラブの６年生までの延長。 ●不定期で利用できる仲よしクラブがあればよい。 ●学童保育の質の向上及び時間の延長（19時頃まで）。
⑨地域子育て支援・エンゼルハウス	
	●エンゼルハウスのような施設の増設。 ●同じような子育てで悩んでいる母親の交流できる場。 ●土・日曜日に利用できる子育て支援の場（平日は仕事、保育所で他の子どもと交流できない）。
⑩就労支援・職場での支援	
	●気軽に休暇がとれる職場の調整。 ●子育て期間中の労働条件（例えば時短）の配慮を義務付け、職場環境が整えられる。
⑪情報提供・広報	
	●子育てに関する情報提供・広報。 ●地域の子育て・子育てサロン情報を教えてほしい。
⑫教育・指導	
	●習い事の経済的負担を少なくする支援。 ●公共の学習塾。 ●幼児期に人間形成をしっかりと作る教育プラン。
⑬保健	
	●健診を集団ではなく個人病院で行ってほしい。 ●子育てに関する講習や親教育。 ●民生委員、保健師が希望する家庭を訪問する支援を作ってほしい。
⑭幼稚園	
	●公立幼稚園の育児教室の日を増やす。 ●幼稚園の時間をもう少し長くしてほしい。 ●幼稚園の夏休みをなくしてほしい。

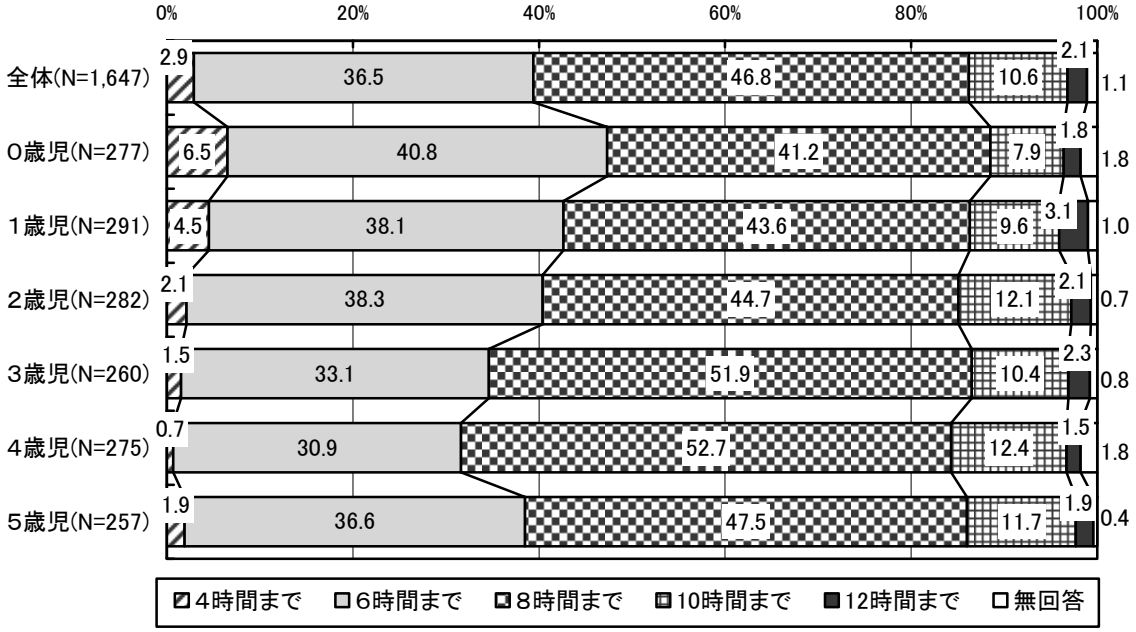
分　野	内　　容
⑮生活支援	
	●家事をしてくれる支援。特に食事。 ●出産前後の家事代行。
⑯医療	
	●夜間救急病院の充実。 ●夜間や休日の小児科の診療がもっと市内で受診できればよい。
⑰安全・バリアフリー	
	●公園のトイレの数を増やし、オムツを替えられるようにしてほしい。 ●歩道が少なく、子どもと歩くには危険な場所が多い。
⑱その他	
	●少子化というなら、生みやすい環境を作ってほしい。 ●もっと子育てにやさしい政策。 ●なるべく長い間支援してもらえるようなシステム。 ●親がリフレッシュできるようなサポート支援。 ●療育センターが和泉市にないので、障がいをもつ子どもにとっては、厳しい環境だと思う。

⑩　施設に預ける場合の適切な時間

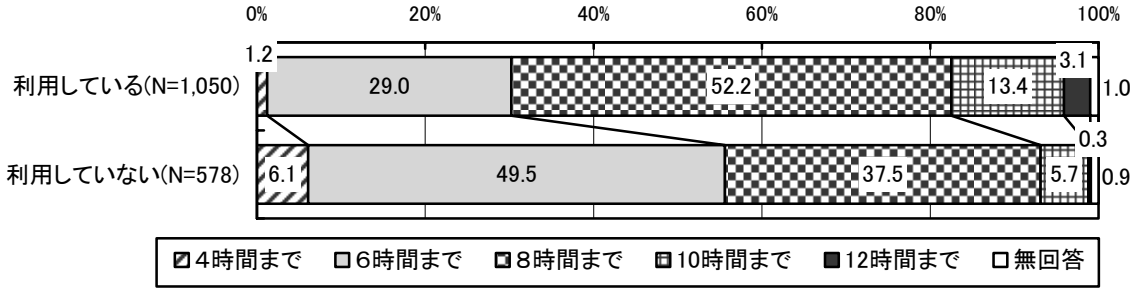
問33　お子さんを幼稚園や保育所などの施設に預ける場合、お子さんにとってどのくらいの時間が適切と考えられますか。（１つだけ○

●施設に預ける場合、全体では「８時間まで」が46.8%とおよそ半数を占め、次いで「６時間まで」が36.5%などとなっています。「４時間まで」の短い時間は2.9%、【８時間以上】は合わせて12.7%となっています。
●子どもを預かる施設やサービスの利用状況別では、利用している人は「8時間まで」が52.2%と高く、【８時間以上】も16.5%となっています。
●親の就労状況等による世帯類型別では、【８時間以上】はフルタイム共働き世帯が31.2%で最も高く、専業主婦（主夫）世帯が3.8%で最も低くなっています。

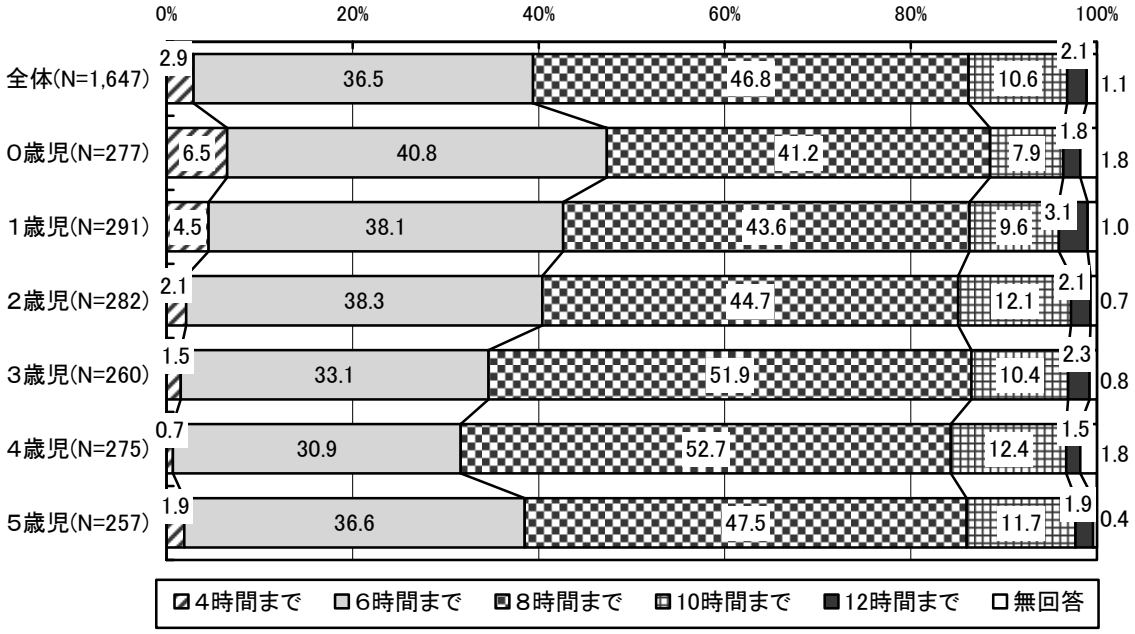
■子どもの年齢別　施設に預ける場合の適切な時間



■子どもを預かる施設やサービスの利用状況別　施設に預ける場合の適切な時間



■親の就労状況等による世帯類型別　施設に預ける場合の適切な時間

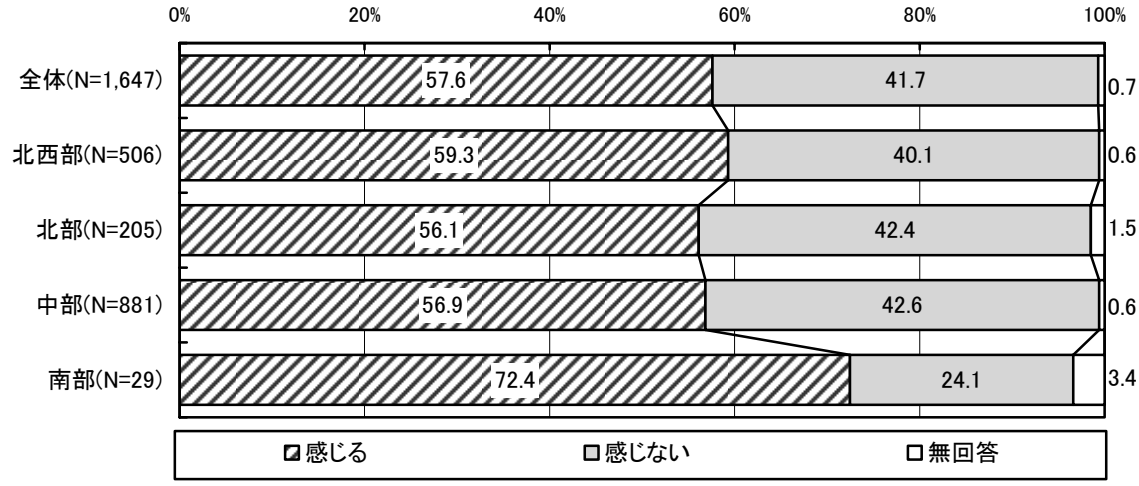


⑪　子育てが地域の人に支えられていると感じるか

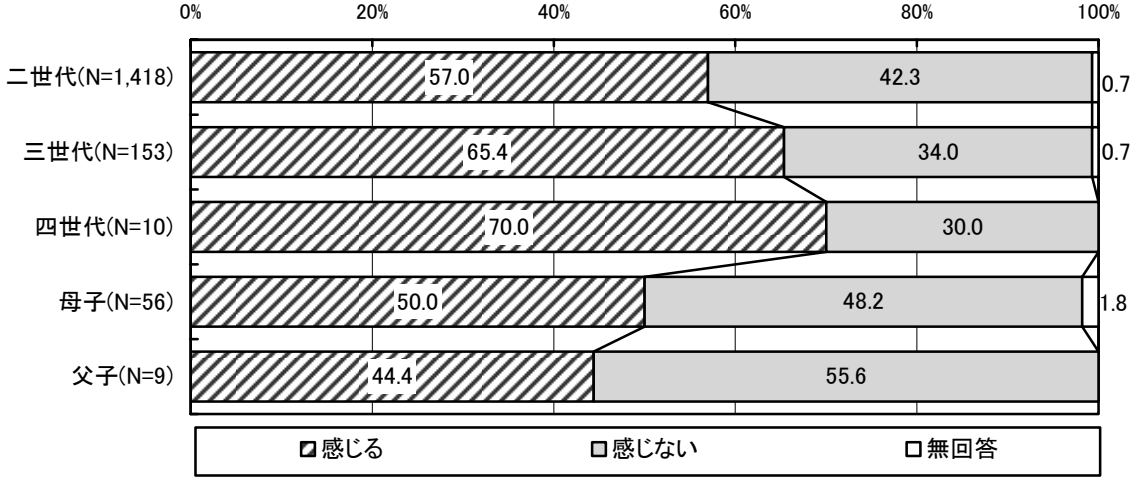
問34　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（どちらかに○）

- 全体では、子育てが地域の人に支えられていると「感じる」率は、57.6%と半数を超えています。一方、「感じない」は41.7%となっています。
- 地域別では、「感じる」率は南部が72.4%と最も高く、他の地域は60%程度となっています。
- 「感じない」率は、母子や父子世帯で高く、また、フルタイム共働き世帯でもひとり親やその他の世帯に次いで高く、およそ50%となっています。

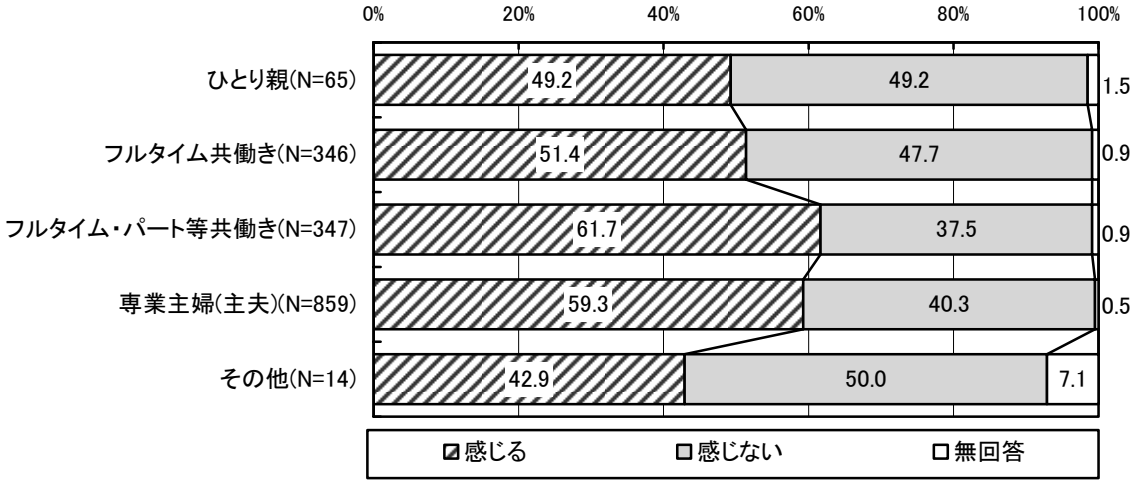
■地域別　子育てが地域の人に支えられていると感じるか



■同居世帯類型別　子育てが地域の人に支えられていると感じるか



■親の就労状況等による世帯類型別　子育てが地域の人に支えられていると感じるか

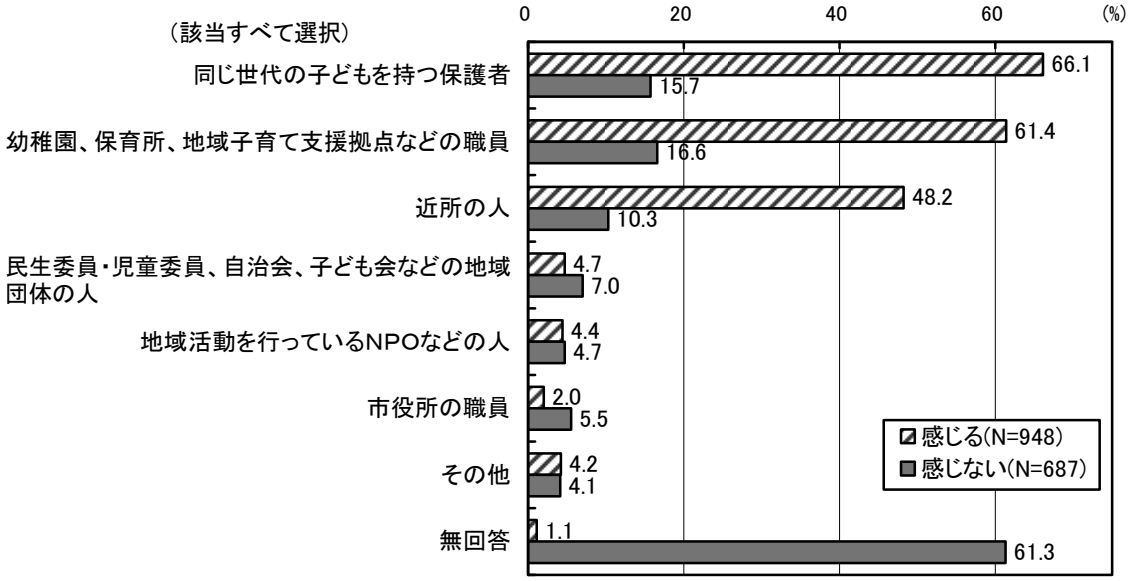


⑫　特に誰から支えられ、誰に支えてほしいか

問34－１　問34で感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

●支えられていると感じる人は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」や「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が60%を超えて高く、「近所の人」も48.2%とおよそ半数があげています。
●一方、支えられていると感じない人は、無回答が多く一概に言えませんが、「同じ世代の子どもを持つ保護者」や「地域子育て支援拠点などの職員」に支えてほしいが相対的に高くなっています。

■子育てが誰に支えられていると感じるか、誰に支えてほしいと感じるか

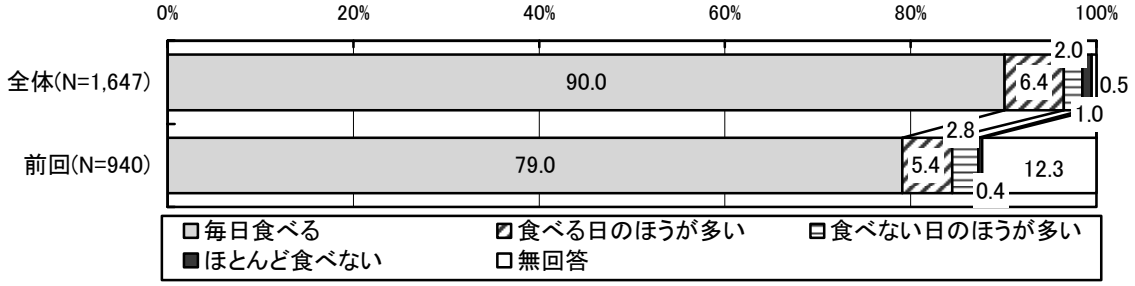


⑬　子どもの生活習慣

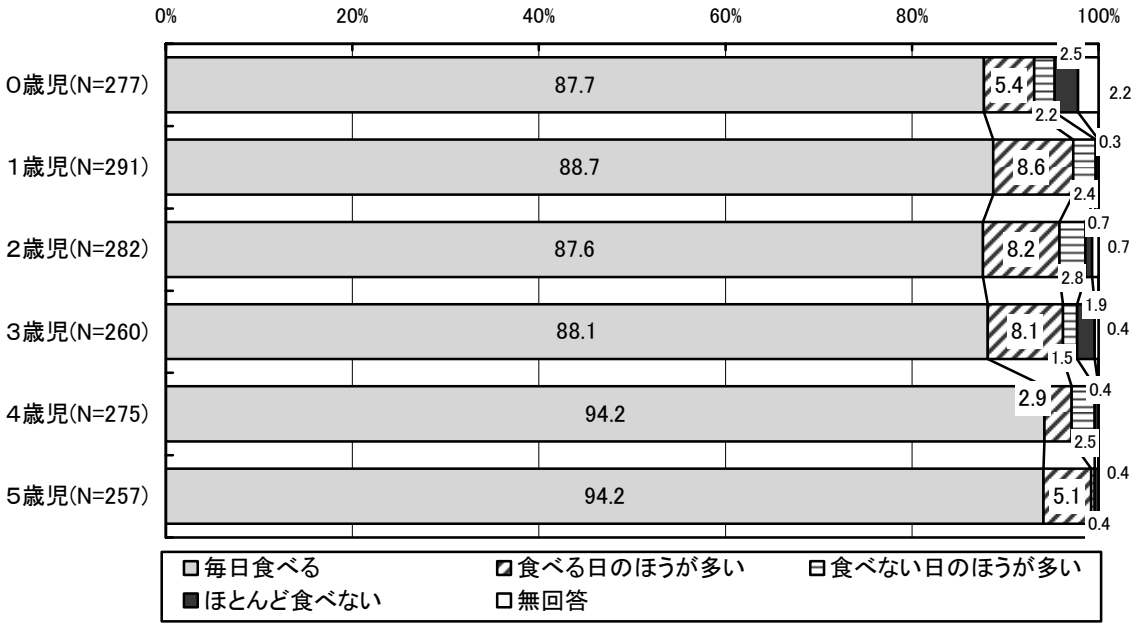
問35　あて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。
（１）朝ごはんを食べますか。（１つだけに○）

●全体では、朝食は、「毎日食べる」が90.0%で最も高く、前回調査より無回答が減少した代わりに11.0ポイント増加しています。一方、「ほとんど食べない」や「食べない日のほうが多い」は合わせて3.0%で、前回調査の3.2%と変わりありません。
●子どもの年齢別では、０歳児を除くと、「食べない日のほうが多い」及び「ほとんど食べない」を合わせた【食べない】率は、２歳児が3.5%、３歳児が3.4%、４歳児が2.9%、１歳児が2.7%、５歳児が0.8%となっています。

■朝ごはんを食べるかどうか／前回調査との比較



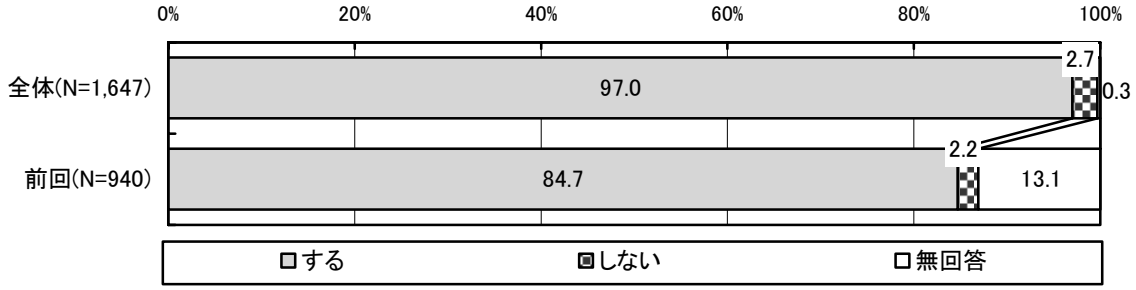
■子どもの年齢別　朝ごはんを食べるかどうか



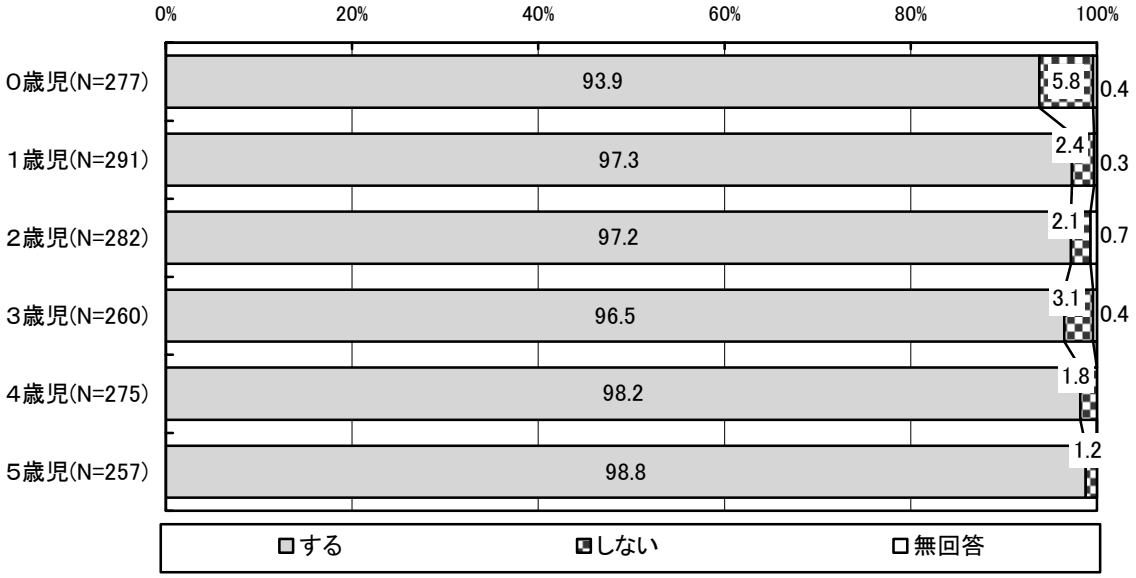
問35（２） １日１回は家族と一緒に食事をしますか。（どちらかに○）

●全体では、１日１回は家族と食事を「する」率は97.0%で、前回調査より無回答が減少した代わりに12.3ポイント増加しています。一方、「しない」率は2.7%で、前回調査と変わりありません。
●子どもの年齢別では、０歳児を除くと、「しない」率は、３歳児が3.1%、１歳児が2.4%、2歳児が2.1%、4歳児が1.8%、５歳児が1.2%となっています。

■１日１回は家族と食事をするかどうか／前回調査との比較



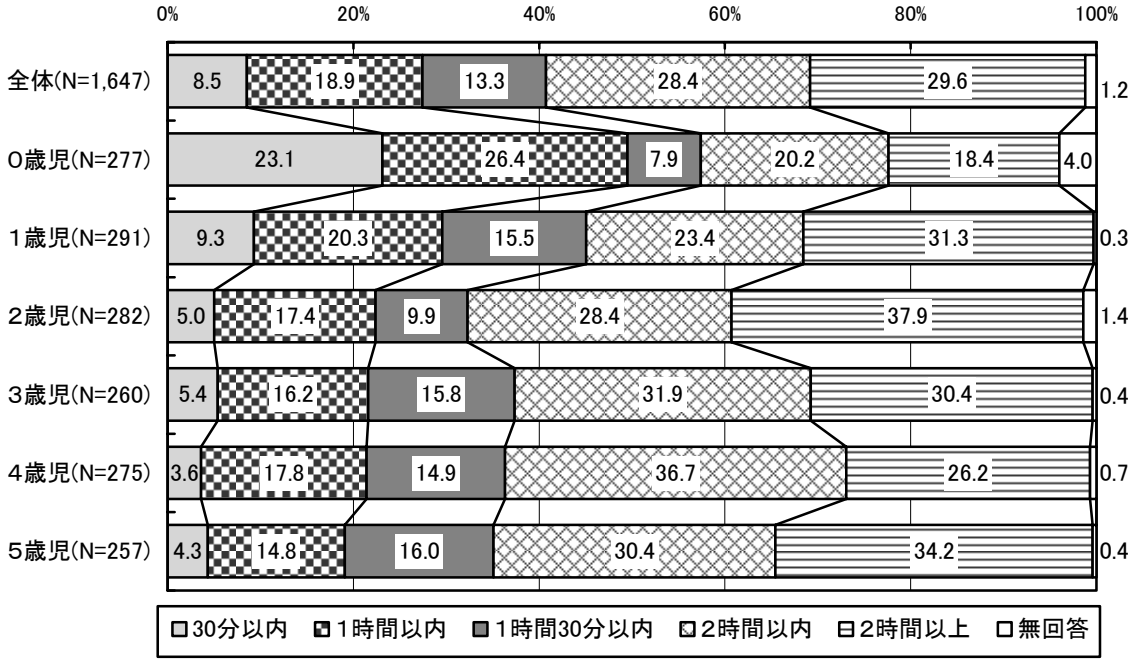
■子どもの年齢別　１日１回は家族と食事をするかどうか



問35（３）平日、テレビ・ビデオ（ゲームを含む）を１日平均、何時間みますか。
（１つだけ○）

●全体では、テレビ・ビデオの平均視聴時間は、「２時間以上」が29.6%で最も高く、次いで僅差で「２時間以内」が28.4%などとなっています。
●子どもの年齢別では、年齢があがるにしたがい視聴時間が長くなる傾向がありますが、「２時間以上」の率が２歳児で37.9%と最も高く、５歳児が34.2%、１歳児が31.3%、３歳児が30.4%、４歳児が26.2%、０歳児が18.4%となっています。

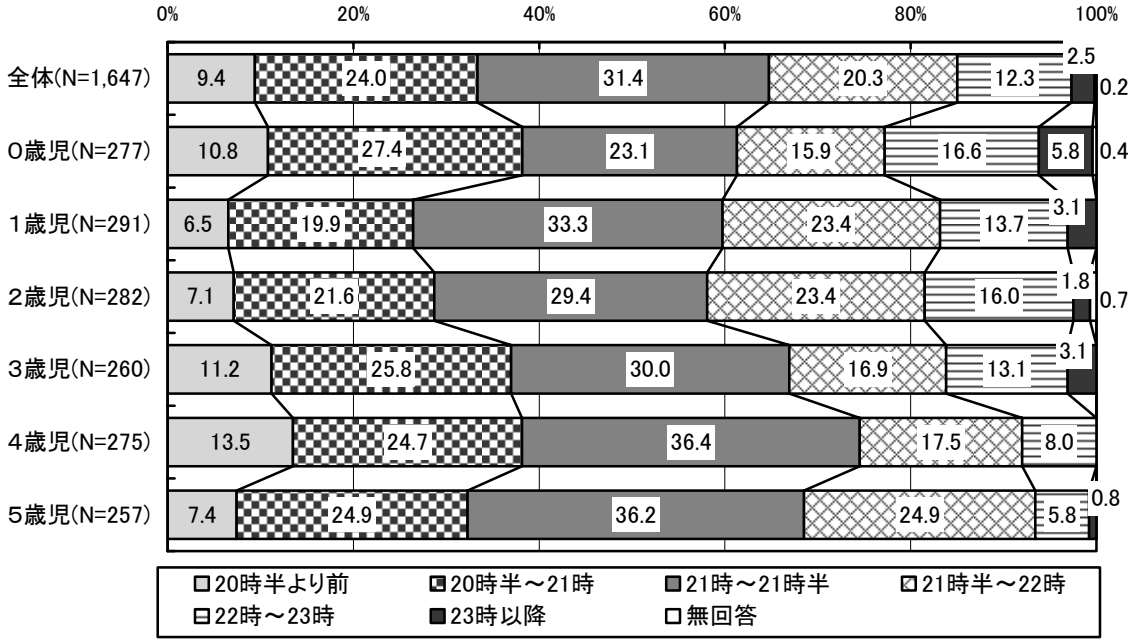
■子どもの年齢別　テレビ・ビデオの平均視聴時間



問35（４）夜寝る時間は何時ですか。（１つだけ○）

●全体では、就寝時間は、「21時～21時半」が31.4%で最も高く、次いで「20時半～21時」が24.0%、「21時半～22時」が20.3%などとなっています。
●子どもの年齢別では、年齢があがるにしたがい就寝時間が遅くなる傾向があります。就寝時間が【21時半以降】の率は、２歳児が41.2%、１歳児が40.2%、０歳児が38.3%、３歳児が33.1%、５歳児が31.5%、４歳児が25.5%で、全体的に就寝時間が遅い状況です。

■子どもの年齢別　就寝時間

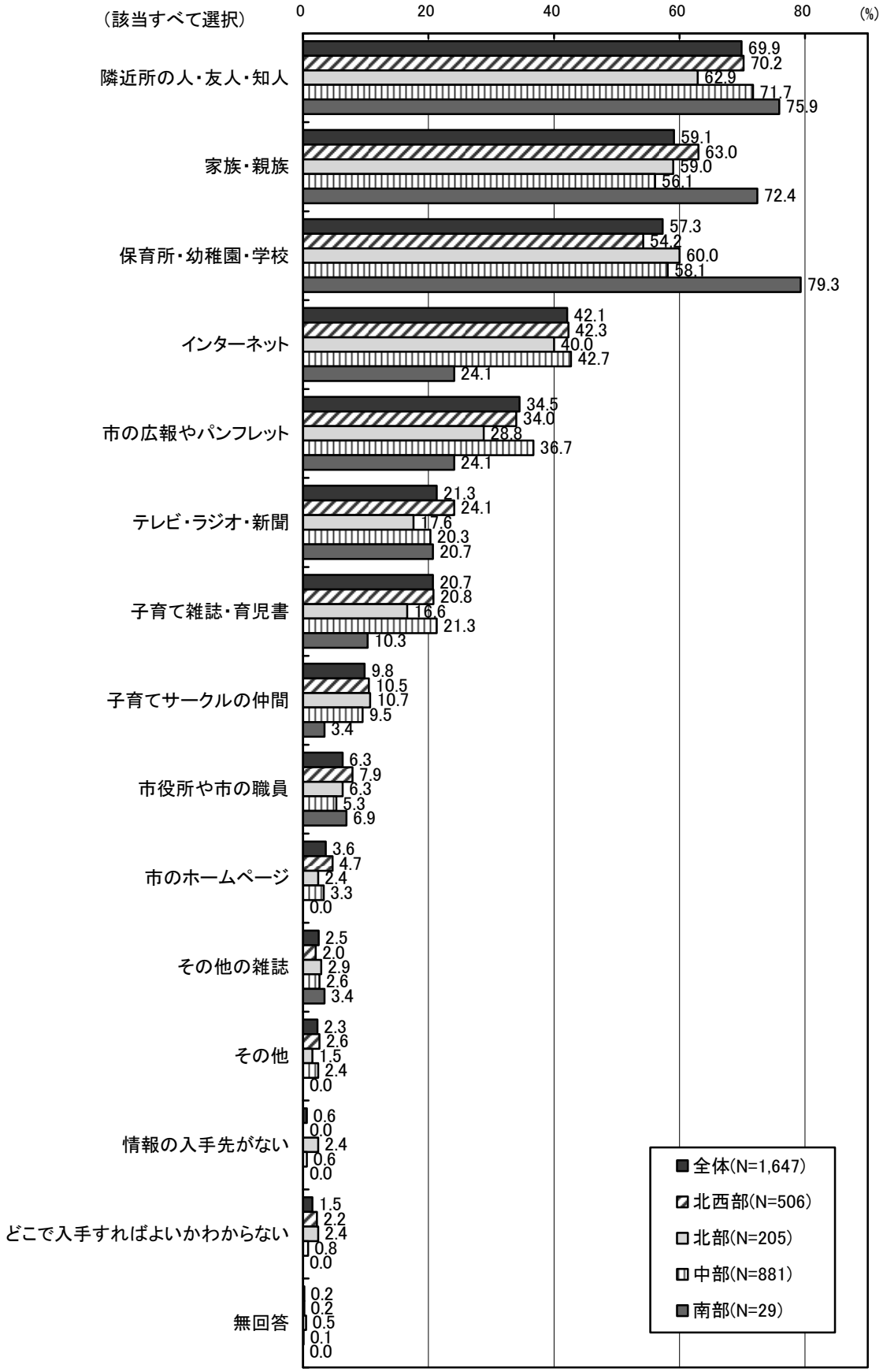


⑭　子育てに関する情報の入手方法

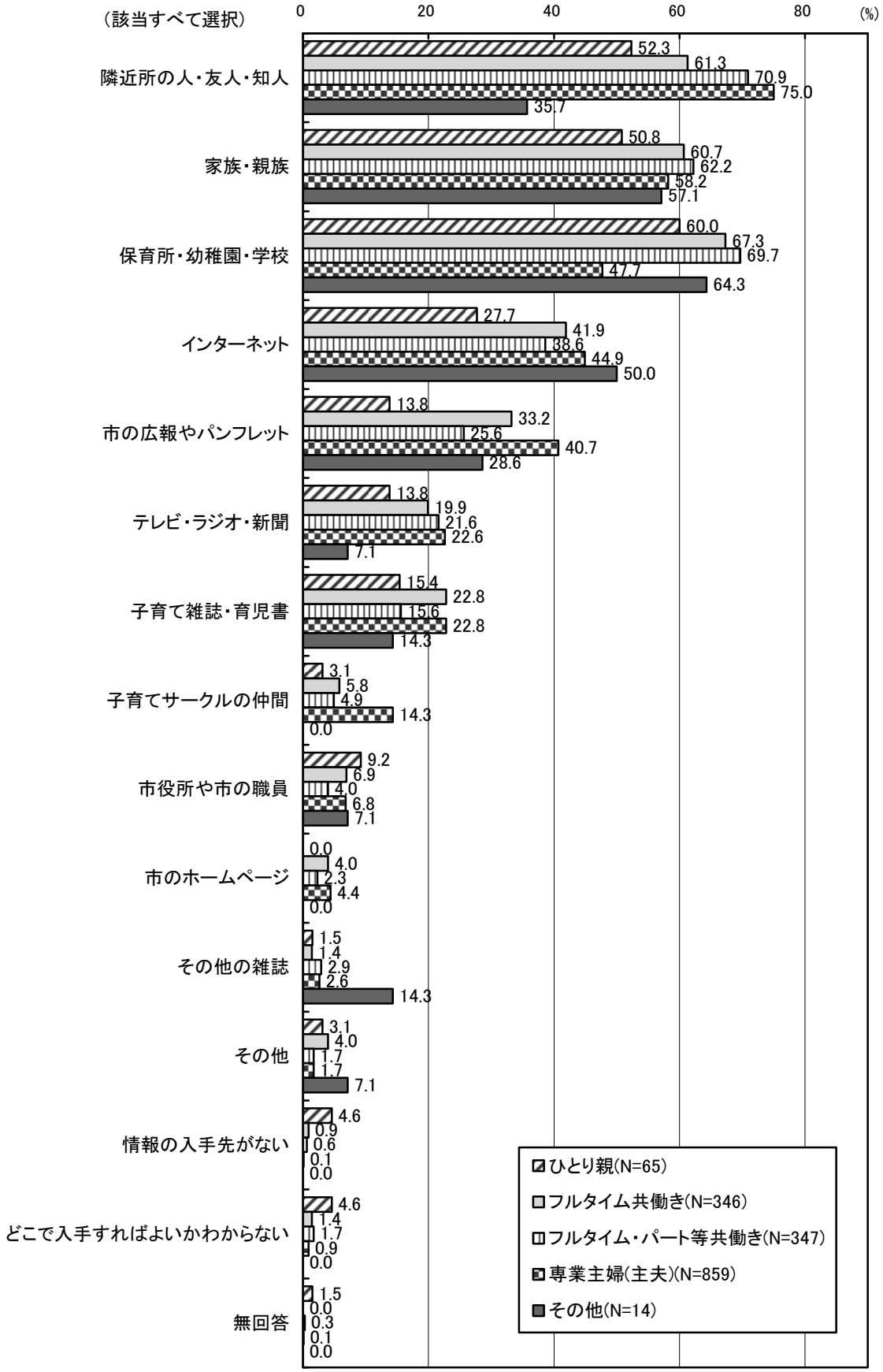
問36　子育てに関する情報の入手は、現在どのような方法で行っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

- 全体では、子育てに関する情報の入手方法は、「隣近所の人・友人・知人」が69.9%で最も高く、次いで「家族・親族」が59.1%、「保育所・幼稚園・学校」が57.3%、「インターネット」が42.1%などと続きます。
- 地域別では、南部は「保育所・幼稚園・学校」や「隣近所の人・友人・知人」「家族・親族」の率が他地域より高く、一方、「インターネット」「市の広報やパンフレット」などは低くなっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、ひとり親世帯は「市の広報やパンフレット」「インターネット」「テレビ・ラジオ・新聞」「市のホームページ」など、情報媒体の利用率が他の世帯より低く、「情報の入手先がない」や「どこで入手すればよいかわからない」がそれぞれ4.6%で、他の世帯より高くなっています。

■地域別　子育てに関する情報の入手方法



■親の就労状況等による世帯類型別　子育てに関する情報の入手方法

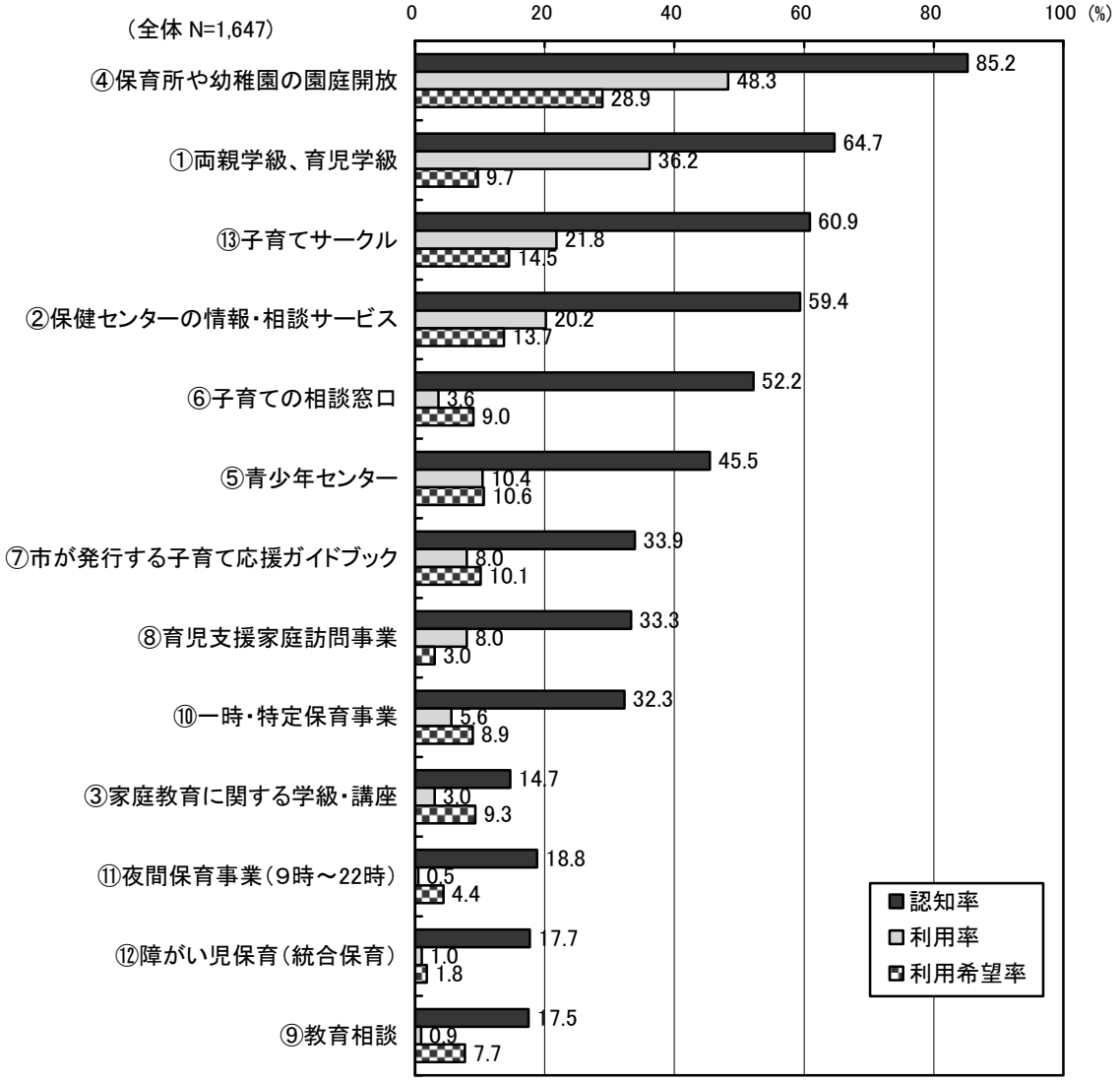


⑮　事業の認知状況、利用経験、利用意向

問37　次の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをそれぞれお答えください。

- 全体では、事業の認知率は、「④保育所や幼稚園の園庭解放」が85.2%で最も高く、次いで「①両親学級、育児学級」（64.7%）、「⑬子育てサークル」（60.9%）、「②保健センターの情報・相談サービス」（59.4%）などと続きます。
- 利用率は、「④保育所や幼稚園の園庭解放」が48.3%で最も高く、次いで「①両親学級、育児学級」が36.2%などと続きます。
- 利用希望率は、「④保育所や幼稚園の園庭解放」が28.9%で最も高く、次いで「⑬子育てサークル」が14.5%などと続きます。

■事業の認知率及び利用率、利用希望率

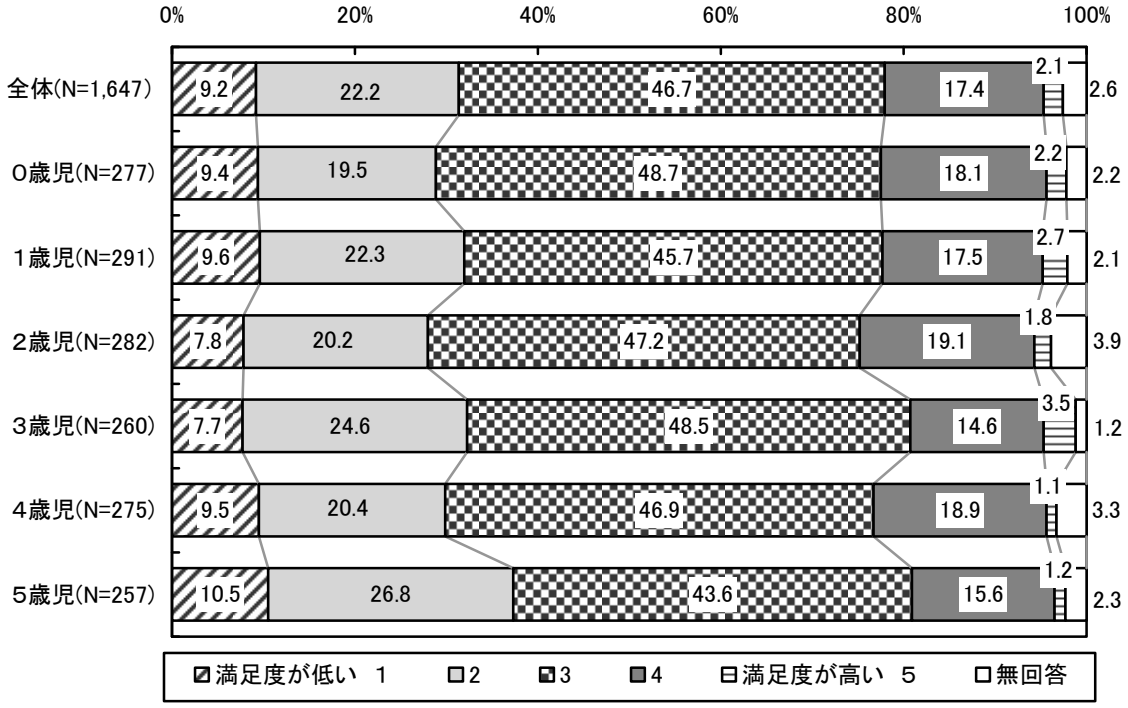


⑯　和泉市の子育て環境や支援への満足度

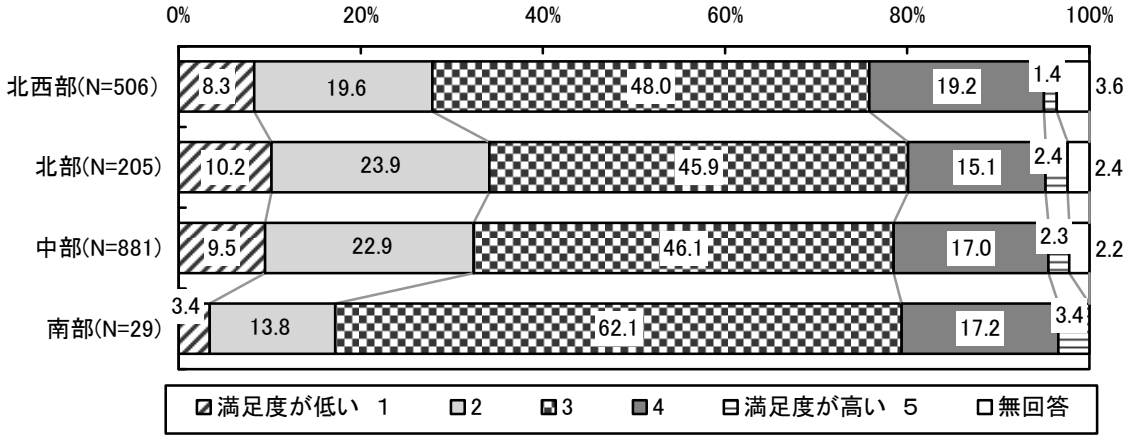
問38　和泉市の子育て環境や支援への満足度は、５段階評価だと何点くらいですか。
（１つだけ○）

- 全体では、和泉市の子育て環境や支援への満足度は、中間の「３」が46.7%で最も高く、次いで満足度がやや低い「２」が22.2%、満足度がやや高い「４」が17.4%などとなっています。
- 子どもの年齢別では、５歳児の満足度の【低い】（1と２を合わせた）が37.3%で最も高くなっています。一方、満足度が【高い】（４と５を合わせた）は５歳児が若干低いものの、他の年齢は20%程度で大きな違いがありません。
- 地域別では、南部では満足度の【低い】率が17.2%と他地域に比べて低くなっています。
- 満足度が【低い】人は、パート等の共働き及び共に未就労のその他世帯では42.9%と高く、また、母子世帯が37.5%などとなっています。一方、満足度が【高い】人は、専業主婦（主夫）世帯で22.0%となっています。

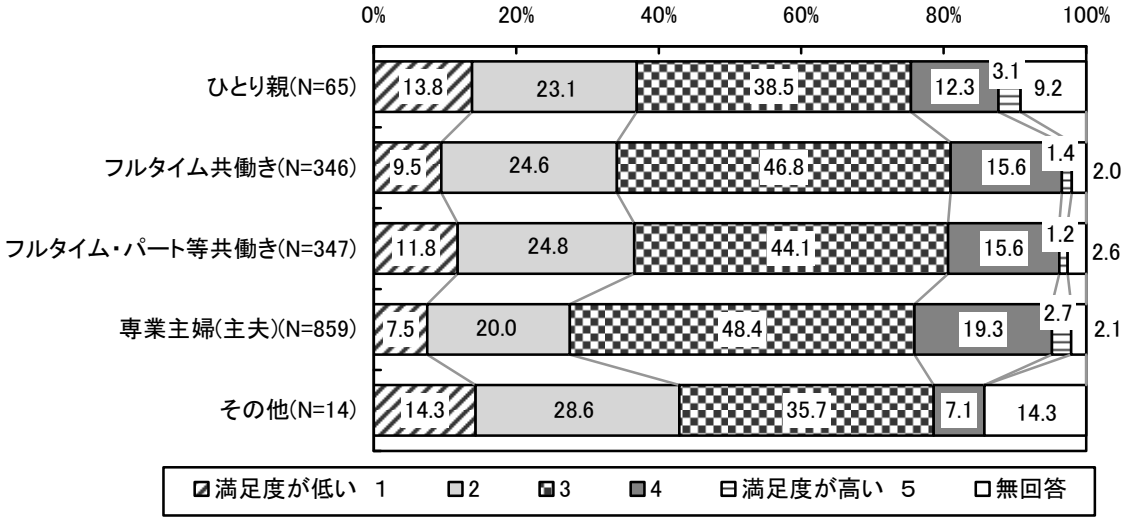
■子どもの年齢別　和泉市の子育て環境や支援への満足度



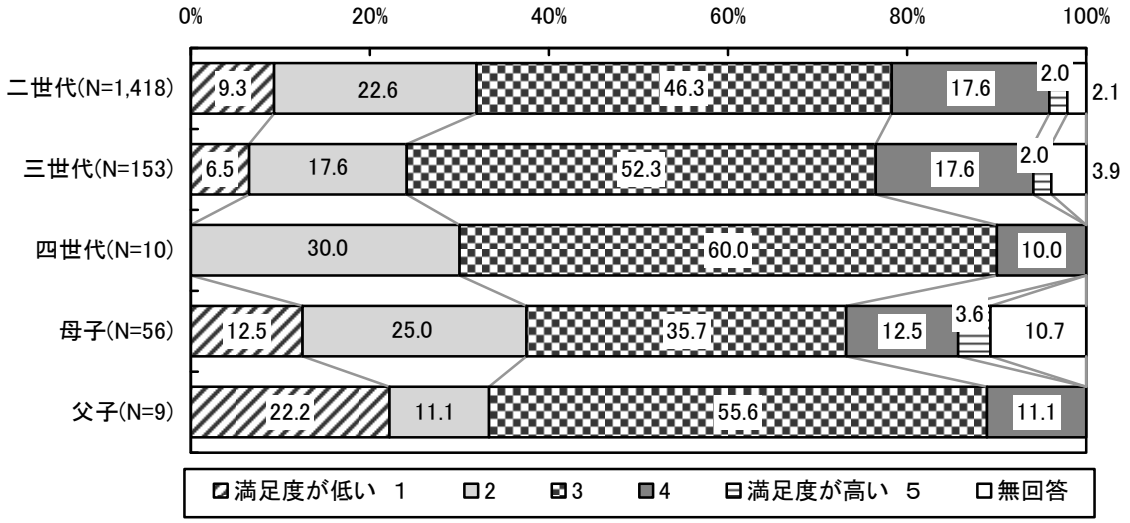
■地域別　和泉市の子育て環境や支援への満足度



■親の就労状況等による世帯類型別　和泉市の子育て環境や支援への満足度



■同居世帯類型別　和泉市の子育て環境や支援への満足度

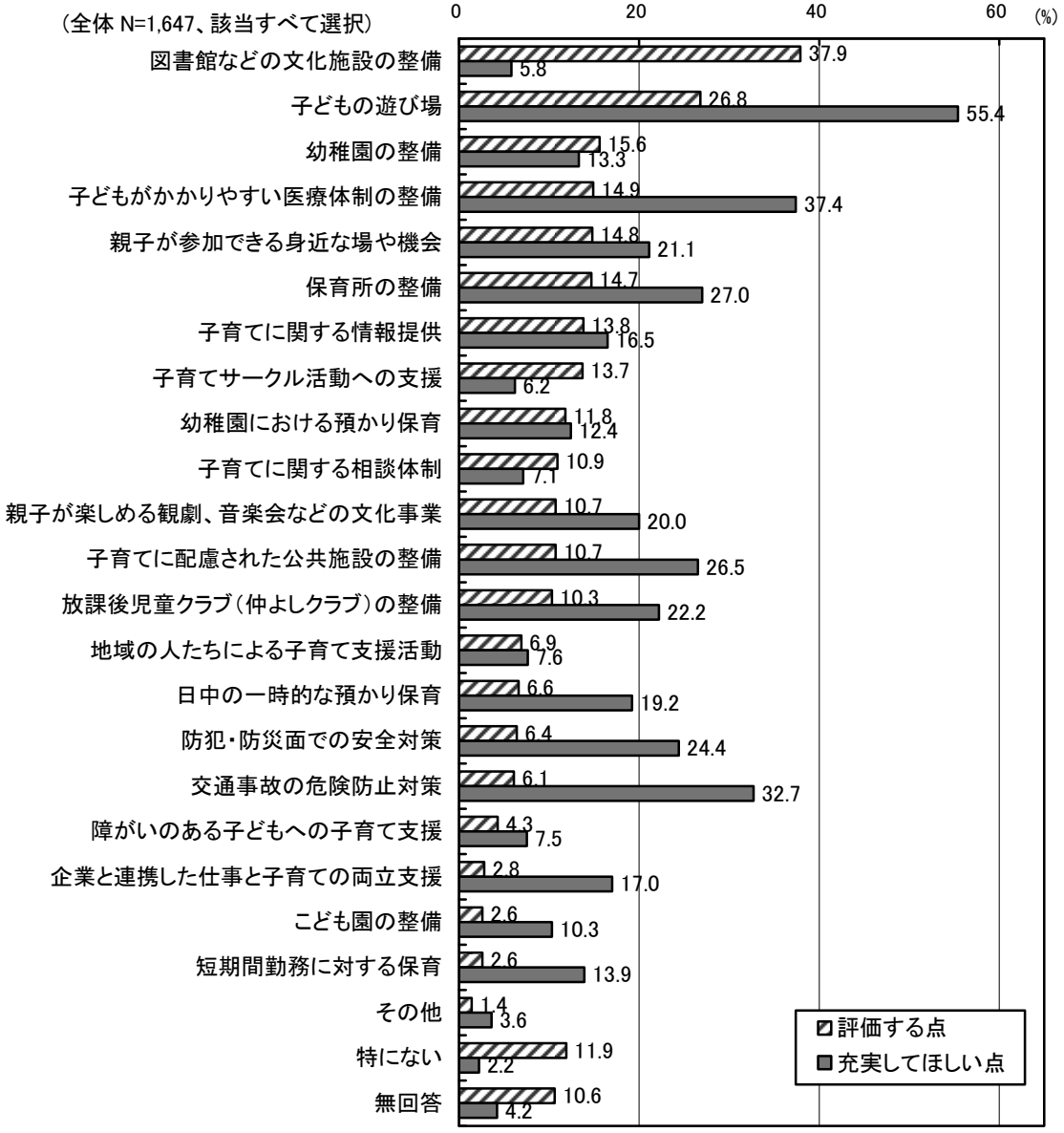


⑰　評価できる点ともっと充実してほしい点

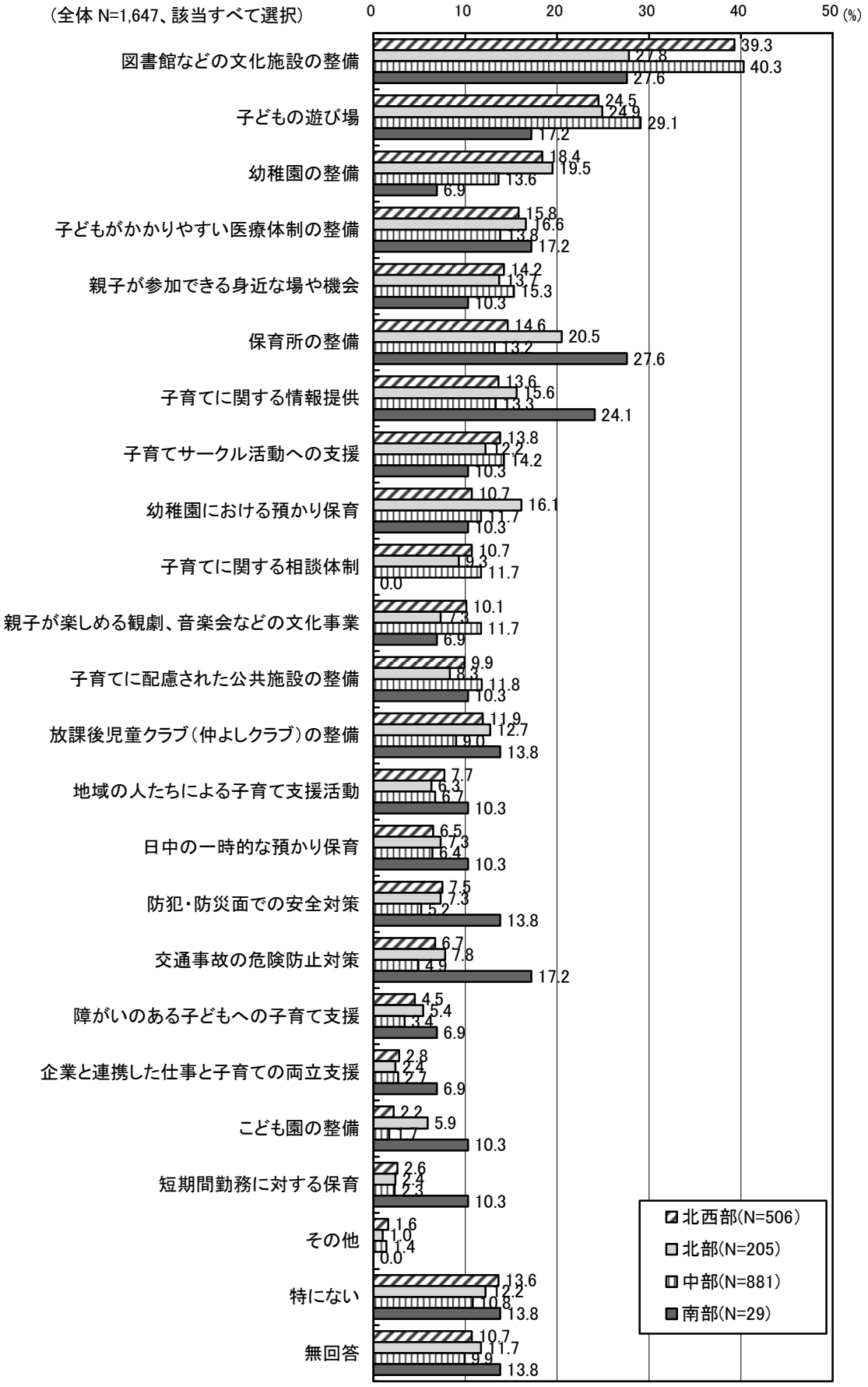
問39　では、和泉市の子育て環境や支援に関して、あなたが子育てしやすいなど一定、評価できる点、もっと充実してほしい点はどのようなことがありますか。
（１）子育てしやすいなど一定、評価できる点（あてはまるものいくつでも）
（２）もっと充実してほしい点（あてはまるものいくつでも）

●全体では、評価できる点は、「図書館などの文化施設の整備」が第１位で37.9%、次いで「子どもの遊び場」（26.8%）などとなっています。
●もっと充実してほしい点は、「子どもの遊び場」が第１位で55.4%、次いで「子どもがかかりやすい医療体制の整備」（37.4%）、「交通事故の危険防止対策」（32.7%）などとなっています。

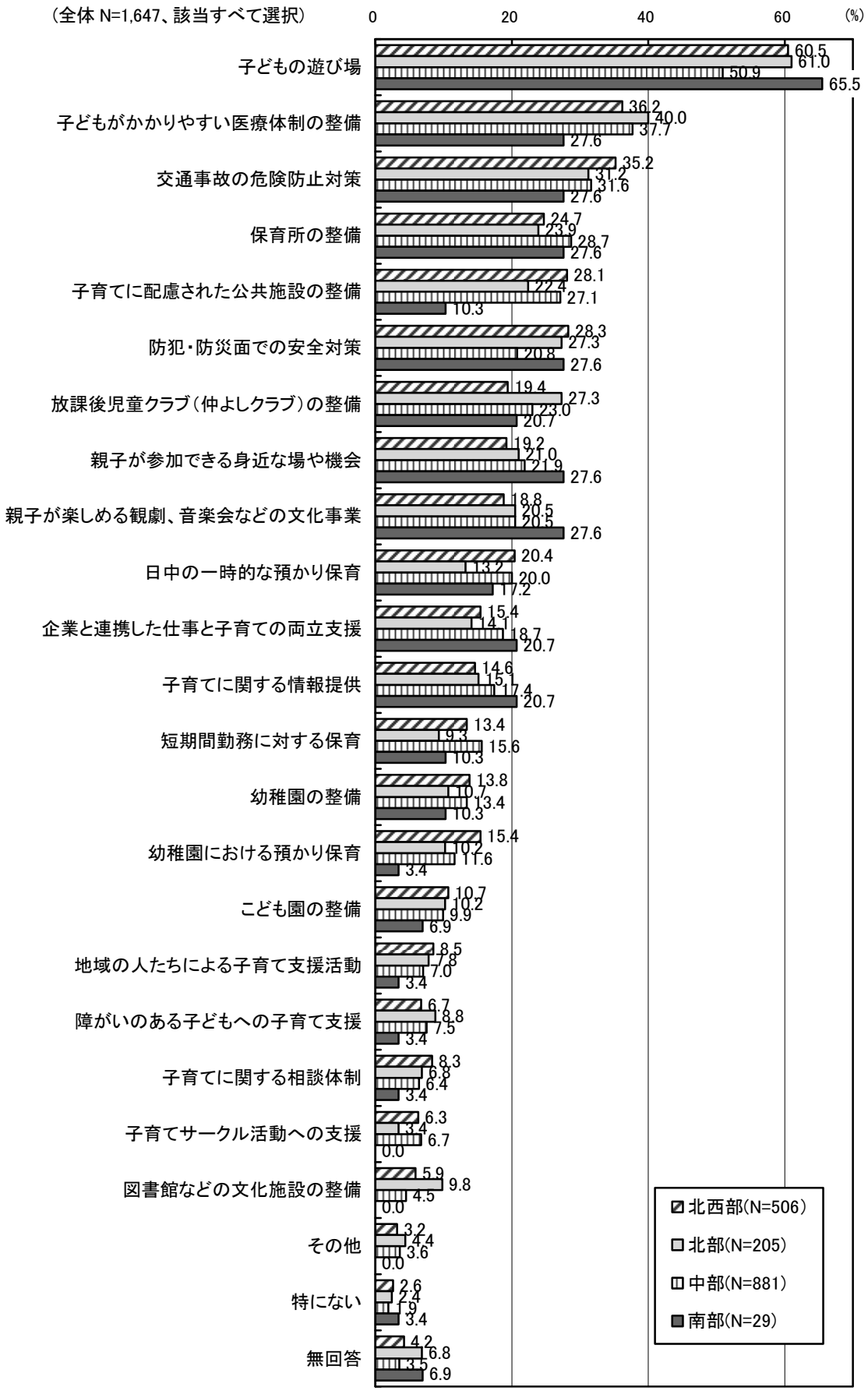
■評価できる点ともっと充実してほしい点



■地域別　評価できる点


（全体 N=1,647、該当すべて選択）
0
10
20
30
40
50 (%)
図書館などの文化施設の整備 39.3 27.8 40.3 27.6
子どもの遊び場 24.5 24.9 29.1 17.2
幼稚園の整備 18.4 19.5 13.6 6.9
子どもがかかりやすい医療体制の整備 15.8 16.6 13.8 17.2
親子が参加できる身近な場や機会 14.2 13.7 15.3 10.3
保育所の整備 14.6 20.5 13.2 27.6
子育てに関する情報提供 13.6 15.6 13.3 24.1
子育てサークル活動への支援 13.8 12.2 14.2 10.3
幼稚園における預かり保育 10.7 16.1 11.7 10.3
子育てに関する相談体制 10.7 9.3 11.7 0.0
親子が楽しめる観劇、音楽会などの文化事業 10.1 7.3 11.7 6.9
子育てに配慮された公共施設の整備 9.9 8.3 11.8 10.3
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備 11.9 12.7 9.0 13.8
地域の人たちによる子育て支援活動 7.7 6.3 6.7 10.3
日中の一時的な預かり保育 6.5 7.3 6.4 10.3
防犯・防災面での安全対策 7.5 7.3 5.2 13.8
交通事故の危険防止対策 6.7 7.8 4.9 17.2
障がいのある子どもへの子育て支援 4.5 5.4 3.4 6.9
企業と連携した仕事と子育ての両立支援 2.8 2.4 2.7 6.9
こども園の整備 2.2 5.9 1.7 10.3
短期間勤務に対する保育 2.6 2.4 2.3 10.3
その他 1.6 1.0 1.4 0.0
特にない 13.6 12.2 10.8 13.8
無回答 10.7 11.7 9.9 13.8
北西部(N=506)
北部(N=205)
中部(N=881)
南部(N=29)

■地域別　もっと充実してほしい点



調 査 結 果

［2］小学生保護者調査

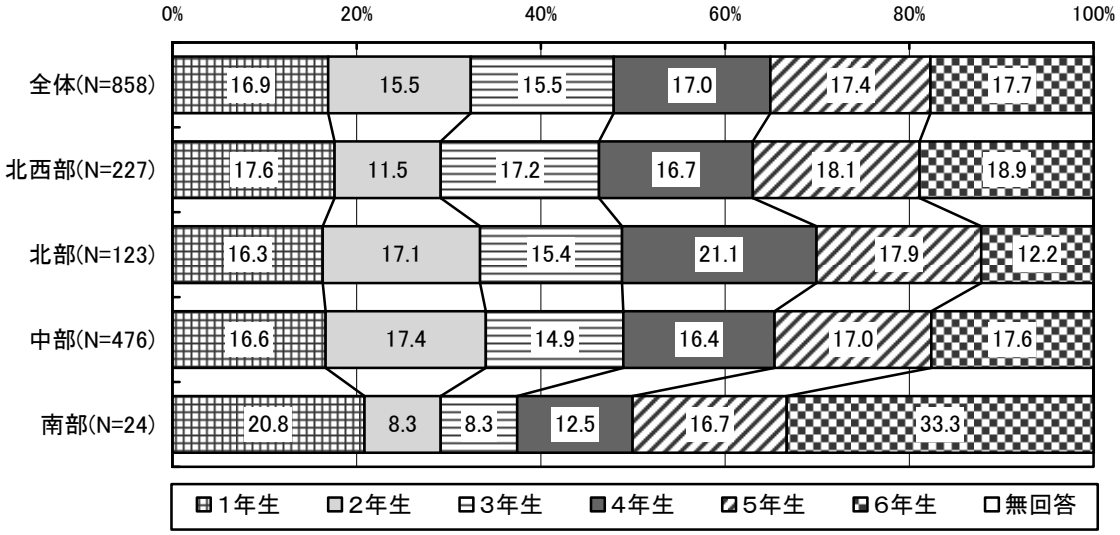
1　子どもと家族の状況

①　子どもの年齢構成

問１（１）　あて名のお子さんは小学何年生ですか。（１つだけ○）

- 全体では、「６年生」が17.7%で最も高く、「２年生」及び「３年生」がともに15.5%で最も低いものの、各学年で大きな違いはありません。
- 地域別では、南部が「１年生」及び「６年生」の割合が高く、一方、「２年生」及び「３年生」の割合が低くなっています。

■地域別　子どもの学年



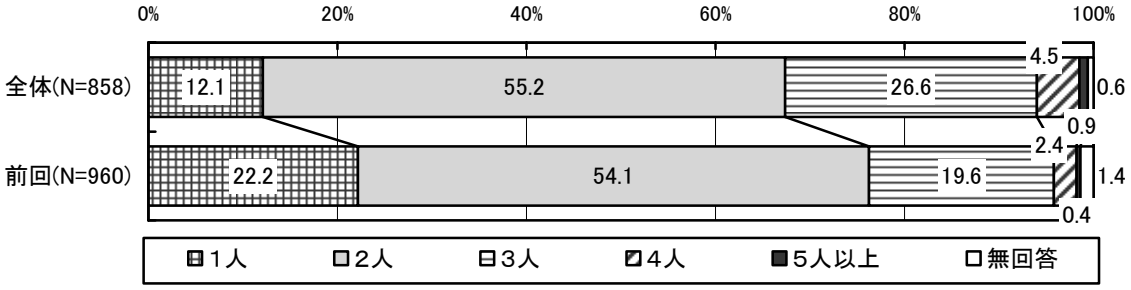
注）小学校区が「わからない」や無回答は省略しています（以下、同様）。

②　子どもの人数

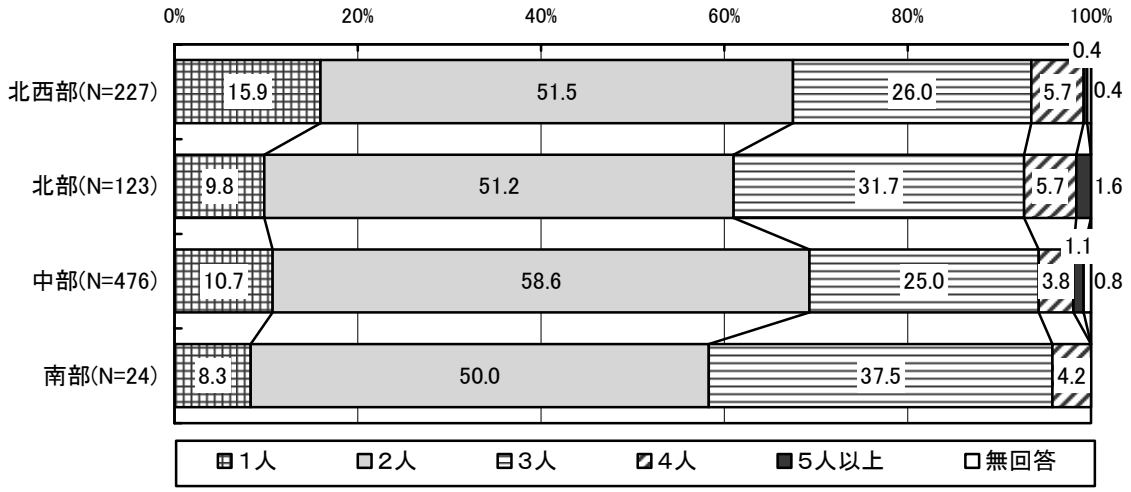
問１（２）　お子さんの人数は何人ですか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの生年月をご記入ください。

- 全体では、「２人」が55.2%で最も高く、次いで「３人」が26.6%、「１人」が12.1%、【４人以上】が合わせて5.4%です。最大が６人、平均は2.27人となっています。
- 前回調査に比べて「１人」が減少し、「２人」「３人」「４人」がそれぞれ増加しています。
- 地域別では、南部で【３人以上】の割合が高く、41.7%となっています。
- ２人以上いる場合の末子の年齢は、「１年生」が13.1%で最も高く、次いで「４年生」が10.5%、「３年生」が9.8%、「２年生」が9.4%などと続き、「０歳」が1.0%で最も低くなっています。

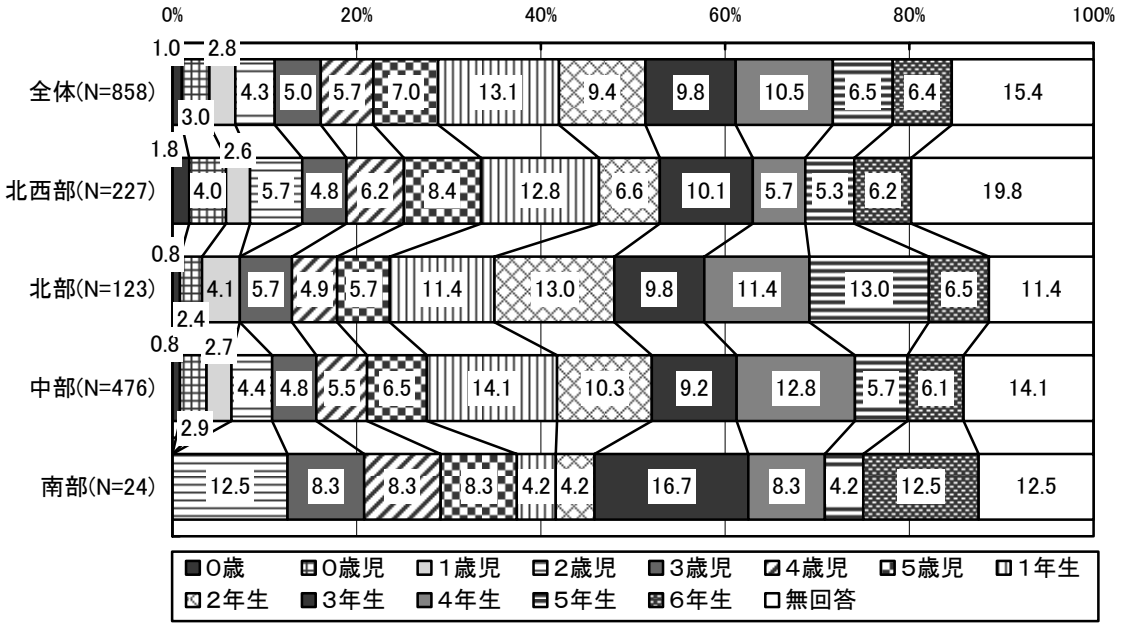
■子どもの人数／前回調査との比較



■地域別　子どもの人数



■地域別　末子の年齢構成



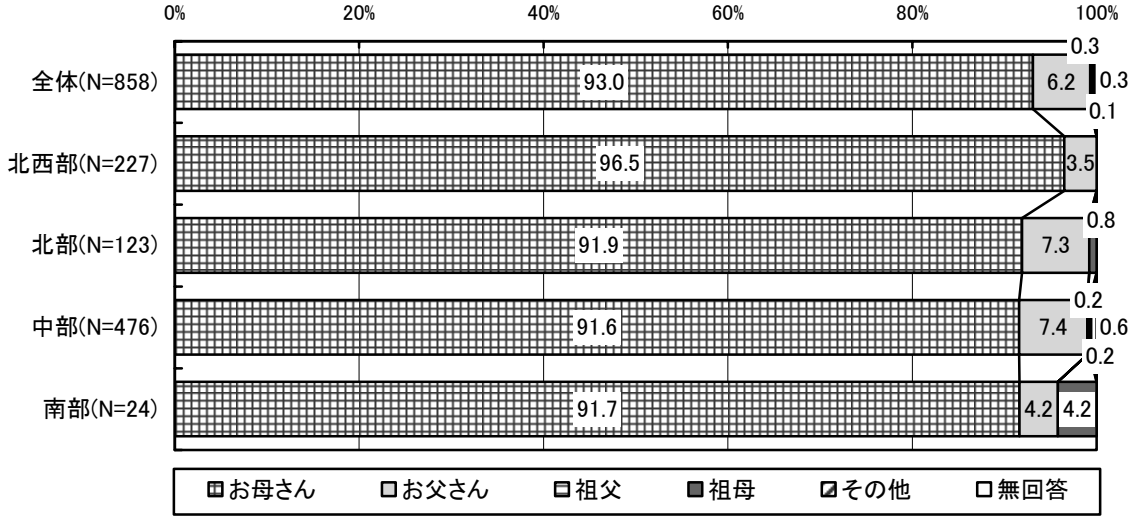
注）調査対象の子どもは、平成25年４月１日時点で抽出し、その時点で「0歳」の子どもと、きょうだいで平成25年４月２日以降に生まれた子どもの「0歳」を区別するため、調査対象の前者を「0歳児」としています。

③　調査の回答者

問１（３）　あて名のお子さんからみて、この調査にご回答いただく方はどなたですか。
（１つだけ○）

- 全体では、「お母さん」が93.0%、「お父さん」が6.2%、「祖母」が0.3%、「その他」が0.1%となっています。
- 地域別では、北部と中部で「お父さん」がそれぞれ7.3%、7.4%で、他地域より若干高くなっています。

■地域別　調査の回答者

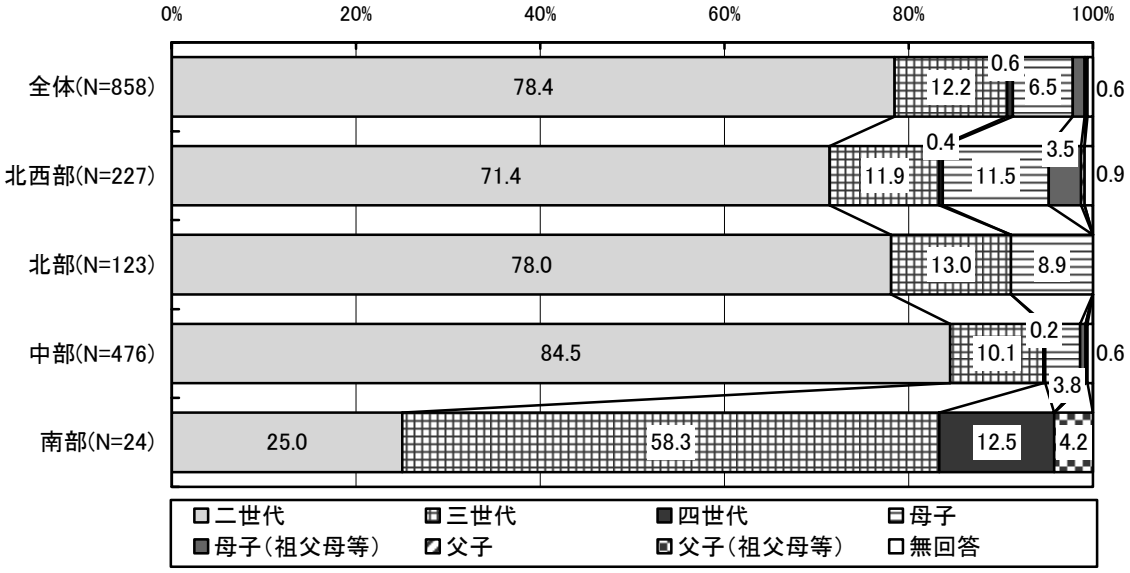


④　同居の世帯類型

問１（４）　あて名のお子さんからみて、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。
（あてはまるものすべてに○）

- 同居の家族から世帯類型に分類すると、両親と子ども等の「二世代」が78.4%で最も高く、他は両親と子どもと祖父母（両方あるいはどちらか）等の「三世代」が12.2%、両親と子どもと祖父母（両方あるいはどちらか）及び曾祖父母（どちらか）等の「四世代」が0.6%です。また、【ひとり親】世帯は、母子のみが6.5%、祖父母等と同居の母子が1.3%、父子が0.1%、祖父母等と同居の父子が0.2%となっています。
- 地域別では、「三世代」及び「四世代」の割合が高いのは南部で、合わせて70.8%となっています。また、【ひとり親】世帯は、北西部が15.4%で最も高く、北部が8.9%、中部が4.6%、南部が4.2%となっています。
- 同居世帯類型別に子どもの人数をみると、父子世帯は対象世帯が少なく一概には言えませんが、母子世帯や父子世帯は「１人」の割合が高くなっています。

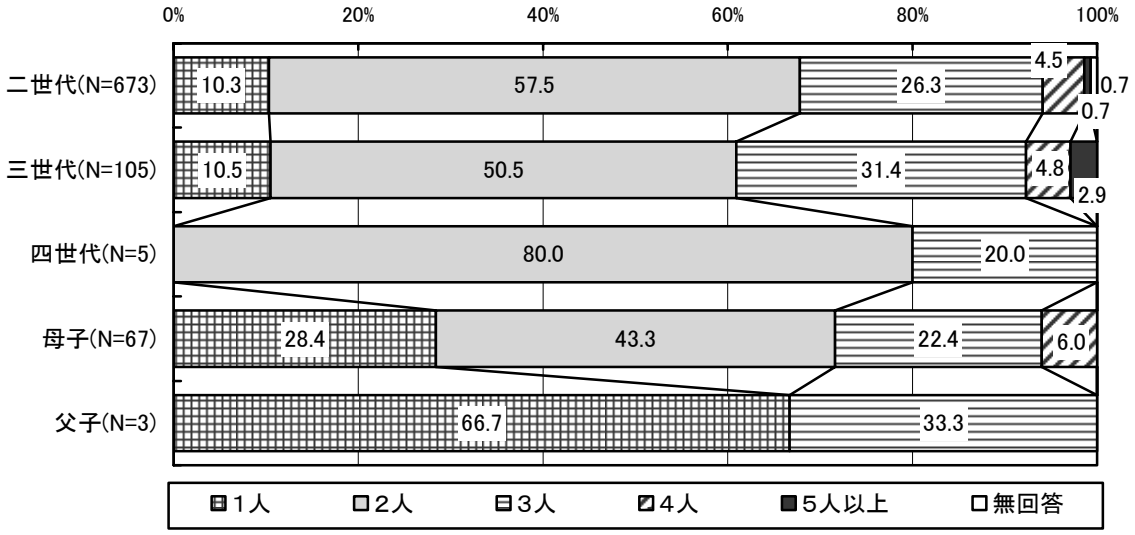
■地域別　同居の世帯類型



■ひとり親世帯の構成比（別掲）

項目／地域	母子	母子（祖父母等）	父子	父子（祖父母等）	計
全　体	6.5	1.3	0.1	0.2	8.1
北西部	11.5	3.5	0.4	0.0	15.4
北　部	8.9	0.0	0.0	0.0	8.9
中　部	3.8	0.6	0.0	0.2	4.6
南　部	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2

■同居世帯類型別　子どもの人数

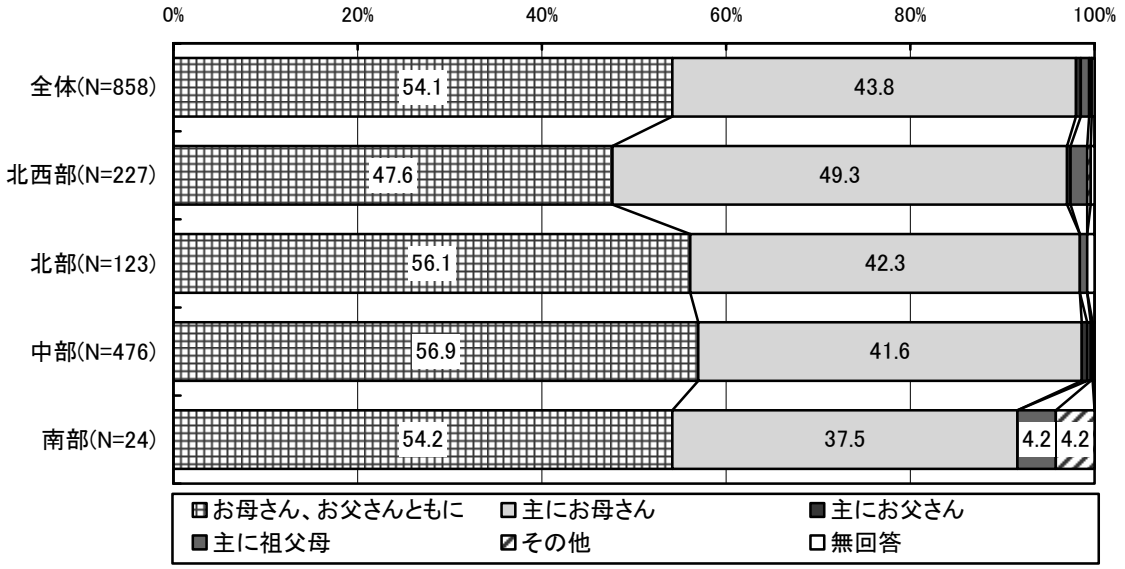


⑤　子育て（教育を含む）を主にしている方

問１（５）　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。（１つだけ○）

- 全体では、「お母さん、お父さんともに」が54.1%で、「主にお母さん」の43.8%を上回っています。
- 地域別では、「お母さん、お父さんともに」は北西部を除くと54～57%で大きな違いはありません。北西部は母子世帯率が高いため、「お母さん、お父さんともに」が他地域より低くなっています。

■地域別　子育て（教育を含む）を主にしている方



■「お母さん、お父さんともに」及び「主にお母さん」以外の構成比（別掲）

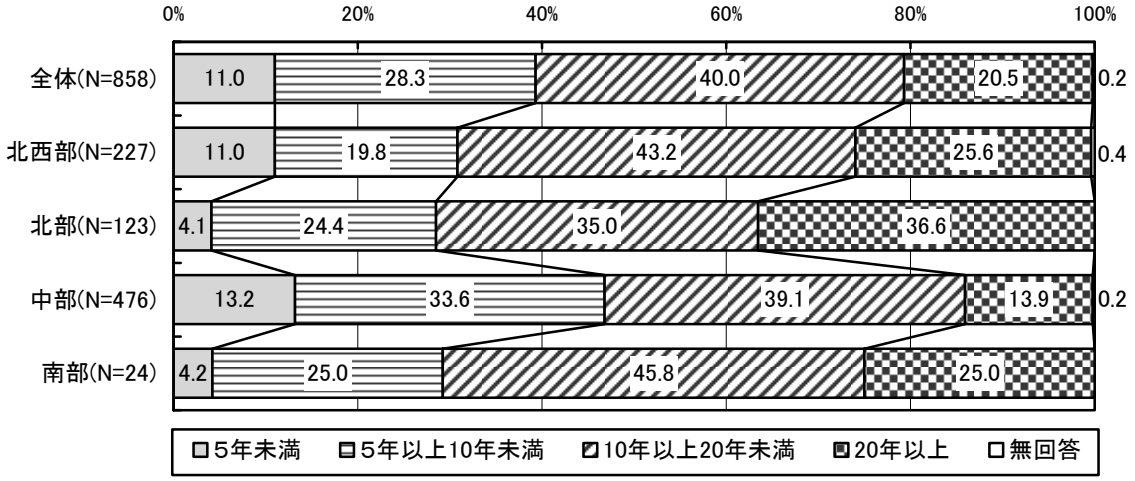
項目／地域	主にお父さん	主に祖父母	その他	無回答
全　体	0.5	0.9	0.3	0.3
北西部	0.4	1.8	0.4	0.4
北　部	0.0	0.8	0.0	0.8
中　部	0.6	0.4	0.2	0.2
南　部	0.0	4.2	4.2	0.0

⑥ 居住年数

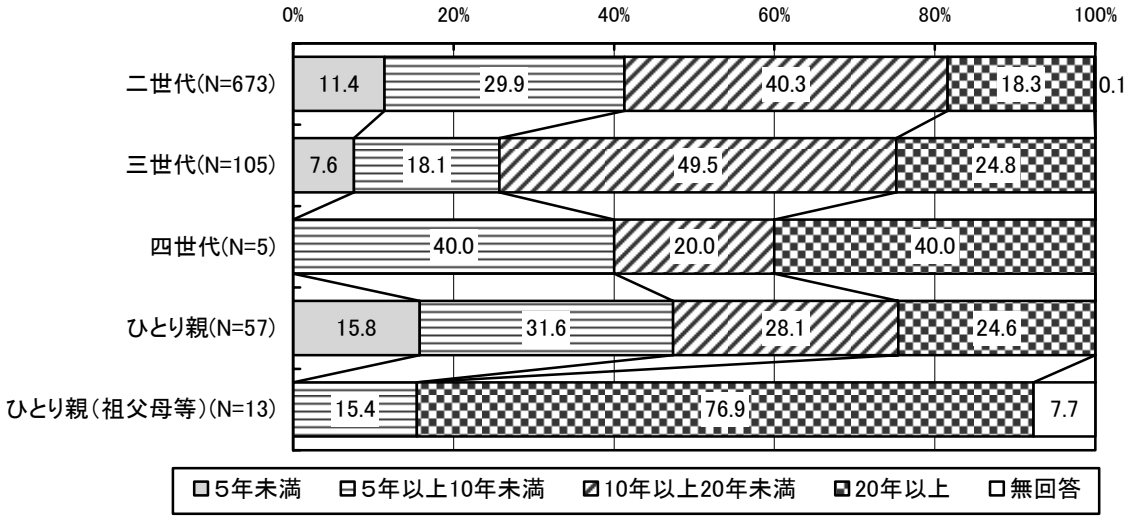
問１（６） あなたは和泉市に住んでどのくらいになりますか。（１つだけ○）

- 全体では、「「10年以上20年未満」が40.0%で最も高く、次いで「５年以上10年未満」が28.3%、「20年以上」が20.5%と続き、「５年未満」が11.0%で最も低くなっています。
- 地域別では、「５年未満」は北西部及び中部がそれぞれ11.0%、13.2%で、北部や南部より高くなっています。一方、「20年以上」は、北部が36.6%と高くなっています。
- 同居世帯類型別では、ひとり親世帯の中でも祖父母等と同居の世帯では、「20年以上」が76.9%と高く、ひとり親のみの世帯では「５年未満」が15.8%と高くなっています。

■地域別　居住年数



■同居世帯類型別　居住年数



⑦　居住小学校区

問１（７）　お住まいの小学校区はどこですか。わからない場合は22に町名をご記入ください。（１つだけ○）

- 「青葉はつが野」が11.0%、次いで「国府」及び「いぶき野」が同率の7.8%、「和気」及び「北松尾」が同率の6.6%などと続き、「南横山」が0.3%で最も低くなっています。
- 中学校区に集約すると、「南池田」が15.4%、次いで「北池田」が15.0%、「和泉」が14.1%などと続き、「南松尾」が0.8%で最も低くなっています。
- 地域別に集約すると、「中部」が55.5%、「北西部」が26.5%、「北部」が14.3%、「南部」が2.8%となっています。

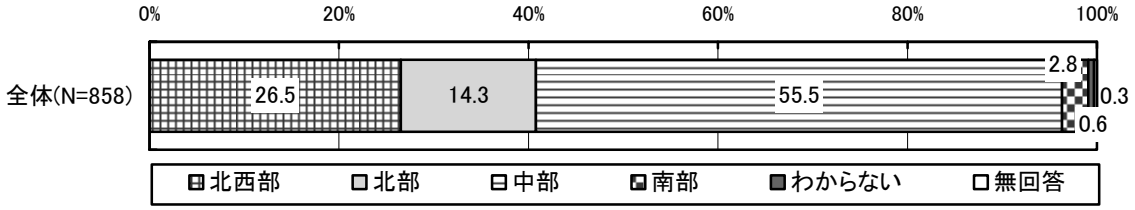
■居住小学校区

小学校区	%	小学校区	%	小学校区	%	小学校区	%	小学校区	%
国　府	7.8	芦　部	5.7	光明台北	6.5	南 横 山	0.3	青葉はつが野	11.0
和　気	6.6	北 池 田	7.2	緑 ヶ 丘	6.5	幸	1.9	わからない	0.6
伯　太	2.8	いぶき野	7.8	北 松 尾	6.6	信　太	4.4	無回答	0.3
池　上	2.0	南 池 田	4.4	南 松 尾	0.8	鶴山台北	3.8		
黒　鳥	3.5	光明台南	4.5	横　山	2.4	鶴山台南	2.2		

■居住中学校区

中学校区	%	中学校区	%	中学校区	%	中学校区	%	中学校区	%
和　泉	14.1	石　尾	13.2	南 池 田	15.4	光 明 台	11.1	富　秋	3.8
郷　荘	12.4	北 池 田	15.0	南 松 尾	0.8	槇　尾	2.8	信　太	10.5

■居住地域



2　母親と父親の就労状況と就労意向

①　母親と父親の就労状況

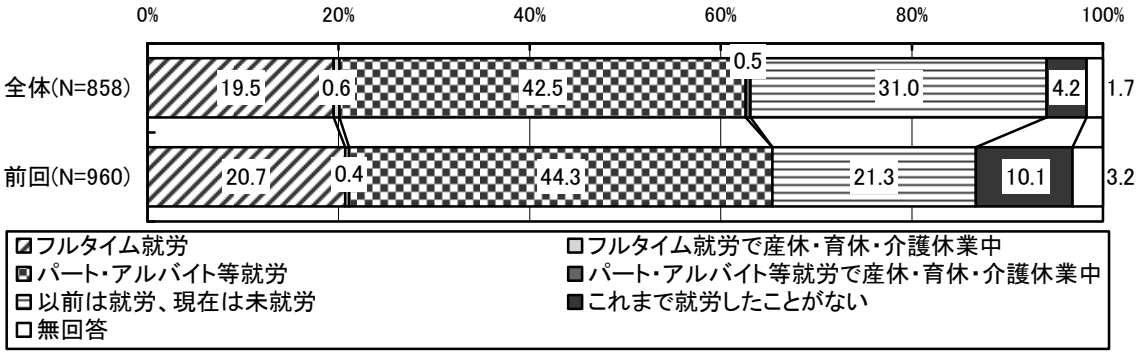
問２　お母さん、お父さんの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。お母さん、お父さんそれぞれについて、お答えください。ひとり親家庭の場合は、お母さん、またはお父さんのみお答えください。（１つだけ○）

●母親の就労状況では、「フルタイム就労で産休・育休・介護休業中ではない」が19.5%、「フルタイム就労で産休・育休・介護休業中である」が0.6%で、合わせて【フルタイム就労】が20.1%で、前回調査の21.1%と同程度となっています。また、「パート・アルバイト等就労で産休・育休・介護休業中ではない」が42.5%、「パート・アルバイト等就労で産休・育休・介護休業中である」が0.5%で、合わせて【パート・アルバイト等就労】が43.0%で、こちらも前回調査の44.3%と同程度となっています。

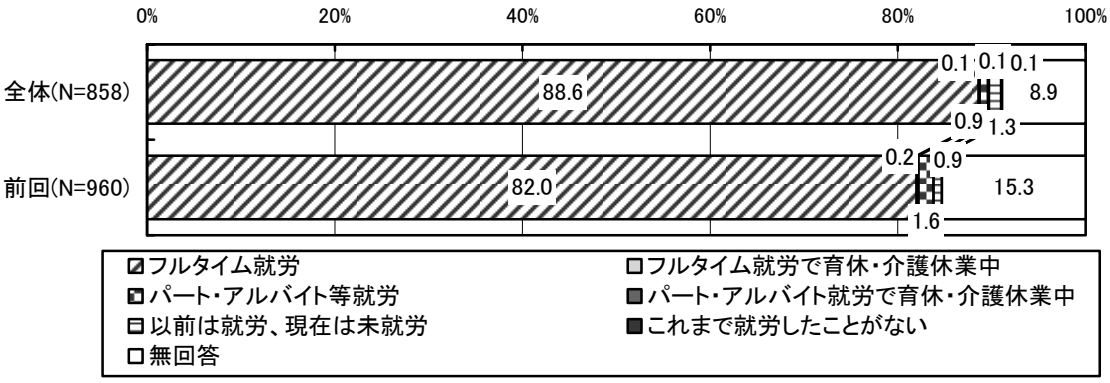
●一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が31.0%、「これまで就労したことがない」が4.2%で、特に「これまで就労したことがない」は前回調査に比べて5.9ポイント減少しています。

●父親の就労状況では、「フルタイム就労で育休・介護休業中ではない」が88.6%で、前回調査に比べて6.6ポイント増加しています。

■母親の就労状況／前回調査との比較

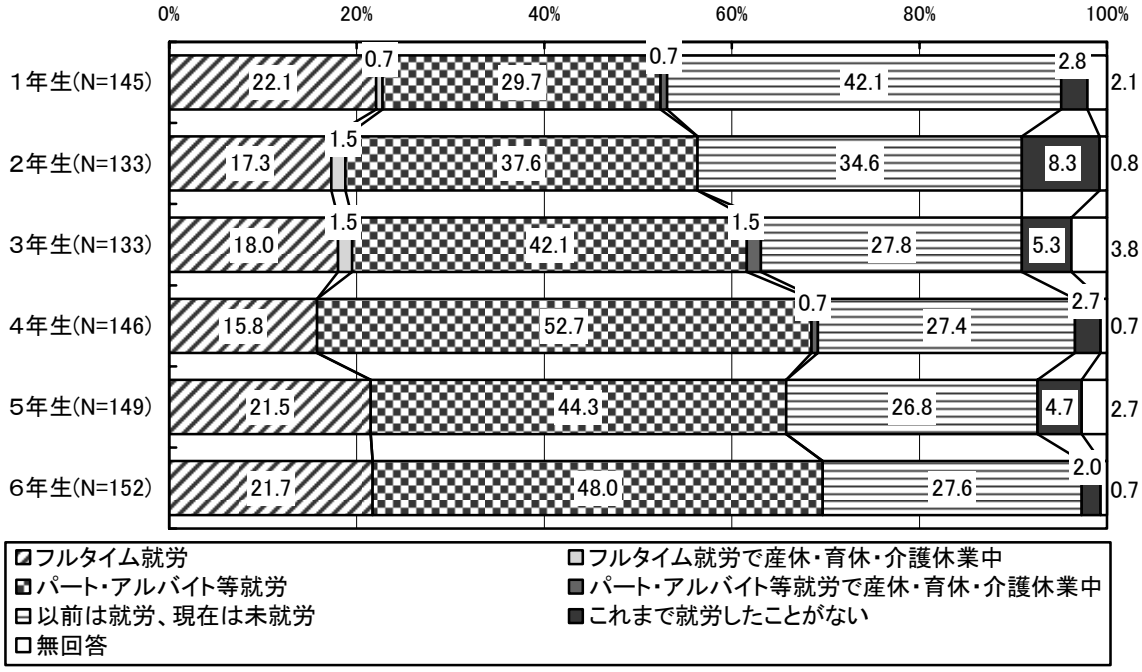


■父親の就労状況／前回調査との比較

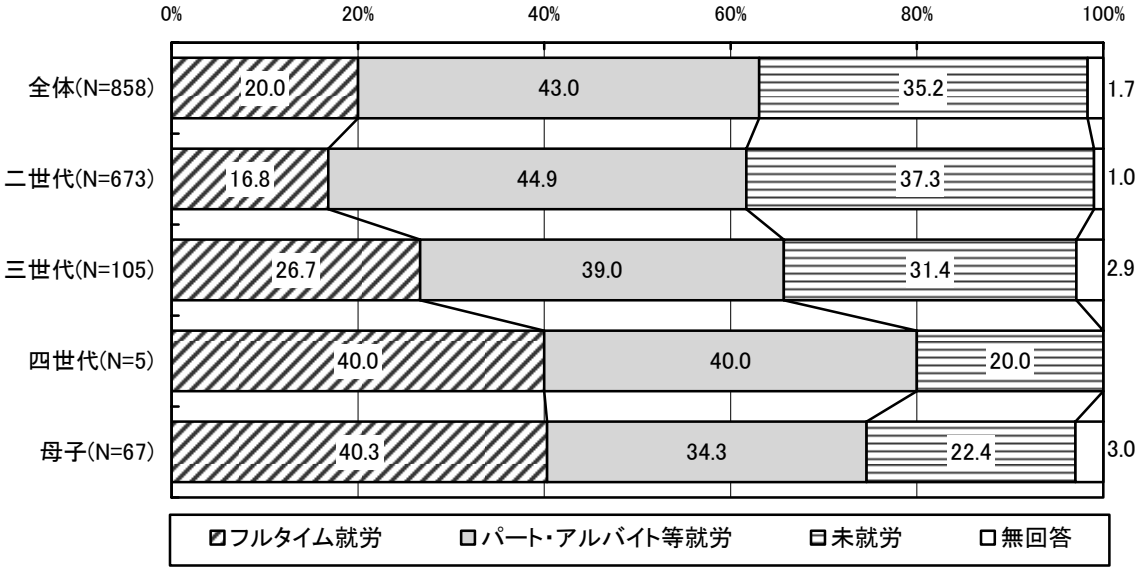


●子どもの学年別に母親の就労状況をみると、おおむね学年が上がるにしたがい就労率は高くなり、１年生の53.2%が、６年生は69.7%となっています。
●同居世帯類型別に、母親の就労状況を３区分に集約してみると、就労率は二世代に比べて三世代が若干高く、また、母子家庭では74.6%となっています。四世代は対象数が少なく一概には言えませんが、80.0%となっています。父親の就労状況では、就労率は各世帯とも大きな違いはありません。

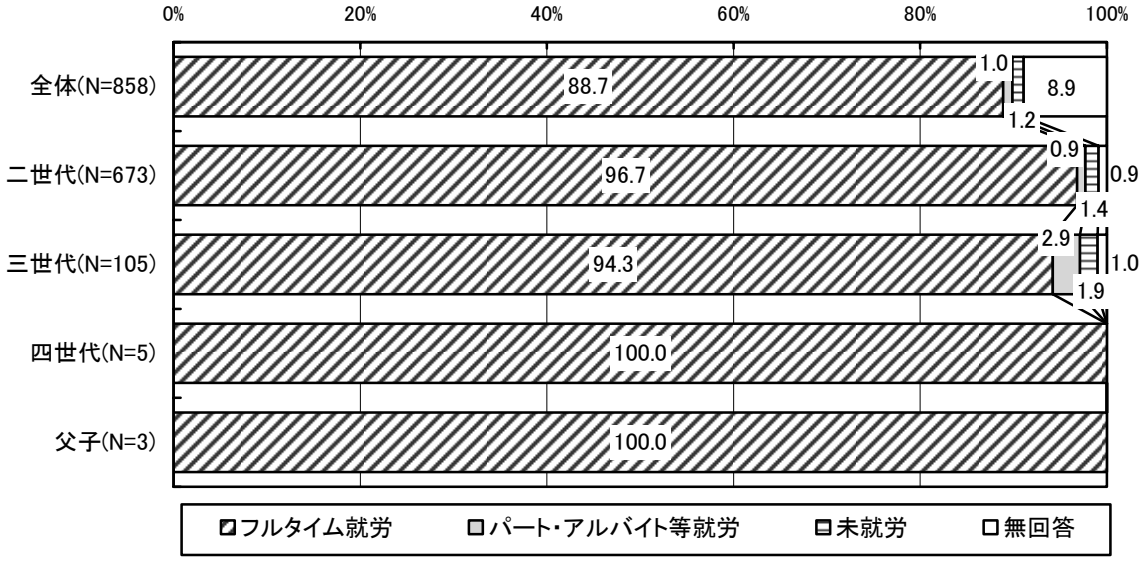
■子どもの学年別　母親の就労状況



■同居世帯類型別　母親の就労状況

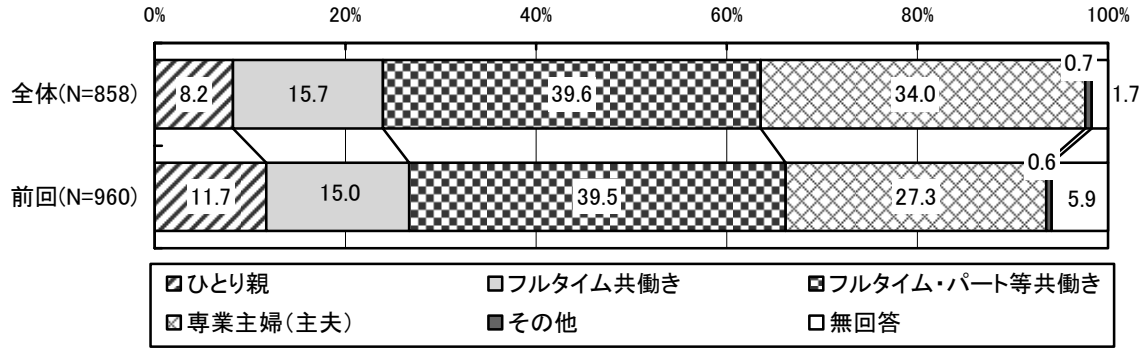


■同居世帯類型別　父親の就労状況



●母親と父親の就労状況から、それぞれの世帯を類型化すると、「フルタイム・パート等共働き」世帯が39.6%で最も高くなっています。次いで「専業主婦（主夫）」世帯が34.0%で、前回調査より6.7ポイント増加しています。「フルタイム共働き」世帯と「フルタイム・パート等共働き」世帯を合わせた【共働き】世帯は55.3%で、前回調査の54.5%と同程度となっています。また、【共働き】世帯率は、就学前の42.1%より13.2ポイント増加しています。

■母親と父親の就労状況等による世帯類型／前回調査との比較



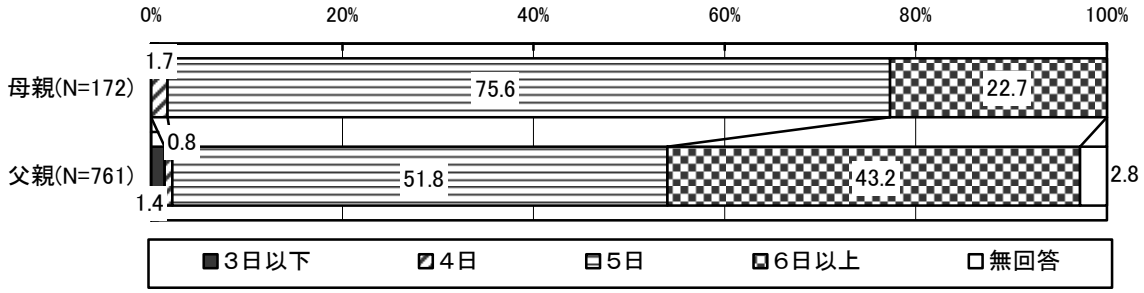
注）今回調査の「その他」の内容は、「パート・アルバイト等共働き」が0.5%、「ともに未就労」が0.2%。

②　フルタイム就労者の就労状況

問２でお母さん、お父さんのどちらか、または両方が「１～４」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。両方が「５、６」に○をつけた方は、問４へお進みください。
（１）１週当たりの就労日数や１日当たりの就労時間（残業時間を含む）を数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

●母親のフルタイム就労者の１週当たりの就労日数は、「５日」が75.6%で最も高く、「６日以上」も22.7%となっています。
●父親のフルタイム就労者の１週当たりの就労日数は、「５日」が51.8%、「６日以上」が43.2%で、母親に比べて「６日以上」が高くなっています。

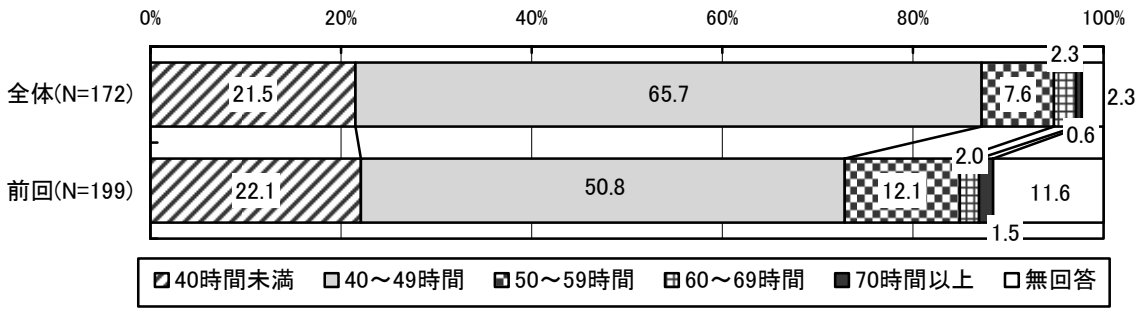
■フルタイム就労者の１週当たりの就労日数



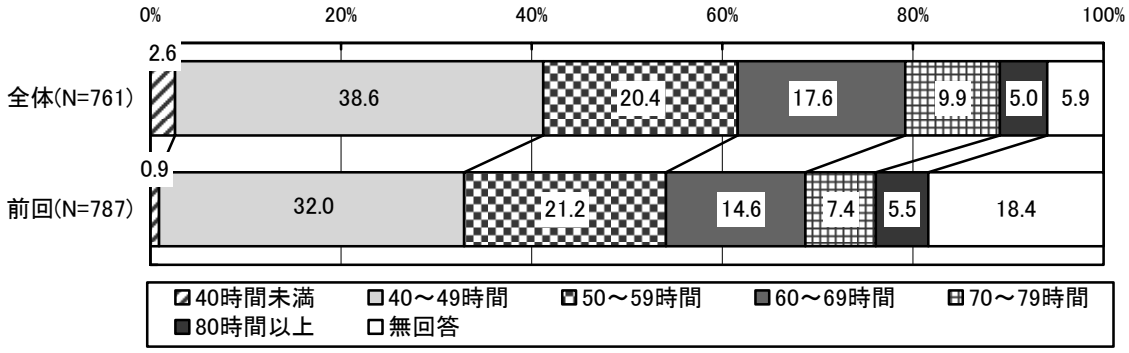
注）就労日数について、前回調査は土日の勤務に関する質問のため、比較していません。

●母親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間は、「40～49時間」が65.7%で最も高く、前回調査に比べて【50時間以上】が5.1ポイント減少しています。
●父親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間は、母親と同様に「40～49時間」が38.6%で最も高いものの、【60時間以上】の長時間勤務は32.5%となり、また、前回調査より5.0ポイント増加しています。

■母親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



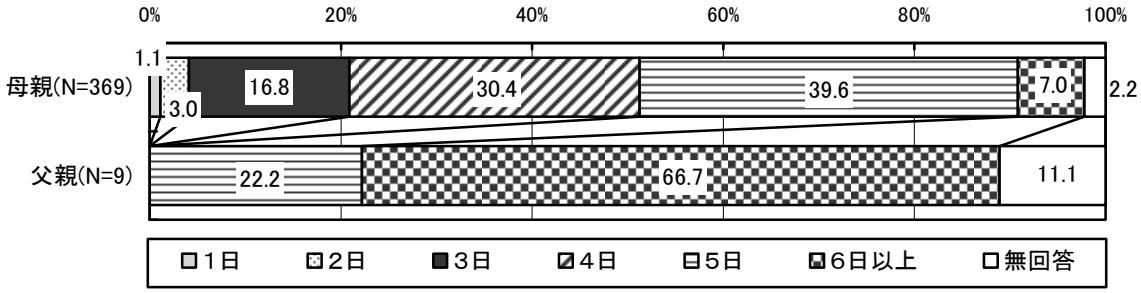
■父親のフルタイム就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



③　パート・アルバイト等就労者の就労状況

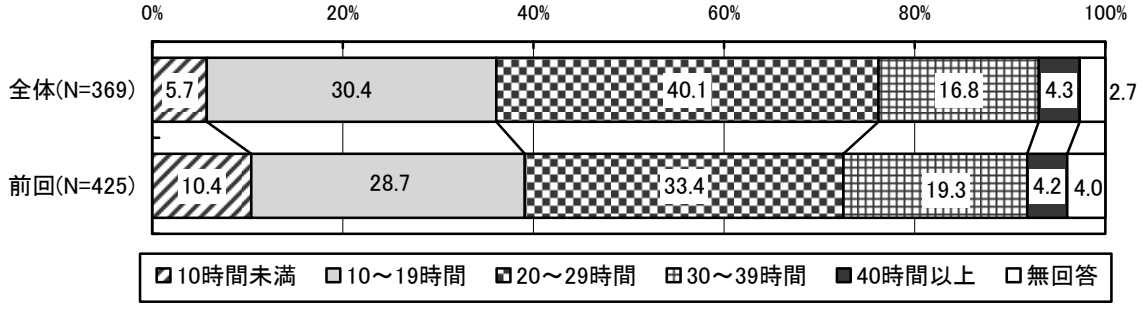
●母親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労日数は、「５日」が39.6%で最も高く、「６日以上」を合わせるとおよそ半数を占めます。一方、【３日以下】は20.9%となっています。
●父親は、「５日」が22.2%で、「６日以上」を合わせるとおよそ90%を占めます。

■パート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労日数

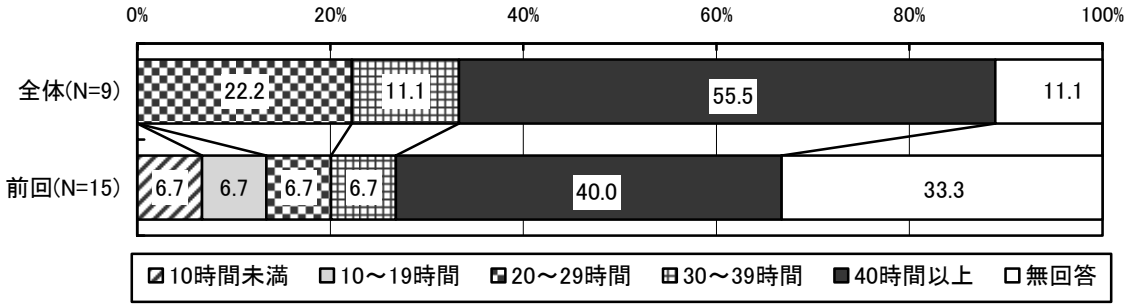


●母親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労時間は、「20～29時間」が40.1%で最も高く、前回調査に比べて増加しています。
●父親の場合、「40時間以上」が55.5%で最も高くなっています。

■母親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



■父親のパート・アルバイト等就労者の１週当たりの就労時間／前回調査との比較



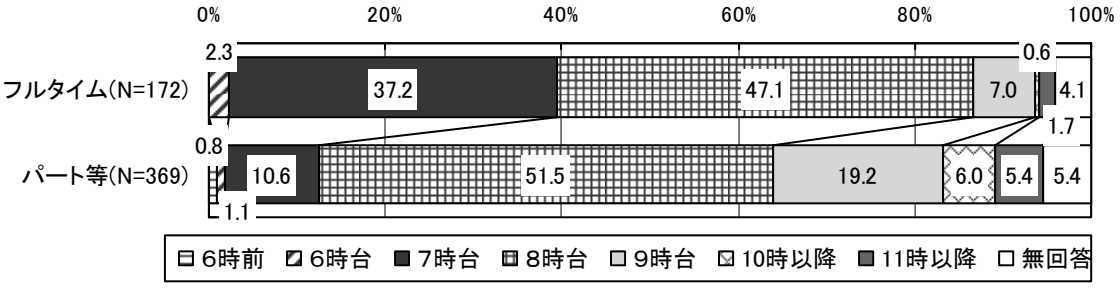
④　就労者の出発時間と帰宅時間

（２）家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間は午後の場合２０時のように、２４時間制（３０分単位）でお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

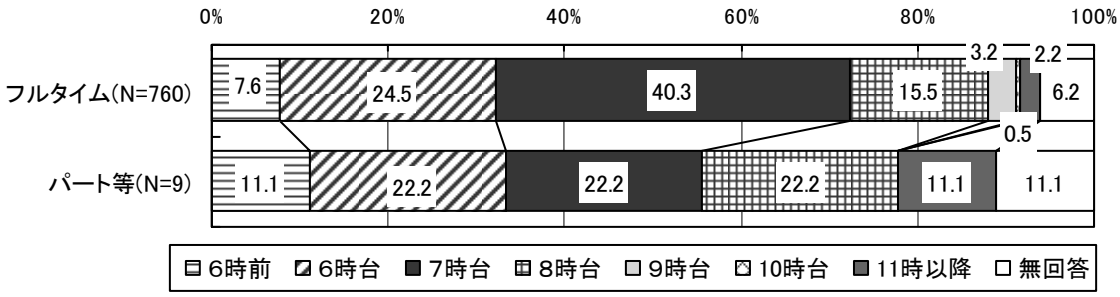
●母親のフルタイム就労者の出発時間は、「８時台」が47.1％で最も高く、「７時台」が37.2％などで、就学前に比べて「７時台」が減少していいます。パート・アルバイト等就労者の出発時間も、「８時台」が51.5％で最も高く、「９時台」が19.2％などとなっています。

●父親のフルタイム就労者の出発時間は、「７時台」が40.3％で最も高く、「６時台」が24.5％などです。パート・アルバイト等就労者の出発時間は、「６時台」「７時台」「８時台」が22.2％で同率になっています。

■母親の就労者の出発時間



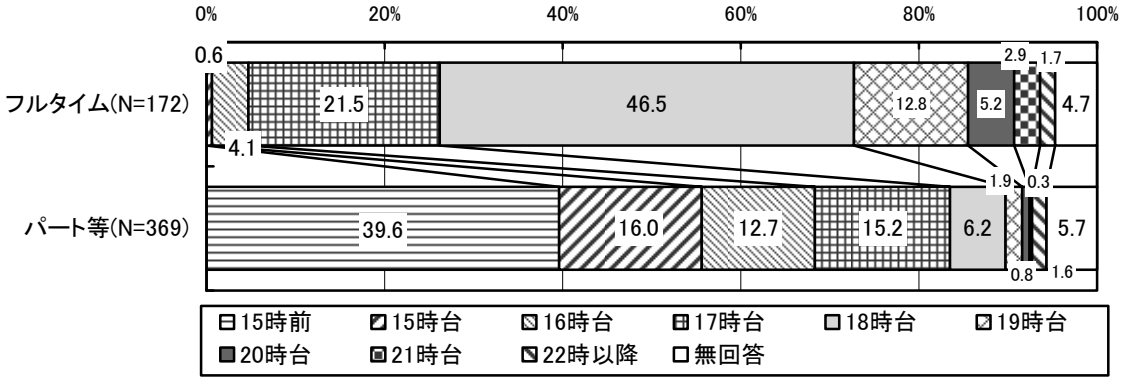
■父親の就労者の出発時間



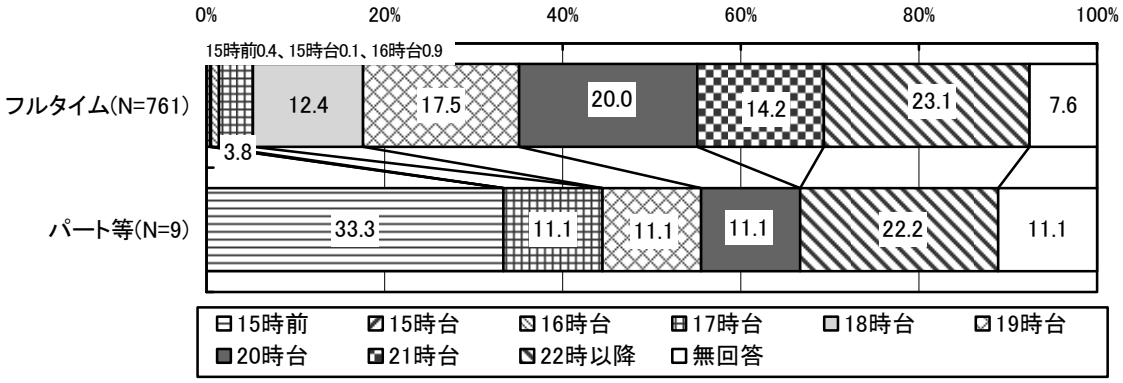
●母親のフルタイム就労者の帰宅時間は、「18時台」が46.5%で最も高く、「17時台」が21.5%、「19時台」が12.8%などで、この３時間台で80.8%を占めます。パート・アルバイト等就労者の帰宅時間は、「15時前」が39.6%で最も高いものの、他の時間帯は分散しています。

●父親のフルタイム就労者の帰宅時間は、「22時以降」が23.1%で最も高く、【19時以降】は合わせて74.8%を占めます。パート・アルバイト等就労者の帰宅時間は、「15時前」が33.3%で最も高く、「22時以降」が22.2%、これ以外はそれぞれ11.1%で分散しています。

■母親の就労者の帰宅時間



■父親の就労者の帰宅時間

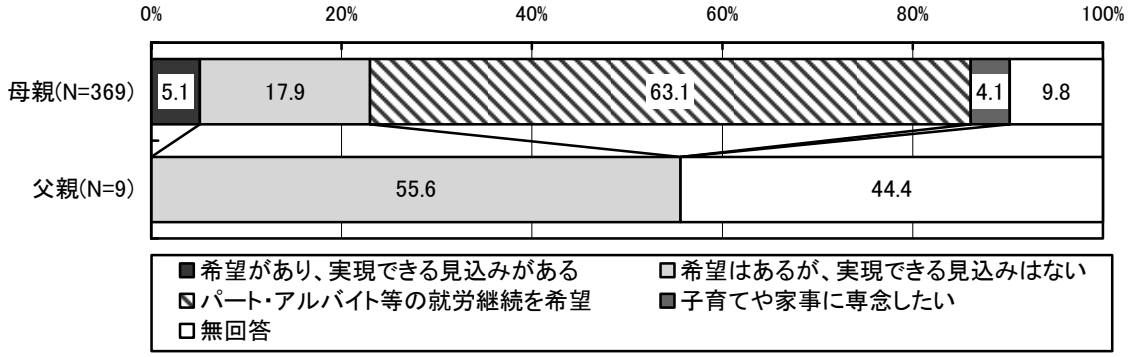


⑤　パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望

問３　問２の就労状況で、お母さん、お父さんのどちらか、または両方が「３、４」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問４へお進みください。
　フルタイムへの転換希望はありますか。（１つだけ○）

●母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が63.1%で最も高く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が17.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.1%などとなっています。
●父親は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が55.6%となっています。

■パートタイム・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望



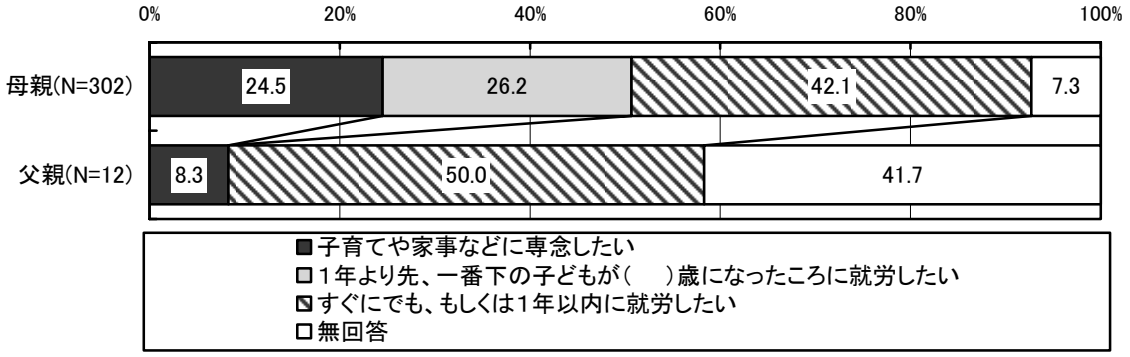
⑥　未就労者の就労意向

問４　問２の（１）お母さんの就労状況、または（２）お父さんの就労状況で、「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問５へお進みください。
　就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つだけ○をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

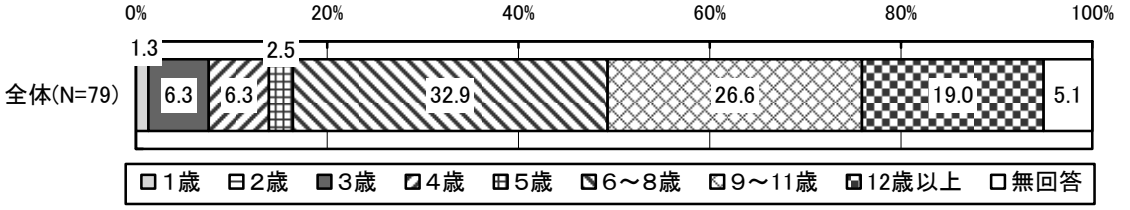
●母親の未就労者は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が42.1%、「１年より先、一番下の子が（　　）歳になったころに就労したい」が26.2%、「子育てや家事などに専念したい」が24.5%で、就労希望が合わせて68.3%になります。
●「１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい」を選択した母親の場合、一番下の子どもの年齢は、「６～８歳」が32.9%で最も高く、「9～11歳」が26.6%、「12歳以上」が19.0%、就学前は【３～５歳】が合わせて15.1%となっています。

●父親の未就労者は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が50.0%、「子育てや家事などに専念したい」が8.3%となっています。

■未就労者の就労意向

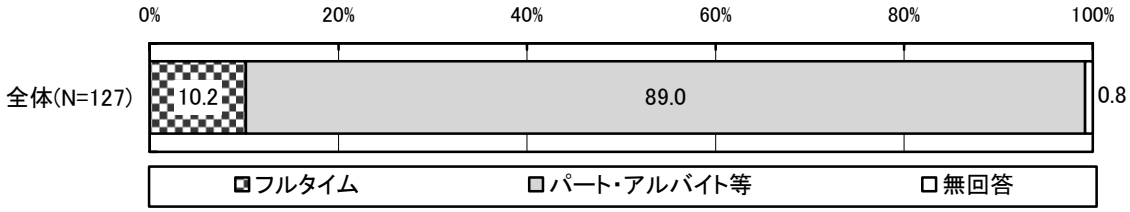


■母親で就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢

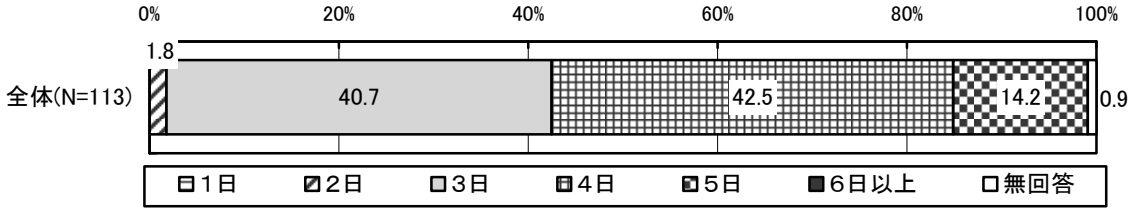


●「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した母親の希望する就労形態は、「フルタイム」が10.2%、「パート・アルバイト等」が89.0%となっています。
●「パート・アルバイト等」を希望する場合、１週当たりの就労日数は「４日」が42.5%、「３日」が40.7%、「５日」が14.2%などとなっています。
●１日当たりの時間は、「５時間台」が40.7%、「４時間台」が35.4%などで、短時間希望が多くなっています。
●「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」を選択した父親の希望する就労形態は、「フルタイム」が100.0%で、「パート・アルバイト等」は該当がありません。

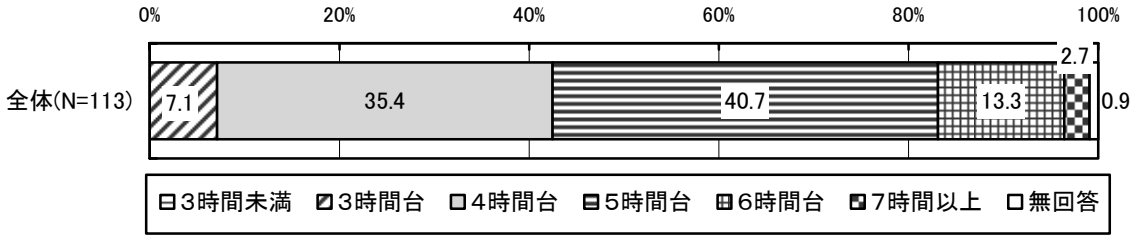
■すぐにでも就労を希望する場合の就労形態



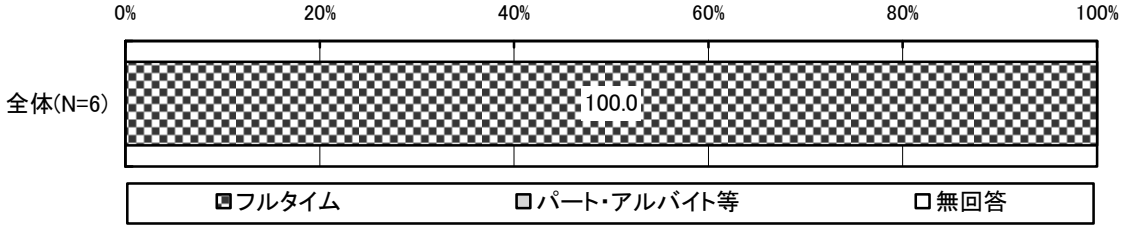
■パート・アルバイトを希望する場合の１週当たりの就労日数



■パート・アルバイトを希望する場合の１日当たりの就労時間



■父親ですぐにでも就労を希望する場合の就労形態



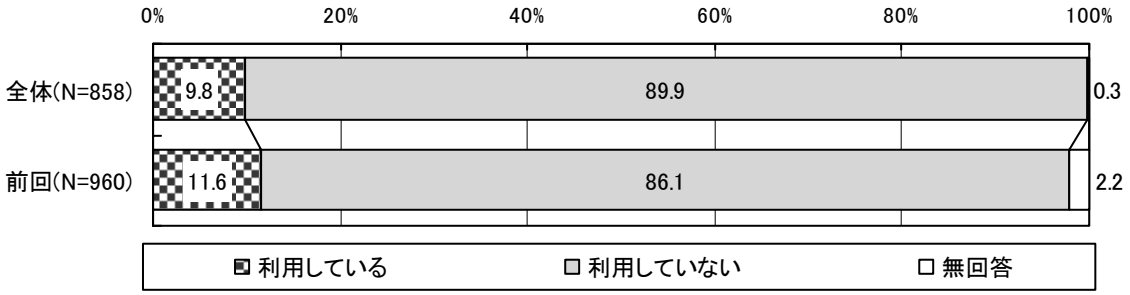
３　放課後児童クラブの利用状況と利用意向

①　放課後児童クラブの利用状況

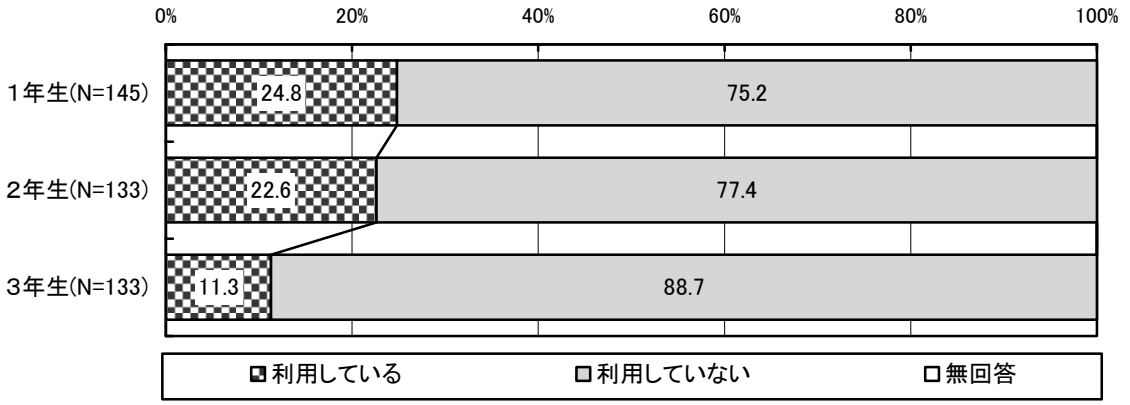
問８　あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用していますか。（どちらかに○）

●放課後児童クラブの利用率は9.8%で、前回調査と比べて1.8ポイント減少しています。
●仲よしクラブは基本的には１年生～３年生の低学年が対象で、利用は１年生が24.8%、２年生が22.6%、３年生が11.3%となっています。
●地域別の利用率は、北部が13.8%で最も高く、北西部が9.7%、中部が9.2%、南部が4.2%で最も低くなっています。

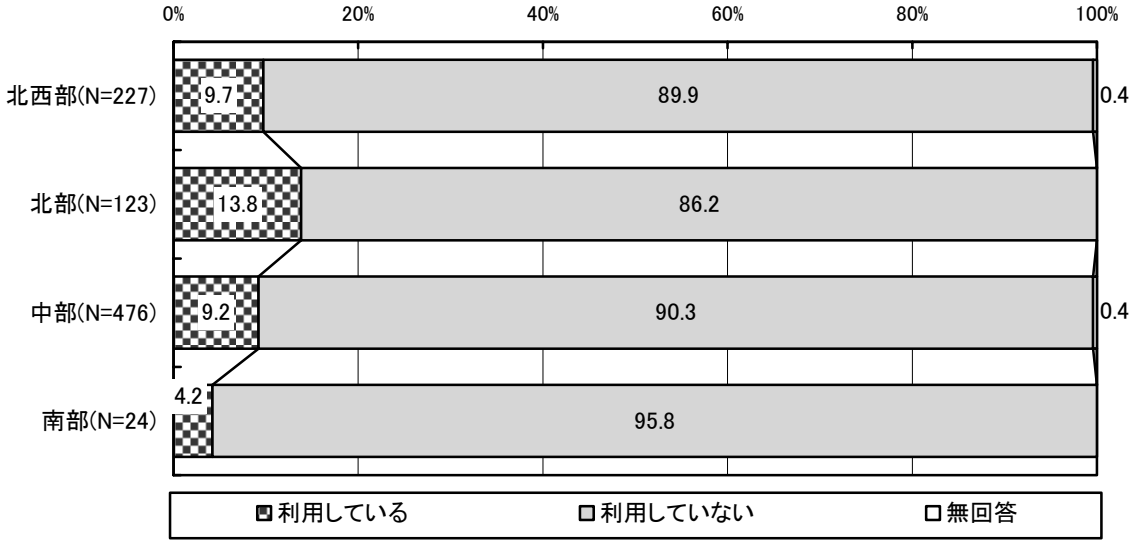
■放課後児童クラブの利用状況／前回調査との比較



■子どもの学年別　放課後児童クラブの利用状況



■地域別　放課後児童クラブの利用状況

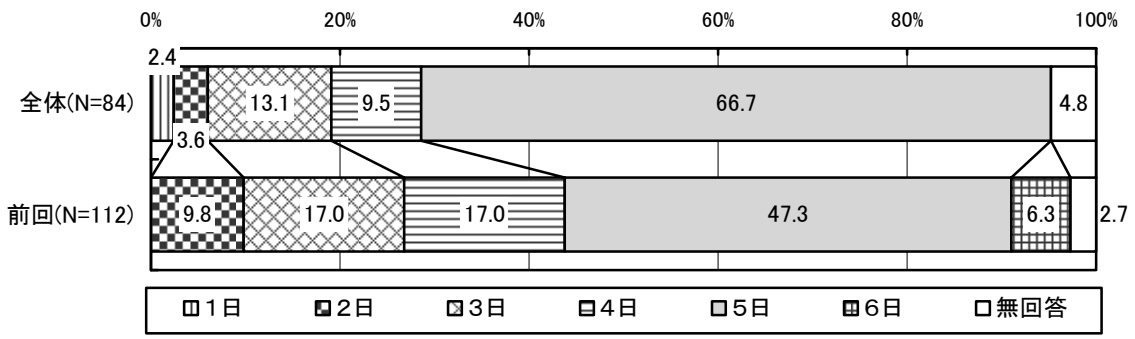


②　放課後児童クラブの平日の１週当たりの利用日数

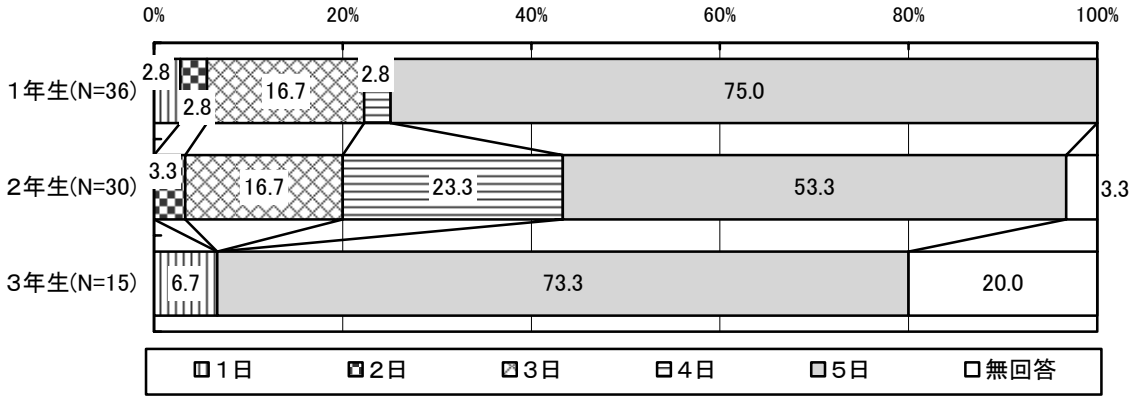
問８－１　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
平日の１週当たりの利用日数と土曜日の利用の有無について、お答えください。

- 平日の１週当たりの利用日数は、「５日」が66.7%と最も高く、前回調査の「６日」を合わせた【５日以上】より13.1ポイント増加しています。一方、週の半分の【３日以下】は19.1%で、前回調査より7.7ポイント減少しています。
- 子どもの学年別では、どの学年も「５日」が高いものの、【３日以下】が１年生で22.3%、２年生が20.0%、３年生が6.7%となっています。
- 地域別では、北西部、中部で週４日以下の利用があり、そのうち、【３日以下】が北西部は13.6%、中部は29.6%となっています。

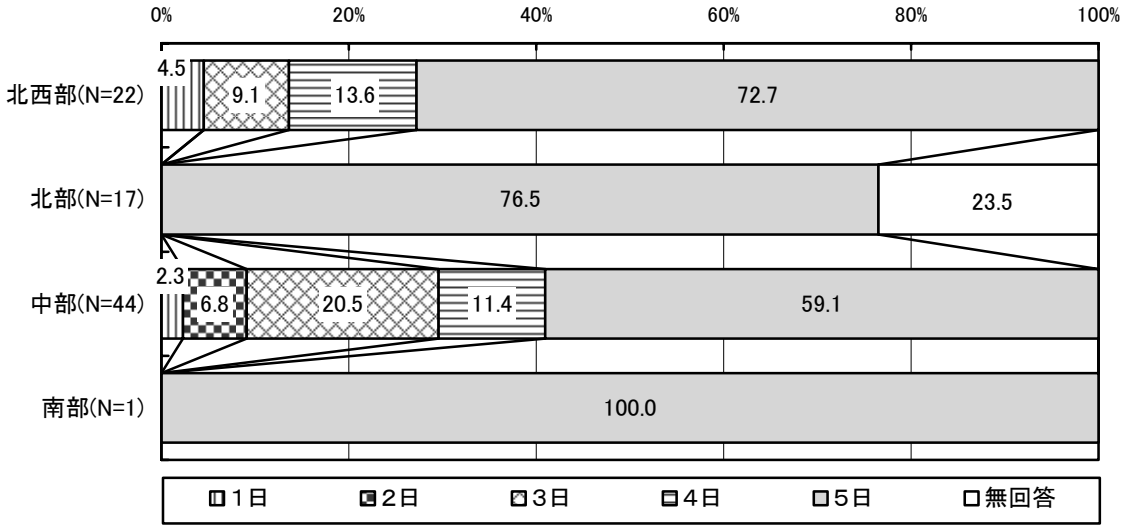
■１週当たりの利用日数／前回調査との比較



■子どもの学年別　１週当たりの利用日数



■地域別　１週当たりの利用日数

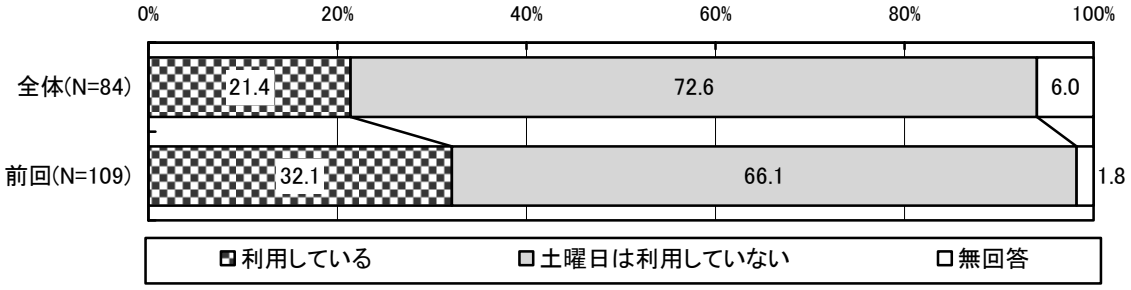


③　放課後児童クラブの土曜日の利用状況

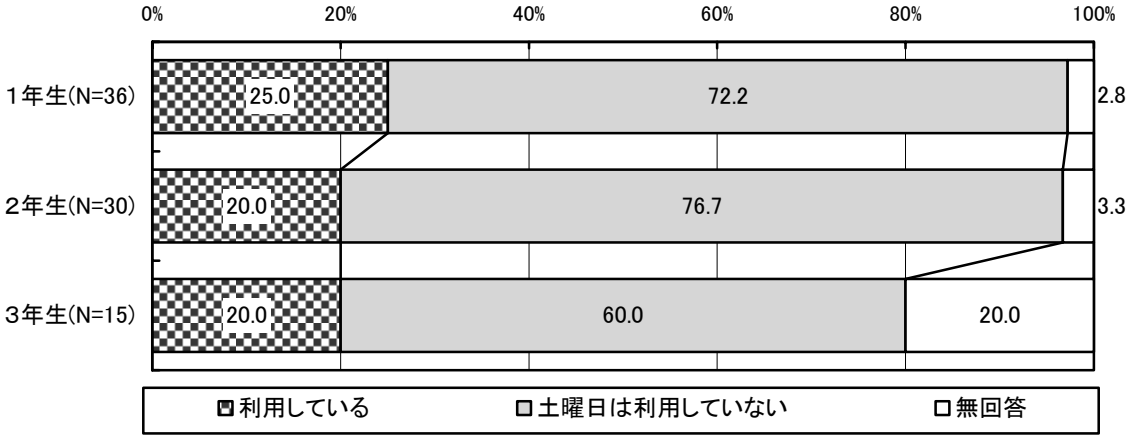
問８－１　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
平日の１週当たりの利用日数と土曜日の利用の有無について、お答えください。

●土曜日の利用率は21.4%で、前回調査と比べて10.7ポイント減少しています。
●子どもの学年別では、１年生から３年生まで利用があり、利用率は１年生が25.0%、２年生及び３年生が20.0%となっています。
●地域別では、対象が少ない南部を除くと、利用率は北西部と北部が20%を超えています。

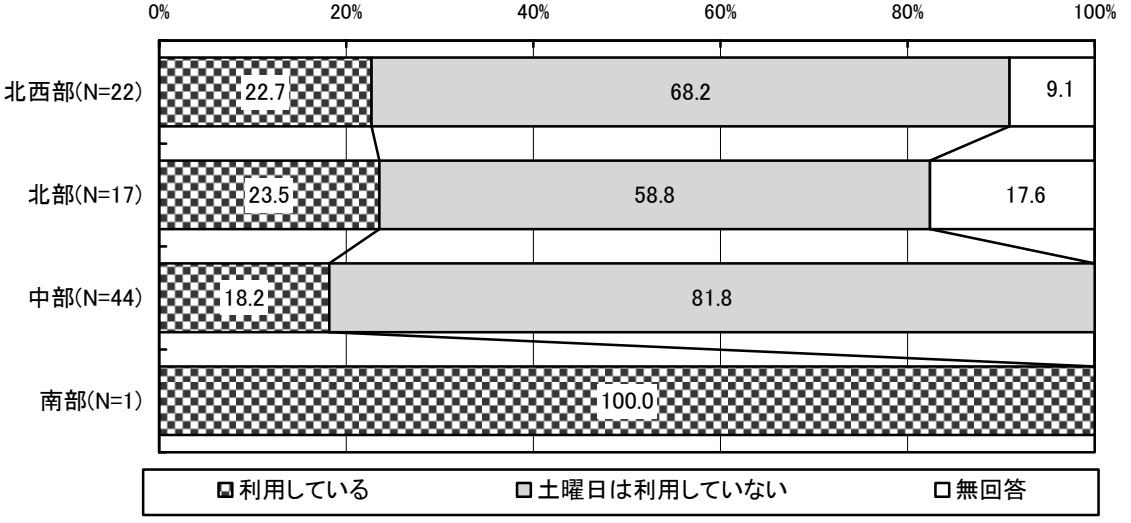
■土曜日の利用状況／前回調査との比較



■子どもの学年別　土曜日の利用状況

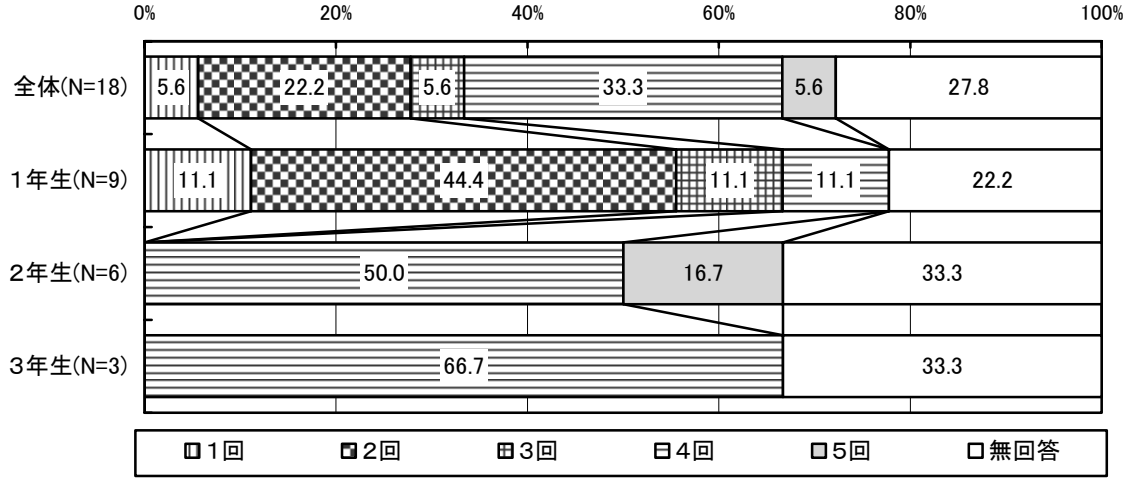


■地域別　土曜日の利用状況

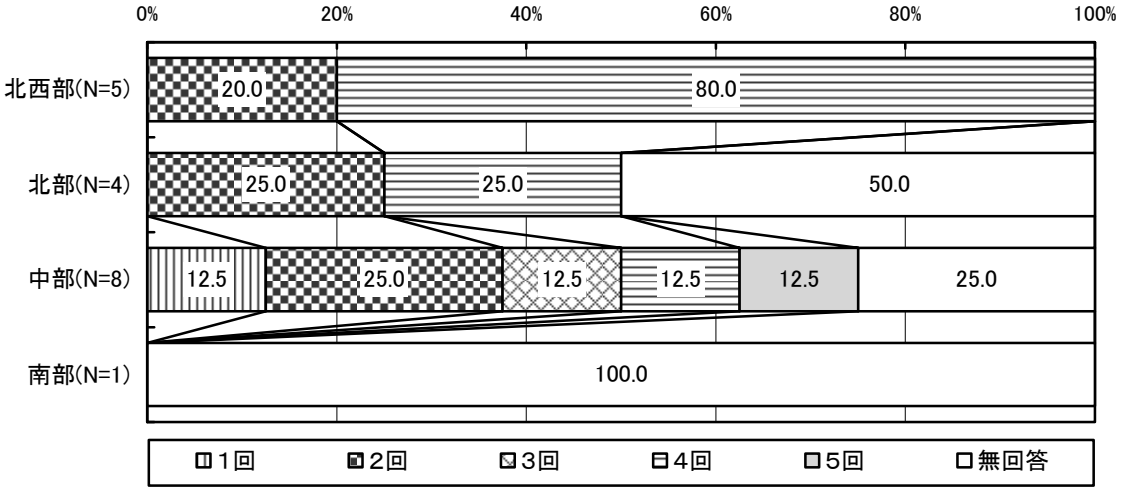


●土曜日の１か月当たりの利用回数は、「４回」が33.3%、「２回」が22.2%などとなっています。
●子どもの学年別では、２年生及び３年生は、ほぼ毎週利用していますが、１年生は「２回」が44.4%で最も高くなっています。
●地域別では、どの地域も対象が少なく、一概には言えませんが、中部で利用回数が分散しています。

■子どもの学年別　土曜日の１か月当たりの利用回数



■地域別　土曜日の１か月当たりの利用回数

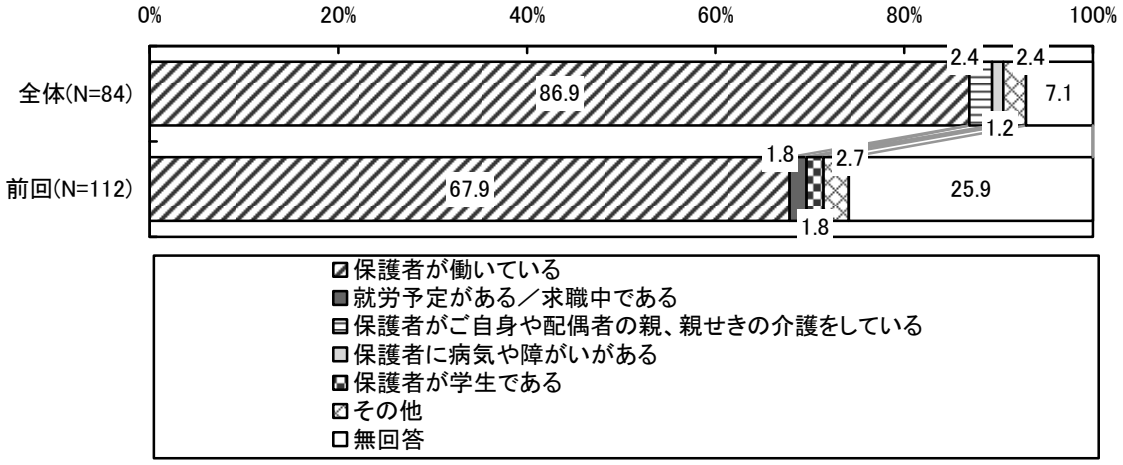


④　放課後児童クラブを利用している主な理由

問８－２　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用しているのは、主にどのような理由からですか。（１つだけ○）

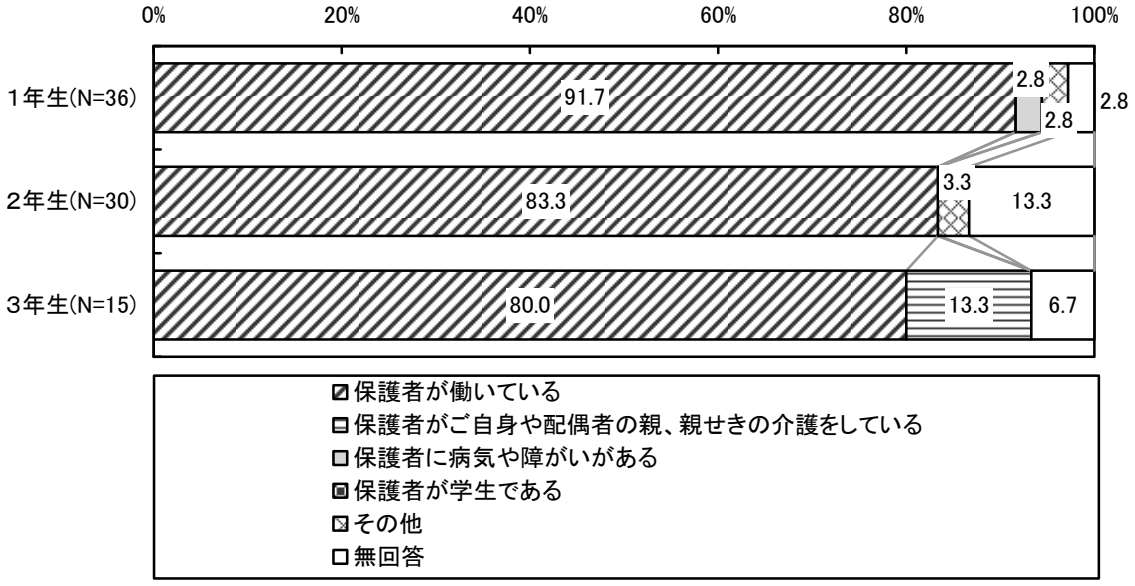
- 放課後児童クラブを利用している主な理由は、「保護者が働いている」が86.9%で最も高く、前回調査より19.0ポイント増加しています。
- 子どもの学年別では、保護者の就労以外の理由は、１年生が「保護者に病気や障がいがある」及び「その他」で、合わせて5.6%、２年生が「その他」で3.3%、３年生が「親や親せきの介護をしている」が13.3%となっています。

■放課後児童クラブの利用理由／前回調査との比較



注)「就労予定がある／求職中である」は前回調査の選択肢。

■子どもの学年別　放課後児童クラブの利用理由

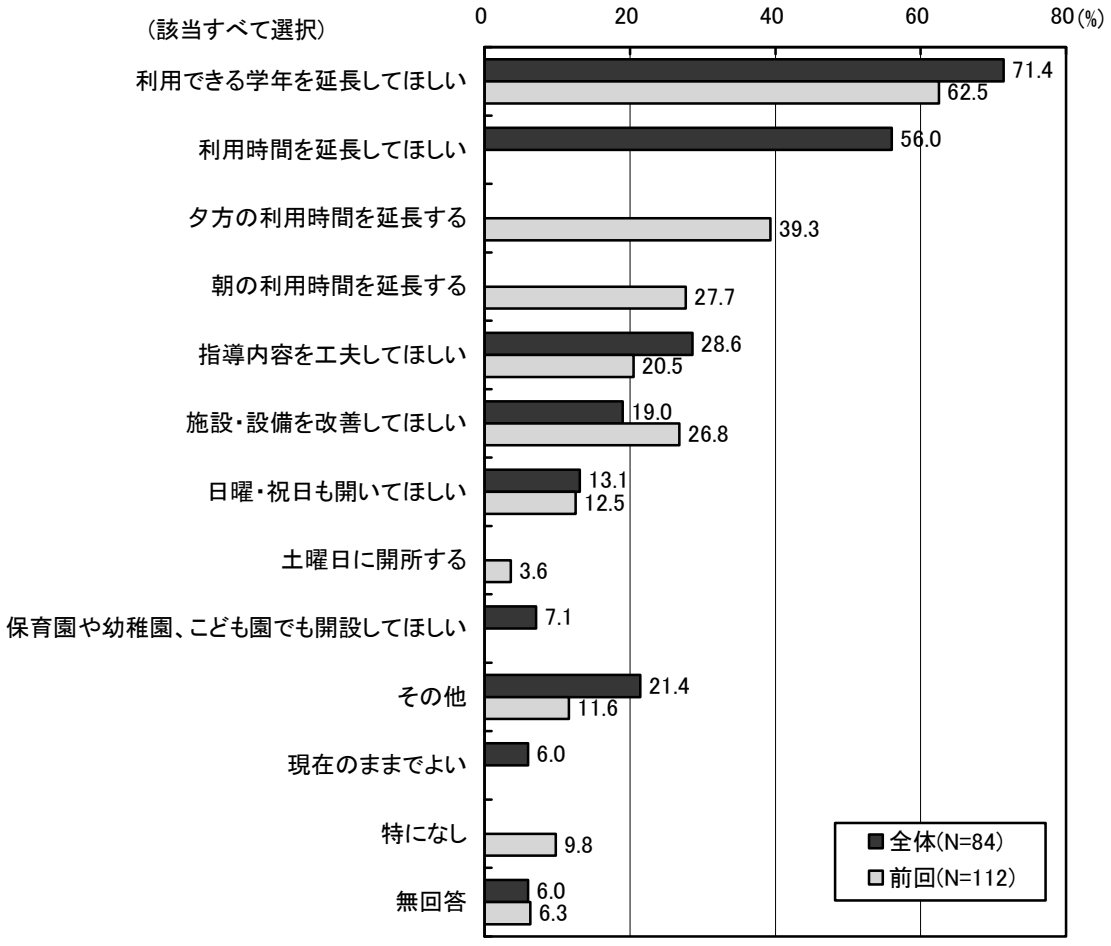


⑤　放課後児童クラブを利用した感想

問８－３　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用した感想はどうですか。
（あてはまるものすべてに○）

●放課後児童クラブを利用した感想は、「利用できる学年を延長してほしい」が71.4%で最も高く、次いで「利用時間を延長してほしい」（56.0%）、「指導内容を工夫してほしい」（28.6%）などとなっています。「利用できる学年を延長してほしい」や「指導内容を工夫してほしい」は、前回調査より増加しています。
●その他は、「長期休暇期間中や土曜日の開始時間を早くしてほしい」や「長期休暇のみの利用を認めてほしい」「長期休暇中に外で遊ぶ機会や野外活動などを取り入れてほしい」などとなっています。

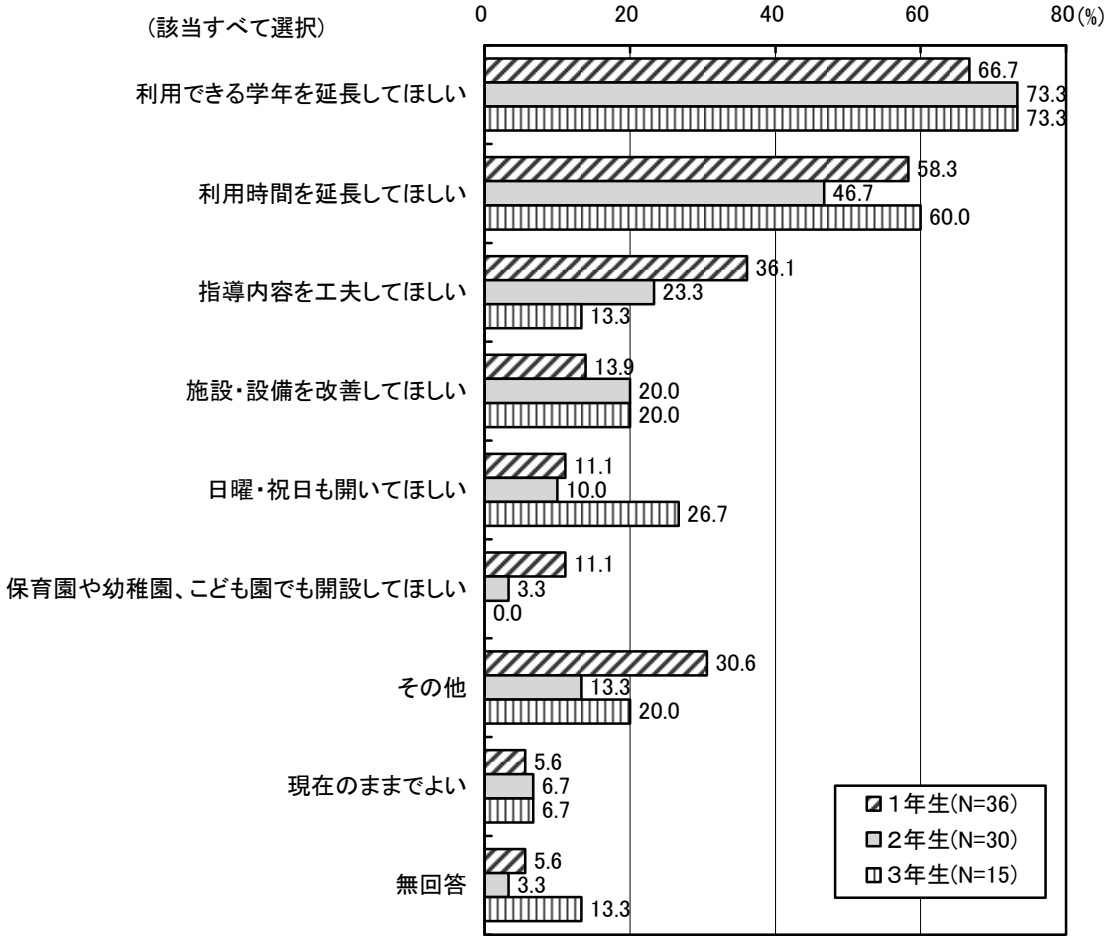
■放課後児童クラブを利用した感想／前回調査との比較



注)「夕方の利用時間を延長する」「朝の利用時間を延長する」「土曜日に開所する」「特になし」は前回調査の選択肢で、「利用時間を延長してほしい」や「保育園や幼稚園、こども園でも開設してほしい」は今回の調査の選択肢。

●子どもの学年別では、どの学年も「利用できる学年を延長してほしい」が第１位で、次いで「利用時間を延長してほしい」と続きます。また、「指導内容を工夫してほしい」は１年生が、「日曜・祝日も開いてほしい」は３年生が高くなっています。

■子どもの学年別　放課後児童クラブを利用した感想

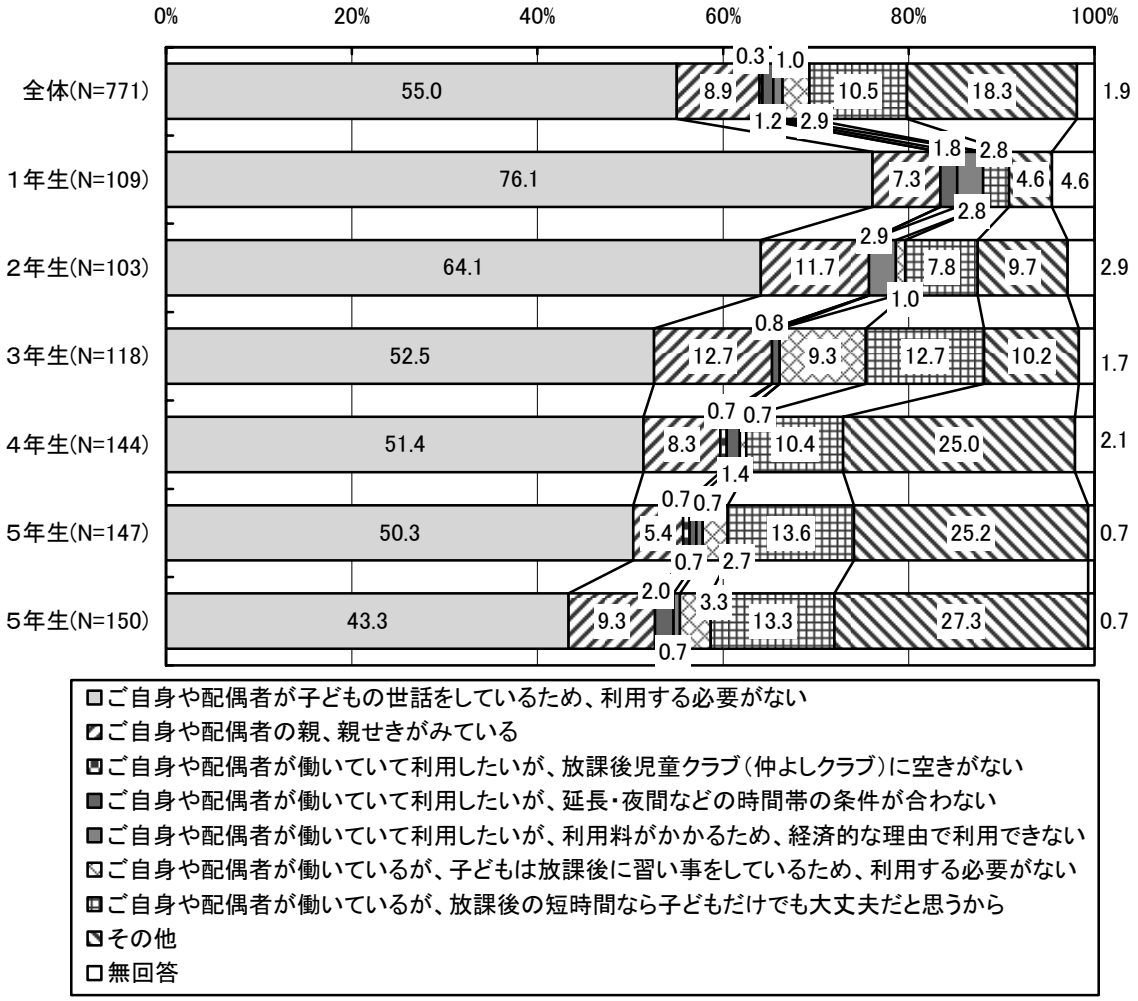


⑥　放課後児童クラブを利用していない主な理由

問８－４　問８で「２.利用していない」に○をつけた方におうかがいします。
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用していないのは、主にどのような理由からですか。（１つだけ○）

●放課後児童クラブを利用をしていない主な理由は、「ご自身や配偶者が子どもの世話をしているため、利用する必要がない」が55.0%で半数以上となっています。また、働いていながら何らかの理由で預けていない人は合わせて15.9%となっています。
●その他は、「高学年のため利用したくても利用できない」「本人が嫌がるので」「働いているが子どもの帰宅時間には家にいるため」などが多くなっています。
●子どもの学年別では、働いていながら何らかの理由で預けていない人は、３年生が22.8%で最も高く、６年生が19.3%、５年生が18.4%、４年生が13.2%、２年生が11.7%、１年生が7.4%で最も低くなっています。４年生以上は「その他」が20%を超えています。

■放課後児童クラブを利用していない主な理由



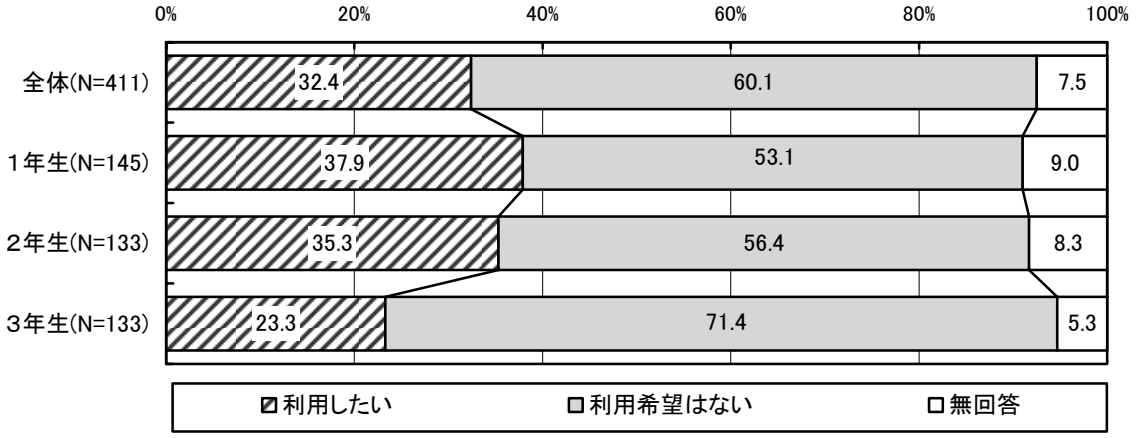
注)「近所の人や保護者の友人・知人がみている」は該当がないため、省略しています。

⑦　今後の放課後児童クラブの利用意向

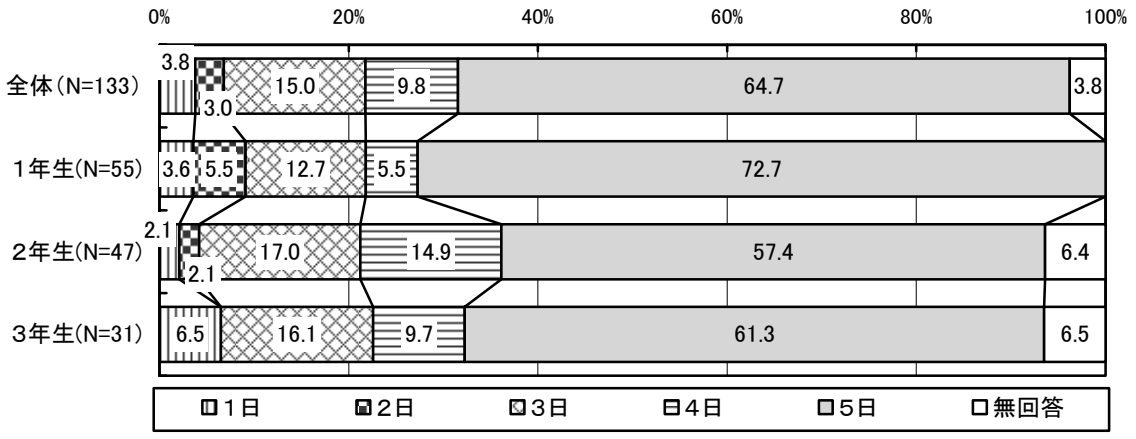
問９　すべての方におうかがいします。
　お子さんに、今後、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用させたいとお考えですか。低学年の期間、高学年の期間に分けて、平日、土曜日、日曜・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇それぞれについて、利用意向と利用したい日数、回数、時間帯をそれぞれ数字でご記入ください。時間帯は必ず（例）１０時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

- 今後の放課後児童クラブの利用意向は、全体では、低学年時の平日に「利用したい」が32.4%となっています。
- 子どもの学年別では、「利用したい」率は、１年生が37.9%、２年生が35.3%、３年生が23.3%となっています。
- １週当たりの平日の利用希望日数は、全体では、「５日」が64.7%で最も高くなっていますが、【３日以内】が21.8%となっています。
- 子どもの学年別では、「５日」の希望は１年生が72.7%で最も高くなっています。

■子どもの学年別　低学年時の平日の利用意向

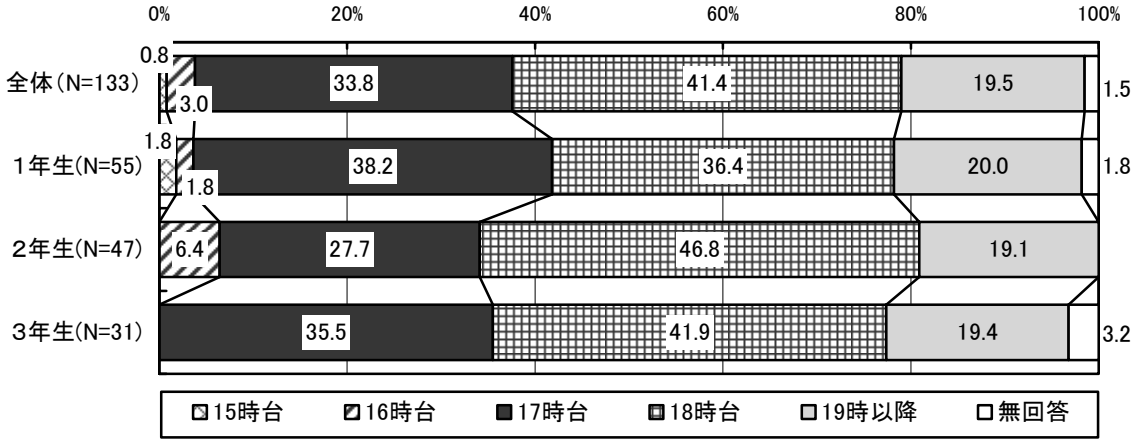


■子どもの学年別　１週当たりの平日の利用希望日数



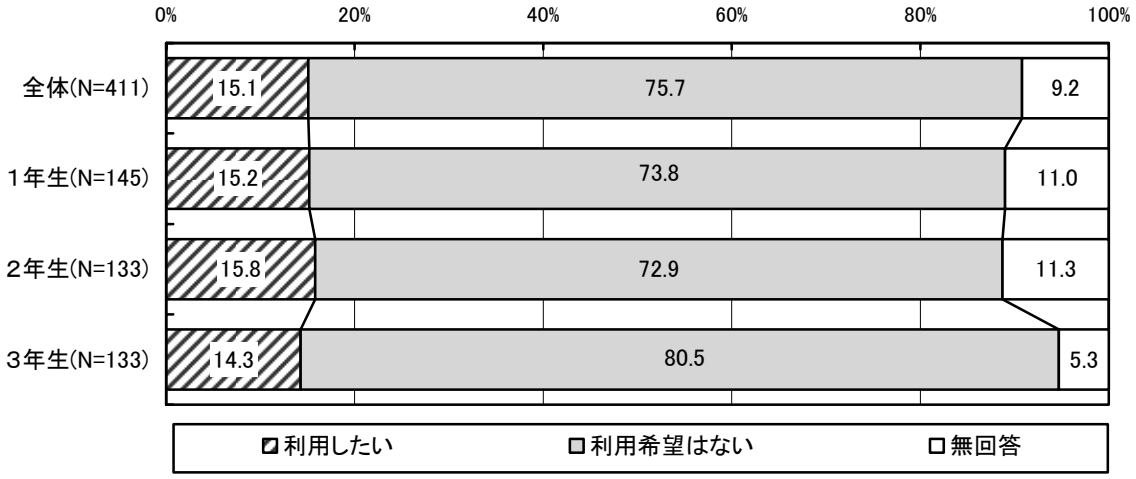
●低学年時の平日の希望終了時間は、全体では、「18時台」が41.4%で最も高く、次いで「17時台」（33.8%）、「19時以降」（19.5%）などとなっています。
●子どもの学年別では、「19時以降」は１年生が20.0%、２年生が19.1%、３年生が19.4%となっています。

■子どもの学年別　低学年時の平日の希望終了時間

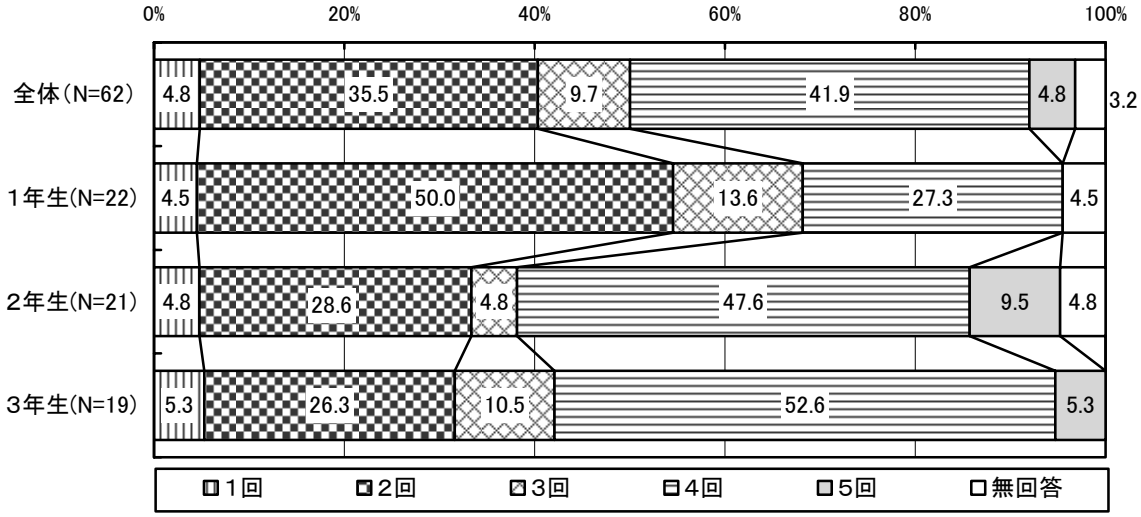


●全体では、低学年時の土曜日に「利用したい」が15.1%となっています。
●子どもの学年別では、「利用したい」率は、１年生が15.2%、２年生が15.8%、３年生が14.3%となっています。
●１か月当たりの利用希望回数は、全体では、「４回」及び「５回」を合わせた【毎週】が46.7%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、【毎週】の希望は１年生が27.3%で最も低く、２年生が57.1%、３年生が57.9%となっています。

■子どもの学年別　低学年時の土曜日の利用意向

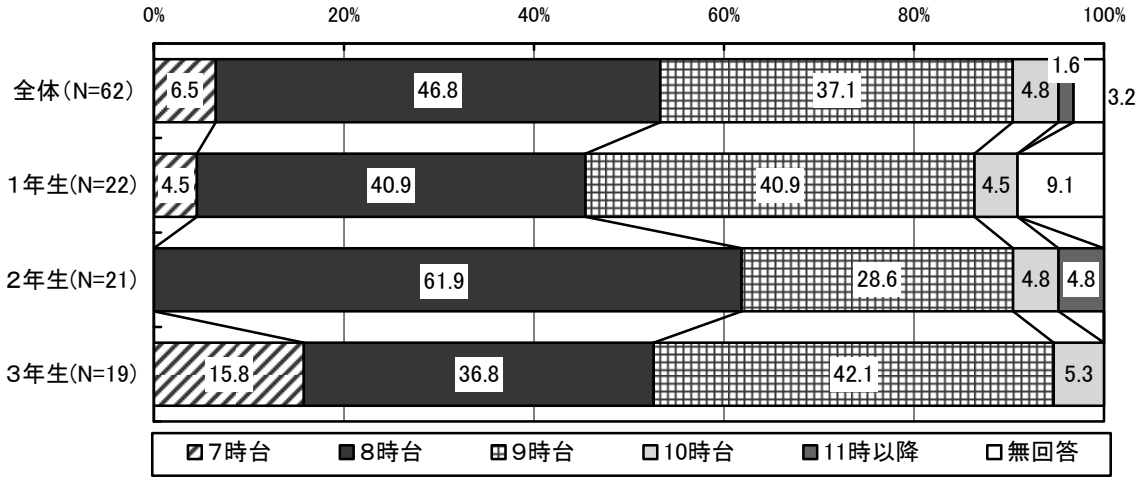


■子どもの学年別　土曜日の１か月当たりの利用希望回数

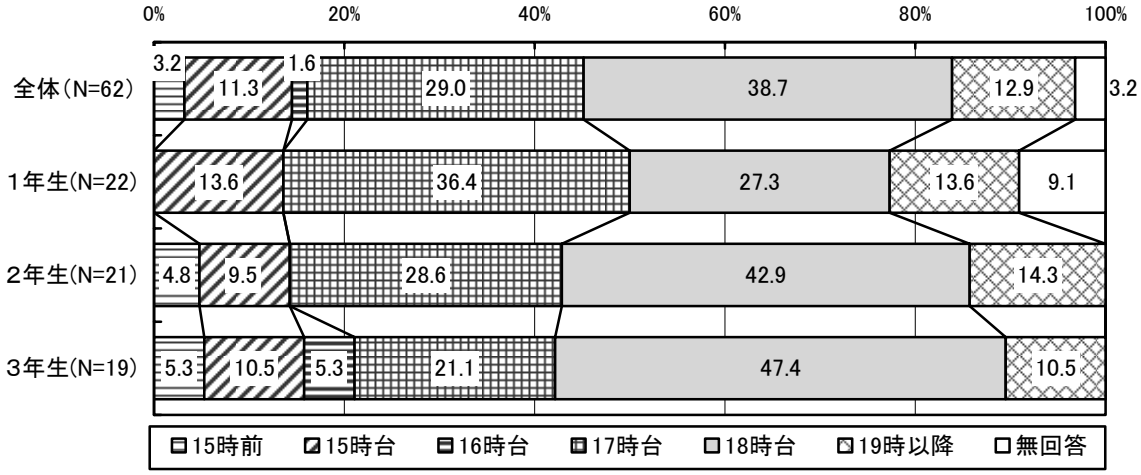


- 土曜日の希望開始時間は、全体では「８時台」が46.8%で最も高く、「９時台」が37.1%となっています。
- 子どもの学年別では、１年生は「８時台」と「９時台」が40.9%で同率となっています。２年生は「８時台」が61.9%と高く、３年生は「９時台」が42.1%で最も高いものの、「７時台」が15.8%で、他の学年より高くなっています。
- 土曜日の希望終了時間は、全体では「18時台」が38.7%で最も高く、「17時台」が29.0%などとなっています。また、「19時以降」が12.9%となっています。
- 子どもの学年別では、１年生は「17時台」が、２年生及び３年生は「18時台」が最も高くなっています。また、「19時以降」が１年生は13.6%、２年生は14.3%、３年生は10.5%となっています。

■子どもの学年別　土曜日の希望開始時間

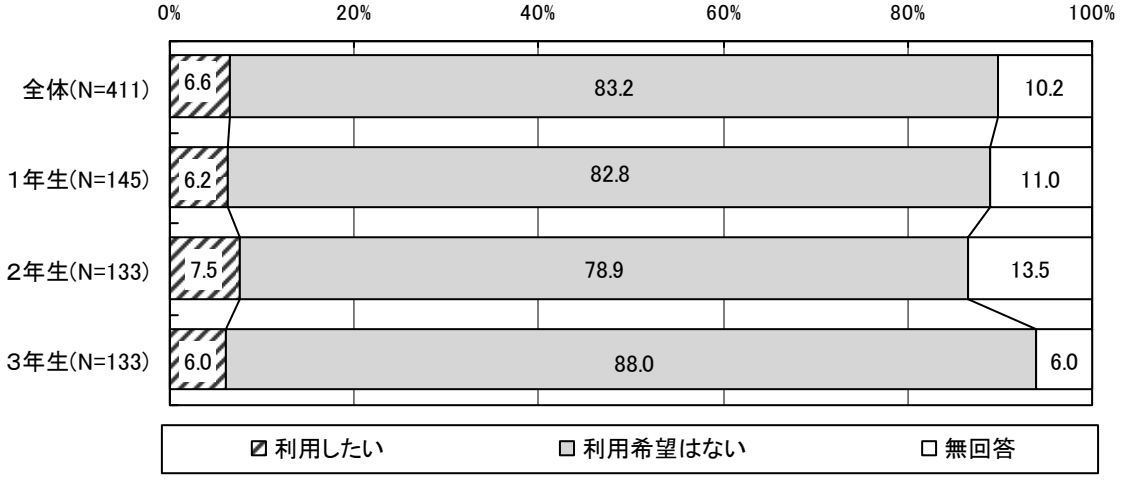


■子どもの学年別　土曜日の希望終了時間

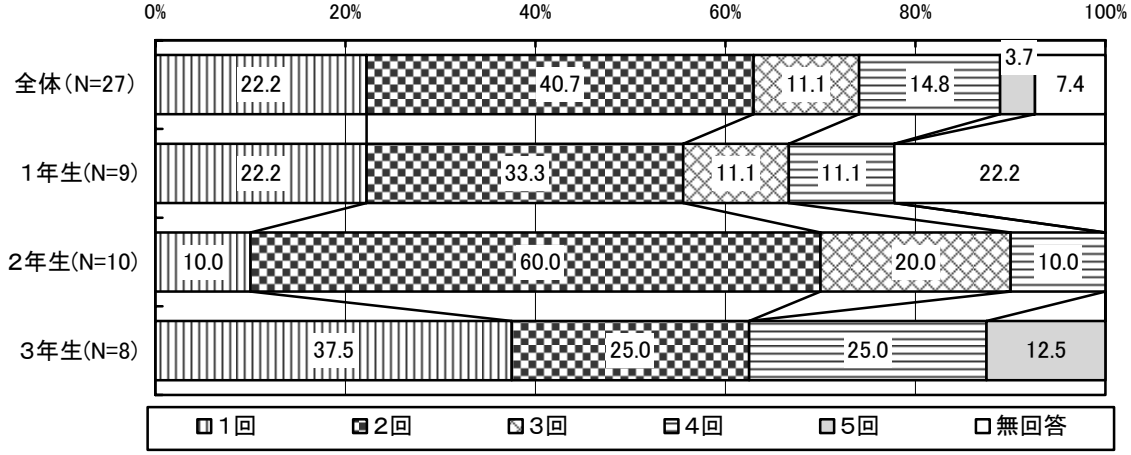


●低学年時の日曜・祝日に「利用したい」は、全体では6.6%となっています。
●子どもの学年別では、１年生が6.2%、２年生が7.5%、３年生が6.0%となっています。
●１か月当たりの利用希望回数は、全体では、「２回」が40.7%で最も高くなっています。また、「４回」及び「５回」の【毎週】は、18.5%となっています。
●子どもの学年別では、１年生及び２年生は「２回」が高く、３年生は「１回」が高くなっています。
●日曜・祝日の希望開始時間は、全体では「８時台」が51.9%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、１年生及び２年生は「８時台」が高く、３年生は「７時台」から「９時台」がそれぞれ25.0%で分散しています。
●希望終了時間は、全体では、「18時台」が37.0%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、１年生は「17時台」、２年生及び３年生は「18時台」が最も高くなっています。

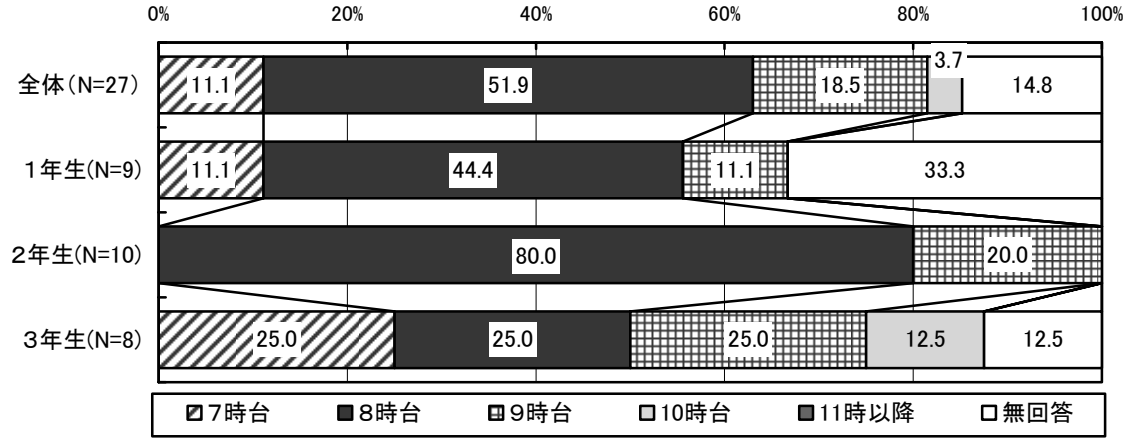
■子どもの学年別　低学年時の日曜・祝日の利用意向



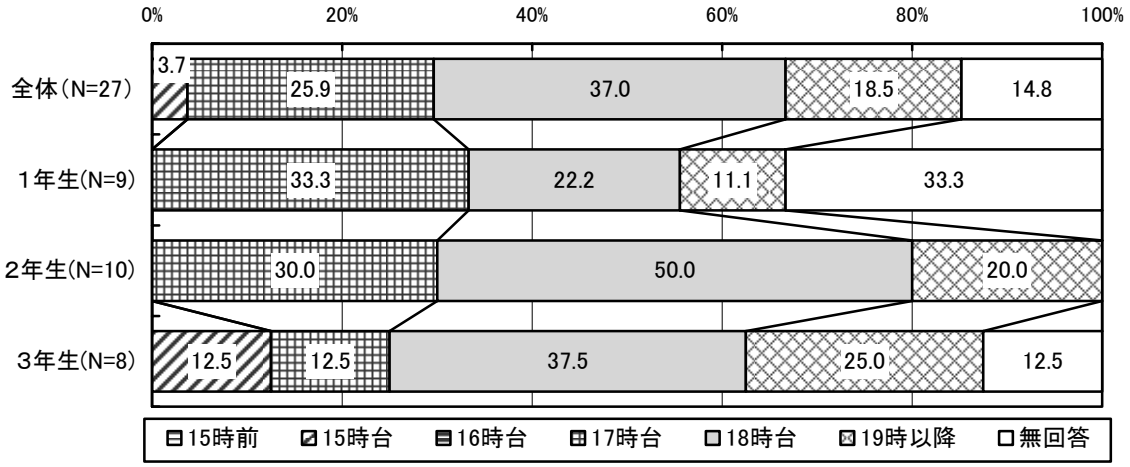
■子どもの学年別　低学年時の日曜・祝日の１か月当たりの希望回数



■子どもの学年別　低学年時の日曜・祝日の希望開始時間

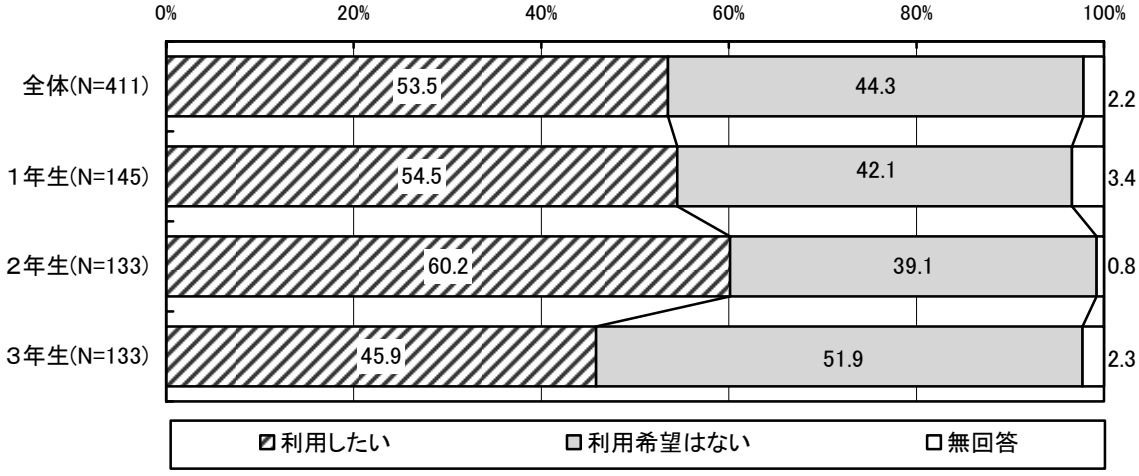


■子どもの学年別　低学年時の日曜・祝日の希望終了時間

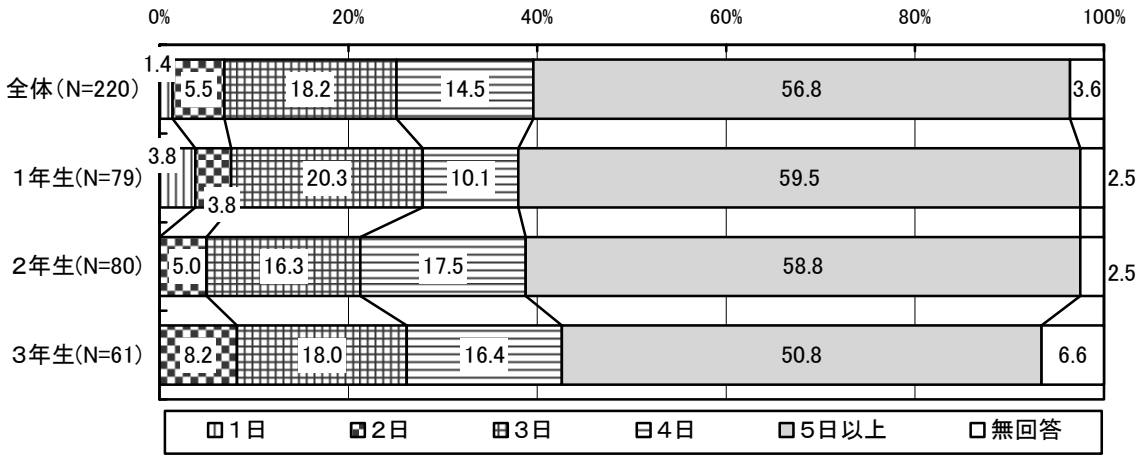


●低学年時の夏休みや冬休みなど長期休暇に「利用したい」は、全体では53.5%で、平日の32.4%より高くなっています。
●子どもの学年別では、１年生が54.5%、２年生が60.2%、３年生が45.9%となっています。
●１週当たりの利用希望日数は、全体では、「５日以上」が56.8%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、どの学年も「５日以上」が最も高くなっています。
●長期休暇の希望開始時間は、全体では「８時台」が48.6%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、１年生及び２年生は「８時台」が最も高く、３年生は「９時台」が最も高くなっています。
●希望終了時間は、全体では、「17時台」が31.8%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、１年生は及び２年生は「17時台」、３年生は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。

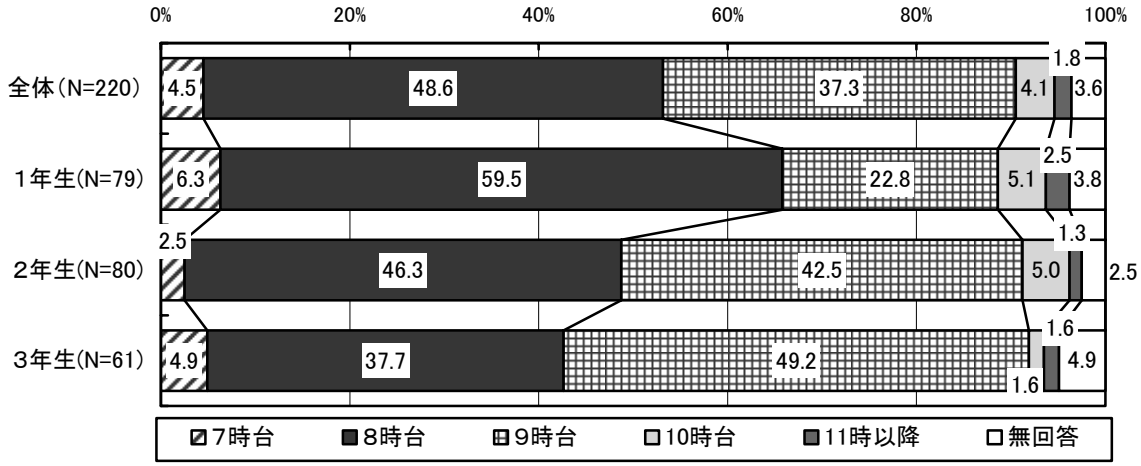
■子どもの学年別　低学年時の夏休みや冬休みなど長期休暇の利用意向等



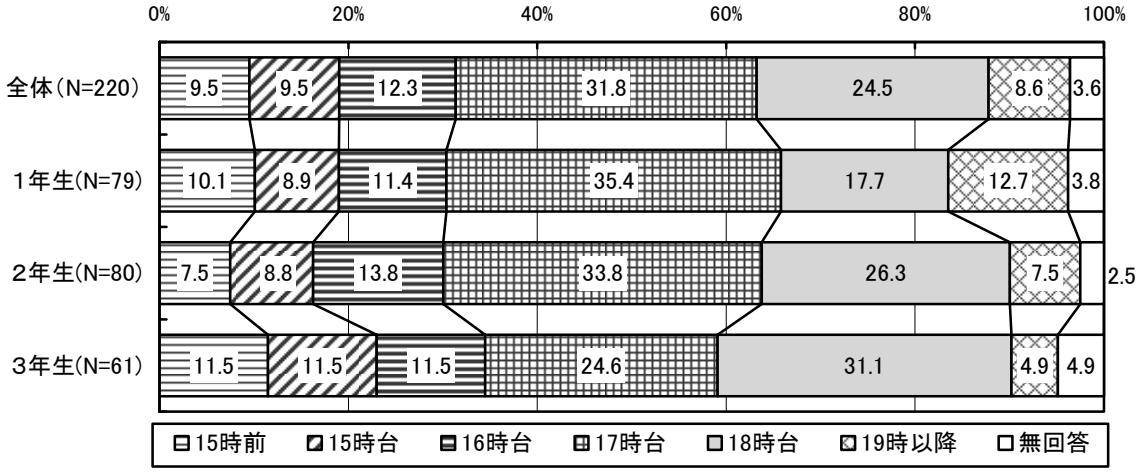
■子どもの学年別　長期休暇の１週当たりの利用希望日数



■子どもの学年別　低学年時の長期休暇の希望開始時間

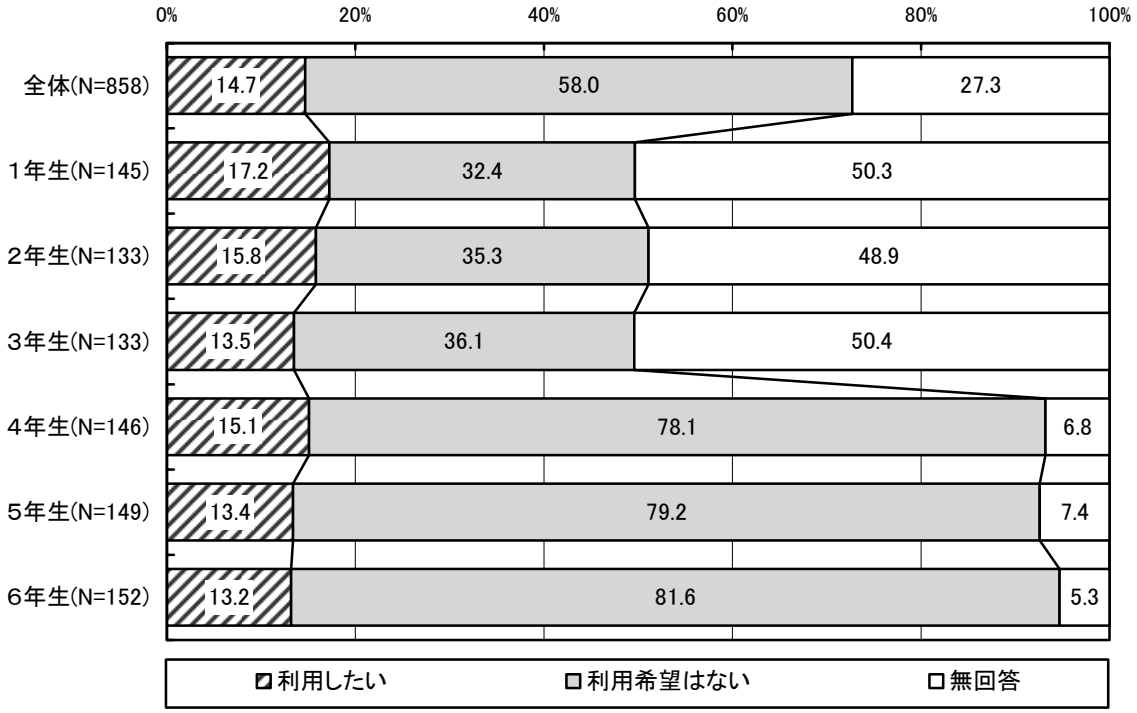


■子どもの学年別　低学年時の長期休暇の希望終了時間

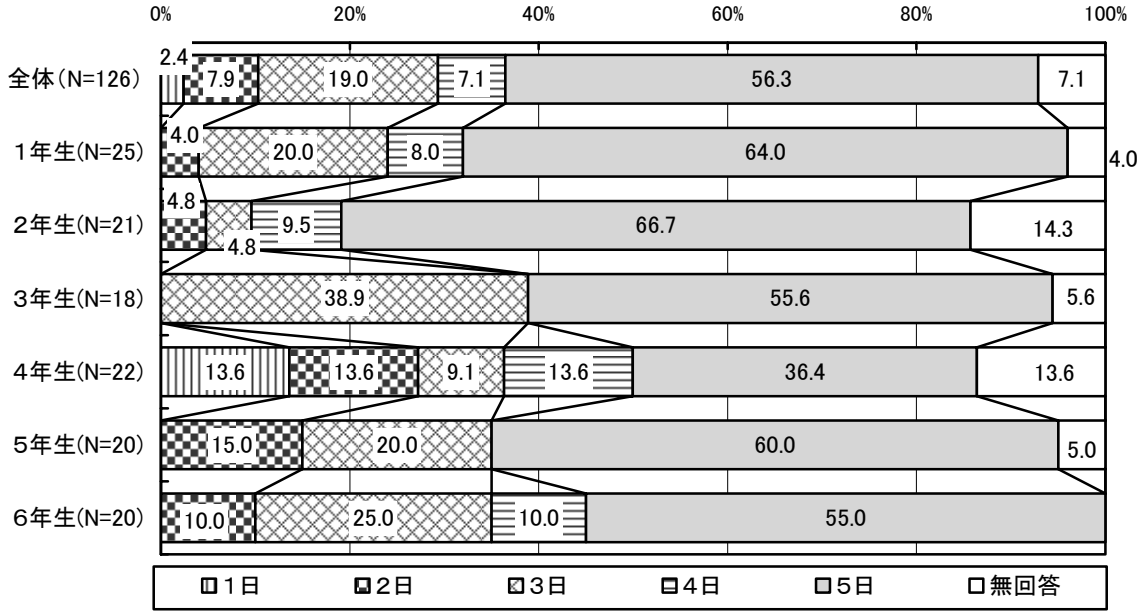


●今後の放課後児童クラブの利用意向で、全体では、高学年時の平日に「利用したい」が14.7%で、低学年時の半分以下となっています。
●子どもの学年別では、「利用したい」率は、１年生が17.2%で最も高く、６年生が13.2%で最も低くなっています。
●１週当たりの平日の利用希望日数は、全体では、「５日」が56.3%で最も高くなっていますが、【３日以内】が29.3%となっています。
●子どもの学年別では、「５日」の希望は２年生が66.7%で最も高く、４年生が36.4%で最も低くなっています。
●平日の希望終了時間は、全体では「18時台」が42.1%で最も高くなっています。「19時以降」が22.2%となっています。
●子どもの学年別では、１年生は「17時台」が最も高く、２年生から５年生は「18時台」が最も高く、６年生は「18時台」と「19時以降」が35.0%で同率となっています。

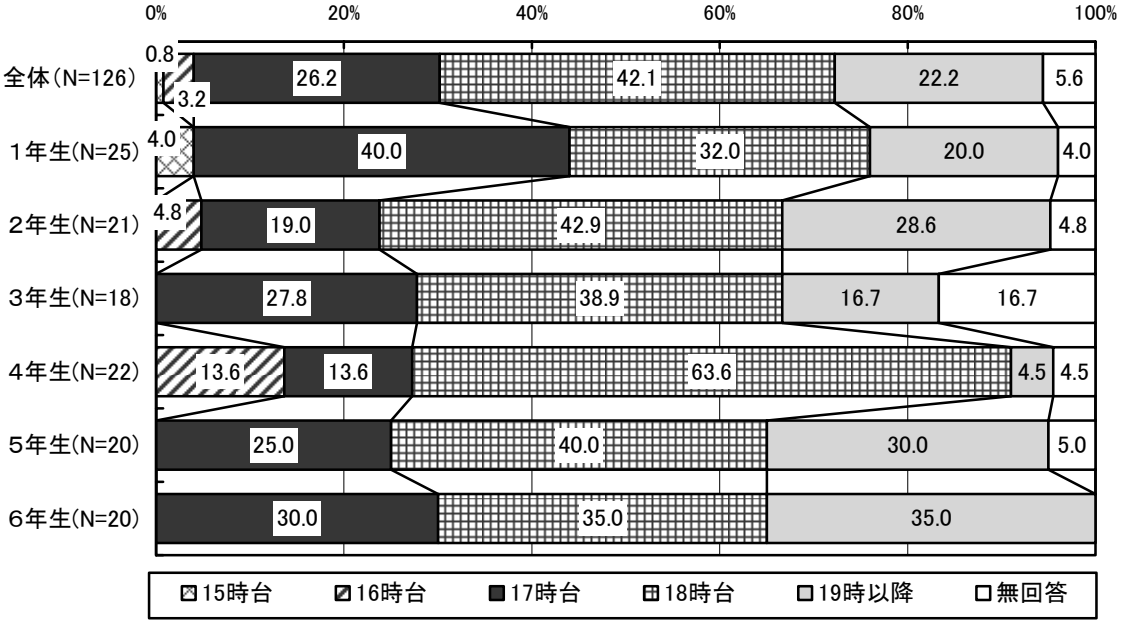
■子どもの学年別　高学年時の平日の利用意向



■子どもの学年別　高学年時の平日の１週当たりの希望日数

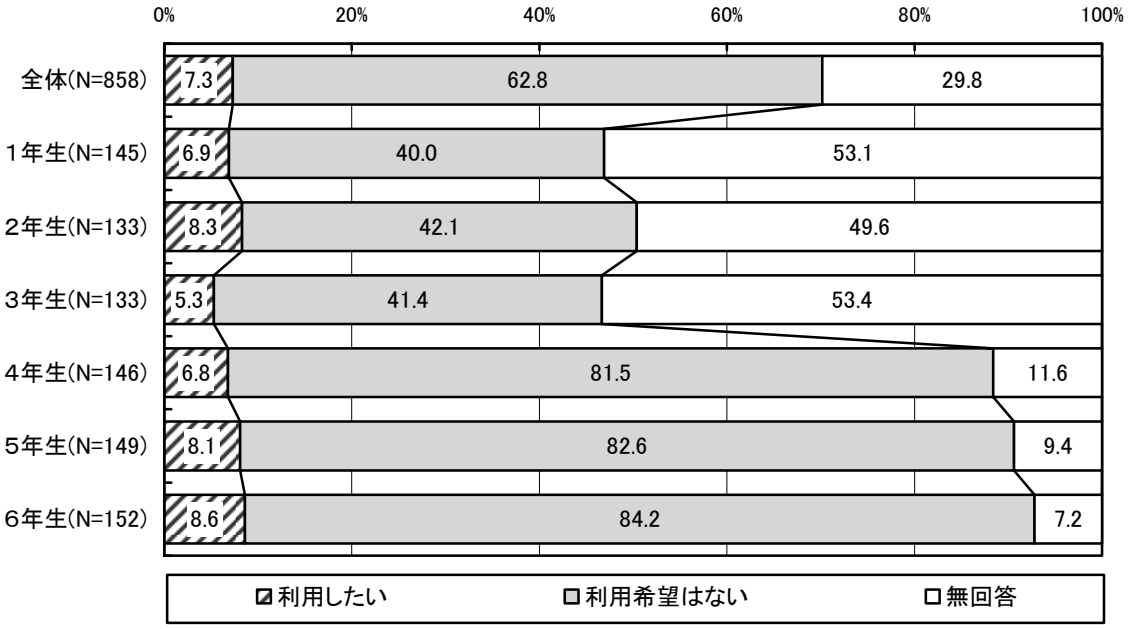


■子どもの学年別　高学年時の平日の希望終了時間

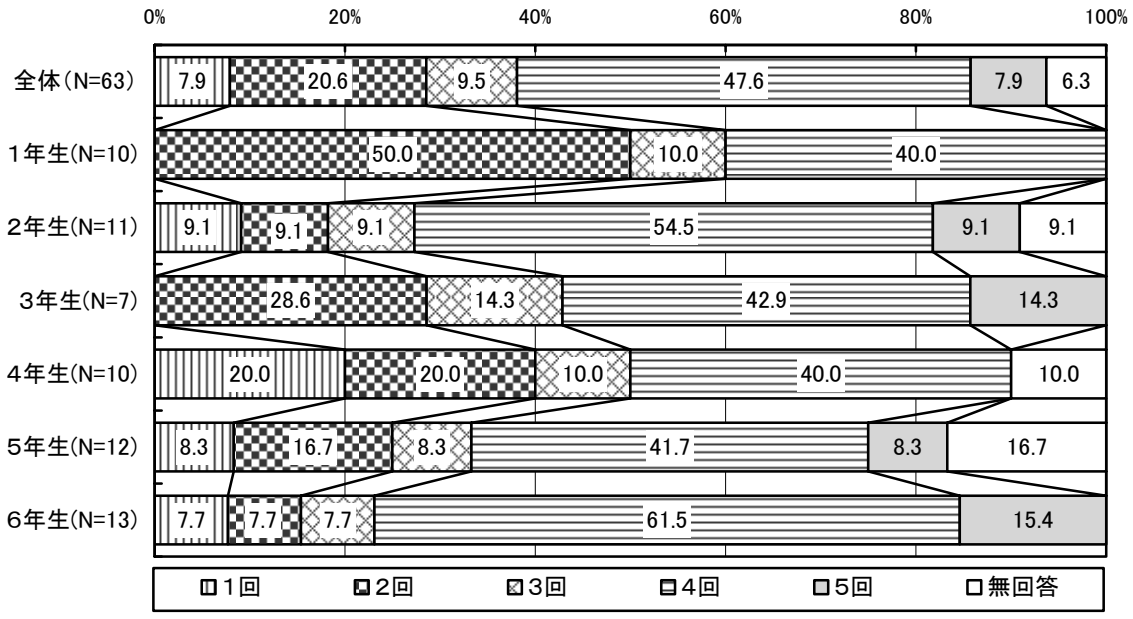


●全体では、高学年時の土曜日に「利用したい」が7.3%で、低学年時のおよそ半分となっています。
●子どもの学年別では、「利用したい」率は、６年生が8.6%で最も高く、３年生が5.3%で最も低くなっています。
●１か月当たりの利用希望回数は、全体では、「４回」及び「５回」を合わせた【毎週】が55.5%で、利用希望者の半数を超えています。
●子どもの学年別では、【毎週】の希望は６年生が76.9%で最も高く、１年生と４年生がそれぞれ40.0%で最も低くなっています。

■子どもの学年別　高学年時の土曜日の利用意向

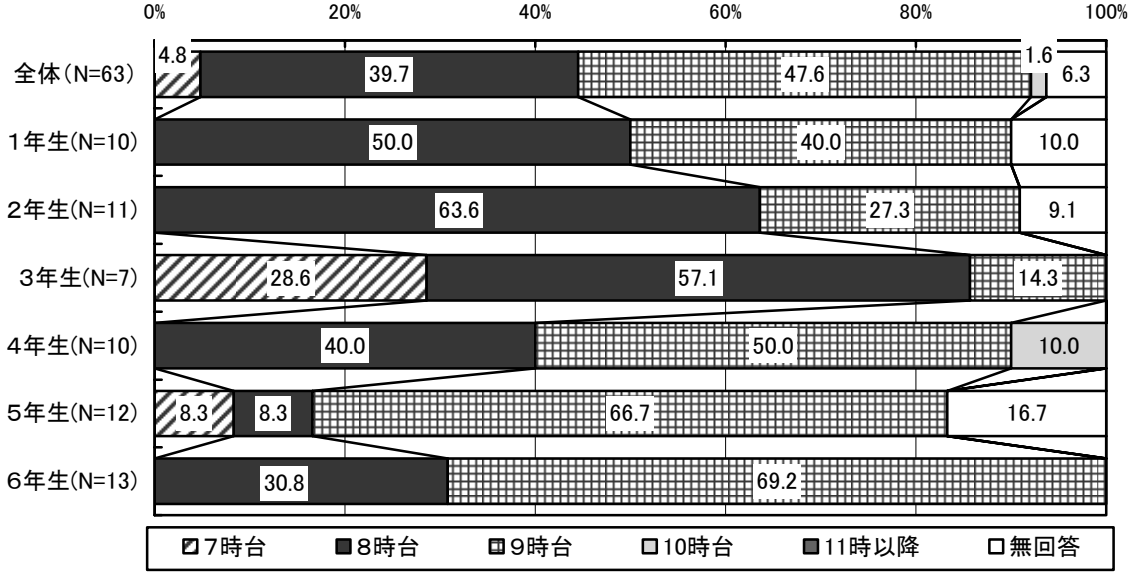


■子どもの学年別　土曜日の１か月当たりの希望回数

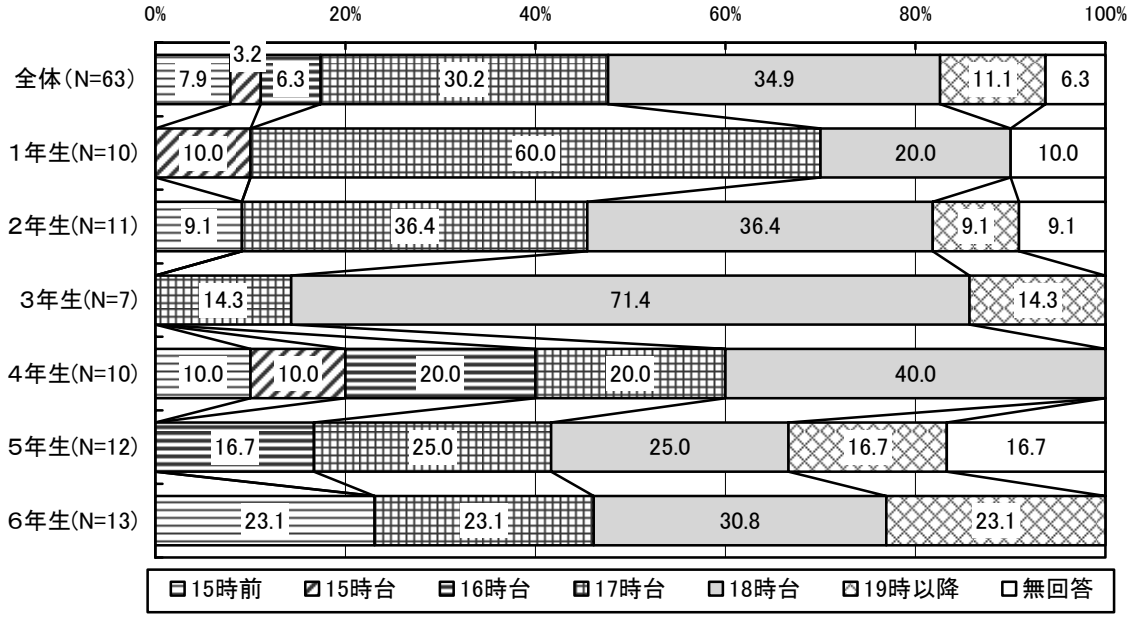


●高学年時の土曜日の希望開始時間は、全体では「９時台」が47.6%で最も高く、「８時台」が39.7%で、低学年時に比べて遅くなっています。
●子どもの学年別では、１年生から３年生は「８時台」が最も高く、４年生以上は「９時台」が最も高くなっています。
●土曜日の希望終了時間は、全体では「18時台」が34.9%で最も高く、「17時台」が30.2%などとなっています。また、「19時以降」が11.1%となっています。
●子どもの学年別では、１年生は「17時台」が、２年生及び５年生は「17時台」及び「18時台」が、３年生、４年生、６年生は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。また、「19時以降」は６年生では23.1%となっています。

■子どもの学年別　高学年時の土曜日の希望開始時間

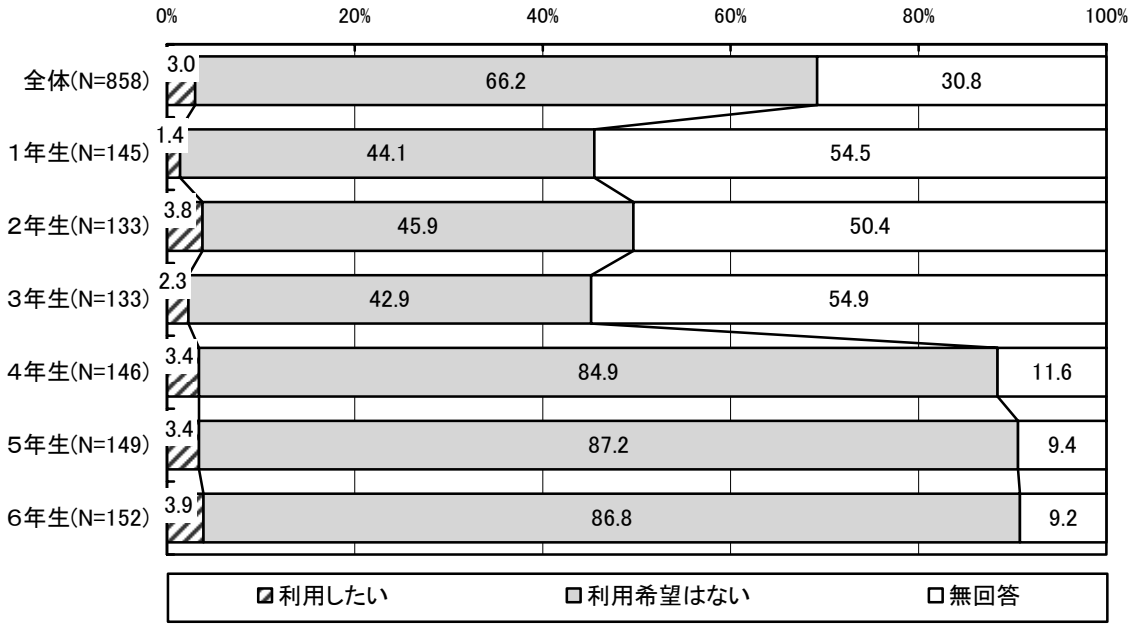


■子どもの学年別　土曜日の希望終了時間

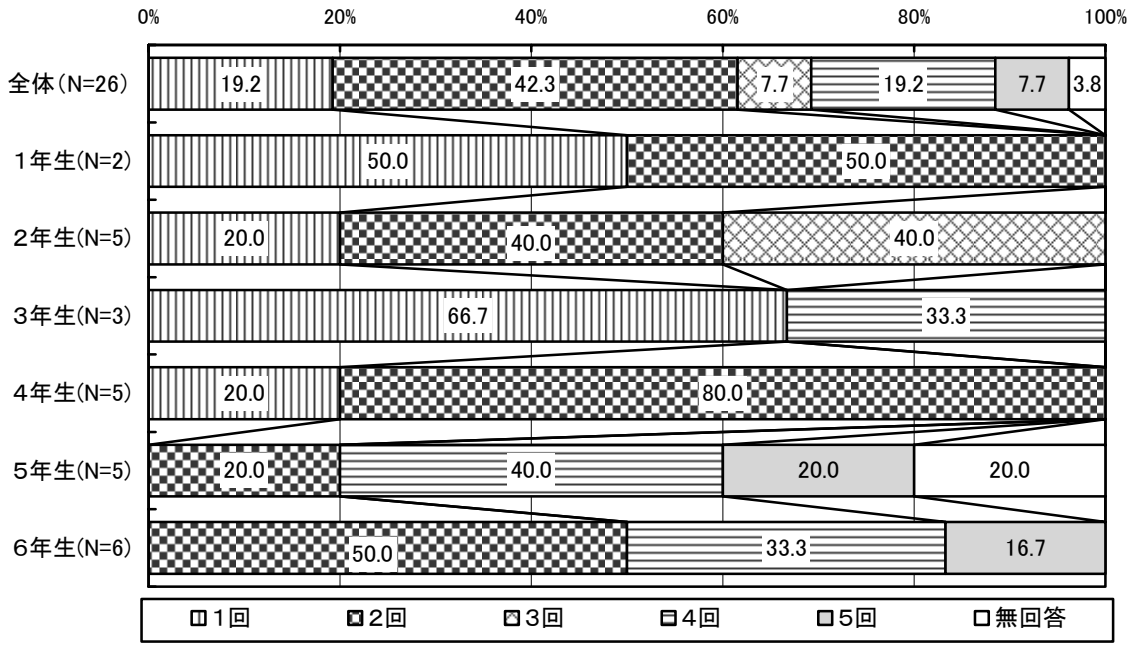


●高学年時の日曜・祝日に「利用したい」は、全体では3.0%となっています。
●子どもの学年別では、２年生及び４年生以上では３%を超えます。
●１か月当たりの利用希望回数は、全体では、低学年時と同様に「２回」が42.3%で最も高くなっています。また、「４回」及び「５回」の【毎週】は、26.9%となっています。
●子どもの学年別では、【毎週】は５年生及び６年生が高くなっています。

■子どもの学年別　高学年時の日曜・祝日の利用意向

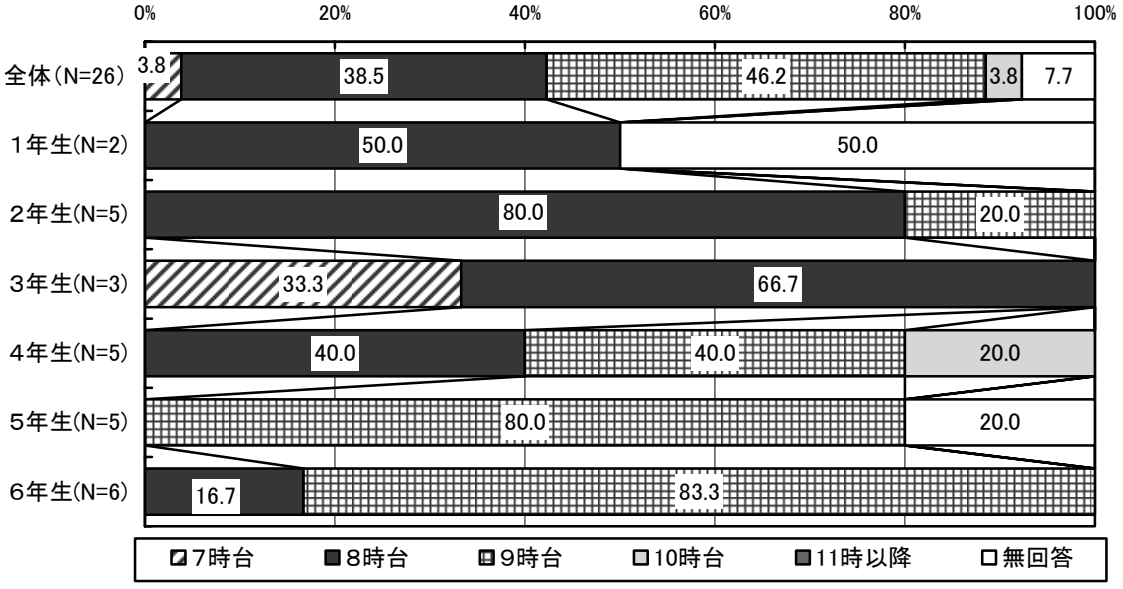


■子どもの学年別　１か月当たりの希望回数

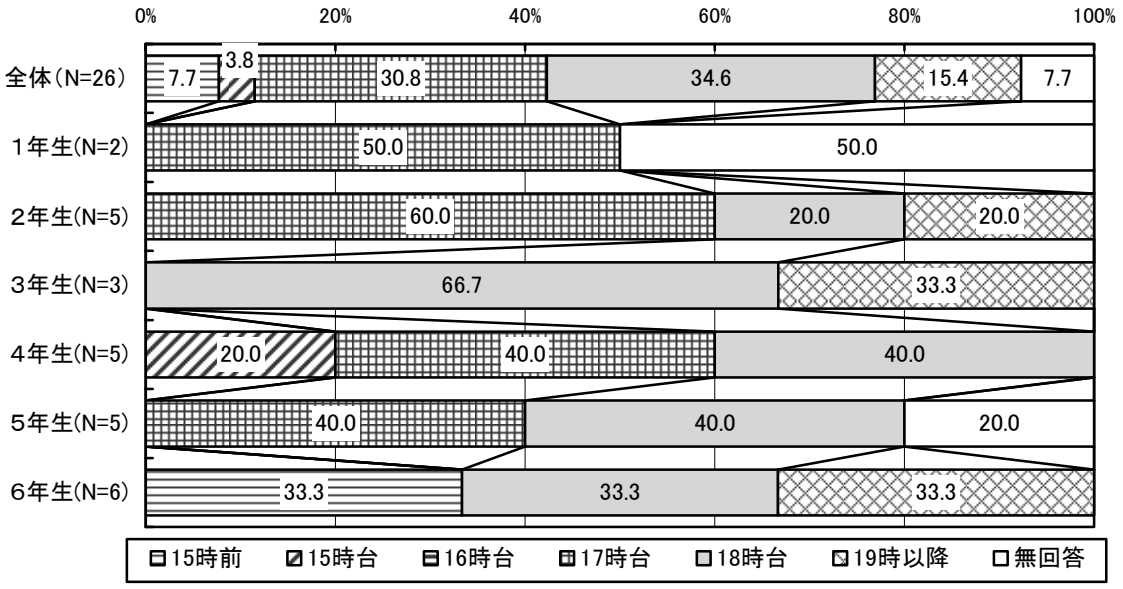


- 高学年時の日曜・祝日の希望開始時間は、全体では「9時台」が46.2%で最も高くなっています。
- 子どもの学年別では、１年生から３年生は「８時台」が高く、４年生は「8時台」及び「9時台」が同率、5年生以上は「９時台」が最も高くなっています。
- 希望終了時間は、全体では、「18時台」が34.6%、「17時台」が30.8%で、「19時以降」も15.4%となっています。
- 子どもの学年別では、１年生及び２年生は「17時台」、３年生は「18時台」、４年生及び５年生は「17時台」及び「18時台」がそれぞれ最も高く、６年生は「15時前」と「18時台」「19時以降」が同率となっています。

■子どもの学年別　高学年時の日曜・祝日の希望開始時間

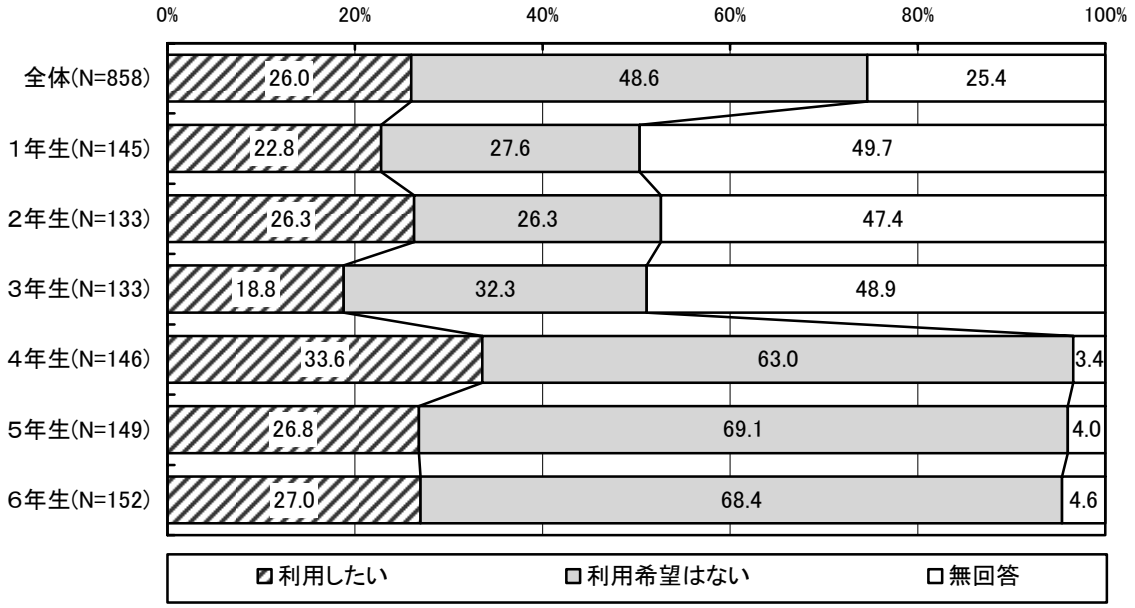


■子どもの学年別　高学年時の日曜・祝日の希望終了時間

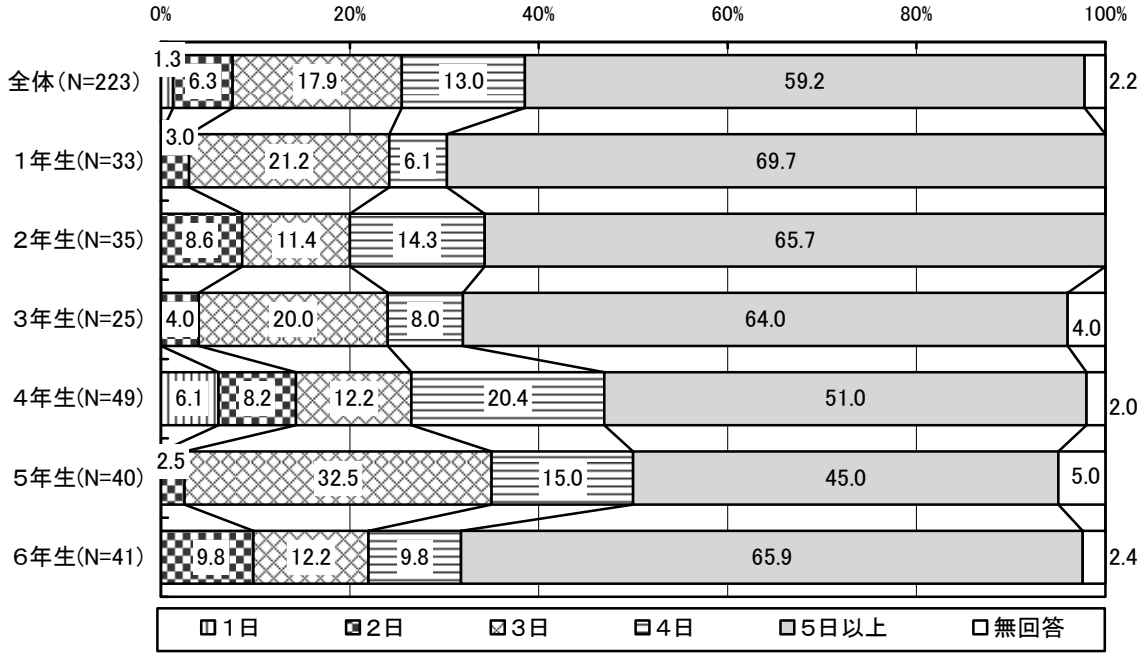


●高学年時の夏休みや冬休みなど長期休暇に「利用したい」は、全体では26.0%で、低学年児の半分ですが、平日の14.7%より高くなっています。
●子どもの学年別では、４年生が33.6%で最も高く、３年生が18.8%で最も低くなっています。５年生や６年生も25%を超える希望となっています。
●１週当たりの利用希望日数は、全体では、「５日以上」が59.2%で最も高くなっています。
●子どもの学年別では、どの学年も「５日以上」が最も高くなっています。

■子どもの学年別　高学年時の夏休みや冬休みなど長期休暇の利用意向

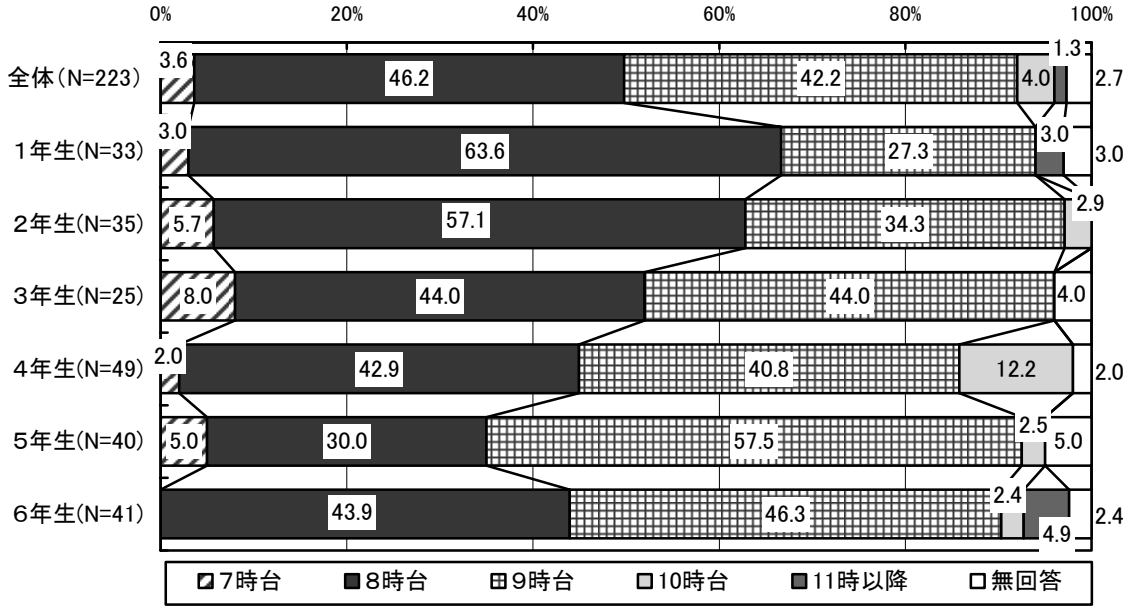


■子どもの学年別　長期休暇の１週当たりの希望日数

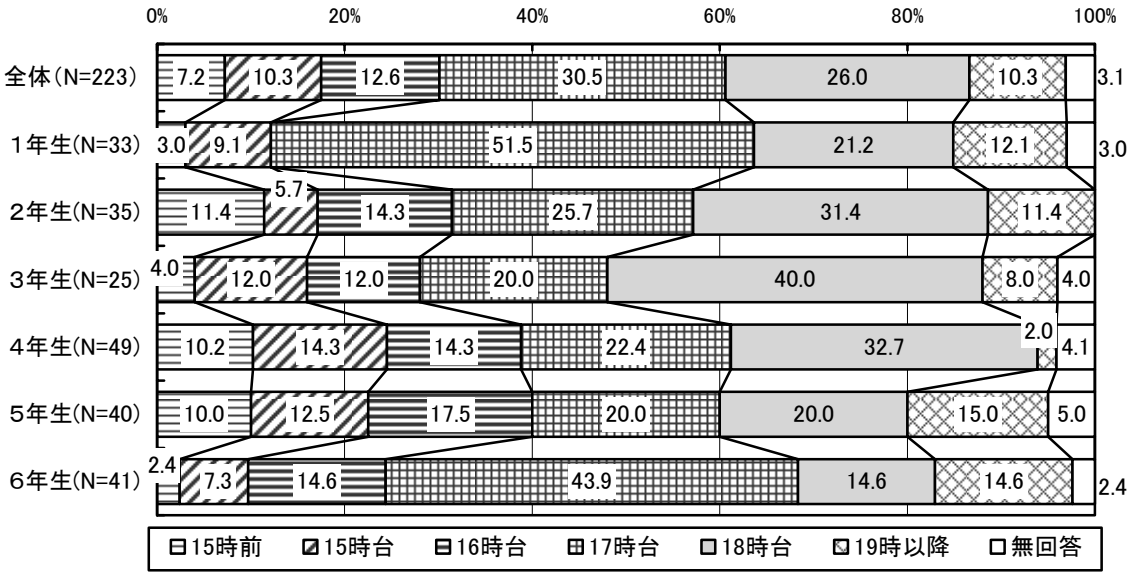


●高学年時の長期休暇中の希望開始時間は、全体では「８時台」が46.2%、「９時台」が42.2%などとなっています。
●子どもの学年別では、１年生及び２年生、４年生は「８時台」が最も高く、３年生は「８時台」と「９時台」が同率、５年生及び６年生は「９時台」が最も高くなっています。
●希望終了時間は、全体では、「17時台」が30.5%、「18時台」が26.0%などとなっています。
●子どもの学年別では、１年生及び６年生は「17時台」、２年生から４年生は「18時台」、５年生は「17時台」及び「18時台」が同率でそれぞれ最も高くなっています。

■子どもの学年別　高学年時の長期休暇の希望開始時間



■子どもの学年別　高学年時の長期休暇の希望終了時間



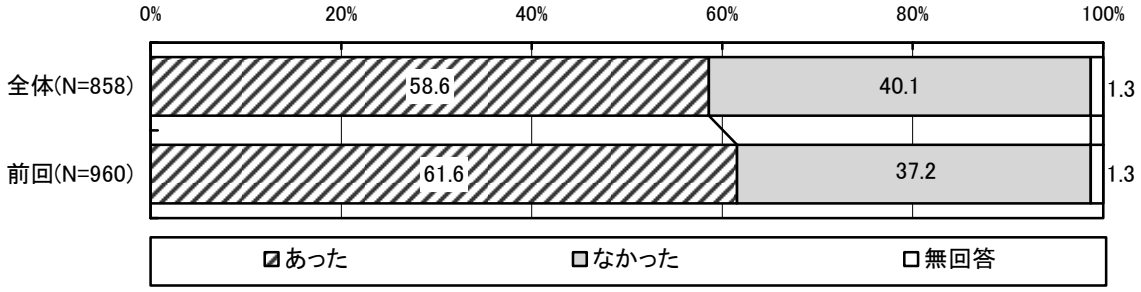
４　病児・病後児保育について

①　この１年間に、子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったこと

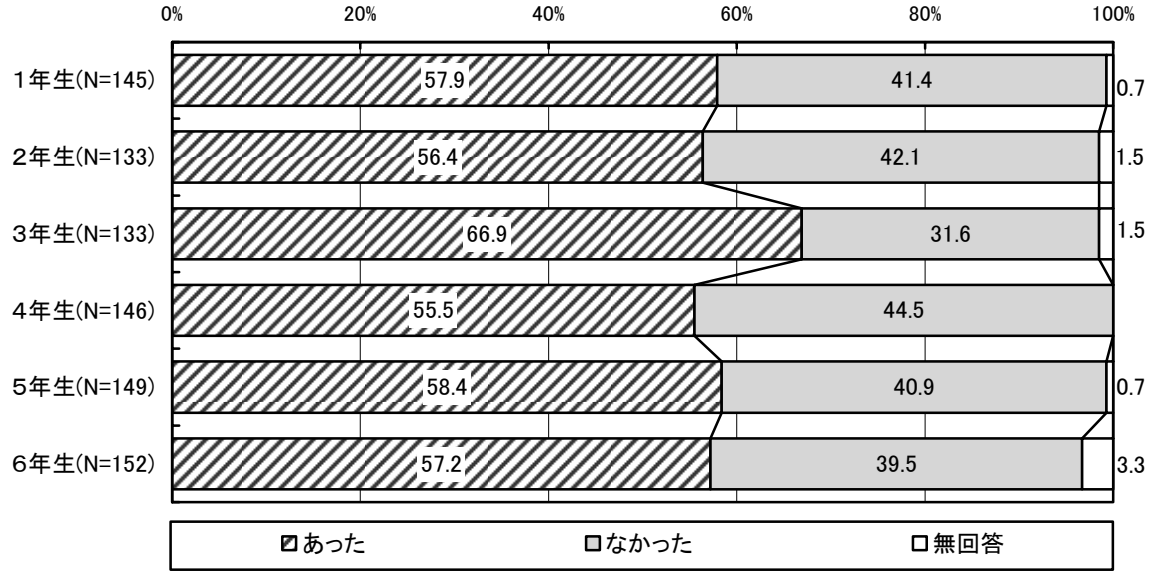
問10　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（どちらかに○）

- この１年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだことが「あった」は58.6%で、前回調査と大きな違いはありません。
- 子どもの学年別では、３年生が66.9%と高く、その他の学年は55～58%で大きな違いはありません。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、「あった」率はその他世帯（66.7%）、フルタイム・パート等共働き世帯（62.6%）、ひとり親世帯（61.4%）が60%を超えています。

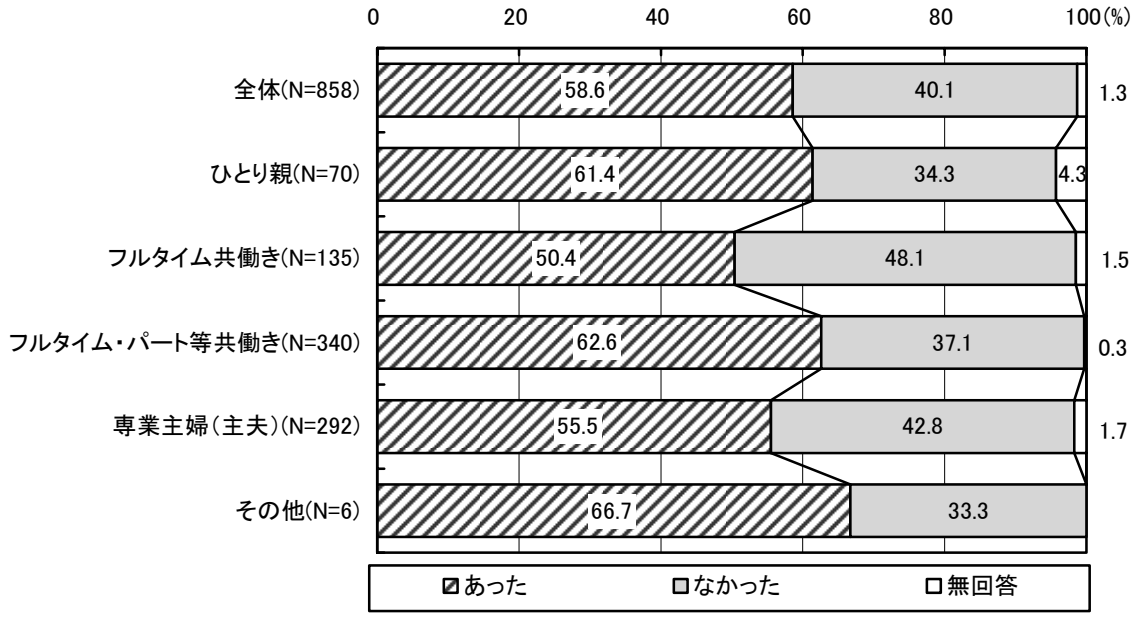
■この１年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだこと



■子どもの学年別　この１年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだこと



■親の就労状況等による世帯類型別　この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業を利用できなかったこと

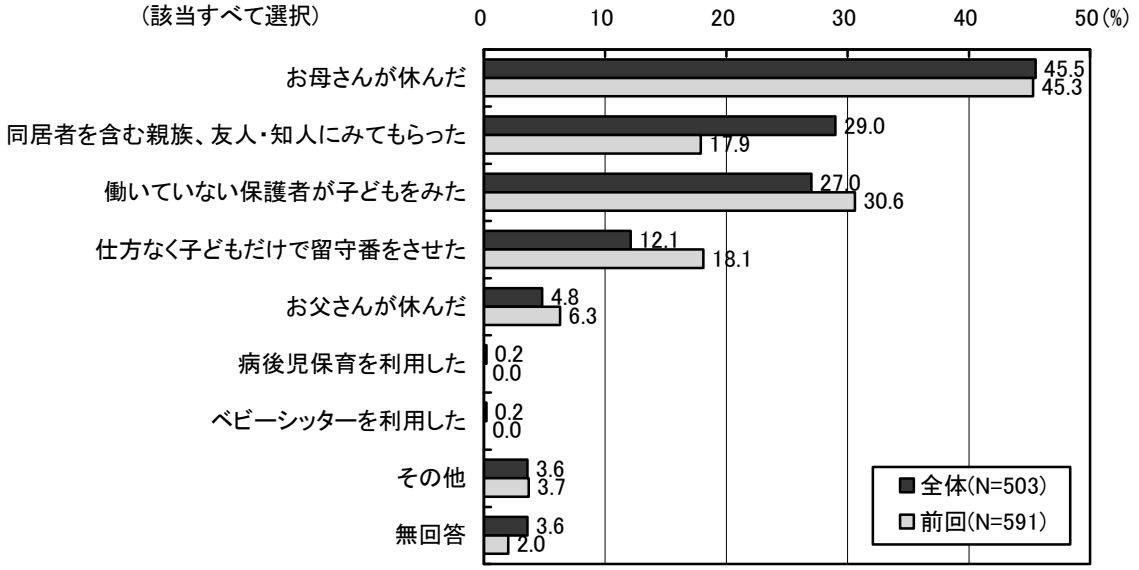


②　学校を休まなければならなかった場合の対処方法

問10－１　問10で「１．あった」に○をつけた方におうかがいします。
あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用できなかった場合、この１年間にどのような対処をされましたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で（　）にご記入ください。半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

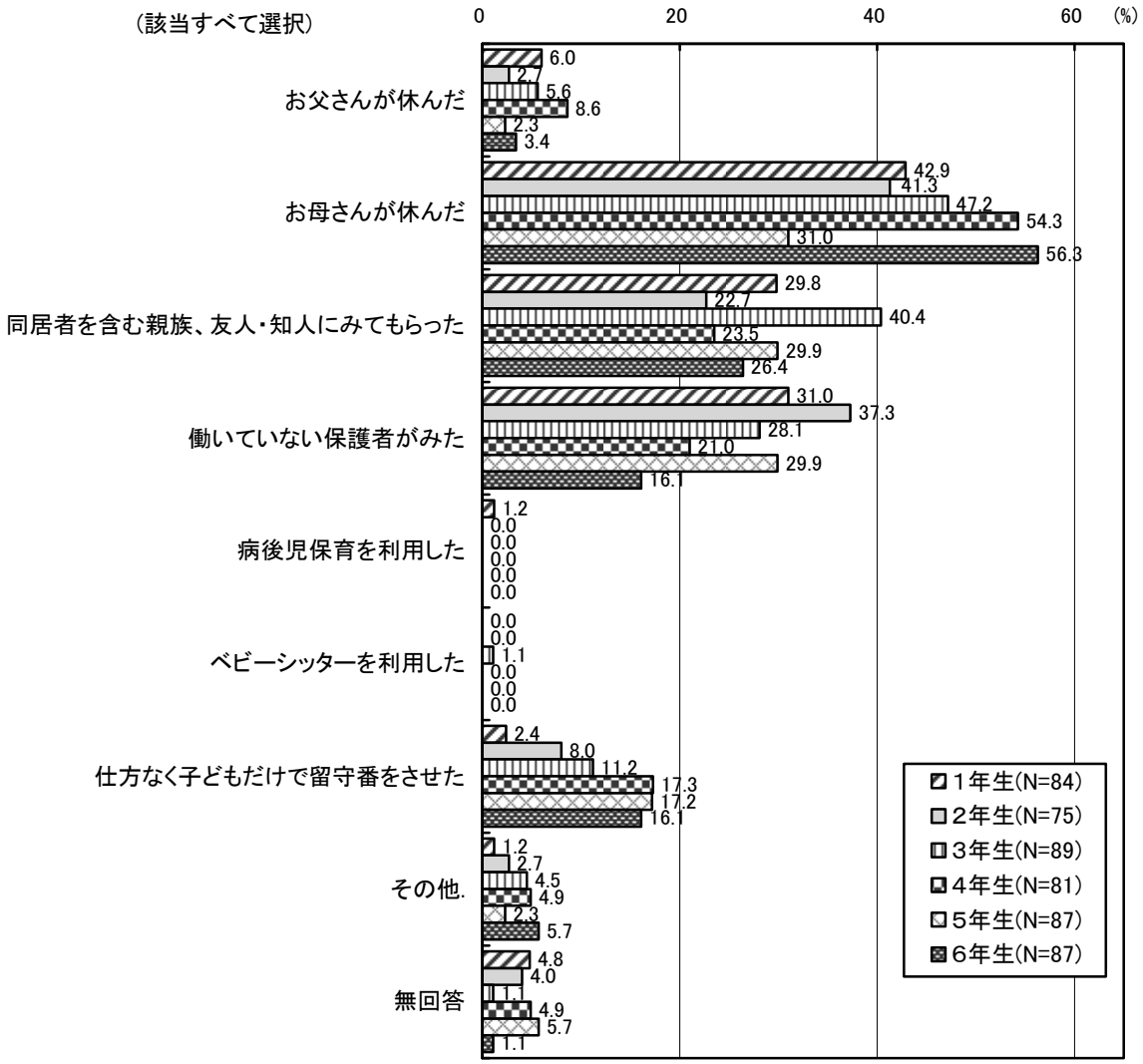
- 対処方法として全体では、「お母さんが休んだ」が45.5%と最も高く、次いで「同居者を含む親族、友人・知人にみてもらった」（29.0%）、「働いていない保護者が子どもをみた」（27.0%）などで、「同居者を含む親族、友人・知人にみてもらった」が前回調査より高くなっています。
- 子どもの学年別では、どの学年も「お母さんが休んだ」が高く、特に４年生及び６年生では50%を超えています。５年生は31.0%で、「同居者を含む親族、友人・知人にみてもらった」や働いていない保護者がみた」が同程度となっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、専業主婦（主夫）以外は「お母さんが休んだ」率が最も高く、専業主婦（主夫）世帯は「働いていない保護者がみた」が最も高くなっています。また、フルタイム共働き世帯では、「同居者を含む親族、友人・知人にみてもらった」率が48.5%と高くなっています。

■子どもが学校を休んだ時のこの１年間の対処方法／前回調査との比較



注)「病児保育」及び「ファミリー・サポート・センター」は利用がないため省略しています。

■子どもの学年別　この１年間の対処方法

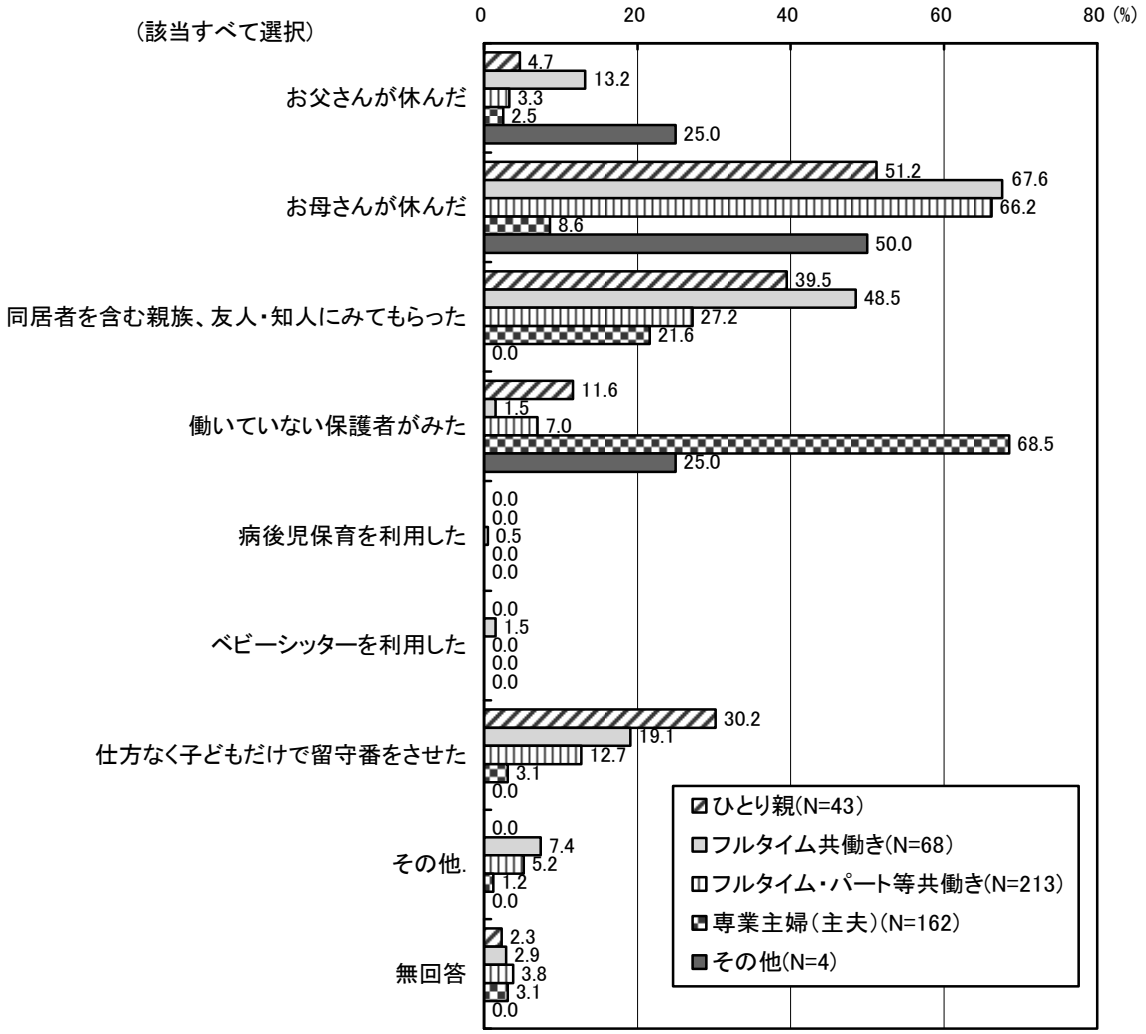


■対処方法別　１年間に休んだ日数の平均

対処方法	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ア. お父さんが休んだ	5件	2件	4件	6件	1	2件
	1.8日	4.0日	1.8日	2.2日	1.0日	1.5日
イ. お母さんが休んだ	31件	28件	39件	38件	22件	49件
	2.8日	3.7日	3.7日	3.1日	5.8日	3.3日
ウ. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	21件	16件	32件	18件	21件	23件
	2.9日	3.2日	4.3日	2.6日	5.7日	3.0日
エ. 働いていない保護者がみた	19件	23件	21件	16件	24件	14件
	2.6日	4.2日	4.5日	8.2日	2.9日	4.8日
カ. 病後児保育を利用した	1件	0件	0件	0件	0件	0件
	3.0日	0日	0日	0日	0日	0日
キ. 家事代行サービスを利用した	0件	0件	1件	0件	0件	0件
	0日	0日	1.0日	0日	0日	0日
ケ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2件	6件	10件	14件	12件	14件
	8.5日	1.5日	3.5日	1.9日	1.6日	3.8日
コ. その他	1件	1件	2件	2件	2件	5件
	1.0日	2.0日	1.0日	1.0日	7.5日	3.6日

注)「オ. 病児保育」及び「ケ. ファミリー・サポート・センター」は該当がないため、省略しています。
　件数は、日数の無回答を除きます。

■保護者の就労状況等による世帯類型別　この１年間の対処方法

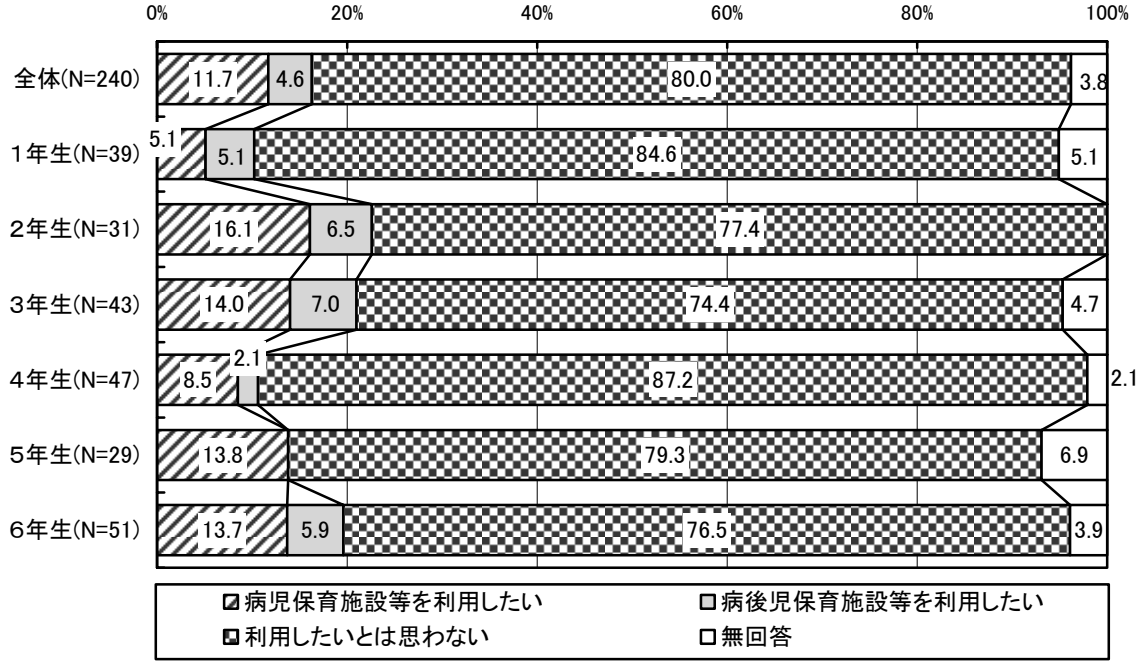


③　病児・病後児のための保育施設等を利用したいかどうか

問10－２　問10－１で「ア. お父さんが休んだ」または「イ. お母さんが休んだ」に○をつけた方におうかがいします。
　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数についても（　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 「お父さんが休んだ」「お母さんが休んだ」を選択した人で、「病児保育施設を利用したい」が11.7%、「病後児保育施設を利用したい」が4.6%で、合わせて【施設を利用したい】率は16.3%となっています。
- 子どもの学年別では、【施設を利用したい】率は、２年生及び３年生では20%を超え、最も低い１年生で10.2%となっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、その他世帯以外の【施設を利用したい】率は、ひとり親世帯及びフルタイム共働き世帯がそれぞれ20.8%、フルタイム・パート等共働き世帯が14.0%、専業主婦（主夫）世帯が11.8%となっています。

■子どもの学年別　病児・病後児のための保育施設等の利用意向

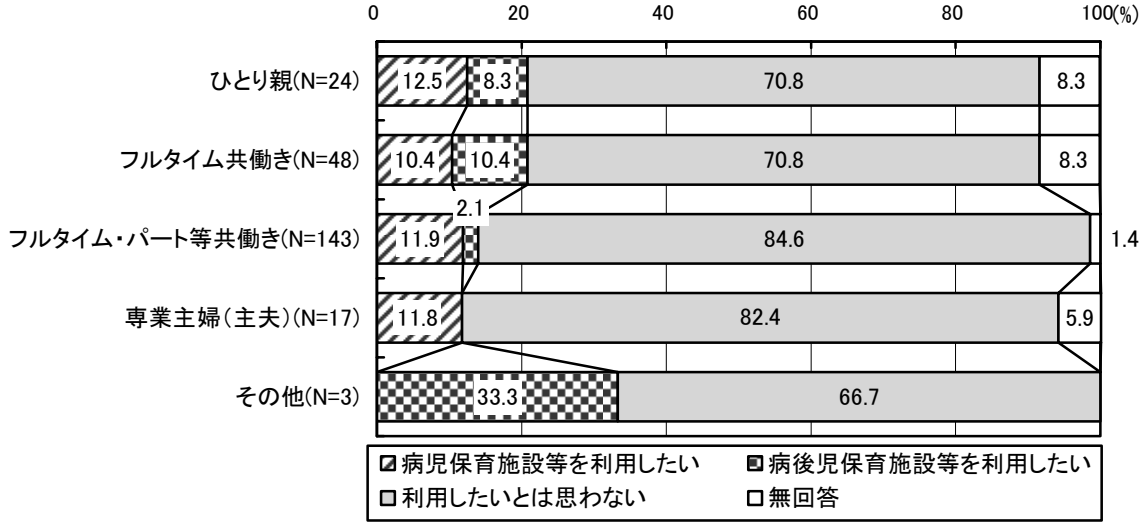


■病児・病後児保育サービスなどの利用意向別・子どもの学年別　利用したい日数

対処方法		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
病児保育施設等を利用したい	件数	1件	4件	5件	4件	3件	6件
	平均	2.0日	3.0日	2.6日	3.3日	3.0日	7.0日
病後児保育施設等を利用したい	件数	2件	2件	3件	0件	0件	3件
	平均	3.5日	3.5日	2.7日	0日	0日	2.0日

注）件数は、日数の無回答を除きます。

■親の就労状況等による世帯類型別　病児・病後児のための保育施設等の利用意向

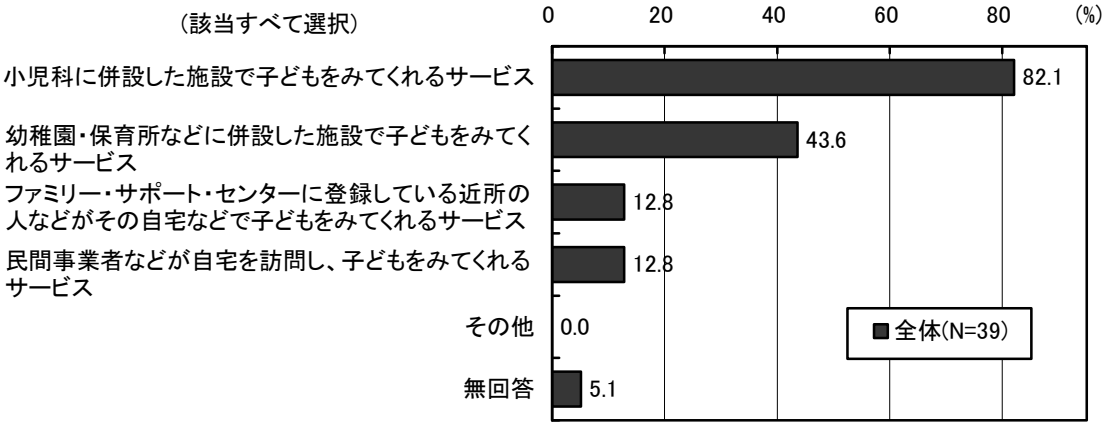


④　利用する場合の望ましいサービス

問10－３　問10-２で「１」または「２」（利用したい）に○をつけた方におうかがいします。利用する場合、次のいずれのサービスが望ましいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

● 「病児保育施設を利用したい」または「病後児保育施設を利用したい」を選択した人の利用する場合の望ましいサービスとしては、「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が82.1％と最も高く、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が43.6％となっています。

■利用する場合の望ましいサービス

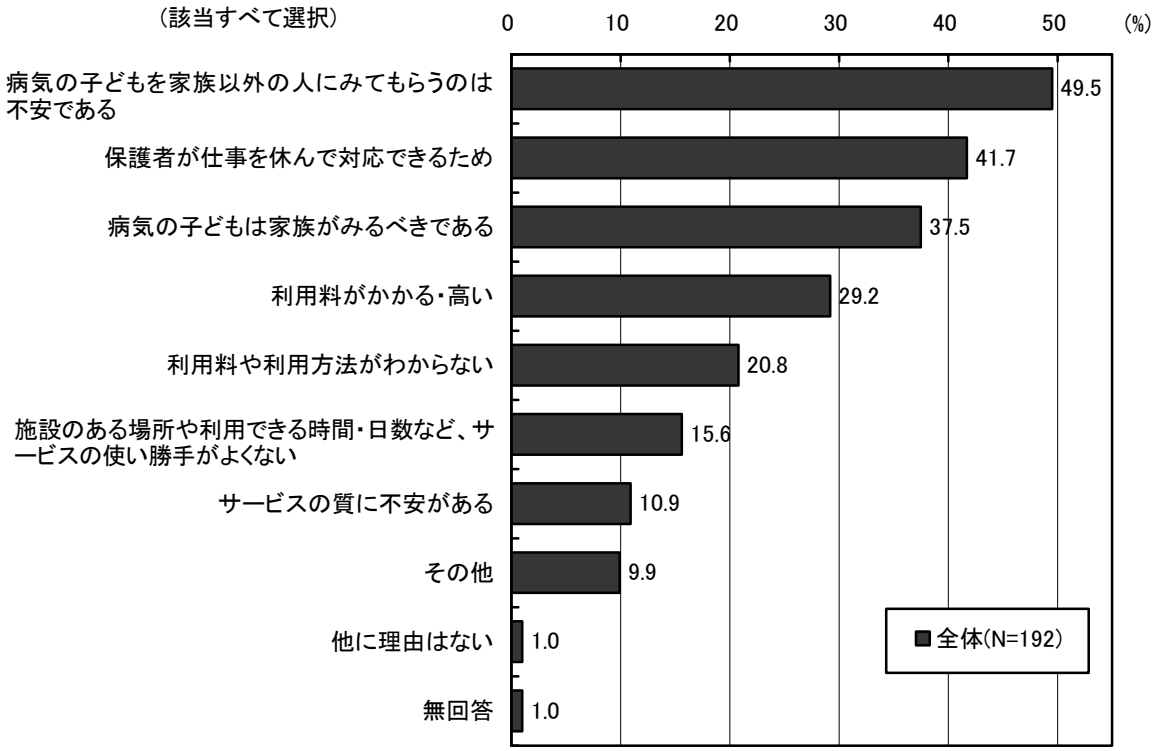


⑤　病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問10－４　問10-２で「３．利用したいと思わない」に○をつけた方におうかがいします。利用したいとは思わない理由はどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）

●「お父さんが休んだ」または「お母さんが休んだ」を選択した人で、病児・病後児のための保育施設等を「利用したいとは思わない」と回答した人のその理由としては、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が49.5%で最も高く、次いで「保護者が仕事を休んで対応できるため」（41.7%）、「病気の子どもは家族がみるべきである」（37.5%）などとなっています。

■病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由



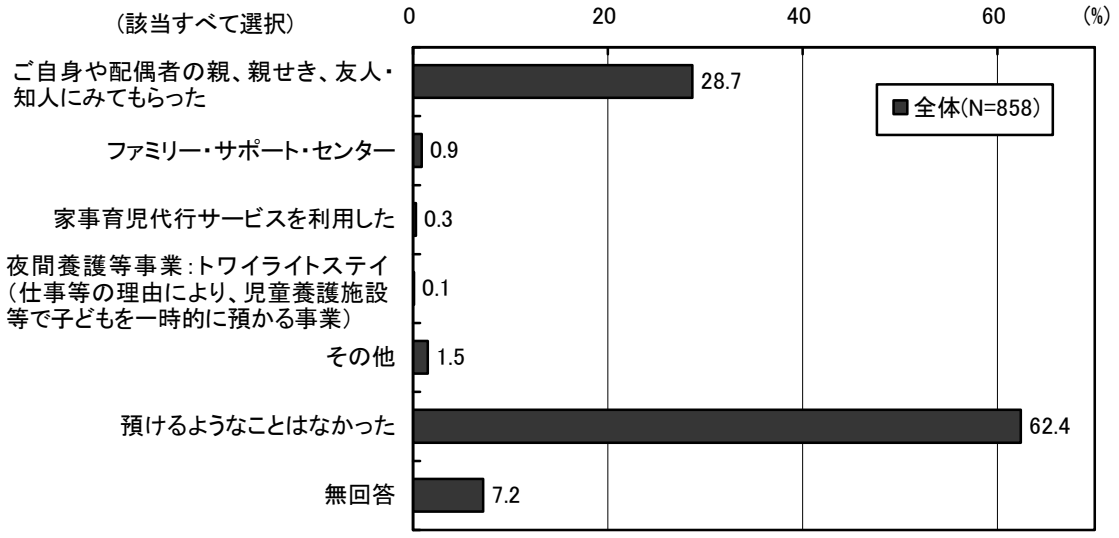
5　一時預かりについて

①　子どもを預かるサービスを不定期に利用したこと

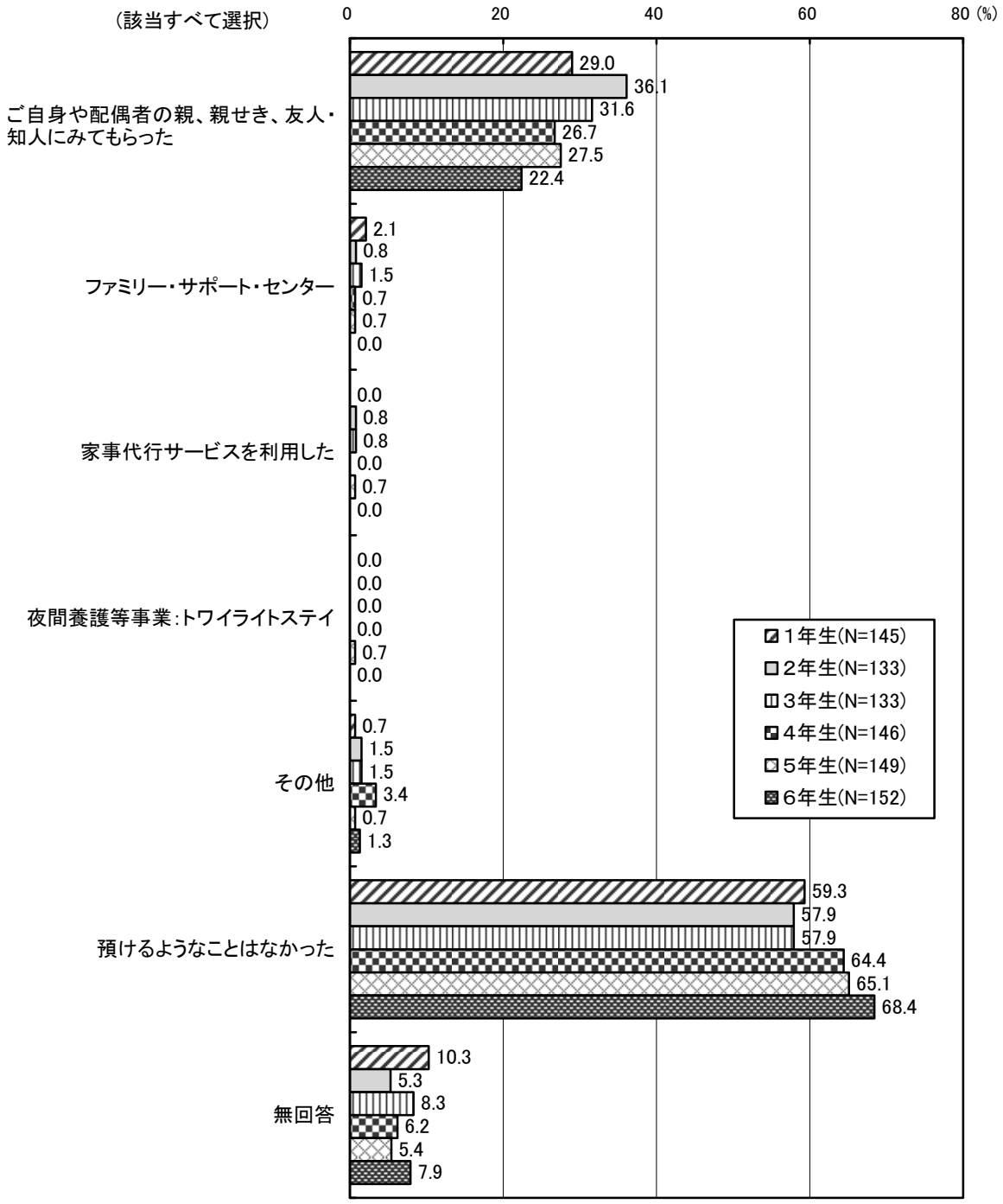
問11　あなたは、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期の仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。（子どもが病気の時の保育施設などの利用は除きます。）利用したことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数も（　）内に数字でご記入ください。

- この１年間に、私用や本人及び配偶者の親の通院、不定期の仕事などの理由で子どもを家族以外の人に一時的預けたことが「ある」率は、「預けるようなことはなかった」の62.4%及び無回答を除くと30.4%で、就学前のおよそ２倍となっています。ある中では「本人及び配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が28.7%で最も高く、サービスとしては、「ファミリー・サポート・センター」が0.9%、「家事育児代行サービスを利用した」が0.3%などとなっています。
- 子どもの学年別では、「ある」率は２年生が36.8%で最も高く、６年生が23.7%で最も低くなっています。「ファミリー・サポート・センター」の利用率は１年生が2.1%で最も高くなっています。
- 保護者の就労状況等による世帯類型別では、「ある」率はフルタイム共働き世帯が40.0%で最も高く、ひとり親世帯が38.5%、フルタイム・パート等共働き世帯が28.2%、専業主婦（主夫）世帯が27.8%となっています。その中で、フルタイム共働き世帯は「ファミリー・サポート・センター」が2.2%、「家事育児代行サービス」が1.5%、「夜間養護等事業」が0.7%などとなっています。

■子どもを預かるサービスを不定期に利用したこと



■子どもの学年別　子どもを預かるサービスの不定期な利用状況

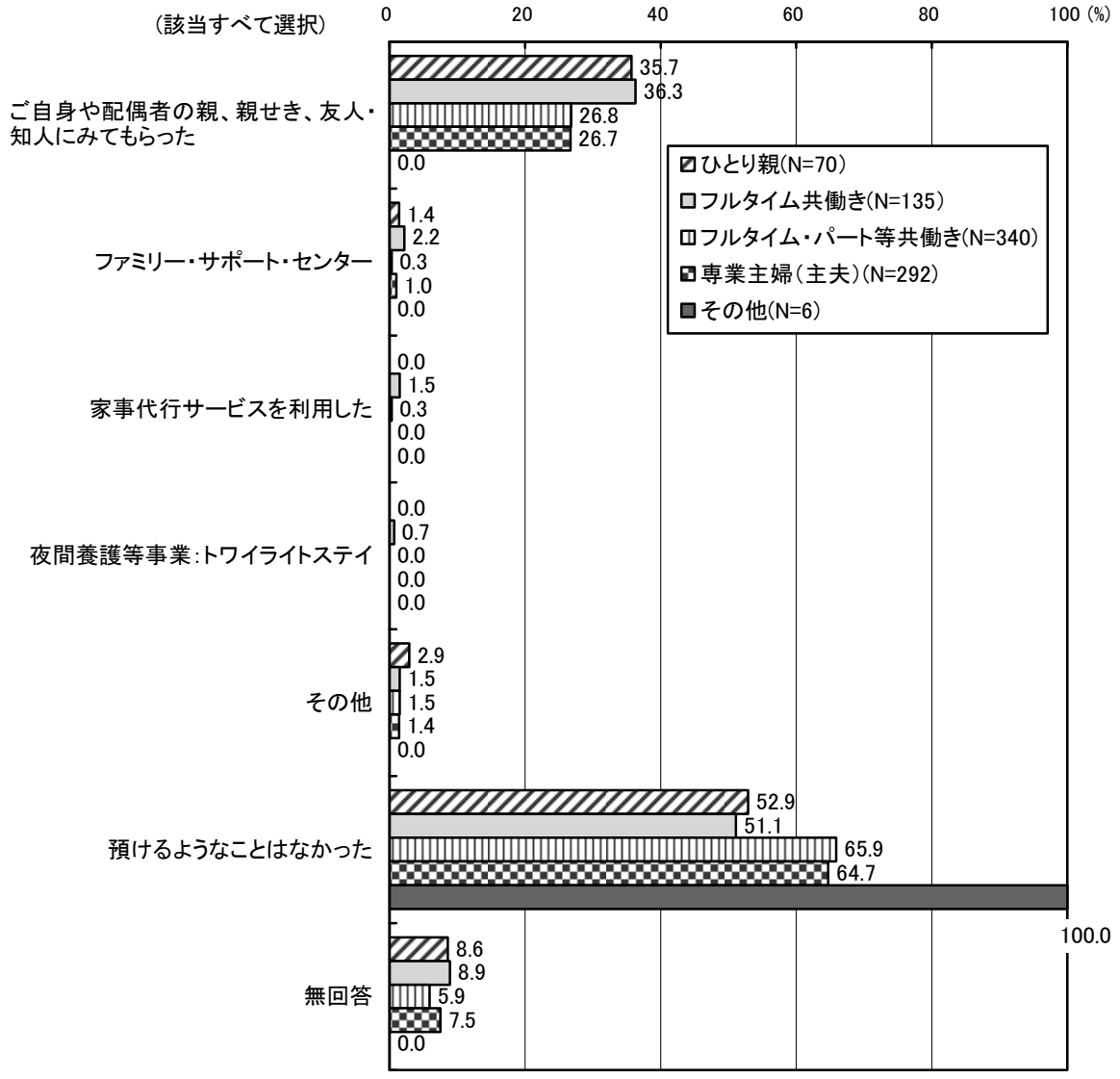


■利用事業別・子どもの学年別　１年間に預けた日数等

利用事業		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	件数	39件	43件	41件	36件	35件	27件
	平均	21.1日	15.3日	24.7日	20.3日	10.4日	9.9日
2. ファミリー・サポート・センター	件数	2件	1件	1件	1件	0件	0件
	平均	22.5日	10.0日	1.0日	2.0日	0日	0日
3. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	件数	0件	0件	0件	0件	1件	0件
	平均	0日	0日	0日	0日	0日	0日
4. 家事育児代行サービスを利用した	件数	0件	0件	1件	0件	1件	0件
	平均	0日	0日	1.0日	0日	0日	0日
5. その他	件数	1件	2件	2件	4件	1件	1件
	平均	10.0日	51.5日	5.5日	34.3日	8.0日	3.0日

注）件数は、日数の無回答を除きます。夜間養護事業及び家事代行サービスの5年生は各1件ありましたが、日数が無回答でした。

■親の就労状況等による世帯類型別　子どもを預かるサービスの不定期な利用

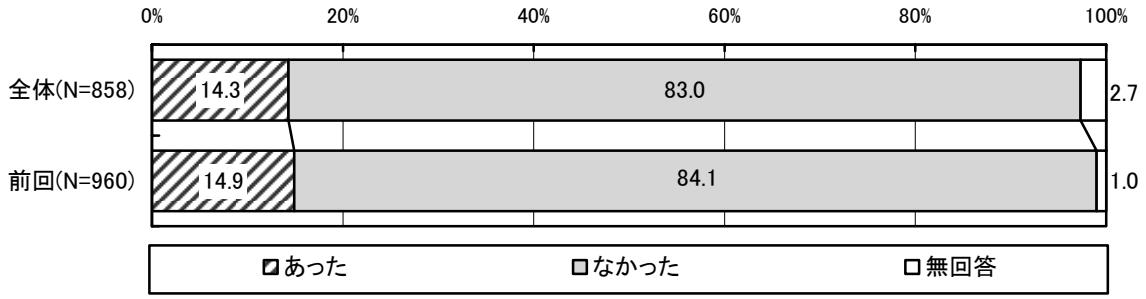


② この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと

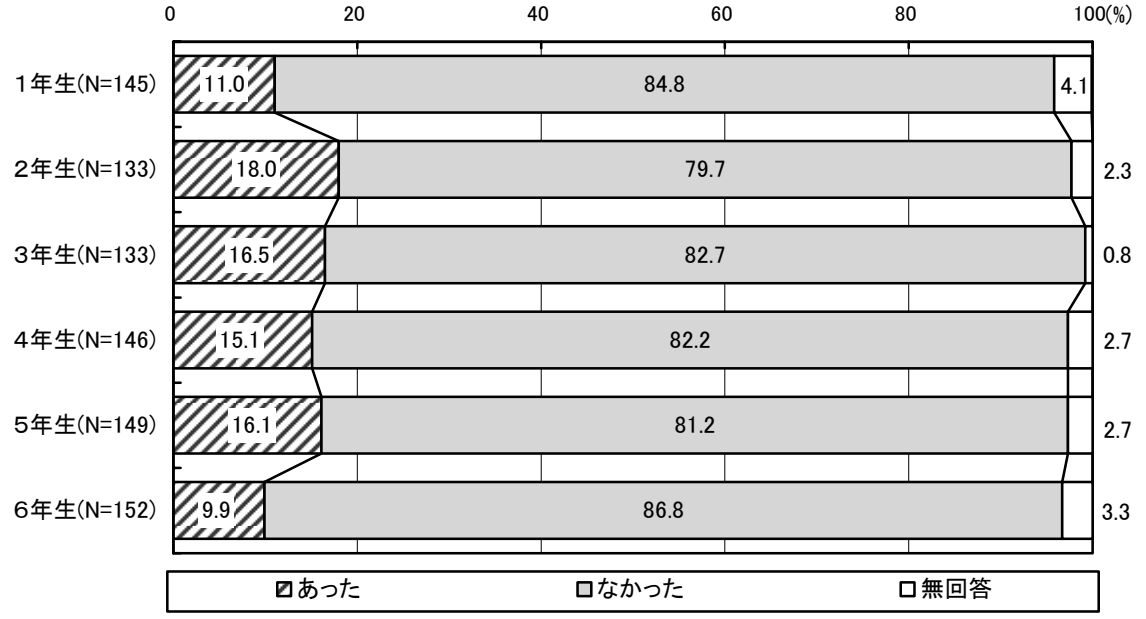
問12　この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として、あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（　）内に数字でご記入ください。

- この１年間に、保護者の用事などにより子どもを泊りがけで預けなければならなかったことが「あった」は、全体では14.3%で、前回調査の14.9%と同程度となっています。
- 子どもの学年別では、「あった」率は２年生が18.0%で最も高く、６年生9.9%で最も低くなっています。

■この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと／前回調査との比較

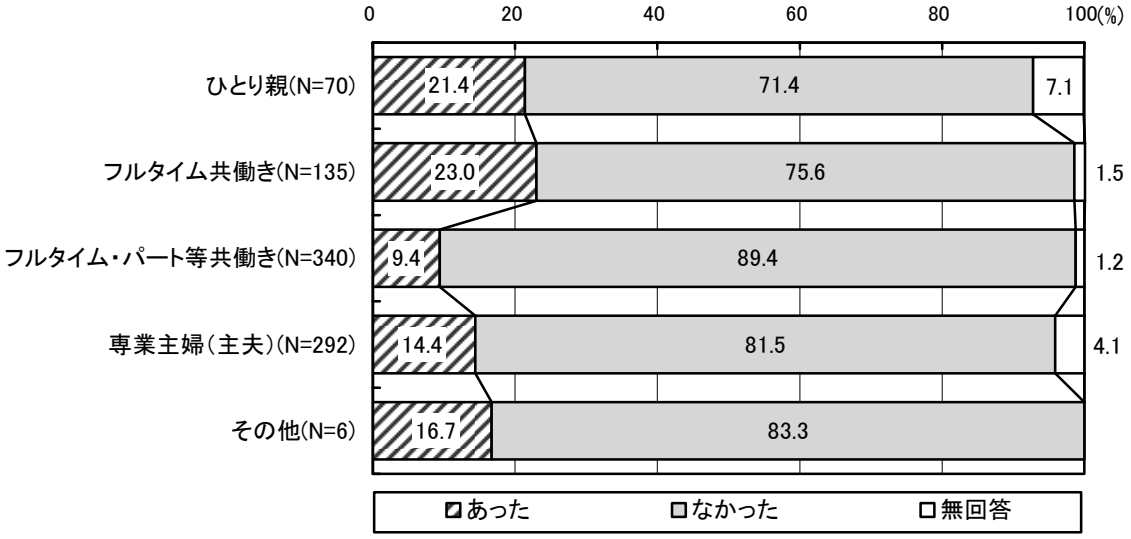


■子どもの学年別　この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと



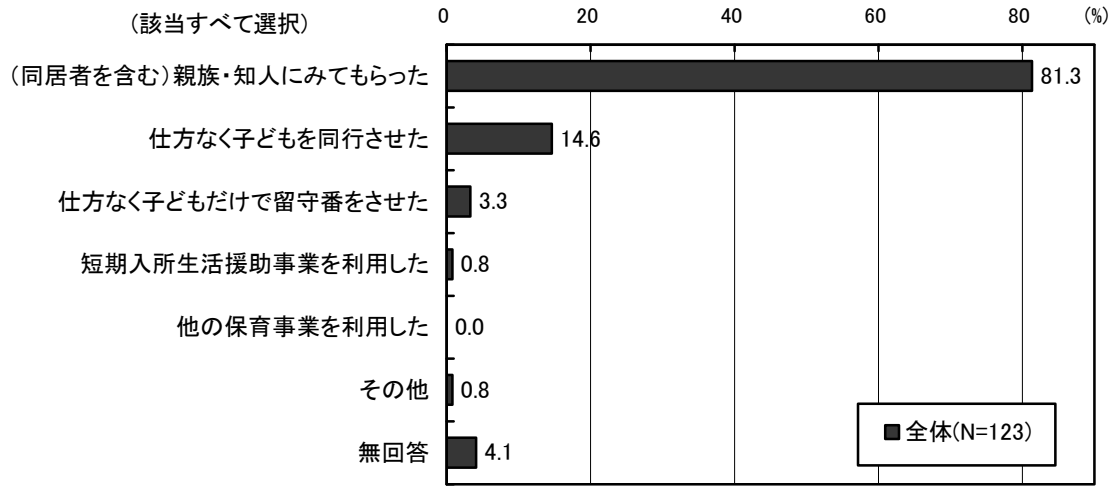
●親の就労状況等による世帯類型別では、「あった」率はフルタイム共働き世帯が23.0%、ひとり親世帯が21.4%などで、20%を超えています。

■親の就労状況等による世帯類型別　この１年間に、子どもを泊りがけで預けたこと



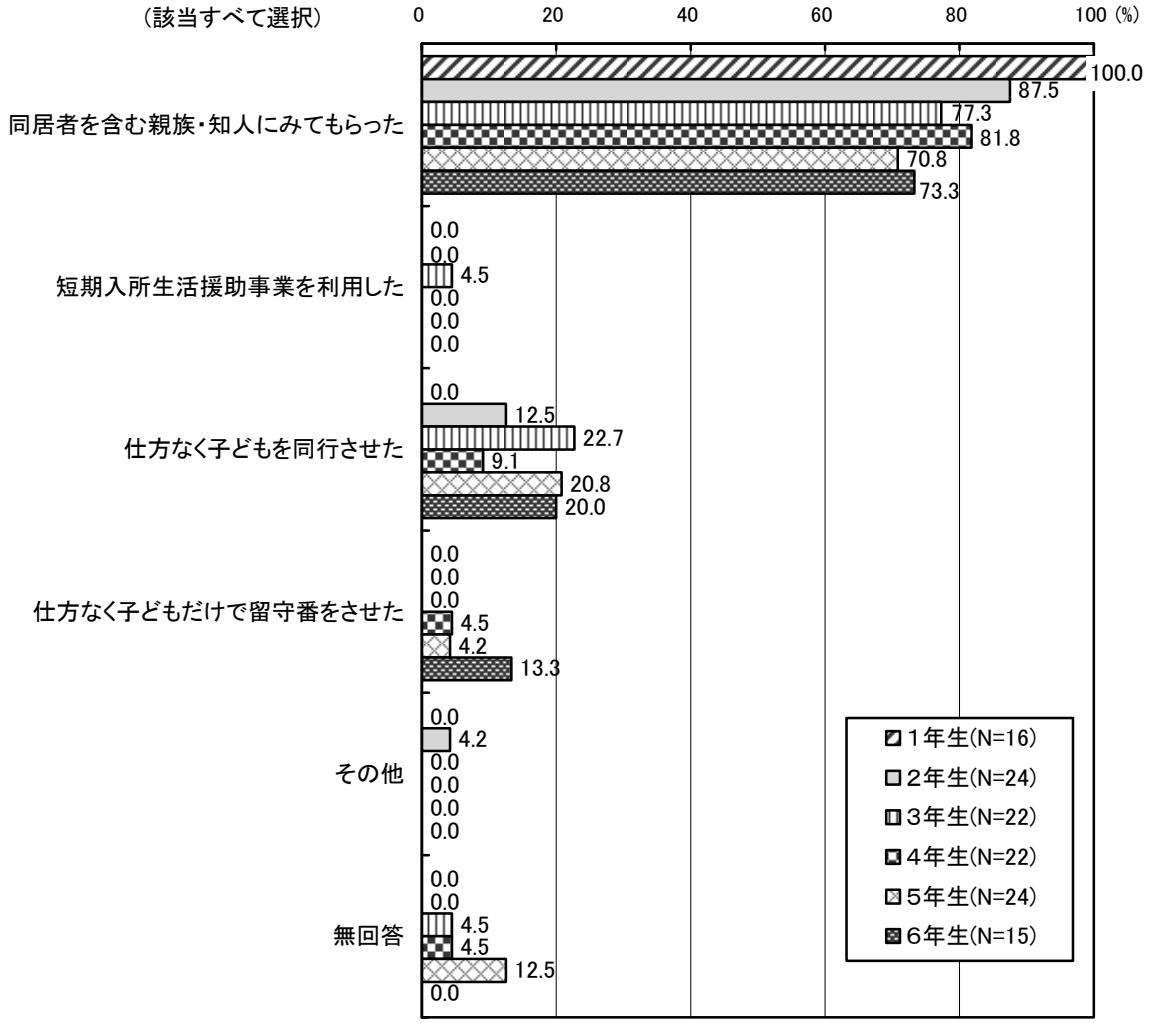
●預けたことが「あった」と回答した人は、全体では「同居者を含む親族・知人にみてもらった」が81.3%で最も高く、「仕方なく子どもを同行させた」が14.6%で、事業の利用は「短期入所生活援助事業を利用した」が0.8%と低い利用となっています。

■対処方法



●子どもの学年別では、どの学年も「同居者を含む親族・知人にみてもらった」率が最も高く、平均日数は３年生が20.4日で最も多くなっています。「短期入所生活援助事業を利用した」は３年生のみ１件、５日の利用となっています。

■子どもの学年別　対処方法



注)「短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した」は該当がないため省略しています（下表も同様）。

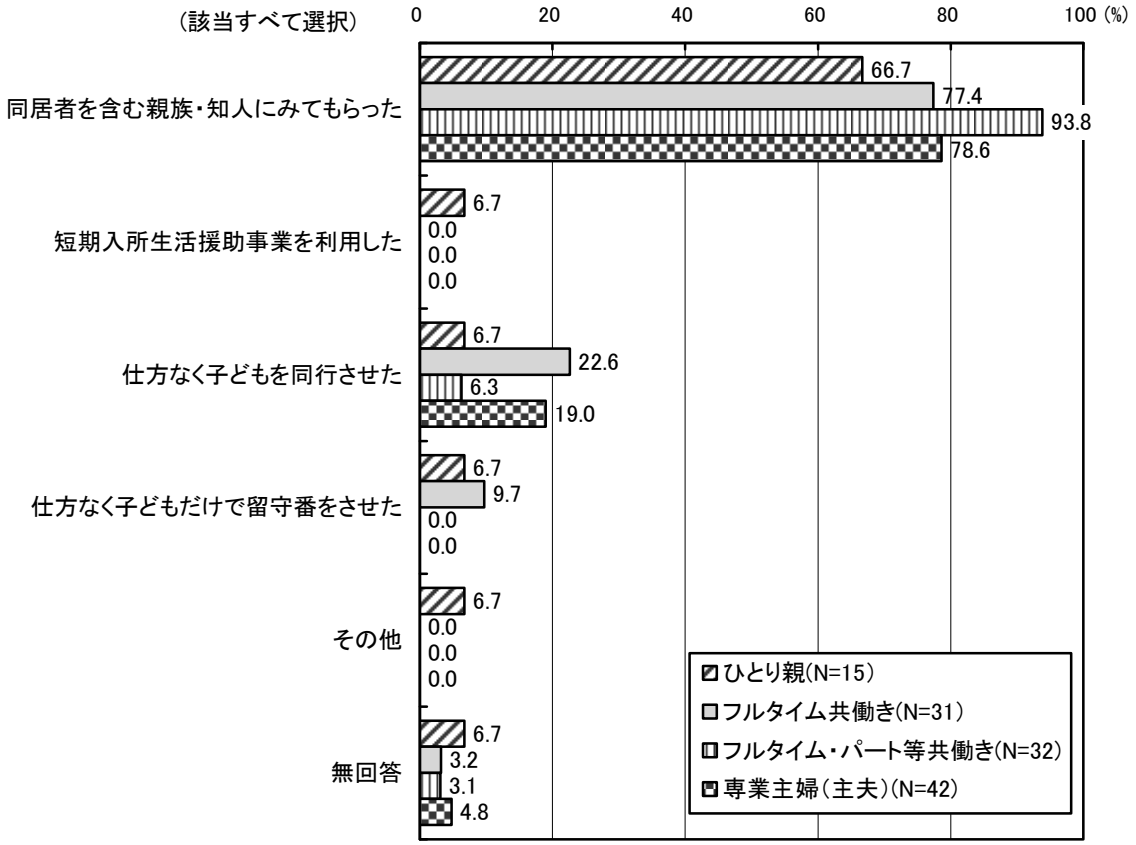
■対処方法別・子どもの学年別　１年間に宿泊した日数の平均

対処方法	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	15件	20件	17件	18件	17件	11件
	16.7日	9.1日	20.4日	4.1日	4.7日	2.5日
イ. 短期入所生活援助事業を利用した	0件	0件	1件	0件	0件	0件
	0日	0日	5.0日	0日	0日	0日
エ. 仕方なく子どもを同行させた	0件	2件	5件	2件	4件	2件
	0日	2.0日	1.6日	16.0日	2.5日	2.0日
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0件	0件	0件	1件	1件	1件
	0日	0日	0日	200日	1日	2.0日
カ. その他	0件	1件	0件	0件	0件	0件
	0日	2.0日	0日	0日	0日	0日

注)件数は、日数の無回答を除きます。

●親の就労状況等による世帯類型別では、どの世帯も「同居者を含む親族・知人にみてもらった」率が最も高く、特にフルタイム・パート等共働き世帯では90%を超えています。また、フルタイム共働き世帯では、「仕方なく子どもを同行させた」が22.6%となっています。「短期入所生活援助事業を利用した」は、ひとり親世帯のみが上げ、6.7%となっています。

■親の就労状況等による世帯類型別　対処方法



注）世帯類型の「その他」は1件で、「親族・知人にみてもらった」が100%となっています。また、選択肢の「短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した」は該当がないため省略しています。

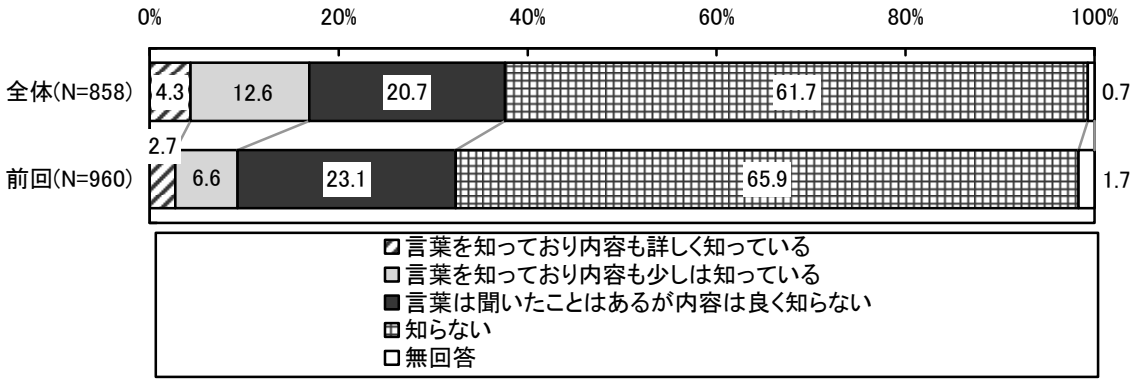
６　仕事と子育ての両立支援について

①　「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況

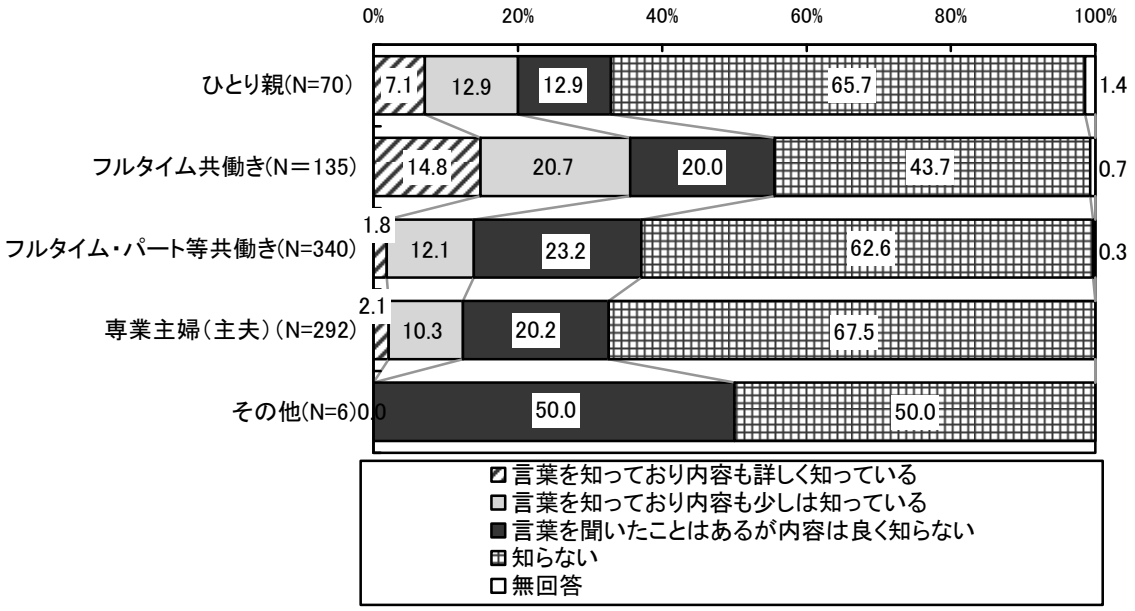
問５　あなたは、「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。（１つだけ○）

●全体では、「言葉を知っており内容も詳しく知っている」が4.3%、「言葉を知っており内容も少しは知っている」が12.6%で、前回調査のそれぞれ2.7%、6.6%より認知度が高くなっています。
●親の就労状況による世帯類型別では、「言葉を知っており内容も詳しく知っている」及び「言葉を知っており内容も少しは知っている」は、フルタイム共働き世帯がそれぞれ14.8%、20.7%で最も高くなっていますが、「知らない」が43.7%となっています。

■「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況／前回調査との比較



■親の就労状況等による世帯類型別　「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の認知状況

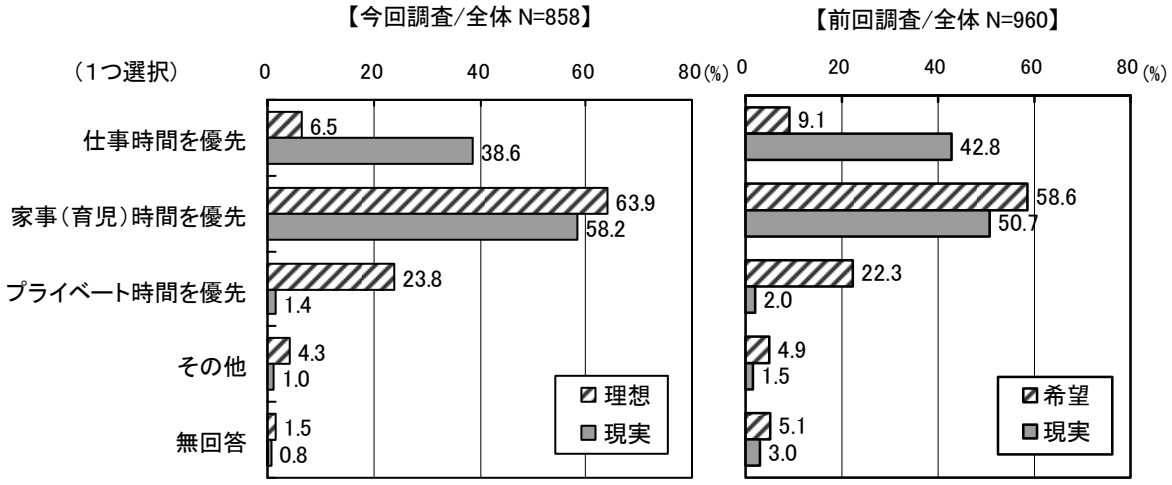


②　生活の中での優先度

問６　生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）やプライベートの生活時間」の何を優先しますか。≪現実≫と≪理想≫のそれぞれについて、お答えください。（もっとも優先するもの１つだけ○）

- 「家事（育児）時間を優先」は、現実の58.2%と理想の63.9%は大きな違いはありませんが、「仕事時間を優先」は現実が38.6%に対して理想が6.5%、「プライベート時間を優先」は理想が23.8%に対して現実は1.4%で、プライベート時間がとれず仕事優先になっている現実があります。
- 前回調査に比べて大きな違いはありません。

■生活の中での優先度／前回調査との比較



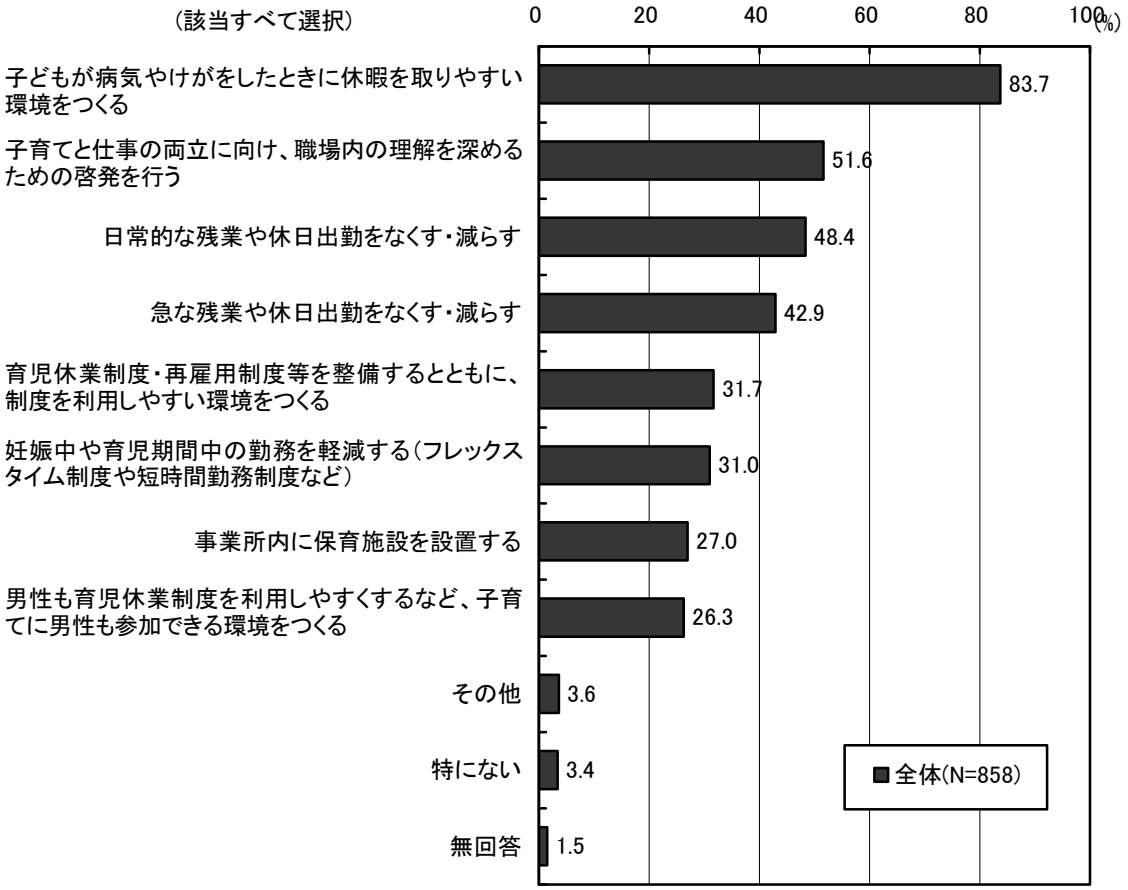
③　子育てと仕事の両立支援として企業に期待すること

問７　子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。
（あてはまるものすべてに○）

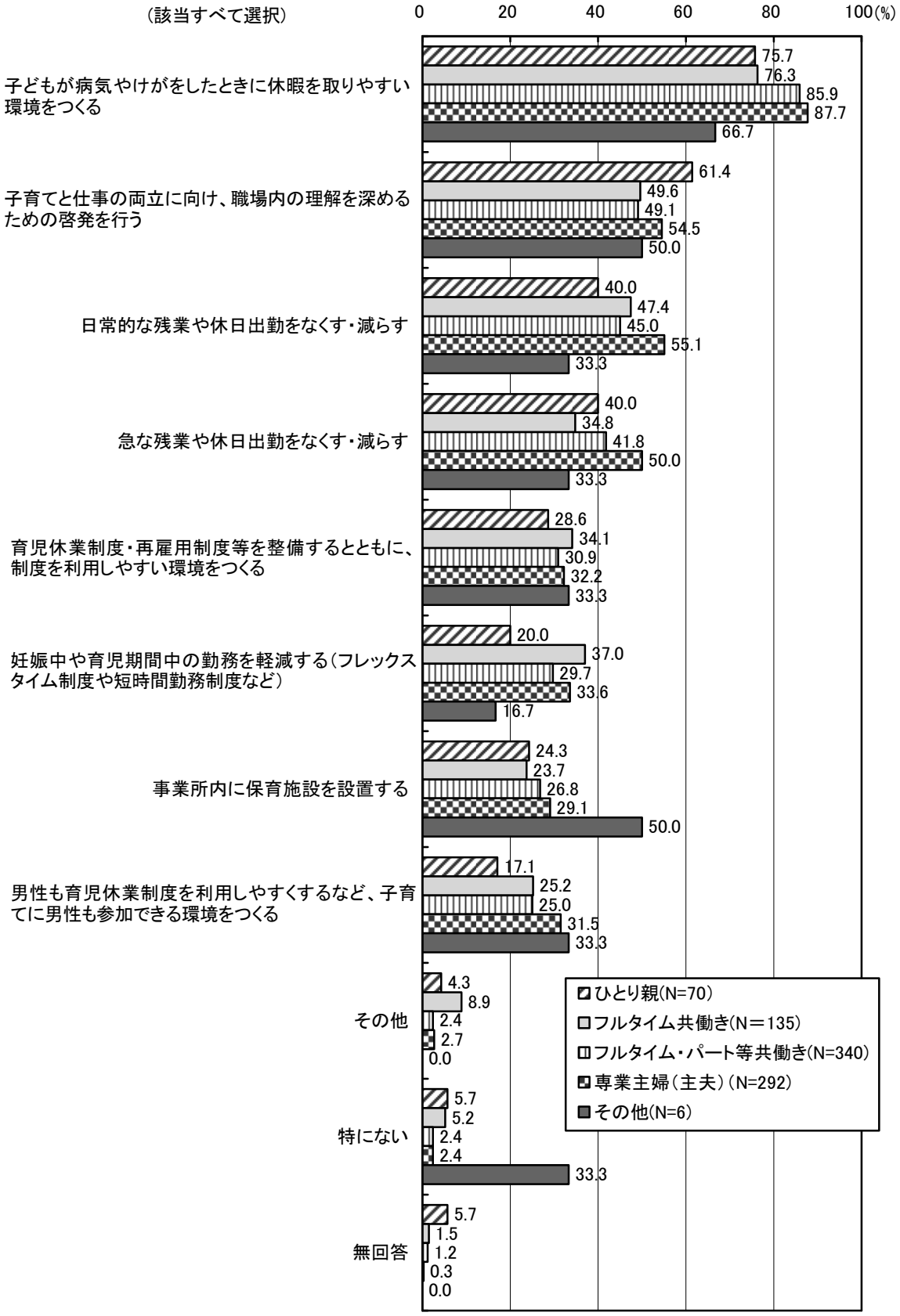
●子育てと仕事の両立支援として企業に期待することは、全体では「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」が83.7%で第１位、次いで「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」（51.6%）、「日常的な残業や休日出勤をなくす・減らす」（48.4%）、「急な残業や休日出勤をなくす・減らす」（42.9%）などとなっています。

●就労状況等による世帯類型別では、どの世帯も子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」が第１位となっていて、特に専業主婦（主夫）及びフルタイム・パート等共働き世帯が85%を超えて高くなっています。また、ひとり親世帯は「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が、フルタイム共働き世帯は「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）」が、それぞれ高くなっています。

■子育てと仕事の両立支援として企業に期待すること



■親の就労状況等による世帯類型別　子育てと仕事の両立支援として企業に期待すること



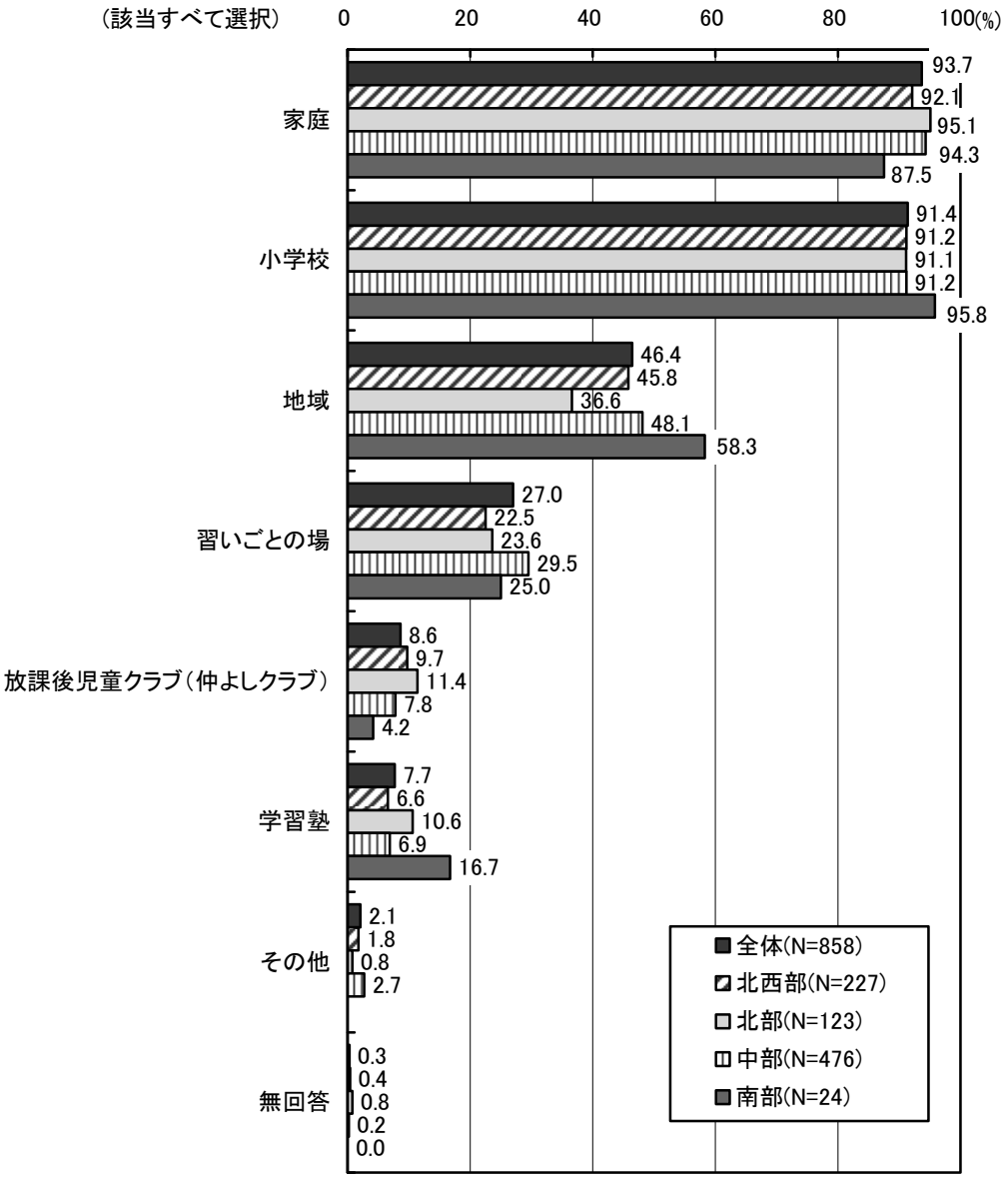
7　子どもの育ちをめぐる環境について

①　子育てに大きく影響すると思われる環境

問13　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

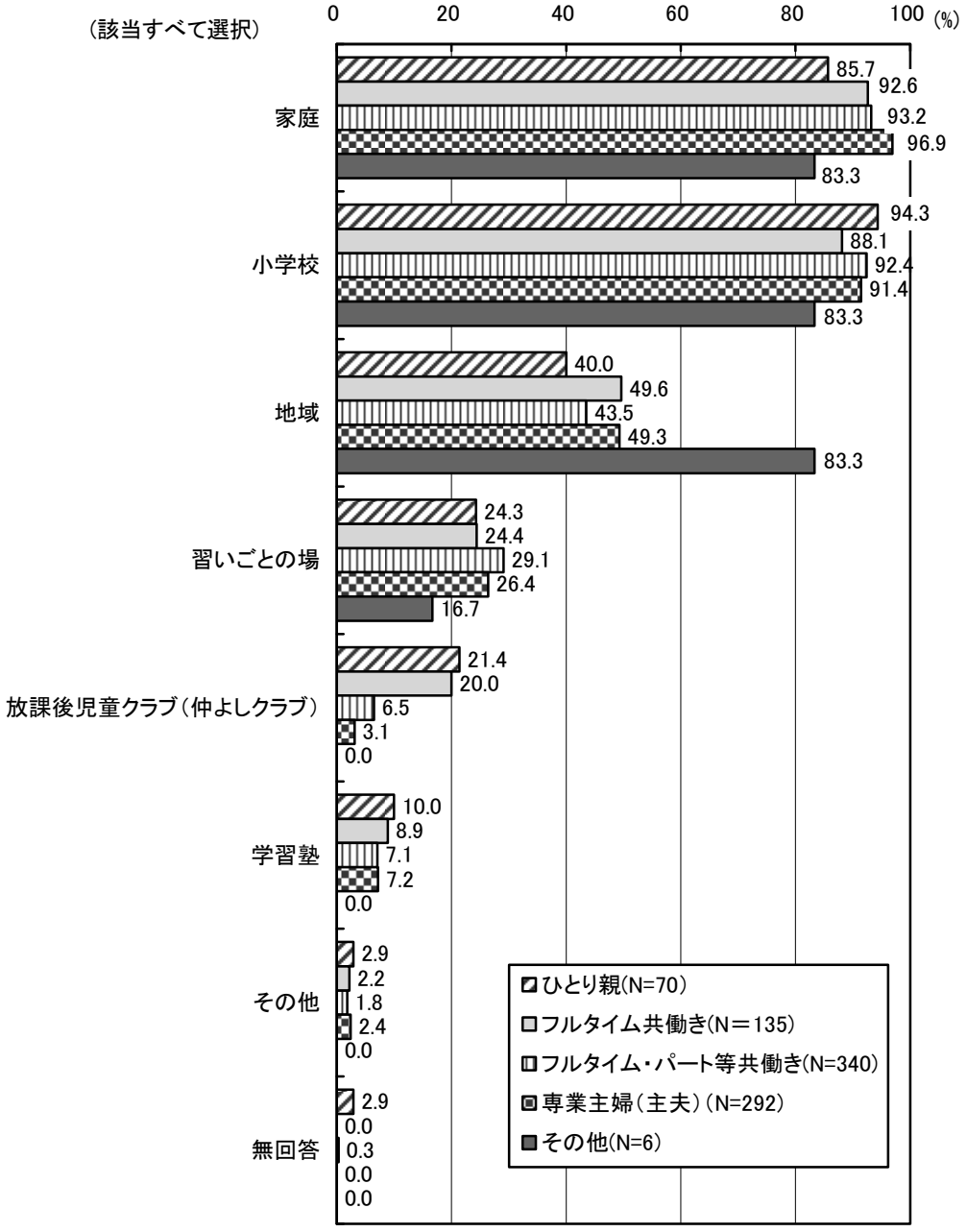
- 子育てに大きく影響すると思われる環境は、「家庭」が93.7%で最も高く、次いで「小学校」が91.4%で僅差で続き、他には「地域」が46.4%などとなっています。
- 地域別では、「地域」は南部は58.3%で最も高く、北部は36.6%で、就学前と同様に他地域より低くなっています。

■地域別　子育てに大きく影響すると思われる環境



●親の就労状況等による世帯類型別では、ひとり親世帯を除いて「家庭」が第１位で、ひとり親世帯は「小学校」が第１位となっています。また、その他世帯は「家庭」とともに「地域」「小学校」が同率となっています。

■親の就労状況による世帯類型別　子育てに大きく影響すると思われる環境

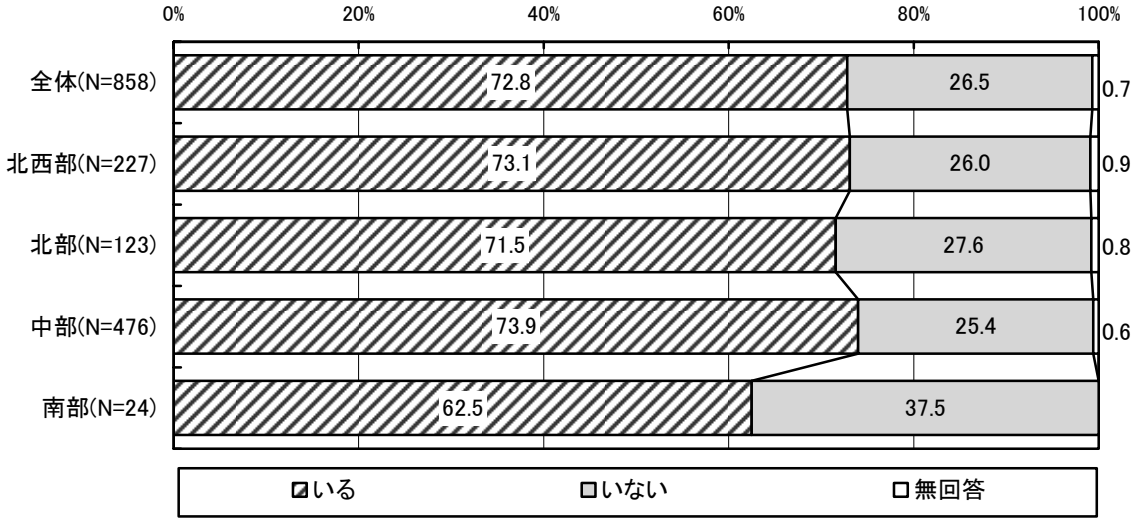


②　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無

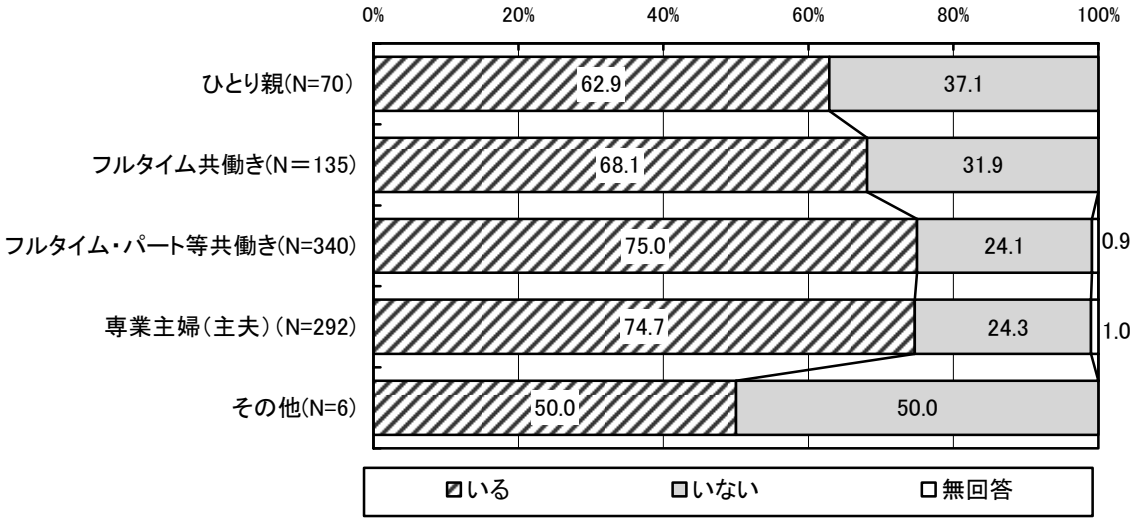
問14　お住まいの近くで日常的にちょっとした子どもの世話や世間話をする人はいますか。（どちらかに○）

●全体では、近所で日常的にちょっとした子どもの世話や世間話をする人の有無は、「いる」が72.8%で、就学前と同程度となっています
●地域別では、「いない」率は、南部が37.5%で最も高く、他の地域は25～28%で大きな違いはありません。
●親の就労状況等による世帯類型別では、「いない」率は、ひとり親、フルタイム共働き世帯がそれぞれ37.1%、31.9%で、他の世帯より高くなっています。

■地域別　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無

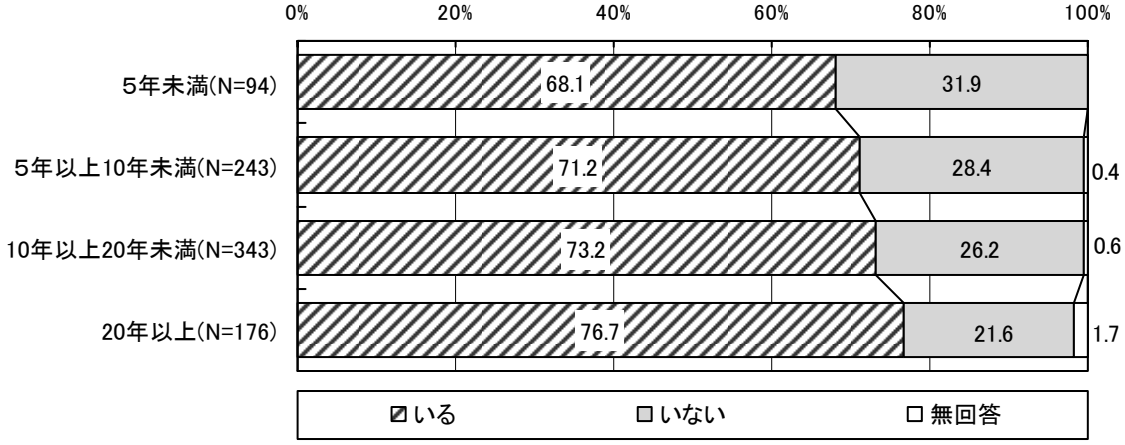


■親の就労状況等による世帯類型別　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無



●居住年数との関係では、「いない」率は、就学前と同様に、居住年数が５年未満の人が31.9%で最も高く、居住年数が長くなるほど率が低下しています。

■居住年数別　近所で日常的に子どもの世話や世間話をする人の有無

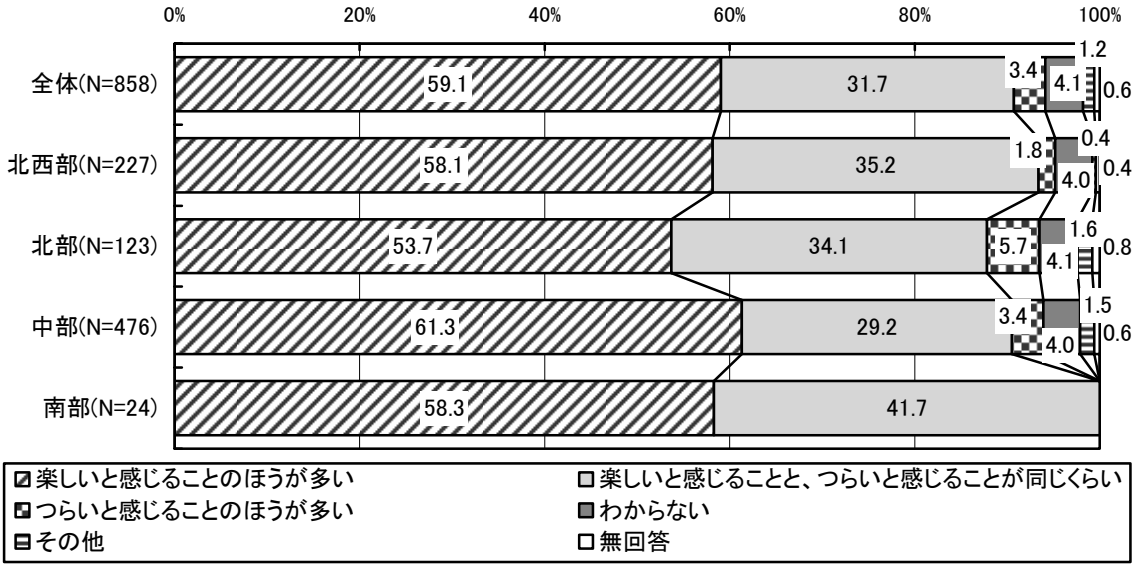


③　子育てが楽しいかどうか

問15　子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。
（１つだけ○）

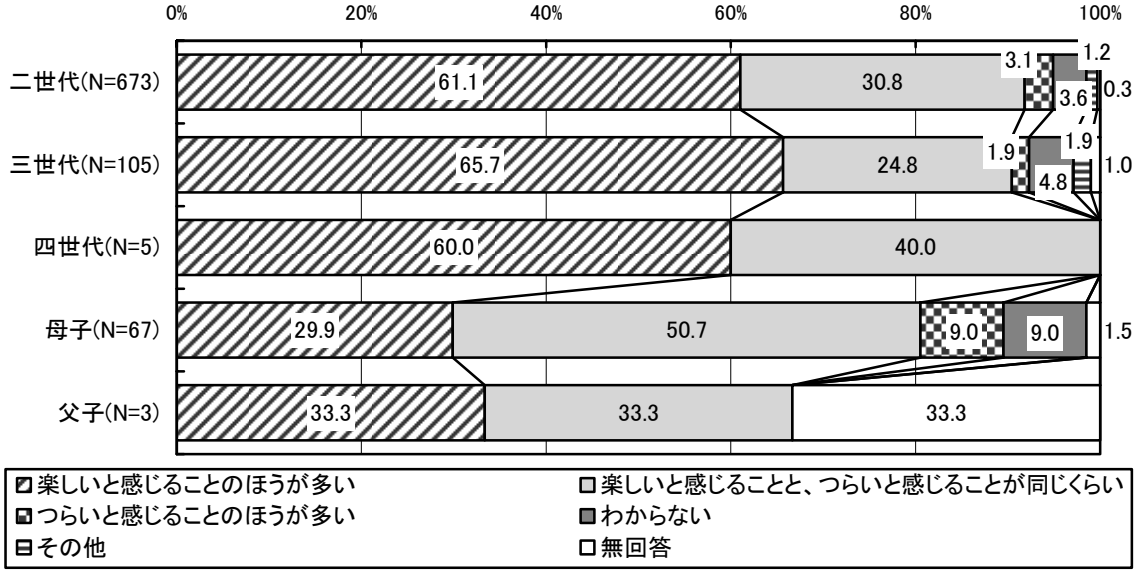
●全体では、子育てが「楽しいと感じることのほうが多い」は、59.1%と半数以上です。「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が31.7%で、「つらいと感じることのほうが多い」は3.4%となっています。
●地域別では、「つらいと感じることのほうが多い」率は北部が5.7%、中部が3.4%、北西部が1.8%、南部が該当なしとなっています。

■地域別　子育てが楽しいかどうか

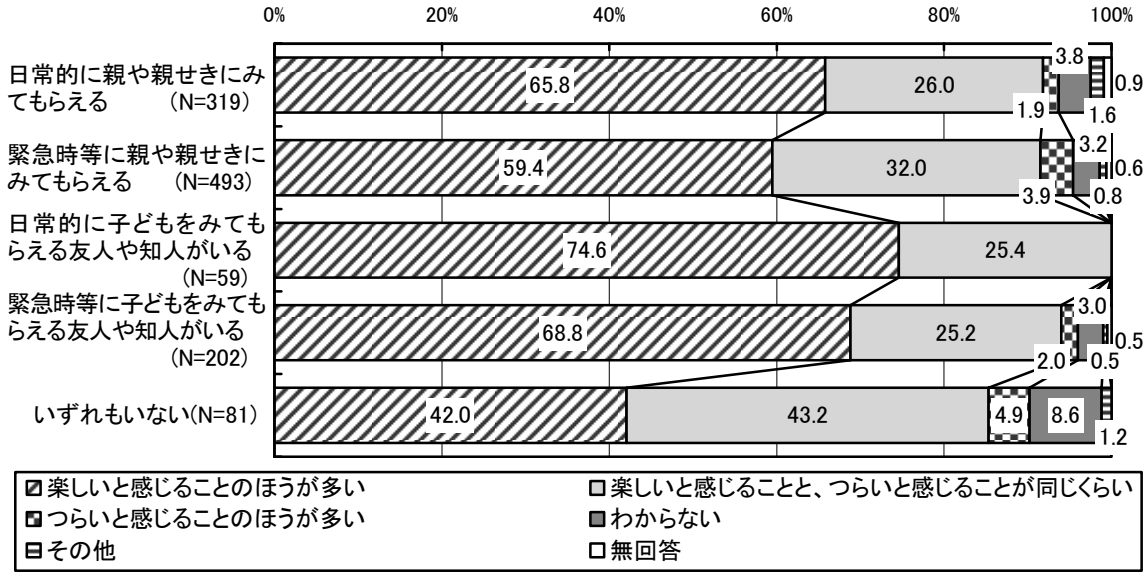


● 「つらいと感じることのほうが多い」率は、母子家庭では9.0%と高くなっています。また、日頃、子どもの面倒をみてもらえる親や友人、知人がいずれもいない人は、「つらいと感じることのほうが多い」率が4.9%で、いる人と比べて特に高くはありませんが、「楽しいと感じることのほうが多い」が42.0%と低くなっています。子育てに関して気軽に相談できる人や場所の有無別では、「つらいと感じることのほうが多い」率は、いない／ない人が9.7%で、いる／ある人の2.8%よりも高くなっています。

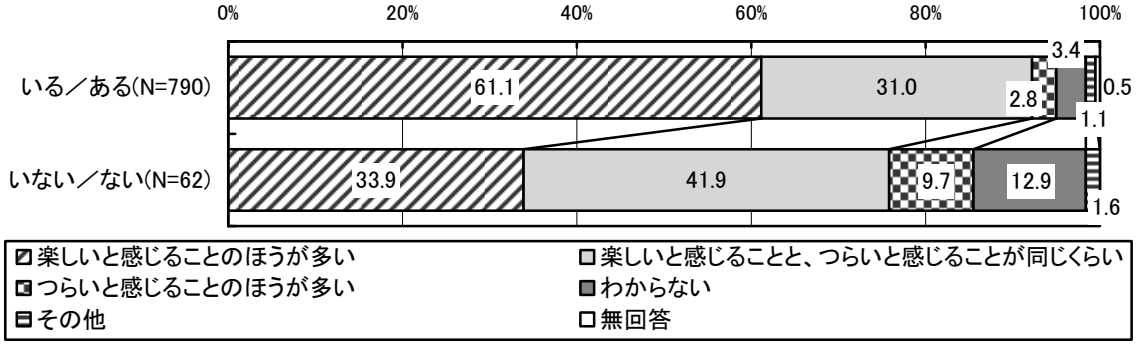
■同居世帯類型別　子育てが楽しいかどうか



■日頃子どもの面倒をみてもらえる人の有無別　子育てが楽しいかどうか



■子育てに関して気軽に相談できる人、場所の有無別　子育てが楽しいかどうか

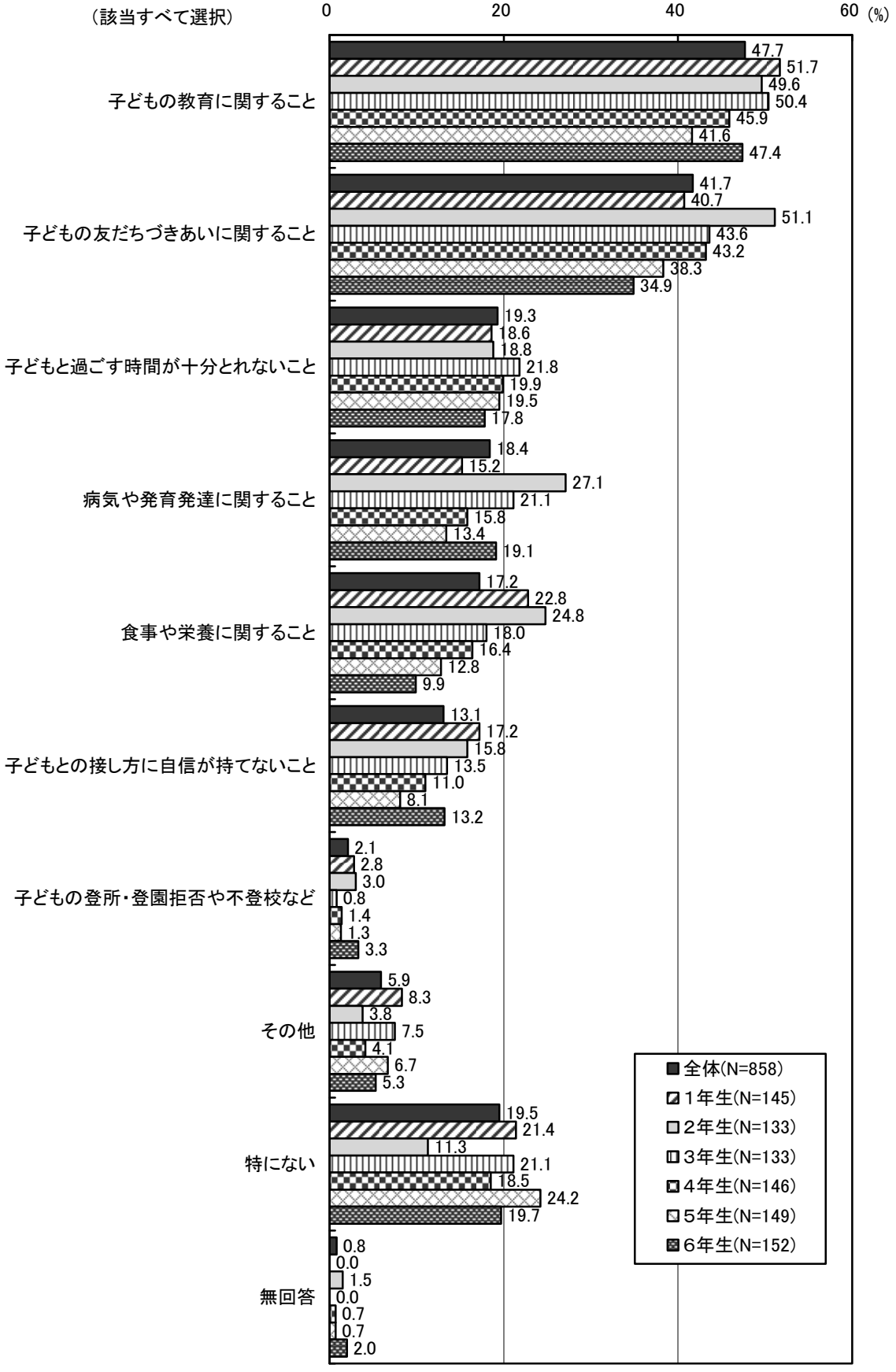


④　子育ての悩みや気になること

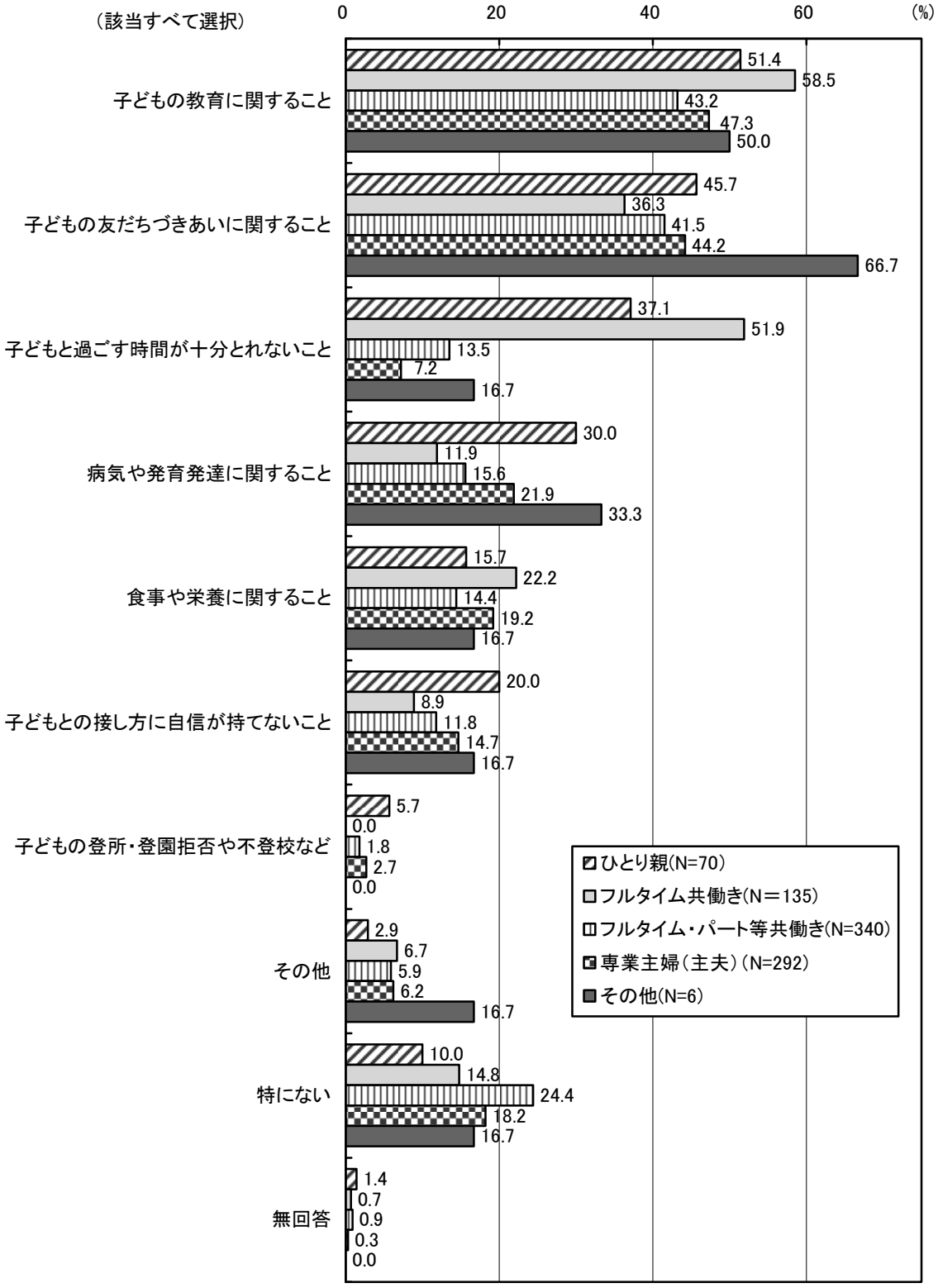
問16　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）
（１）子どもに関すること　　（２）ご自身に関すること

- 子育てに関して日常悩んでいることや気になることは、「子どもの教育に関すること」が第１位で47.7%とおよそ半数が上げています。次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」（41.7%）などとなっています。
- 子どもの学年別では、各項目で低学年のほうがおおむね上げる率が高くなっていますが、どの学年も「子どもと過ごす時間が十分とれないこと」が20%前後で、大きな違いはありません。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、ひとり親やその他の世帯では「病気や発育発達に関すること」や「子どもの接し方に自信が持てないこと」が他の世帯より高くなっています。その他の世帯は「子どもの友だちづきあいに関すること」が特に高くなっています。共働き世帯は「子どもと過ごす時間が十分とれないこと」や「子どもの教育に関すること」が他の世帯より高くなっています。

■子どもの学年別　子どもに関することで悩んでいること、気になること



■親の就労状況等による世帯類型別　子どもに関することで悩んでいること、気になること

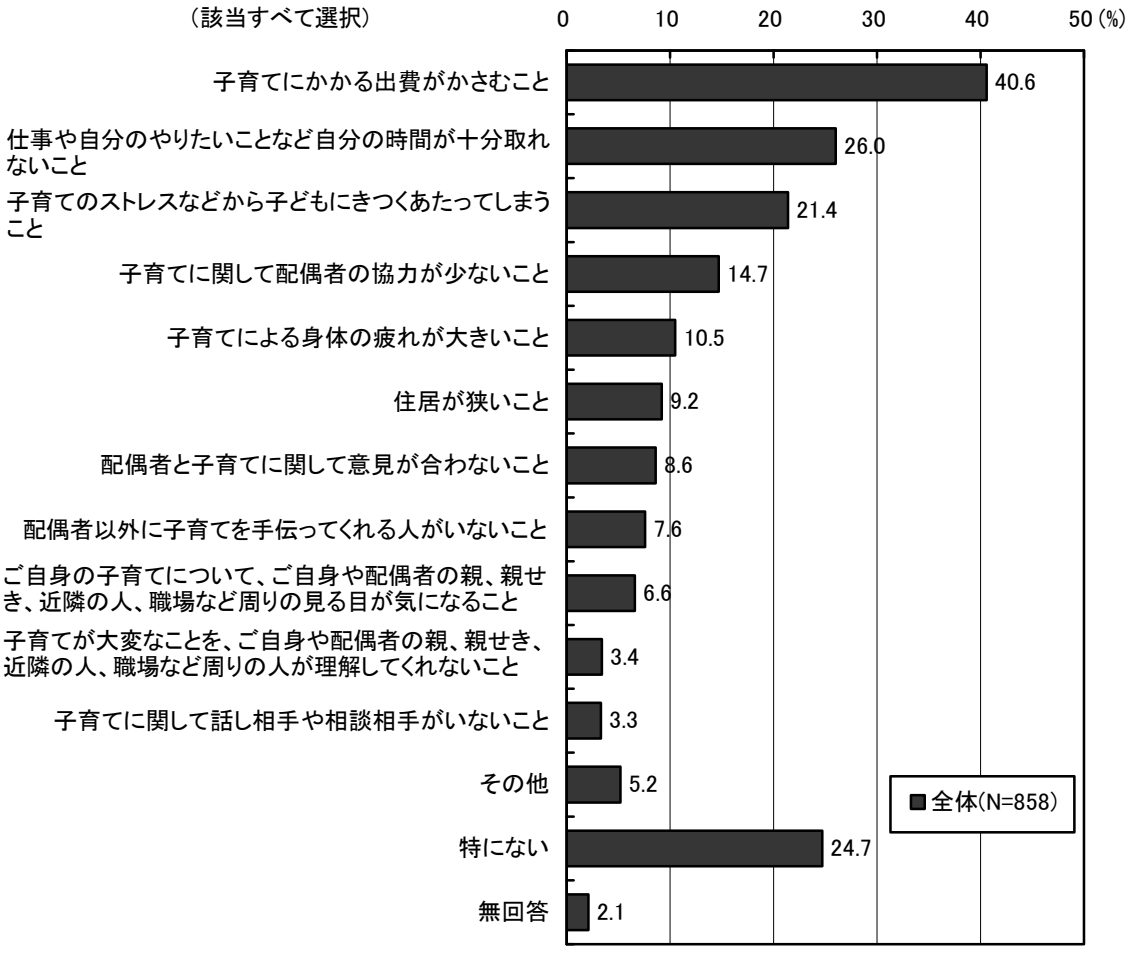


●自分自身に関することでは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が40.6%で第１位、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」（26.0%）、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」（21.4%）などで、順番は違いますが、就学前と同じ項目が上がっています。

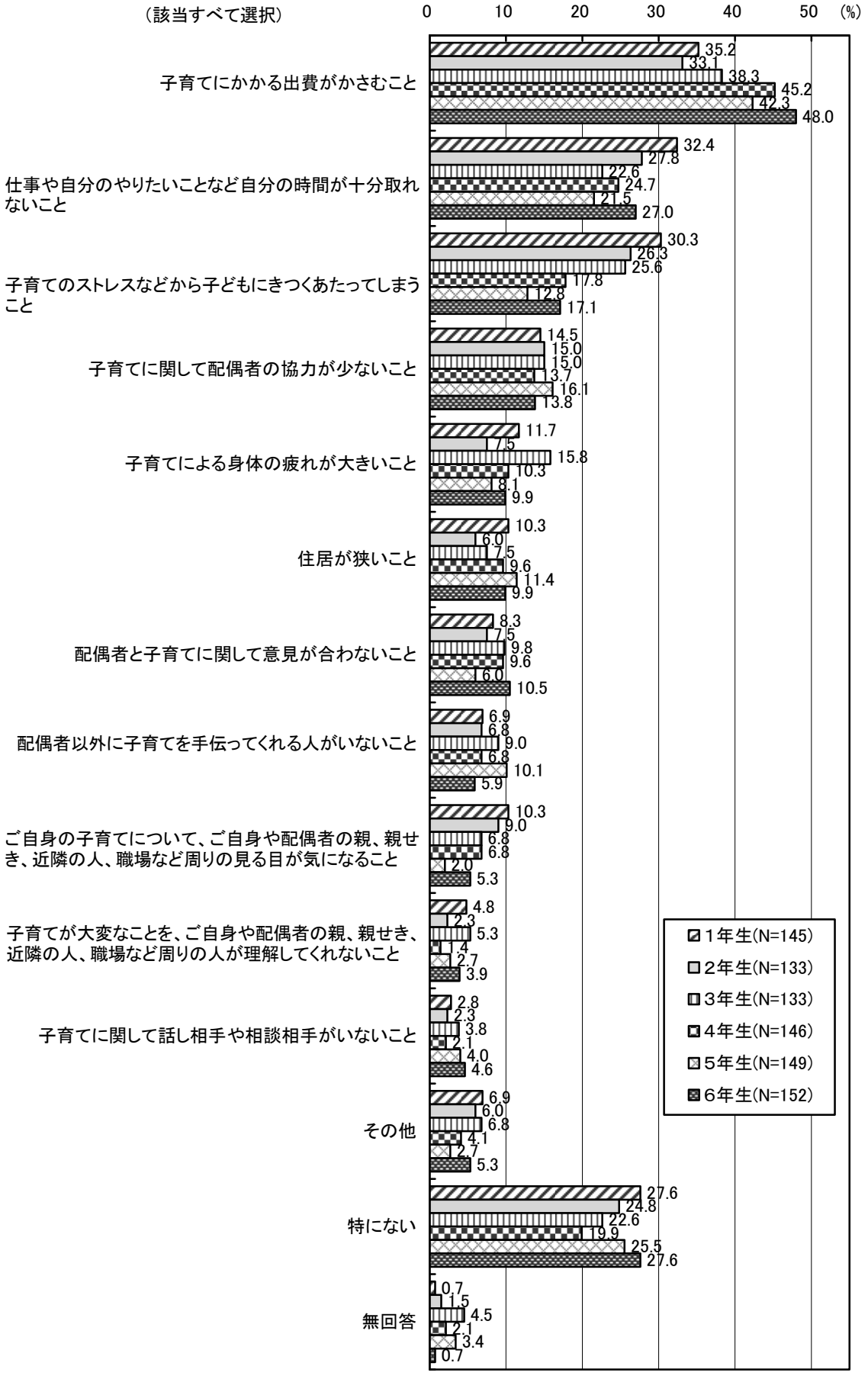
●子どもの学年別では、「子育てにかかる出費がかさむこと」は高学年になると40%を超え、６年生では48.0%とおよそ半数が上げています。「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」は１年生が32.4%で最も高く、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまう」は低学年が高くなっています。

●親の就労状況等による世帯類型別では、「子育てにかかる出費がかさむこと」はひとり親世帯では48.6%とおよそ半数が上げて高くなっています。また、ひとり親世帯では、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」や「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」などが高くなっています。フルタイム共働き世帯では、ひとり親世帯とともに「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が30%を超えて高くなっています。

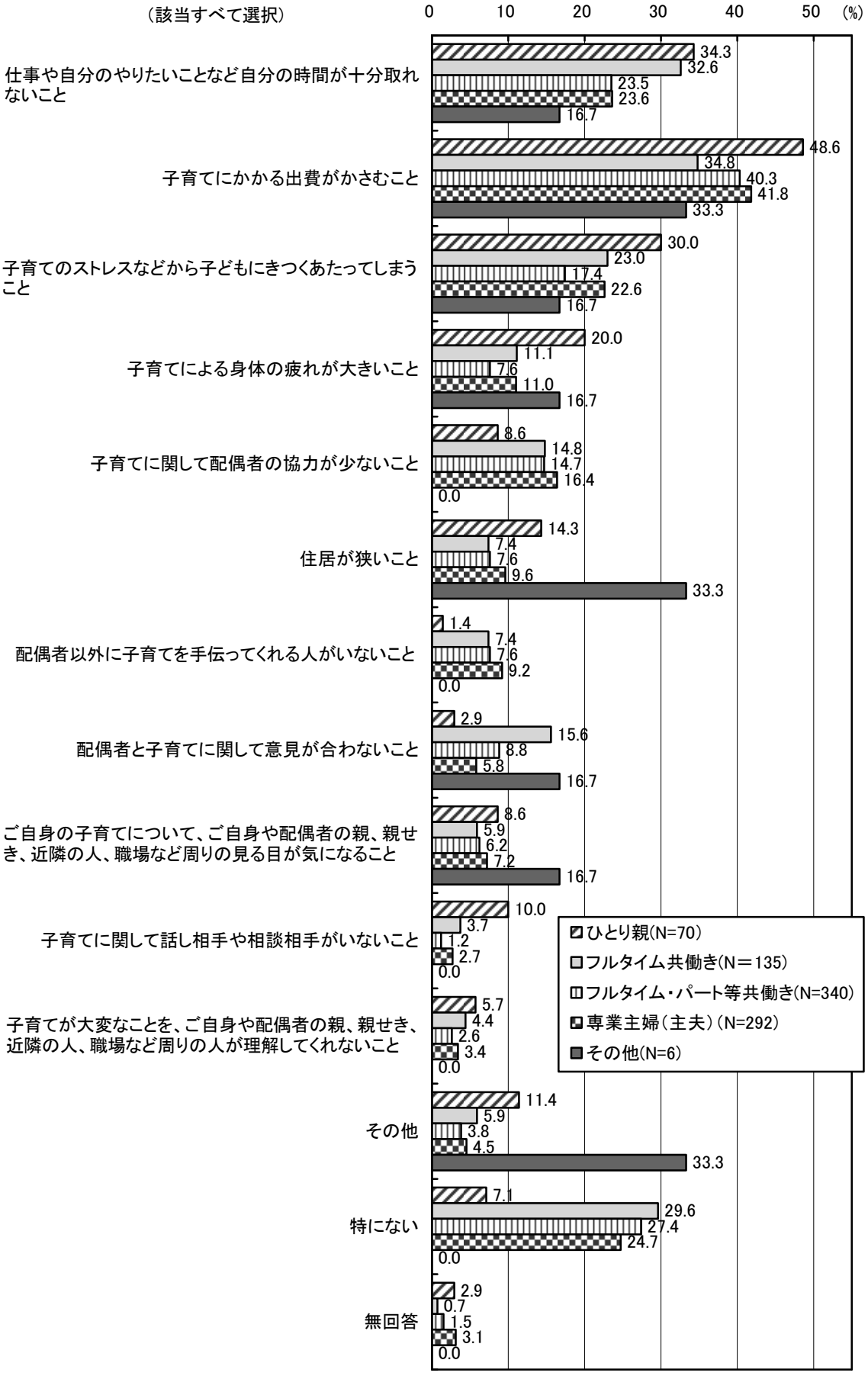
■自分自身に関することで悩んでいること、気になること



■子どもの学年別　自分自身に関することで悩んでいること、気になること



■親の就労状況等による世帯類型別　自分自身に関することで悩んでいること、気になること

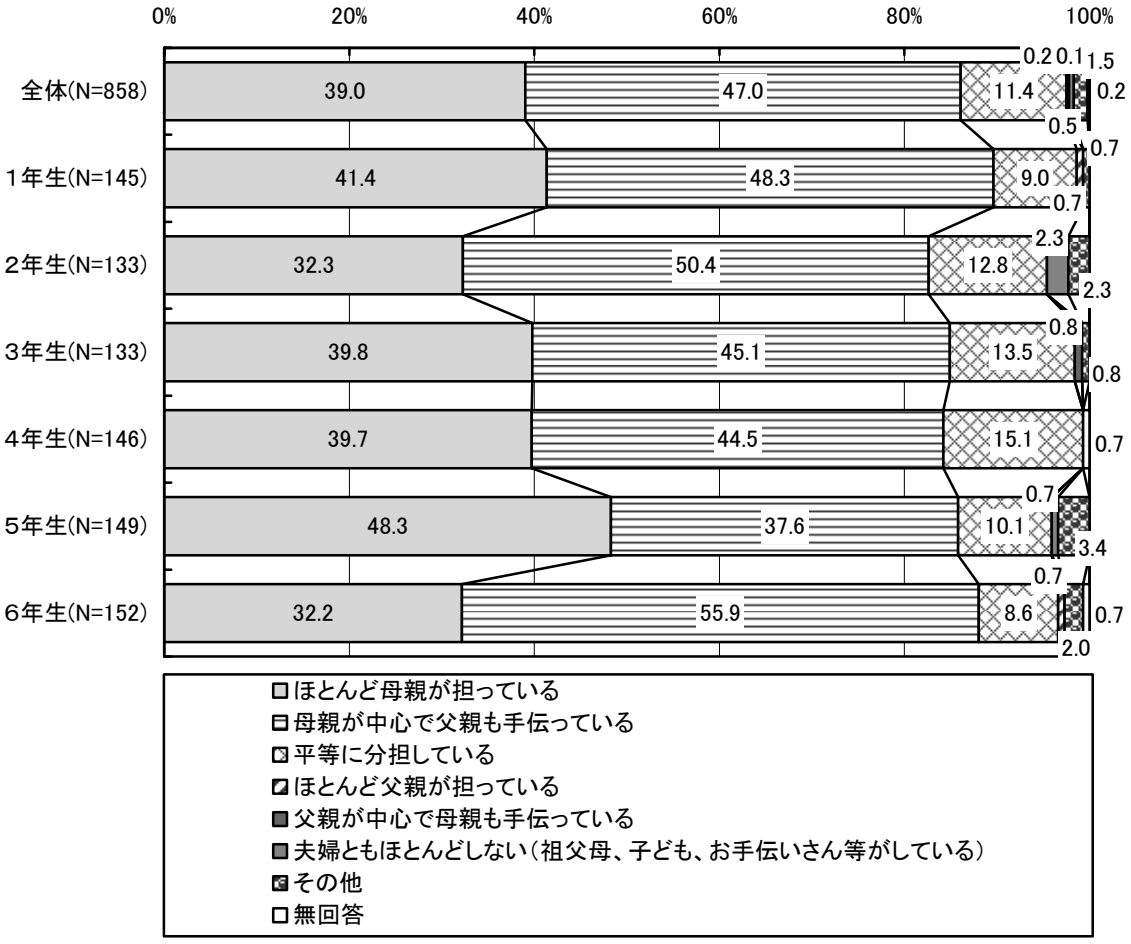


⑤　子育ての役割分担

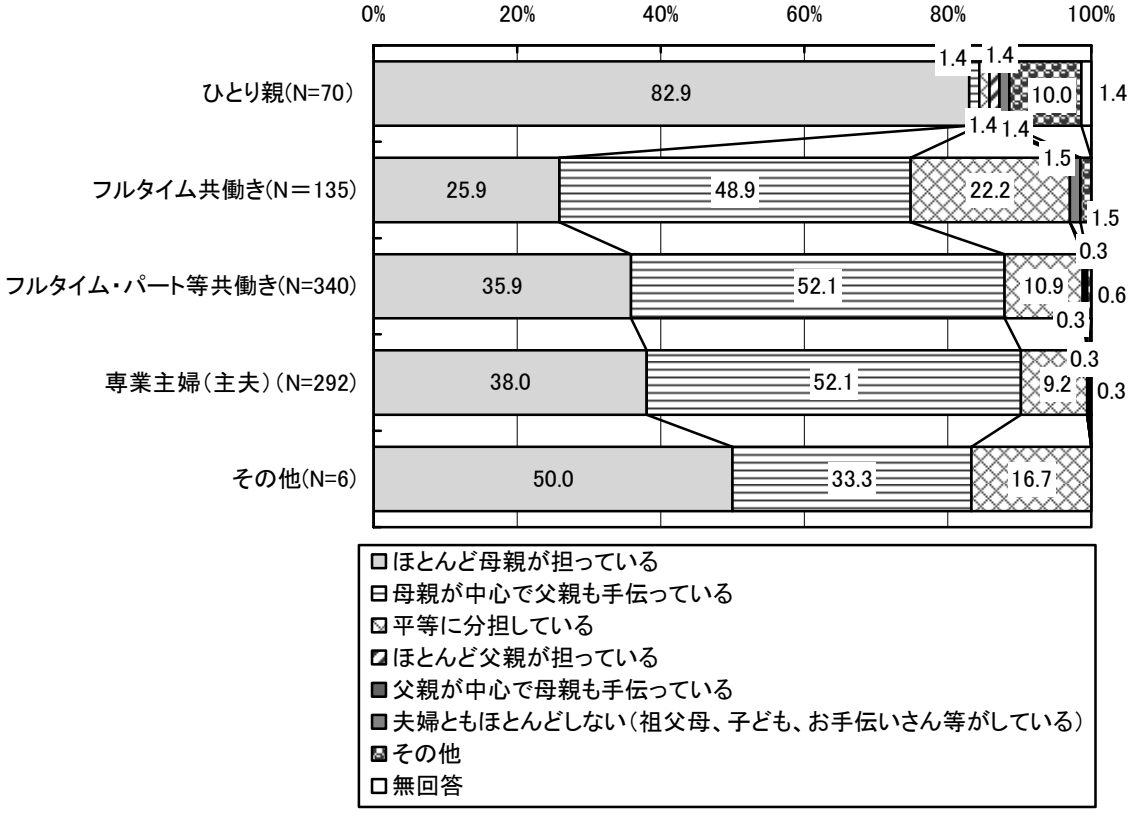
問17　あなたのご家庭では、子育ての役割をどのように担っていますか。（１つだけ○）

- 全体では、子育ての役割分担は、「母親が中心で父親も手伝っている」が47.0%で最も高く、次いで「ほとんど母親が担っている」が39.0%などとなっていて、母親中心が90%程度となっています。また、「平等に分担している」は11.4%で、就学前より3.2ポイント高くなっています。
- 子どもの学年別では、「平等に分担している」は、４年生が15.1%で若干高くなっています。
- 親の就労状況等による世帯類型別では、「平等に分担している」は、フルタイム共働き世帯が22.2%と高くなっています。

■子どもの学年別　子育ての役割分担



■親の就労状況等による世帯類型別　子育ての役割分担

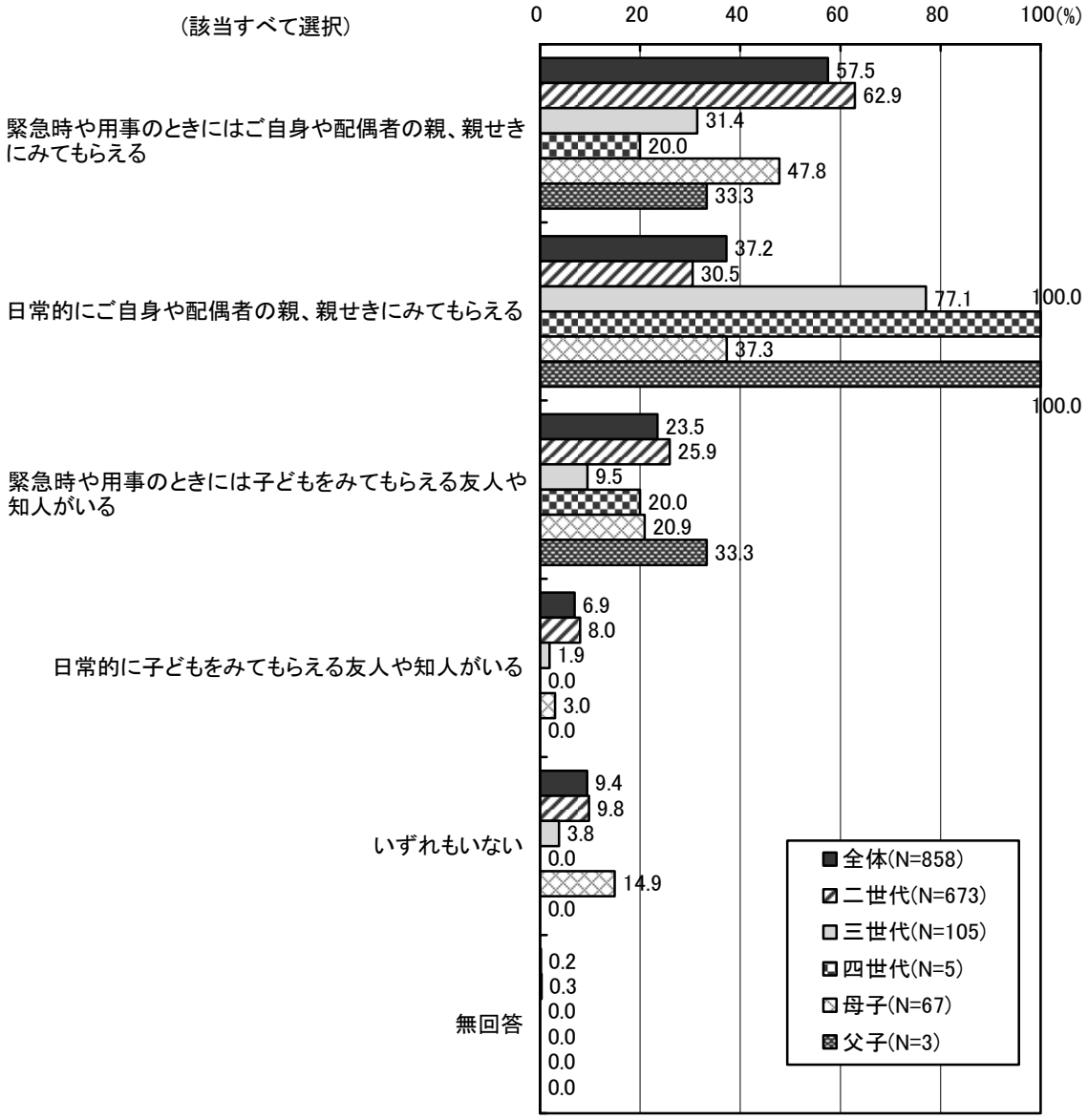


⑥　子どもの面倒をみてもらえる人の有無と状況

問18　日頃、あて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

- 全体では、日頃、子どもの面倒をみてもらえる人がいる率は、「いずれもいない」及び無回答を除くと90.4%です。そのうち、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が37.2%、「日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」は6.9%となっています
- また、「緊急時や用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」は57.5%、「緊急時や用事のときには子どもをみてもらえる友人や知人がいる」は23.5%となっています。日常的や緊急時の用事のときの友人や知人のいる率は、就学前に比べて高くなっています。
- 同居世帯類型別では、「いずれもいない」率は、母子家庭が14.9%と高くなっています。父子家庭は対象数が3件と少なく、該当なしとなっています。

■同居世帯類型別　子どもの面倒をみてもらえる人の有無

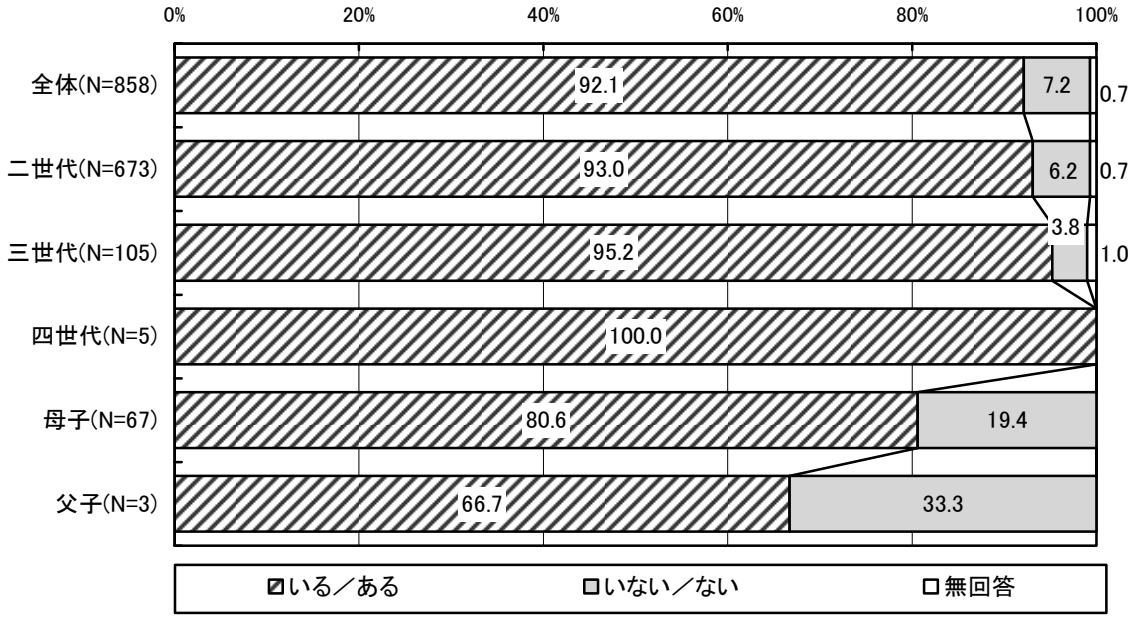


⑦　子育てに関しての相談相手・場所の有無

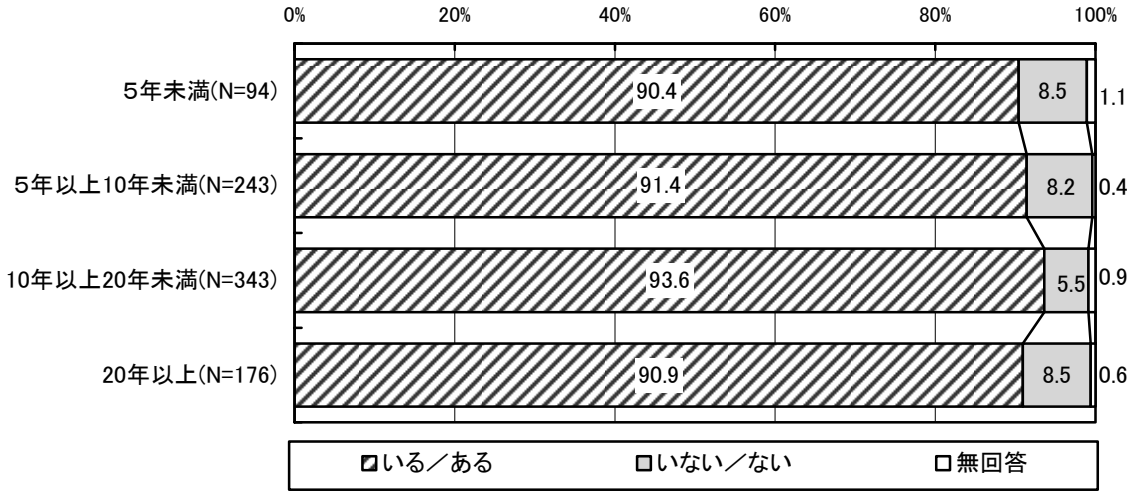
問19　子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（どちらかに○）

●全体では、子育てに関しての相談相手・場所の有無は、「いる／ある」が92.1%となっています。一方、「いない／ない」が7.2%となっています。
●「いない」率は、父子世帯が33.3%と高くなっています。また、居住年数との関係では、就学前と異なり、10年以上20年未満以外は８%台で同程度となっています。地域別では、就学前と同様に、南部が4.2%と他の地域と比べて若干低いものの、大きな違いはありません。

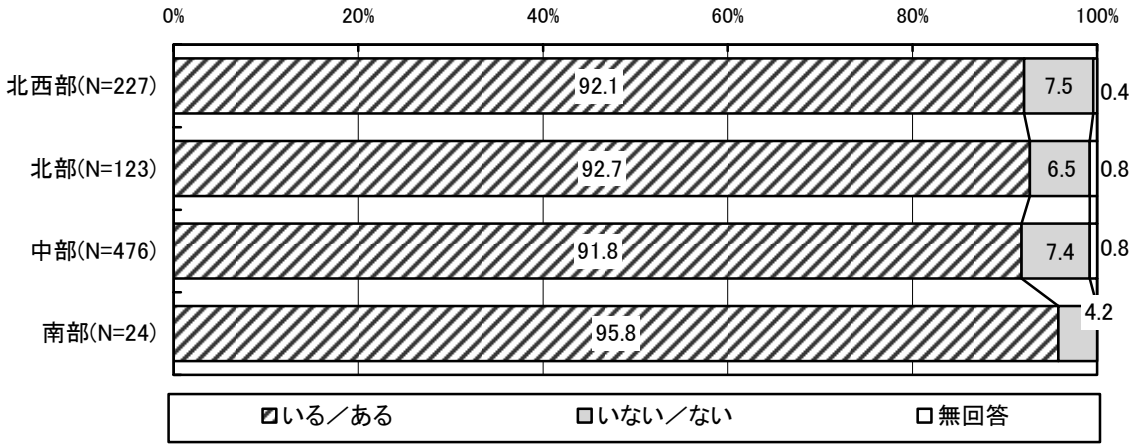
■同居の世帯類型別　子育てに関しての相談相手・場所の有無



■居住年数別　子育てに関しての相談相手・場所の有無



■地域別　子育てに関しての相談相手・場所の有無

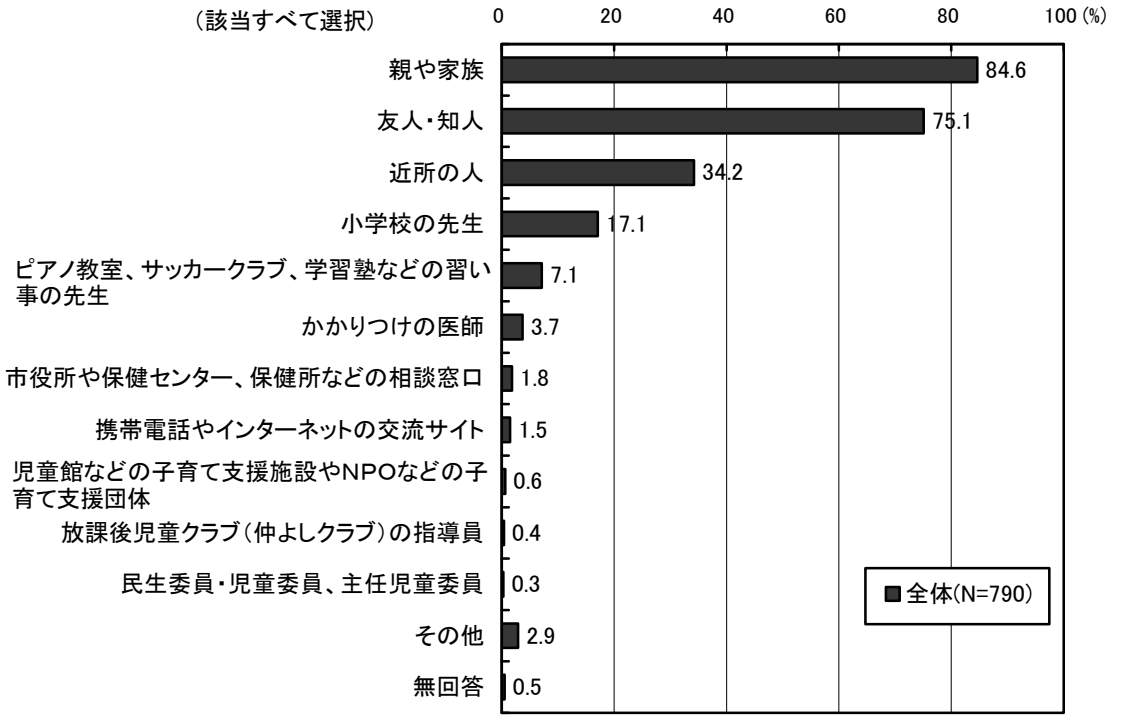


⑧　子育てに関しての相談相手・場所

問19-１　問19で「いる／ある」に○をつけた方におうかがいします。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

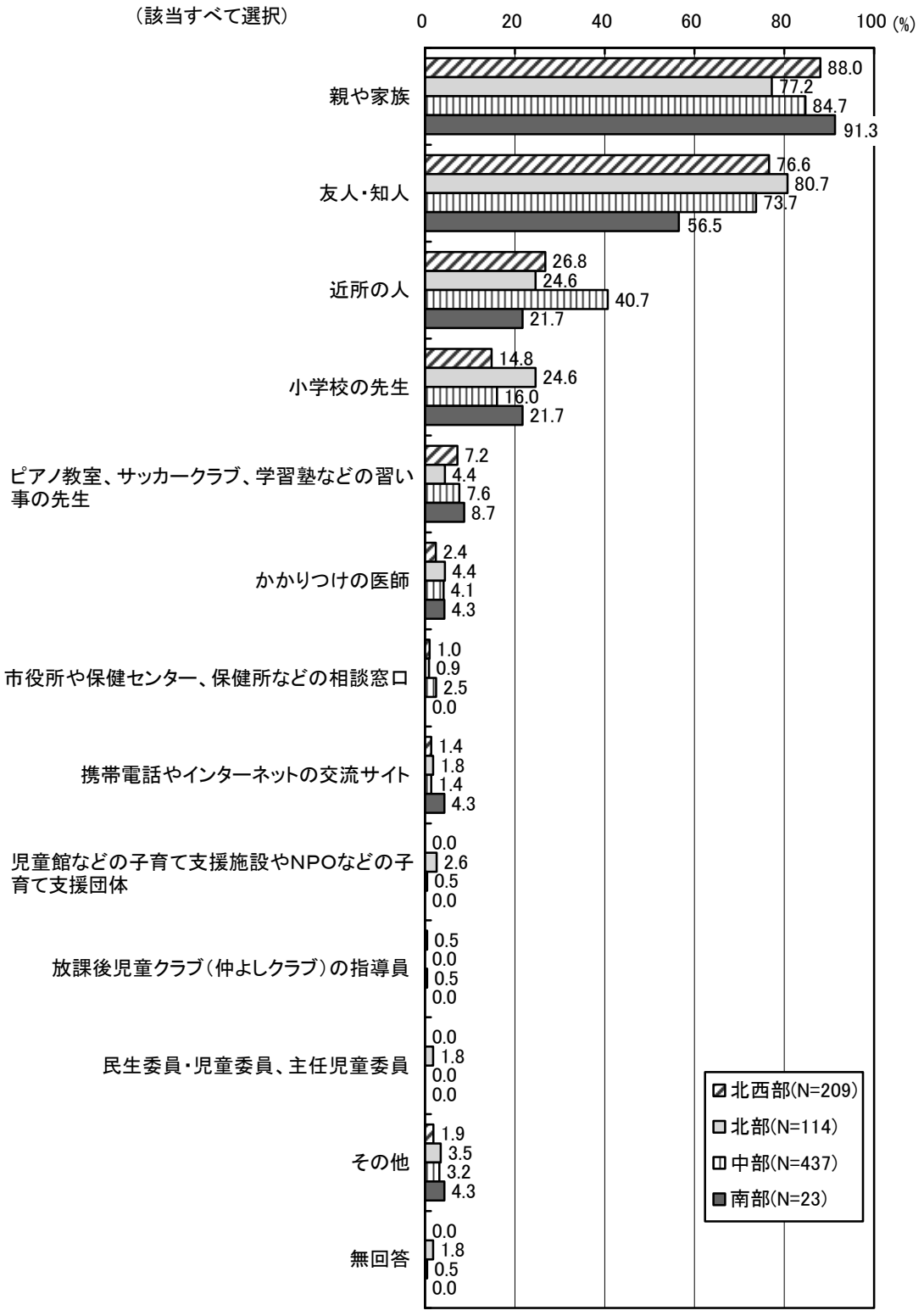
●全体では、子育てについての相談相手・場所は、「親や家族」が84.6%で最も高く、次いで「友人・知人」（75.1%）、「近所の人」（34.2%）、「小学校の先生」（17.1%）などとなっています。

■子育てに関しての相談相手・場所

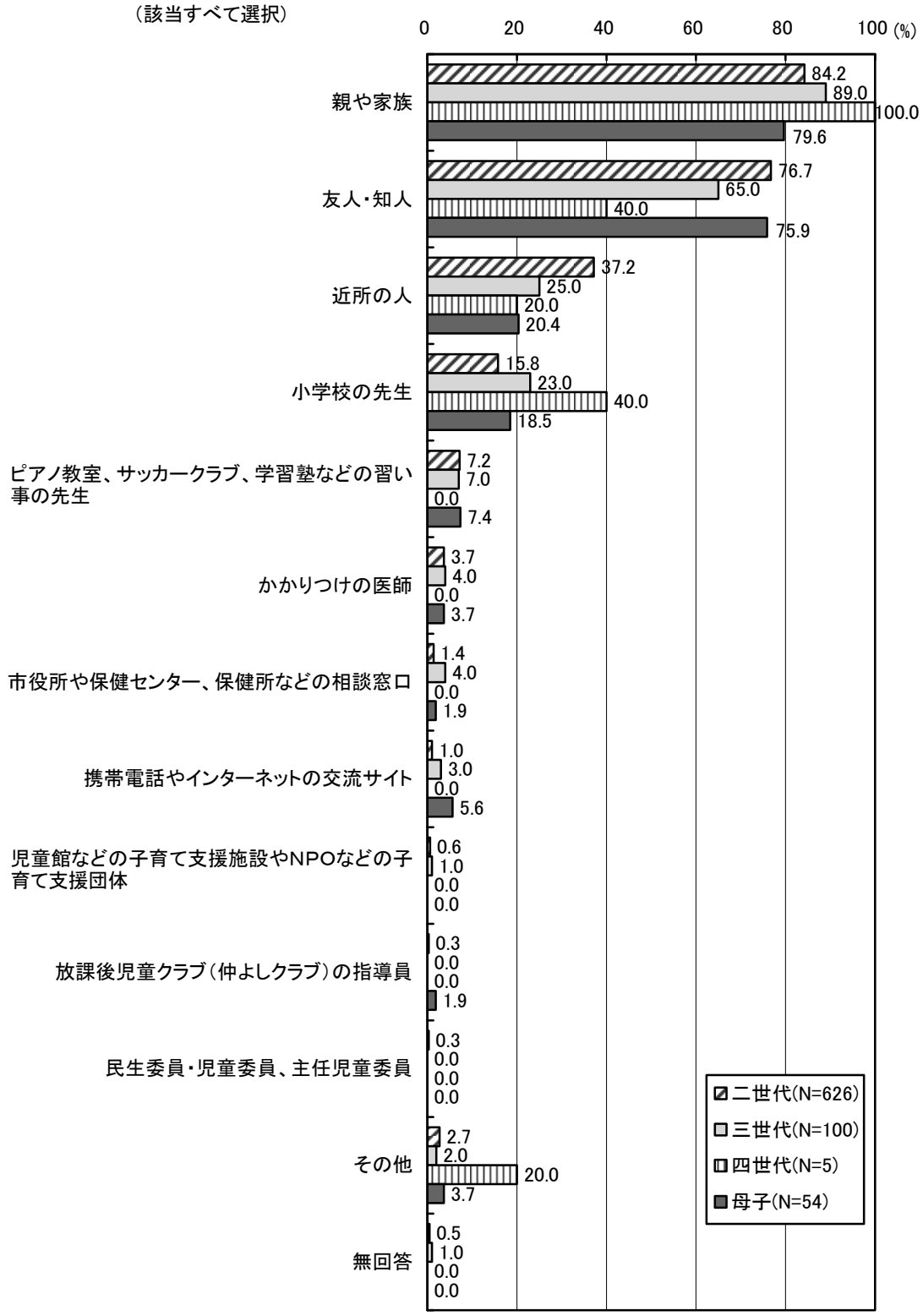


●地域別では、「近所の人」は、中部が40.7%で他地域に比べて高くなっています。
●同居世帯類型別では、「近所の人」は就学前と同様に、二世代世帯が高く37.2%となっています。母子家庭は「友人・知人」が二世代と共に75%を超えて高くなっています。

■地域別　子育てに関しての相談相手・場所



■同居世帯類型別　子育てに関しての相談相手・場所



注）父子世帯は２件と少ないため、省略しています。

⑨　子育てをする上であればよい支援

問20　すべての方におうかがいします。
　　子育てをする上で、どのような支援があればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

●回答者数は333人で、回答率は38.8%となっています。また、内容は、15の分野で合わせて372件となっていますが、その中では「経済的支援」が126件で最も多くなっています。

■分野別　件数

分　野	件数	分　野	件数
①経済的支援	126	⑨一時預かり	14
②放課後児童クラブ	40	⑩学校	11
③遊び場・公園・居場所・児童館	29	⑪病児・病後児保育	10
④教育・指導・学習支援	22	⑫就労支援・職場環境	9
⑤保育所・保育サービス等	19	⑬情報提供・広報	8
⑥相談	18	⑭医療	6
⑦交流・イベント	15	⑮その他	30
⑧安全・バリアフリー	15	計	372

■分野別　主な内容（抜粋）

分　野	内　　容
①経済的支援	
	●医療費の助成の年齢拡大。 ●小中学校での給食費の無料化。 ●児童手当の増額。 ●所得制限のない子どもに関する手当や助成。 ●学費の無償化。
②放課後児童クラブ	
	●仲よしクラブは６年生まで延長してほしい。 ●時間の延長。夏休みや冬休みは７時からにしてほしい。 ●夏休みや冬休みなどの長期休暇の一時利用。 ●内容の充実。学習やいろいろな経験をさせてもらえる場所であってほしい。
③遊び場・公園・居場所・児童館	
	●安全面で整備された遊び場や公共の公園をつくってほしい。 ●子どもが下校後にいつでも行きたい時に行ける集会室など。 ●ボール遊びのできる広いグラウンドや遊び場がほしい。 ●仲よしクラブのような場所が、家から近い場所にほしい。 ●放課後遊べる場所が少ない。安全な場所として学校を17時くらいまで開放してほしい。
④教育・指導・学習支援	
	●塾ではなく、学校を使って放課後勉強会などをしてくれる支援。 ●週に何回か勉強を教えてくれる場がほしい。（塾は高いので。） ●放課後や３季休暇中に、学校でスポーツや音楽・絵などを教えてくれる教室があればよい。 ●もっと手軽に安く通える近所の習い事の場がほしい。

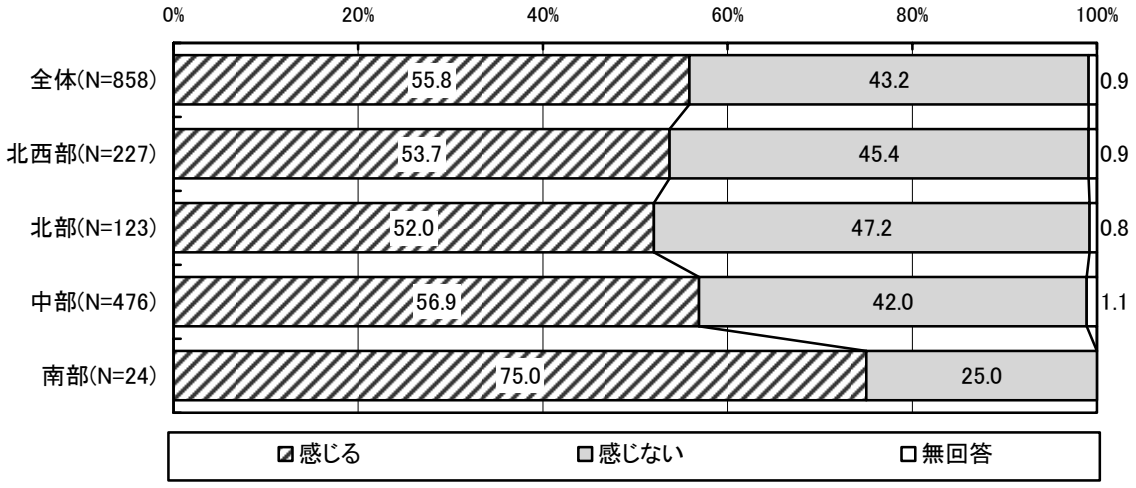
分　野	内　　容
⑤保育所・保育サービス等	
	●保育所の充実。（時間延長、待機児童解消） ●仲よしクラブ終了後、学校から自宅まで安全に送り届けてもらえるサービス。 ●ファミリー・サポート・センターの利用割引制度。
⑥相談	
	●気軽に発育や発達の教育相談をできる場があればよい。 ●いじめ問題等について気軽に相談できるサポート。 ●母親のカウンセリング。 ●心配ごとを相談できる場所を多くする。
⑦交流・イベント	
	●核家族化が進んでおり、親以外で子育てに関わる人がいないので、子どもが高齢者や同年代の子どもたちと関わる機会や、親をサポートする体制を整えてほしい。 ●同じ世代の子どもを持つ保護者が交流できる場。 ●無料で参加できる体験イベントが地区ごとにあればよい。（子どもと参加できる音楽鑑賞など）
⑧安全・バリアフリー	
	●集団で登下校できれば安心。 ●通学路などの安全。道が狭く、歩道がない。 ●子どもの登下校時に、見守り隊の人や警察のＯＢの方などが通学路に立ってもらえるとありがたい。
⑨一時預かり	
	●短時間子どもを預かってもらえるサービス。 ●公的機関での一時預かり。 ●緊急時に夜でも預かってもらえる体制。
⑩学校	
	●学習保障。 ●校区の見直しをしてほしい。 ●学習塾に行かなくても、しっかり実力がつくような公立小・中学校の質の向上。
⑪病児・病後児保育	
	●病気の時も看護師等がいる所で預かってもらえる。 ●子どもが病気をしていても、預けることができる施設の充実。
⑫就労支援・職場環境	
	●労働時間の短縮と家族休暇の設定があればよい。 ●職場で、子どものいる世帯への配慮がほしい。 ●短時間、希望の時間に働ける環境。
⑬情報提供・広報	
	●知りたい情報をどこで仕入れたらよいかわかりにくい。子育てに関する情報をもっとわかりやすく発信してほしい。 ●相談したいと思った時に、相談できる窓口。
⑭医療	
	●夜間・休日救急診療の充実。 ●病院の混雑解消、待ち時間短縮。
⑮その他	
	●障がいを理解する環境。疎外感を感じる。 ●家庭と小学校との連携強化。 ●子どもと接する母親が不安や孤立しないような支援があればよい。

⑩　子育てが地域の人に支えられていると感じるか

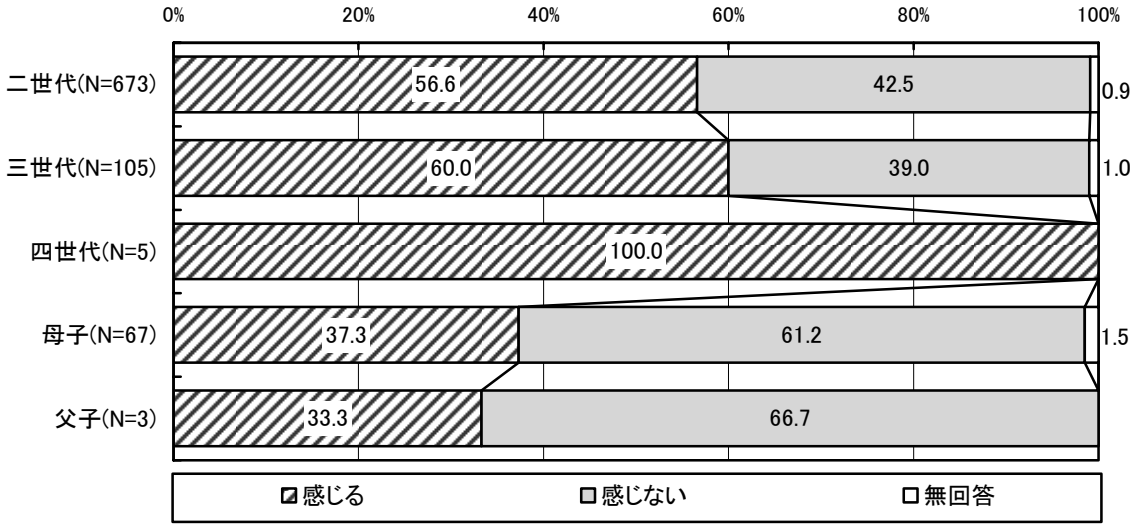
問21　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（どちらかに○）

●全体では、子育てが地域の人に支えられていると「感じる」率は、55.8%と半数を超え、就学前と同程度となっています。一方、「感じない」は43.2%となっています。
●地域別では、「感じる」率は、就学前と同様に南部が最も高く75.0%で、他の地域は50%台となっています。
●「感じない」率は、母子や父子世帯で高く、また、フルタイム共働き世帯でもひとり親に次いで、その他の世帯と共に高く、およそ50%となっています。

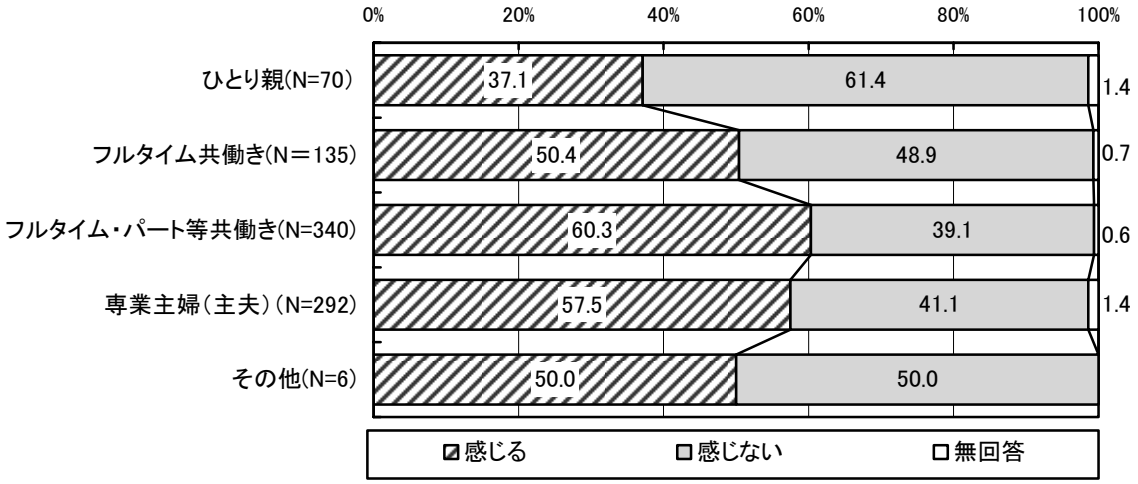
■地域別　子育てが地域の人に支えられていると感じるか



■同居世帯類型別　子育てが地域の人に支えられていると感じるか



■親の就労状況等による世帯類型別　子育てが地域の人に支えられていると感じるか

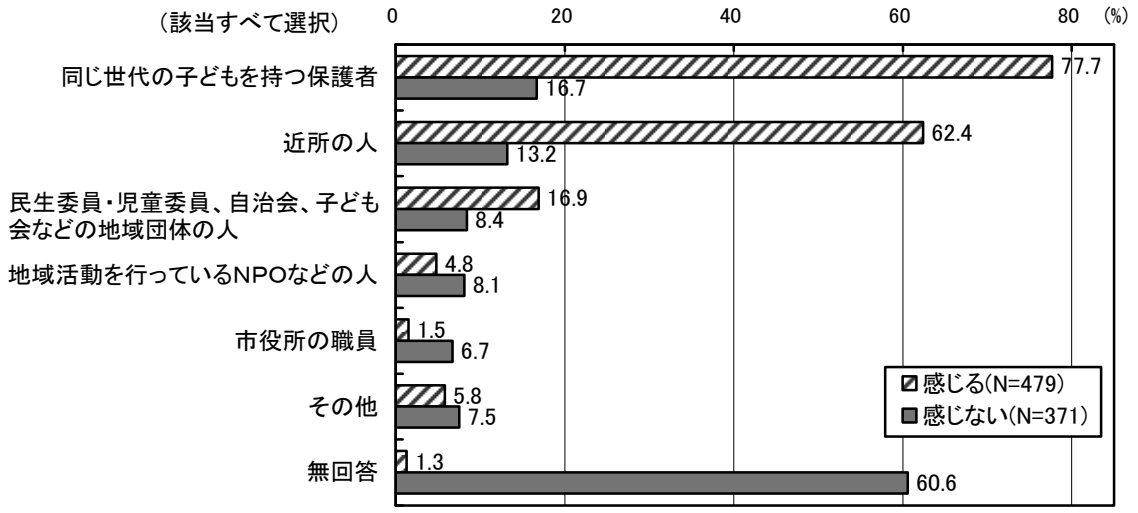


⑪　特に誰から支えられ、誰に支えてほしいか

問21-１　問21で感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

●支えられていると感じる人は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が70%を超えて高く、「近所の人」も62.4%と高くなっています。
●一方、支えられていると感じない人は、無回答が多く一概に言えませんが、「同じ世代の子どもを持つ保護者」や「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が相対的に高くなっています。また、「地域活動を行っているＮＰＯなどの人」や「市役所の職員」は支えられていると感じる人より高くなっています。

■子育てが地域の人に支えられていると感じるか

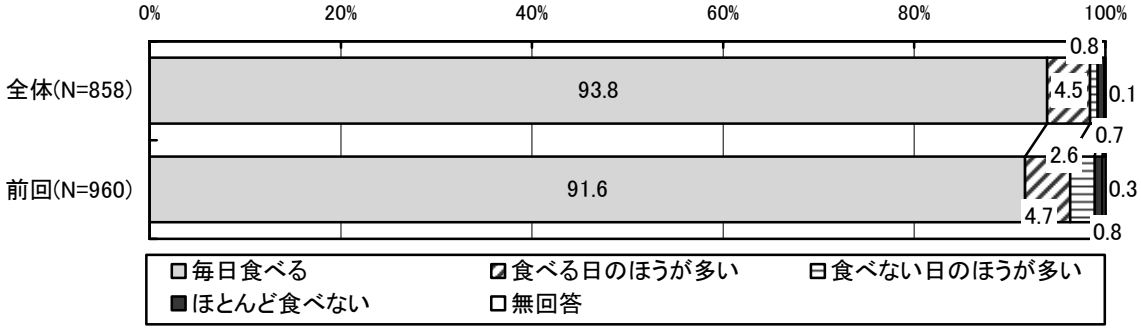


⑫　子どもの生活習慣

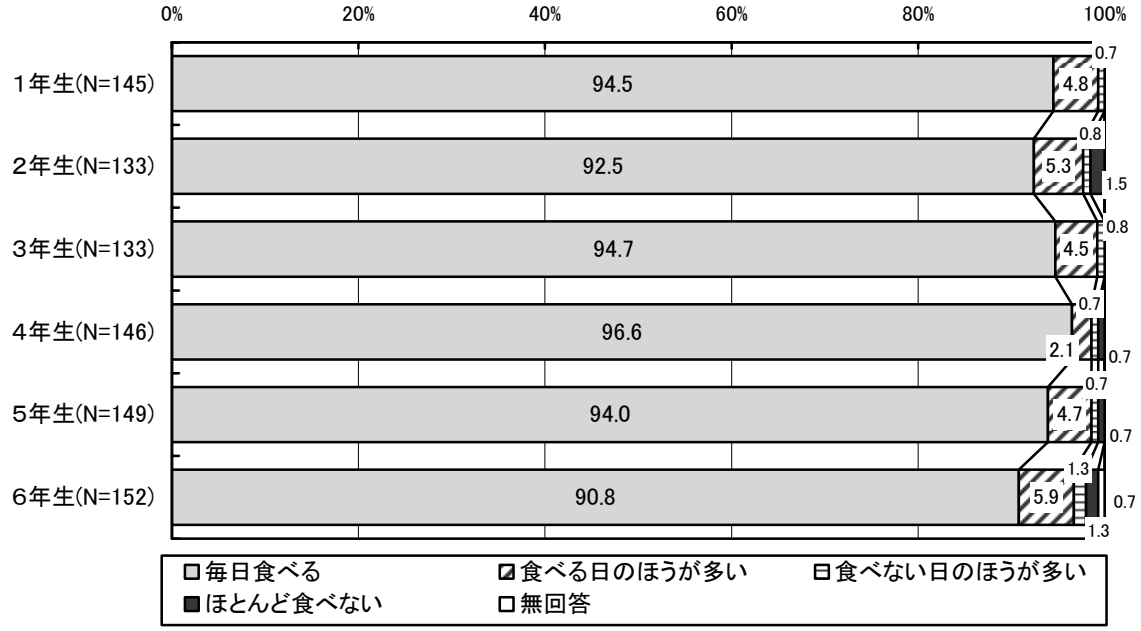
問22　あて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。
（１）朝ごはんを食べますか。（１つだけに○）

●全体では、朝食は、「毎日食べる」が93.8%で最も高く、前回調査より2.2ポイント増加しています。一方、「ほとんど食べない」や「食べない日のほうが多い」は合わせて1.5%で、前回調査の3.4%の半分以下となっています。
●子どもの学年別では、「食べない日のほうが多い」及び「ほとんど食べない」を合わせた【食べない】率は、２年生及び６年生がそれぞれ2.3%、2.6%で、他の学年より若干高くなっています。

■朝ごはんを食べるかどうか／前回調査との比較



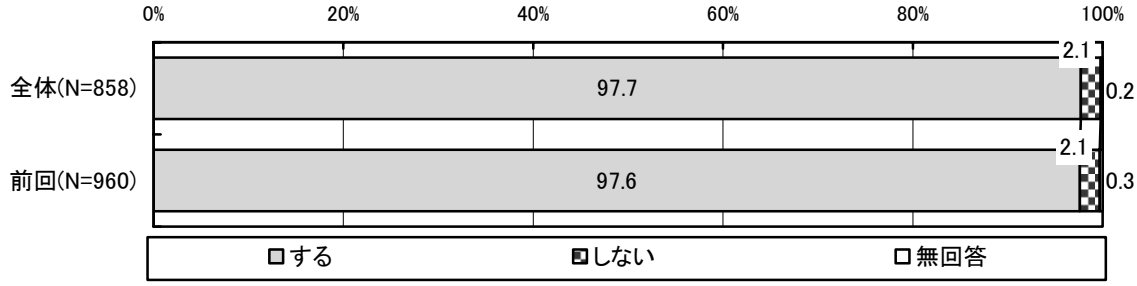
■子どもの学年別　朝ごはんを食べるかどうか



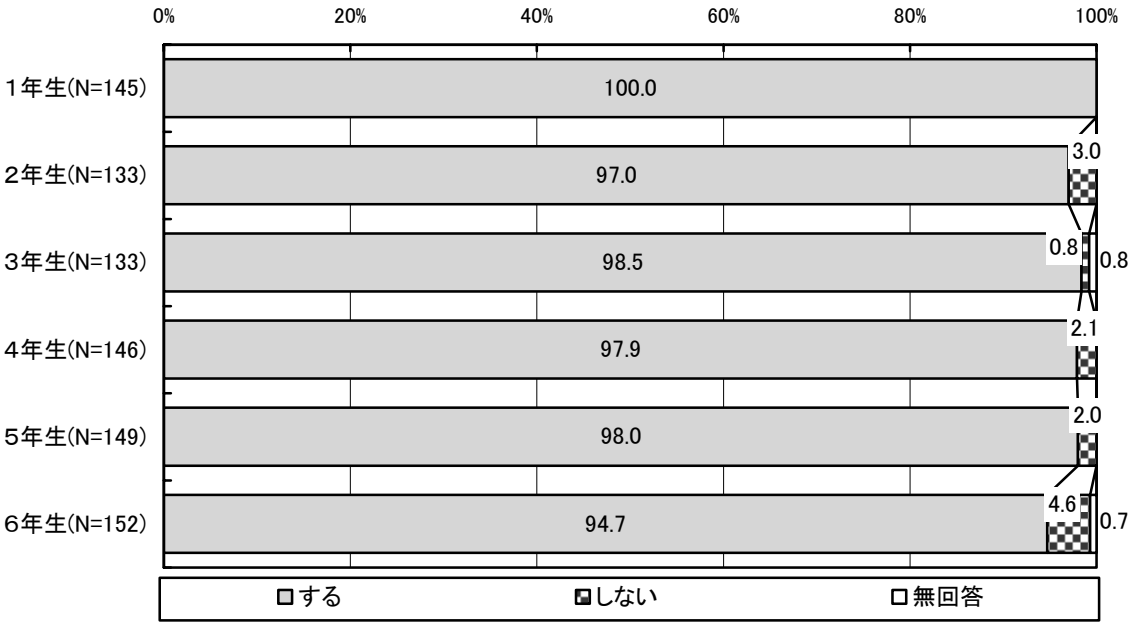
問22（２）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。（どちらかに○）

●全体では、１日１回は家族と食事を「する」率は97.7%で、前回調査と同程度となっています。
●子どもの学年別では、「しない」率は、６年生が4.6%で最も高くなっています。

■１日１回は家族と食事をするかどうか／前回調査との比較



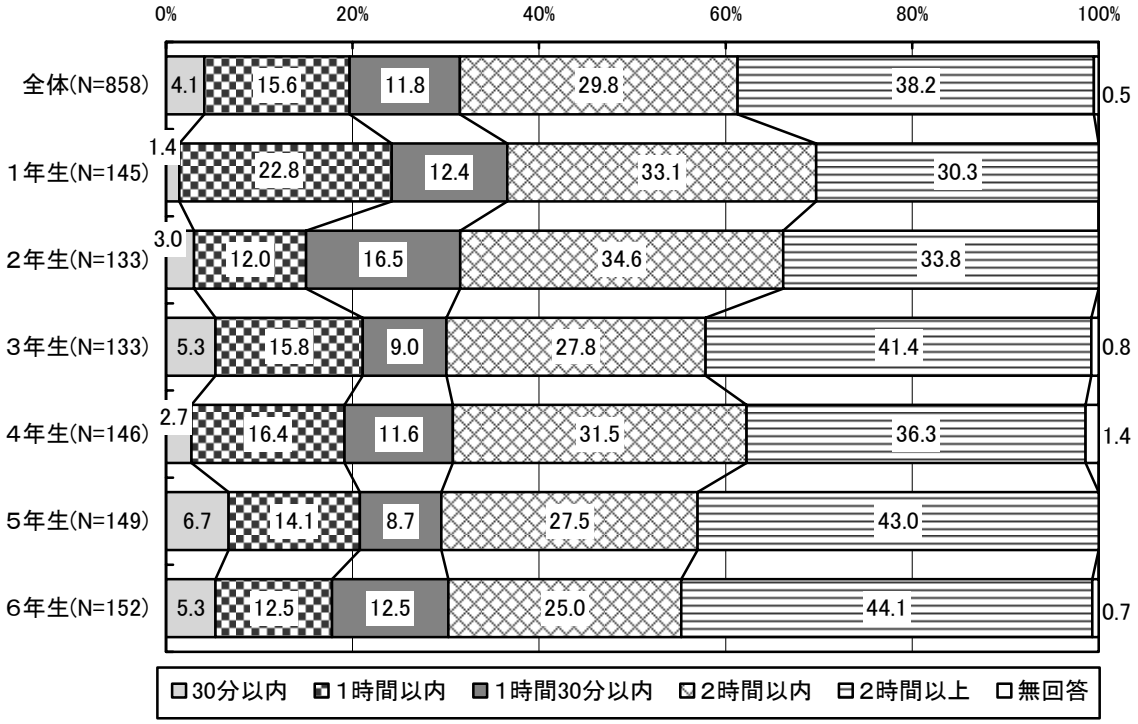
■子どもの学年別　１日１回は家族と食事をするかどうか



問22（３）平日、テレビ・ビデオ（ゲームを含む）を１日平均、何時間みますか。
（１つだけ○）

●全体では、テレビ・ビデオの平均視聴時間は、「２時間以上」が38.2％で最も高く、次いで「２時間以内」が29.8％などとなっています。
●子どもの学年別では、学年が上がるにしたがい視聴時間が長くなる傾向があり、「２時間以上」の率が6年生で44.1％と最も高く、5年生が43.0％、3年生が41.4％などとなっています。

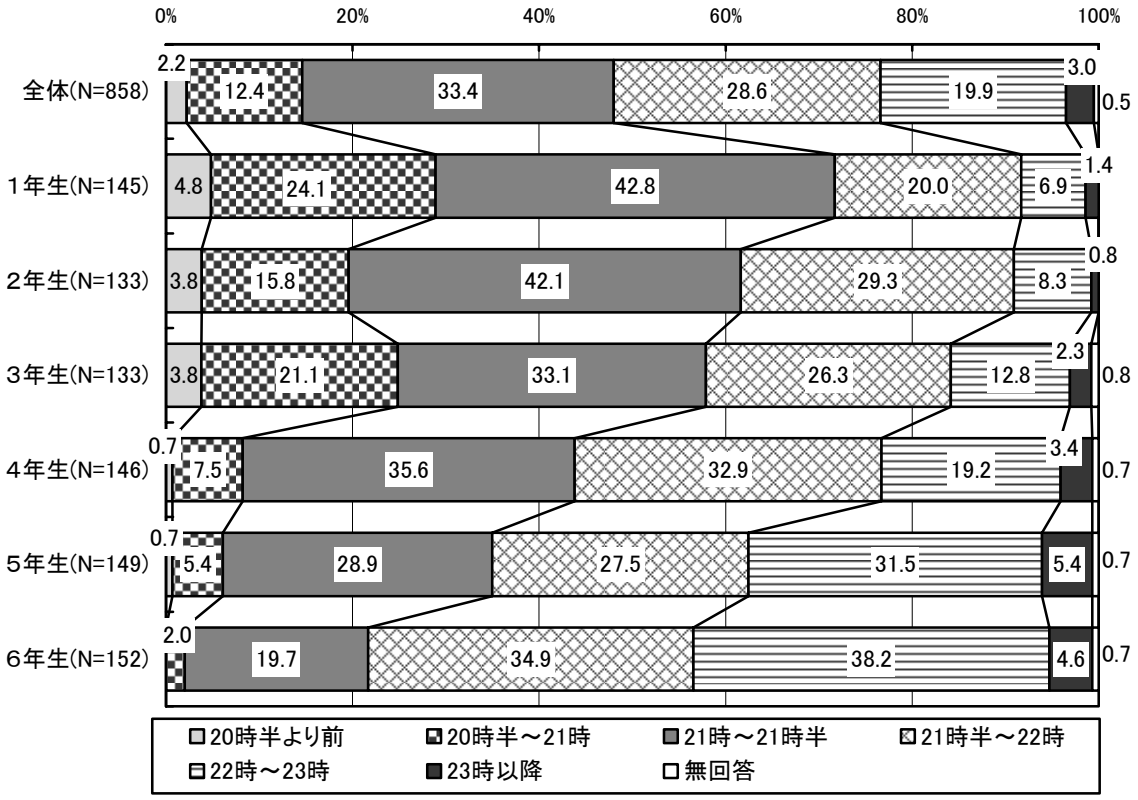
■子どもの学年別　テレビ・ビデオの平均視聴時間



問22（４）夜寝る時間は何時ですか。（１つだけ○）

●全体では、「21時～21時半」が33.4%で最も高く、次いで「21時半～22時」が28.6%、「22時～23時」が19.0%などとなっています。
●子どもの学年別では、学年が上がるにしたがい就寝時間が遅くなる傾向があります。就寝時間が【22時以降】の率は、1年生が8.3%、2年生が9.1%、3年生が15.1%、4年生が22.6%、５年生が36.9%、6年生が42.8%となっています。

■子どもの学年別　就寝時間

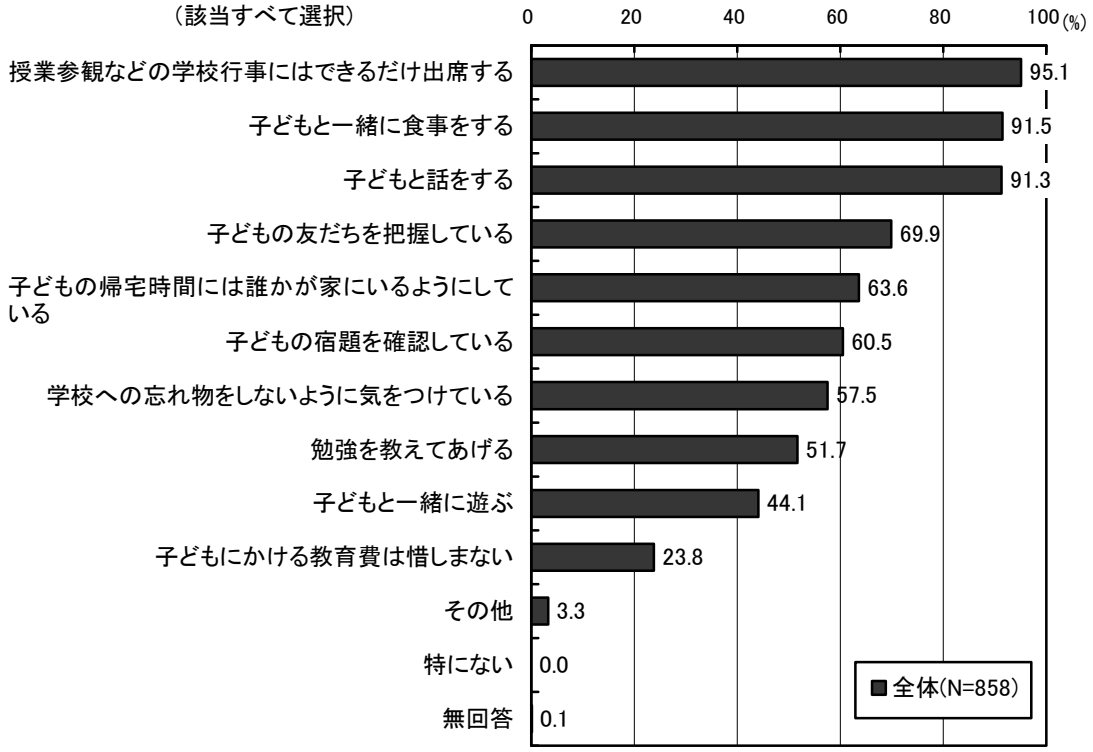


⑬　子どもとのかかわり

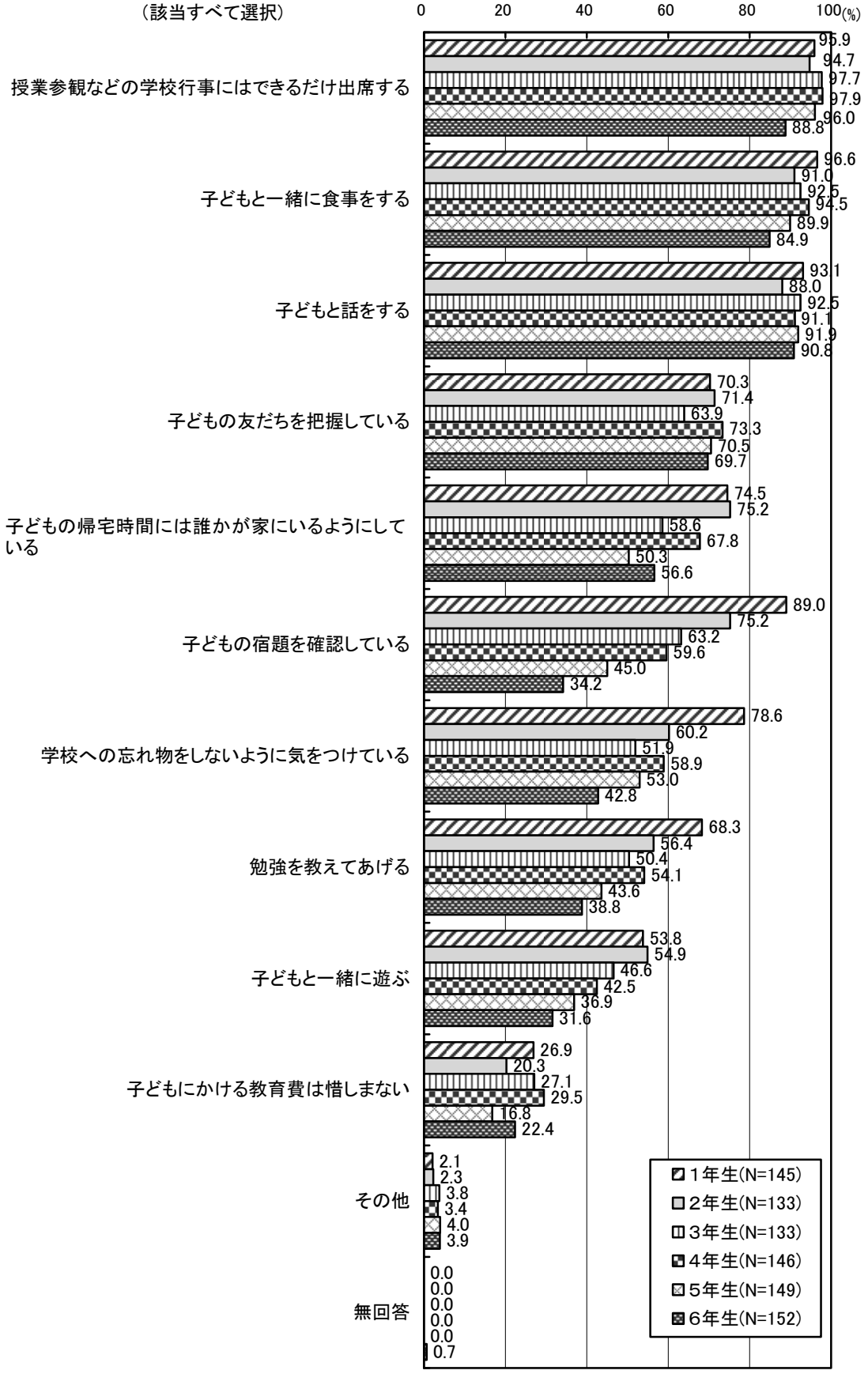
問23　ふだんの生活の中で、お子さんとどのようにかかわっていますか。
（あてはまるものすべてに○）

●全体では、「授業参観などの学校行事にはできるだけ出席する」が95.1％で最も高く、次いで「子どもと一緒に食事をする」（91.5％）、「子どもと話をする」（91.3％）が90％を超えています。
●子どもの学年別では、上位3項目は、どの学年もおおむね90％を超えていますが、６年生は若干低くなっています。また、「子どもの宿題を確認している」や「学校への忘れ物をしないように気をつけている」「勉強を教えてあげる」「子どもと一緒に遊ぶ」は1年生が最も高く、学年が上がるにしたがい低下していきます。

■子どもとのかかわり



■子どもの学年別　子どもとのかかわり



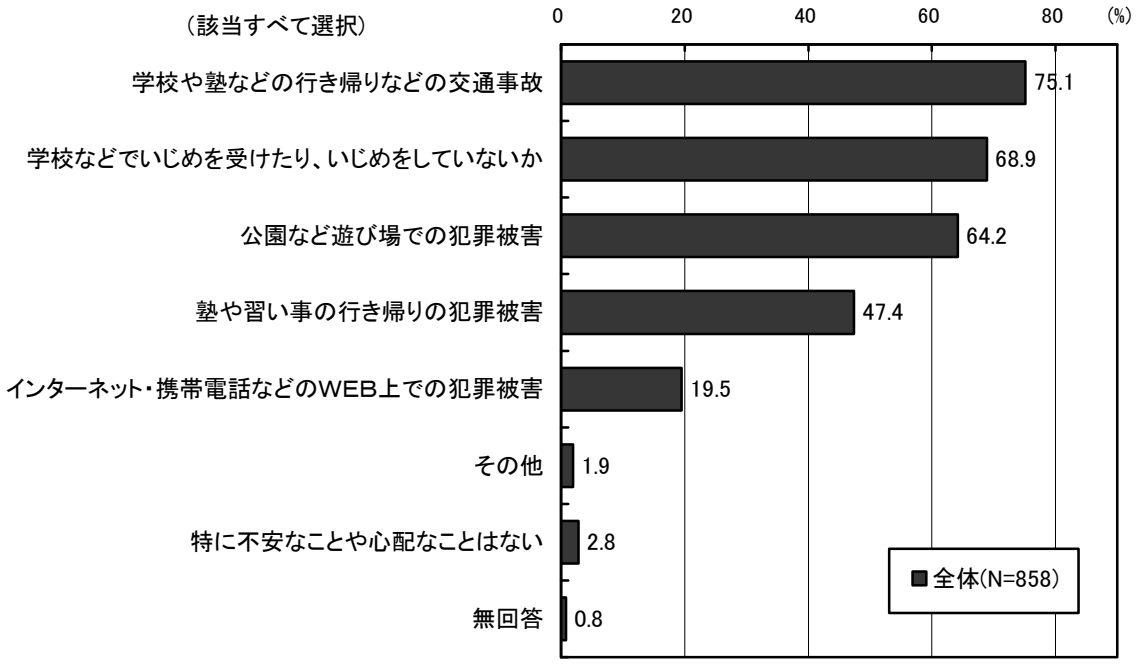
注)「特にない」は各学年共に該当がないため、省略しています。

⑭　子どもの安全について、不安や心配なこと

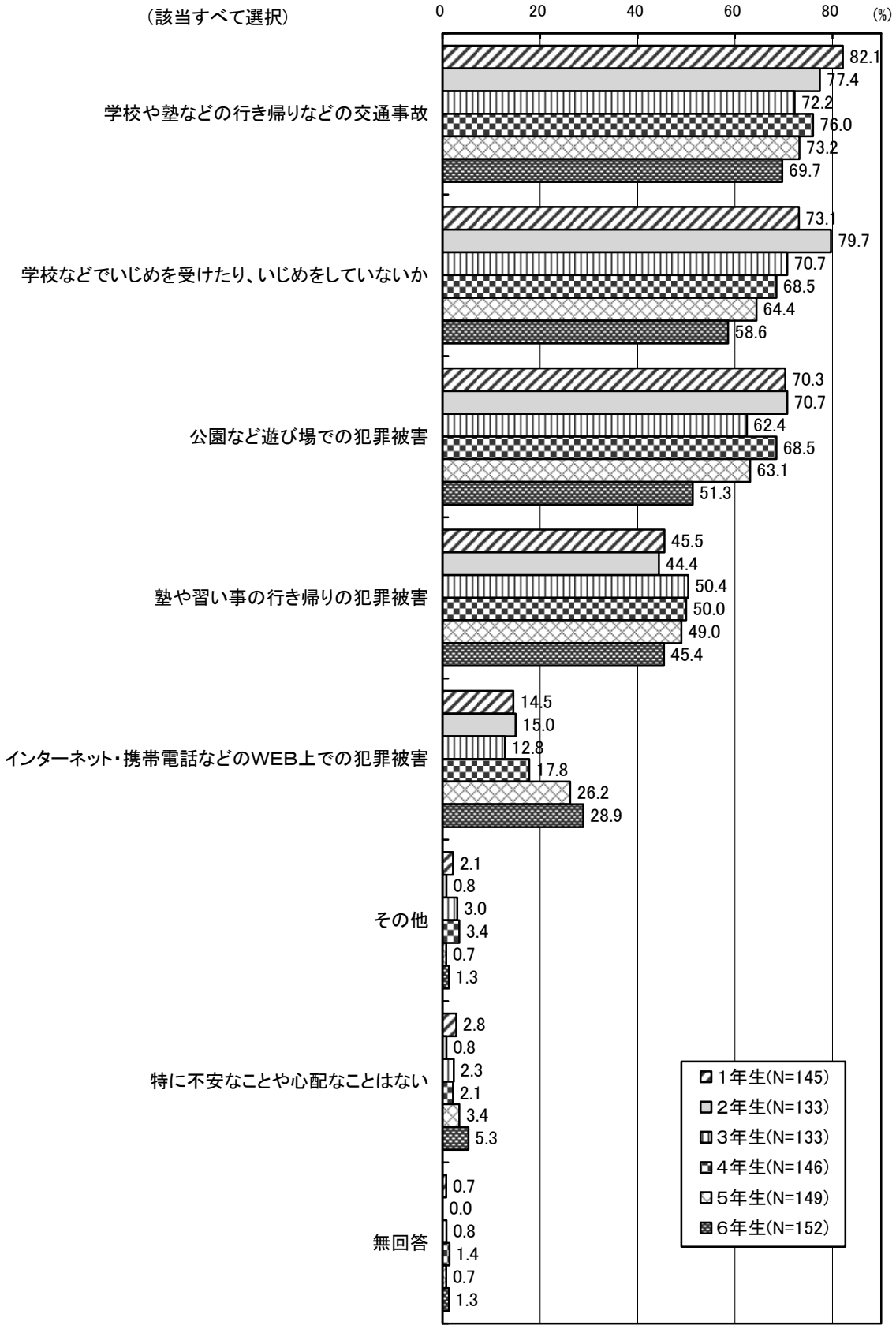
問24　子どもの身の安全について、不安に思うことや心配なことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

●全体では、子どもの安全について、不安や心配なことは、「学校や塾などの行き帰りなどの交通事故」が第１位で75.1%、次いで「学校などでいじめを受けたり、いじめをしていないか」（68.9%）、「公園など遊び場での犯罪被害」（64.2%）などとなっています。
●子どもの学年別では、「学校や塾などの行き帰りなどの交通事故」や「公園など遊び場での犯罪被害」は低学年が、「インターネット・携帯電話などのＷＥＢ上での犯罪被害」は高学年が高い傾向があります。

■子どもの安全について、不安や心配なこと



■子どもの学年別　子どもの安全について、不安や心配なこと

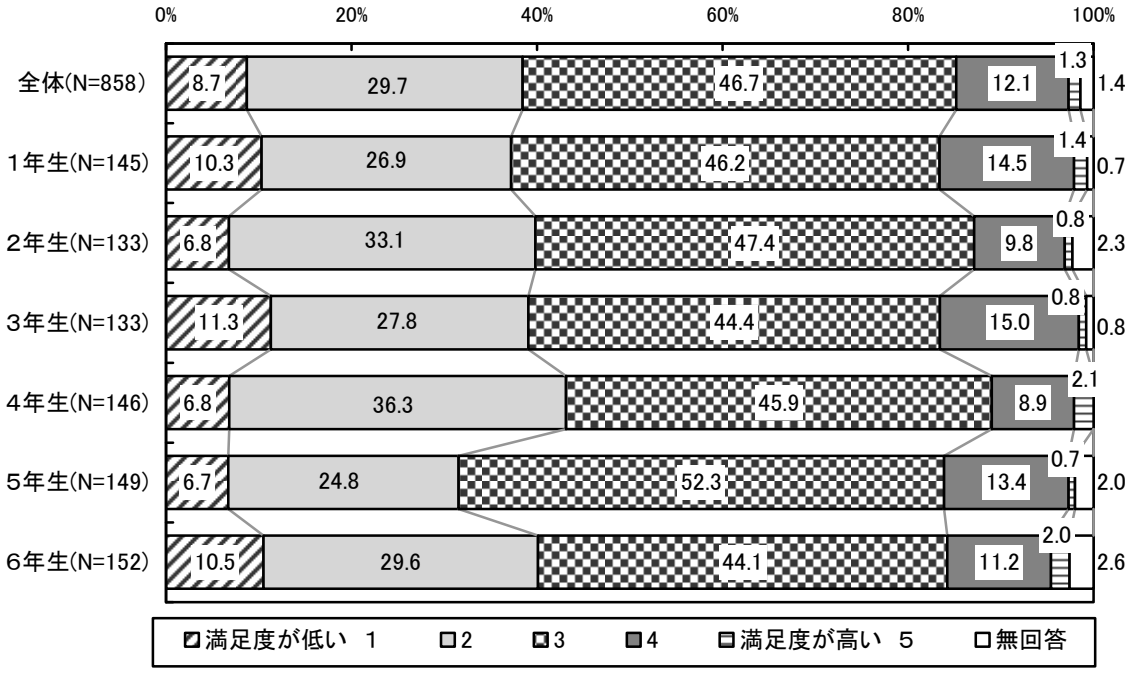


⑮　和泉市の子育て環境や支援への満足度

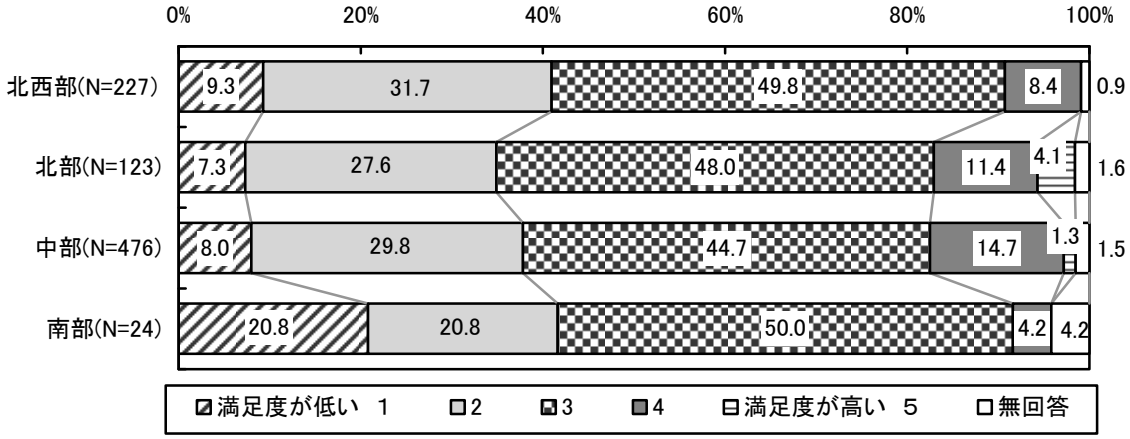
問25　和泉市の子育て環境や支援への満足度は、５段階評価だと何点くらいですか。
（１つだけ○）

- 全体では、和泉市の子育て環境や支援への満足度は、中間の「３」が46.7%で最も高く、次いで満足度がやや低い「２」が29.7%、満足度がやや高い「４」が12.1%などとなっています。
- 子どもの学年別では、4年生の満足度の【低い】（1と2を合わせた）が43.1%で最も高くなっています。一方、満足度が【高い】（4と5を合わせた）は1年生の15.9%、3年生の15.8%などが若干高くなっています。
- 地域別では、満足度の【低い】率は、南部の41.6%や北西部の41.0%が他地域に比べて高くなっています。一方、満足度が【高い】率は、中部の16.0%や北部の15.5%が他地域より高くなっています。
- 満足度が【低い】人は、パート等の共働き及び共に未就労のその他世帯では50.0%と高く、また、母子世帯が46.2%などとなっています。一方、満足度が【高い】人はフルタイム共働き世帯で17.0%となっています。

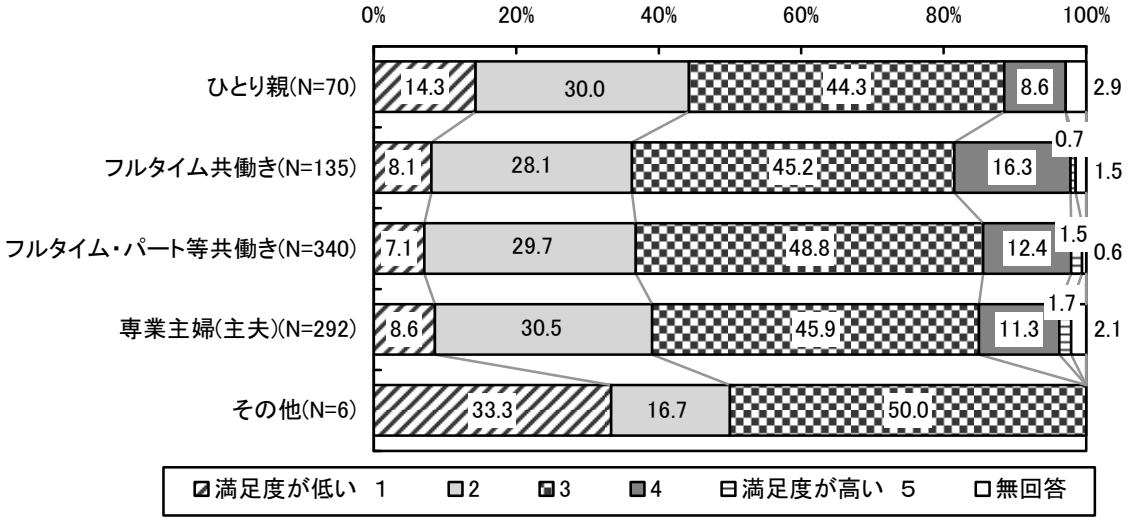
■子どもの学年別　和泉市の子育て環境や支援への満足度



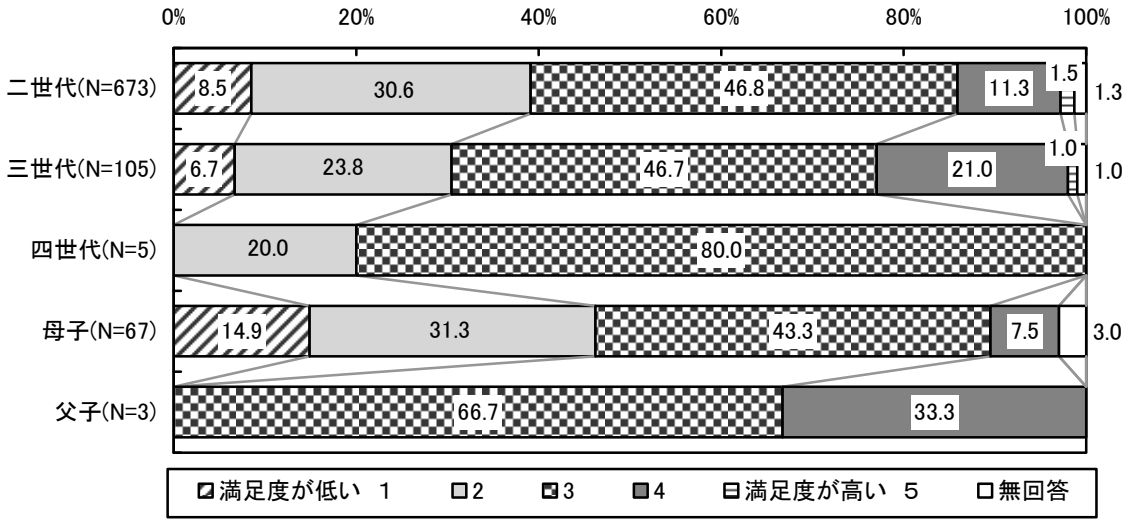
■地域別　和泉市の子育て環境や支援への満足度



■親の就労状況等による世帯類型別　和泉市の子育て環境や支援への満足度



■同居世帯類型別　和泉市の子育て環境や支援への満足度

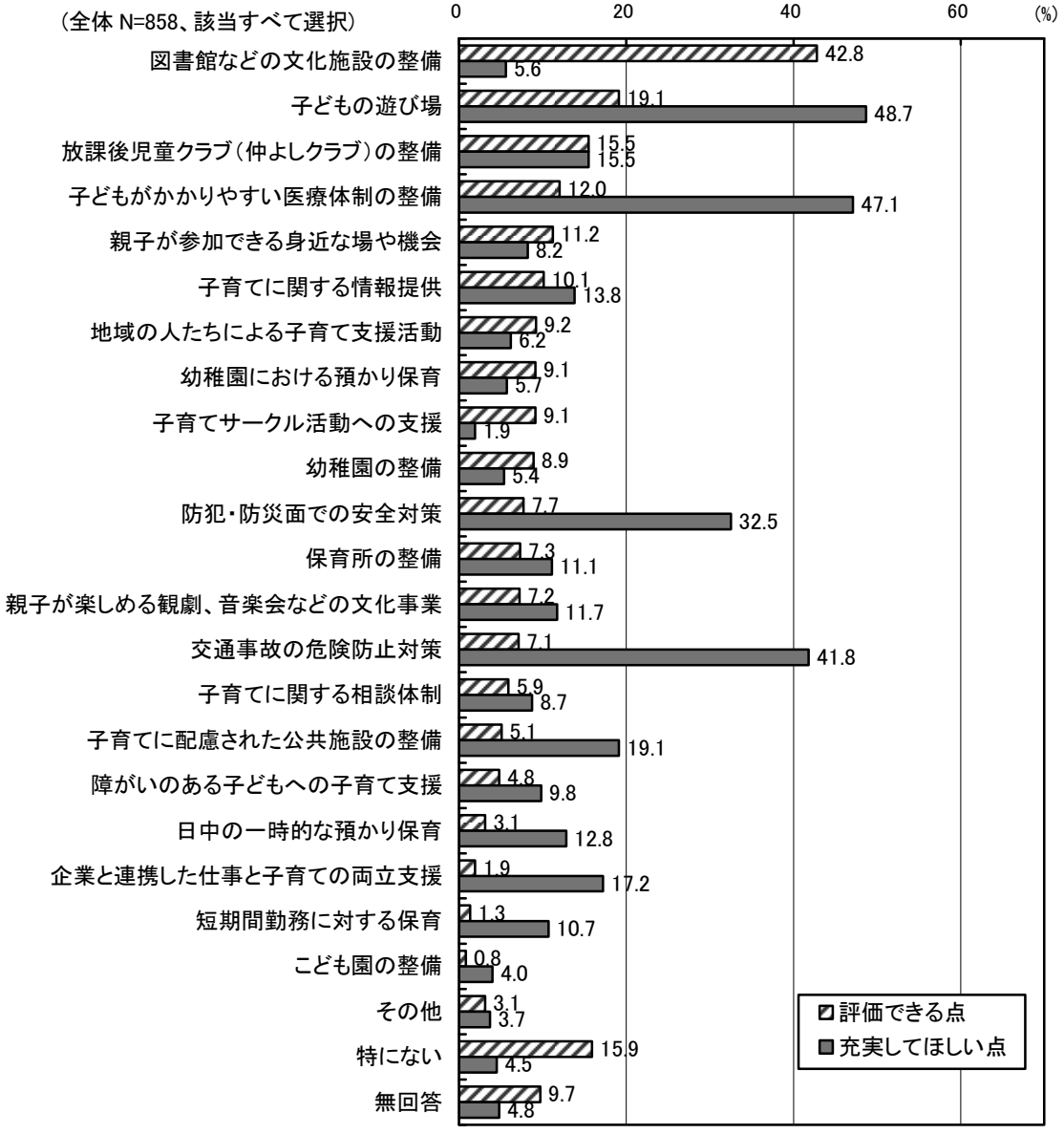


⑯　評価できる点ともっと充実してほしい点

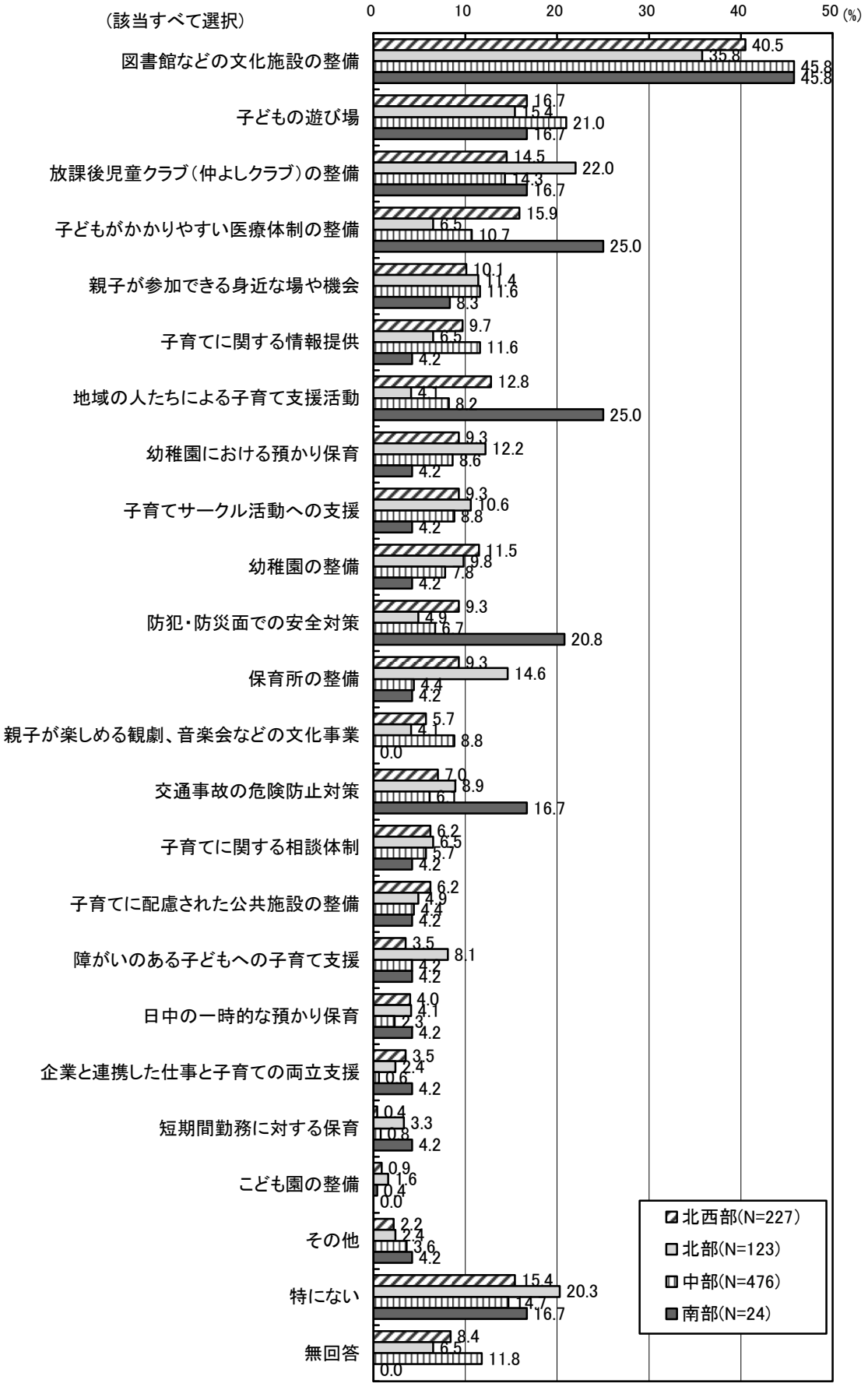
問26　では、和泉市の子育て環境や支援に関して、あなたが子育てしやすいなど一定、評価できる点、もっと充実してほしい点はどのようなことがありますか。
（１）子育てしやすいなど一定、評価できる点（あてはまるものいくつでも）
（２）もっと充実してほしい点（あてはまるものいくつでも）

●全体では、評価できる点は、就学前と同様に「図書館などの文化施設の整備」が第１位で42.8%、次いで「子どもの遊び場」（19.1%）、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備」（15.5%）などとなっています。
●もっと充実してほしい点は、やはり就学前と同様に「子どもの遊び場」が第１位で48.7%、次いで「子どもがかかりやすい医療体制の整備」（47.1%）、「交通事故の危険防止対策」（41.8%）などとなっています。

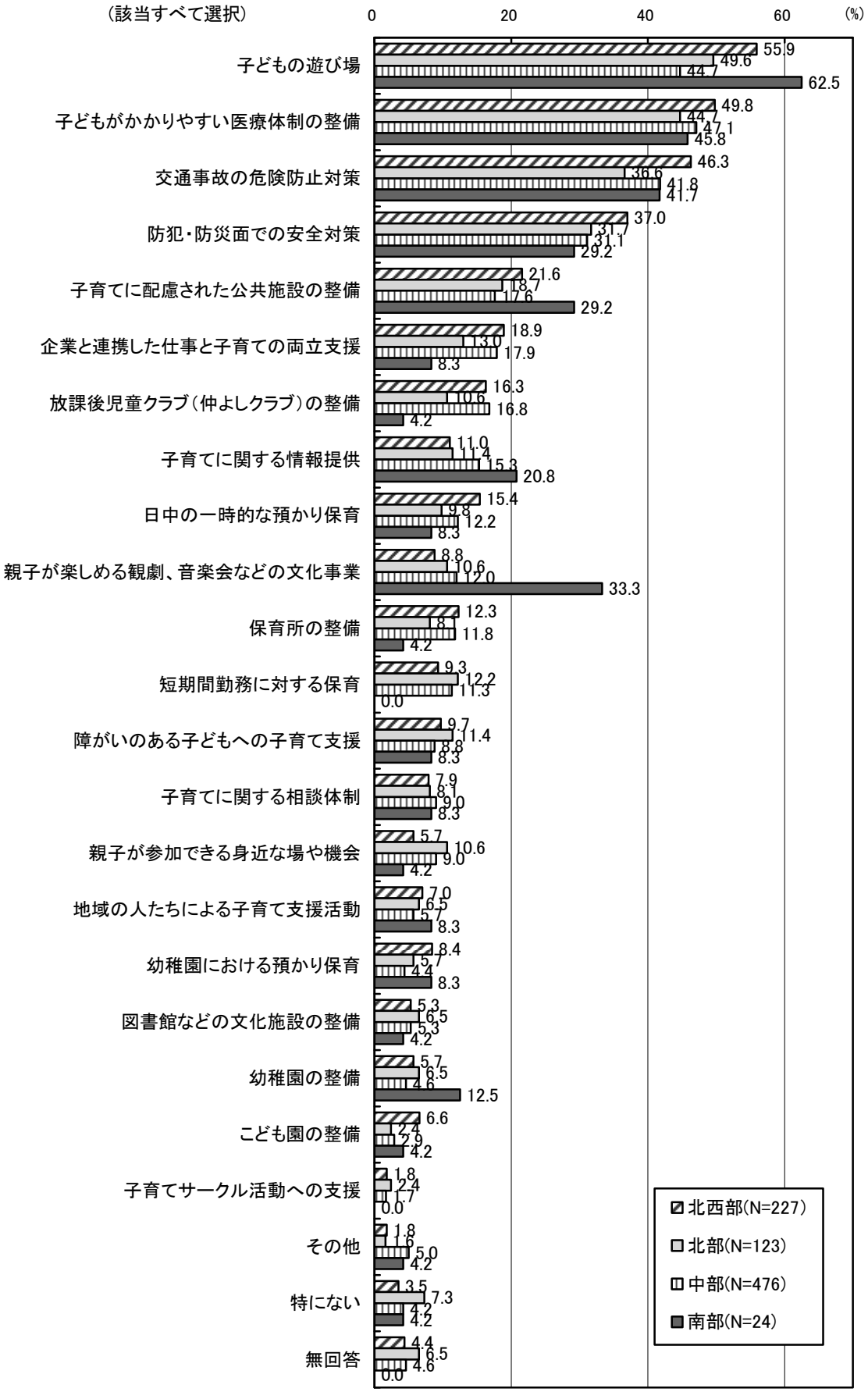
■評価できる点ともっと充実してほしい点



■地域別　評価できる点


（該当すべて選択）
0
10
20
30
40
50 (%)
図書館などの文化施設の整備 40.5 35.8 45.8 45.8
子どもの遊び場 16.7 15.4 21.0 16.7
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備 14.5 22.0 14.3 16.7
子どもがかかりやすい医療体制の整備 15.9 16.5 10.7 25.0
親子が参加できる身近な場や機会 10.1 11.4 11.6 8.3
子育てに関する情報提供 9.7 16.5 11.6 4.2
地域の人たちによる子育て支援活動 12.8 14.1 8.2 25.0
幼稚園における預かり保育 9.3 12.2 8.6 4.2
子育てサークル活動への支援 9.3 10.6 8.8 4.2
幼稚園の整備 11.5 9.8 7.8 4.2
防犯・防災面での安全対策 9.3 14.9 16.7 20.8
保育所の整備 9.3 14.6 4.4 4.2
親子が楽しめる観劇、音楽会などの文化事業 5.7 14.1 8.8 0.0
交通事故の危険防止対策 7.0 8.9 16 16.7
子育てに関する相談体制 6.2 16.5 15.7 4.2
子育てに配慮された公共施設の整備 6.2 14.9 14.4 4.2
障がいのある子どもへの子育て支援 3.5 8.1 4.2 4.2
日中の一時的な預かり保育 4.0 4.1 2.3 4.2
企業と連携した仕事と子育ての両立支援 3.5 2.4 0.6 4.2
短期間勤務に対する保育 0.4 3.3 0.8 4.2
こども園の整備 0.9 1.6 0.4 0.0
その他 2.2 2.4 3.6 4.2
特にない 15.4 20.3 14.7 16.7
無回答 8.4 16.5 11.8 0.0
北西部(N=227)
北部(N=123)
中部(N=476)
南部(N=24)

■地域別　もっと充実してほしい点



Ⅲ　自 由 意 見

1　就学前子ども保護者

就学前のお子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についてたずねたところ、６３４件のご意見をいただきました。

８項目別に整理すると、７０７件のご意見をいただきました。

項　目	件　数
１　保育・教育サービスについて	２５７件
２　子どもの健康について	９２件
３　子どもの安全の確保について	４８件
４　生活環境の整備について	７２件
５　学校や地域について	７６件
６　仕事と子育ての両立について	３０件
７　行政サービスの充実について	１０３件
８　その他	２９件

各項目のいただいた主なご意見は以下のとおりです。

１　保育・教育サービスについて

①保育所・幼稚園について

〇「園庭開放・育児教室等」は、素晴らしい制度なので認知度を高めてほしい。

〇保育所が待機状態なのでもっと数を増やしてほしい。

〇公立幼稚園に３年保育を増やしてほしい。

②仲よしクラブについて

〇仲よしクラブを６年生まで延長してほしい。

〇放課後児童クラブの内容の充実。

２　子どもの健康について

①医療費の助成について

〇医療費負担の軽減。

〇現在小学３年生までの医療費補助の年齢を引き上げてほしい。

〇インフルエンザ予防接種の公費負担。

②医療機関の充実について

〇急病時夜間診療できる病院を増やすべき。

〇小児救急病院がもっと近くにあれば良い。

〇子どもが受けるワクチン（任意）の相談ができる医療機関があれば良い。

３　子どもの安全の確保について

①通学路について

〇通学路に指定されている道が歩道もなく狭いので整備してほしい。

〇外灯が少なく、ある場所でも電球が暗い。

〇通学路の危険箇所が多すぎる。

②犯罪防止について

〇交通事故・犯罪などから子どもの命を守る支援の充実。

〇子どもが登下校時の事故・犯罪に合わないかが心配。

４　生活環境の整備について

①公園等について

〇公園の遊具をバリエーション豊富にしてほしい。乳児が遊べる遊具も設置してほしい。

〇芝生のある公園がほしい。

〇雨の日でも小さい子どもたちが遊べる広い遊び場。

②歩道等について

〇危険なところは事故を起こす前に注意を促す看板・標識をつけてほしい。

〇歩道が狭くて車との距離がない。

〇街灯が少ないので増やしてほしい。

５　学校や地域について

①学校・教育について

〇海外の教育の良い所を取り入れ、目先にとらわれない人材育成をしてほしい。

〇子育ての仕方を親になる以前に学んだり、見たりする経験が少ない。

〇一律ではなく、各校区に合った教育、保育の整備をしてほしい。

②地域活動について

〇地域と関わりを持ちたくても、どうすれば良いかわからない。

〇地域が密着した子育て活動。

〇毎朝夕、地域の方が通学路で見守りいただけるのはとてもありがたい。

６　仕事と子育ての両立について

〇夜勤・３交代勤務等をする人でも子育てしやすい環境。

〇就労が決まれば、待機せずに保育所に入所できるようにしてほしい。

〇保育所に入れる際、求職期間をもう少し長期的に見てほしい。

７　行政サービスの充実について

①負担の軽減

〇障がいのある子どもへの手当は、所得制限を撤廃してほしい。

〇私立幼稚園就園奨励費補助金の該当の有無に関係なく補助金を支給してほしい。

〇母子家庭で所得により保育料免除がないのは厳しい。

②情報提供

〇妊婦中にもっとたくさんの子育てに対する情報がほしい。

〇いろいろな子育て支援の情報があまり伝わらず、健診時しか情報が得られない。

〇どこで子育て支援の活動がされていたり、相談ができるのかわかりにくい。

③行政サービスについて

〇乳幼児対象の絵本がたくさんある施設などもっと身近にあれば良い。

〇市の健診（何ヵ月健診など）の時間が長すぎる。

〇児童館のような施設をつくり、無料で気軽に集える場所がほしい。

④講座やイベントについて

〇市民講座など、子ども向けの講座を手頃な価格で開いてほしい。

〇青少年センターのほかにもいろんな所でイベントをしてほしい。

8　その他

〇校区の見直しを、柔軟に行ってほしい。

〇お母さん同士が知り合うきっかけになる場がもっとあれば良い。

〇働いていても、子どもを中心にできる社会になれば良い。

〇保育サービスの充実とともに預けられてさみしい思いをする子どもが増えるのではと思う。

２　小学生保護者

小学生のお子さんの教育に対する要望や子育て支援についてたずねたところ、２８０件のご意見をいただきました。

８項目別に整理すると、３１４件のご意見をいただきました。

項　目	件　数
１　保育・教育サービスについて	７件
２　子どもの健康について	７６件
３　子どもの安全の確保について	１７件
４　生活環境の整備について	５０件
５　学校や地域について	１０４件
６　仕事と子育ての両立について	１０件
７　行政サービスの充実について	３８件
８　その他	１２件

各項目のいただいた主なご意見は以下のとおりです。

１　保育・教育サービスについて

①保育所・幼稚園について

〇病気にかかっている子どもをみてもらえる病児保育などが必要。

〇公立と私立の保育所の良さをあわせ持った保育をしてほしい。

②仲よしクラブについて

〇仲よしクラブの高学年までの利用。

〇仲よしクラブでのおけいこがあれば嬉しい（スポーツや座学など）。

〇仲よしクラブについて単に預かるだけでなく、子どもが成長する場になってほしい。

２　子どもの健康について

①医療費の助成について

〇小学６年生まで医療費の補助があれば嬉しい。

〇子どもの医療費が高すぎる。

②医療機関の充実について

〇歯科の休日診療所がなくなり困っているので、再開してほしい。

〇休日・夜間常時診察してくれる小児病院があれば良い。

３　子どもの安全の確保について

①通学路について

〇通学路の安全見守り隊や警察のパトロールを充実させてほしい。

〇通学路の歩道に駐車している箇所があり、厳重注意してほしい。
〇歩道も街灯が１本もないという通学路は危険なので整備してほしい。

②犯罪防止について

〇犯罪が多発しており、いくつになっても安心して子ども１人にできない。
〇校区が広いため、登下校の際、事故や不審者が心配。
〇防犯灯を増やしてほしい。

４　生活環境の整備について

①公園等について

〇公園が少ない。
〇もっとのびのび子どもが体を動かせる環境が近くにほしい。
〇歩道や公園、遊歩道にある犬や猫のフンが不衛生。

②歩道等について

〇車の移動でないと参加できない子育て支援について利便性を考えてほしい。
〇車道と歩道の境がなく危険な所は整備してほしい。
〇道路が狭いので安心して子どもに自転車に乗って移動をさせられない。

５　学校や地域について

①学校・教育について

〇学校で土曜日も授業があれば、子どもが平日に遊べる時間が増えるのではと思う。
〇１年間でどんな事を学校で学ぶのかなど保護者に説明してほしい。
〇英語（外国語）教育を早期より開始してほしい。

②地域活動について

〇ボーイスカウトなど子どもが参加して役に立つ活動が地域ごとにあれば良い。
〇かつて市民グラウンドであった大きな盆踊り（花火大会）を復活してほしい。

６　仕事と子育ての両立について

〇もっとお母さんが働きながら育児しやすい環境づくりをしてほしい。
〇仕事と子育ての両立ができる余裕のある社会を。

７　行政サービスの充実について

①負担の軽減

〇学童保育や子ども医療の助成など子育てしやすいまちづくりに力を入れてほしい。
〇私立小・中学校も就学援助の対象にしてほしい。
〇児童手当が３人目以降と３歳未満の金額が多く不公平に思う。

②情報提供

〇市の子育て相談について周知してほしい。
〇子育て環境や支援について市職員、学校の先生、地域の方と意見など話し合う場がない。

③行政サービスについて

〇本当に子育て支援を求めている人たちにサービス提供できる仕組みを検討してほしい。

〇子どもの将来にとって必要な施策なのか検討しながら進めてほしい。

〇図書館や子育て支援の場所まで遠くバスも通っておらず、随分不便。

④講座やイベントについて

〇リージョンセンターなど南部でも子ども向けのイベントがほしい。

〇赤ちゃんを連れて気軽に行ける集まりがほしい。

８　その他

〇障がいのある子どもたちを育てている家庭への支援の強化。

〇母親も働いていなければ、社会に貢献していないというような風潮ではなく、家に居て、余裕のある心で子育てするのも良いと思う。

Ⅳ　調　査　票

和泉市就学前子どもの保護者対象調査票

【ご記入にあたってのお願い】

1．特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さんについて**、お子さんの**保護者の方がご記入**ください。
2．ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と数字をご記入いただく場合があります。また、その他をお選びいただいた場合は、（　　）内に具体的な内容をご記入ください。
3．ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**11月8日（金）までにご返送**ください。

あて名のお子さんとご家族の状況についておうかがいします。

問１　あて名のお子さんとご家族等の状況をお答えください。

（１）あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成（　　）年（　　）月生まれ

（２）お子さんの人数は何人ですか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの生年月をご記入ください。

お子さんの人数（　　）人　**一番小さいお子さんの生年月**　平成（　　）年（　　）月生まれ

（３）あて名のお子さんからみて、この調査にご回答いただく方はどなたですか。（１つだけ○）

１．お母さん　２．お父さん　３．祖父　４．祖母　５．その他（具体的に　　）

（４）あて名のお子さんからみて、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

１．お母さん　２．お父さん　３．祖父　４．祖母　５．その他（具体的に　　）

（５）あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（１つだけ○）

１．お母さん、お父さんともに　２．主にお母さん　３．主にお父さん
４．主に祖父母　５．その他（具体的に　　）

（６）あなたは和泉市に住んでどのくらいになりますか。（１つだけ○）

１．５年未満　２．５年以上10年未満　３．10年以上20年未満　４．20年以上

（７）お住まいの小学校区はどこですか。わからない場合は22に町名をご記入ください。（１つだけ○）

１．国府　２．和気　３．伯太　４．池上　５．黒鳥　６．芦部
７．北池田　８．いぶき野　９．南池田　10．光明台南　11．光明台北　12．緑ヶ丘
13．北松尾　14．南松尾　15．横山　16．南横山　17．幸　18．信太
19．鶴山台北　20．鶴山台南　21．青葉はつが野　22．わからない（町名　　）

あて名のお子さんのお母さん、お父さんの就労状況についておうかがいします。

問２　お母さん、お父さんの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。
お母さん、お父さんそれぞれについて、お答えください。ひとり親家庭の場合は、お母さん、またはお父さんのみお答えください。（１つだけ○）

	お母さん	お父さん
１．フルタイム※で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
２．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
３．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
４．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
５．以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
６．これまで就労したことがない	6	6

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいい、パート・アルバイト等はそれ以外の就労のことをいいます。自営業や家業、家族従業者、内職の場合は、就労日数や就労時間の実態に応じて「フルタイム」あるいは「パート・アルバイト等」をお選びください。

問２でお母さん、お父さんのどちらか、または両方が「１～４」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。両方が「５、６」に○をつけた方は、問４へお進みください。

（１）１週当たりの就労日数や１日当たりの就労時間（残業時間を含む）を数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

お母さん	**１週当たりの就労日数**（　　）日	**１日当たりの就労時間**（　　）時間
お父さん	**１週当たりの就労日数**（　　）日	**１日当たりの就労時間**（　　）時間

（２）　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間は午後の場合２０時のように、２４時間制（３０分単位）でお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

お母さん	**家を出る時間**（　　）時（　　）分	**帰宅時間**（　　）時（　　）分
お父さん	**家を出る時間**（　　）時（　　）分	**帰宅時間**（　　）時（　　）分

★続いて問３へお進みください。

問３　問２の就労状況で、お母さん、お父さんのどちらか、または両方が「３、４」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問４へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。（１つだけ○）

	お母さん	お父さん
１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
３．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
４．パート・アルバイト等の就労をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

★続いて問４へお進みください。

問４　問２の（１）お母さんの就労状況、または（２）お父さんの就労状況で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問５へお進みください。

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つだけ○をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

（１）お母さんについて

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
⇒希望する就労形態　ア．フルタイム
イ．パート・アルバイト等　**⇒１週当たり**（　　）日、**１日当たり**（　　）時間

（２）お父さんについて

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
⇒希望する就労形態　ア．フルタイム
イ．パート・アルバイト等　**⇒１週当たり**（　　）日、**１日当たり**（　　）時間

お母さんの妊娠時の状況と希望の子ども数についておうかがいします。

問５　あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ１年以内）に離職をしましたか。（１つだけ○）

１．離職した　⇒問５－１へ
２．継続的に働いていた（転職も含む）
３．出産１年前にすでに働いていなかった
⇒問６へ

問５－１　問５で「１．離職した」に○をつけた方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（もっとも近いもの１つだけ○）

１．保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
２．職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
３．保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
４．配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続して就労していた
５．働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続して就労していた
６．制度や環境に関係なく、自発的にやめた
７．その他（具体的に　　）

問６　すべての方におうかがいします。

あて名のお子さんを妊娠中、あるいは出産後、精神的に不安定になったことはありますか。（１つだけ○）

１．よくあった　２．時々あった　３．ほとんどなかった　４．なかった

問７　妊娠中や出産後にどのようなことに困りましたか。（あてはまるものすべてに○）

１．つわりがひどくて家事等が大変だった
２．産後のご自身の健康状態がよくなかった
３．職場の体制上、産休や育休がとりにくかった
４．上の子どもの世話
５．生まれた子どもの世話についての知識が不十分
６．退院後、実家の援助が受けられなかった
７．配偶者が家事・育児の分担をしてくれなかった
８．健診に連れて行くこと
９．その他（具体的に　　）
10．特に困ったことはなかった

問８　あなたにとって理想的なお子さんの人数と、今後実際に予定しているお子さんの人数は何人ですか。

理想的なお子さんの人数（　　）人　**今後予定しているお子さんの人数**（　　）人

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておうかがいします。

※ここでいう定期的な教育・保育事業とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問９－１に示した施設やサービスが含まれます。いずみ・エンゼルハウス等地域子育て支援については、11頁でおうかがいします。

問９　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的」に利用されていますか。（どちらかに○）

１．利用している　⇒問９－１～４へ　　２．利用していない　⇒問９－５へ

問９－１　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんは、現在どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１．公立の幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
２．私立の幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
３．私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に利用）
４．私立の幼稚園の未就園児クラス（３歳未満の特定の未就園児を対象に、恒常的に保育を行うクラス）
５．公立の認可保育所（府の認可を受けたもので、市役所に申し込んで入る保育所）
６．私立の認可保育所（府の認可を受けたもので、市役所に申し込んで入る保育所）
７．私立認定こども園（施設の中に保育所と幼稚園がある施設）
８．障がいのある児童が通う施設（障がいのある児童が知識や技能を得たり、専門的な訓練、指導を受ける療育施設）
９．家庭的保育（保育士などがその自宅等で子どもを預かるサービス）
10．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員用に子どもを預かる施設）
11．その他認可外の保育施設
12．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）
13．ファミリー・サポート・センター（研修を修了した会員が登録し、子どもを預けたり預かったりする事業）
14．その他（具体的に　　）

問９－２　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。

現在利用されている保育所や幼稚園などの施設はどこにありますか。どちらかに○をつけ、市外の場合は市町名もご記入ください。

問９－１で○をつけた利用事業の番号を下に記入 （　　）	１．和泉市内 ２．和泉市外（市町名　　）
問９－１で○をつけた利用事業が２つある場合、２つ目の番号を下に記入 （　　）	１．和泉市内 ２．和泉市外（市町名　　）

問９－３　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。

あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの施設やサービスを、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。問９－１で○をつけた事業ごとに１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（　　）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

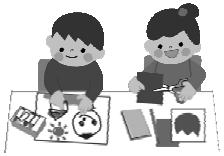
問９－１で○をつけた利用事業の番号を下に記入 （　　）	現在の利用状況	希望する利用時間等
	１週当たり（　　）日 **１日当たり**（　　）時間 （　　）時～（　　）時まで	**１週当たり**（　　）日 **１日当たり**（　　）時間 （　　）時～（　　）時まで

問９－１で○をつけた利用事業が２つある場合、２つ目の番号を下に記入 （　　）	現在の利用状況	希望する利用時間等
	１週当たり（　　）日 **１日当たり**（　　）時間 （　　）時～（　　）時まで	**１週当たり**（　　）日 **１日当たり**（　　）時間 （　　）時～（　　）時まで

問９－４　問９で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用しているのは、どのような理由ですか。（あてはまるもの３つまで○）

１．集団生活の中でルールを守ることを身につけさせるため　２．集団で遊び、学ぶことを経験させるため
３．基本的な生活のリズムを獲得させるため　４．子どもの教育や発達のため
５．小学校入学の準備のため　６．保護者が働いている
７．保護者が働く予定である、または、仕事を探している
８．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
９．保護者に病気や障がいがある　10．保護者が学生である
11．その他（具体的に　　）



問９－５　問９で「２．利用していない」に○をつけた方におうかがいします。

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していないのは、どのような理由ですか。（あてはまるもの３つまで○）

１．ご自身や配偶者がお子さんの世話をしているため、利用する必要がない
２．ご自身や配偶者の親、親せきの人がみている　３．近所の人や友人・知人がみている
４．利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない　５．利用したいが、経済的な理由で利用できない
６．利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
７．利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所などがない
８．子どもがまだ小さいため　⇒＿＿＿**歳**くらいになったら利用しようと考えている
９．その他（具体的に　　）

★続いて問10へお進みください。

問10　すべての方におうかがいします。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日「定期的」に利用させたい、あるいは保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

なお、これらの施設やサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

１．公立の幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
２．私立の幼稚園（通常の就園時間だけ利用）
３．公立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に利用）
４．私立の幼稚園と幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して定期的に利用）
５．私立の幼稚園の未就園児クラス（３歳未満の特定の未就園児を対象に、恒常的に保育を行うクラス）
６．公立の認可保育所（府の認可を受けたもので、市役所に申し込んで入る保育所）
７．私立の認可保育所（府の認可を受けたもので、市役所に申し込んで入る保育所）
８．認定こども園（施設の中に保育所と幼稚園がある施設）
９．障がいのある児童が通う施設（障がいのある児童が知識や技能を得たり、専門的な訓練、指導を受ける療育施設）
10．小規模な保育施設（主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの）
11．家庭的保育（保育士などがその自宅等で子どもを預かるサービス）
12．事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員用に子どもを預かる施設）
13．その他認可外の保育施設
14．居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）
15．ファミリー・サポート・センター（研修を修了した会員が登録し、子どもを預けたり預かったりする事業）
16．その他（具体的に　　）
17．特になし

問10－１　定期的に利用したい施設やサービスの場所についてどちらかに○をつけ、市外の場合は市町名もご記入ください。

問10で○をつけた利用希望事業の番号を下に記入 （　　）	１．和泉市内 ２．和泉市外（市町名　　）
問10で○をつけた利用希望事業が２つある場合、２つ目の番号を下に記入 （　　）	１．和泉市内 ２．和泉市外（市町名　　）

あて名のお子さんについて、幼稚園や保育所などの土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

問11　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）９時～１８時のように２４時間制で（　　）内にご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

希望日	利用意向（1つだけ○）	利用したい時間帯
（1）土曜日	1．利用する必要はない 2．ほぼ毎週利用したい 3．月に1～2回は利用したい	（　　）時～（　　）時まで
（2）日曜・祝日	1．利用する必要はない 2．ほぼ毎週利用したい 3．月に1～2回は利用したい	（　　）時～（　　）時まで

問11-1　問11の（1）あるいは（2）で、「3．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問13へお進みください。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．月に数回仕事が入るため	2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため	4．リフレッシュ目的
5．その他（具体的に　　）	

★続いて問12へお進みください。

問12　あて名のお子さんが現在、「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。該当しない方は問13へお進みください。
夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）９時～１８時のように２４時間制で（　　）内にご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

希望日	利用意向（1つだけ○）	利用したい時間帯
夏休み・冬休みなど長期休暇中	1．すでに利用している 2．利用する必要はない 3．ほぼ毎日利用したい 4．週に数日利用したい	（　　）時～（　　）時まで

問12-1　問12で、「４．週に数日利用したい」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問13へお進みください。
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．週に数回仕事が入るため	2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため	4．リフレッシュ目的
5．その他（具体的に　　）	

あて名のお子さんの病気の時の対応についておうかがいします。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問13　問９で平日の定期的な教育・保育の事業を「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。利用していらっしゃらない方は、問14へお進みください。
この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（どちらかに○）

1．あった　⇒問13-1へ	2．なかった　⇒問14へ

問13-1　問13で「１．あった」に○をつけた方におうかがいします。
あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所などを休んだ場合、この１年間にどのような対処をされましたか。あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で（　　）にご記入ください。半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

1年間の対処方法	日　数	
ア．お父さんが休んだ	（　　）日	⇒問13-２・３へ
イ．お母さんが休んだ	（　　）日	
ウ．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に子どもをみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日	⇒問14へ
エ．働いていない保護者が子どもをみた	（　　）日	
オ．病児保育※を利用した	（　　）日	
カ．病後児保育※を利用した	（　　）日	
キ．ベビーシッターを利用した	（　　）日	
ク．ファミリー・サポート・センター※を利用した	（　　）日	
ケ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日	
コ．その他（具体的に　　）	（　　）日	

※病児保育とは、病気にかかっている子どもを医師や看護師が保育と看護を行う事業で、現在和泉市内にはありませんが、他市の施設での利用が可能な場合があります。
※病後児保育とは、市内の認可保育所、小学校に通う児童（3年生まで）で、病気回復期にあり、通常の集団保育がふさわしくなく、かつ保護者の仕事などの都合で家庭での養育が困難な状態にある児童を、病後児保育室にて医師、看護師、保育士等が一時的に預かる事業です。
※ファミリー・サポート・センターとは、研修を修了した会員が登録し、子どもを預けたり預かったりする事業です。

問13-２　問13-１で「ア．お父さんが休んだ」または「イ．お母さんが休んだ」に○をつけた方におうかがいします。
その時に、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1．病児保育施設等を利用したい	⇒（　　）日	⇒問13-３へ
2．病後児保育施設等を利用したい	⇒（　　）日	
3．利用したいとは思わない		⇒問13-４へ

問13-３　問13-２で「１」または「２」（利用したい）に○をつけた方におうかがいします。
利用する場合、次のいずれのサービスが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス
2．小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス
3．ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス
4．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
5．その他（具体的に　　）

問13-４　問13-２で「３．利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。
利用したいとは思わない理由はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1．病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
2．病気の子どもは家族がみるべきである
3．サービスの質に不安がある
4．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5．利用料がかかる、高い
6．利用料や利用方法がわからない
7．保護者が仕事を休んで対応できるため
8．その他（具体的に　　）
9．特に理由はない

あて名のお子さんの幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします。

問14　あなたは、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期の仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。（幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気の時の保育施設などの利用は除きます。）利用したことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数も（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1．一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	（　　）日
2．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（　　）日
3．ファミリー・サポート・センター（研修を修了した会員が登録し、子どもを預けたり預かったりする事業）	（　　）日
4．夜間養護等事業：トワイライトステイ（仕事等の理由により、児童養護施設等で子どもを一時的に預かる事業）	（　　）日
5．ベビーシッター	（　　）日
6．その他（具体的に　　）	（　　）日
7．利用していない	

問15　あなたは、私用、ご自身や配偶者の通院、不定期な仕事などを理由として、１年間に何日くらい保育所などで実施している「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用希望の有無についてどちらかの番号に、利用理由については、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を（　　）内に数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください）。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用希望の有無	利用理由	日数（年間）
1．利用したい	ア．私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	（　　）日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院　等	（　　）日
	ウ．不定期の就労	（　　）日
	エ．その他（具体的に　　）	（　　）日
	⇒問15-1	計（　　）日
2．利用する必要はない　⇒問16へ		

問15-１　問15で「１．利用したい」に○をつけた方におうかがいします。
問15の理由でお子さんを預ける場合、次のどの子育て支援サービスが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）なお、サービスの利用には、一定の利用料が発生します。

1．幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてくれるサービス
2．地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス
3．ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス
4．その他（具体的に　　）

★続いて問16へお進みください。

問16　この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として、あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（　　）内に数字でご記入ください。

泊りがけで家族以外に預けたこと	１年間の対処方法	泊数（年間）
1．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（　　）泊
	イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	（　　）泊
	ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊
	エ．仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	カ．その他（具体的に　　）	（　　）泊
2．なかった		

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等についておうかがいします。

問17　あて名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりすることができる子育て支援センターや子育てサロンなどを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)
また、おおよその利用回数（頻度）を（　）内に数字でご記入ください。

1．いずみ・エンゼルハウス（現在、和泉市では鶴山台・府中・北松尾・和泉中央の４か所で実施）
　⇒１週当たり（　　）回　もしくは　**１か月当たり**（　　）回程度
2．子育て支援センター（「地域子育て支援センター」）
　⇒１週当たり（　　）回　もしくは　**１か月当たり**（　　）回程度
3．地域子育てサロン（地域の子育ての自主グループなどが開催）
　⇒１週当たり（　　）回　もしくは　**１か月当たり**（　　）回程度
4．幼稚園の園庭開放・親子教室
　⇒１週当たり（　　）回　もしくは　**１か月当たり**（　　）回程度
5．保育所の園庭開放・育児教室
　⇒１週当たり（　　）回　もしくは　**１か月当たり**（　　）回程度
6．いずみ・エンゼルハウスや子育て支援センターなどを知らなかった
7．いずみ・エンゼルハウスや子育て支援センターなどを知っているが、利用していない

問18　問17のような子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいと思いますか。（１つだけ○）
また、おおよその利用回数（頻度）を（　）内に数字でご記入ください。

1．利用していないが、今後利用したい
　⇒１週当たり（　　）回　もしくは　**１か月当たり**（　　）回程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　⇒１週当たり　さらに（　　）回　もしくは　**１か月当たり**　さらに（　　）回程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

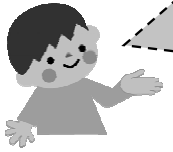
問18-１　問18で「１．利用したい」あるいは「２．今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問19へお進みください。
地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。
（３つまで○）なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1．常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供　　2．子育てに関する相談・援助
3．地域の子育て関連情報の提供　　4．子育てに関する講習
5．地域に出向いての交流の場の提供（出張ひろば）　　6．保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談
7．さまざまな世代との交流の場の提供　　8．家庭への訪問支援
9．その他（具体的に　　）

あて名のお子さんが来春、小学校に入学される方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

⇒該当しない方は、問22へお進みください。

問19　あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」を選択された場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください。



※放課後児童クラブ(仲よしクラブ)とは、保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。利用にあたっては、一定の利用料が発生します。和泉市では、仲よしクラブといい、現在、小学校19校に35クラブがあります。
※放課後等デイサービスとは、障がいのある児童に放課後や夏休み等の長期休暇中に居場所とともに、生活能力向上のための指導や訓練などを継続的に提供するものです。

低学年の時に過ごさせたい場所	希望日数(週当たり)
1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館	週（　　）日くらい
5．放課後児童クラブ※（仲よしクラブ）	週（　　）日くらい 下校時から（　　）時まで
6．放課後等デイサービス※	週（　　）日くらい
7．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

問20　あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」の場合には利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください。

高学年の時に過ごさせたい場所	希望日数(週当たり)
1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館	週（　　）日くらい
5．放課後児童クラブ※（仲よしクラブ）	週（　　）日くらい 下校時から（　　）時まで
6．放課後等デイサービス※	週（　　）日くらい
7．ファミリー・サポート・センター	週（　　）日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい

問21　問19または問20で「５．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問22へお進みください。

「仲よしクラブ」を利用したい曜日等をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

小学校低学年（1～3年生）	１．平日	２．土曜日	３．日曜・祝日	４．長期休み
小学校高学年（4～6年生）	１．平日	２．土曜日	３．日曜・祝日	４．長期休み

すべての方に仕事と子育ての両立支援についておうかがいします。

問22　あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんのいずれか、もしくは両方が育児休業を取りましたか。お母さん、お父さんそれぞれについて、あてはまる番号１つだけ○をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。複数回取得の場合は、最近の場合についてお答えください。また、取得していない場合は、理由もお答えください。

お母さん	お父さん
１．働いていなかった　⇒問23へ	１．働いていなかった　⇒問23へ
２．育児休業を取った（今取っている） **⇒取得期間**（　　）日　⇒問22－１へ	２．育児休業を取った（今取っている） **⇒取得期間**（　　）日　⇒問22－１へ
３．育児休業を取らずに働いた **⇒その理由（下から番号を選択）** （　　）	３．育児休業を取らずに働いた **⇒その理由（下から番号を選択）** （　　）
４．育児休業を取らずに離職した **⇒その理由（下から番号を選択）** （　　）	４．育児休業を取らずに離職した **⇒その理由（下から番号を選択）** （　　）

取得していない理由を下から選んで番号を上に記入してください。（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育所などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職である、祖父母等にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取れることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取れることを知らなかった
15．その他（具体的に　　）

問22－１　問22でお母さんまたはお父さんが「２．育児休業を取った（今取っている）」に○をつけた方におうかがいします。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（１つだけ○）

お母さん	お父さん
１．育児休業取得後、職場に復帰した　⇒問22－２へ ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に離職した　⇒問23へ	１．育児休業取得後、職場に復帰した　⇒問22－２へ ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に離職した　⇒問23へ

問22－２　問22－１でお母さんまたはお父さんが「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におうかがいします。

（１）　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間にかかわらず、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（　）内に数字でご記入ください。

お母さん	お父さん
実際の取得期間（　　）歳（　　）か月	**実際の取得期間**（　　）歳（　　）か月
希望の取得期間（　　）歳（　　）か月	**希望の取得期間**（　　）歳（　　）か月

（２）　職場に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月の時まで取りたかったですか。（　）内に数字でご記入ください。

お母さん	お父さん
希望の取得期間（　　）歳（　　）か月	**希望の取得期間**（　　）歳（　　）か月

★続いて問23へお進みください。

問23　あなたは、「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。（１つだけ○）

１．言葉を知っており内容も詳しく知っている	２．言葉を知っており内容も少しは知っている
３．言葉を聞いたことはあるが内容は良く知らない	４．知らない

問24　生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）やプライベートの生活時間」の何を優先しますか。≪現実≫と≪理想≫のそれぞれについて、お答えください。（もっとも優先するもの１つだけ○）

≪現実≫	１．仕事時間を優先	２．家事（育児）時間を優先
	３．プライベート時間を優先	４．その他（具体的に　　）
≪理想≫	１．仕事時間を優先	２．家事（育児）時間を優先
	３．プライベート時間を優先	４．その他（具体的に　　）

子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問25　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．家庭　2．地域　3．幼稚園　4．保育所　5．認定こども園
6．その他（具体的に　）

問26　お住まいの近くで日常的にちょっとした子どもの世話や世間話をする人はいますか。（どちらかに○）

1．いる　2．いない

問27　子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。（１つだけ○）

1．楽しいと感じることのほうが多い　2．楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい
3．つらいと感じることのほうが多い　4．わからない
5．その他（具体的に　）

問28　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
（それぞれあてはまるものすべてに○）

（1）子どもに関すること

1．病気や発育発達に関すること　2．食事や栄養に関すること
3．子どもとの接し方に自信が持てないこと　4．子どもと過ごす時間が十分とれないこと
5．子どもの教育に関すること　6．子どもの友だちづきあいに関すること
7．子どもの登所・登園拒否や不登校など　8．その他（具体的に　）
9．特にない

（2）ご自身に関すること

1．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居が狭いこと
12．その他（具体的に　）
13．特にない

問29　あなたのご家庭では、子育ての役割をどのように担っていますか。（１つだけ○）

1．ほとんど母親が担っている　2．ほとんど父親が担っている
3．平等に分担している　4．母親が中心で父親も手伝っている
5．父親が中心で母親も手伝っている
6．夫婦ともほとんどしない（祖父母、子ども、お手伝いさん等がしている）
7．その他（具体的に　）

問30　日頃、あて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
2．緊急時や用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
3．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
4．緊急時や用事のときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
5．いずれもいない

問31　子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（どちらかに○）

1．いる／ある　⇒問31－１へ　2．いない／ない　⇒問32へ

問31－１　問31で「いる／ある」に○をつけた方におうかがいします。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．親や家族　2．友人・知人　3．近所の人
4．地域子育て支援センターエンゼルハウスなどの子育て支援施設　5．保育所
6．幼稚園　7．市役所や保健センター、保健所などの相談窓口
8．民生委員・児童委員、主任児童委員　9．かかりつけの医師
10．携帯電話やインターネットの交流サイト
11．キンダーカウンセラー（子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等）
12．スマイルサポーター（私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員）
13．その他（具体的に　）

★続いて問32へお進みください。

問32　すべての方におうかがいします。
子育てをする上で、どのような支援があればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

問33　お子さんを幼稚園や保育所などの施設に預ける場合、お子さんにとってどのくらいの時間が適切と考えられますか。（１つだけ○）

1．４時間まで　2．６時間まで　3．８時間まで　4．10時間まで　5．12時間まで

問34　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（どちらかに○）

1．感じる	2．感じない

問34-１　問34で感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

1．近所の人	2．同じ世代の子どもを持つ保護者
3．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人	
4．地域活動を行っているＮＰＯなどの人	5．幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員
6．市役所の職員	7．その他（具体的に　　）

問35　あて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

（1）朝ごはんを食べますか。（１つだけ○）

1．毎日食べる	2．食べる日のほうが多い
3．食べない日のほうが多い	4．ほとんど食べない

（2）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。（どちらかに○）

1．する	2．しない

（3）平日、テレビ・ビデオ（ゲームを含む）を１日平均、何時間みますか。（１つだけ○）

1．３０分以内	2．１時間以内
3．１時間３０分以内	4．2時間以内
5．2時間以上	

（4）夜寝る時間は何時ですか。（１つだけ○）

1．２０時半より前	2．２０時半～２１時
3．２１時～２１時半	4．２１時半～２２時
5．２２時～２３時	6．２３時以降

問36　子育てに関する情報の入手は、現在どのような方法で行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族・親族	2．隣近所の人・友人・知人
3．子育てサークルの仲間	4．保育所・幼稚園・学校
5．市役所や市の機関	6．市の広報やパンフレット
7．テレビ・ラジオ・新聞	8．市のホームページ
9．インターネット	10．子育て雑誌・育児書
11．その他の雑誌	12．その他（具体的に　　）
13．情報の入手先がない	14．どこで入手すればよいかがわからない

問37　次の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをそれぞれお答えください。

事業名（1～13の事業について、①認知状況、②利用状況、③利用意向について、あてはまる事業の番号すべてに○をつけてください。）	①認知状況 知っているものに○	②利用状況 これまでに利用したことがあるものに○	③利用意向 今後利用したいものに○
1．両親学級、育児学級	1	1	1
2．保健センターの情報・相談サービス	2	2	2
3．家庭教育に関する学級・講座	3	3	3
4．保育所や幼稚園の園庭開放	4	4	4
5．青少年センター	5	5	5
6．子育ての相談窓口	6	6	6
7．市が発行する子育て応援ガイドブック	7	7	7
8．育児支援家庭訪問事業	8	8	8
9．教育相談	9	9	9
10．一時・特定保育事業	10	10	10
11．夜間保育事業（９時～22時）	11	11	11
12．障がい児保育（統合保育）	12	12	12
13．子育てサークル	13	13	13

問38　和泉市の子育て環境や支援への満足度は、５段階評価だと何点くらいですか。（1つだけ○）

満足度が低い ←――――→ 満足度が高い

1　2　3　4　5

問39　では、和泉市の子育て環境や支援に関して、あなたが子育てしやすいなど一定、評価できる点、もっと充実してほしい点はどのようなことがありますか。

（1）子育てしやすいなど一定、評価できる点（あてはまるものいくつでも）

1．子どもの遊び場	2．子育てに関する情報提供
3．子育てに関する相談体制	4．保育所の整備
5．幼稚園の整備	6．こども園の整備
7．日中の一時的な預かり保育	8．幼稚園における預かり保育
9．短期間勤務に対する保育	10．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備
11．子育てサークル活動への支援	12．親子が参加できる身近な場や機会
13．親子が楽しめる観劇、音楽会などの文化事業	14．図書館などの文化施設の整備
15．子育てに配慮された公共施設の整備	16．地域の人たちによる子育て支援活動
17．交通事故の危険防止対策	18．防犯・防災面での安全対策
19．子どもがかかりやすい医療体制の整備	20．障がいのある子どもへの子育て支援
21．企業と連携した仕事と子育ての両立支援	
22．その他（具体的に　　）	
23．特にない	

（2）もっと充実してほしい点（あてはまるものいくつでも）

1．子どもの遊び場	2．子育てに関する情報提供
3．子育てに関する相談体制	4．保育所の整備
5．幼稚園の整備	6．こども園の整備
7．日中の一時的な預かり保育	8．幼稚園における預かり保育
9．短期間勤務に対する保育	10．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備
11．子育てサークル活動への支援	12．親子が参加できる身近な場や機会
13．親子が楽しめる観劇、音楽会などの文化事業	14．図書館などの文化施設の整備
15．子育てに配慮された公共施設の整備	16．地域の人たちによる子育て支援活動
17．交通事故の危険防止対策	18．防犯・防災面での安全対策
19．子どもがかかりやすい医療体制の整備	20．障がいのある子どもへの子育て支援
21．企業と連携した仕事と子育ての両立支援	
22．その他（具体的に　　）	
23．特にない	

■お子さんの教育・保育に対する要望や子育て支援についてのご意見などがありましたら、お書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れて、
ポストに投函してください。

和泉市小学生の保護者対象調査票

【ご記入にあたってのお願い】

1．特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さんについて**、お子さんの**保護者の方がご記入**ください。
2．ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と数字をご記入いただく場合があります。また、その他をお選びいただいた場合は、（　　）内に具体的な内容をご記入ください。
3．ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**11月8日（金）までにご返送**ください。

あて名のお子さんとご家族の状況についておうかがいします。

問１　あて名のお子さんとご家族等の状況をお答えください。

（1）あて名のお子さんは小学何年生ですか。(1つだけ○)

1．1年生　2．2年生　3．3年生　4．4年生　5．5年生　6．6年生

（2）お子さんの人数は何人ですか。また、２人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの生年月をご記入ください。

お子さんの人数（　　）人　**一番小さいお子さんの生年月**　平成（　　）年（　　）月生まれ

（3）あて名のお子さんからみて、この調査にご回答いただく方はどなたですか。（１つだけ○）

1．お母さん　2．お父さん　3．祖父　4．祖母　5．その他（具体的に　　）

（4）あて名のお子さんからみて、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1．お母さん　2．お父さん　3．祖父　4．祖母　5．その他（具体的に　　）

（5）あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（１つだけ○）

1．お母さん、お父さんともに　2．主にお母さん　3．主にお父さん
4．主に祖父母　5．その他（具体的に　　）

（6）あなたは和泉市に住んでどのくらいになりますか。（１つだけ○）

1．５年未満　2．５年以上10年未満　3．10年以上20年未満　4．20年以上

（7）お住まいの小学校区はどこですか。わからない場合は22に町名をご記入ください。（１つだけ○）

1．国府　2．和気　3．伯太　4．池上　5．黒鳥　6．芦部
7．北池田　8．いぶき野　9．南池田　10．光明台南　11．光明台北　12．緑ヶ丘
13．北松尾　14．南松尾　15．横山　16．南横山　17．幸　18．信太
19．鶴山台北　20．鶴山台南　21．青葉はつが野　22．わからない（町名　　）

あて名のお子さんのお母さん、お父さんの就労状況についておうかがいします。

問２　お母さん、お父さんの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。
お母さん、お父さんそれぞれについて、お答えください。ひとり親家庭の場合は、お母さん、またはお父さんのみお答えください。（１つだけ○）

	お母さん	お父さん
1．フルタイム※で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5．以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6．これまで就労したことがない	6	6

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいい、パート・アルバイト等はそれ以外の就労のことをいいます。自営業や家業、家族従業者、内職の場合は、就労日数や就労時間の実態に応じて「フルタイム」あるいは「パート・アルバイト等」をお選びください。

問２でお母さん、お父さんのどちらか、または両方が「１～４」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。両方が「５、６」に○をつけた方は、問４へお進みください。

（1）１週当たりの就労日数や１日当たりの就労時間（残業時間を含む）を数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

お母さん	**１週当たりの就労日数**（　　）日	**１日当たりの就労時間**（　　）時間
お父さん	**１週当たりの就労日数**（　　）日	**１日当たりの就労時間**（　　）時間

（2）　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間は午後の場合２０時のように、２４時間制（３０分単位）でお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

お母さん	**家を出る時間**（　　）時（　　）分	**帰宅時間**（　　）時（　　）分
お父さん	**家を出る時間**（　　）時（　　）分	**帰宅時間**（　　）時（　　）分

★続いて問３へお進みください。

問３　問２の就労状況で、お母さん、お父さんのどちらか、または両方が「３、４」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は、問４へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。（１つだけ○）

	お母さん	お父さん
1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4．パート・アルバイト等の就労をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

★続いて問４へお進みください。

問４　問２の（１）お母さんの就労状況、または（２）お父さんの就労状況で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問５へお進みください。

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つだけ○をつけ、該当する（　　）内には数字をご記入ください。

（１）お母さんについて

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
⇒希望する就労形態　ア．フルタイム
イ．パート・アルバイト等　**⇒１週当たり**（　　）日、**１日当たり**（　　）時間

（２）お父さんについて

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
⇒希望する就労形態　ア．フルタイム
イ．パート・アルバイト等　**⇒１週当たり**（　　）日、**１日当たり**（　　）時間

すべての方に仕事と子育ての両立支援についておうかがいします。

問５　あなたは、「仕事と生活の調和」、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。（１つだけ○）

１．言葉を知っており内容も詳しく知っている　２．言葉を知っており内容も少しは知っている
３．言葉を聞いたことはあるが内容は良く知らない　４．知らない

問６　生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）やプライベートの生活時間」の何を優先しますか。≪現実≫と≪理想≫のそれぞれについて、お答えください。（もっとも優先するもの１つだけ○）

≪現実≫	１．仕事時間を優先	２．家事（育児）時間を優先
	３．プライベート時間を優先	４．その他（具体的に　　）
≪理想≫	１．仕事時間を優先	２．家事（育児）時間を優先
	３．プライベート時間を優先	４．その他（具体的に　　）

問７　子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）

１．日常的な残業や休日出勤をなくす・減らす
２．急な残業や休日出勤をなくす・減らす
３．子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる
４．育児休業制度・再雇用制度※等を整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる
５．男性も育児休業制度を利用しやすくするなど、子育てに男性も参加できる環境をつくる
６．事業所内に保育施設を設置する
７．妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度※など）
８．子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う
９．その他（具体的に　　）
10．特にない

※再雇用制度とは、企業が就業規則の中で、結婚や出産、育児、介護などの理由で退職した方を再び元の職場で雇用する制度です。
※フレックスタイム制度・短時間勤務制度とは、育児・介護休業法で3歳未満の子どもを養育する労働者のために事業主が講ずるべき勤務時間短縮等の方法としてあげられている制度です。
●フレックスタイム制度とは、労働者が自分のスケジュールに合わせて出勤・退勤時間を調整できる制度です（総労働時間は短くなりません）。
●短時間勤務制度とは、労働時間や労働日数を短縮する制度です。

あて名のお子さんの放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の利用についておうかがいします。

問８　あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用していますか。（どちらかに○）

１．利用している　⇒問８－１～３へ　　２．利用していない　⇒問８－４へ

※放課後児童クラブとは、保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。利用にあたっては、一定の利用料が発生します。和泉市では、仲よしクラブといい、現在、小学校19校に35クラブがあります。

問８－１　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
平日の１週当たりの利用日数と土曜日の利用の有無について、お答えください。

曜日等	利用状況
平　日	**１週当たり**（　　）日くらい利用
土曜日	１．利用している　⇒　**１か月当たり**（　　）回くらい利用 ２．土曜日は利用していない

問８－２　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用しているのは、主にどのような理由からですか。（１つだけ○）

１．保護者が働いている　２．保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
３．保護者に病気や障がいがある　４．保護者が学生である
５．その他（具体的に　　）

問８－３　問８で「１．利用している」に○をつけた方におうかがいします。
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用した感想はどうですか。（あてはまるものすべてに○）

１．利用時間を延長してほしい	２．利用できる学年を延長してほしい
３．日曜・祝日も開いてほしい	４．施設・設備を改善してほしい
５．指導内容を工夫してほしい	６．保育園や幼稚園、こども園でも開設してほしい
７．その他（具体的に　　）	
８．現在のままでよい	

★次は問９へお進みください。

問８－４　問８で「２．利用していない」に○をつけた方におうかがいします。
放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用していないのは、主にどのような理由からですか。（１つだけ○）

１．ご自身や配偶者が子どもの世話をしているため、利用する必要がない
２．ご自身や配偶者の親、親せきがみている
３．近所の人や保護者の友人・知人がみている
４．ご自身や配偶者が働いていて利用したいが、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）に空きがない
５．ご自身や配偶者が働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
６．ご自身や配偶者が働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
７．ご自身や配偶者が働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
８．ご自身や配偶者が働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
９．その他（具体的に　　）

問９　すべての方におうかがいします。
お子さんに、今後、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用させたいとお考えですか。低学年の期間、高学年の期間に分けて、平日、土曜日、日曜・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇それぞれについて、利用意向と利用したい日数、回数、時間帯をそれぞれ数字でご記入ください。時間帯は必ず（例）１０時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

（１）低学年（１～３年生）の期間　※お子さんが高学年の場合は、（２）へお進みください。

曜日等	利用意向
平　日	１．利用したい　**⇒１週当たり**（　　）日くらい利用　**下校時～**（　　）時まで ２．利用希望はない
土曜日	１．利用したい　**⇒１か月当たり**（　　）回くらい利用　（　　）時～（　　）時まで ２．利用希望はない
日曜・祝日	１．利用したい　**⇒１か月当たり**（　　）回くらい利用　（　　）時～（　　）時まで ２．利用希望はない
夏休みや冬休みなど長期休暇	１．利用したい　**⇒１週当たり**（　　）日くらい利用　（　　）時～（　　）時まで ２．利用希望はない

（２）高学年（４～６年生）の期間

曜日等	利用意向
平　日	１．利用したい　**⇒１週当たり**（　　）日くらい利用　**下校時～**（　　）時まで ２．利用希望はない
土曜日	１．利用したい　**⇒１か月当たり**（　　）回くらい利用　（　　）時～（　　）時まで ２．利用希望はない
日曜・祝日	１．利用したい　**⇒１か月当たり**（　　）回くらい利用　（　　）時～（　　）時まで ２．利用希望はない
夏休みや冬休みなど長期休暇	１．利用したい　**⇒１週当たり**（　　）日くらい利用　（　　）時～（　　）時まで ２．利用希望はない

地域子ども・子育て支援事業についておうかがいします。

問10　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（どちらかに○）

１．あった　⇒問10－１へ　　２．なかった　⇒問11へ

問10－１　問10で「１．あった」に○をつけた方におうかがいします。
あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブ（仲よしクラブ）を利用できなかった場合、この１年間にどのような対処をされましたか。あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で（　　）にご記入ください。半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

１年間の対処方法	日　数	
ア．お父さんが休んだ	（　　）日	⇒問10-2へ
イ．お母さんが休んだ	（　　）日	
ウ．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（　　）日	⇒問11へ
エ．働いていない保護者が子どもをみた	（　　）日	
オ．病児保育※を利用した	（　　）日	
カ．病後児保育※を利用した	（　　）日	
キ．家事育児代行サービスを利用した	（　　）日	
ク．ファミリー・サポート・センター※を利用した	（　　）日	
ケ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）日	
コ．その他（具体的に　　）	（　　）日	

※病児保育とは、病気にかかっている子どもを医師や看護師が保育と看護を行う事業で、現在和泉市内にはありませんが、他市の施設での利用が可能な場合があります。
※病後児保育とは、市内の認可保育所、小学校に通う児童（3年生まで）で、病気回復期にあり、通常の集団保育がふさわしくなく、かつ保護者の仕事などの都合で家庭での養育が困難な状態にある児童を、病後児保育室にて医師、看護師、保育士等が一時的に預かる事業です。
※ファミリー・サポート・センターとは、研修を修了した会員が登録し、子どもを預けたり預かったりする事業です。

問10－２　問10－１で「ア．お父さんが休んだ」または「イ．お母さんが休んだ」に○をつけた方におうかがいします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数についても（　　）内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．病児保育施設等を利用したい　⇒（　　）日くらい ２．病後児保育施設等を利用したい　⇒（　　）日くらい	⇒問10－３へ
３．利用したいとは思わない	⇒問10－４へ

問10－３　問10－２で「１」または「２」（利用したい）に○をつけた方におうかがいします。

利用する場合、次のいずれのサービスが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス
２．小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス
３．ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス
４．民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
５．その他（具体的に　　）

★次は問11へお進みください。

問10－４　問10－２で「３．利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。

利用したいとは思わない理由はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

１．病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
２．病気の子どもは家族がみるべきである
３．サービスの質に不安がある
４．施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
５．利用料がかかる、高い
６．利用料や利用方法がわからない
７．保護者が仕事を休んで対応できるため
８．その他（具体的に　　）
９．特に理由はない

★続いて問11へお進みください。

問11　あなたは、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期の仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを不定期に利用しましたか。（子どもが病気の時の保育施設などの利用は除きます。）利用したことがある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数も（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
１．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	（　　）日
２．ファミリー・サポート・センター	（　　）日
３．夜間養護等事業：トワイライトステイ （仕事等の理由により、児童養護施設等で子どもを一時的に預かる事業）	（　　）日
４．家事育児代行サービスを利用した	（　　）日
５．その他（具体的に　　）	（　　）日
６．預けるようなことはなかった	

問12　この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として、あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（　　）内に数字でご記入ください。

泊りがけで家族以外に預けたこと	１年間の対処方法	泊数（年間）
１．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（　　）泊
	イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	（　　）泊
	ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊
	エ．仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊
	オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊
	カ．その他（具体的に　　）	（　　）泊
２．なかった		

子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問13　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．家庭　２．地域　３．小学校　４．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）　５．学習塾
６．習いごとの場　７．その他（具体的に　　）

問14　お住まいの近くで日常的にちょっとした子どもの世話や世間話をする人はいますか。（どちらかに○）

１．いる　２．いない

問15　子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。（１つだけ○）

1．楽しいと感じることのほうが多い　2．楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい
3．つらいと感じることのほうが多い　4．わからない
5．その他（具体的に　　）

問16　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
（それぞれあてはまるものすべてに○）

（1）子どもに関すること

1．病気や発育発達に関すること　2．食事や栄養に関すること
3．子どもとの接し方に自信が持てないこと　4．子どもと過ごす時間が十分とれないこと
5．子どもの教育に関すること　6．子どもの友だちづきあいに関すること
7．子どもの登所・登園拒否や不登校など
8．その他（具体的に　　）
9．特にない

（2）ご自身に関すること

1．子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2．配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3．子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4．ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5．子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6．仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7．配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8．子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9．子育てによる身体の疲れが大きいこと
10．子育てにかかる出費がかさむこと
11．住居が狭いこと
12．その他（具体的に　　）
13．特にない

問17　あなたのご家庭では、子育ての役割をどのように担っていますか。（１つだけ○）

1．ほとんど母親が担っている　2．ほとんど父親が担っている
3．平等に分担している　4．母親が中心で父親も手伝っている
5．父親が中心で母親も手伝っている
6．夫婦ともほとんどしない（祖父母、子ども、お手伝いさん等がしている）
7．その他（具体的に　　）

問18　日頃、あて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1．日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
2．緊急時や用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
3．日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
4．緊急時や用事のときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
5．いずれもいない

問19　子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（どちらかに○）

1．いる／ある　⇒問19－１へ　2．いない／ない　⇒問20へ

問19－１　問19で「いる／ある」に○をつけた方におうかがいします。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．親や家族　2．友人・知人
3．近所の人　4．小学校の先生
5．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の指導員　6．市役所や保健センター、保健所などの相談窓口
7．民生委員・児童委員、主任児童委員　8．かかりつけの医師
9．携帯電話やインターネットの交流サイト
10．児童館などの子育て支援施設やＮＰＯなどの子育て支援団体
11．ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生
12．その他（具体的に　　）

★続いて問20へお進みください。

問20　すべての方におうかがいします。
子育てをする上で、どのような支援があればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

問21　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（どちらかに○）

1．感じる　2．感じない

問21－１　問21で感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

1．近所の人　2．同じ世代の子どもを持つ保護者
3．民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人
4．地域活動を行っているＮＰＯなどの人　5．市役所の職員
6．その他（具体的に　　）

問22　あて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

（1）朝ごはんを食べますか。（１つだけ○）

1．毎日食べる	2．食べる日のほうが多い
3．食べない日のほうが多い	4．ほとんど食べない

（2）１日１回は家族と一緒に食事をしますか。（どちらかに○）

1．する	2．しない

（3）平日、テレビ・ビデオ（ゲームを含む）を１日平均、何時間みますか。（１つだけ○）

1．３０分以内	2．１時間以内
3．１時間３０分以内	4．２時間以内
5．２時間以上	

（4）夜寝る時間は何時ですか。（１つだけ○）

1．２０時半より前	2．２０時半～２１時
3．２１時～２１時半	4．２１時半～２２時
5．２２時～２３時	6．２３時以降

問23　ふだんの生活の中で、お子さんとどのようにかかわっていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．授業参観などの学校行事にはできるだけ出席する	2．子どもの友だちを把握している
3．子どもと一緒に遊ぶ	4．子どもと話をする
5．子どもと一緒に食事をする	6．子どもの宿題を確認している
7．子どもの帰宅時間には誰かが家にいるようにしている	8．勉強を教えてあげる
9．学校への忘れ物をしないように気をつけている	10．子どもにかける教育費は惜しまない
11．その他（具体的に　　）	
12．特にない	

問24　子どもの身の安全について、不安に思うことや心配なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．学校や塾などの行き帰りなどの交通事故
2．塾や習い事の行き帰りの犯罪被害
3．公園など遊び場での犯罪被害
4．学校などでいじめを受けたり、いじめをしていないか
5．インターネット・携帯電話などのWEB上での犯罪被害
6．その他（具体的に　　）
7．特に不安なことや心配なことはない

問25　和泉市の子育て環境や支援への満足度は、５段階評価だと何点くらいですか。（1つだけ○）

満足度が低い ←――――――→ 満足度が高い

1　　2　　3　　4　　5

問26　では、和泉市の子育て環境や支援に関して、あなたが子育てしやすいなど一定、評価できる点、もっと充実してほしい点はどのようなことがありますか。

（1）子育てしやすいなど一定、評価できる点（あてはまるものいくつでも）

1．子どもの遊び場	2．子育てに関する情報提供
3．子育てに関する相談体制	4．保育所の整備
5．幼稚園の整備	6．こども園の整備
7．日中の一時的な預かり保育	8．幼稚園における預かり保育
9．短期間勤務に対する保育	10．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備
11．子育てサークル活動への支援	12．親子が参加できる身近な場や機会
13．親子が楽しめる観劇、音楽会などの文化事業	14．図書館などの文化施設の整備
15．子育てに配慮された公共施設の整備	16．地域の人たちによる子育て支援活動
17．交通事故の危険防止対策	18．防犯・防災面での安全対策
19．子どもがかかりやすい医療体制の整備	20．障がいのある子どもへの子育て支援
21．企業と連携した仕事と子育ての両立支援	
22．その他（具体的に　　）	
23．特にない	

（2）もっと充実してほしい点（あてはまるものいくつでも）

1．子どもの遊び場	2．子育てに関する情報提供
3．子育てに関する相談体制	4．保育所の整備
5．幼稚園の整備	6．こども園の整備
7．日中の一時的な預かり保育	8．幼稚園における預かり保育
9．短期間勤務に対する保育	10．放課後児童クラブ（仲よしクラブ）の整備
11．子育てサークル活動への支援	12．親子が参加できる身近な場や機会
13．親子が楽しめる観劇、音楽会などの文化事業	14．図書館などの文化施設の整備
15．子育てに配慮された公共施設の整備	16．地域の人たちによる子育て支援活動
17．交通事故の危険防止対策	18．防犯・防災面での安全対策
19．子どもがかかりやすい医療体制の整備	20．障がいのある子どもへの子育て支援
21．企業と連携した仕事と子育ての両立支援	
22．その他（具体的に　　）	
23．特にない	

■お子さんの教育に対する要望や子育て支援についてのご意見などがありましたら、お書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れて、
ポストに投函してください。

和泉市こども・子育て支援に関する

ニーズ調査報告書

編集・発行　和泉市 こども部 こども未来室
〒594-8501
大阪府和泉市府中町二丁目７番５号
ＴＥＬ：(0725)41-1551（代表）
ＦＡＸ：(0725)44-3844
発　行　日　平成２６年３月

この冊子は再生紙を使用しています